
行政評価シート
【令和4年度実績】

目次

施策番号	実施計画No.	重点プロジェクトNo.	事業名	課名	ページ		
1-1-1	1	①-1	-	児童館運営事業	こども政策課	1	
	2	-	-	母子保健事業	こども相談課	2	
	3	-	-	母子相談事業	こども相談課	3	
	4	①-2	-	地域子育て推進事業	こども政策課	4	
	5	①-3	-	こども医療費支給事業	こども政策課	5	
	6	①-4	-	母子家庭等自立支援給付金事業	こども政策課	6	
	7	①-5	-	子育て世代包括支援センター運営事業	こども相談課	7	
	8	①-6	-	子ども家庭総合支援拠点運営事業	こども相談課	8	
	9	-	-	施設型・地域型保育給付事業	保育課	9	
	10	①-7	-	放課後児童健全育成事業	保育課	10	
	11	-	-	ファミリー・サポート事業	こども政策課	11	
	1-1-2	12	①-8	①-37	複合型子育て支援施設整備事業 ※No.46兼用	保育課	12
		13	①-9	-	小規模保育改修費等補助金	保育課	13
		14	①-10	-	特定教育・保育施設等整備事業費補助金	保育課	14
		15	①-11	-	施設型給付一時預かり事業	保育課	15
		16	①-12	-	私立幼稚園預かり保育事業費補助金	保育課	16
		17	①-13	-	子育てのための施設等利用給付負担金	保育課	17
		18	①-14	-	実費徴収に係る補足給付事業	保育課	18
1-2-1		19	①-15	-	特色ある教育推進事業	指導課	19
	20	①-16	-	学校教育支援事業	指導課	20	
	21	①-17	-	英語指導助手招致事業	指導課	21	
	22	①-18	-	中学生社会体験チャレンジ事業	指導課	22	
1-2-2	23	①-19	-	教育相談センター運営事業	指導課	23	
	24	①-20	-	こころのサポート推進事業	指導課	24	
	25	①-21	-	いじめ防止対策推進事業	指導課	25	
1-2-3	26	①-22	-	校舎トイレ改修事業	施設課	26	
	27	①-23	-	通学路安全対策事業	学務課	27	
	28	①-24	-	未来を担う人材育成事業	学務課	28	
	29	①-25	-	小・中学校情報教育推進事業	学校総務課	29	
	30	①-26	-	小・中学校図書館整備事業	学校総務課	30	
	31	①-27	-	特別教室エアコン整備事業	施設課	31	
1-3-1	32	①-28	-	放課後子ども教室推進事業	社会教育課	32	
1-3-2	33	-	-	青少年健全育成事業	こども政策課	33	
2-1-1	34	-	-	健康・生きがいづくり対策事業	高齢者支援課	34	
	35	①-29	-	高齢者福祉施設運営事業	高齢者支援課	35	
2-1-2	36	①-30	-	緊急通報システム設置事業	高齢者支援課	36	
	37	①-31	-	高齢者安心見守り事業	高齢者支援課	37	
2-1-3	38	-	-	介護予防・生活支援サービス事業	介護保険課	38	
	39	①-32	-	住民主体型介護予防事業	介護保険課	39	
	40	①-33	-	地域リハビリテーション活動支援事業	介護保険課	40	
	41	①-34	-	いきいきシニアライフ応援事業	健康課	41	
	2-1-4	42	①-35	-	地域密着型介護サービス給付事業	介護保険課	42
43		①-36	-	在宅医療・介護連携推進事業	介護保険課	43	
2-2-1	44	-	-	障害者就労支援センター運営事業	障がい者支援課	44	
	45	-	-	障害者相談支援事業	障がい者支援課	45	
	46	①-8	①-37	【再掲】複合型子育て支援施設整備事業 ※No.12兼用	保育課	46	
2-2-2	47	-	-	介護給付費・訓練等給付費給付事業	障がい者支援課	47	
	48	-	-	移動支援事業	障がい者支援課	48	
2-3-1	49	-	-	社会福祉協議会補助金	生活支援課	49	
2-3-2	50	-	-	生活保護世帯就労支援事業	生活支援課	50	
2-4-1	51	①-38	-	健康づくり推進事業	健康課	51	
	52	①-39	-	健康マイレージ事業	健康課	52	
2-4-2	53	-	-	成人健康診査事業	健康課	53	
	54	①-40	-	子ども健康情報発信事業	健康課	54	
2-4-3	55	-	-	特定健康診査等事業	国民健康保険課	55	

目次

施策番号	実施計画 No.	重点プロジェクトNo.	事業名	課名	ページ
2-4-4	56	①-41	小児救急医療運営事業	健康課	56
	57	-	保健衛生総務事務（献血推進事業）	健康課	57
	58	③-86	災害時医療対策事業	健康課	58
2-4-5	59	①-42	春日部市病院事業	経営財務課	59
	60	-	市民参加推進事業	市民参加推進課	60
3-1-1	61	-	市民協働推進事業	市民参加推進課	61
	62	-	市民活動センター運営事業	市民参加推進課	62
	63	③-87	自治会加入促進活動	市民参加推進課	63
3-1-2	64	③-88	自治振興事業	市民参加推進課	64
	65	-	集会所建設コミュニティ助成事業費補助金	市民参加推進課	65
	66	-	コミュニティ推進協議会運営事業	市民参加推進課	66
	67	-	国際化推進事業	市民参加推進課	67
3-1-3	68	-	国際交流ボランティア育成派遣事業	市民参加推進課	68
	69	-	多文化共生促進事業	市民参加推進課	69
	70	-	国際交流拠点の設置	市民参加推進課	70
	71	-	非核平和事業	市民参加推進課	71
3-2-1	72	-	庶務事務（人権啓発等）	総務課	72
	73	-	社会教育総務事務（人権教育等）	社会教育課	73
3-2-2	74	①-43	男女共同参画推進センター運営事業	市民参加推進課	74
	75	-	社会教育総務事務	社会教育課	75
3-3-1	76	①-44	公民館運営事業	中央公民館	76
	77	-	図書館運営事業	社会教育課	77
	78	-	視聴覚センター運営事業	社会教育課	78
3-3-2	79	①-45	生涯学習推進事業	社会教育課	79
3-4-1	80	-	芸術文化振興事業	社会教育課	80
	81	-	市民文化会館運営事業	学校総務課	81
3-4-2	82	-	文化財保護事業	文化財保護課	82
	83	-	神明貝塚保存公開事業	文化財保護課	83
	84	-	市史編さん事業	文化財保護課	84
	85	-	郷土資料館運営事業	文化財保護課	85
3-5-1	86	①-46	体育総務事務	スポーツ推進課	86
	87	-	大風マラソン大会実施事業	スポーツ推進課	87
	88	①-47	体育施設運営事業	スポーツ推進課	88
4-1-1	89	-	環境推進事業（かすかべ環境ネットワーク）	環境政策課	89
	90	-	環境推進事業（環境月間事業）（環境啓発事業）	環境政策課	90
	91	③-89	再生可能エネルギー推進事業	環境政策課	91
4-1-2	92	-	ごみ減量化・資源化推進事業	リサイクル推進課	92
	93	-	資源回収推進事業	リサイクル推進課	93
	94	-	ごみ収集運営事業	リサイクル推進課	94
	95	-	ごみ処理施設運営事業	リサイクル推進課	95
4-1-3	96	-	環境美化推進事業	リサイクル推進課	96
4-2-1	97	③-90	本庁舎整備事業	公共施設事業調整課	97
	98	③-91	災害対策本部強化事業	防災対策課	98
	99	③-92	防災事務	防災対策課	99
4-2-2	100	③-93	予防活動事業	予防課	100
	101	③-94	救急活動事業	警防課	101
	102	③-95	消防団活動事業	消防本部総務課	102
	103	③-96	消防施設耐震対策事業	消防本部総務課	103
4-2-3	104	③-97	自主防災組織育成事業助成補助金	防災対策課	104
	105	③-98	防災体制強化事業	防災対策課	105
4-3-1	106	③-99	防犯・暴力対策事業	交通防犯課	106
	107	①-48 ③-100	通学路における街頭防犯カメラ設置事業	交通防犯課	107
4-3-2	108	-	交通安全対策事業	交通防犯課	108
	109	③-101	交通安全施設設置・管理事業	交通防犯課	109
	110	-	街路灯設置・管理事業	交通防犯課	110
4-3-3	111	-	消費者生活対策事業	交通防犯課	111

目次

施策番号	実施計画 No.	重点プロジェクトNo.	事業名	課名	ページ	
5-1-1	112	②-54	-	観光振興事業	観光振興課	112
	113	-	-	大風あげ祭り実施事業	観光振興課	113
	114	-	-	春日部フィルムコミッション事業	観光振興課	114
	115	-	-	大風啓発推進事業	観光振興課	115
	116	-	-	かすかべフードセレクション推進事業	観光振興課	116
	117	②-55	-	観光協会補助金	観光振興課	117
	5-1-2	118	②-56	-	商工振興センター運営事業	商工振興課
119		②-57	-	商工会議所補助金	商工振興課	119
5-2-1	120	②-58	-	地域連携就労支援事業	商工振興課	120
	121	-	-	労政事務	商工振興課	121
	122	②-59	-	勤労者会館運営事業	商工振興課	122
5-2-2	123	②-60	-	新産業創出支援事業	商工振興課	123
	124	-	-	法人設立応援補助金	商工振興課	124
	125	②-61	-	企業誘致推進事業	商工振興課	125
5-3-1	126	②-62	-	特産品協議会補助金	商工振興課	126
	127	-	-	産業祭実施事業補助金	商工振興課	127
5-3-2	128	②-63	-	商店街活性化推進事業費補助金	商工振興課	128
	129	②-64	-	商工振興事業	商工振興課	129
	130	②-65	-	春日部市NEXT商店街プロジェクト事業	商工振興課	130
5-4-1	131	-	-	多面的機能支払交付金	農業振興課	131
	132	③-102	-	農地事務	農業振興課	132
	133	③-103	-	農業用揚・排水機場維持管理事業	農業振興課	133
	134	③-104	-	農業用施設適正化事業	農業振興課	134
	135	③-105	-	農道整備事業	農業振興課	135
	136	③-106	-	用排水路整備事業	農業振興課	136
	137	③-107	-	土地改良事業補助金	農業振興課	137
	138	③-108	-	農業近代化資金利子補助金	農業振興課	138
	139	③-109	-	経営体育成条件整備事業	農業振興課	139
	140	③-110	-	農地集積事業	農業振興課	140
	141	③-111	-	埼玉型ほ場整備事業	農業振興課	141
5-4-2	142	-	-	農業振興事業	農業振興課	142
	143	-	-	農産物紹介事業	農業振興課	143
	144	②-66	-	農業振興団体補助事業	農業振興課	144

目次

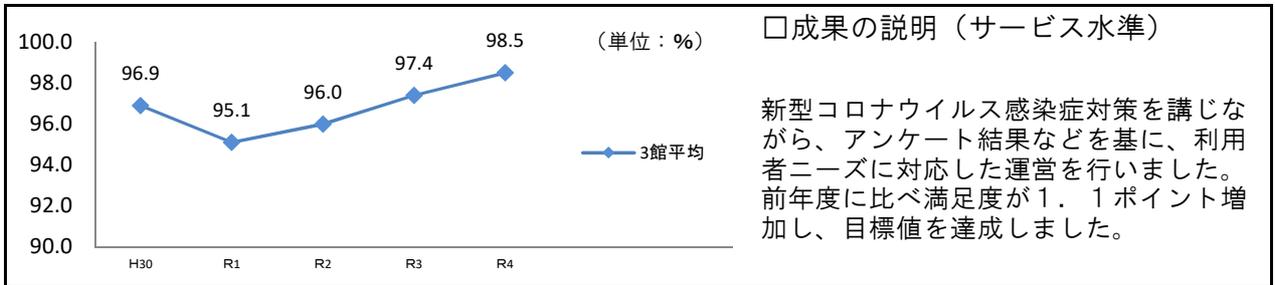
施策番号	実施計画 No.	重点プロジェクトNo.			事業名	課名	ページ
6-1-1	145	②-67	-	-	連続立体交差推進事業	鉄道高架整備課	145
	146	②-68	-	-	地域整備推進事務	都市計画課	146
	147	②-69	-	-	春日部駅西口環境整備事業	道路建設課	147
6-1-2	148	②-70	-	-	地域拠点駅まちづくり事業	まちづくり推進課	148
6-1-3	149	②-71	-	-	北春日部駅周辺地区のまちづくり事業	まちづくり推進課	149
	150	-	-	-	地域まちづくり支援事業	都市計画課	150
	151	②-72	-	-	都市計画調査等事業	都市計画課	151
	152	②-73	-	-	官学連携団地活性化推進事業助成補助金	政策課	152
6-2-1	153	-	-	-	土地区画整理事務	まちづくり推進課	153
	154	②-74	-	-	産業基盤整備事業	まちづくり推進課	154
6-2-2	155	①-49	②-75	-	ふれあい家族住宅購入奨励事業	住宅政策課	155
	156	②-76	-	-	結婚新生活支援事業	住宅政策課	156
	157	-	-	-	空家等対策推進事業	住宅政策課	157
6-3-1	158	②-77	-	-	コミュニティバス運行事業	都市計画課	158
	159	②-78	-	-	鉄道整備促進事業	鉄道高架整備課	159
6-4-1	160	②-79	-	-	武里内牧線整備事業	道路建設課	160
	161	-	-	-	大場大枝線整備事業（県営事業負担金）	道路建設課	161
	162	②-80	-	-	中央通り線整備事業	道路建設課	162
	163	②-81	-	-	街路整備事務	道路建設課	163
	164	②-82	-	-	ふじ通り藤棚修景事業	道路管理課	164
	165	③-112	-	-	橋りょう長寿命化修繕事業	道路建設課	165
6-4-2	166	③-113	-	-	道路整備事業	道路建設課	166
	167	③-114	-	-	生活道路拡幅整備事業	道路管理課	167
	168	③-115	-	-	道路施設維持管理事業	道路管理課	168
	169	-	-	-	富士見町地下道バリアフリー化整備事業	道路建設課	169
	170	③-116	-	-	道路施設更新事業	道路建設課	170
6-4-3	171	①-50	-	-	子育てふれあい公園リニューアル事業	公園緑地課	171
	172	③-117	-	-	都市公園等整備事業	公園緑地課	172
6-4-4	173	③-118	-	-	治水対策事業	河川課	173
	174	-	-	-	下水道事業（雨水）	河川課	174
6-5-1	175	-	-	-	水質管理	工務課	175
	176	③-119	-	-	配水管更新事業	工務課	176
	177	-	-	-	水道施設維持管理事業	施設管理課	177
	178	③-120	-	-	浄水場施設耐震化事業	工務課	178
6-5-2	179	-	-	-	下水道築造事業	下水道課	179
	180	-	-	-	公共下水道普及推進事業	下水道課	180
	181	③-121	-	-	下水道施設地震対策事業	下水道課	181
	182	-	-	-	企画事務	政策課	182
7-1-1	183	①-51	②-83	③-122	SDGs推進事業	政策課	183
	184	②-84	-	-	行政改革推進事業	政策課	184
	185	①-52	-	-	包括的連携推進事業助成補助金	政策課	185
	186	①-53	③-123	-	公共施設マネジメント推進事業	公共施設事業調整課	186
7-1-2	187	-	-	-	行政情報化推進事務	情報政策課	187
	188	-	-	-	電子計算運営事務	情報政策課	188
7-1-3	189	②-85	-	-	シティセールス推進事業	シティセールス広報課	189
	190	-	-	-	広報推進事業	シティセールス広報課	190
7-2-1	191	③-124	-	-	財政事務	財政課	191
	192	③-125	-	-	ふるさとかすかべ応援寄附金推進事業	シティセールス広報課	192
7-3-1	193	-	-	-	戸籍住民基本台帳事務	市民課	193
	194	-	-	-	通知カード・個人番号カード交付事業	市民課	194
	195	-	-	-	証明書等コンビニ交付事業	市民課	195
7-3-2	196	-	-	-	広聴事業	シティセールス広報課	196
	197	-	-	-	市民相談事業	市政情報課	197
7-3-3	198	-	-	-	職員研修事務	人事課	198

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

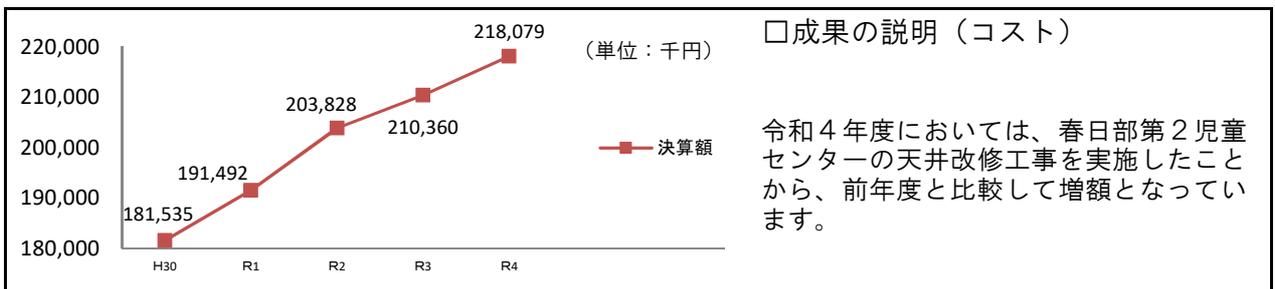
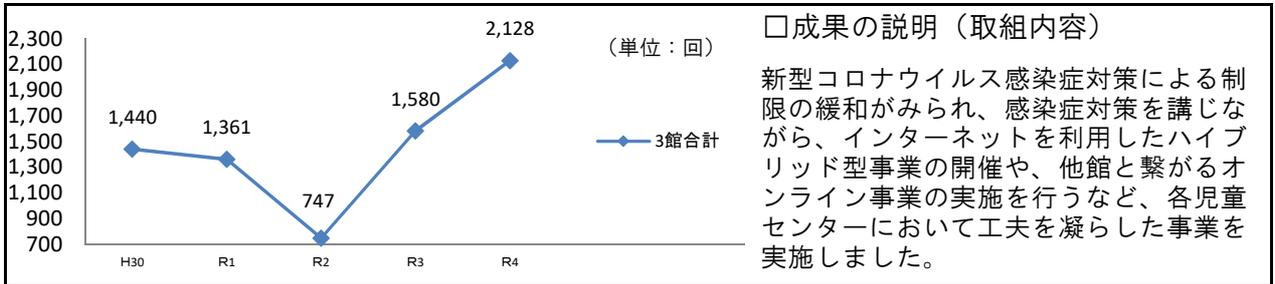
施策番号	1-1-1	実施計画No.	1	重点プロジェクトNo.	①-1	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	児童館運営事業					課名	こども政策課	
事業内容	児童の健全育成を図るため児童センターにおいて、さまざまな事業を展開することにより、子どもの居場所・遊び場の提供を行います。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	児童センター利用者の満足度				現状値 (平成29年度)	96.4%		
現状と課題	本市では、子どもが安心して過ごせる場所として、児童センターの整備を進めてきましたが、多種多様なニーズに対応できる、より充実した子どもの居場所づくり、遊び場づくりが求められています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	96.7%	97.0%	97.3%	97.6%	98.0%
成果指標の実績値	96.9%	95.1%	96.0%	97.4%	98.5%
達成率	100.2%	98.0%	98.7%	99.8%	100.5%
決算額(千円)	181,535	191,492	203,828	210,360	218,079

1 児童センター利用者の満足度



2 児童センター事業実施数



令和4年度の 評価	各児童センターで実施しているアンケート結果などを基に、利用者のニーズに対応した事業を実施し、問題点等は即座に改善を図るなどの対応を取っています。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、利用人数や利用時間の制限を行いながらの運営をしていましたが、令和4年9月から、利用人数及び利用時間の制限を解除し、運営しております。制限を緩和するとともに、利用者が安心安全に利用できるよう、消毒や換気等の基本的な対策を講じ、工夫を凝らした事業を実施したことで、満足度が前年度を上回ったと考えています。	
今後の 方向性	現状維持	今後も、利用者のニーズに沿った多様な事業を展開し、より充実した子どもの居場所づくりを進めていきます。

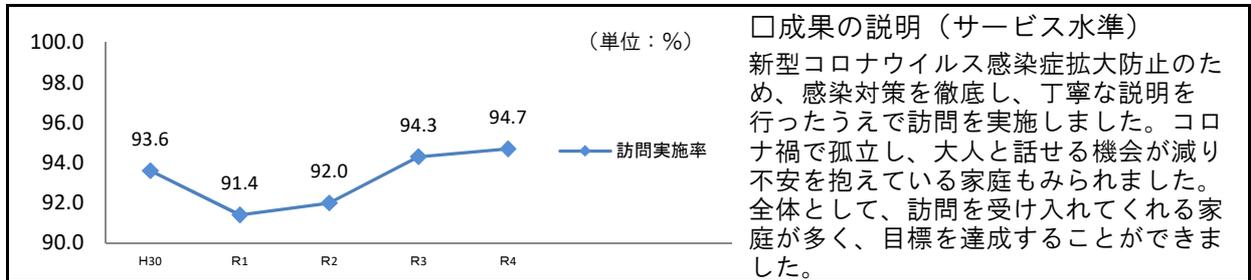
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

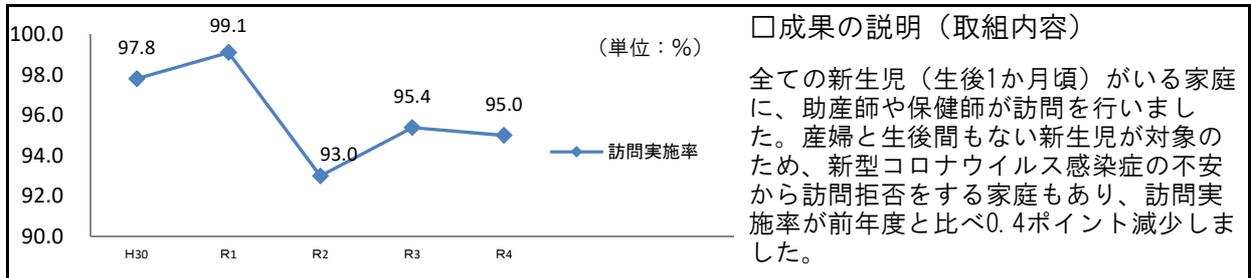
施策番号	1-1-1	実施計画No.	2	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-	
事業名 (補助金名)	母子保健事業					課名	こども相談課		
事業内容	妊産婦及び乳幼児の健康の保持増進を図るため、妊婦健康診査、妊産婦・新生児訪問、かすかべびーず訪問、4か月児健康診査、10か月児健康診査、1歳6か月児健康診査、3歳5か月児健康診査を実施します。					事業開始年度	平成20年度		
						事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	生後4か月頃までの乳児のいる家庭への訪問実施率					現状値 (平成29年度)	91.0%		
現状と課題	生後4か月頃の乳児のいる全家庭を対象に、母子保健推進員が訪問する「かすかべびーず訪問」及び助産師、保健師による「妊産婦・新生児訪問」を行っています。訪問の趣旨を理解してもらい訪問を受け入れてもらうことが課題となっています。								

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	93.4%	93.6%	93.8%	94.0%	94.2%
成果指標の実績値	93.6%	91.4%	92.0%	94.3%	94.7%
達成率	100.2%	97.6%	98.1%	100.3%	100.5%
決算額(千円)	164,942	161,871	159,251	164,862	165,340

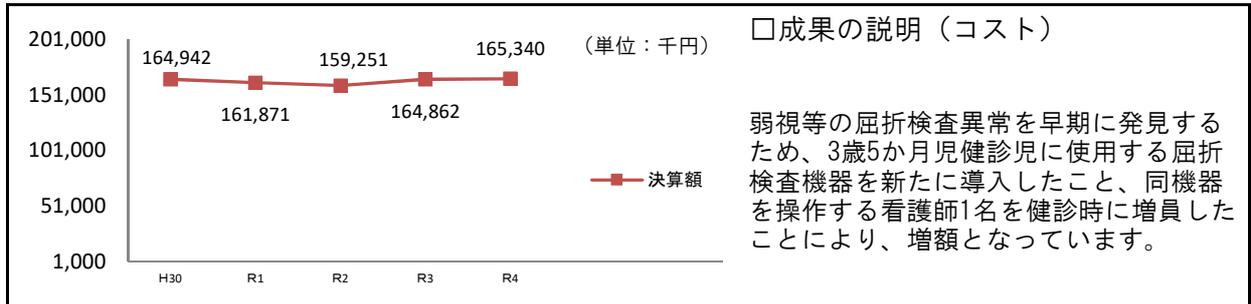
1 生後4か月頃までの乳児のいる家庭への訪問（かすかべびーず訪問）実施率



2 妊産婦・新生児訪問実施率



3 決算額の推移



令和4年度の評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、十分な感染対策を行った上で実施しました。妊産婦・新生児訪問につきましては、訪問ができなかった家庭に、電話や手紙などを送付し、必要な保健指導を行いました。	
今後の方向性	現状維持	今後も、感染症対策に留意しながら、母子保健推進員によるかすかべびーず訪問を継続するとともに、保健師、助産師による妊産婦・新生児訪問を全ての家庭を対象に実施し、妊産婦及び乳幼児の健康保持、増進及び育児支援に努めます。

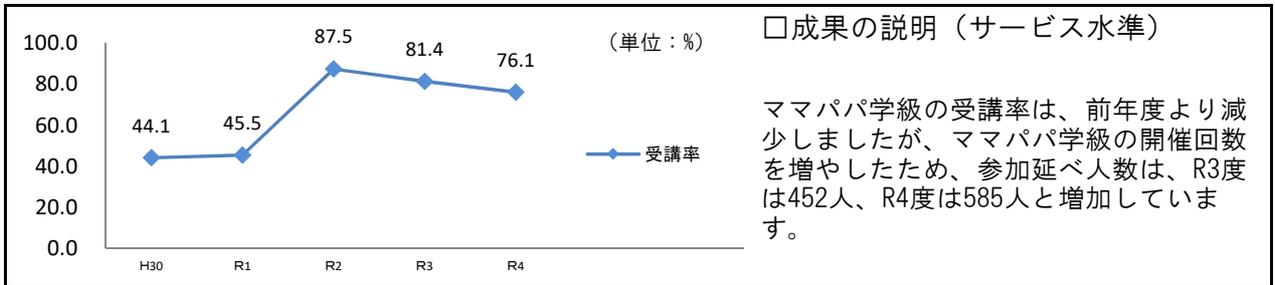
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

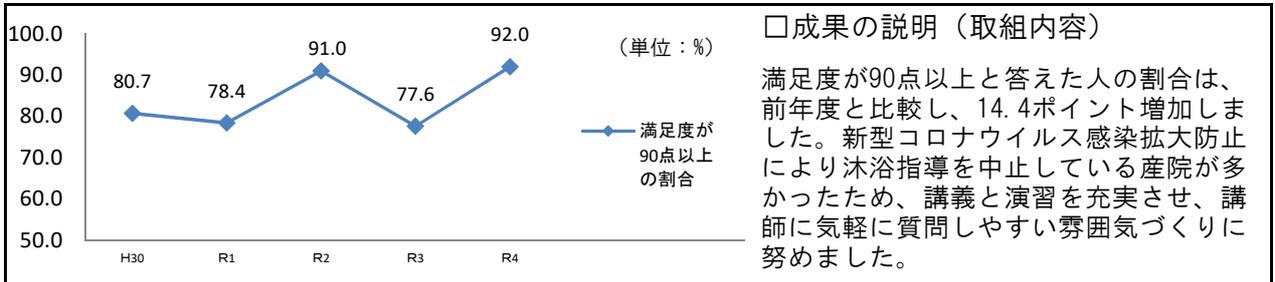
施策番号	1-1-1	実施計画No.	3	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	母子相談事業					課名	こども相談課	
事業内容	保護者の育児不安を解消し、乳幼児の健全な発育発達を促していくために、相談、各種教室、育児支援、保健指導などを拡充し、良好な育児環境を整えられるように継続的に支援します。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	ママパパ学級の受講率				現状値 (平成29年度)	47.8%		
現状と課題	ママパパ学級や孫育て教室、離乳食教室、乳幼児健康相談を開催していますが、ママパパ学級の参加者は減少傾向にあります。ママパパ学級では、妊娠や出産についての講義のほか出産後に行う訪問事業などの各事業についての情報提供も行っています。事業の周知を図るためにも、より多くの方に参加していただくことが課題となっています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	50.0%	51.0%	52.0%	53.0%	54.0%
成果指標の実績値	44.1%	45.5%	87.5%	81.4%	76.1%
達成率	88.2%	89.2%	168.3%	153.6%	140.9%
決算額(千円)	5,398	5,729	4,618	4,947	5,831

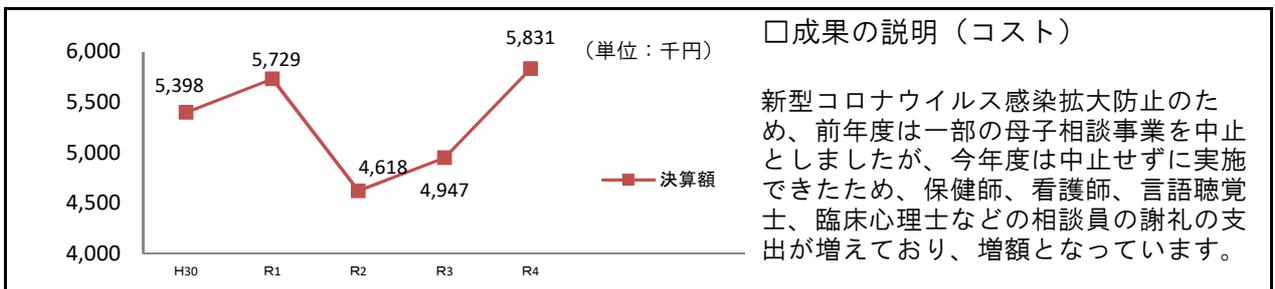
1 ママパパ学級の受講率



2 ママパパ学級のアンケート結果の推移



3 決算額の推移



令和4年度の評価	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、沐浴指導などを中止している産院が多かったため、ママパパ学級の開催回数を増やすとともに、講義と演習の充実にも努めました。	
今後の方向性	現状維持	ママパパ学級は、妊娠、出産、育児に関する講義だけでなく、出産後に行う訪問事業等について情報提供をする貴重な機会でもあります。アンケート結果をふまえ、教室の実施方法等について検討し、受講率と満足度の向上に努めます。

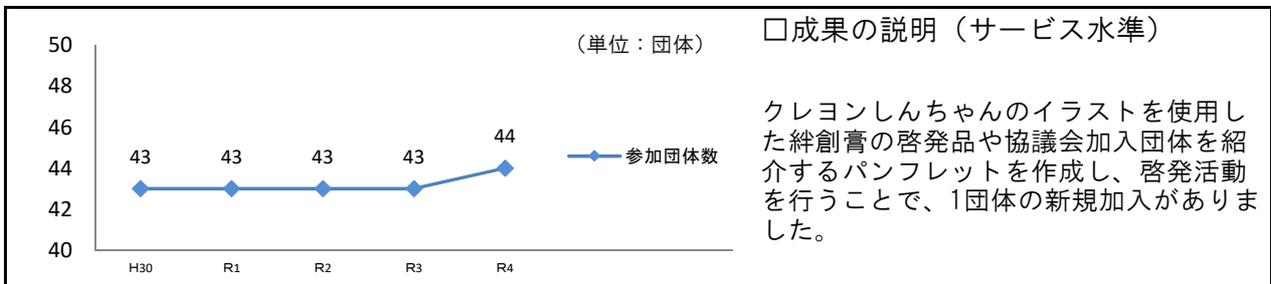
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

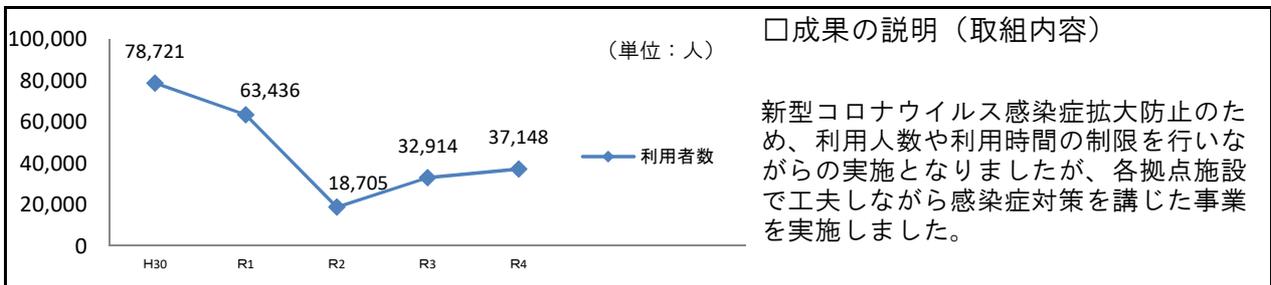
施策番号	1-1-1	実施計画No.	4	重点プロジェクトNo.	①-2	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	地域子育て推進事業				課名	こども政策課		
事業内容	地域で子育てを支援する地域子育て支援拠点施設や子育て支援団体の充実を図るため、子育て支援活動のネットワーク化を推進し、地域全体で子育てを応援します。				事業開始年度	平成21年度		
					事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	地域子育て支援協議会参加団体数				現状値 (平成29年度)	41団体		
現状と課題	核家族化が進むなか、家庭における子育てにかかる負担は大きく、乳幼児を養育する家庭の孤立化を防ぐためにも、地域における子育て支援の充実と併せて、情報提供・相談体制の充実などのきめ細かな支援が求められています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	43団体	44団体	45団体	46団体	47団体
成果指標の実績値	43団体	43団体	43団体	43団体	44団体
達成率	100.0%	97.7%	95.6%	93.5%	93.6%
決算額(千円)	16,115	18,947	19,566	21,536	29,043

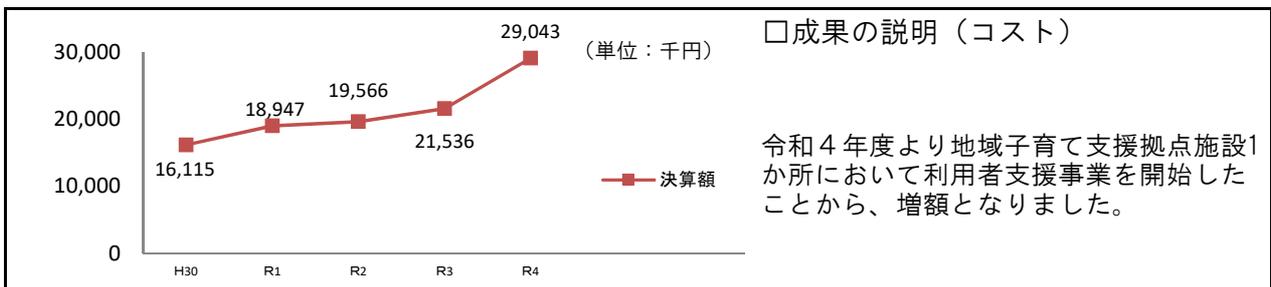
1 地域子育て支援協議会参加団体数の推移



2 地域子育て支援拠点施設延べ利用者数の推移



3 決算額の推移



令和4年度の評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、研修会は開催を中止しましたが、地域子育て支援協議会独自事業である「かすかべM・A・C（マック）子育てホットひろば」については感染防止対策を取りながら開催しました。昨年度と同様にクレヨンしんちゃんのイラストを使用した絆創膏の啓発品を作成し、協議会のパンフレットとともに加入団体に協力いただきながら啓発活動を行うことで新規加入団体を迎えることができました。	
今後の方向性	現状維持	今後も、新型コロナウイルス感染症対策を徹底したうえで、活動を進めていくとともに、様々な方法で情報発信していき、参加団体数の増加に努めます。

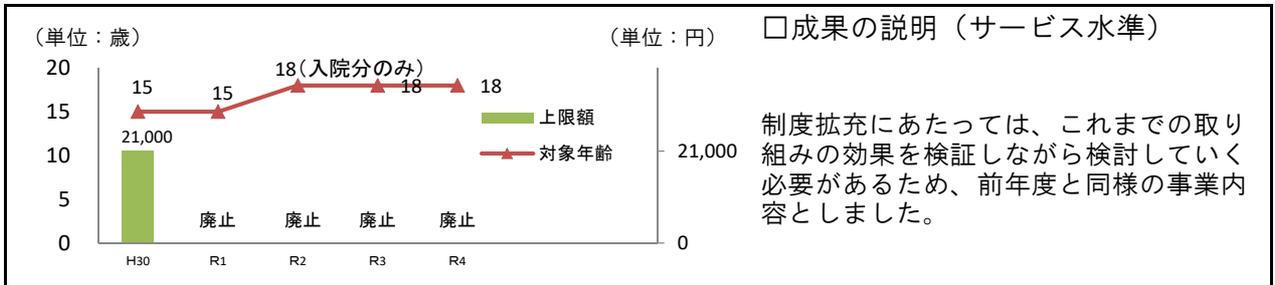
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

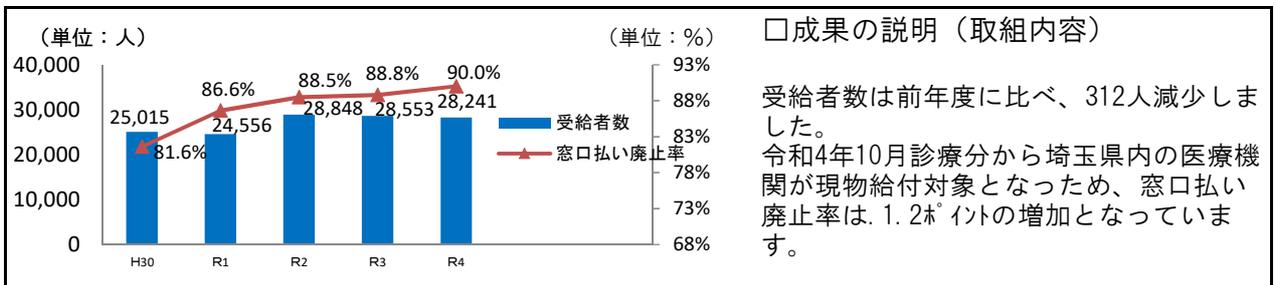
施策番号	1-1-1	実施計画No.	5	重点プロジェクトNo.	①-3	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	こども医療費支給事業					課名	こども政策課	
事業内容	子どもの保健の向上と福祉の増進を図るため、医療費の保険診療における自己負担額を支給します。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	助成対象年齢及び窓口払いが不要となる医療費の上限額				現状値 (平成29年度)	対象年齢：15歳 上限額：21,000円		
現状と課題	これまで、段階的に拡充を図ってきましたが、こどもたちが必要な医療を安心して受けられる環境を整備していくため、更なる医療費助成制度の拡充が求められています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	対象年齢：15歳 上限額：廃止検討	対象年齢：拡充検討 上限額：廃止実施	対象年齢：拡充実施 上限額：廃止実施	対象年齢：拡充実施 上限額：廃止実施	対象年齢：拡充実施 上限額：廃止実施
成果指標の実績値	対象年齢：15歳 上限額：21,000円	対象年齢：拡充検討 上限額：廃止実施	対象年齢：拡充実施(入院) 上限額：廃止実施	対象年齢：拡充実施(入院) 上限額：廃止実施	対象年齢：拡充実施(入院) 上限額：廃止実施
達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
決算額(千円)	673,711	670,191	506,188	577,590	614,740

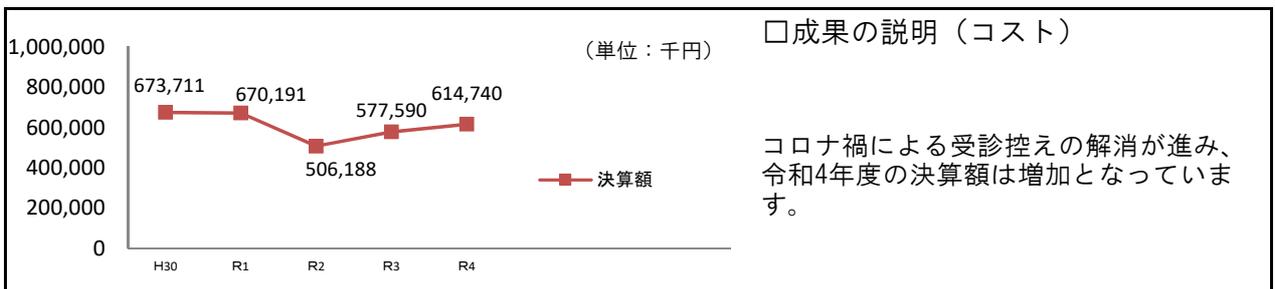
1 助成対象年齢及び窓口払いが不要となる医療費の上限額の推移



2 受給者数及び窓口払い廃止率の推移



3 決算額の推移



令和4年度の評価	令和4年10月診療分からの県内医療機関での窓口払い廃止（現物給付化）を滞りなく開始することができました。	
今後の方向性	現状維持	引き続き、これまでの取り組みの効果を検証しながら、対象年齢の拡充を含め、あらゆる角度から制度充実に向けた検討を進めていきます。

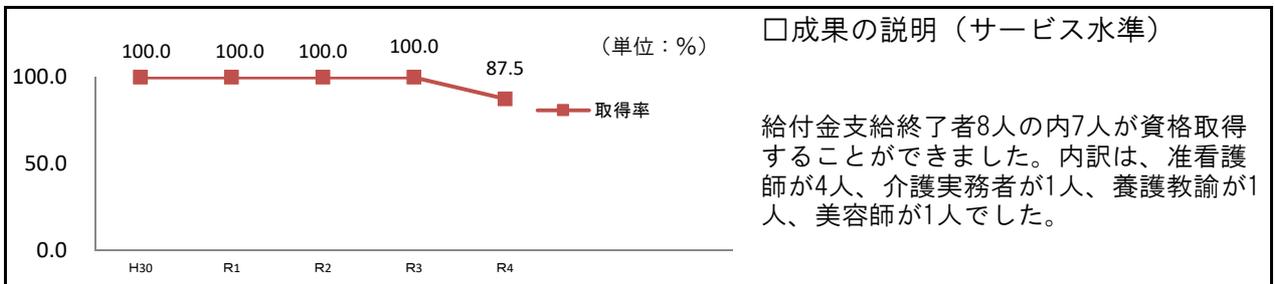
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

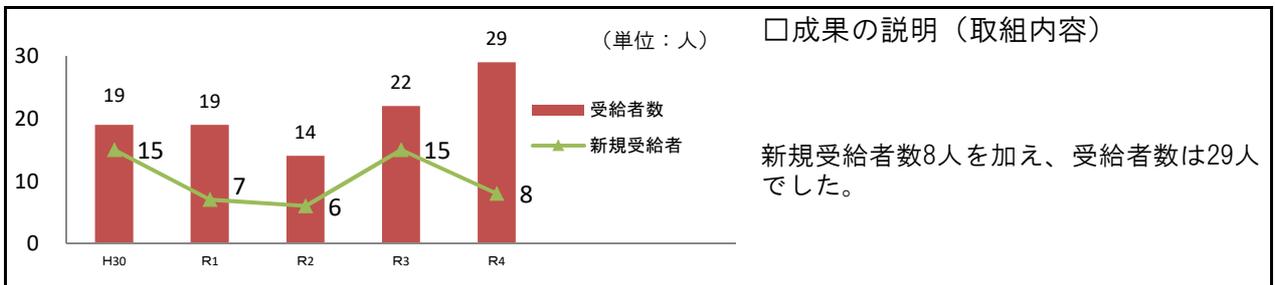
施策番号	1-1-1	実施計画No.	6	重点プロジェクトNo.	①-4	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	母子家庭等自立支援給付金事業					課名	こども政策課	
事業内容	母子家庭等の経済的自立を促進するため、高等技能訓練促進費を支給します。					事業開始年度	平成22年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	高等技能訓練促進費受給者の資格取得率				現状値 (平成29年度)	100.0%		
現状と課題	看護師や介護福祉士などの資格の取得を目指すひとり親家庭で、経済的な理由により、修業が困難な方に、高等職業訓練促進給付金を支給するものです。支給対象範囲が拡充されたことにもない、より一層の制度の周知や活用が求められています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
成果指標の実績値	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	87.5%
達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	87.5%
決算額(千円)	20,678	24,962	18,606	26,845	33,617

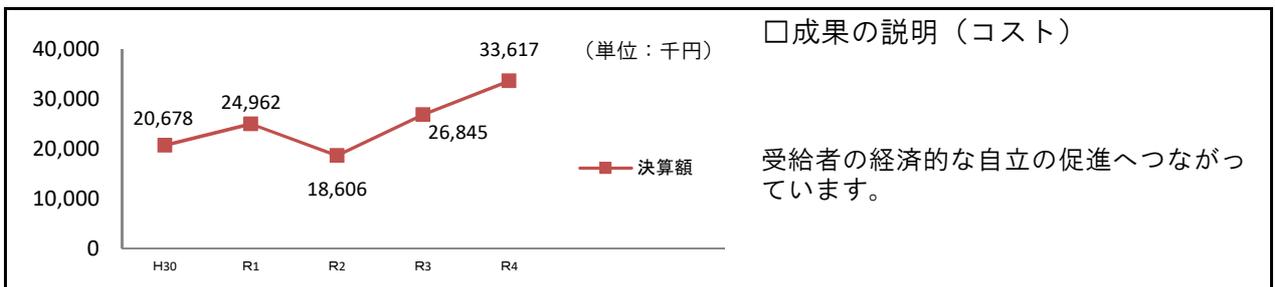
1 高等技能訓練促進費受給者の資格取得率



2 受給者数及び新規受給者数の推移



3 決算額の推移



令和4年度の評価	令和4年度は、給付金支給終了者8人の内7人（准看護師4名、介護実務者1名、養護教諭1名、美容師1名）が資格を取得しており、ひとり親世帯の経済的な自立の一助となっています。	
今後の方向性	現状維持	今後も、母子家庭等の自立促進に向け、児童扶養手当の現況届提出時等の機会を捉えて、制度を周知していきます。

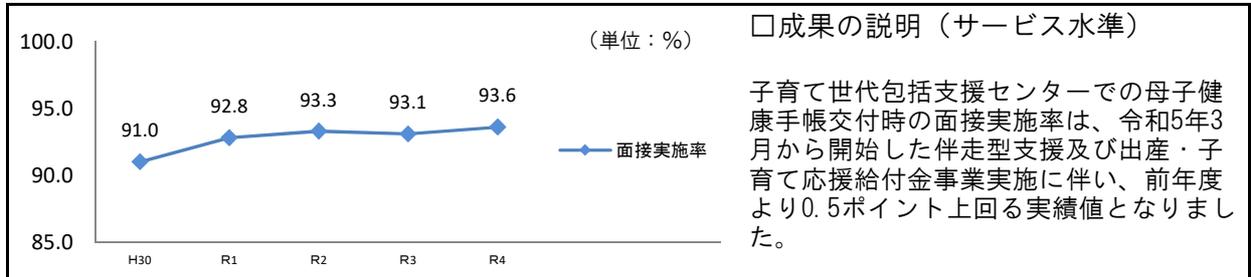
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

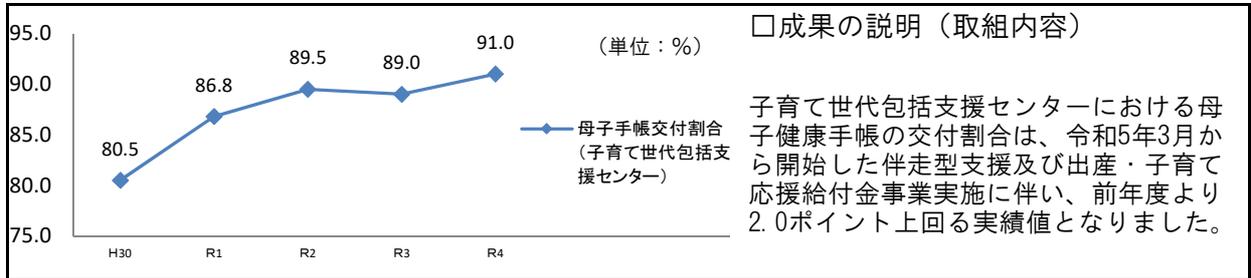
施策番号	1-1-1	実施計画No.	7	重点プロジェクトNo.	①-5	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	子育て世代包括支援センター運営事業					課名	こども相談課	
事業内容	助産師、保健師などの専門職が妊娠や出産、育児についての疑問や相談に対応するとともに、子どもに係る各種手続きなどができるワンストップ窓口を設置し、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行います。					事業開始年度	平成30年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	母子健康手帳交付時の助産師、保健師による面接実施率					現状値 (平成29年度)	平成30年度から	
現状と課題	母子健康手帳の交付時に助産師、保健師が面接を行い、妊婦の心身の状況を把握し、必要に応じて支援プランを作成し、継続した支援を行っています。妊婦の状況を把握するためには、子育て世代包括支援センターでの交付件数を増やしていくことが課題となっています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	85.0%	92.0%	93.0%	94.0%	95.0%
成果指標の実績値	91.0%	92.8%	93.3%	93.1%	97.9%
達成率	107.1%	100.9%	100.3%	99.0%	103.1%
決算額(千円)	4,658	4,955	6,513	6,236	5,140

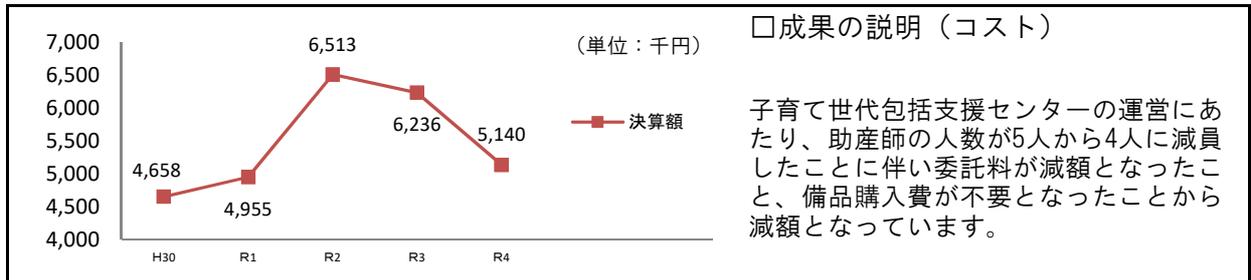
1 母子健康手帳交付時の助産師、保健師による面接実施率



2 母子手帳の交付割合（子育て世代包括支援センター）



3 決算額の推移



令和4年度の評価	子育て世代包括支援センターでの母子健康手帳の交付割合、面接実施率は増加傾向にあります。令和4年3月より出産・子育て応援事業を開始したことにより、面接やアンケートを実施することで、妊産婦などを包括的、継続的に支え、出産や子育てに対する不安の軽減に繋げる体制をより強化することができました。	
今後の方向性	現状維持	引き続き、面接やアンケートを実施し、妊娠期からのきめ細かい支援を行い、安心して子どもを産み育てられる体制づくりに努めます。

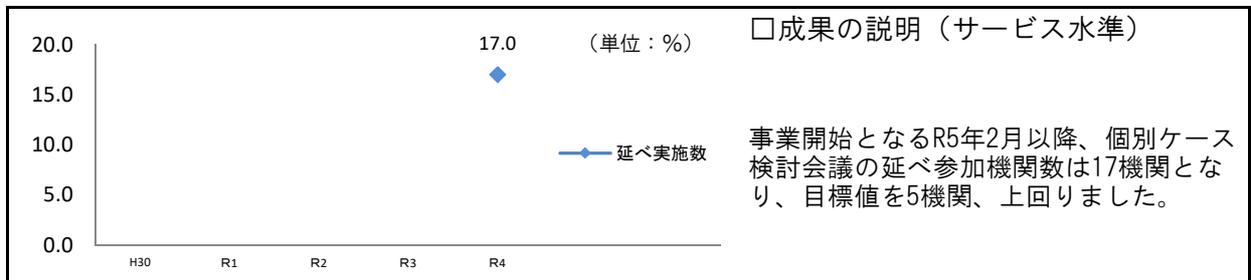
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

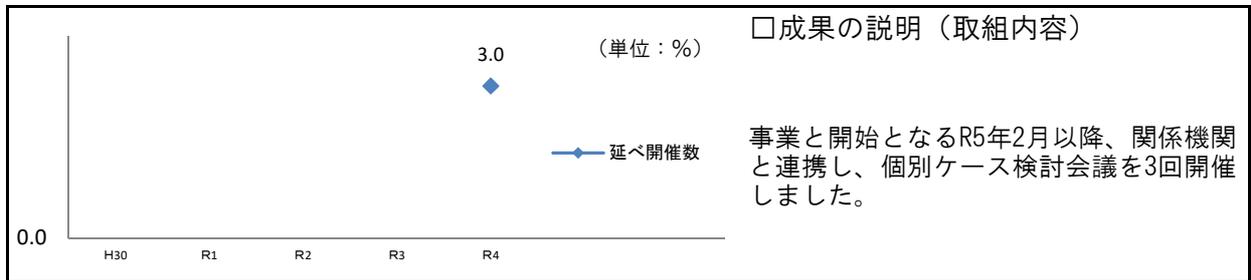
施策番号	1-1-1	実施計画No.	8	重点プロジェクトNo.	①-6	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	子ども家庭総合支援拠点運営事業					課名	こども相談課	
事業内容	子育てで家庭と妊産婦等を対象に、社会福祉士や保健師などの専門職が子育てに関する相談に応じ、必要な調査、情報の提供、訪問等による継続的な支援を行う。					事業開始年度	令和4年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	個別ケース検討会議延べ参加機関数				現状値 (平成29年度)	-		
現状と課題	子育てに関する相談窓口として個別具体的に相談対応を行うほか、相談者に適した各種行政サービスの活用を案内しました。 支援対象家庭の状況把握と、必要な支援や児童虐待要素の発見を目的に活用している、リスク評価シートの改訂が当面の課題となっております。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値					12機関
成果指標の実績値					17機関
達成率					141.7%
決算額(千円)					185

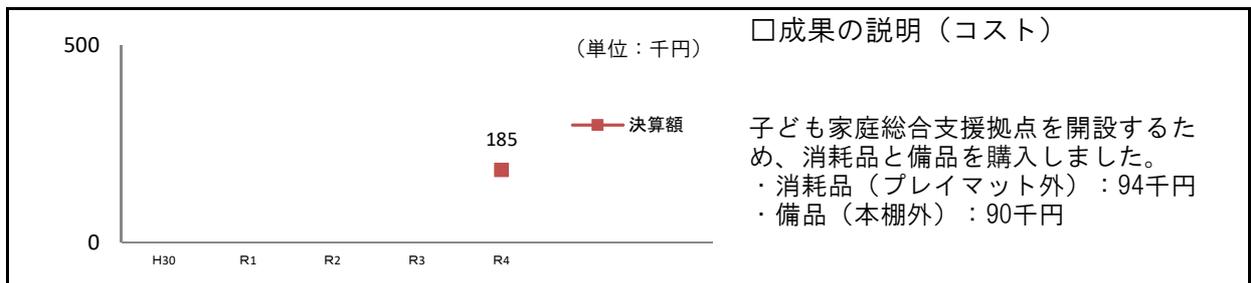
1 母子健康手帳交付時の助産師、保健師による面接実施率



2 母子手帳の交付割合（子育て世代包括支援センター）



3 決算額の推移



令和4年度の評価	必要に応じて個別ケース検討会議を開催し、支援対象家庭に関わる関係機関との連携を図りました。 また、ハイリスクな家庭環境の家庭については、要保護児童対策地域協議会においても支援方針を検討し、検討結果を個別ケース検討会議にフィードバックしました。	
今後の方向性	現状維持	引き続き、子育て家庭と妊産婦等からの相談に対し、社会福祉士や保健師などの専門職がきめ細かく相談に応じるとともに、必要に応じて関係機関と連携し、調査、情報共有、訪問等を行い、継続的な支援に努めます。

【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

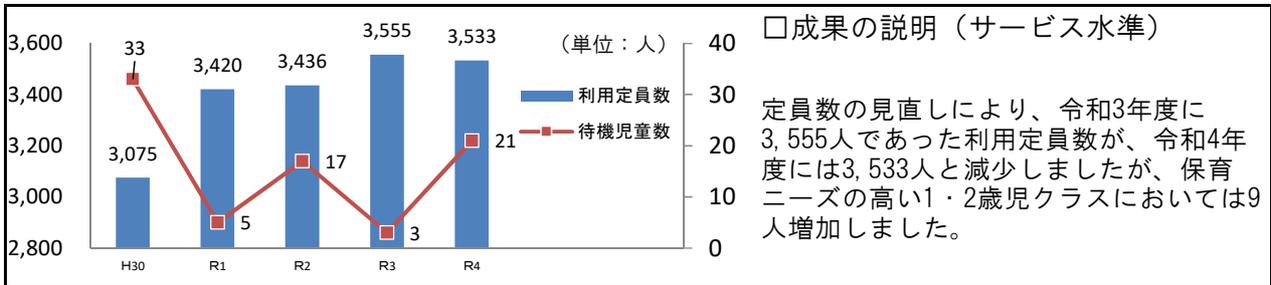
◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

施策番号	1-1-2	実施計画No.	9	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	施設型・地域型保育給付事業					課名	保育課	
事業内容	小学校就学前のお子さまを預かる認定こども園や地域型保育事業などを行う事業者に対し、保育に必要な費用を給付するものです。					事業開始年度	平成27年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	①保育所待機児童数 ②保育所等の利用定員数				現状値 (平成29年度)	①24人 ②2,812人		
現状と課題	令和4年4月の待機児童は21人で、前年度3人から18人の増加となりました。特に1歳児が18人であり、低年齢児の待機児童解消が喫緊の課題となっています。保育ニーズの高まりは依然継続しており、利用定員の確保を計画的に進めていく必要があります。							

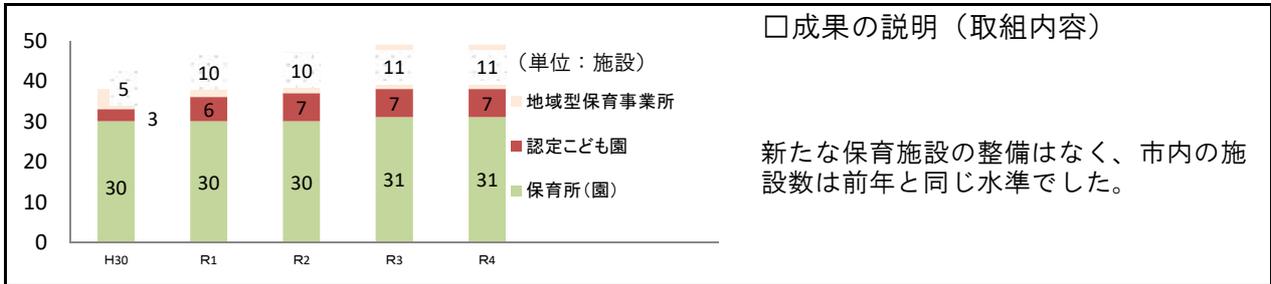
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	①0人 ②3,099人	①0人 ②3,441人	①0人 ②3,460人	①0人 ②3,646人	①0人 ②3,646人
成果指標の実績値	①33人 ②3,075人	①5人 ②3,420人	①17人 ②3,436人	①3人 ②3,555人	①21人 ②3,533人
達成率	①95.9% ②99.2%	①99.4% ②99.4%	①97.8% ②99.3%	①99.6% ②97.5%	①97.3% ②96.9%
決算額(千円)	450,964	934,553	1,173,369	1,202,679	1,264,539

※①保育所待機児童数の現状値・目標値・実績値、②保育所等の利用定員数の現状値・目標値・実績値

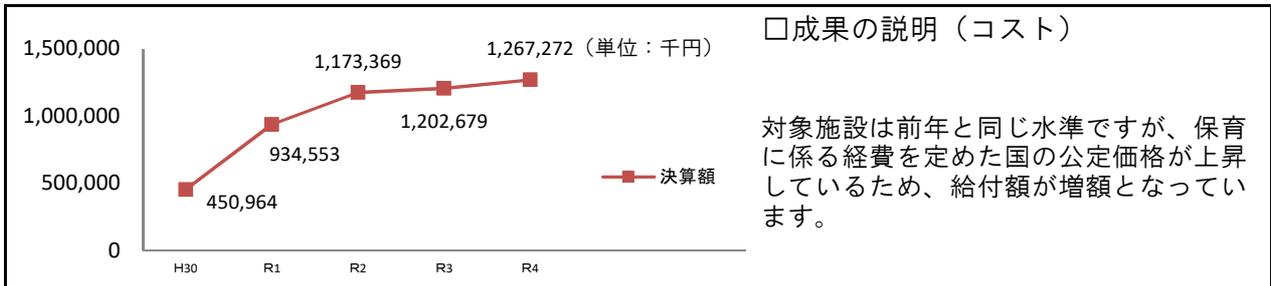
1 保育所待機児童数（保育所等の利用定員数の推移）



2 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業所の施設数の推移



3 決算額の推移



令和4年度の評価	民間保育所（園）において利用定員数の見直しを行い、全体の定員数は22人分減少しましたが、保育ニーズの高い低年齢児においては、1歳児が8人分、2歳児が1人分増加しました。しかしながら、低年齢児への保育ニーズの高まりは依然継続しており、待機児童は前年度と比較し18人増加し、21人となりました。	
今後の方向性	拡充	施設の配置状況や地域の実情を踏まえ、予算の範囲内で必要に応じ、整備園数の見直しを柔軟に進めるなど適切な保育サービスが提供されるよう、引き続き、認定こども園への移行支援など利用定員確保に向けた取組を進め、待機児童ゼロを目指します。

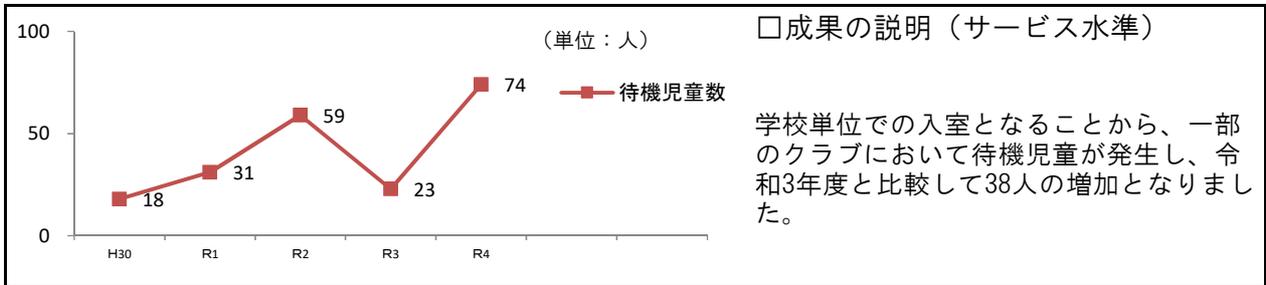
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

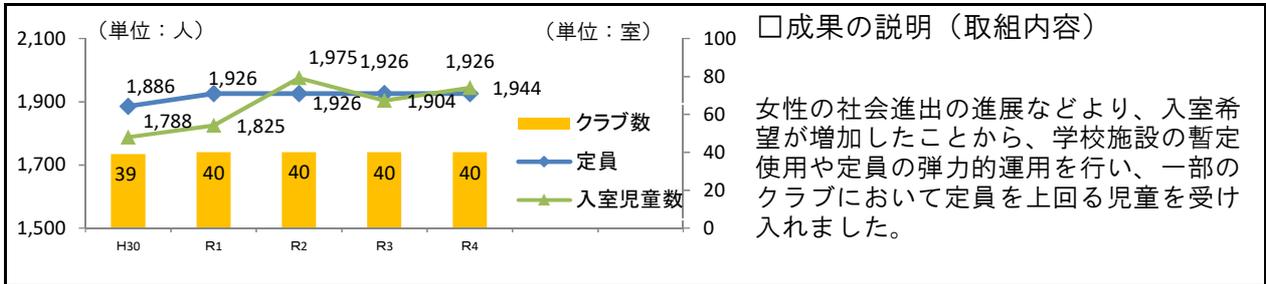
施策番号	1-1-2	実施計画No.	10	重点プロジェクトNo.	①-7	-	補助金No.	35
事業名 (補助金名)	放課後児童健全育成事業					課名	保育課	
事業内容	指定管理者制度を導入している、市内公設の放課後児童クラブの管理運営を行います。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	放課後児童クラブ待機児童数				現状値 (平成29年度)	8人		
現状と課題	近年、女性の社会進出や家庭の就労形態の多様化など、児童を取り巻く環境の変化により、放課後児童クラブに対する利用ニーズは増加傾向にあり、受け入れ態勢の確保とともに、更なるサービスの向上が求められています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	0人	0人	0人	0人	0人
成果指標の実績値	18人	31人	59人	23人	74人
達成率	99.0%	98.4%	96.9%	98.8%	96.2%
決算額(千円)	369,738	434,321	466,341	450,139	523,684

1 放課後児童クラブ待機児童数の推移



2 放課後児童クラブの定員、入室児童数及びクラブ数の推移



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	令和4年度も定員を上回る入室希望者があり、教育委員会や学校と連携を図り学校施設の暫定利用や定員の弾力的運用を行い、受け入れ児童の増加を図りましたが、一部のクラブにおいて待機児童が発生しました。
今後の 方向性	現状維持 小学校の児童数は減少傾向にあるものの、放課後児童クラブの入室希望者数は増加傾向にあることから、引き続き保育需要の把握及び児童の受入環境の整備に努めるとともに、指定管理者による管理運営のメリットを活かし、更なる保育サービスの質の向上を目指します。

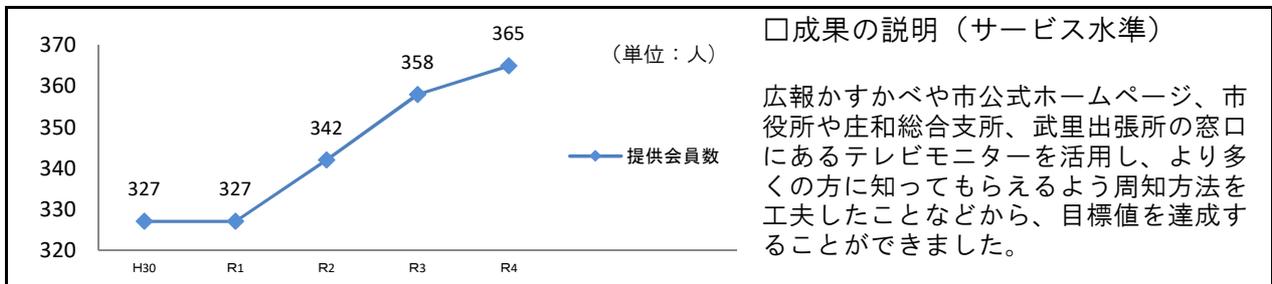
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

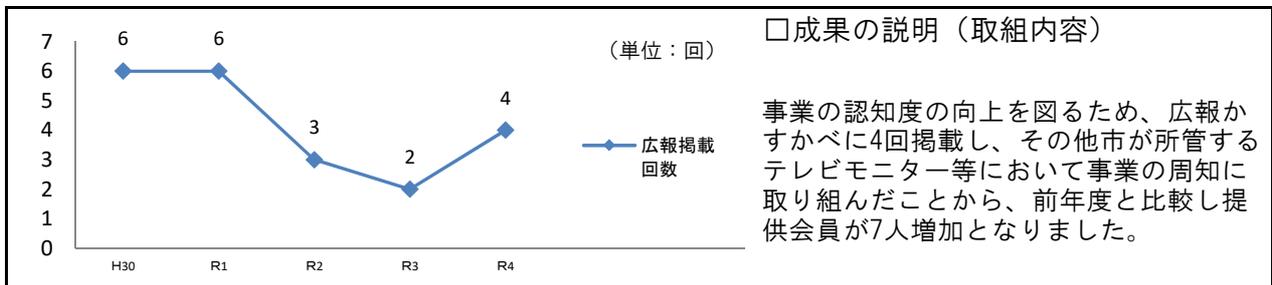
施策番号	1-1-2	実施計画No.	11	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	ファミリー・サポート事業					課名	こども政策課	
事業内容	地域において、育児サービスを提供する人と依頼したい人が会員となつて、会員相互による育児援助活動を支援します。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	ファミリー・サポート・センター提供会員数				現状値 (平成29年度)	323人		
現状と課題	近年の活動件数については、おおむね一定で推移しています。また、提供会員と依頼会員との良好な関係作りがなされています。今後は依頼会員のニーズに応じたサービスの提供や提供会員を増やすことが課題となっています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	329人	335人	341人	347人	353人
成果指標の実績値	327人	327人	342人	358人	365人
達成率	99.4%	97.6%	100.3%	103.2%	103.4%
決算額(千円)	9,064	9,044	9,259	9,314	8,819

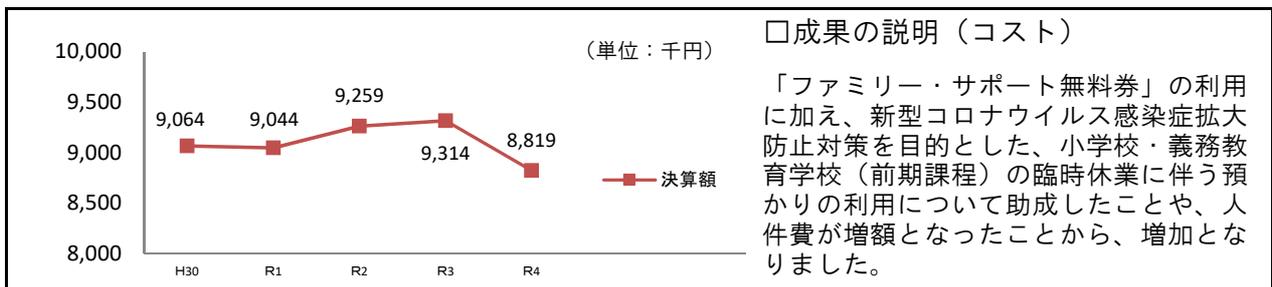
1 ファミリー・サポート・センター提供会員数の推移



2 事業の周知活動件数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	広報かすかべや市公式ホームページ、市が所管するテレビモニターなどで、事業の周知を行ったことにより、提供会員数は令和3年度の358人から令和4年度は365人に増加し、目標値を達成することができました。新型コロナウイルス感染症の影響により保護者の働き方も多様化してきていることから、様々なニーズに応えられるサービスの提供体制の充実を図ることができたと考えます。	
今後の方向性	現状維持	今後も、より多くの子育て世帯に利用して頂くため、引き続き、関係機関と連携を図りながら、事業の周知を図るとともに、依頼会員のニーズに応じたサービスの提供に努めます。

【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

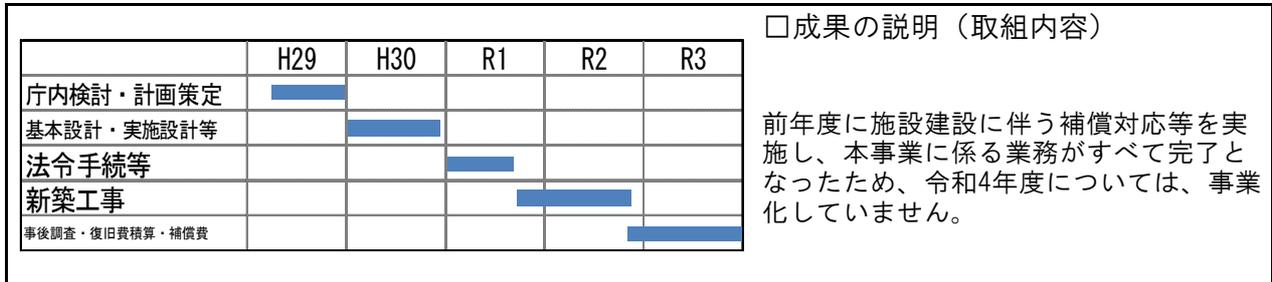
施策番号	1-1-2	実施計画No.	12・46	重点プロジェクトNo.	①-8	①-37	補助金No.	-	
事業名 (補助金名)	複合型子育て支援施設整備事業					課名	保育課		
事業内容	保育所（病児保育事業対応）及び児童発達支援センターの複合施設を整備し、令和3年4月開所を目指すものです。					事業開始年度	平成30年度		
						事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	保育所等の利用定員数					現状値 (平成29年度)	2,812人		
現状と課題	令和3年度をもって事業が完了しています。								

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	3,099人	3,441人	3,460人	3,646人	3,646人
成果指標の実績値	3,075人	3,420人	3,436人	3,555人	3,533人
達成率	99.2%	99.4%	99.3%	97.5%	96.9%
決算額(千円)	72,407	116,878	9,710,544	22,111	—

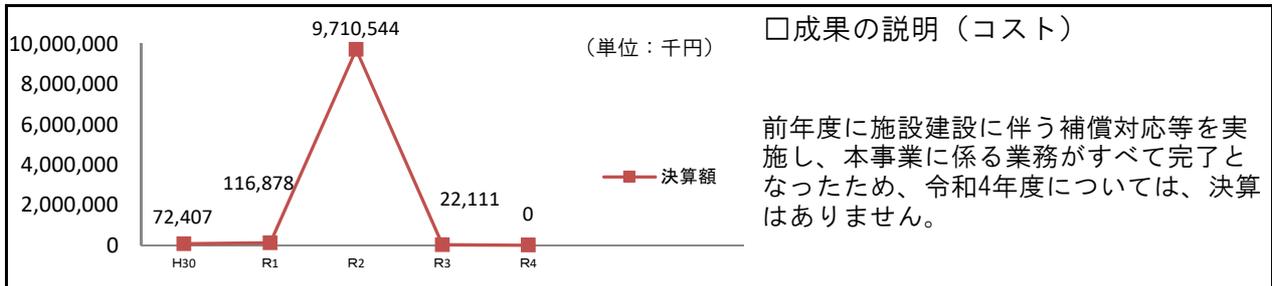
1 保育所等の利用定員数の推移



2 事業の進捗状況



3 決算額の推移



令和4年度の評価	前年度に本事業に係る業務がすべて終了となり、令和4年度も含め、今後本事業の実施はありません。	
今後の方向性	現状維持	県内初の複合型子育て支援施設として、保育所と児童発達支援センターの一体的な運営によるインクルーシブ保育の実践に取り組んでいくと共に、指定管理者と連携し、地域に根差した施設運営を目指します。

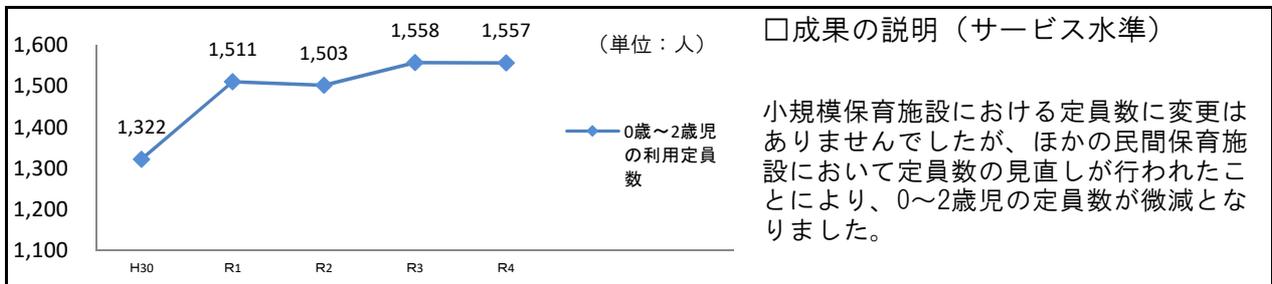
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

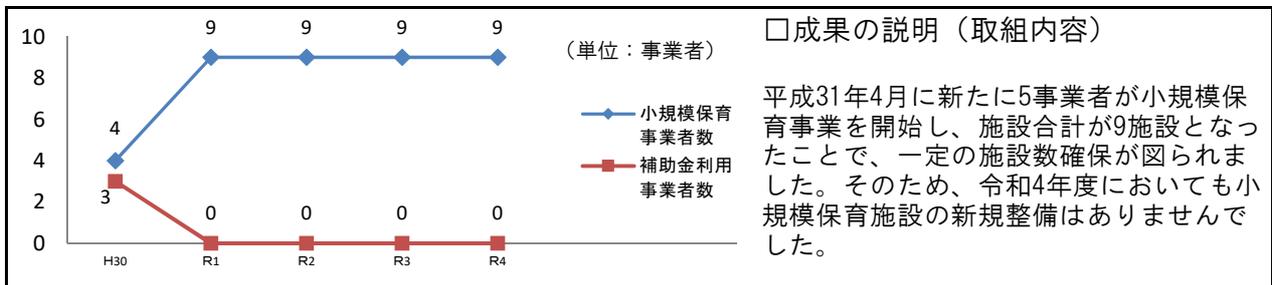
施策番号	1-1-2	実施計画No.	13	重点プロジェクトNo.	①-9	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	小規模保育改修費等補助金					課名	保育課	
事業内容	賃貸物件を活用した小規模保育事業を実施する事業者に対し、改修費や賃借料の一部を補助するものです。					事業開始年度	平成29年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	保育所等における0歳～2歳児の利用定員数					現状値 (平成29年度)	1,191人	
現状と課題	全国的な保育ニーズの高まりを背景に、本市の保育所等における待機児童数は増加傾向にあり、その解消が喫緊の課題となっています。特に本市の待機児童数の約9割が0歳児から2歳児という現状を踏まえ、入所定員数の確保が急務となっています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	1,322人	1,511人	1,548人	1,594人	1,594人
成果指標の実績値	1,322人	1,511人	1,503人	1,558人	1,557人
達成率	100.0%	100.0%	97.1%	97.7%	97.6%
決算額(千円)	44,285	-	-	-	-

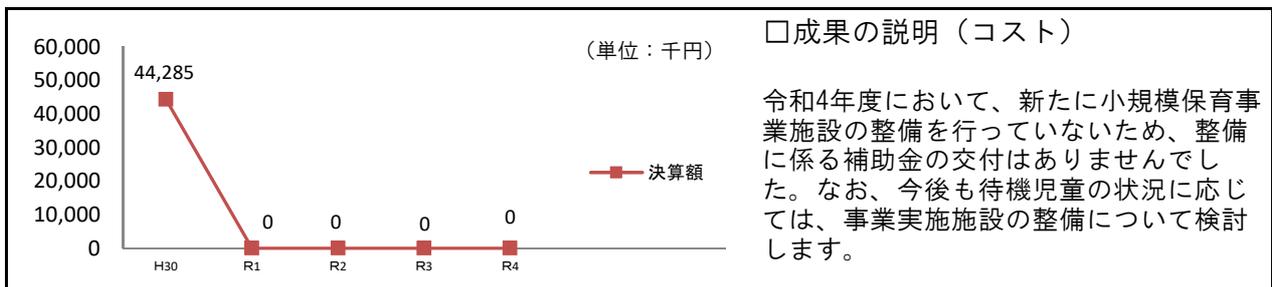
1 保育所等における0歳～2歳児の利用定員数の推移



2 小規模保育事業者数と補助金利用事業者数の推移



3 決算額の推移



令和4年度の評価	平成31年4月に新たに5施設の小規模保育事業が開業され、施設合計が9施設となり、一定の施設数確保が図られたことにより、令和4年度においても新規の整備はありませんでした。今後も待機児童の状況を勘案し、既存施設を活用した小規模保育事業の整備の可能性も含め、幼稚園から認定こども園への移行支援などにより定員の確保に努めます。	
今後の方向性	現状維持	今後の0歳児から2歳児の利用希望の推移や保護者の働き方などの状況を勘案し、待機児童ゼロを目指します。

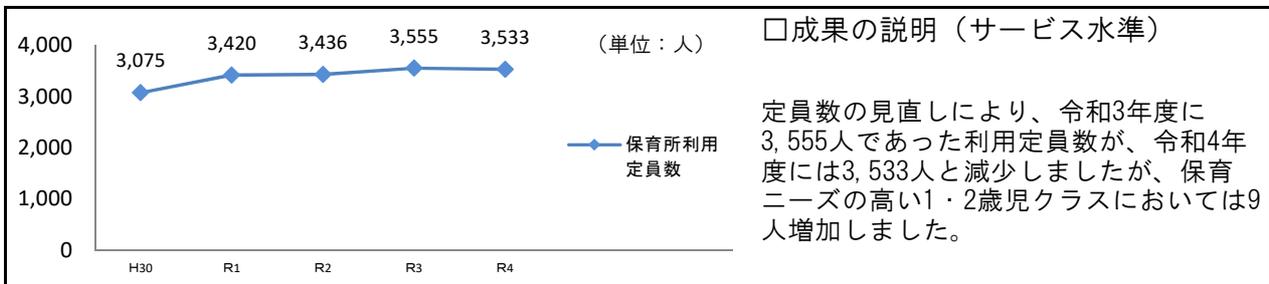
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

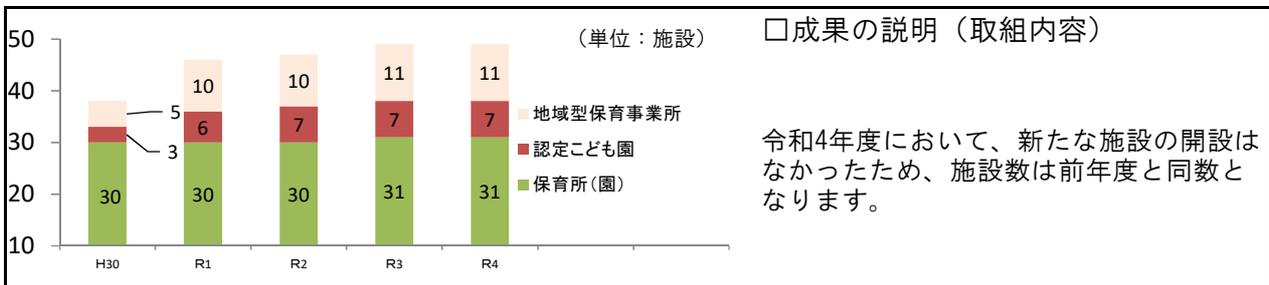
施策番号	1-1-2	実施計画No.	14	重点プロジェクトNo.	①-10	-	補助金No.	41
事業名 (補助金名)	特定教育・保育施設等整備事業費補助金					課名	保育課	
事業内容	幼稚園から認定こども園へ移行する施設に対し、施設整備に係る費用の一部を補助するものです。					事業開始年度	平成30年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	保育所等の利用定員数				現状値 (平成29年度)	2,812人		
現状と課題	全国的な保育ニーズの高まりを背景に、本市の保育所等における待機児童数は増加傾向にあり、その解消が喫緊の課題となっています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	3,099人	3,441人	3,460人	3,646人	3,646人
成果指標の実績値	3,075人	3,420人	3,436人	3,555人	3,533人
達成率	99.2%	99.4%	99.3%	97.5%	96.9%
決算額(千円)	541,252	117,067	—	—	—

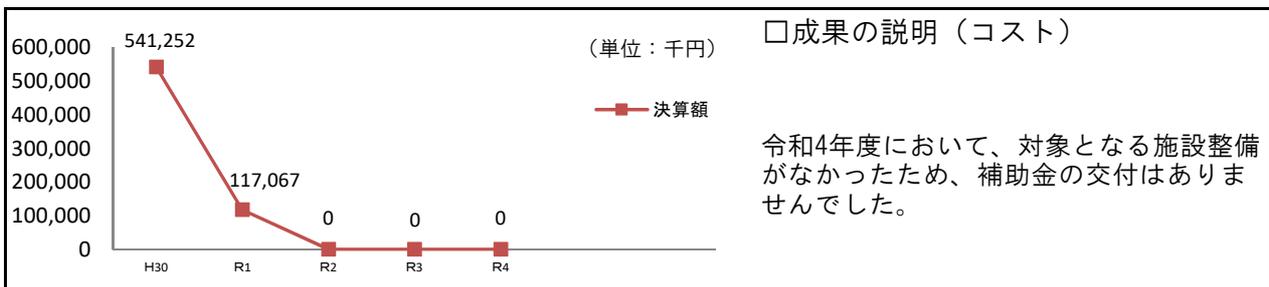
1 保育所等の利用定員数の推移



2 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業所の施設数の推移



3 決算額の推移



令和4年度の評価	令和4年度においては、対象となる施設がなかったため、整備に係る補助は実施しませんでした。なお、今後も私立幼稚園から認定こども園への移行支援を継続して行っています。	
今後の方向性	現状維持	本市の待機児童数や施設の入所状況などを踏まえ、予算の範囲内で必要に応じ、認定こども園への移行施設数の見直しを柔軟に進めるなど、適切な保育サービスが提供されるよう、引き続き、利用定員確保に向けた取組を進め、待機児童ゼロを目指します。

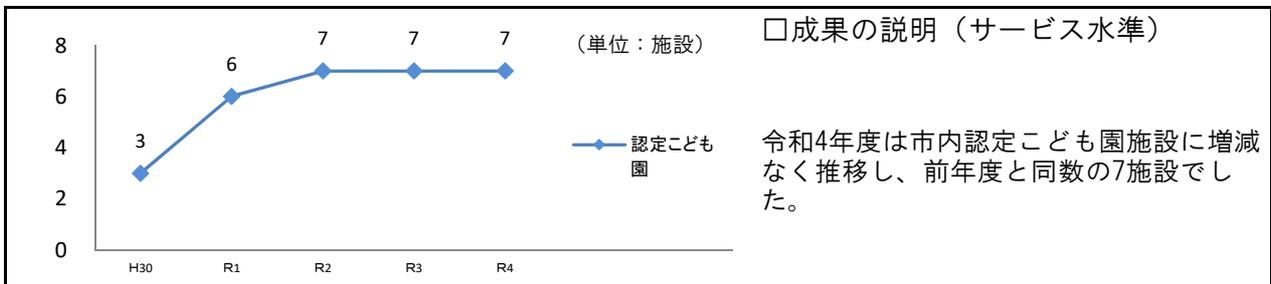
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

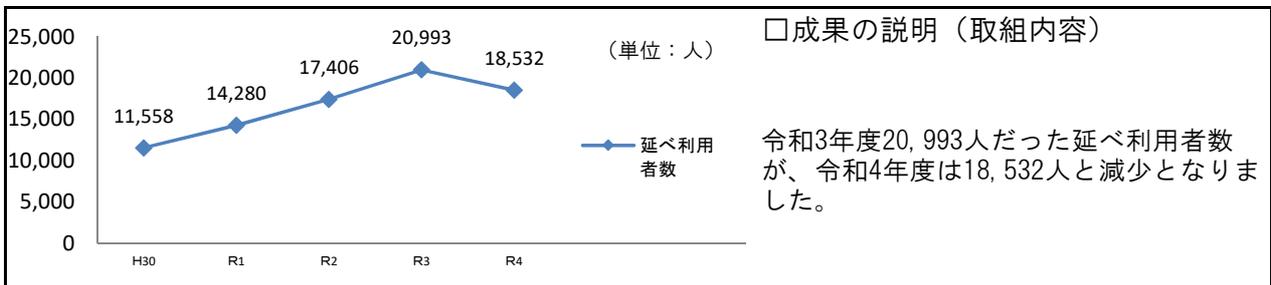
施策番号	1-1-2	実施計画No.	15	重点プロジェクトNo.	①-11	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	施設型給付一時預かり事業					課名	保育課	
事業内容	保護者が教育を希望する満3歳以上の園児を対象に行う一時預かり事業について、施設型給付を受ける認定こども園に委託するものです。					事業開始年度	平成27年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	市内認定こども園数				現状値 (平成29年度)	2施設		
現状と課題	短時間での就労を希望する保護者に対する支援が課題となっています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	3施設	6施設	8施設	8施設	8施設
成果指標の実績値	3施設	6施設	7施設	7施設	7施設
達成率	100.0%	100.0%	87.5%	87.5%	87.5%
決算額(千円)	5,748	10,294	16,735	20,904	17,067

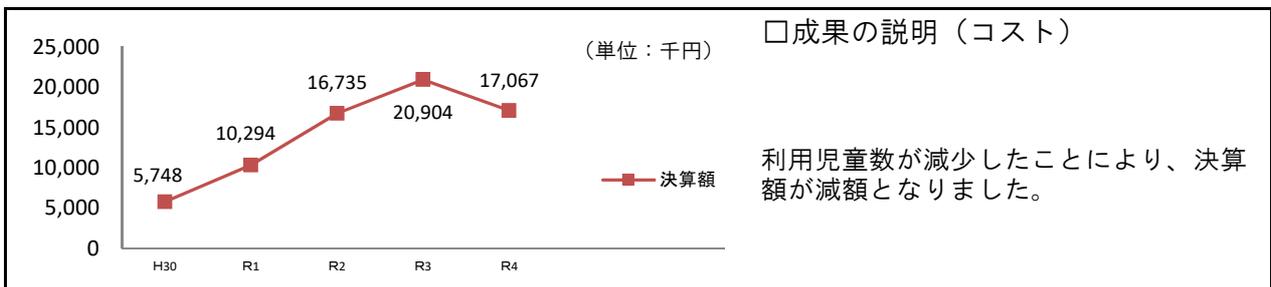
1 市内認定こども園数の推移



2 一時預かり事業利用児童数の推移



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	令和3年度と比較して延べ利用者数、決算額の減少がみられましたが、パートなど短時間で働く保護者への支援を行うことができ、多様な保育ニーズへの対応が図れました。	
今後の 方向性	現状維持	私立幼稚園から認定こども園へ移行する施設への支援を進めるとともに、幼児教育・保育の無償化の対象となったことを利用児童拡充の機会と捉え、積極的な事業周知などにより、引き続き一時預かり事業の拡充を図っていきます。

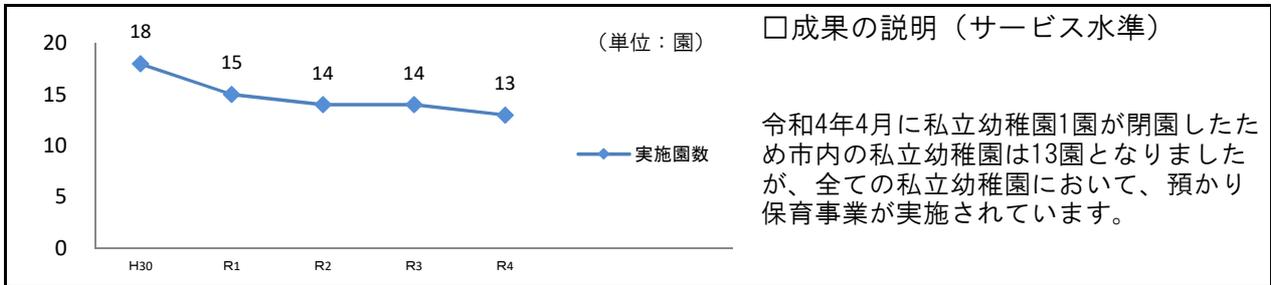
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

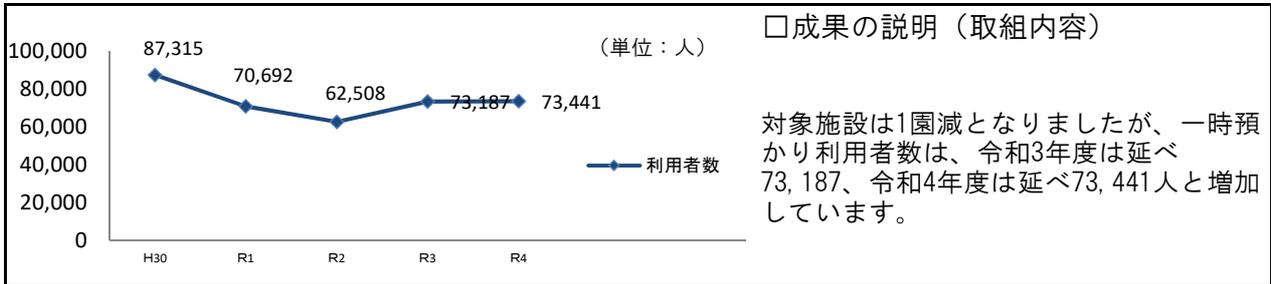
施策番号	1-1-2	実施計画No.	16	重点プロジェクトNo.	①-12	-	補助金No.	37
事業名 (補助金名)	私立幼稚園預かり保育事業費補助金					課名	保育課	
事業内容	通常の教育時間（1日4時間）の前後の時間外に預かり保育を実施する市内私立幼稚園設置者に対し、補助金を交付するものです。					事業開始年度	平成22年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	実施園数				現状値 (平成29年度)	19園		
現状と課題	短時間での就労を希望する保護者に対する支援が課題となっています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	18園	15園	13園	13園	13園
成果指標の実績値	18園	15園	14園	14園	13園
達成率	100.0%	100.0%	107.7%	107.7%	100.0%
決算額(千円)	4,320	3,600	3,360	3,360	3,120

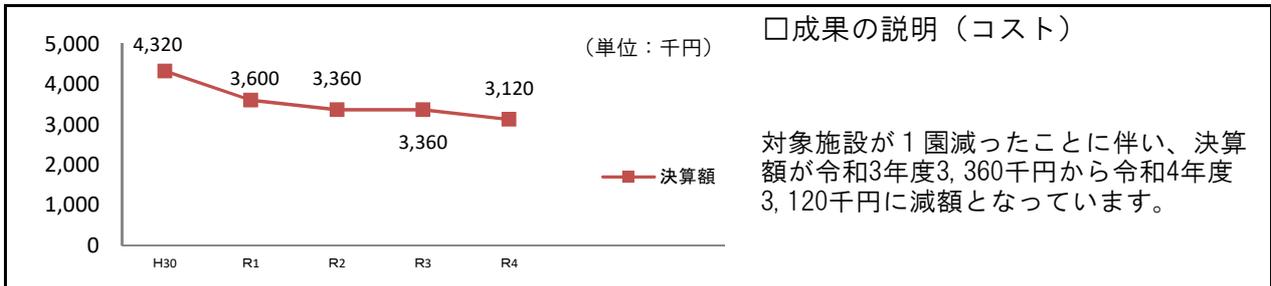
1 実施園数の推移



2 一時預かり利用者数の推移



3 決算額の推移



令和4年度の評価	市内全ての私立幼稚園において預かり保育事業を実施していることから、パートなど短時間で働く保護者への支援を行うことができ、多様な保育ニーズへの対応が図れました。	
今後の方向性	現状維持	幼稚園から認定こども園への移行が進んでいることから、預かり保育事業の利用者数は減少傾向にあります。なお、幼稚園の預かり保育事業は、令和元年10月に開始された幼児教育・保育の無償化の対象とされていることから、多様な保育ニーズへの対応を図るとともに、引き続き、保護者の就労支援や子育て支援を行います。

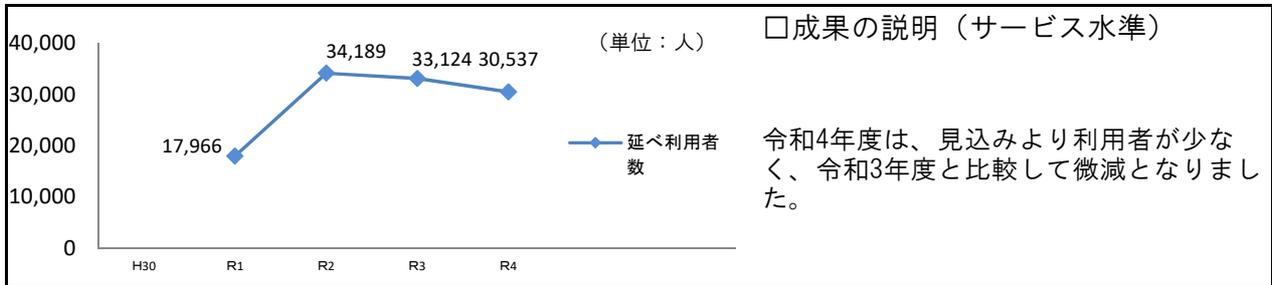
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

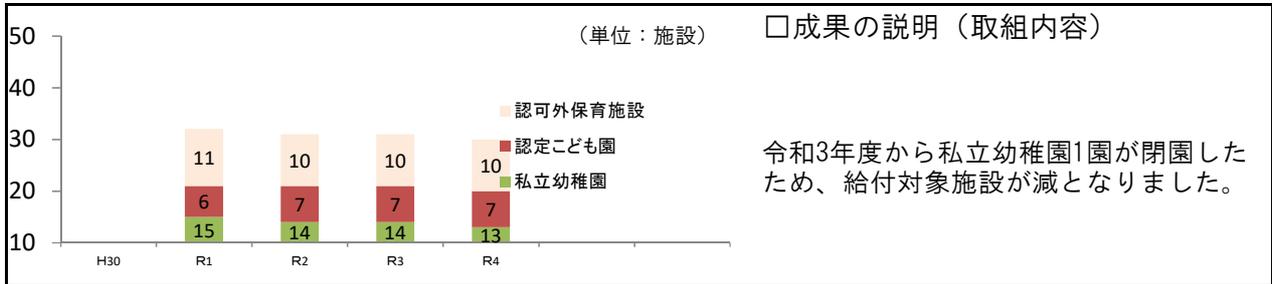
施策番号	1-1-2	実施計画No.	17	重点プロジェクトNo.	①-13	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	子育てのための施設等利用給付負担金					課名	保育課	
事業内容	私立幼稚園、認定こども園（教育利用）、認可外保育施設等の保育料や利用料等について、一定の条件を満たす保護者に対し、負担金を交付するものです。					事業開始年度	令和元年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	延べ利用者数				現状値 (平成30年度)	-		
現状と課題	幼児教育・保育の無償化の実施により全国的に保育ニーズは高まっており、引き続き子育て世帯の負担軽減のため、経済的な支援が必要となります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	-	20,000人	20,500人	21,000人	21,500人
成果指標の実績値	-	17,966人	34,189人	33,124人	30,537人
達成率	-	89.8%	166.8%	157.7%	142.0%
決算額(千円)	-	389,977	727,487	694,523	658,007

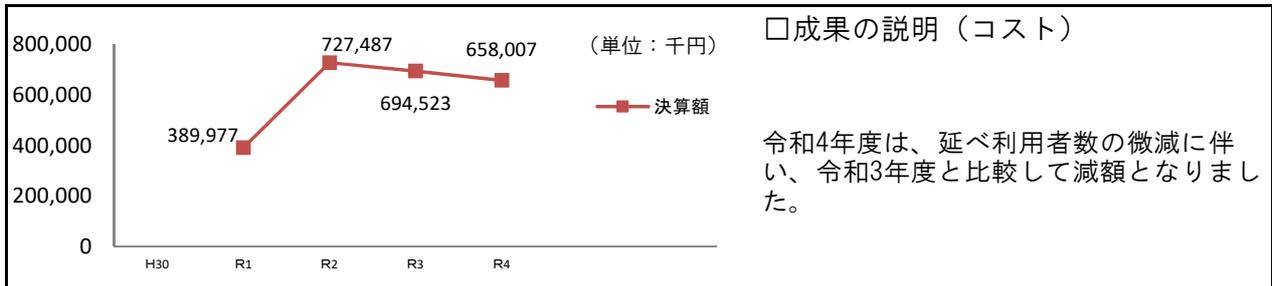
1 延べ利用者数の推移



2 対象となる市内の施設数推移



3 決算額の推移



令和4年度の評価	私立幼稚園、認定こども園、認可外保育施設等の利用料等について、負担金として交付することにより、保護者の経済的負担の軽減が図られました。	
今後の方向性	現状維持	幼児教育・保育の無償化の対象となったことを利用児童拡充の機会と捉え、積極的に事業周知を実施するとともに、多様な保育ニーズへの対応を図りながら引き続き、保護者の経済的支援を行います。

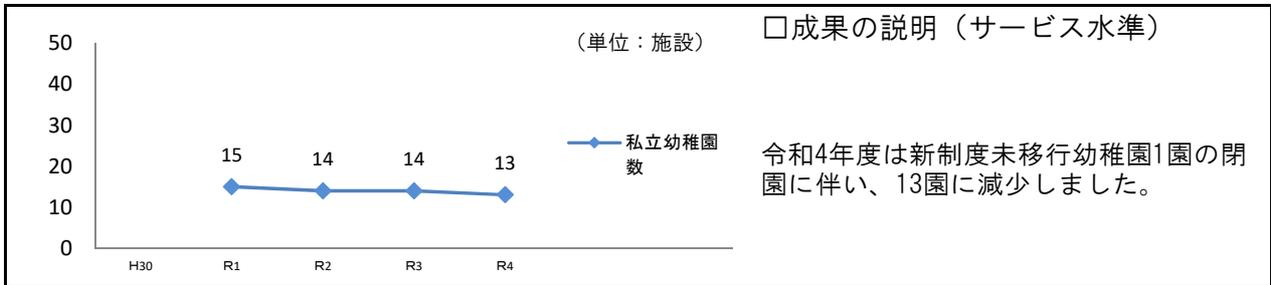
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

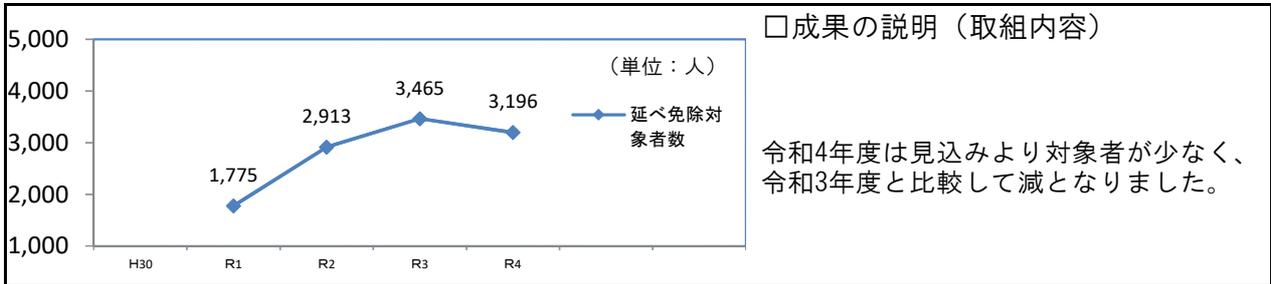
施策番号	1-1-2	実施計画No.	18	重点プロジェクトNo.	①-14	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	実費徴収に係る補足給付事業					課名	保育課	
事業内容	幼児教育・保育の無償化に伴い、私立幼稚園に通園する多子世帯等を対象に副食材料費を補助するものです。					事業開始年度	令和元年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	私立幼稚園数（新制度未移行幼稚園）				現状値 (平成30年度)	—		
現状と課題	幼児教育・保育の無償化の実施により全国的に保育ニーズは高まっており、引き続き子育て世帯の負担軽減のため、経済的な支援が必要となります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	—	15園	14園	14園	13園
成果指標の実績値	—	15園	14園	14園	13園
達成率	—	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
決算額(千円)	—	5,889	9,324	10,724	5,236

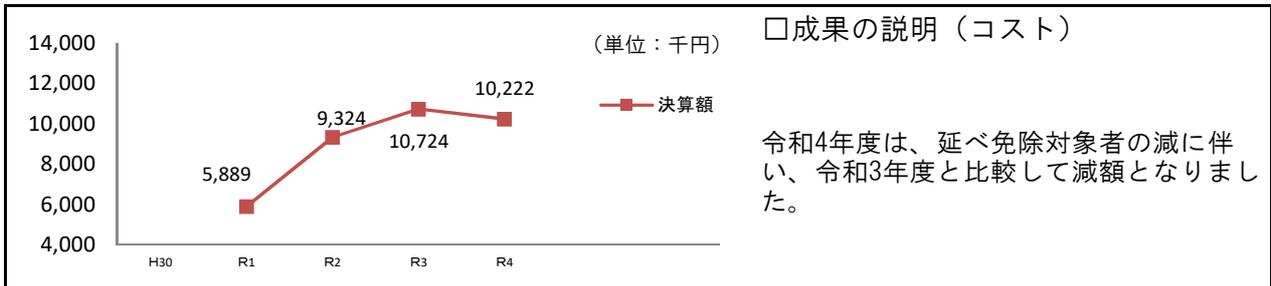
1 私立幼稚園数（新制度未移行幼稚園）の推移



2 延べ免除対象者数の推移



3 決算額の推移



令和4年度の評価	低所得者世帯または多子世帯の子どもが幼稚園を利用する場合に、保護者が支払うべき副食材料費に要する費用を助成することにより、保護者の経済的負担の軽減が図られました。	
今後の方向性	現状維持	私立幼稚園から認定こども園への移行について、引き続き支援するとともに、子育て世帯の負担軽減を図るため、今後も本事業を継続して実施していきます。

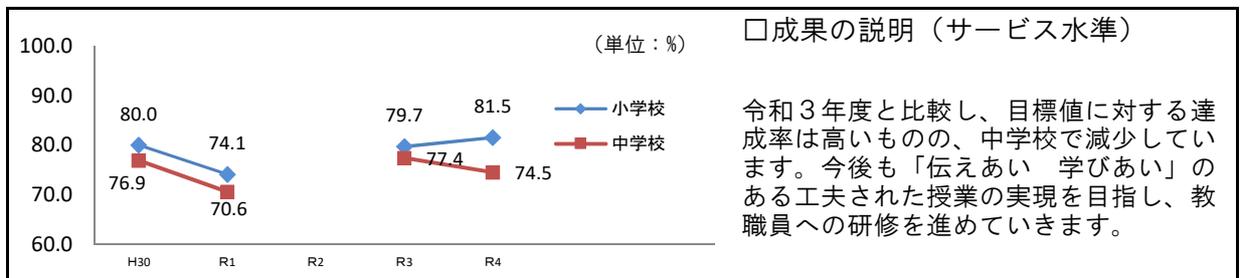
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

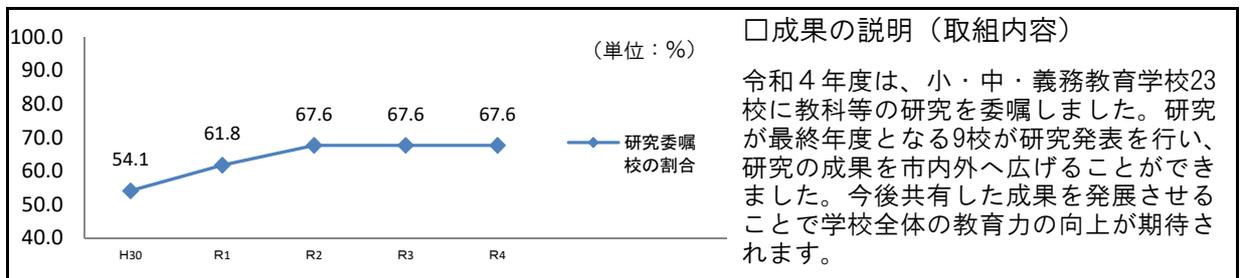
施策番号	1-2-1	実施計画No.	19	重点プロジェクトNo.	①-15	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	特色ある教育推進事業					課名	指導課	
事業内容	「小学校英語教育」「理科教育」「芸術文化活動」「読書活動」など、確かな学力をはぐくみ、特色ある教育活動に対して支援を行います。					事業開始年度	平成23年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	「伝え合い 学び合い」に取り組む授業の普及する割合 (上段：小学・下段：中学)					現状値 (平成29年度)	74.1% 66.7%	
現状と課題	魅力ある学校づくりのため、教育委員会からの各教科等の研究委嘱、美術や硬筆等の展覧会を実施しています。感染症拡大防止のため、中止となった展覧会・研究発表などがありました。オンラインでの開催など今までにはない工夫を取り入れ、児童生徒の作品展示や、地域や社会とつながる教育活動を展開してきました。今後は、よりいっそう家庭・地域と連携した特色ある教育活動を目指し、人的・物的支援を行う必要があると考えます。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	73.0%	75.0%	77.0%	79.0%	80.0%
	67.0%	69.0%	71.0%	73.0%	75.0%
成果指標の実績値	80.0%	74.1%	—	79.7%	81.5%
	76.9%	70.6%	—	77.4%	74.5%
達成率	109.6%	98.8%	—	100.9%	101.9%
	114.8%	102.3%	—	106.0%	99.3%
決算額(千円)	28,029	26,940	22,989	22,809	23,008

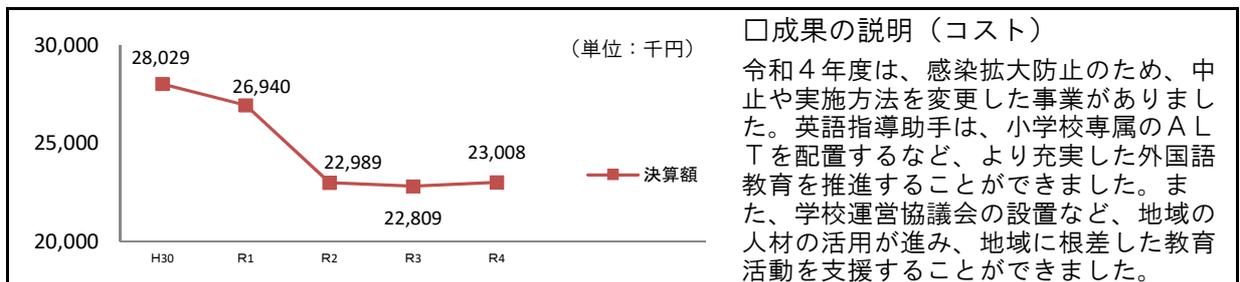
1 「伝え合い 学び合い」に取り組む授業の普及する割合（小学・中学）



2 研究委嘱校の割合の数値



3 決算額の推移



令和4年度の評価	令和4年度は研究委嘱校の取組を、集合型による発表により、市内の小・中・義務教育学校に広めることができました。また、小学校22校全てに小学校英語指導助手を派遣し、外国語の授業の教材作成や授業中の児童への支援を充実させました。グローバル集会や各種児童生徒の展覧会は、可能な限りオンラインで開催し、地域や保護者に児童生徒の活躍について広く周知することができました。	
今後の方向性	現状維持	魅力ある学校づくりのための授業改善を進め、「伝え合い 学び合い」の学習の普及・充実を目指します。また、小学校英語指導助手の配置、各種展覧会の開催など、学校や地域のニーズに応じた支援を積極的に行い、特色ある教育を今後も推進していきます。

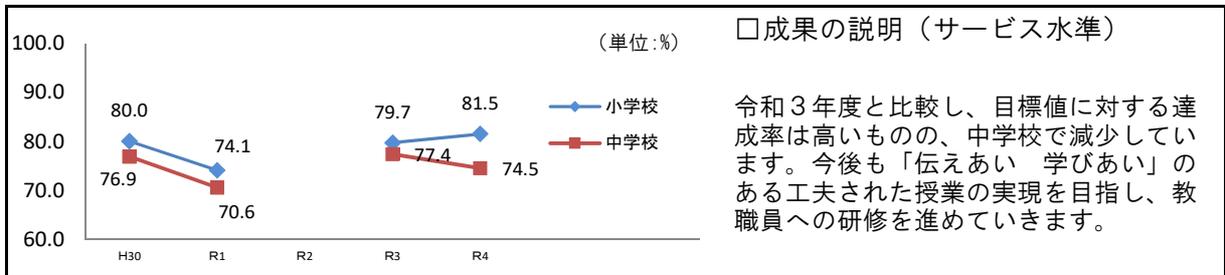
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

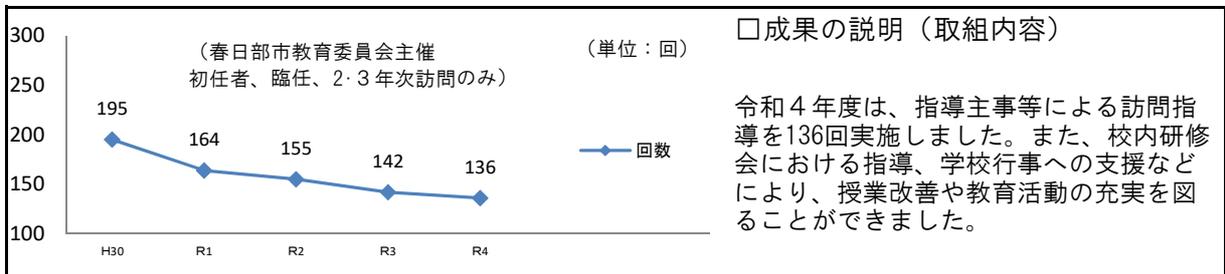
施策番号	1-2-1	実施計画No.	20	重点プロジェクトNo.	①-16	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	学校教育支援事業					課名	指導課	
事業内容	学校教育の充実と教育水準の維持・向上を図るため、積極的に教育活動を支援します。					事業開始年度	平成18年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	「伝え合い 学び合い」に取り組む授業の普及する割合 (上段：小学・下段：中学)					現状値 (平成29年度)	74.1% 66.7%	
現状と課題	市内小・中・義務教育学校の教育水準の維持・向上を図るため、市教委委嘱教科等の研究による教職員研修や少人数指導の充実、支援助手や相談員の配置、生徒指導特別委員会の開催など多様な支援を行っています。さらに学校の現状やニーズに応じた人員の配置及び研修会等の実施に努めます。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	73.0% 67.0%	75.0% 69.0%	77.0% 71.0%	79.0% 73.0%	80.0% 75.0%
成果指標の実績値	80.0% 76.9%	74.1% 70.6%	—	79.7% 77.4%	81.5% 74.5%
達成率	109.6% 114.8%	98.8% 102.3%	—	100.9% 106.0%	101.9% 99.3%
決算額(千円)	105,664	105,532	147,320	154,050	157,572

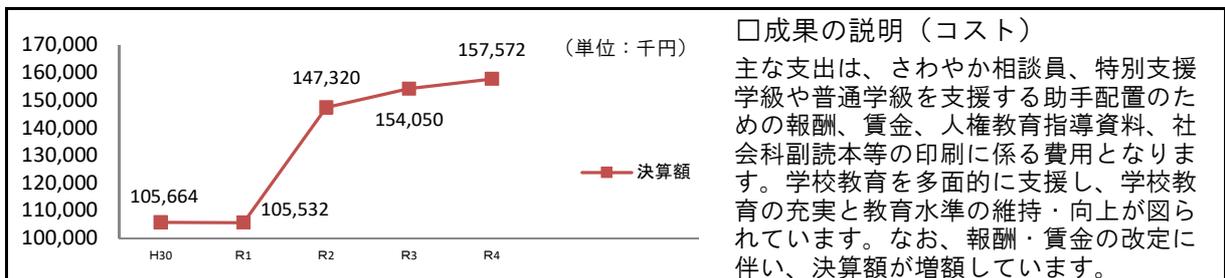
1 「伝え合い 学び合い」に取り組む授業の普及する割合（小学・中学）



2 指導主事等による市内小・中学校への訪問指導回数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	令和4年度は、市内小・中・義務教育学校においては学力の向上に向けて校内研修を充実させ、児童生徒の個々の伸びを把握しながら指導法の工夫・改善を図りました。また、教職員研修の充実、きめ細かな支援を進めるための少人数指導の充実、学校の現状やニーズに応じた支援助手や相談員の配置を行い、教育水準の向上を図ることができました。	
今後の方向性	現状維持	教職員資質向上を図る研修会、指導主事・学校教育専門員による学校訪問、学校のニーズに応じた支援員や相談員の配置を継続し、学校の教育力の向上、児童生徒一人一人の伸びを支援するよう努めます。

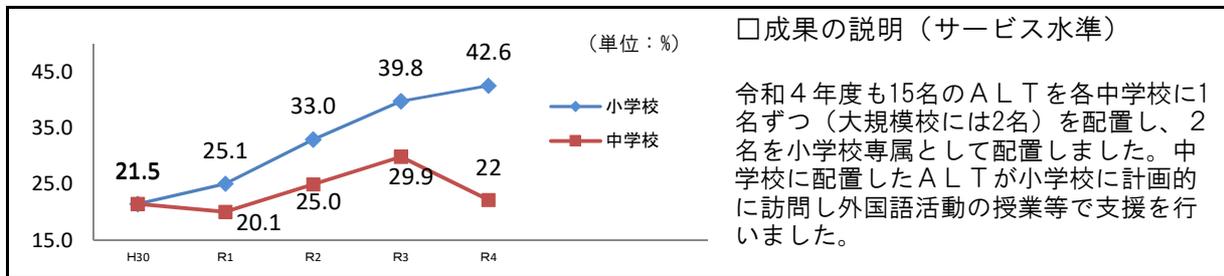
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

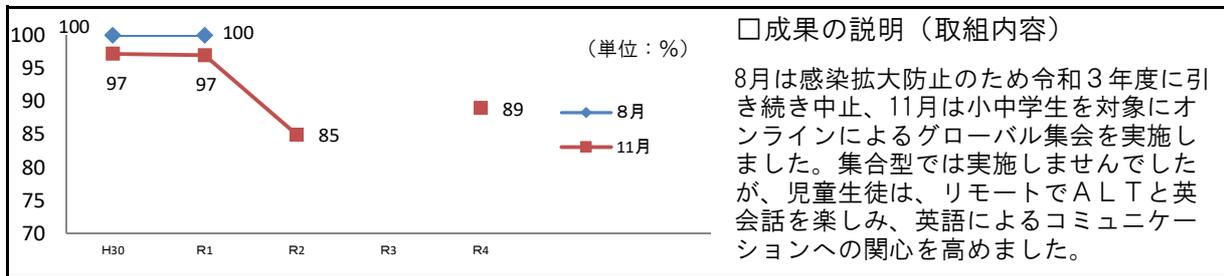
施策番号	1-2-1	実施計画No.	21	重点プロジェクトNo.	①-17	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	英語指導助手招致事業					課名	指導課	
事業内容	英語によるコミュニケーション能力の素地および基礎を育成するために、A L T（英語指導助手）を招致し、英語および国際理解教育の推進を図ります。					事業開始年度	昭和63年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	A L T（英語指導助手）を活用した授業数の割合 (上段：小学・下段：中学)					現状値 (平成29年度)	24.9% 25.1%	
現状と課題	令和4年度も15名のA L Tを各中・義務教育学校学校に1名ずつと小学校専属A L Tを配置しています。また、中学校に配置したA L Tが小学校を計画的に訪問することで小学校における外国語活動の授業等でも活用されています。中学校への効果的な接続を目指し、小学校の外国語及び外国語活動の充実、A L Tの訪問日数の増加を検討する必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	17.5% 19.0%	18.5% 20.5%	19.0% 22.0%	19.5% 23.5%	20.0% 25.0%
成果指標の実績値	21.5% 21.5%	25.1% 20.1%	33.0% 25.0%	39.8% 29.9%	42.6% 22.2%
達成率	123.1% 113.2%	135.7% 98.0%	173.7% 113.6%	204.1% 127.2%	213.0% 88.8%
決算額(千円)	45,058	44,874	55,057	51,975	60,324

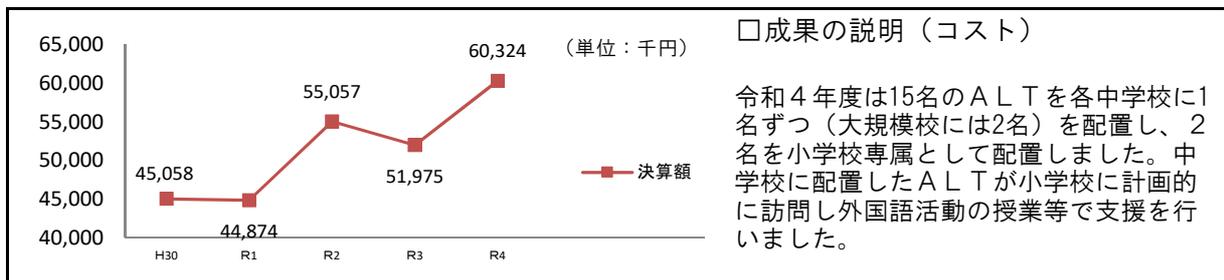
1 A L T（英語指導助手）を活用した授業数の割合



2 グローバル集会（カサバ・インターナショナル・フレンドシップ・デー）参加者の満足度



3 決算額の推移



令和4年度の評価	令和4年度は、15名のA L Tのうち、13名を各中学校に1名ずつ配置し（大規模校は2名）、その連携校の小学校にもA L Tが計画的に訪問しました。また、2名を小学校専属として派遣し、外国語活動の授業等において充実が図られました。年間を通して配置していることで、授業以外にもA L Tと触れ合う時間があり、日常の挨拶や会話など、児童生徒とA L Tが英語での自然なコミュニケーションが図られる機会となりました。	
今後の方向性	現状維持	自分の考えや思いを英語で表現し、積極的にコミュニケーションを図る児童生徒の育成を目指します。また、中学校への円滑な接続を目指し、今後もA L Tを活用した授業やグローバル集会の実施内容の充実にも努めます。

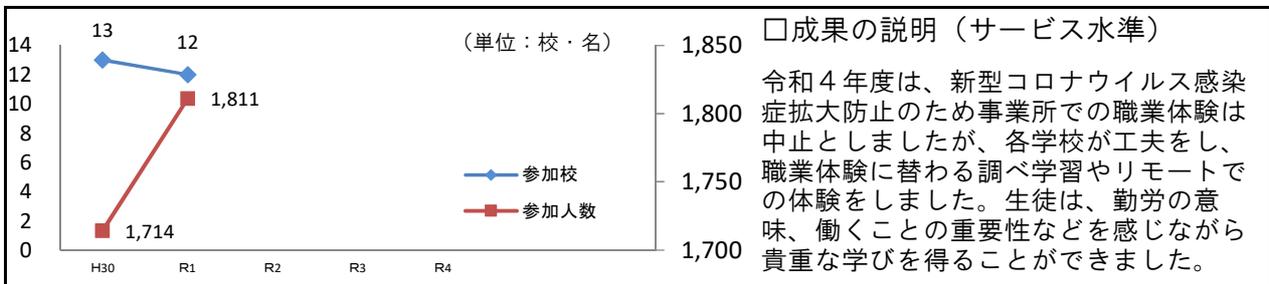
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

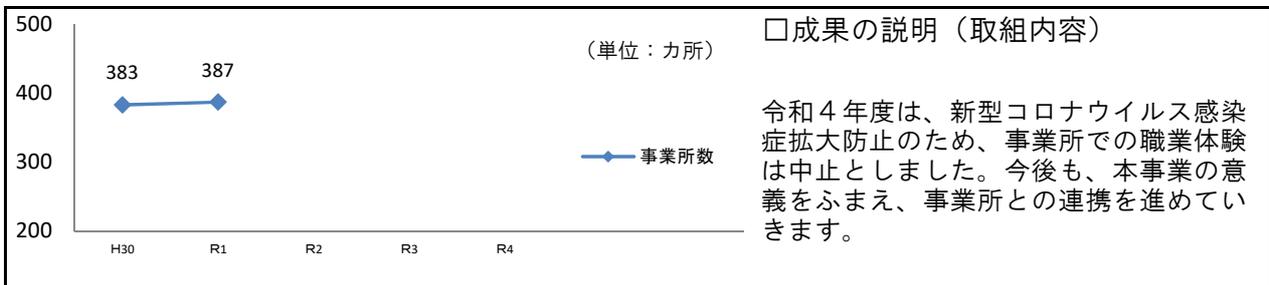
施策番号	1-2-1	実施計画No.	22	重点プロジェクトNo.	①-18	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	中学生社会体験チャレンジ事業					課名	指導課	
事業内容	春日部市教育月間に市内12中学校の1年生合計約1,800名が、市内を中心とする事業所において職場体験を行います。					事業開始年度	平成15年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	参加校と参加人数の推移				現状値 (平成29年度)	13校		
現状と課題	令和4年度も新型コロナウイルスにより生徒が、事業所で職業体験を行うことはできませんでしたが、新たな実施方法を検討しながら、生徒一人ひとりが望ましい職業観や勤労観を持つことができるように今後も支援していきます。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	13校	12校	12校	12校	12校
成果指標の実績値	13校	12校	—	—	—
達成率	100.0%	100.0%	—	—	—
決算額(千円)	930	930	0	364	0

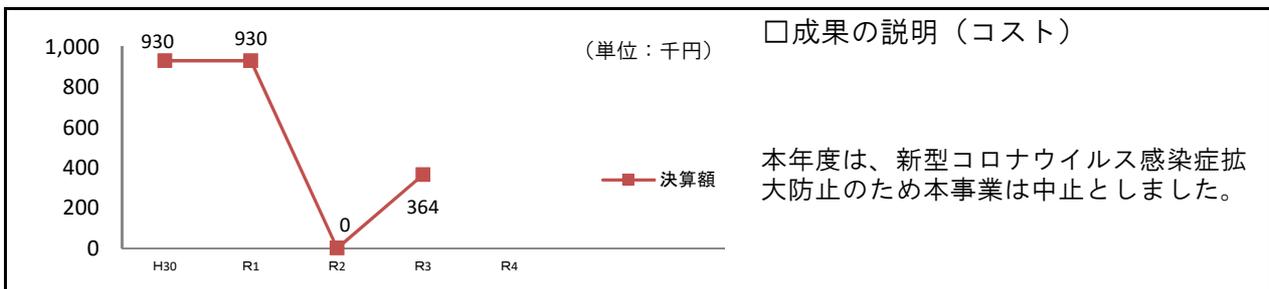
1 参加校と参加人数の推移



2 協力事業所数の推移



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業所での職業体験は中止としましたが、各学校が工夫をし、勤労の意味、働くことの重要性、保護者への感謝など、生徒一人一人の心を育てることができました。	
今後の 方向性	縮小	これまで、多くの事業所の協力により、生徒に望ましい職業観や勤労観が養われました。コロナ禍における関係機関とのよりよい連携の在り方を検討しながら、中学1年生が望ましい職業観や勤労観を持つことができるように今後も支援していきます。

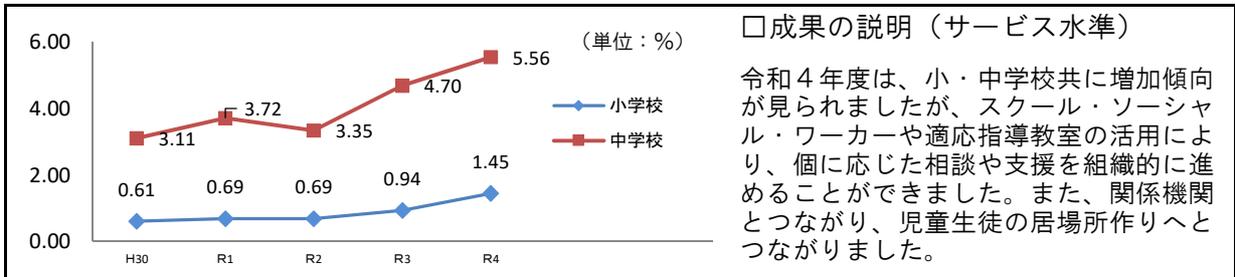
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

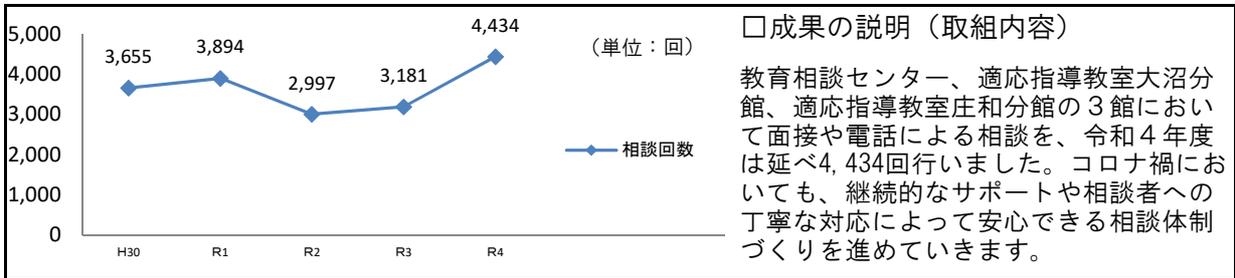
施策番号	1-2-2	実施計画No.	23	重点プロジェクトNo.	①-19	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	教育相談センター運営事業					課名	指導課	
事業内容	子どもの養育や教育についての相談をととして、子供の健全育成と家庭の教育力の向上を図ります。さらに、複雑化、多様化する社会や家庭に起因するさまざまな子育てに関する教育問題への相談体制を整えます。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	不登校の比率（上段：小学・下段：中学）					現状値 (平成29年度)	0.28% 3.41%	
現状と課題	いつでも、誰でも相談できる市民に開かれた機関として、子育てに関する様々な相談に応じています。子どもの発達や特性に関すること、養育・家庭問題に関する相談が多くなっており、社会の変化に伴って複雑化・多様化する問題に対して、今後も適切な対応を行っていきます。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	0.28% 3.10%	0.25% 2.80%	0.20% 2.50%	0.15% 2.25%	0.12% 2.21%
成果指標の実績値	0.61% 3.11%	0.69% 3.72%	0.69% 3.35%	0.94% 4.70%	1.45% 5.56%
達成率	45.9% 99.7%	36.2% 75.3%	29.0% 74.6%	16.0% 47.9%	8.3% 39.7%
決算額(千円)	8,257	7,977	8,663	8,202	9,342

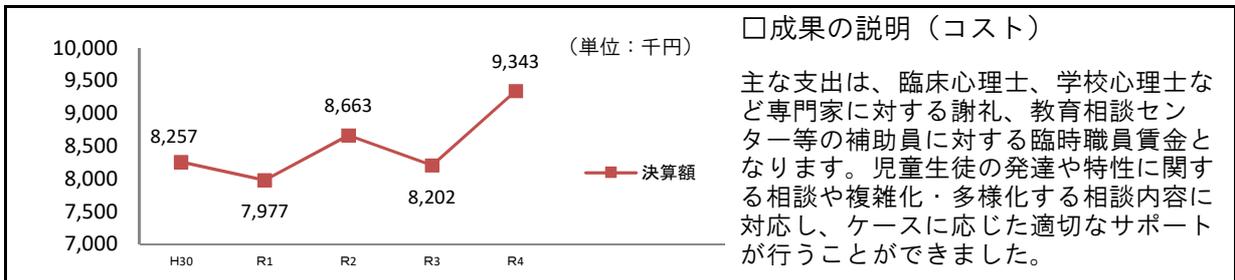
1 不登校の比率（小学・中学）



2 相談回数の推移



3 決算額の推移



令和4年度の評価	4,434回の相談を実施しました。一人の相談者に継続しての対応も多くみられました。また、教育相談センターや適応指導教室では、不登校の児童生徒への指導や支援を年間通して行いました。適応指導教室での学びや出会いを通じて生徒自身が進路選択・決定をしたケースや、児童が徐々に自己表現できるようになったケース等、相談や支援を通して児童生徒の気持ちの変容や成長が見られました。児童生徒及び保護者の一人一人のニーズに応じた丁寧なサポートが、子どもたちの健全育成及び家庭の教育力の向上に繋がったものと考えます。	
今後の方向性	現状維持	今後も児童生徒、保護者の気持ちやニーズに寄り添った相談や支援の一層の充実を図り、問題の未然防止、早期発見、早期解決に努めます。また、不登校の児童生徒については「学校に登校する」という結果のみを目標とするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立することを目指すための支援として、保護者や学校、関係機関と連携を図り「居場所づくり」や「つながりづくり」等の支援に努めていきます。

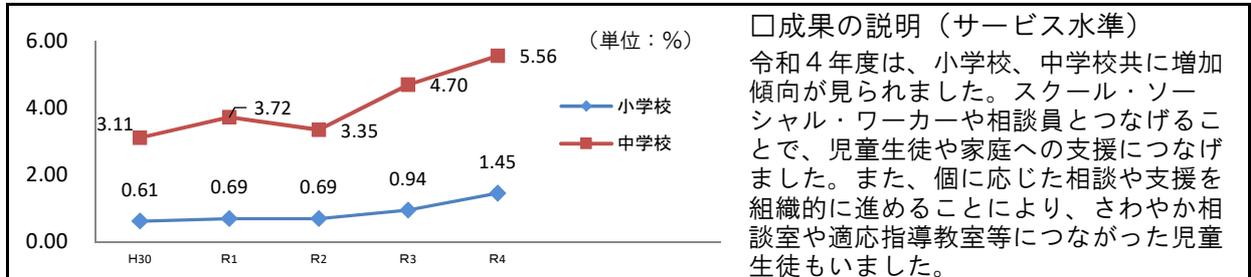
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

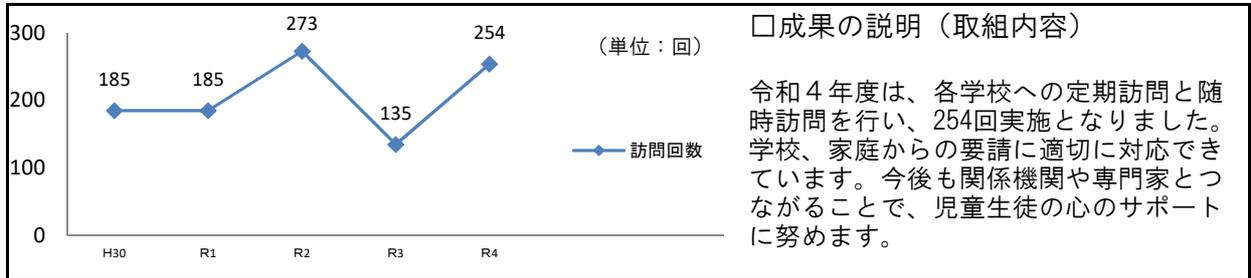
施策番号	1-2-2	実施計画No.	24	重点プロジェクトNo.	①-20	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	こころのサポート推進事業					課名	指導課	
事業内容	いじめや不登校などの学校生活の不安や悩みの解消に向け、臨床心理士や学校心理士等の専門家チームを組織し、学校訪問をするなど、相談体制の拡充を図り、問題の未然防止や早期発見・早期解消を図ります。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	不登校の比率（上段：小学・下段：中学）					現状値 (平成29年度)	0.28% 3.41%	
現状と課題	心のサポートチームによる巡回訪問を行い、各学校の児童生徒に関する情報交換を行うとともに、臨床心理士・学校心理士等が直接指導・助言することにより、いじめ・不登校問題等の未然防止や早期解消を図っています。今後も継続的にきめ細やかな支援を行う必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	0.28% 3.10%	0.25% 2.80%	0.20% 2.50%	0.15% 2.25%	0.12% 2.21%
成果指標の実績値	0.61% 3.11%	0.69% 3.72%	0.69% 3.35%	0.94% 4.70%	1.45% 5.56%
達成率	45.9% 99.7%	36.2% 75.3%	29.0% 74.6%	16.0% 47.9%	8.3% 39.7%
決算額(千円)	2,485	2,544	2,315	3,000	2,860

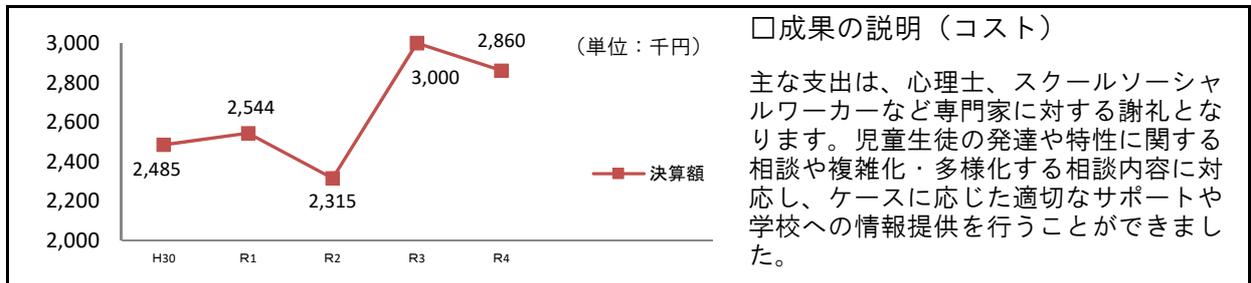
1 不登校の比率（小学・中学）



2 訪問回数の推移



3 決算額の推移



令和4年度の評価	令和4年度、心理士やスクールソーシャルワーカー等の専門家を含む「こころのサポートチーム」として各学校へ定期訪問と随時訪問を行いました。主にいじめ・不登校について各学校と情報交換や支援方針の協議等を行うことができました。専門的な立場からの支援により、学校が安心して課題解決に取り組めるという成果が出ています。	
今後の方向性	現状維持	今後も専門家等を含めたチームによる学校訪問を定期・随時に行い、学校及び児童生徒の支援に努めてまいります。

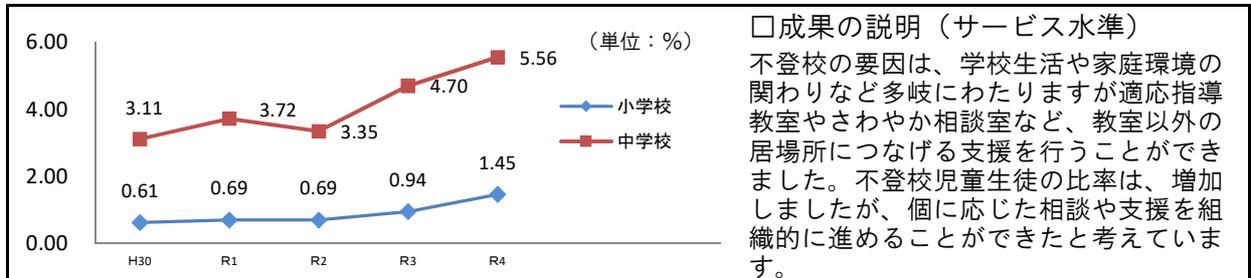
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

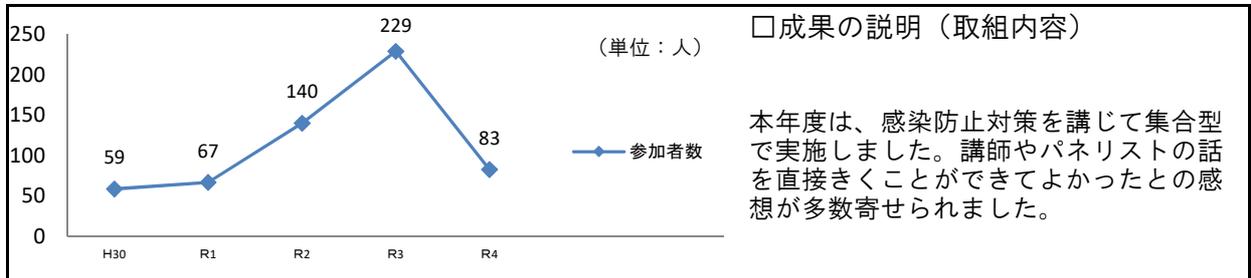
施策番号	1-2-2	実施計画No.	25	重点プロジェクトNo.	①-21	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	いじめ防止対策推進事業					課名	指導課	
事業内容	いじめ防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進していきます。					事業開始年度	平成27年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	不登校の比率（上段：小学・下段：中学）					現状値 (平成29年度)	0.28% 3.41%	
現状と課題	春日部市いじめ防止条例および春日部市いじめ防止基本方針に基づき、いじめへの対処を組織的、計画的に実施しています。いじめを未然に防止していくためには、引き続き、いじめを生まない土壌づくり等、学校または関係機関等へ情報提供、周知していく必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	0.28% 3.10%	0.25% 2.80%	0.20% 2.50%	0.15% 2.25%	0.12% 2.21%
成果指標の実績値	0.61% 3.11%	0.69% 3.72%	0.69% 3.35%	0.94% 4.70%	1.45% 5.56%
達成率	45.9% 99.7%	36.2% 75.3%	29.0% 74.6%	16.0% 47.9%	8.3% 39.7%
決算額(千円)	102	100	102	77	75

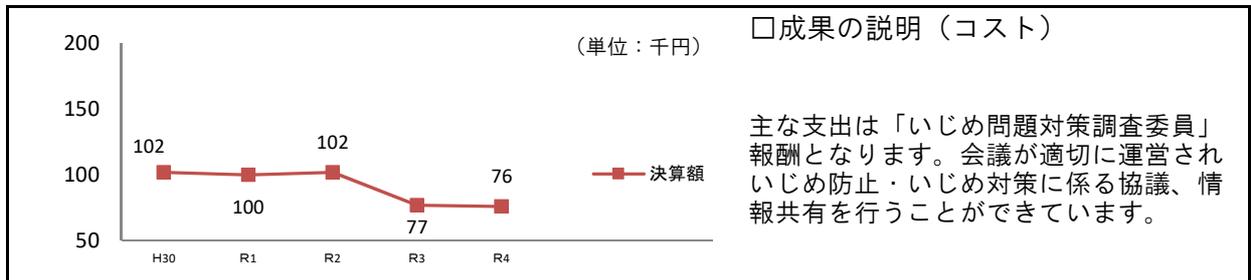
1 不登校の比率（小学・中学）



2 「不登校を考えるシンポジウム」参加者数の推移



3 決算額の推移



令和4年度の評価	令和5年2月に実施した「不登校を考えるシンポジウム」では、保護者、生徒、教職員など学校教育関係者など、今まで以上に本事業への周知、参加が実現できました。また、「春日部市いじめ問題対策連絡協議会」の開催、いじめ問題対策調査委員からいじめ防止等のための対策等について意見聴取をし、情報交換を行うことができました。	
今後の方向性	現状維持	今後も保護者、教職員、児童生徒に資する「不登校を考えるシンポジウム」を年1回開催します。また「春日部市いじめ問題対策連絡協議会」及び「春日部市いじめ問題対策調査委員会」の適切な運営を行い、いじめ防止・いじめ対策に取り組みます。

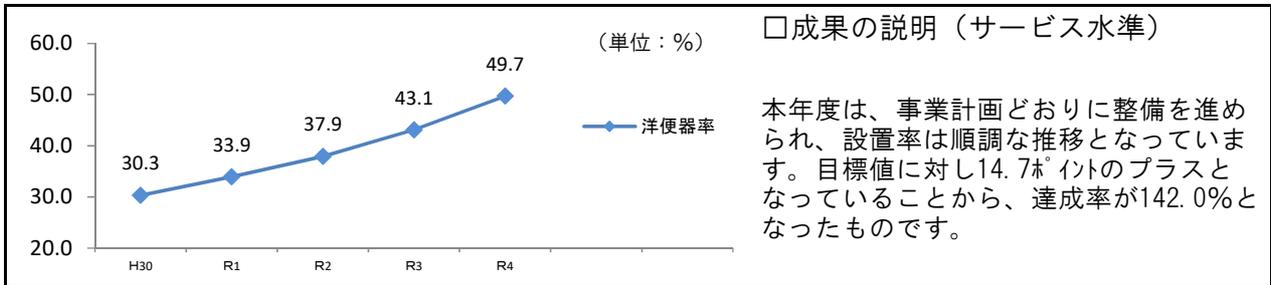
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

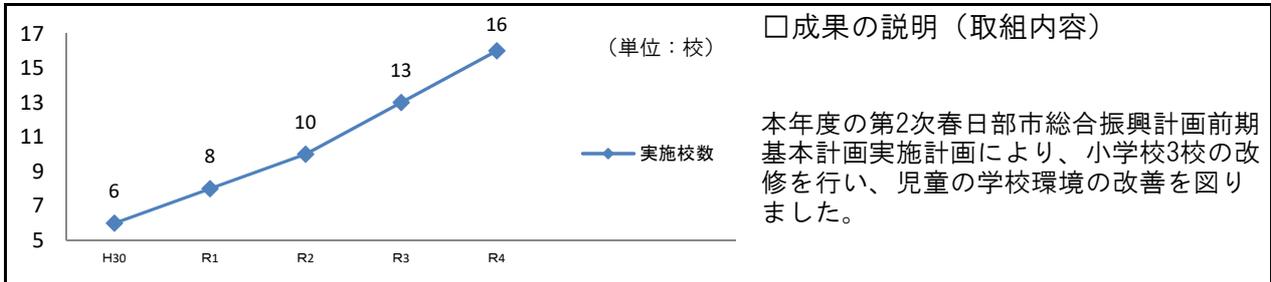
施策番号	1-2-3	実施計画No.	26	重点プロジェクトNo.	①-22	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	校舎トイレ改修事業					課名	施設課	
事業内容	児童生徒の学校環境の改善を図るため、校舎トイレの全面リニューアルを実施します。					事業開始年度	平成30年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	学校トイレの洋便器率				現状値 (平成29年度)	27.2%		
現状と課題	小中学校の校舎は、昭和40年代から50年代にかけての児童生徒急増期に一斉に建築されたものが多く、トイレについては、和便器が中心となっているだけではなく、排水管の腐食による漏水、トイレブースの老朽化等の課題があることから、計画的な整備が必要となっています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	29.6%	32.0%	33.0%	34.0%	35.0%
成果指標の実績値	30.3%	33.9%	37.9%	43.1%	49.7%
達成率	102.4%	105.9%	114.8%	126.8%	142.0%
決算額(千円)	432,324	150,203	163,900	349,316	472,120

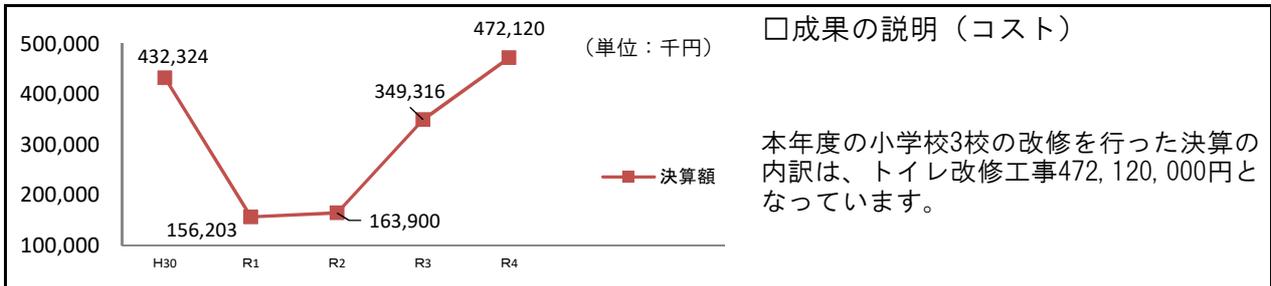
1 学校トイレの洋便器率



2 校舎トイレ改修の実施校数（累計）



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は、小学校3校の洋便器化を進めることができ、児童の学校環境の改善を図ることができました。	
今後の方向性	現状維持	小中学校等の校舎は児童生徒が一日の大半を過ごす場所であり、健康的・衛生的な生活を送ることができるよう、国・県の動向を注視し、有利な財源の活用を図り、関係部署と連携して校舎トイレ改修工事を進めていきたいと考えます。

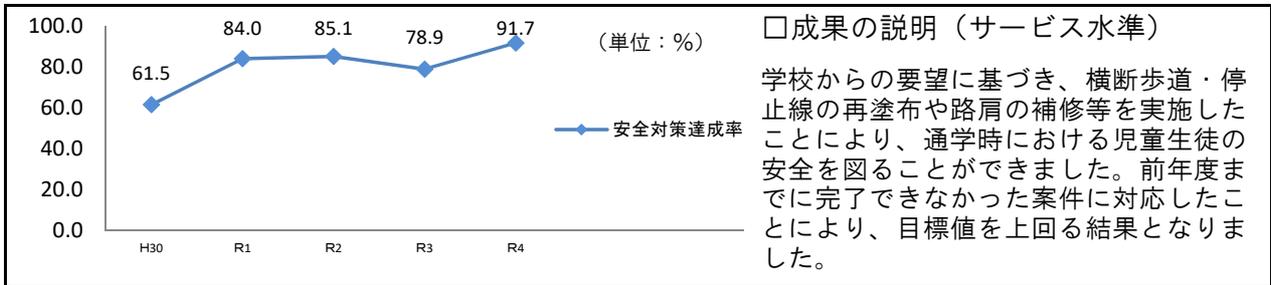
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

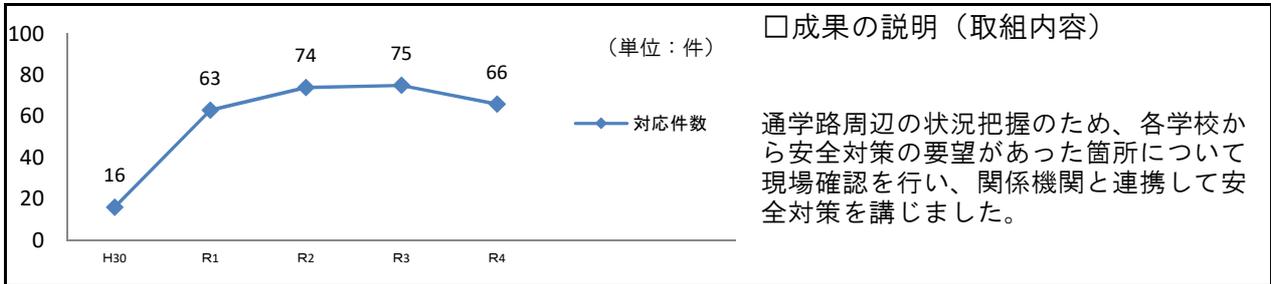
施策番号	1-2-3	実施計画No.	27	重点プロジェクトNo.	①-23	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	通学路安全対策事業					課名	学務課	
事業内容	児童生徒の安全を確保するため、学校、PTA、自治会及び関係機関等と連携し、通学路の安全対策の実施と進捗状況の把握に努めます。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	通学路安全対策の達成率					現状値 (平成29年度)	62.0%	
現状と課題	通学路周辺の状況把握に努め、登下校時における児童生徒の安全確保を図る必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	65.0%	68.0%	71.0%	74.0%	77.0%
成果指標の実績値	61.5%	84.0%	85.1%	78.9%	91.7%
達成率	94.6%	123.5%	119.9%	106.6%	119.1%
決算額(千円)	0	0	0	0	0

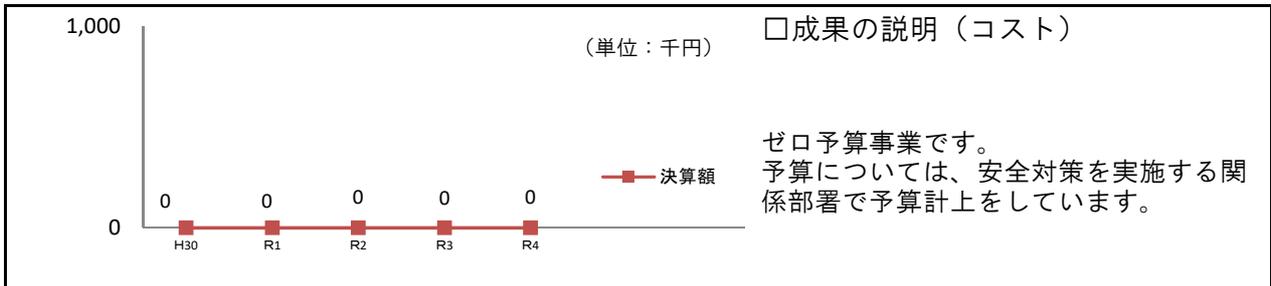
1 通学路安全対策の達成率



2 通学路安全対策の対応件数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は、各校からの要望に基づき路面標示の再塗布や路肩の補修等を実施したことで、登下校時の児童生徒の安全確保の向上が図られたものと考えています。	
今後の方向性	現状維持	関係部署等と連携することにより通学路の安全対策は計画的に推進されており、今後も継続的に現地状況の把握及び計画的な安全対策の実施を進めていきます。

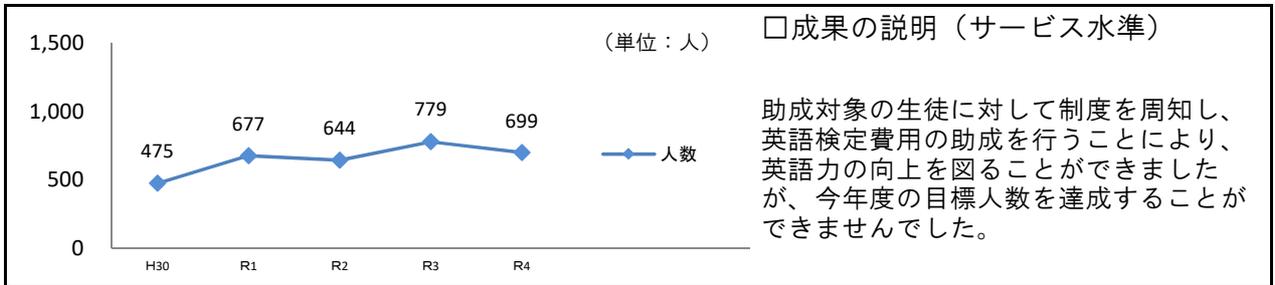
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

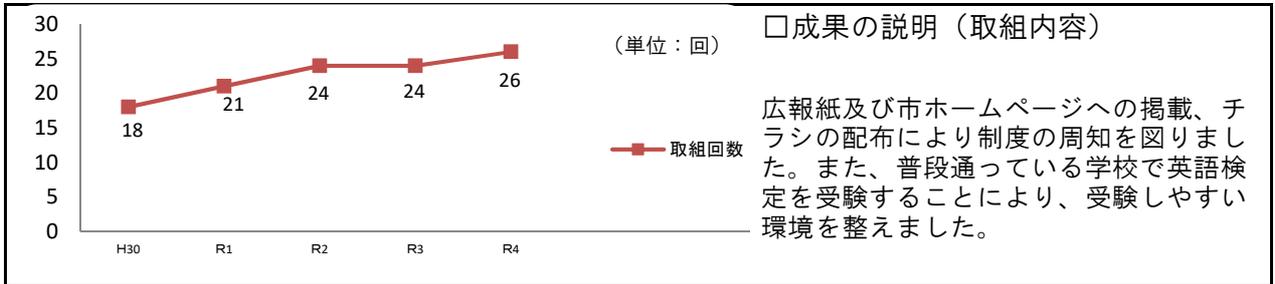
施策番号	1-2-3	実施計画No.	28	重点プロジェクトNo.	①-24	-	補助金No.	83・84
事業名 (補助金名)	未来を担う人財育成事業					課名	学務課	
事業内容	児童生徒のチャレンジ精神の向上を図り、未来を担う人財を育成するため、提案型選考による奨学金の交付と英語検定費用の助成を実施します。					事業開始年度	平成30年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	英語検定費用助成人数				現状値 (平成29年度)	-		
現状と課題	世界で通用する人材を育成するためには、学校教育における英語力の向上を図る必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	720人	810人	900人	990人	1,080人
成果指標の実績値	475人	677人	644人	779人	699人
達成率	66.0%	83.6%	71.6%	78.7%	64.7%
決算額(千円)	1,788	5,763	3,380	4,734	4,803

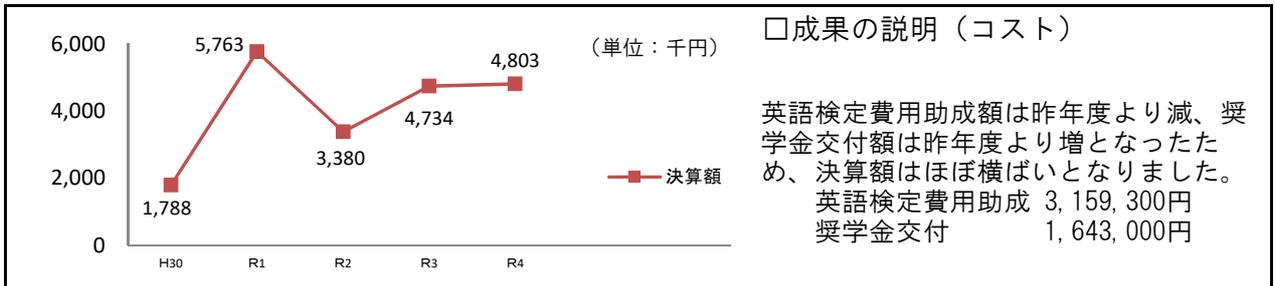
1 英語検定費用助成人数



2 英語検定料助成の周知活動及び受験環境の取組



3 決算額の推移



令和4年度の評価	ホームページ掲載やチラシ配布等で制度周知に努めましたが、英語検定費用助成人数を目標値に到達させることができませんでした。	
今後の方向性	縮小	事業開始から5年が経過し事業の見直しを行った結果、令和4年度をもって終了することとなりました。

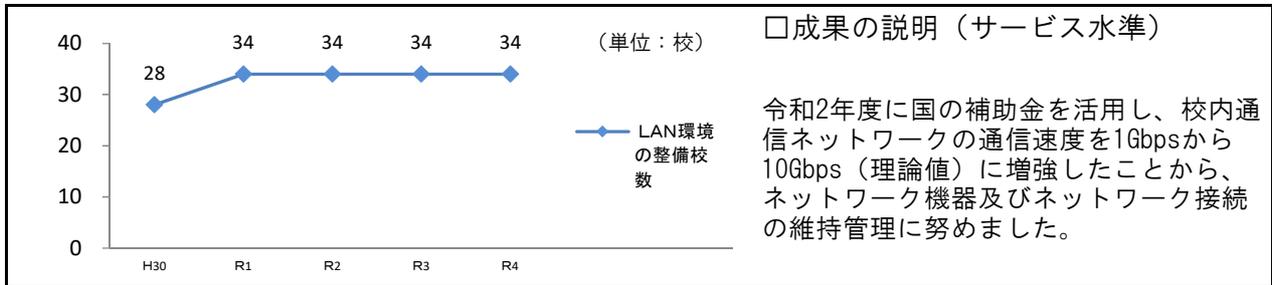
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

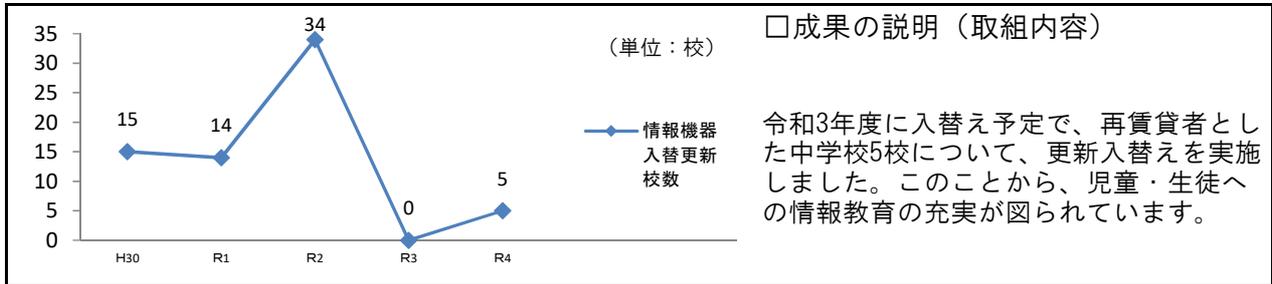
施策番号	1-2-3	実施計画No.	29	重点プロジェクトNo.	①-25	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	小・中学校情報教育推進事業					課名	学校総務課	
事業内容	小・中学校のコンピュータ等の情報機器を整備することで、児童・生徒に対する情報教育を推進し、学校教育の充実を図ります。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	小・中学校LAN環境の整備校数				現状値 (平成29年度)	28校		
現状と課題	小・中・義務教育学校に整備している情報機器（タブレット型パソコン及びプリンター等の周辺機器）及び校内ネットワークについて、維持管理及び入替更新をしています。児童生徒1人1台のタブレット型パソコン（約1万7千台）とそれに伴う機器を、維持管理していくことが課題となっています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	28校	34校	34校	34校	34校
成果指標の実績値	28校	34校	34校	34校	34校
達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
決算額(千円)	284,282	419,704	1,721,203	435,453	545,036

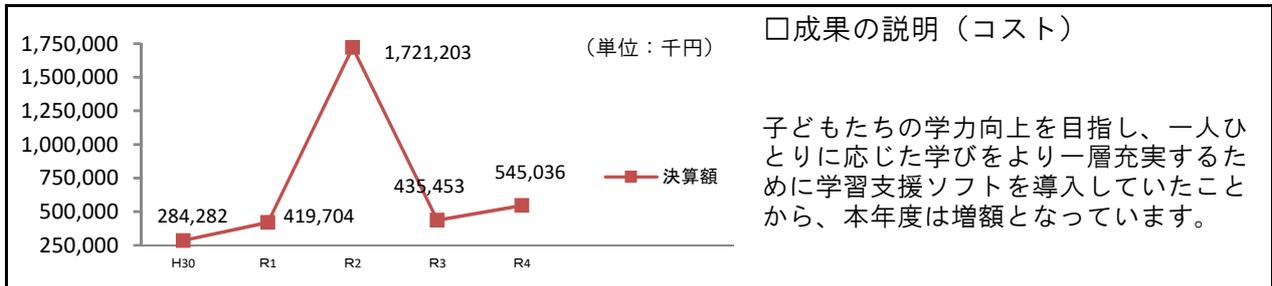
1 小・中学校LAN環境の整備校数



2 情報機器入替更新校数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	賃貸借で整備している情報機器、国からの補助金を活用することにより整備したタブレット型パソコン及び校内通信ネットワークについて、学習環境に支障がないように維持管理するとともに、令和4年6月からタブレット型パソコンで使用する学習支援ソフトを導入したことにより、児童・生徒への情報教育の充実を図りました。	
今後の方向性	現状維持	パソコン等の情報手段を活用するには、必要な環境を整えることが必要です。引き続き、情報活用判断・情報活用能力・情報モラルを育成するため、情報機器及び校内ネットワークの維持管理や入替更新により、情報教育環境の充実を図ります。

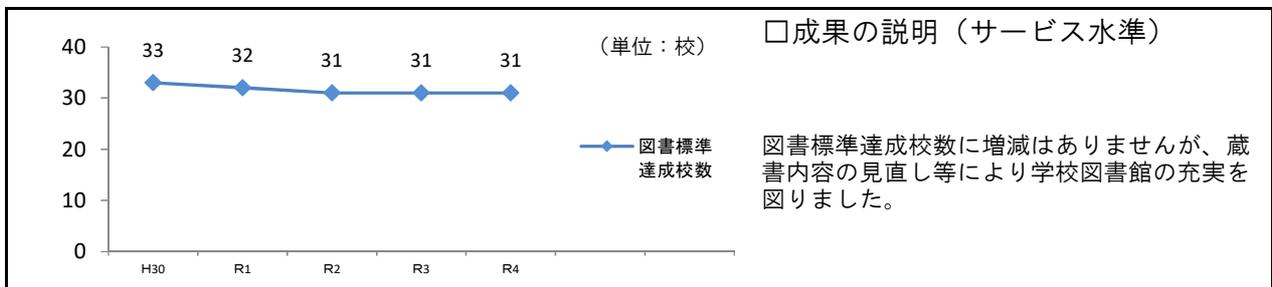
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

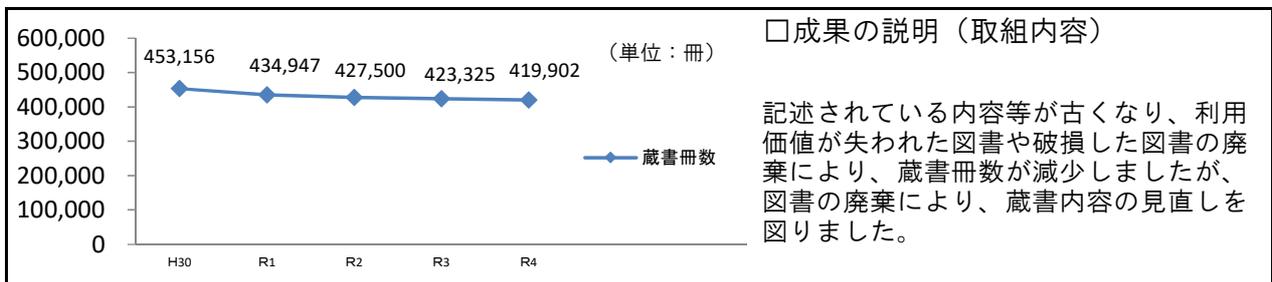
施策番号	1-2-3	実施計画No.	30	重点プロジェクトNo.	①-26	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	小・中学校図書館整備事業					課名	学校総務課	
事業内容	小学校図書館に図書を整備するとともに、学校図書館支援員を配置し、学校教育の充実を図ります。また、中学校図書館に図書を整備し、学校教育の充実を図ります。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	小・中学校図書館 図書標準達成校数				現状値 (平成29年度)	31校		
現状と課題	学校教育の充実を図るため、学校図書館の蔵書冊数について、全ての小・中・義務教育学校で学校図書館図書標準の達成に努めます。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	32校	33校	34校	34校	34校
成果指標の実績値	33校	32校	31校	31校	31校
達成率	103.1%	97.0%	91.2%	91.2%	91.2%
決算額(千円)	23,279	23,540	22,243	23,511	23,577

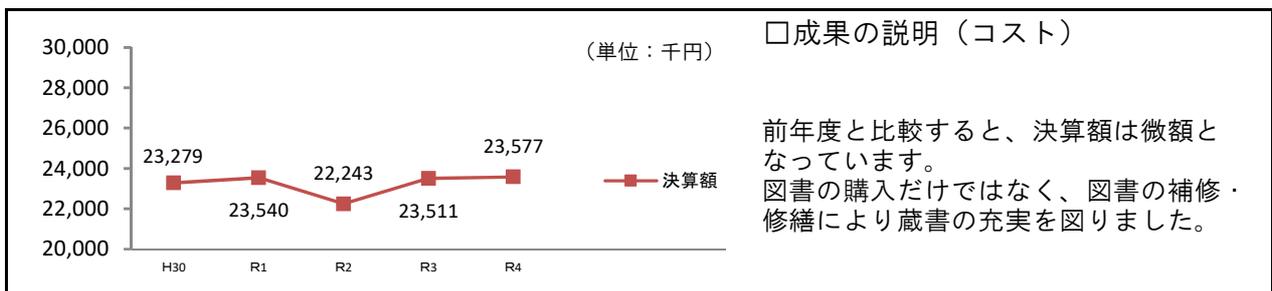
1 小・中学校図書館 図書標準達成校数



2 全小・中学校学校図書館の蔵書冊数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	蔵書冊数は減少しましたが、各学校に購入費用を予算措置することで、各学校は学校図書を計画的に購入することができ、学習環境の充実に繋がれたものと考えます。また、学校図書館の充実を図るため、平成26年度より継続して小学校22校、義務教育学校1校の図書館に、学校図書館支援員6名（3校から4校に対し1名）を配置し、児童の読書意欲の向上や適切な蔵書の活用等に取り組みました。	
今後の方向性	現状維持	各学校の児童・生徒数に応じて購入費用を予算措置していますが、図書標準が未達成である学校については、傾斜配分を行うことを継続します。引き続き、学校図書館支援員を活用して、小学校・義務教育学校図書館の充実を図ります。また、中学校についても司書職員の訪問支援により、中学校図書館の充実を図ります。

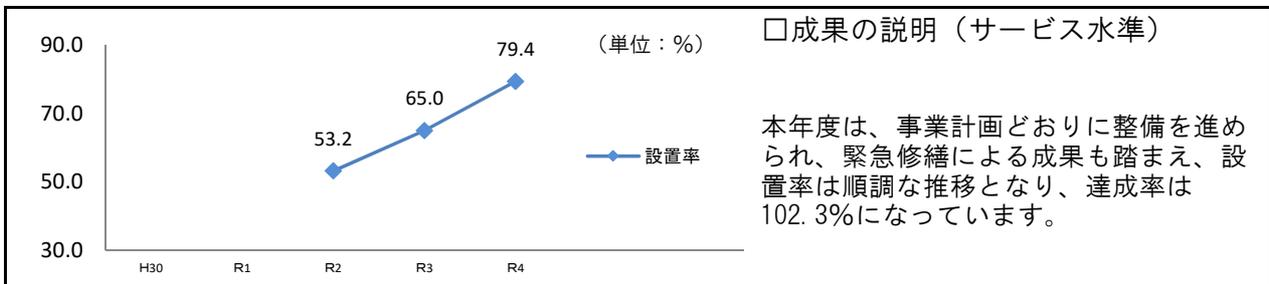
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

施策番号	1-2-3	実施計画No.	31	重点プロジェクトNo.	①-27	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	特別教室エアコン整備事業					課名	施設課	
事業内容	子ども達の学習環境の改善を図るため、小中学校等の特別教室のうち4教室にエアコン整備を実施します。					事業開始年度	令和元年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	特別教室のエアコン設置率				現状値 (令和元年度)	40.6%		
現状と課題	近年、気温が35度以上となる猛暑日が増える中、学校における暑さ対策は全国的な課題となっています。現在は、エアコンが設置されていない特別教室の夏の暑さ対策は、窓の開放や扇風機の活用により対応していることから計画的な整備が必要となっています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	—	—	53.2%	65.0%	77.6%
成果指標の実績値	—	—	53.2%	65.0%	79.4%
達成率	—	—	100.0%	100.0%	102.3%
決算額(千円)	—	—	170,302	180,826	318,450

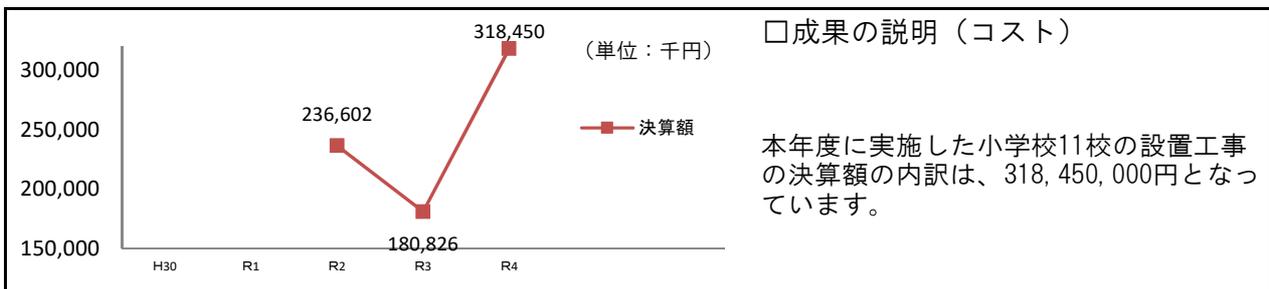
1 特別教室のエアコン設置率



2 エアコン整備工事の実施校数（累計）



3 決算額の推移



令和4年度の評価	小学校22校中残りの11校の特別教室エアコン整備事業については、令和3年度に設計、令和4年度に工事を実施し、子ども達の学習環境の改善を図ることができました。	
今後の方向性	縮小	市内小学校22校、中学校11校、義務教育学校1校の特別教室エアコン整備については、令和4年度に工事を実施し、本事業が完了しました。

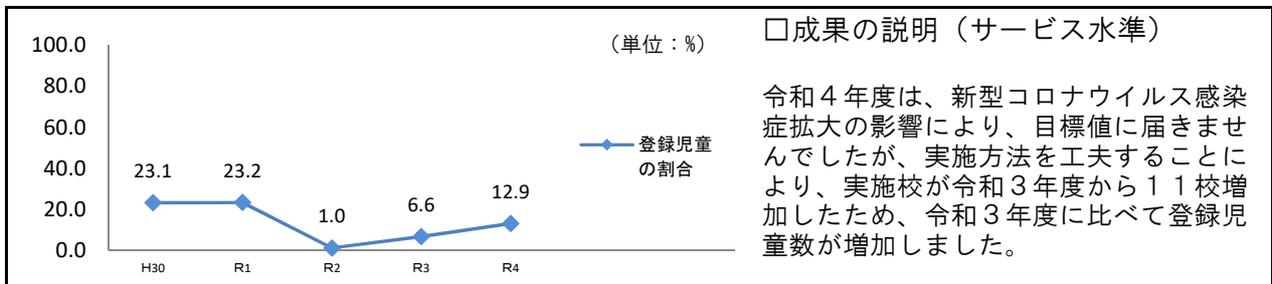
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

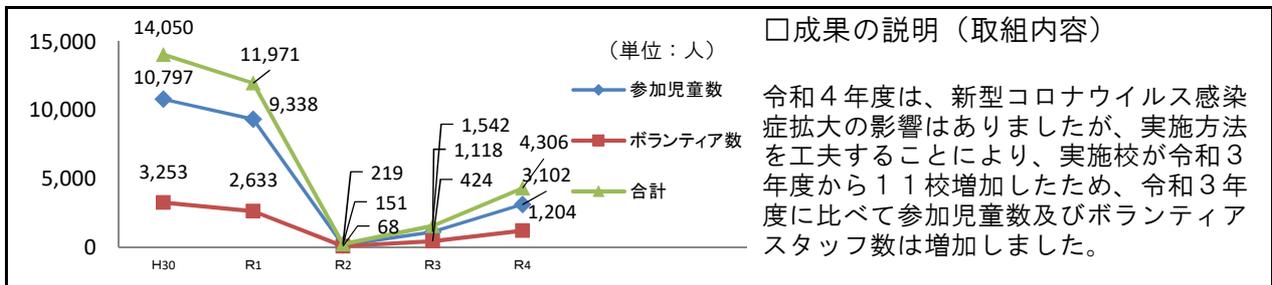
施策番号	1-3-1	実施計画No.	32	重点プロジェクトNo.	①-28	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	放課後子ども教室推進事業					課名	社会教育課	
事業内容	放課後等における子どもたちの安心・安全な活動およびさまざまな体験活動の場として「放課後子ども教室」を実施するものです。					事業開始年度	平成20年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	放課後子ども教室の登録児童の割合				現状値 (平成29年度)	27.8%		
現状と課題	未来を担う子どもたちを健やかに育むためには、学校・家庭及び地域住民等がそれぞれの役割と責任を自覚しつつ、地域全体で子どもたちを育む体制をつくることが重要と考えます。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	28.5%	28.5%	29.0%	29.5%	30.0%
成果指標の実績値	23.1%	23.2%	1.0%	6.6%	12.9%
達成率	81.1%	81.4%	3.4%	22.4%	43.0%
決算額(千円)	1,611	1,882	616	762	1,190

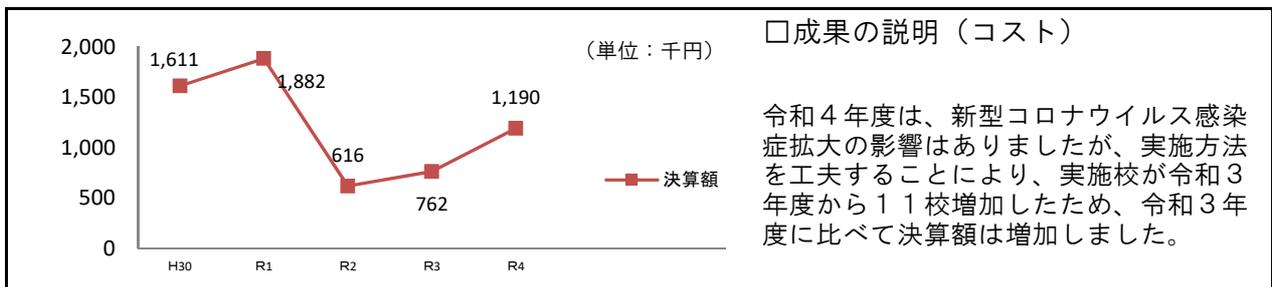
1 放課後子ども教室の登録児童の割合



2 放課後子ども教室の参加児童及びボランティアスタッフ延べ人数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響はありましたが、実施方法や内容を工夫することで、実施校が令和3年度から11校増加したため、令和3年度に比べて参加児童数が増加し、登録児童数も増加しました。	
今後の方向性	現状維持	子どもたちの多様な体験活動を推進するため、各放課後子ども教室の実情に合わせて実施方法を検討し、活動プログラムの充実を図ることで、休止している教室の再開を図っていきます。

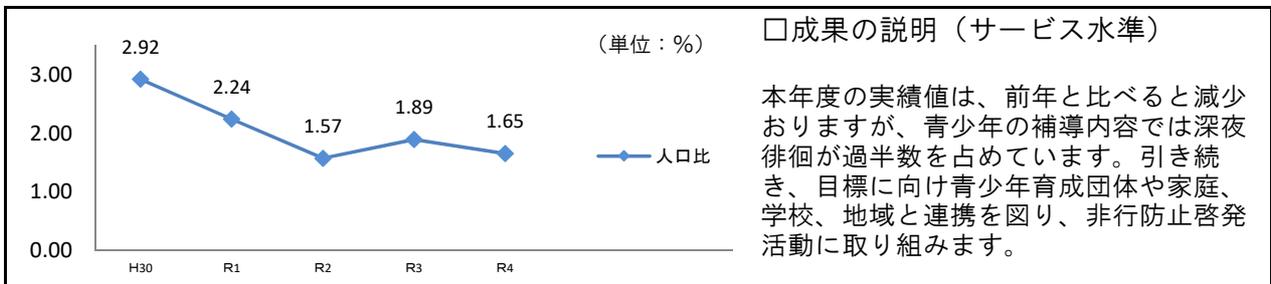
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

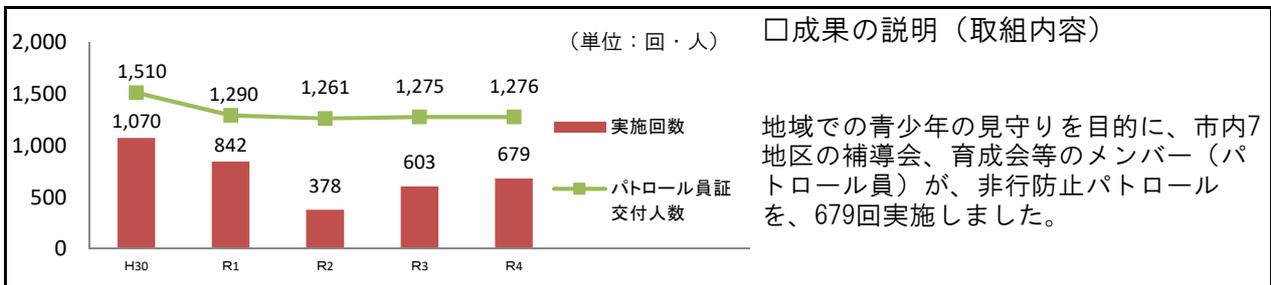
施策番号	1-3-2	実施計画No.	33	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	青少年健全育成事業					課名	こども政策課	
事業内容	関係団体・機関と連携し、青少年健全育成の推進を図ります。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	補導された不良行為少年の人口比				現状値 (平成29年度)	2.34%		
現状と課題	社会情勢の変化による価値観の多様化などから、青少年を取り巻く環境も大きく変化し、青少年に関わる問題は複雑化しています。青少年の健全育成を図るためには、青少年団体や関係機関などが緊密に連携、協力し様々な取り組みの充実と強化が必要です。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	1.9%	1.8%	1.7%	1.6%	1.5%
成果指標の実績値	2.92%	2.24%	1.57%	1.9%	1.7%
達成率	65.1%	80.4%	108.3%	84.7%	88.2%
決算額(千円)	831	762	766	771	805

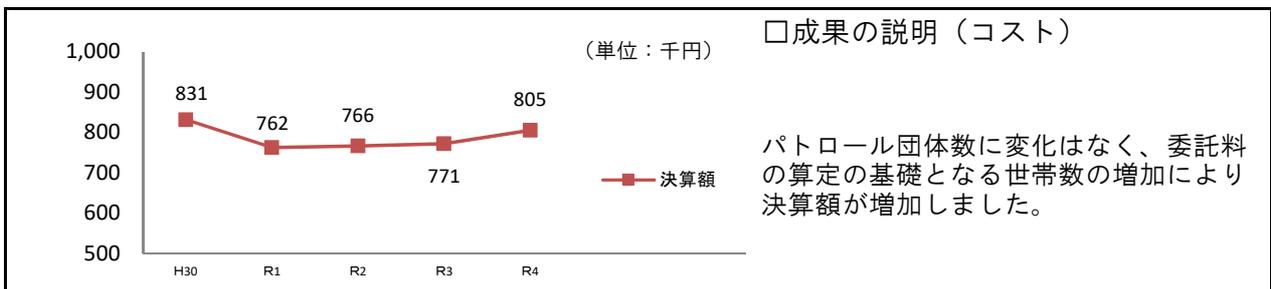
1 補導された不良行為少年の人口比



2 非行防止パトロール実施延べ回数、パトロール員証交付人数の推移



3 決算額の推移



令和4年度の評価	高校生の犯罪補導件数が増加したことにより、目標値を達成することができませんでした。青少年の健全育成のため、市内7地区の補導会、育成会等のパトロール員が、それぞれの地域を一年を通して非行防止パトロールを実施してきました。地域で青少年を見守り、非行行為等の抑止につなげていくためにも、引き続きパトロールを実施していきます。	
今後の方向性	見直し	次代に即した非行防止パトロールの委託内容となるよう見直しを図ったうえで、青少年育成団体や関係機関との連携・協力を得て様々な角度から、非行防止啓発活動に取り組んでいきます。

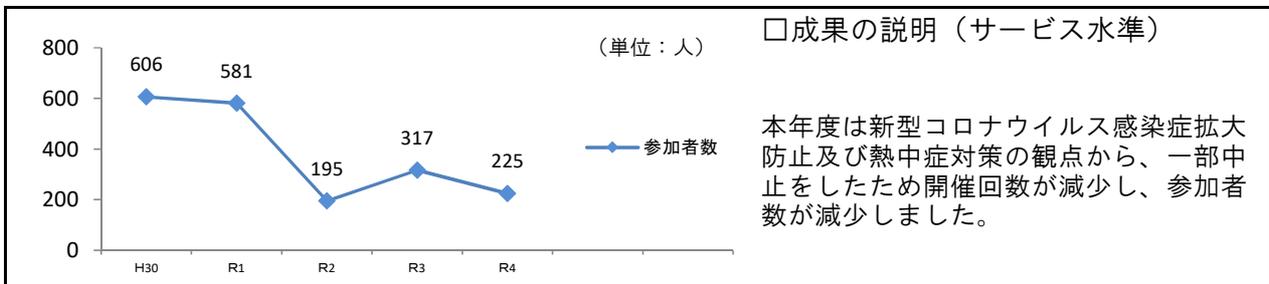
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

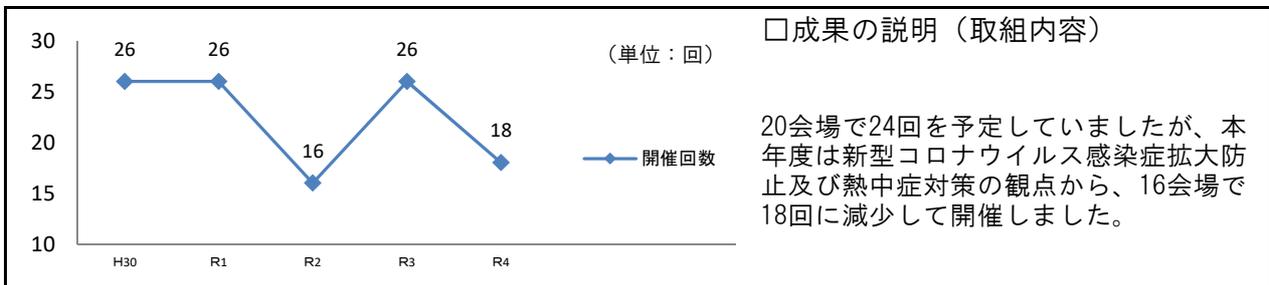
施策番号	2-1-1	実施計画No.	34	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	健康・生きがいづくり対策事業					課名	高齢者支援課	
事業内容	概ね65歳以上の方を対象に、楽しみながら介護予防に取り組み、健康寿命を延ばすことを目的として、公民館や高齢者施設等を会場に、軽スポーツやウォーキングなどを行います。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	元気アップ教室の参加者数					現状値 (平成29年度)	684人	
現状と課題	高齢者がいつまでも心身ともに健康で生きがいのある充実した生活ができるよう、高齢者自身が健康管理に努めることが重要です。高齢者自らが健康づくりに関心を持って取り組むことができるよう、健康づくりの機会の充実を図ることが求められています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	560人	577人	595人	612人	630人
成果指標の実績値	606人	581人	195人	317人	225人
達成率	108.2%	100.7%	32.8%	51.8%	35.7%
決算額(千円)	642	574	304	515	333

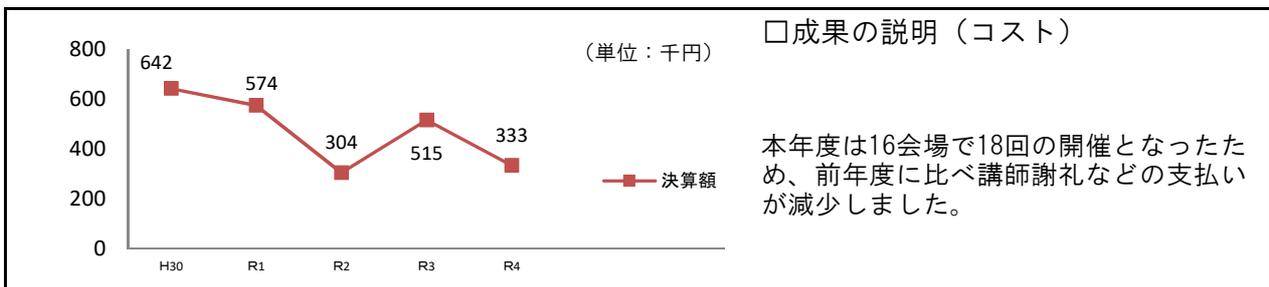
1 元気アップ教室の参加者数



2 元気アップ教室の開催回数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度も、チラシの配架や広報かすかべ、市公式ホームページでの周知を行いました。新型コロナウイルス感染症拡大防止及び熱中症対策の観点から、開催回数及び参加者数が減少しました。高齢者自らが健康づくりに関心を持って取り組むことができるよう、引き続き健康づくりの機会の充実を努めます。	
今後の方向性	現状維持	参加者数の増加を目指して、さらなる事業の周知を図っていく必要があります。参加者数が減少傾向にあるため、効果的な実施方法について検討を行っていきます。

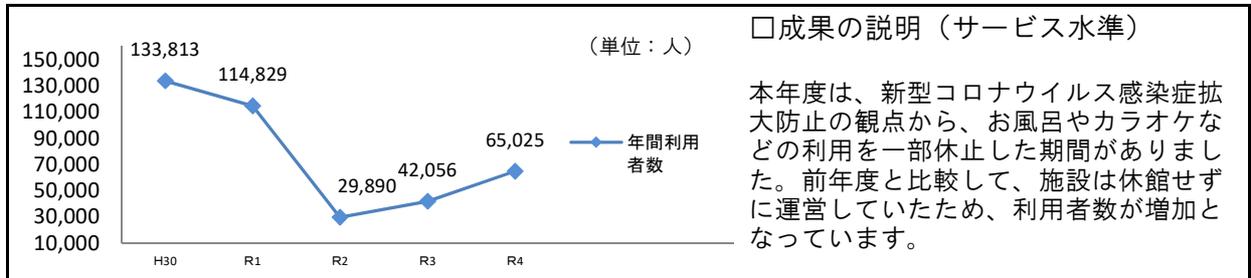
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

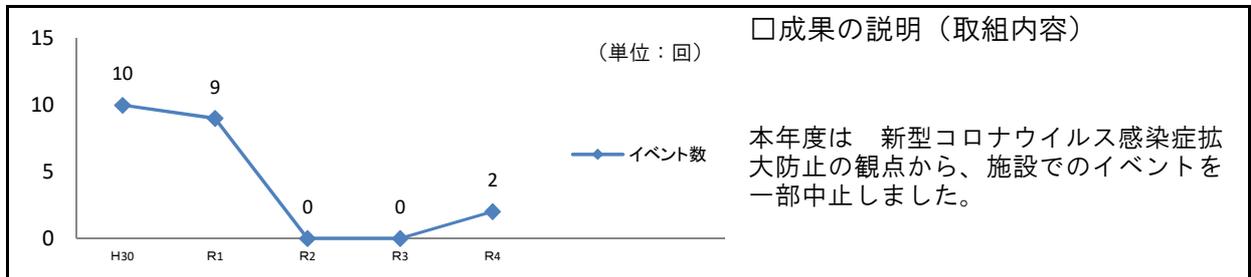
施策番号	2-1-1	実施計画No.	35	重点プロジェクトNo.	①-29	-	補助金No.	-	
事業名 (補助金名)	高齢者福祉施設運営事業					課名	高齢者支援課		
事業内容	高齢者福祉センター(幸楽荘・寿楽荘)、高齢者憩いの家(大枝・庄和)及び憩いの家(葉師沼・大池)を運営し、高齢者の憩いと安らぎの場として、また、高齢者の自主的な活動や健康づくりの場として提供するものです。					事業開始年度	平成17年度		
						事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	高齢者福祉施設の年間利用者数					現状値 (平成29年度)	136,808人		
現状と課題	高齢者の憩いと安らぎの場として、多くの高齢者に利用いただいておりますが、利用者が快適に安心して利用できるよう、施設の維持管理が求められています。施設の老朽化に伴う適正な維持管理が課題となっています。								

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	137,850人	138,880人	139,920人	140,960人	142,000人
成果指標の実績値	133,813人	114,829人	29,890人	42,056人	65,025人
達成率	97.1%	82.7%	21.4%	29.8%	45.8%
決算額(千円)	84,071	59,981	64,924	72,407	73,304

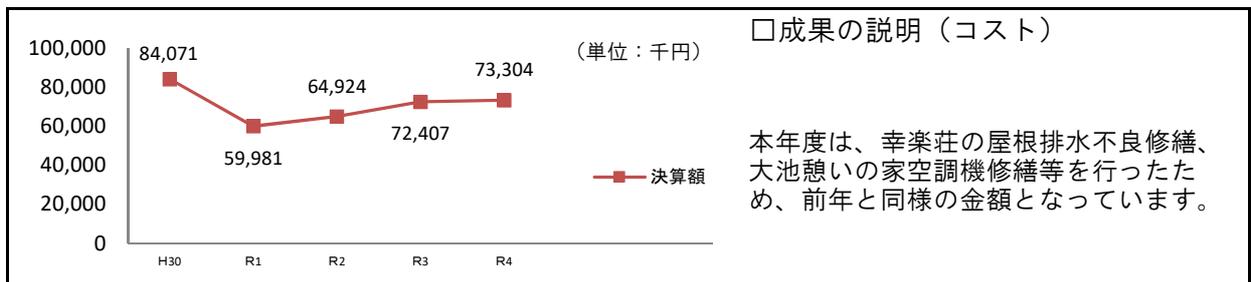
1 高齢者福祉施設の年間利用者数



2 高齢者福祉施設の自主又は共催・後援イベント数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、お風呂やカラオケなどの利用を一部休止した期間ありましたが、施設を休館せずに運営したことから、前年度よりも利用者数は増加しています。今後も施設の修繕等を行い、利用者が快適に、安心して施設を利用できるよう、施設の運営を行っていきます。	
今後の方向性	現状維持	引き続き、利用者が快適に安心して利用できるよう、必要な修繕等を行い施設を維持管理します。また、施設の周知を図ることにより、多くの高齢者に来館していただけるよう施設の運営を行っていきます。

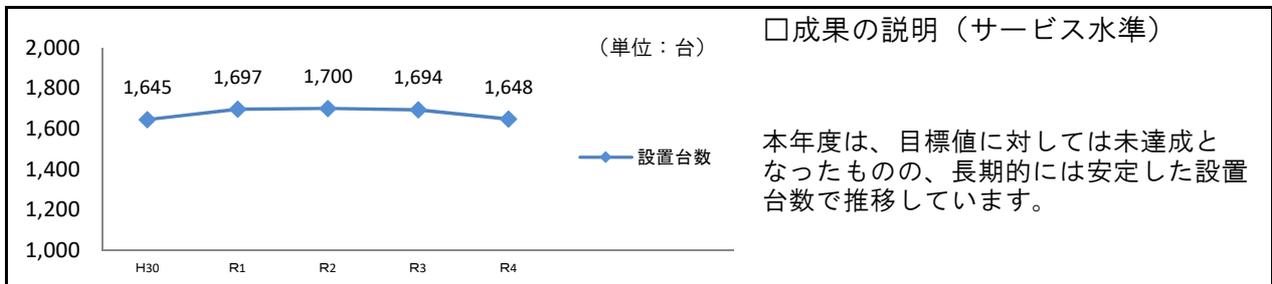
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

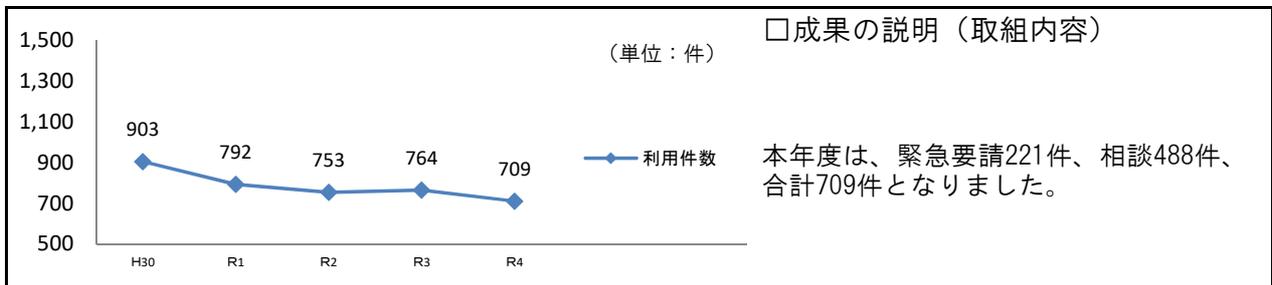
施策番号	2-1-2	実施計画No.	36	重点プロジェクトNo.	①-30	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	緊急通報システム設置事業					課名	高齢者支援課	
事業内容	一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯などに対し、急病などの緊急時に迅速な対応を図るため、緊急通報システムを設置します。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	緊急通報システム設置台数					現状値 (平成29年度)	1,730台	
現状と課題	高齢人口が増えるとともに、家族構成については核家族化が進み、高齢者の単身世帯、夫婦のみ世帯が増加しています。住み慣れた地域で自立した生活を送ることができるよう緊急時に対応できるサービスを提供することが重要であり、地域での孤立化を防ぐことが課題となっています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	1,759台	1,839台	1,919台	1,999台	2,079台
成果指標の実績値	1,645台	1,697台	1,700台	1,694台	1,648台
達成率	93.5%	92.3%	88.6%	84.7%	79.3%
決算額(千円)	23,759	23,983	24,617	24,915	24,351

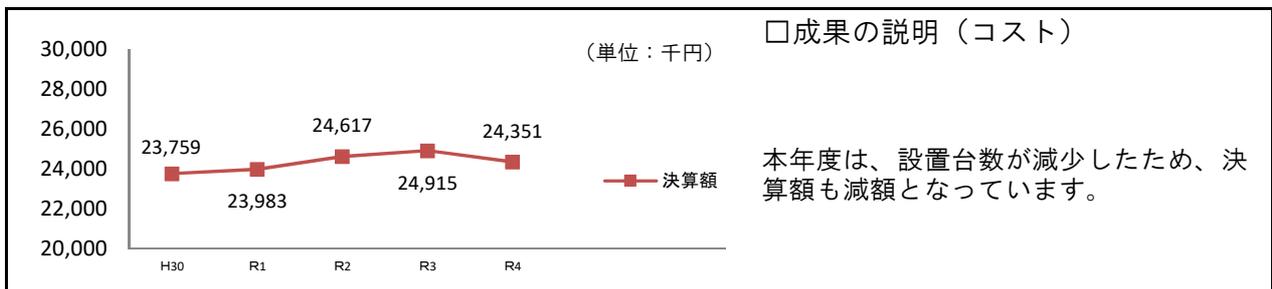
1 緊急通報システム設置台数の推移



2 利用件数の推移



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は、目標値に対して未達成となったものの、パンフレットの活用や地域包括支援センターなどによる普及啓発を行い、一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯に緊急通報システムを設置したことにより、高齢者本人や家族の日常の安心につながることができました。	
今後の方向性	現状維持	一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯の日常生活の安全確保に有効な手段であるため、今後も普及啓発に努めていきます。

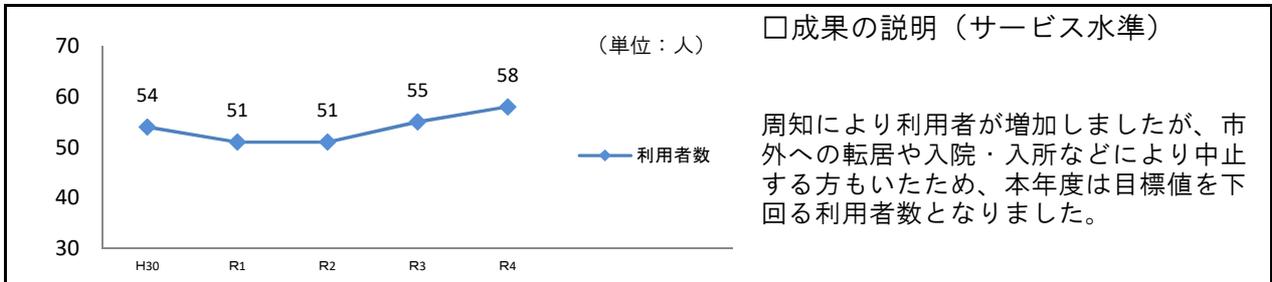
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

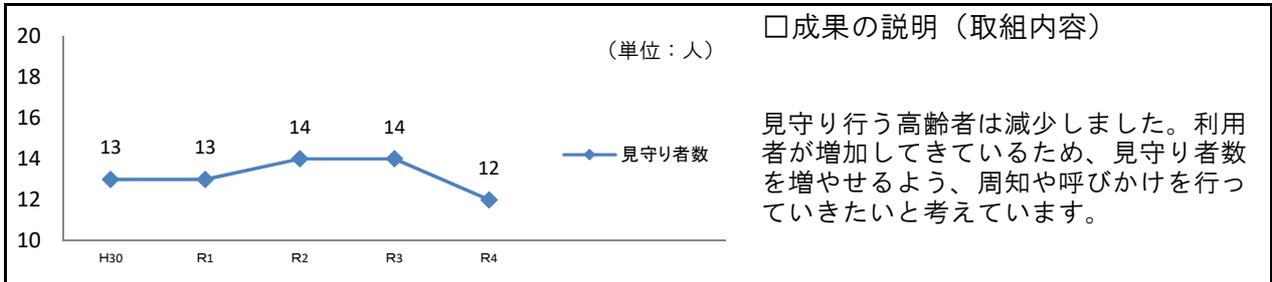
施策番号	2-1-2	実施計画No.	37	重点プロジェクトNo.	①-31	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	高齢者安心見守り事業					課名	高齢者支援課	
事業内容	高齢者の孤独感の解消、高齢者の生きがいづくりのため、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯等に対し、現在ではいきいきクラブの会員が定期的な電話、訪問により見守りを行います。					事業開始年度	平成24年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	高齢者安心見守り事業利用者数				現状値 (平成29年度)	49人		
現状と課題	高齢者の増加が見込まれる状況においては、利用者の増加に繋げていくことで、高齢者の見守り体制を強化していく必要があります。利用者は増加していますが、目標値を下回っているため、事業の周知方法の検討など、情報発信の強化が課題となっています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	50人	55人	60人	65人	70人
成果指標の実績値	54人	51人	51人	55人	58人
達成率	108.0%	92.7%	85.0%	84.6%	82.9%
決算額(千円)	458	482	570	666	686

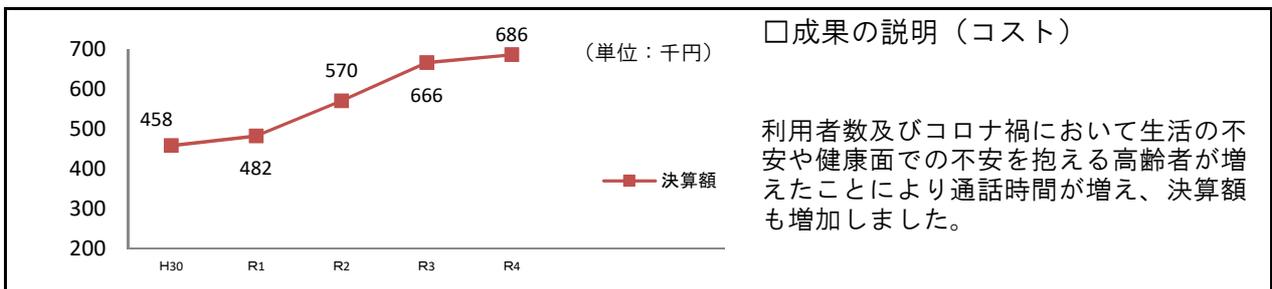
1 高齢者安心見守り事業利用者数



2 高齢者安心見守り事業見守り者数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	利用者で見守りを行う高齢者は増加したものの、利用者の目標値を下回る結果となりました。また、コロナ禍において生活の不安や健康面での不安を抱える高齢者が増えたことにより通話時間が増え、決算額も増加しました。利用者の孤独感の解消や安否確認のため連絡をすることにより、利用者の安心感につなげることができました。	
今後の方向性	拡充	高齢者の孤独感の解消の目的の他、高齢者が自らの手で地域社会及び地域福祉を支えていくを目的としており、見守りを委託しているいきいきクラブ連合会とのさらなる連携を図ることで、見守りの受け入れ体制を整備しながら、見守る側の高齢者の生きがいづくりに繋げてまいります。また、従来の市公式ホームページや広報かすかべ等の周知の他、民生委員や地域包括支援センターを通じた高齢者へのチラシの配布等により周知を図り、利用者数の増加に繋げてまいります。

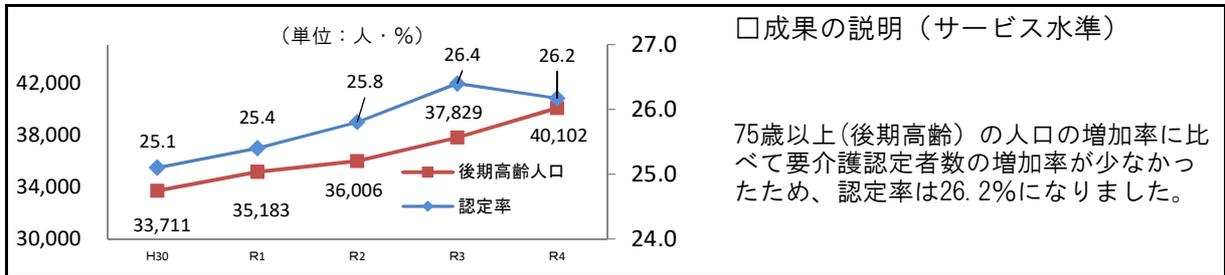
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

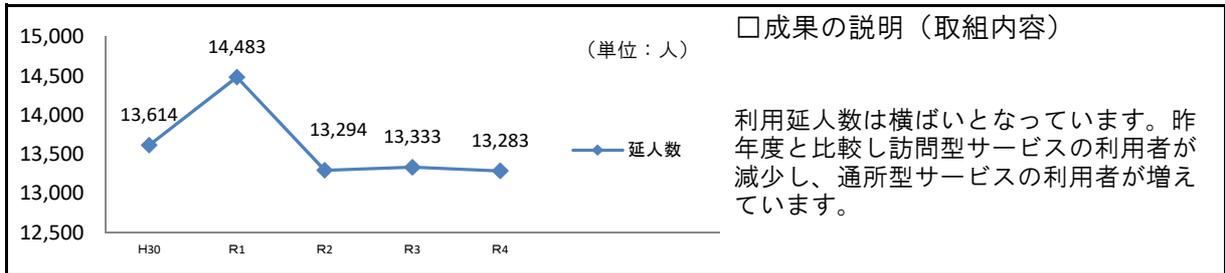
施策番号	2-1-3	実施計画No.	38	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	介護予防・生活支援サービス事業					課名	介護保険課	
事業内容	要支援者等に対し、掃除、洗濯などを行う訪問型サービスおよび機能訓練や集いの場などを行う通所型サービスを提供し、日常生活上の支援を行います。					事業開始年度	平成29年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	75歳以上要介護認定率				現状値 (平成29年度)	26.0%		
現状と課題	団塊の世代の方々が75歳を迎える令和7年（2025年）を迎えるにあたり、要介護認定を受けなくても利用できる介護予防・生活支援サービスを充実させる必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	26.0%	26.0%	26.0%	26.0%	26.0%
成果指標の実績値	25.1%	25.4%	25.8%	26.4%	26.2%
達成率	103.6%	102.4%	100.8%	98.5%	99.2%
決算額(千円)	312,602	334,642	308,799	316,969	323,952

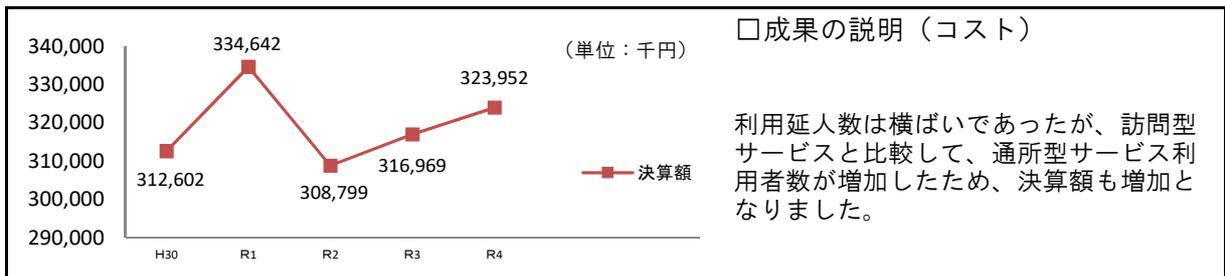
1 75歳以上要介護認定率



2 利用延人数



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	コロナ禍により、新規の訪問型サービス利用実績は減少したものの、通所型サービスの利用実績は増加しています。また、短期集中型介護予防サービスの利用も減少傾向にあります。今後も、利用ニーズに基づいた適切なサービス提供を継続できるよう事業を運営する必要があります。	
今後の 方向性	現状維持	住み慣れた地域で自立した生活が続けられるよう、関係機関と連携を図りながら、日常生活上のサービス支援を行っていきます。

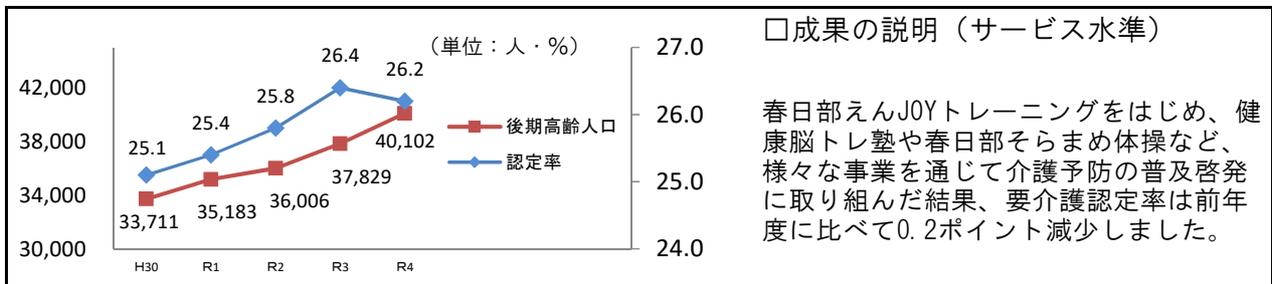
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

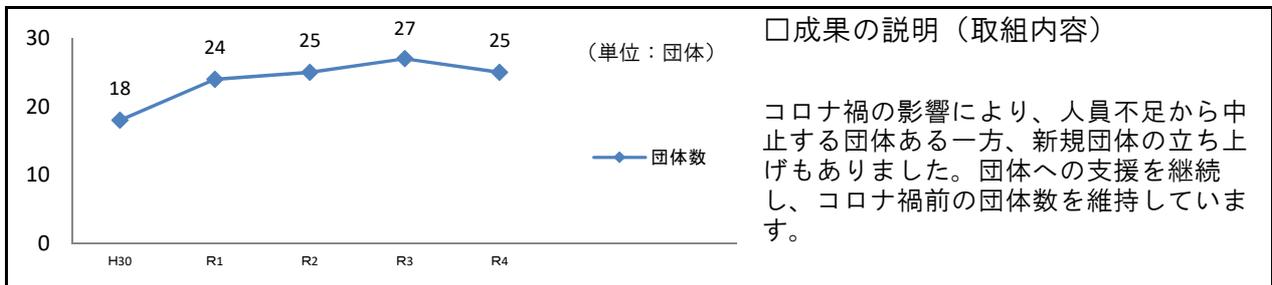
施策番号	2-1-3	実施計画No.	39	重点プロジェクトNo.	①-32	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	住民主体型介護予防事業					課名	介護保険課	
事業内容	住民主体型の介護予防事業である「春日部えんJOYトレーニング」を実施しながら地域での支え合いや見守りを促します。					事業開始年度	平成29年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	75歳以上要介護認定率				現状値 (平成29年度)	26.0%		
現状と課題	団塊の世代の方々が75歳を迎える令和7年（2025年）を迎えるにあたり、要介護認定を受けなくても利用できる介護予防・生活支援サービスを充実させる必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	26.0%	26.0%	26.0%	26.0%	26.0%
成果指標の実績値	25.1%	25.4%	25.8%	26.4%	26.2%
達成率	103.6%	102.4%	100.8%	98.5%	99.2%
決算額(千円)	676	631	488	512	575

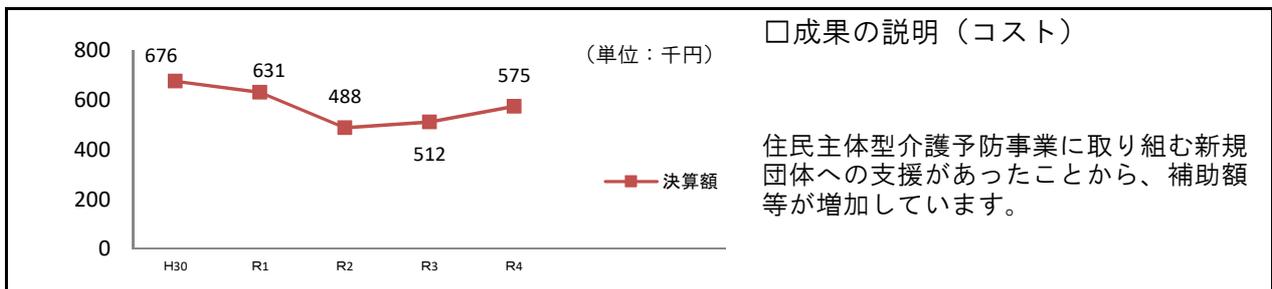
1 75歳以上要介護認定率



2 春日部えんJOYトレーニング実施団体数



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	実施団体に対して、コロナ禍においても効果的なトレーニングや地域のつながりを感じることができるよう感染対策の工夫の助言等支援を継続しました。これにより、コロナ禍以前の団体数水準を維持しています。
今後の 方向性	現状維持 感染予防に配慮した安全な実施方法を共有したうえで、フレイル予防及び介護予防、地域の支えあいや見守りに対する意識啓発を行っていきます。また、春日部えんJOYトレーニングの実施団体が増加するよう関係機関等と連携を図り、新規団体の立ち上げや既存団体の活動継続に向けた支援をしていきます。

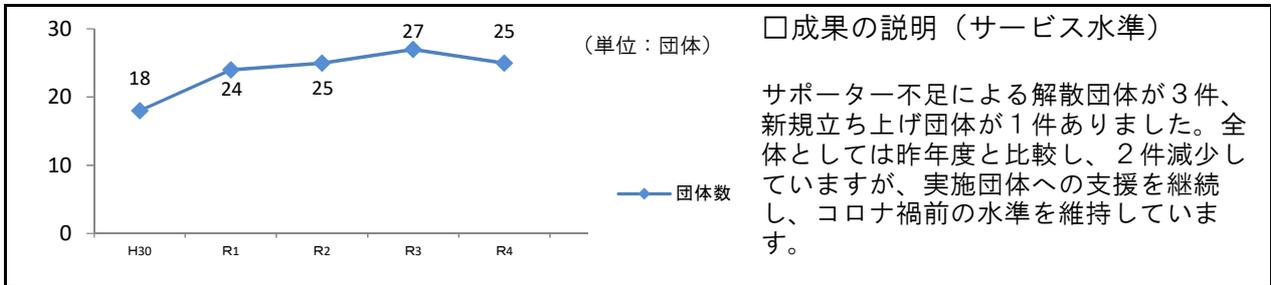
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

施策番号	2-1-3	実施計画No.	40	重点プロジェクトNo.	①-33	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	地域リハビリテーション活動支援事業					課名	介護保険課	
事業内容	「春日部えんJOYトレーニング」を実施するにあたり、理学療法士を派遣し、技術的助言を行うなど総合的に支援します。					事業開始年度	平成29年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	春日部えんJOYトレーニング実施団体数				現状値 (平成29年度)	14団体		
現状と課題	団塊の世代の方々が75歳を迎える令和7年（2025年）を迎えるにあたり、住民主体型の介護予防事業を充実させる必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	16団体	18団体	20団体	22団体	24団体
成果指標の実績値	18団体	24団体	25団体	27団体	25団体
達成率	112.5%	133.3%	125.0%	122.7%	104.2%
決算額(千円)	914	1,317	667	1,056	720

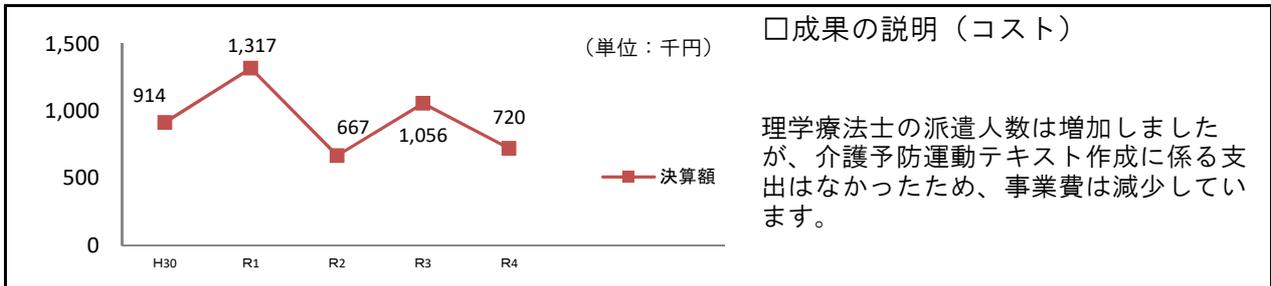
1 春日部えんJOYトレーニング実施団体数



2 理学療法士派遣延人数



3 決算額の推移



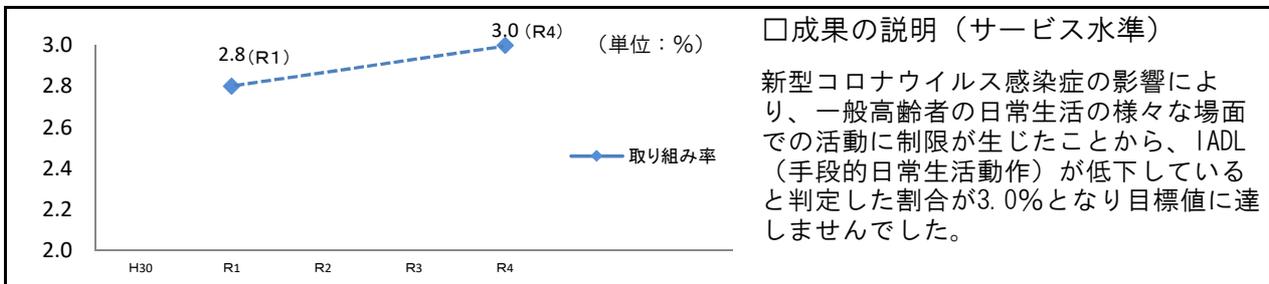
令和4年度の 評価	サポーター不足による解散団体があるものの、サポーター養成講座や活動団体の実施会場に理学療法士を派遣し、感染予防に配慮した実施方法等の技術的助言を行うなど、効果的なトレーニング実施に努めました。また、新規団体の立ち上げ等理学療法士の派遣回数も増えてい	
今後の 方向性	現状維持	春日部えんJOYトレーニングの実施会場に理学療法士を派遣し、新規団体や既存団体の参加者に技術的助言などの支援を行い、他介護予防事業との連携も含め、より効果的な住民主体型の介護予防活動の実施を図ります。

【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

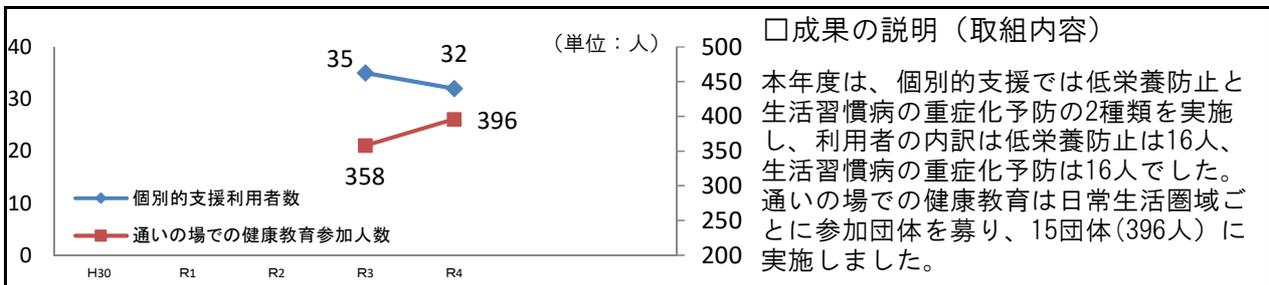
◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

施策番号	2-1-3	実施計画No.	41	重点プロジェクトNo.	①-34	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	いきいきシニアライフ応援事業					課名	健康課	
事業内容	市民の健康寿命の延伸を図るため、地域資源を活用し、保健事業と介護予防事業と一体的に実施する。					事業開始年度	令和3年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	「IADLの低下」リスク該当の一般高齢者の割合				現状値 (平成元年度)	2.8%		
現状と課題	効果的なフレイル予防対策として、①医療、健診、介護等の情報をもとに健康課題を分析し、②その結果を基に地域の高齢者の通いの場において健康教育を実施すること、③健診結果から個別指導が必要な75歳以上の高齢者に対して、家庭訪問による個別的支援を行うことが必要です。							
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
成果指標の目標値	-	-	2.7%	2.6%	2.5%			
成果指標の実績値	-	-	-	-	3.0%			
達成率	-	-	-	-	83.3%			
決算額(千円)	-	-	-	2,818	3,448			

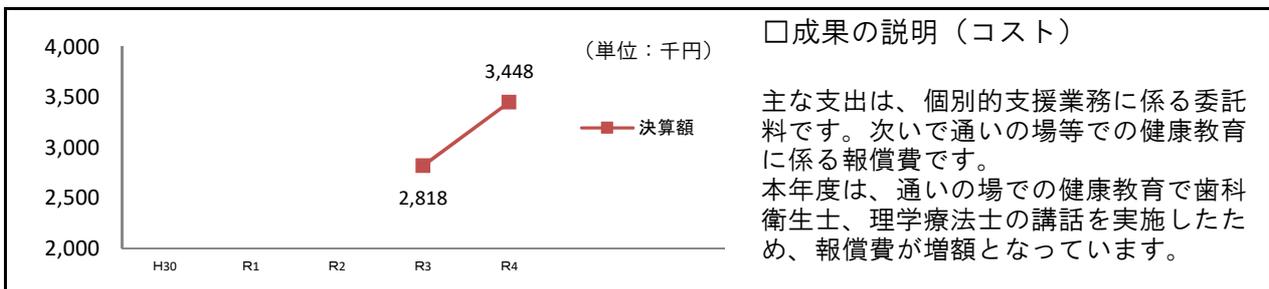
1 「IADLの低下」リスク該当の一般高齢者の割合（介護予防・日常生活ニーズ調査）



2 いきいきライフ応援事業の参加者数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	医療、健診、介護等の情報をもとに分析・抽出した健康課題を基に実施計画を策定しました。個別的支援は参加者が設定した目標は74.1%達成できました。通いの場での健康教育では、新規参加者の栄養リスクを2.7%低減させることができました。また、口腔ケア講話を受講した参加者は、未受講者よりも口腔フレイルリスクが1.3%低減しました。本事業を通し、参加者にフレイル予防への意識付けや生活の中での取り組みが期待でき、また取り組みの継続を支援することでIADLの向上につながると考えます。	
今後の方向性	現状維持	個別的支援は、利用者数が32人と想定を下回ったことから、次年度は対象者を増やすため、対象者への勧奨方法を見直していきます。通いの場の健康教育では、口腔ケア講話を実施した圏域では、口腔フレイルリスクの低減が見られたことから、参加団体に口腔ケア講話の実施を推奨していきます。また、全域において、運動機能リスクの増加が見られたことから、理学療法士の講話の実施に向けて企画調整していきます。

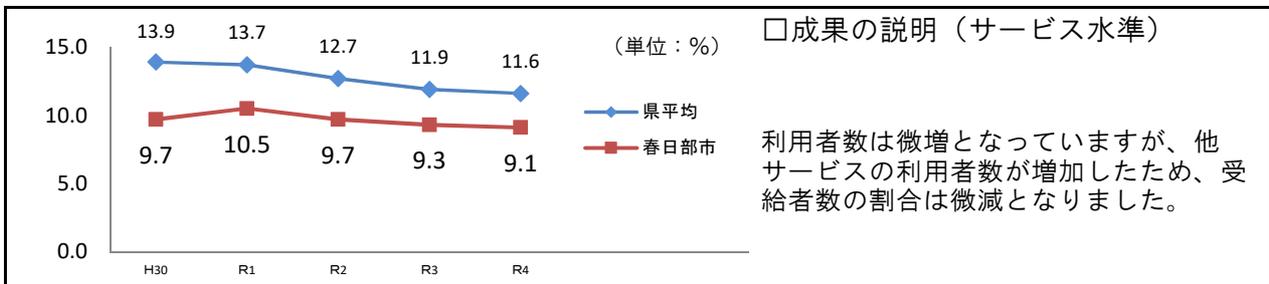
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

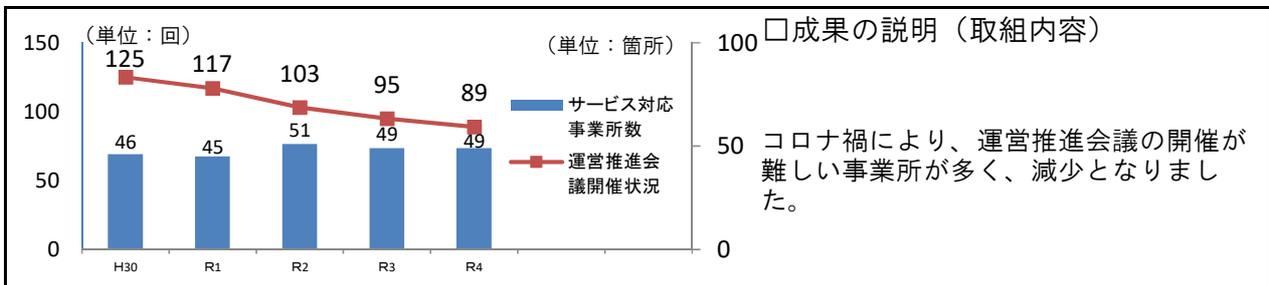
施策番号	2-1-4	実施計画No.	42	重点プロジェクトNo.	①-35	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	地域密着型介護サービス給付事業					課名	介護保険課	
事業内容	要介護認定された被保険者が、地域密着型介護サービスを利用した場合に給付します。					事業開始年度	平成18年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	認定者数に対する地域密着型サービス受給者数の割合					現状値 (平成29年度)	7.7%	
現状と課題	高齢者世帯や一人暮らし高齢者、認知症高齢者が増加しており、住み慣れた地域で必要なサービスを受けることが出来るように、介護保険サービスの適正な給付に努める必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	8.3%	9.0%	9.6%	10.3%	10.9%
成果指標の実績値	9.7%	10.5%	9.7%	9.3%	9.1%
達成率	116.9%	116.7%	101.0%	90.3%	83.5%
決算額(千円)	1,304,585	1,356,851	1,416,239	1,477,165	1,560,486

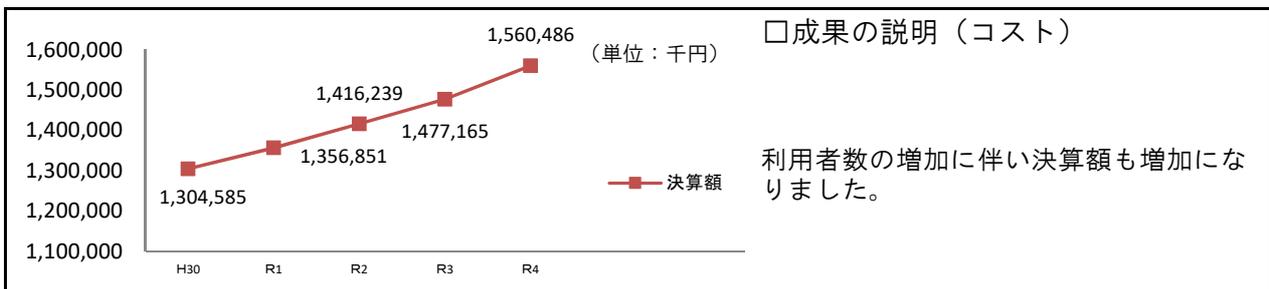
1 認定者数に対する地域密着型サービス受給者数の割合の推移



2 サービス利用環境整備の推移



3 決算額の推移



令和4年度の評価	利用者数は微増となっていますが、他サービスの利用者数が増加したため、受給者数の割合は微減となりました。	
今後の方向性	現状維持	地域密着型サービスをはじめ様々な介護サービスを組み合わせながら、必要な人に必要なサービスが提供できるように支援していきます。

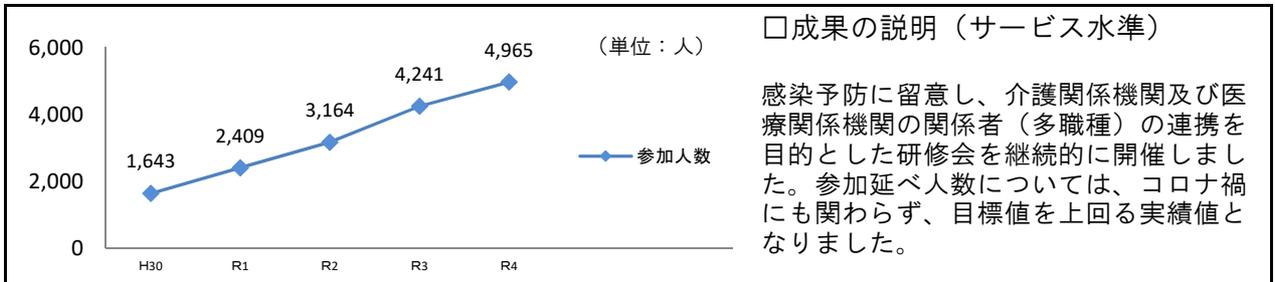
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

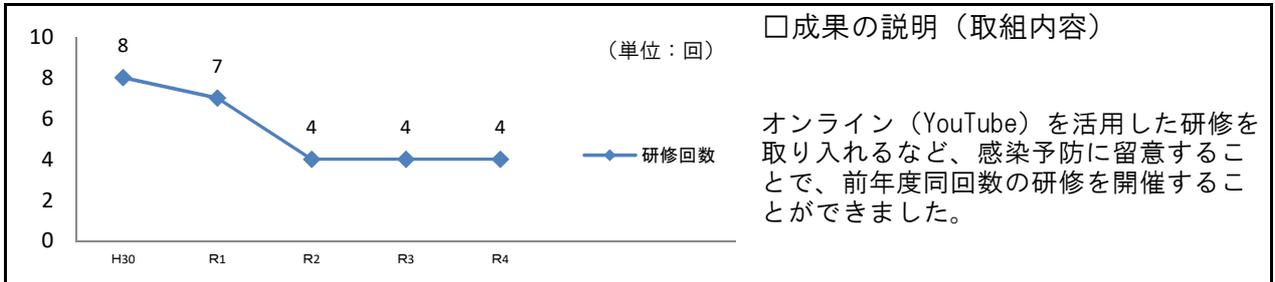
施策番号	2-1-4	実施計画No.	43	重点プロジェクトNo.	①-36	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	在宅医療・介護連携推進事業					課名	介護保険課	
事業内容	医療と介護を必要とする高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう医療・福祉・介護等の関係機関の連携体制を強化し、地域全体で高齢者を支えていく体制の構築を推進していきます。					事業開始年度	平成27年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	医療・介護関係者の研修参加延べ人数				現状値 (平成29年度)	836人		
現状と課題	地域包括ケアシステムの中核となる地域包括支援センターの機能強化を図ってきました。今後は、地域包括ケアシステムを推進し、高齢者の多様化・複雑化している問題への対応を強化し、医療ニーズの高い高齢者を在宅で包括的に支えるためのサービス体制の構築をしていく必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	1,300人	1,800人	2,300人	2,800人	3,300人
成果指標の実績値	1,643人	2,409人	3,164人	4,241人	4,965人
達成率	126.4%	133.8%	137.6%	151.5%	150.5%
決算額(千円)	23,700	23,700	23,700	23,700	23,700

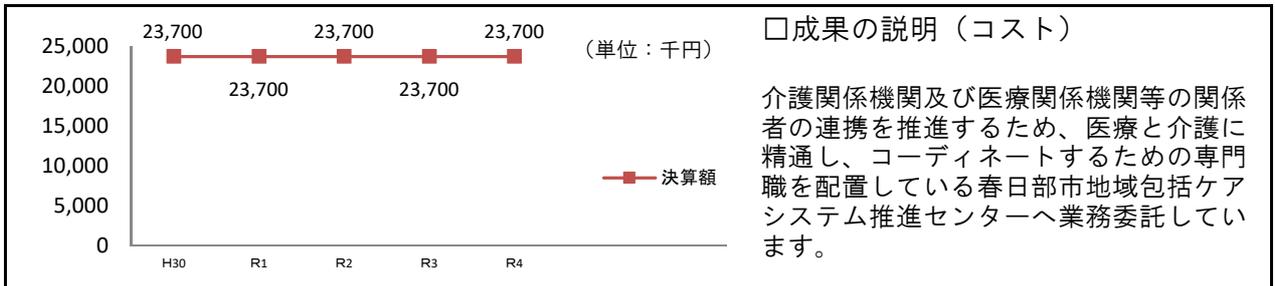
1 医療・介護関係者の研修参加延べ人数の推移



2 医療・介護関係者の研修実績回数



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	感染予防に留意しながらの現地開催、オンラインでの開催になりましたが、コロナ禍における多職種の役割や様々な専門職の立場からの考えを伺うなど、継続して現状や課題について具体的な情報・意見交換ができる場として、重要な役割を果たしました。	
今後の 方向性	現状維持	介護関係機関及び医療関係機関等の多職種の研修・交流を重ねることで、お互いの分野の知識を深め、お互いの役割を理解し、多職種の顔の見える関係づくりを図ります。これにより、医療・介護等の関係機関の連携体制を強化し、チームで地域を支えていく体制の構築を進めていきます。

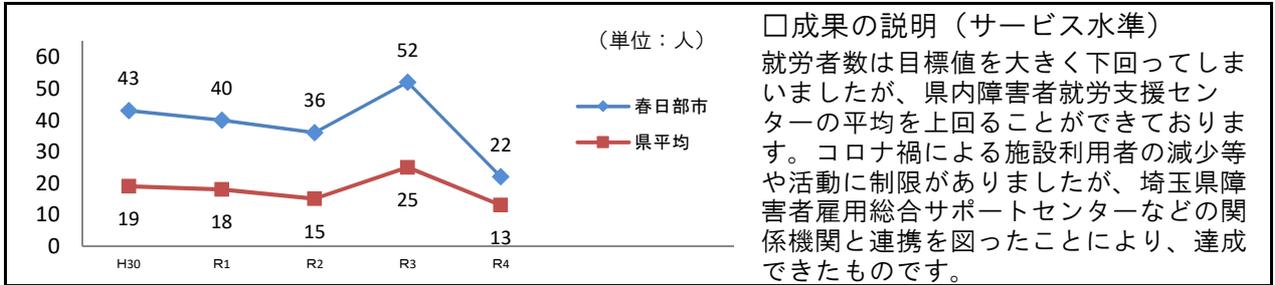
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

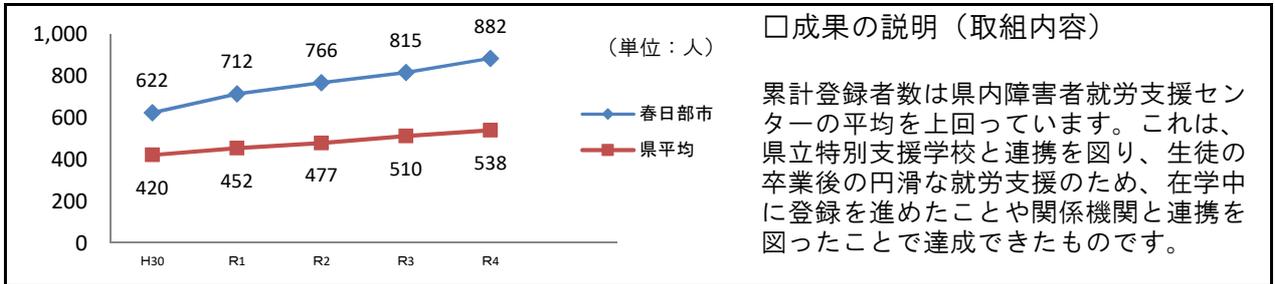
施策番号	2-2-1	実施計画No.	44	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	障害者就労支援センター運営事業					課名	障がい者支援課	
事業内容	障がい者の就労機会の拡大を図るため、障がい者やその家族の意向に応じて就労相談および助言、就職準備や職場開拓、職場実習、職場定着などを支援します。					事業開始年度	平成18年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	障害者就労支援センターの支援による就労者数					現状値 (平成29年度)	36人	
現状と課題	登録者数は年々増加しており、県内障害者就労支援センターの平均を上回っています。就労を希望する障がいのある人の多様化するニーズや就労環境の変化に対応するため、関係機関等との就労支援ネットワーク化を図っていくことが引き続きの課題となっています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	54人	56人	58人	60人	62人
成果指標の実績値	43人	40人	36人	52人	22人
達成率	79.6%	71.4%	62.1%	86.7%	35.5%
決算額(千円)	4,502	5,582	5,582	5,582	8,156

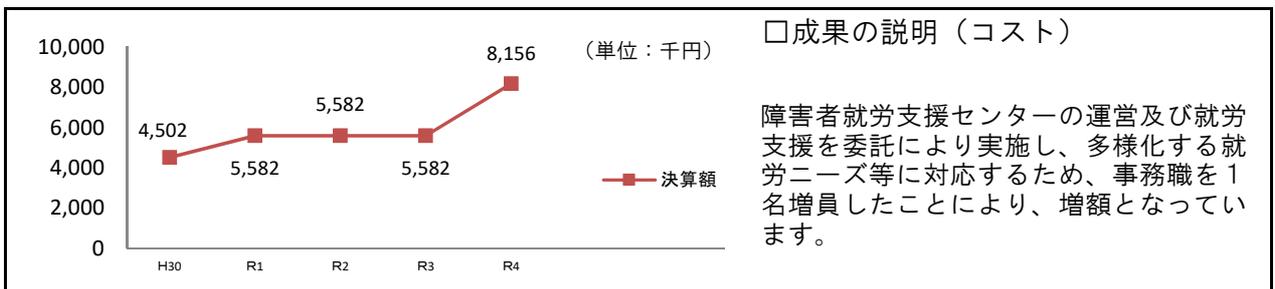
1 障害者就労支援センターの支援による就労者数



2 登録者数の推移



3 決算額の推移



令和4年度の評価	コロナ禍の影響により、相談支援などの活動に制限などがあり、目標値を大きく下回る結果となりましたが、埼玉県障害者雇用総合サポートセンターなどの関係機関と連携を図ったことにより、県内就労支援センターの平均値を上回ることができ、障がいのある人の状況に応じた就労支援や定着支援を行えたものと考えています。	
今後の方向性	現状維持	今後も埼玉県障害者雇用総合サポートセンターなどの関係機関や市内の各就労支援施設（就労移行支援事業所、障害者就労継続支援A型・B型事業所）と連携を図り、新型コロナウイルスの感染防止対策も踏まえたうえで、より多くの障がいのある人の就労支援や就労後の定着支援を行ってまいります。

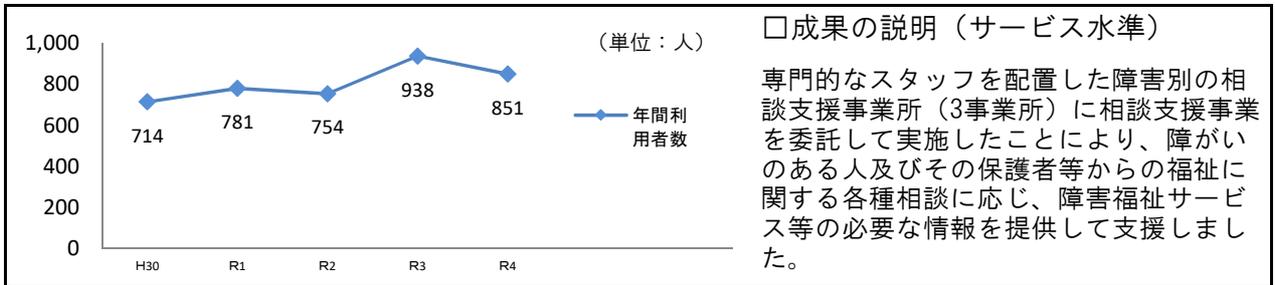
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

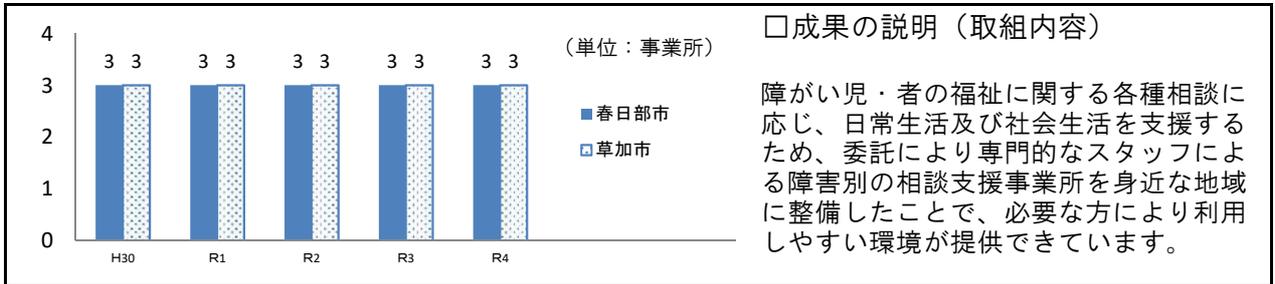
施策番号	2-2-1	実施計画No.	45	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-	
事業名 (補助金名)	障害者相談支援事業					課名	障がい者支援課		
事業内容	日常生活や社会生活、就労、権利擁護等の福祉に関する各種相談に応じ、必要な情報を提供します。					事業開始年度	平成18年度		
						事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	障害者生活支援センター（相談支援事業所）の年間利用者数				現状値 (平成29年度)	656人			
現状と課題	障がい児・者の日常生活及び社会生活を支援するため、事業者に委託して相談支援を実施していますが、社会経済情勢の変化や保護者および障がい者の高齢化等により、相談内容が複雑・多岐となっており、多種多様なニーズに応じた専門的な相談支援が求められています。多種多様なニーズに対応できるよう、相談支援の充実を図っていく必要があります。								

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	587人	602人	617人	632人	647人
成果指標の実績値	714人	781人	754人	938人	851人
達成率	121.6%	129.7%	122.2%	148.4%	131.5%
決算額(千円)	25,500	25,500	28,513	28,500	28,500

1 障害者生活支援センター（相談支援事業所）の年間利用者数



2 障害者相談支援事業所数（行政規模が同等の自治体との比較）



3 決算額の推移



令和4年度の評価	利用者数は目標値を上回りました。専門的なスタッフを配置した障害別の相談支援事業所（3事業所）による相談支援を身近な地域で委託により継続して実施したことで、各種の相談を必要とする方に利用しやすい環境と相談の場を提供し、支援につながることができたと考えます。	
今後の方向性	拡充	障がい者数及び障害福祉サービス利用者数は年々増加しており、障がい者を取り巻く環境の変化に対応した相談支援を充実するとともに、社会福祉法の改正により明文化された地域共生社会の実現に向けた重層的支援体制の整備に向けて、委託相談支援事業所の相談支援体制のさらなる強化とスタッフの専門知識の向上を図り、障がい児・者の日常生活及び社会生活を支援していきます。

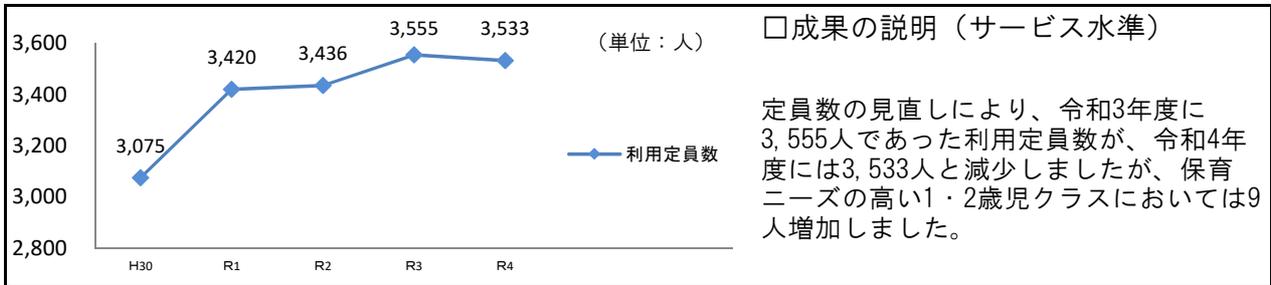
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

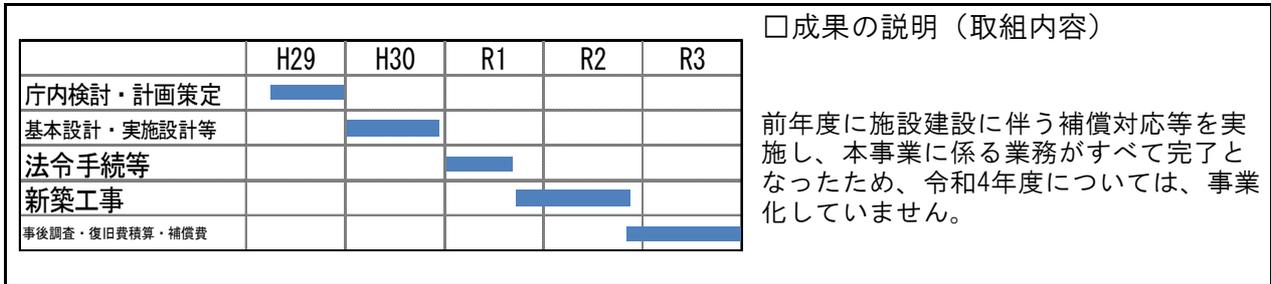
施策番号	1-1-2	実施計画No.	12・46	重点プロジェクトNo.	①-8	①-37	補助金No.	-	
事業名 (補助金名)	複合型子育て支援施設整備事業					課名	保育課		
事業内容	保育所（病児保育事業対応）及び児童発達支援センターの複合施設を整備し、令和3年4月開所を目指すものです。					事業開始年度	平成30年度		
						事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	保育所等の利用定員数					現状値 (平成29年度)	2,812人		
現状と課題	令和3年度をもって事業が完了しています。								

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	3,099人	3,441人	3,460人	3,646人	3,646人
成果指標の実績値	3,075人	3,420人	3,436人	3,555人	3,533人
達成率	99.2%	99.4%	99.3%	97.5%	96.9%
決算額(千円)	72,407	116,878	9,710,544	22,111	—

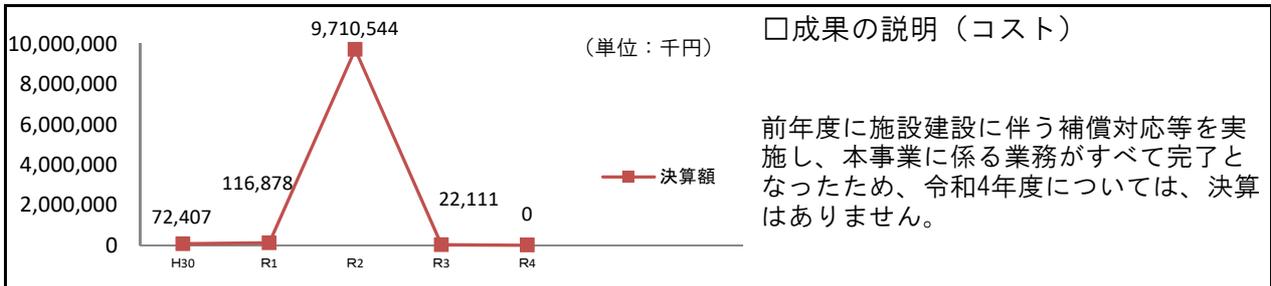
1 保育所等の利用定員数の推移



2 事業の進捗状況



3 決算額の推移



令和4年度の評価	前年度に本事業に係る業務がすべて終了となり、令和4年度も含め、今後本事業の実施はありません。	
今後の方向性	現状維持	県内初の複合型子育て支援施設として、保育所と児童発達支援センターの一体的な運営によるインクルーシブ保育の実践に取り組んでいくと共に、指定管理者と連携し、地域に根差した施設運営を目指します。

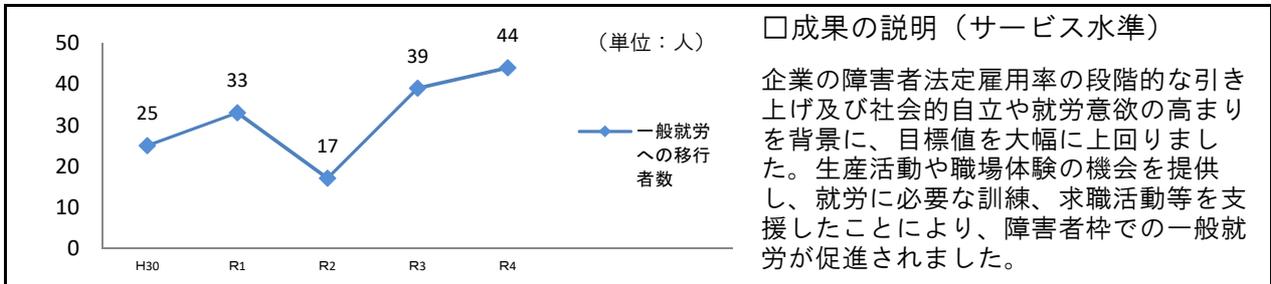
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

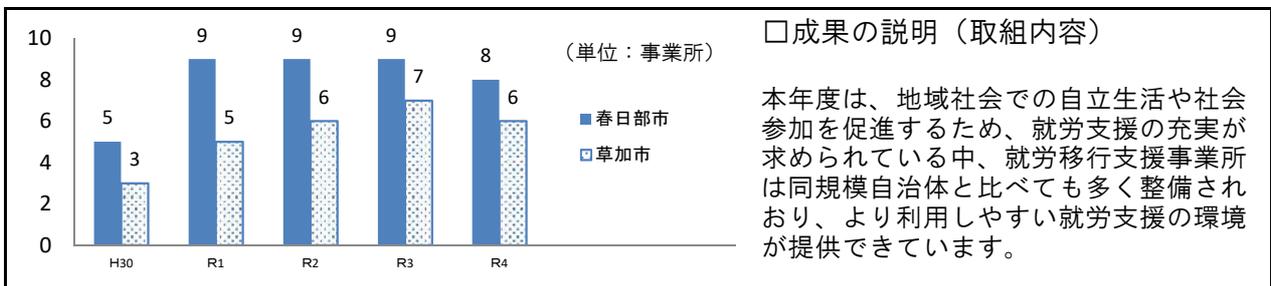
施策番号	2-2-2	実施計画No.	47	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	介護給付費・訓練等給付費給付事業					課名	障がい者支援課	
事業内容	障害福祉サービスを提供することにより、日常生活や社会生活を営むことができるように支援します。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	就労移行支援による一般就労への移行者数				現状値 (平成29年度)	23人		
現状と課題	障がいのある人の自立した日常生活や社会生活、社会参加を促進するため、在宅生活支援や就労支援などの充実が求められています。在宅サービスや日中活動系サービスの充実に加えて、住まいの場の確保やグループホームなどの整備・充実を促進する必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	15人	17人	19人	21人	23人
成果指標の実績値	25人	33人	17人	39人	44人
達成率	166.7%	194.1%	89.5%	185.7%	191.3%
決算額(千円)	3,796,014	4,052,709	4,293,373	4,564,051	4,805,366

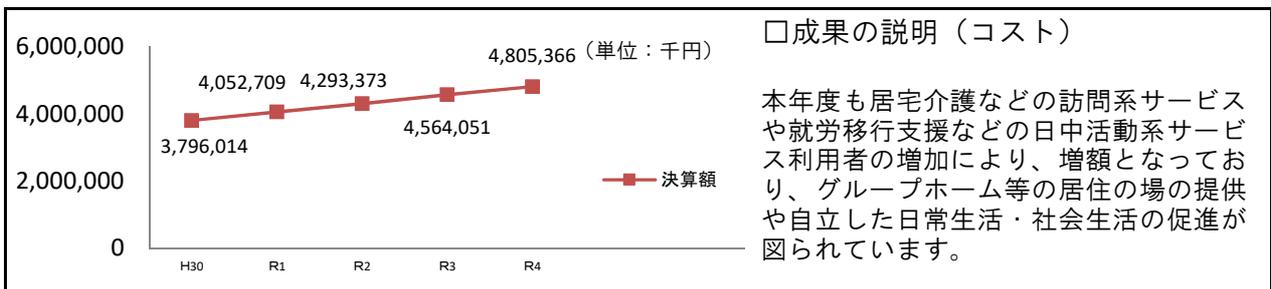
1 就労移行支援による一般就労への移行者数



2 就労移行支援事業所数（行政規模が同等の自治体との比較）



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は、障がい児・者の自立した日常生活や社会生活、社会参加を促進するため、在宅生活支援や就労支援などの充実が求められており、障害福祉サービスの利用者及び利用量は増加しています。また、就労移行支援の利用による障害者枠での一般就労への移行者数は、社会的自立や就労意欲の高まりを背景に、雇用環境がコロナ禍の影響を受けている中で、目標値を大幅に上回ったことから、自立した日常生活や社会生活を営むための環境整備を促進できていると考えています。	
今後の方向性	拡充	障害者数及び障害福祉サービスの利用者数が年々増加していることから、引き続き自立した日常生活や社会生活、社会参加を促進するため、障害福祉サービスの充実を図り、サービスを提供することにより在宅生活や就労などを支援していきます。

【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

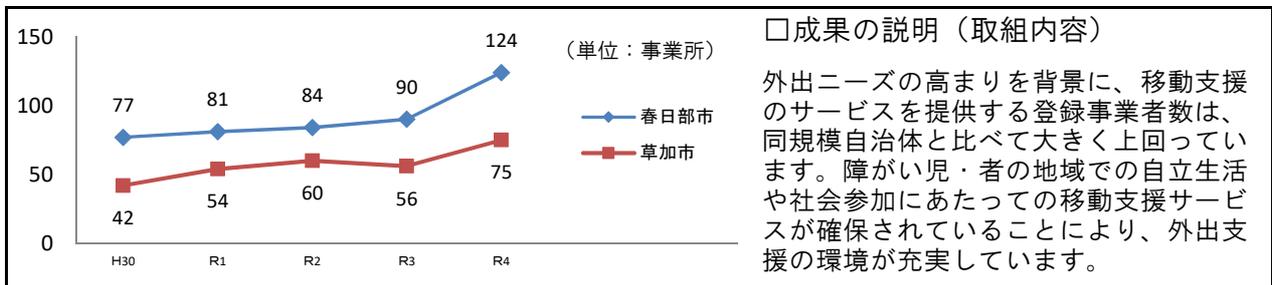
施策番号	2-2-2	実施計画No.	48	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	移動支援事業					課名	障がい者支援課	
事業内容	地域における自立した社会生活や社会参加を促進するため、屋外での移動が困難な障がい児・者の外出を支援します。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	移動支援事業の利用者数				現状値 (平成29年度)	144人		
現状と課題	屋外での移動に困難がある障がい児・者の地域における自立生活や社会参加を促進するため、移動支援サービスの提供により、外出の際の移動を支援していますが、多種多様な外出ニーズに応じたサービスを提供していく必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	153人	158人	163人	168人	173人
成果指標の実績値	158人	173人	168人	166人	217人
達成率	103.3%	109.5%	103.1%	98.8%	125.4%
決算額(千円)	107,561	111,713	107,837	113,735	105,376

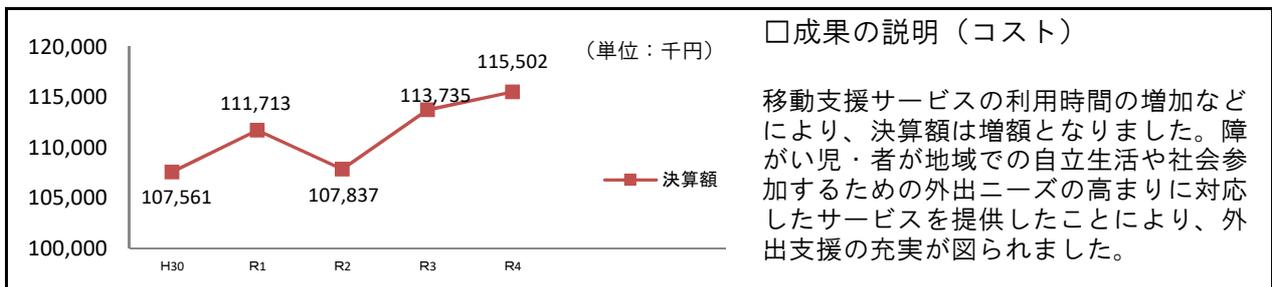
1 移動支援事業の利用者数



2 登録事業者数の推移（行政規模が同等の自治体との比較）



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は地域での自立生活及び社会参加ニーズの高まりや、介護者の高齢化等に伴い、目標値を上回る利用者数となりました。外での移動に困難がある障がい児・者の外出を支援したことにより、地域での自立生活及び社会参加が促進されたとともに、介護者の負担軽減が図られ、外出ニーズの高まりや介護者の高齢化等に対応してサービスを提供することができたと考えています。	
今後の方向性	現状維持	屋外での移動に困難がある障がい児・者の地域における自立生活及び社会参加を促進するとともに、介護者の高齢化等に伴う負担軽減を図るため、引き続き移動支援サービスを提供する登録事業者を確保することにより、外出支援の環境を充実させ、外出ニーズに対応した外出支援を提供していきます。

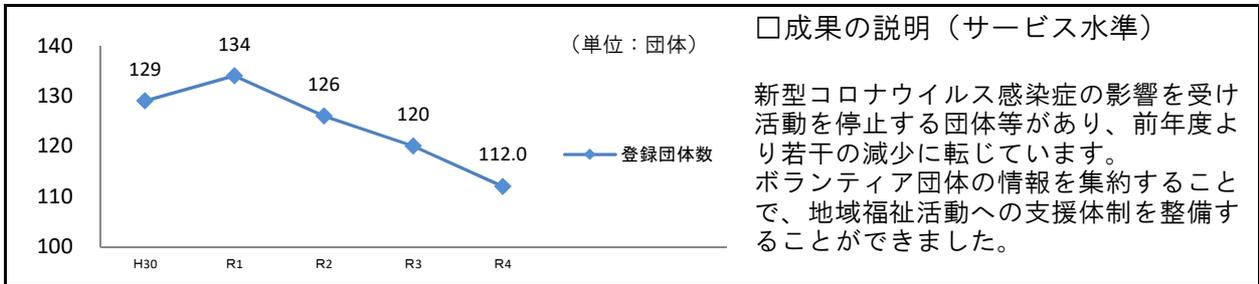
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

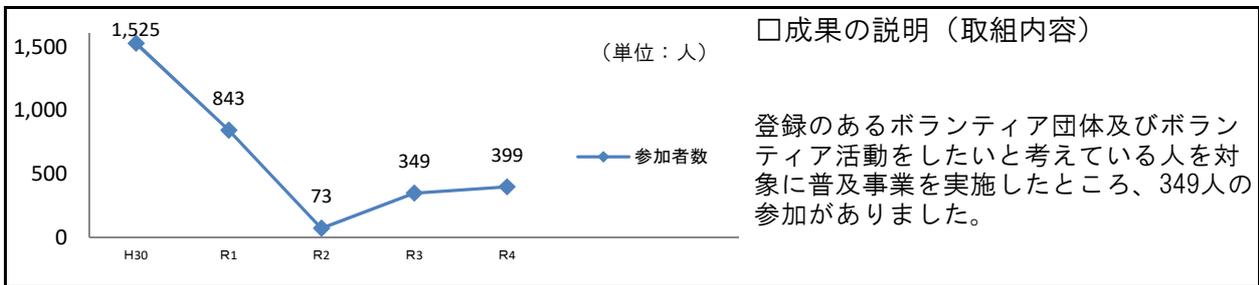
施策番号	2-3-1	実施計画No.	49	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	19
事業名 (補助金名)	社会福祉協議会補助金					課名	生活支援課	
事業内容	地域福祉の推進を担う社会福祉協議会に対し、地域福祉の推進に要する経費の一部を補助金として交付します。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	ボランティア登録団体数				現状値 (平成29年度)	121団体		
現状と課題	地域福祉にかかる市民ニーズは複雑化・専門化しています。地域福祉の充実・強化のためには、ボランティアの確保・育成や福祉活動への支援並びに支援体制の充実が重要となっています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	109団体	113団体	117団体	121団体	125団体
成果指標の実績値	129団体	134団体	126団体	120団体	112団体
達成率	118.3%	118.6%	107.7%	99.2%	89.6%
決算額(千円)	79,089	79,089	63,103	63,021	64,146

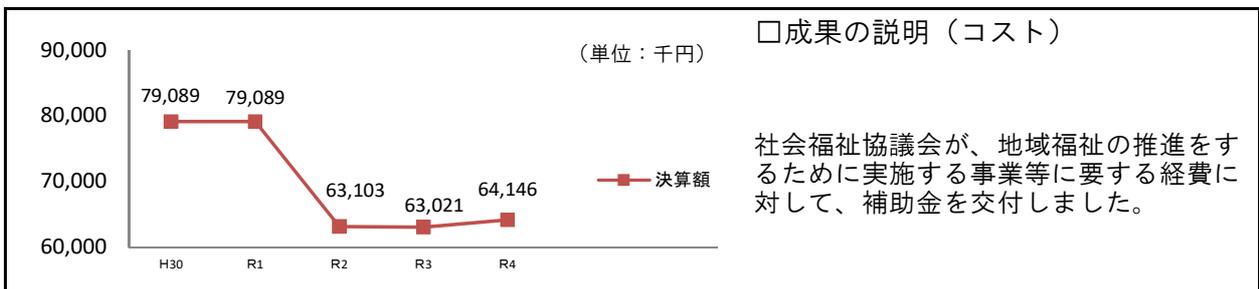
1 地域福祉に関するボランティア団体の登録数の推移



2 ボランティア活動普及事業における参加者の推移



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	令和4年度は目標値を下回り、また、前年度よりボランティア登録団体数が若干の減少に転じています。減少の要因としては、本年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け活動を停止する団体等があったことや、啓発イベントの中止の影響等によるものであり、やむを得ないものと考えています。	
今後の 方向性	現状維持	新型コロナウイルス感染症の影響により、ますます地域福祉の充実・強化が求められているため、引き続き地域福祉の推進を担う春日部市社会福祉協議会に対し、地域福祉の推進に要する経費の一部を補助金として交付します。

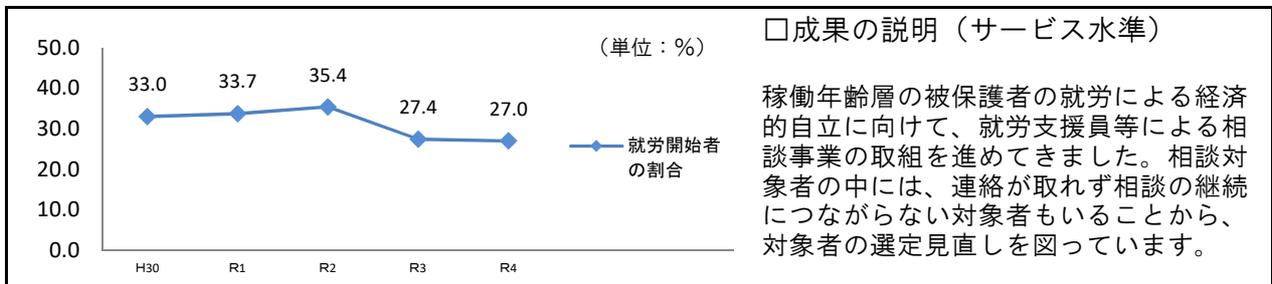
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

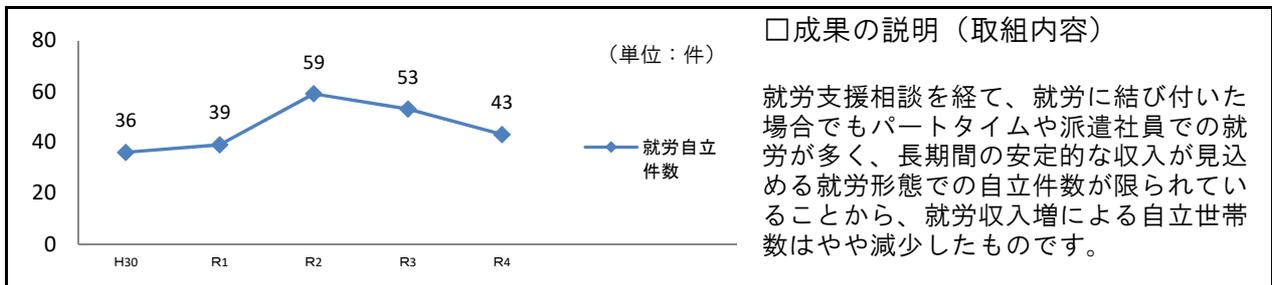
施策番号	2-3-2	実施計画No.	50	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-	
事業名 (補助金名)	生活保護世帯就労支援事業					課名	生活支援課		
事業内容	就労支援員を配置し、生活保護世帯の自立を助長することを目的とし、就労に関する相談・指導等を行います。					事業開始年度	平成21年度		
						事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	生活保護世帯就労支援事業における就労を開始した人の割合				現状値 (平成29年度)	37.5%			
現状と課題	コロナ禍による減収や生産調整等による離職の影響が尾を引いていることから、ハローワーク等の関係機関との連携をより緊密なものとし、対象者に寄り添った就労支援事業を実施していきます。								

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	38.0%	38.5%	39.0%	39.5%	40.0%
成果指標の実績値	33.0%	33.7%	35.4%	27.4%	27.0%
達成率	86.8%	87.5%	90.8%	69.4%	67.5%
決算額(千円)	1,123	1,162	1,834	1,524	1,391

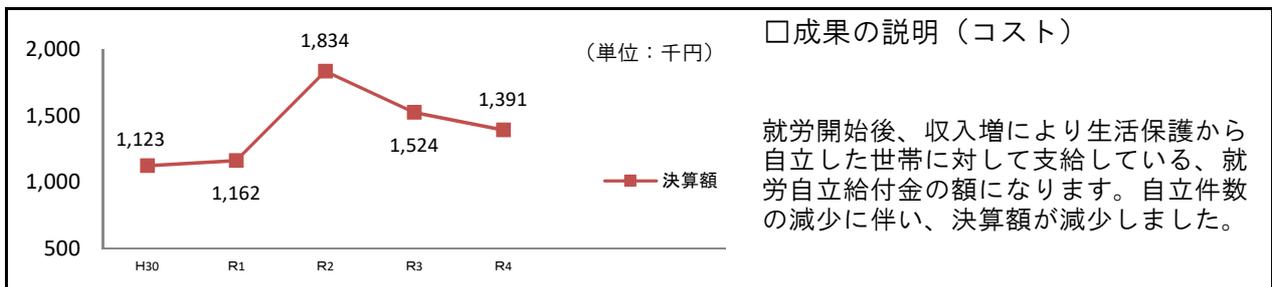
1 生活保護世帯就労支援事業における就労を開始した人の割合の推移



2 自立支援体制の充実による自立件数の推移



3 決算額の推移



令和4年度の評価	概ね月1回の就労支援員と当該管理職との打ち合わせ会で問題を共有し、稼働年齢層の被保護者の就労収入増による経済的自立に向けて、就労阻害要因の解決に対応した支援を行った結果、コロナ禍にあっても、被保護者に寄り添った支援事業を行うことができたと考えています。	
今後の方向性	現状維持	コロナ禍の収束を見据え、状況の変化に応えることができるように、就労支援員、ケースワーカー、ハローワーク等関係機関との連携を図りつつ、対象者に寄り添ったきめ細かな就労支援事業を実施していきます。

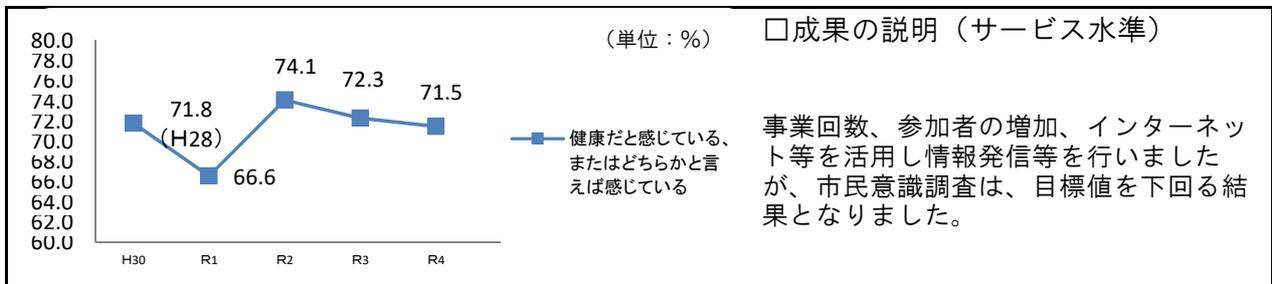
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

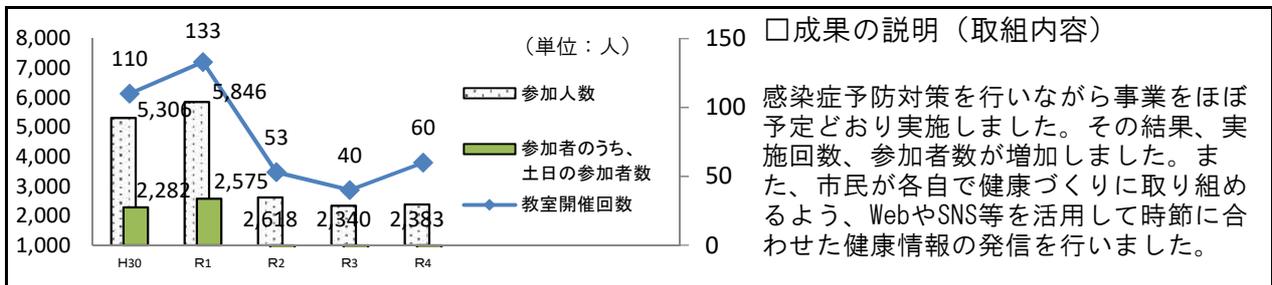
施策番号	2-4-1	実施計画No.	51	重点プロジェクトNo.	①-38	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	健康づくり推進事業					課名	健康課	
事業内容	市民自らの健康づくりを推進するために、健康づくり計画に基づき、市民団体の育成、健康教育・健康相談および心の健康などに関する各種事業の拡充を図ります。					事業開始年度	平成20年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	心身ともに健康だと感じている、またはどちらかといえば感じている市民の割合（市民意識調査）				現状値 (平成29年度)	71.8% (平成28年度)		
現状と課題	健康への意識は高まっているものの、健康づくりに対して関心の低い層は運動習慣のない割合が高く、生活習慣病の予防への取り組みが必要となっています。市民の日常生活における健康づくりを支援するため、健康に関する情報の提供や相談、各種教室などの事業の充実を図っていく必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	72.8%	73.8%	74.8%	75.8%	76.8%
成果指標の実績値	-	66.6%	74.1%	72.3%	71.5%
達成率	-	90.2%	99.1%	95.4%	93.1%
決算額(千円)	8,680	3,226	2,757	3,367	2,894

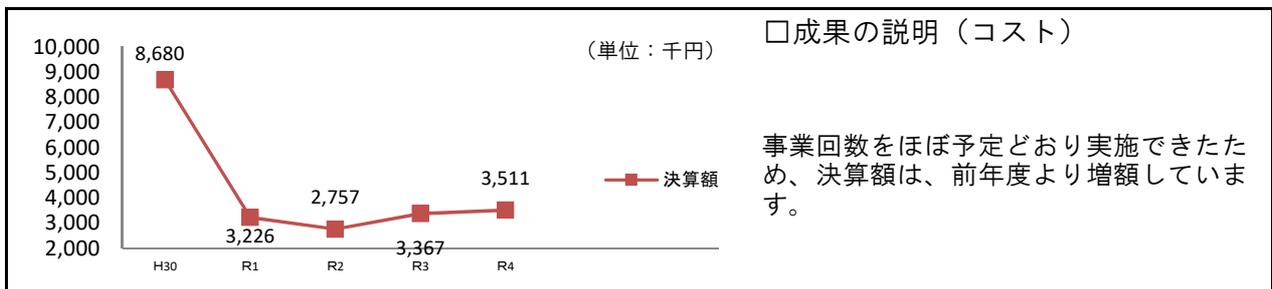
1 心身ともに健康だと感じている、またはどちらかといえば感じている市民の割合（市民意識調査）



2 健康づくり事業参加者数



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	感染対策に配慮しながら事業回数、内容をコロナ前に近づけるよう工夫するとともに、市民が各自で健康づくりに取り組めるよう、WebやSNS等を活用して時節に合わせた健康情報の発信を行うことで、健康教育及び健康相談参加者数が増加しましたが、市民意識調査結果は前年を下回りました。新型コロナウイルス感染症に対する不安の影響もあると考えますが、市民が安心して事業に参加できる体制づくりや必要な情報を取得しやすい環境づくりの一層の工夫を行っていきます。	
今後の 方向性	現状維持	引き続き市民が健康づくりに関心を持ち、健康を意識した行動がとれるよう情報発信の充実、事業の評価・見直しを図り事業を運営していきます。

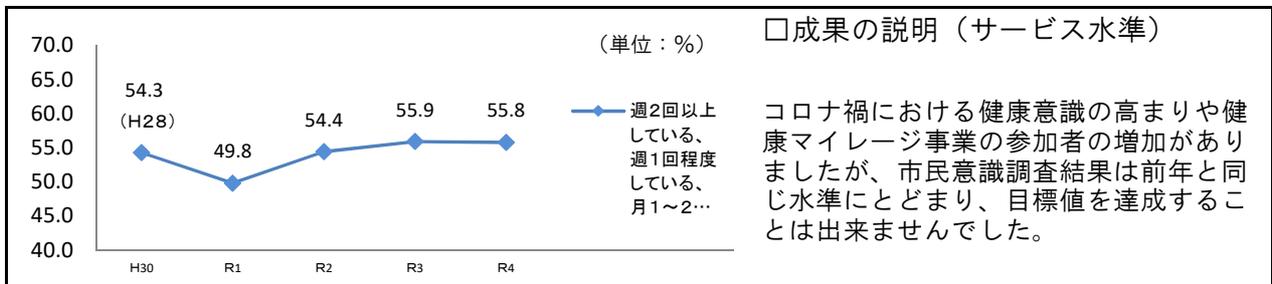
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

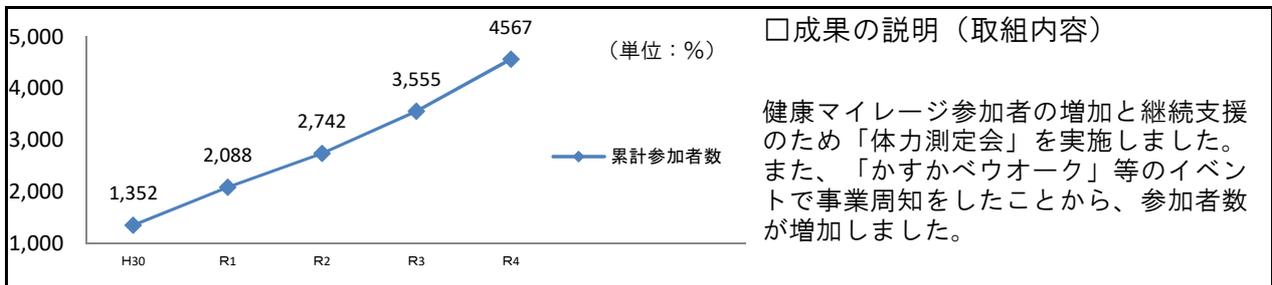
施策番号	2-4-1	実施計画No.	52	重点プロジェクトNo.	①-39	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	健康マイレージ事業					課名	健康課	
事業内容	生活習慣病の増加等の健康課題に対し、ウォーキング等により健康づくりを促し、市民の健康増進を図ります。					事業開始年度	平成30年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	意識的に運動を週2回以上している、週1回程度している、月1～2回程度している市民の割合（市民意識調査）					現状値 (令和2年度)	54.4% (令和2年度)	
現状と課題	健康への意識は高まっているものの、全体の43%が意識的な運動を「ほとんどしていない」と回答しており、特に壮年期の運動習慣のない割合が高く、生活習慣病の予防への取り組みが必要となっています。青年期から運動習慣を身につけられるよう事業を展開することが必要です。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	—	—	55.4%	56.4%	57.4%
成果指標の実績値	—	49.8%	54.4%	55.9%	55.8%
達成率	—	—	98.2%	99.1%	97.2%
決算額(千円)	4,886	2,564	2,662	3,133	2,769

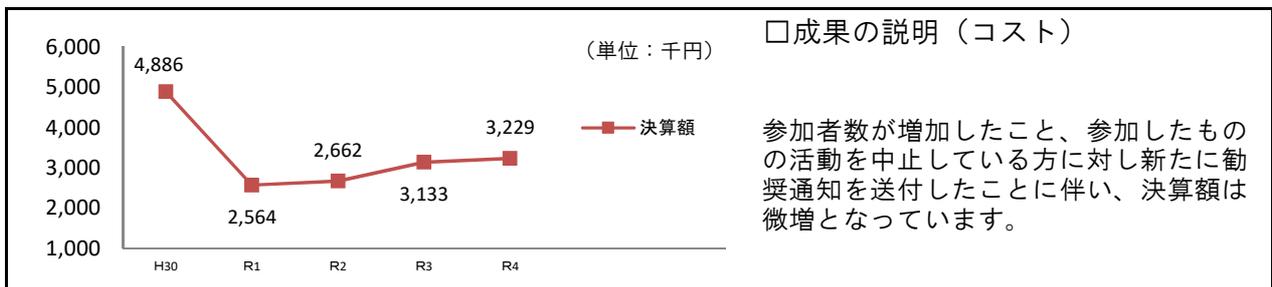
1 健康維持・増進のために、意識的に運動（週2回以上、週1回程度、月1～2回程度）をしている市民の割合（市民意識調査）



2 健康マイレージ事業累計参加者数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	新たに6か月間の生活改善プログラム「体力測定会」を実施したところ、参加者の満足度は100%でした。事業参加者は順調に増加し、これまで課題であった参加者の活動率を49.6%（前年度比2.5%増）に改善し、市民意識調査結果は目標値に近い実績となりました。今後も参加者拡大のため、事業の魅力が増す工夫を図る他、年代に応じた参加者フォローが必要と考えています。	
今後の方向性	現状維持	ウォーキングの継続による効果を発信するとともに、魅力的なイベントを企画し参加者の増加を図ります。また、活動継続フォローの1つとして、地域のウォーキング活動拠点との事業連携を行います。

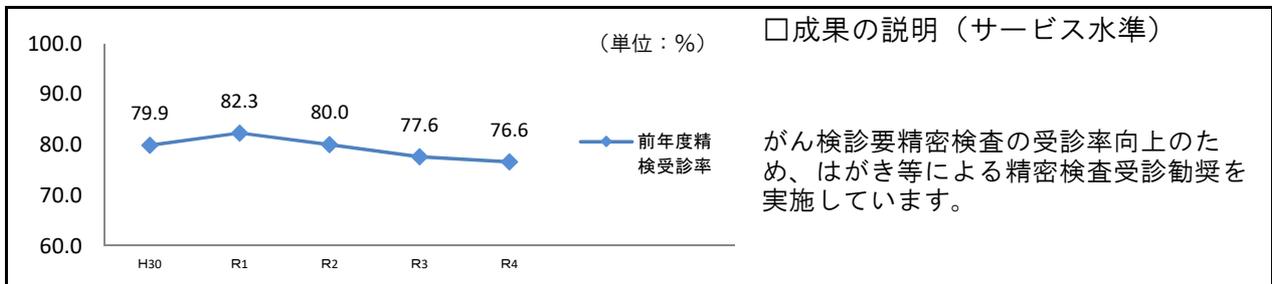
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

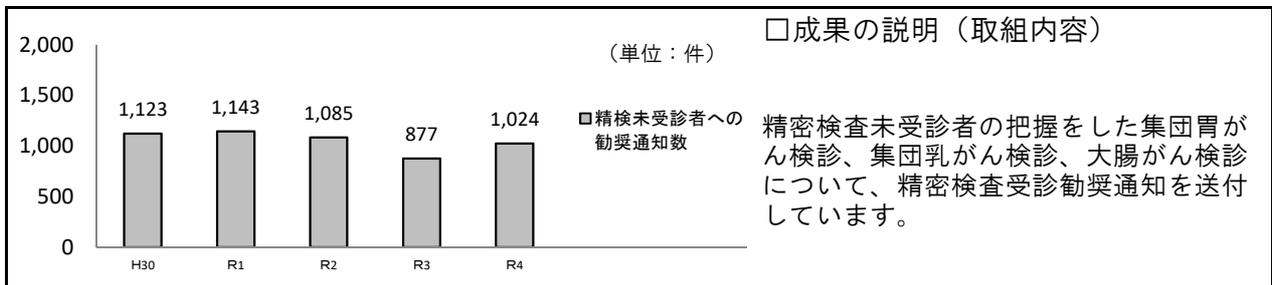
施策番号	2-4-2	実施計画No.	53	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	成人健康診査事業				課名	健康課		
事業内容	疾病の早期発見・早期治療のため、各種がん検診などの充実を図ります。				事業開始年度	平成20年度		
					事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	がん検診要精密検査の受診率				現状値 (平成29年度)	80.2%		
現状と課題	がん検診の種類により精密検査の受診率に幅があり、特に受診率の低い大腸がん検診の精密検査受診率を上昇させていく必要があります。がんによる死亡者を減少させるためにも、精密検査の重要性を伝え、受診率の向上を図っていく必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	82.0%	84.0%	86.0%	88.0%	90.0%
成果指標の実績値	79.9%	82.3%	80.0%	77.6%	76.6%
達成率	97.4%	98.0%	93.0%	88.2%	85.1%
決算額(千円)	388,422	380,998	360,366	391,745	401,423

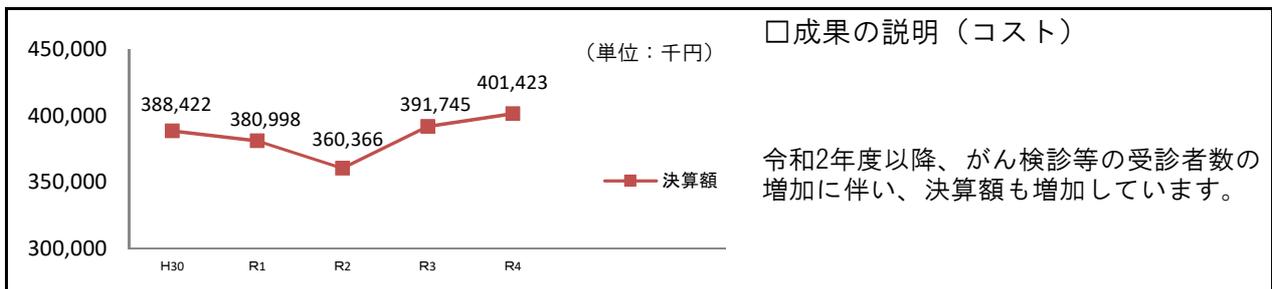
1 がん検診要精密検査の受診率



2 受診勧奨通知数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	継続的に受診勧奨や追跡調査を実施しているものの、精密検査の受診率は低下傾向にあります。国が目指す精密検査受診率90%には届かないため、検診後の精密検査の受診をさらに促していくことが必要と考えています。	
今後の方向性	現状維持	精密検査の受診率向上のため、がん検診結果のデータ管理を行うとともに、精密検査未受診者の把握に努め、未受診者に対しては医師会と連携し、受診勧奨を継続していきます。

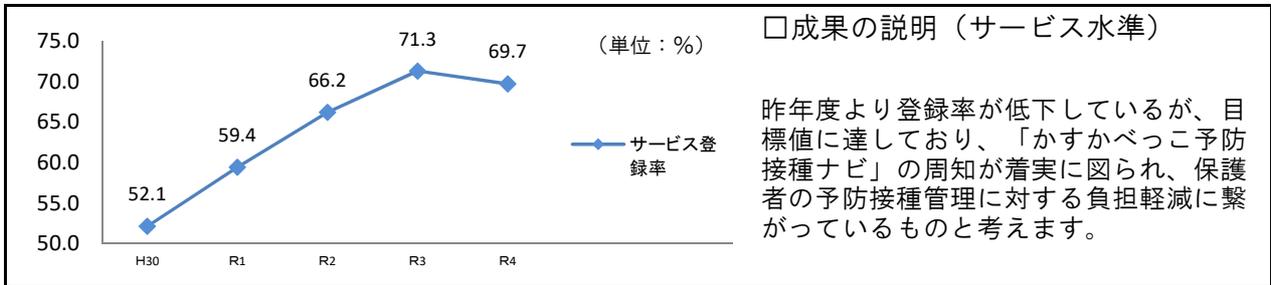
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

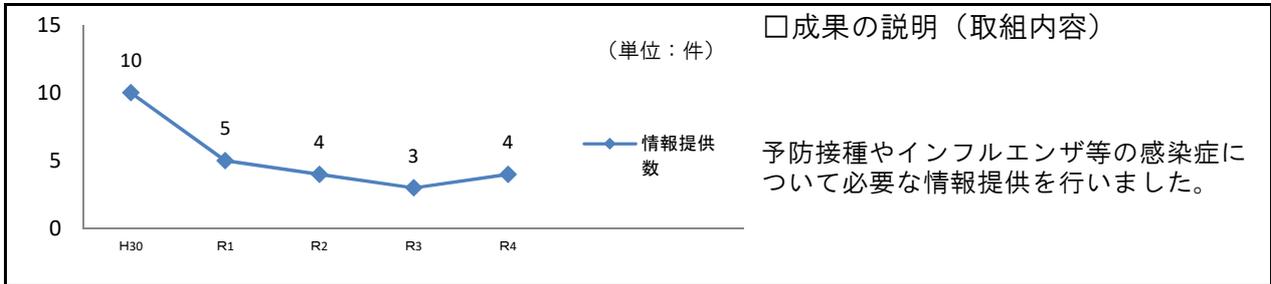
施策番号	2-4-2	実施計画No.	54	重点プロジェクトNo.	①-40	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	子ども健康情報発信事業					課名	健康課	
事業内容	子どもの予防接種の複雑化による保護者の負担軽減のため、ICT活用により予防接種情報等を提供します。					事業開始年度	平成27年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	予防接種情報提供サービス登録率（0歳～6歳）					現状値 (平成29年度)	42.3%	
現状と課題	子どもの予防接種の種類が増加、複雑化しており、接種間違いの防止や保護者の負担軽減が求められています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	48.0%	54.0%	56.0%	58.0%	60.0%
成果指標の実績値	52.1%	59.4%	66.2%	71.3%	69.7%
達成率	108.5%	110.0%	118.2%	122.9%	116.2%
決算額(千円)	1,248	1,259	1,271	1,271	1,271

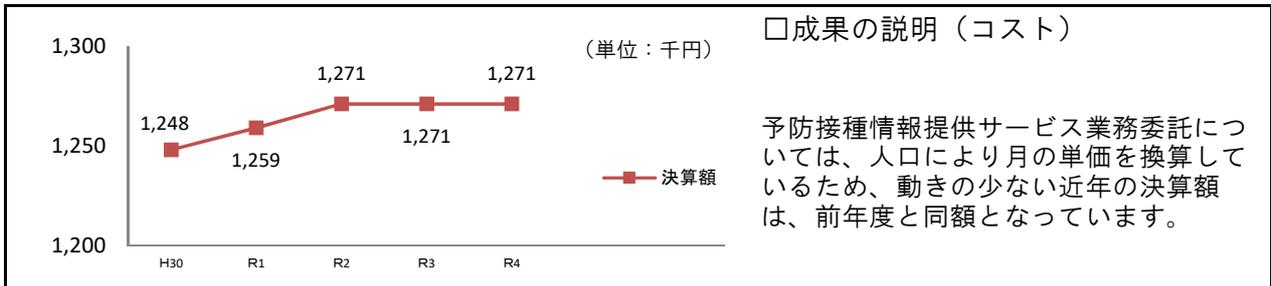
1 予防接種情報提供サービス登録率（0歳～6歳）



2 情報提供数



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	出生されたお子様あてに予防接種の綴りを送付する際や、子育て世代包括支援センターでの転入受付時において、「かすかべっこ予防接種ナビ」への登録を積極的に呼びかけることにより、目標値を上回ることができました。	
今後の 方向性	現状維持	目標値は達成できたものの、前年度より全体の登録率が低下していることから、今後も、子どもの予防接種スケジュール管理への保護者の負担軽減を図るため、あらゆる機会を生かしながら、引き続き登録への周知を実施していきます。

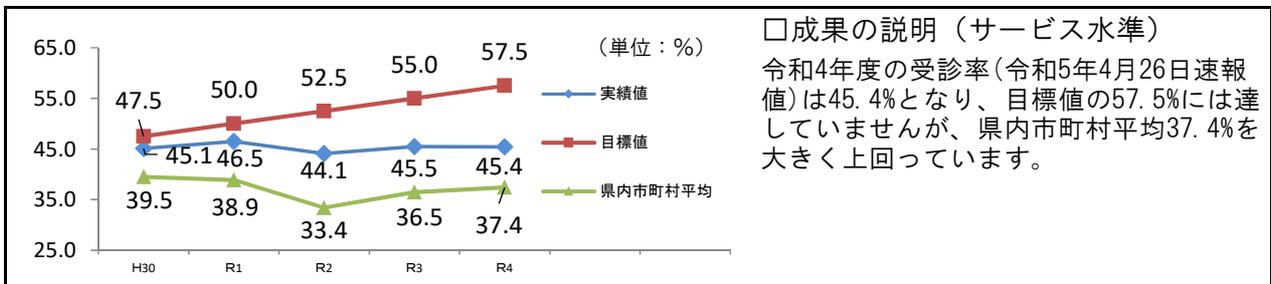
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

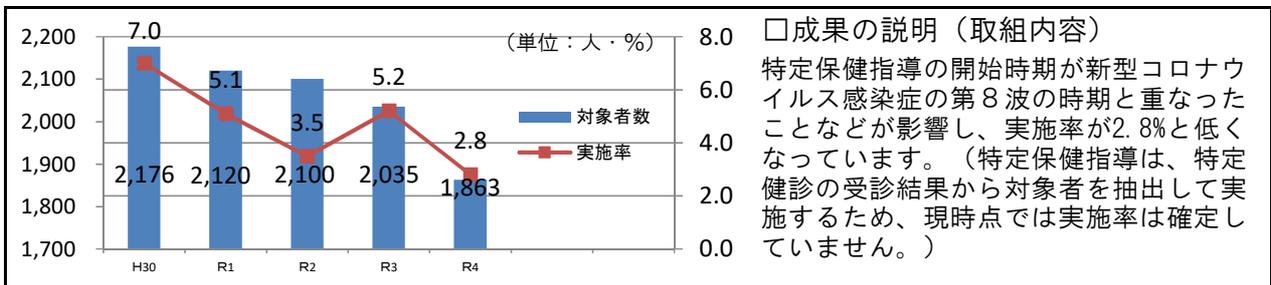
施策番号	2-4-3	実施計画No.	55	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	特定健康診査等事業					課名	国民健康保険課	
事業内容	生活習慣病を未然に防止するため、40歳以上の被保険者に対し、特定健康診査および特定保健指導を実施します。					事業開始年度	平成20年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	特定健康診査受診率				現状値 (平成29年度)	46.8%		
現状と課題	特定健康診査受診率については、県内市町村平均を上回っているものの、目標値から大きく乖離した状況です。受診率の伸びが鈍化する中、いかに目標値を達成できるか、より効果的な受診勧奨方法の検討、勧奨対象者の精査が必要となっています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	47.5%	50.0%	52.5%	55.0%	57.5%
成果指標の実績値	45.1%	46.5%	44.1%	45.5%	45.4%
達成率	94.9%	93.0%	84.0%	82.7%	79.0%
決算額(千円)	244,688	235,692	224,663	238,824	219,974

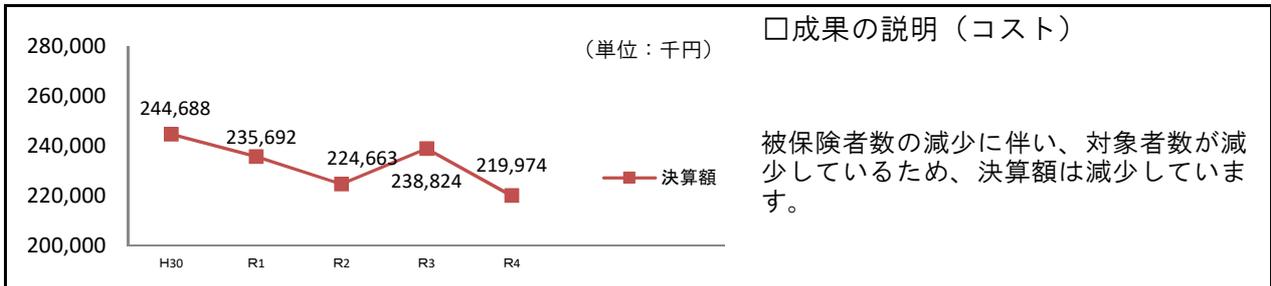
1 特定健康診査受診率の推移



2 特定保健指導の対象者と実施率の推移



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	目標値を達成することはできませんでしたが、外部健診データ受領、AIを活用した統計解析による対象者の特性に応じた効果的な受診勧奨により、県内市町村平均を上回る受診率を達成できたことから、被保険者の健康維持と医療費の適正化が図られたものと考えます。
今後の 方向性	現状維持 引き続き、AIを活用した統計解析による対象者の特性に応じた効果的な受診勧奨を実施し、受診率の向上を目指していきます。 また、特定保健指導の対象者への周知の方法を工夫するなどし、実施率の向上を目指します。

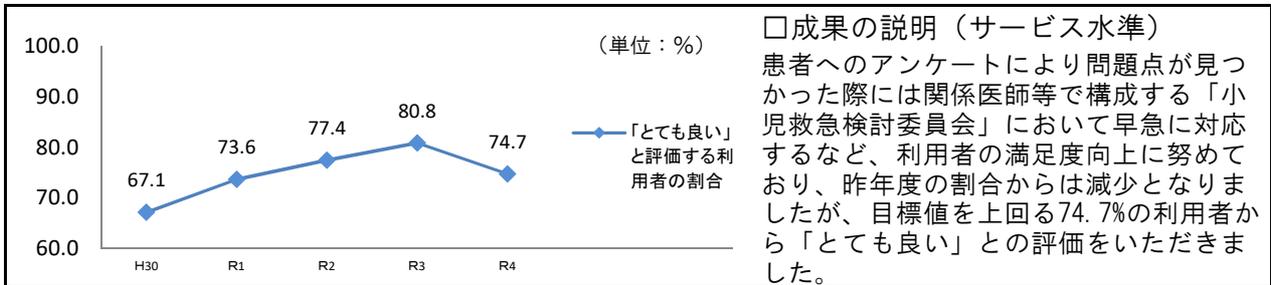
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

施策番号	2-4-4	実施計画No.	56	重点プロジェクトNo.	①-41	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	小児救急医療運営事業					課名	健康課	
事業内容	小児救急患者のため、緊急な医療が必要とされる一次救急医療体制および緊急入院の必要な二次救急医療体制の整備を実施します。					事業開始年度	平成28年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	小児救急夜間診療所において「とても良い」と評価する利用者の割合				現状値 (平成29年度)	65.7%		
現状と課題	平成28年7月1日より「小児救急夜間診療所」を開設しました。今後も小児初期救急医療体制の維持継続により、だれもが地域で安心して適切な医療が受けられるよう、引き続き関係機関との連携を強化していく必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	71.2%	71.2%	71.2%	71.2%	71.2%
成果指標の実績値	67.1%	73.6%	77.4%	80.8%	74.7%
達成率	94.2%	103.4%	108.7%	113.5%	104.9%
決算額(千円)	42,584	42,558	45,675	44,022	44,025

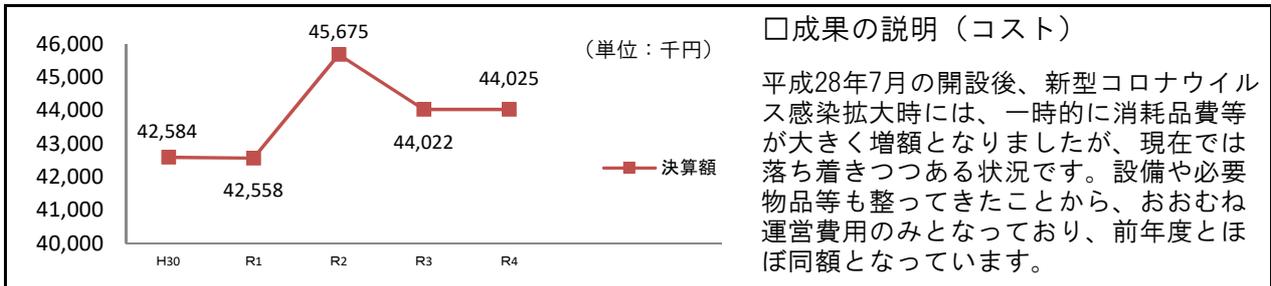
1 小児救急夜間診療所において「とても良い」と評価する利用者の割合



2 小児救急夜間診療所を受診した延患者数



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	平成28年7月1日の開設から7年目を迎えた「春日部市小児救急夜間診療所」では、市内の子育て世帯が安心して生活ができるよう、安定した運営の継続により平日夜間の小児一次救急医療を担っています。「とても良い」と評価する利用者の割合は前年度から減少しましたが、目標値は上回っており、また、「良い」と評価する利用者（19.9%）を含めた割合は94.6%となることから、一定程度以上の安心感・満足感を提供できたものと考えます。	
今後の 方向性	現状維持	アンケート調査の結果等も踏まえ、子育て世帯のニーズに寄り添った診療所として安心して医療が受けられるよう、引き続き、関係機関と連携を図りながら円滑な運営に努めていきます。

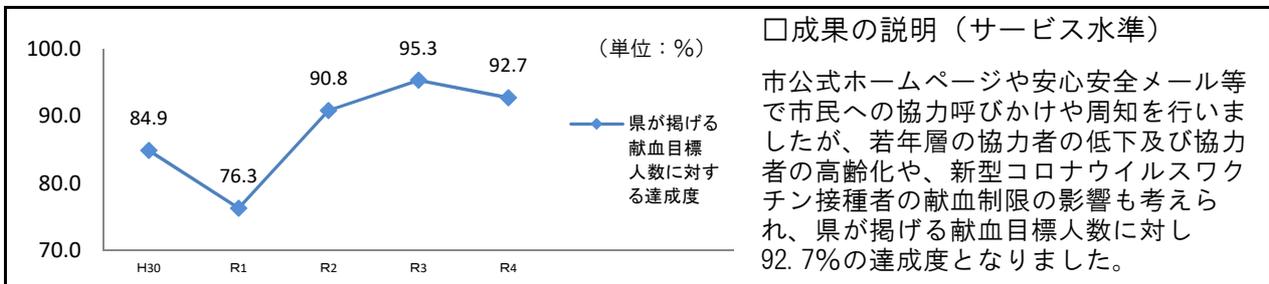
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

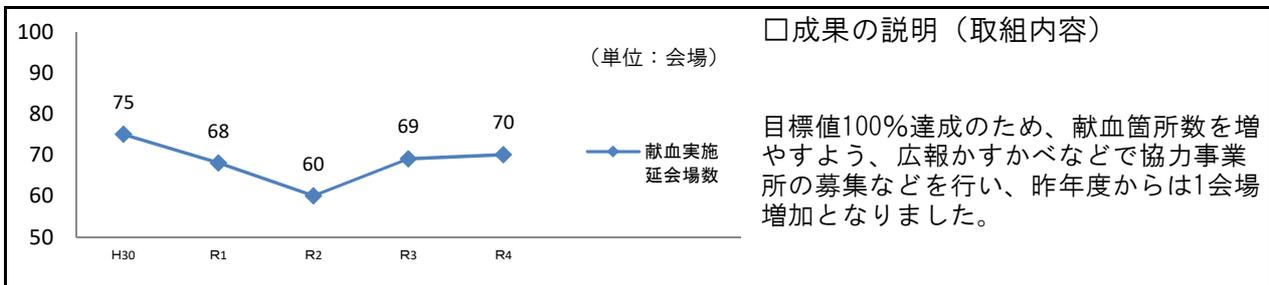
施策番号	2-4-4	実施計画No.	57	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	保健衛生総務事務（献血推進事業）					課名	健康課	
事業内容	献血に対する理解と協力のさらなる普及を推進し、関係機関と連携して献血を実施することにより、血液を安定的に確保します。					事業開始年度	昭和48年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	県が掲げる献血目標人数に対する達成度					現状値 (平成29年度)	98.8%	
現状と課題	献血への理解・協力を市民へ求めるため、埼玉県赤十字血液センターと連携し、呼びかけをしています。新型コロナウイルス感染症の影響がある中、今後は少子高齢化により献血可能な人口が減少し、血液が不足することが懸念(けねん)されているため、関係機関との連携を図りながら、将来の担い手である若年層への献血の普及啓発を推進します。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
成果指標の実績値	84.9%	76.3%	90.8%	95.3%	92.7%
達成率	84.9%	76.3%	90.8%	95.3%	92.7%
決算額(千円)	219	192	210	186	221

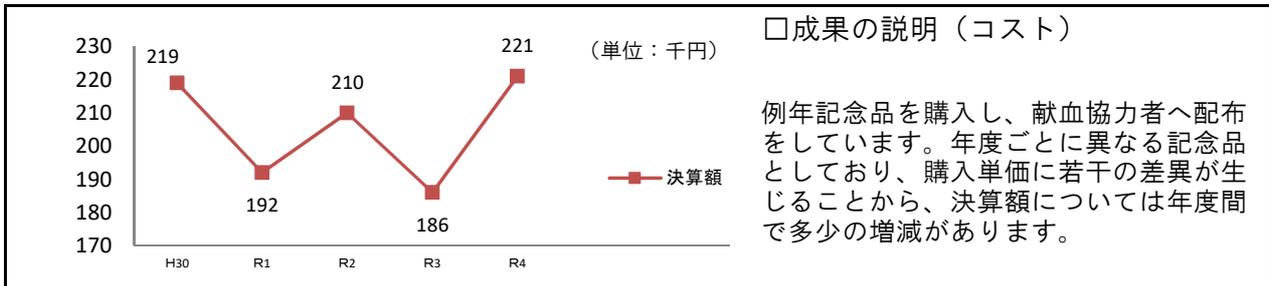
1 県が掲げる献血目標人数に対する達成度



2 献血実施延会場数の推移



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度も、公共施設での献血実施時には上記PR方法の他にSNS等での周知や、広報紙において新たな献血実施協力事業所の募集等を行い、昨年度と同程度の献血実施会場数となりましたが、若年層の協力者の低下及び協力者の高齢化や、新型コロナウイルスワクチン接種者の献血制限の影響も考えられ、前年度と比較して、県が掲げる献血目標人数に対する達成度が僅かに減となりました。	
今後の方向性	現状維持	日々の献血活動の周知に努め、将来の担い手である若年層への献血の普及啓発を推進することにより、埼玉県の設定する目標人数の達成に向けて、関係機関と連携を図ります。

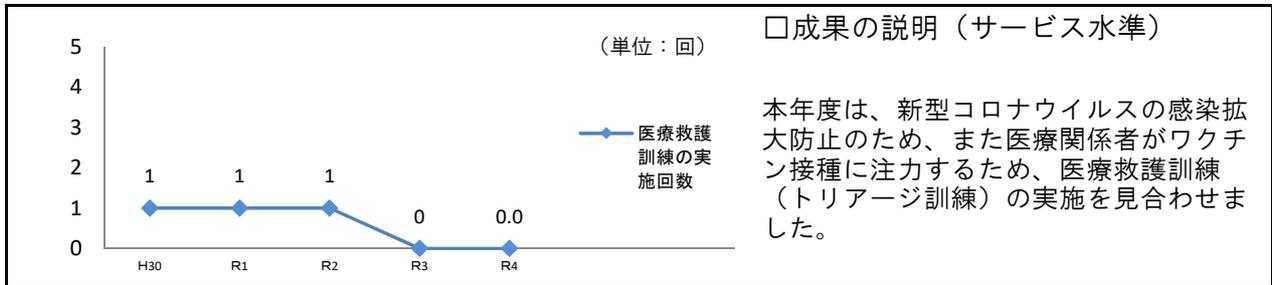
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

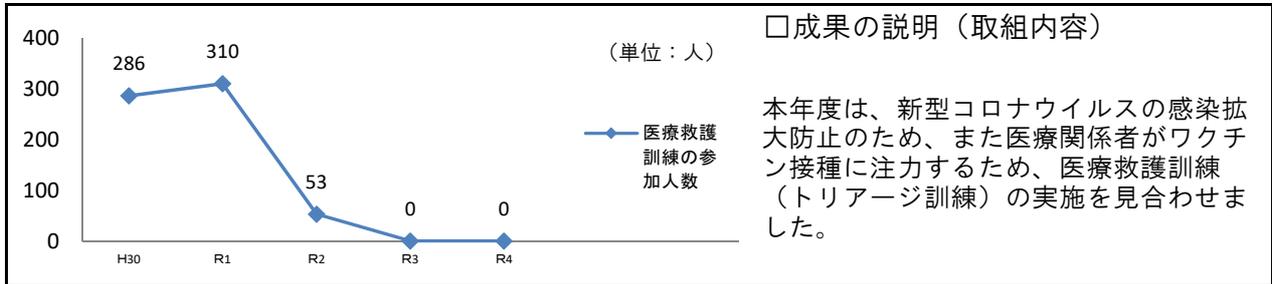
施策番号	2-4-4	実施計画No.	58	重点プロジェクトNo.	③-86	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	災害時医療対策事業					課名	健康課	
事業内容	大震災等の大規模災害発生時に医療関係団体等の協力により、迅速に医療救護所を設置しトリアージや初期治療を実施します。					事業開始年度	平成28年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	医療救護訓練の実施回数				現状値 (平成29年度)	1回		
現状と課題	災害時医療体制の確保のため、平成30年3月に策定した「春日部市災害時医療救護活動マニュアル」に基づき、医薬品をはじめとする医療資機材を備蓄するとともに発災時に備えた訓練を定期的に行っていたが、新型コロナウイルスへの対応のため訓練実施を中断している状況であり、災害時に備えて医療関係機関との継続的な連携を図る必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	1回	1回	1回	1回	1回
成果指標の実績値	1回	1回	1回	0回	0回
達成率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
決算額(千円)	5,651	2,005	2,189	2,943	2,644

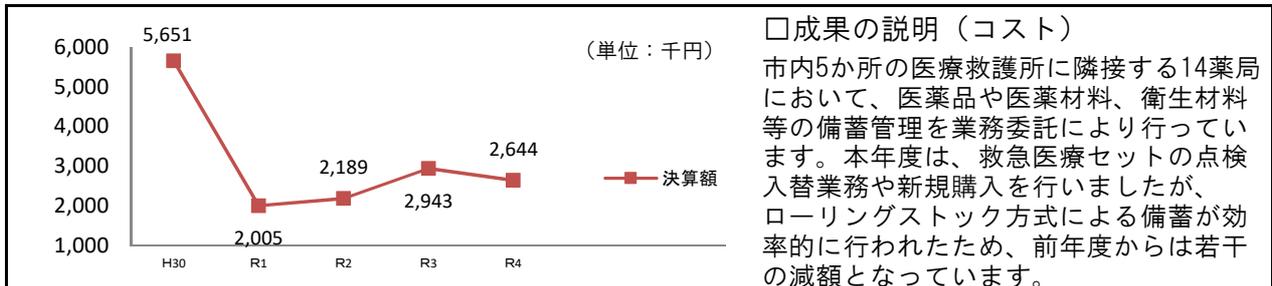
1 医療救護訓練の実施回数



2 医療救護訓練の参加人数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	「春日部市災害時医療救護活動マニュアル」に基づき、市内5か所に医療救護所を設置し、隣接する14薬局に医薬品や医薬材料、衛生材料等をローリングストック方式により備蓄しています。これにより発災時には、薬局より医療備蓄品を運ぶことにより、スムーズな医療救護活動を行うことができます。医療救護訓練については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、また、医療関係者がワクチン接種に注力していたことから、実施を見合わせました。	
今後の方向性	現状維持	発災時にはスムーズな医療救護活動が行えるよう、引き続き関係機関と連携を図り、新型コロナウイルスへの対応状況等を勘案しながら、医療救護訓練の再開や、適正な医薬品等の備蓄管理等を実施していきます。

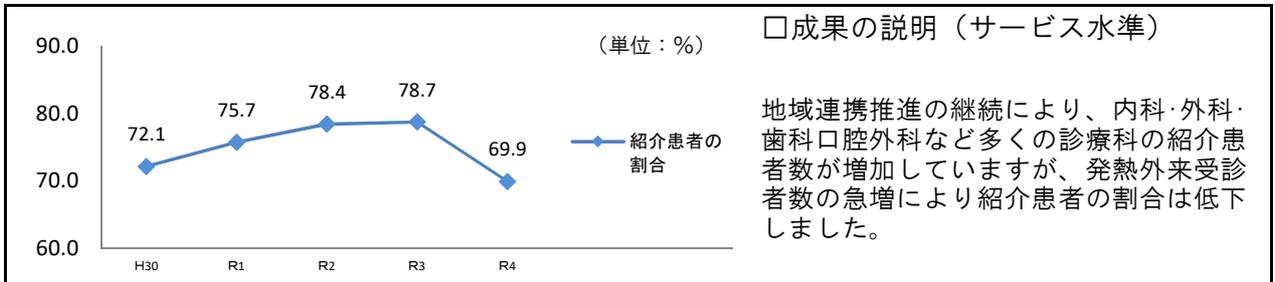
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

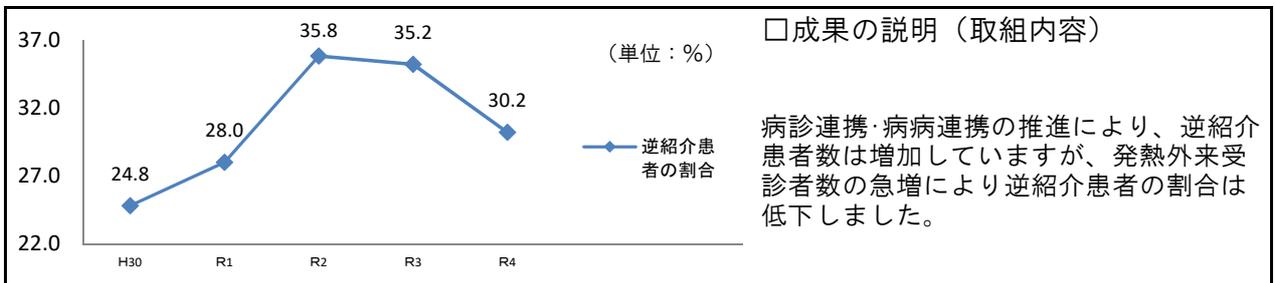
施策番号	2-4-5	実施計画No.	59	重点プロジェクトNo.	①-42	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	春日部市病院事業					課名	経営財務課	
事業内容	市民の健康保持に必要な医療を提供します。					事業開始年度	平成20年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	紹介患者の割合				現状値 (平成29年度)	70.6%		
現状と課題	市立医療センターは地域で不足している専門的、かつ重要度の高い領域の医療活動に取り組んでいます。市民の皆さまが住み慣れた地域で安心して暮らしていくためには、市内での医療体制の充実が不可欠です。当センターは地域の医療機関全体で切れ目のない医療を支える基幹病院としての役割を担うことが求められています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	70.0%	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%
成果指標の実績値	72.1%	75.7%	78.4%	78.7%	69.9%
達成率	103.0%	100.9%	104.5%	104.9%	93.2%
決算額(千円)	10,496,891	11,287,285	11,547,576	11,924,487	

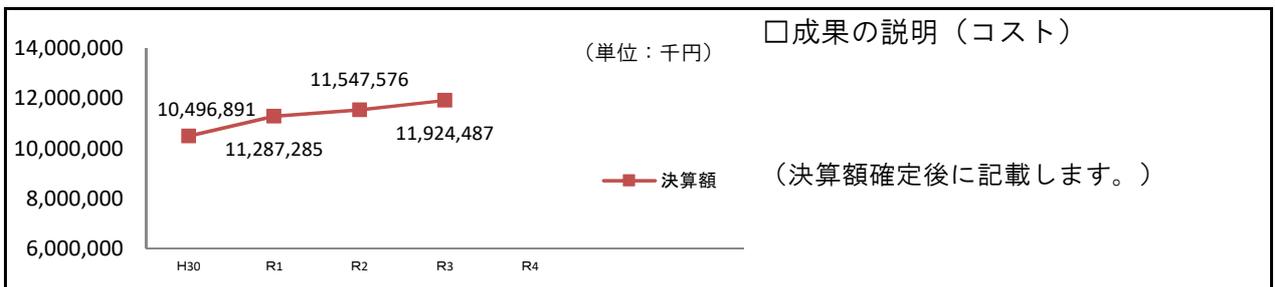
1 紹介患者の割合



2 逆紹介患者の割合



3 決算額の推移



令和4年度の評価	発熱外来受診者数の急増により紹介患者・逆紹介患者の割合は低下しましたが、地域連携推進の成果として紹介患者数・逆紹介患者数は増加しているため、概ね良好と考えています。	
今後の方向性	現状維持	引き続き病診連携・病病連携を進めるとともに、救急医療体制の強化と新規入院患者を増やす取組を実施していきます。

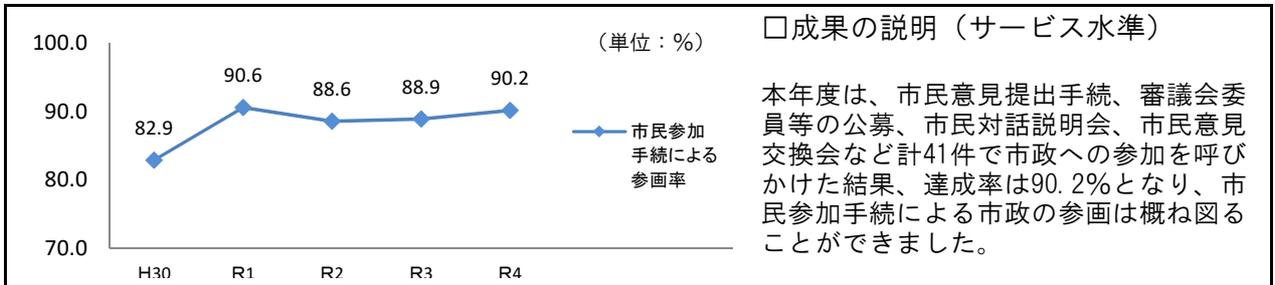
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

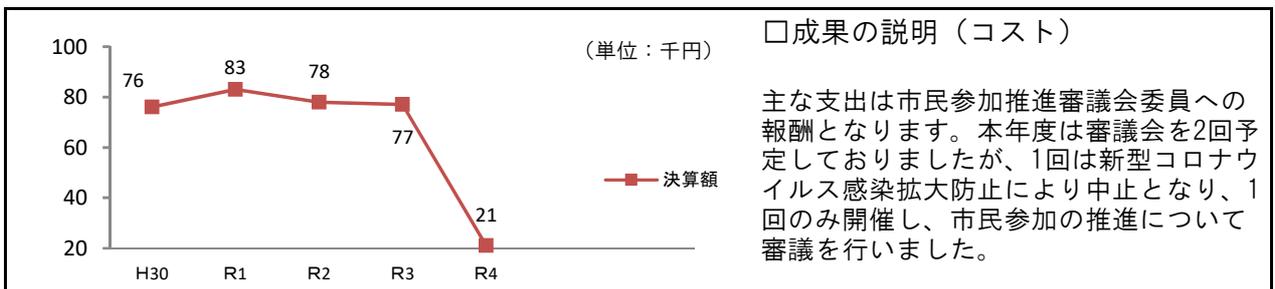
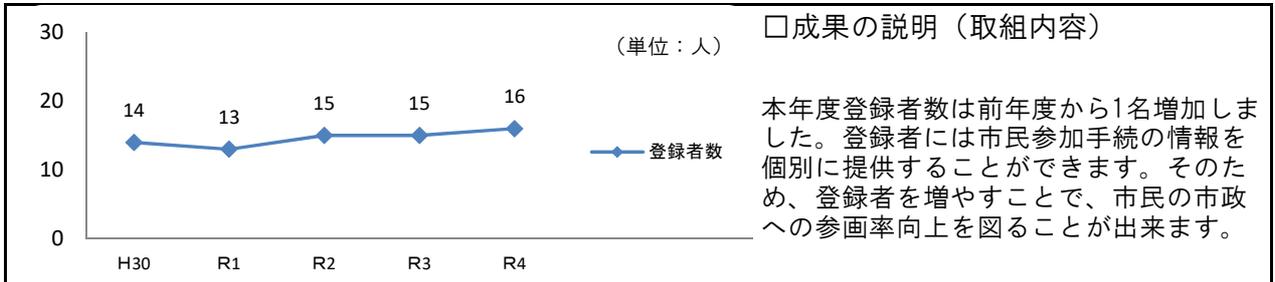
施策番号	3-1-1	実施計画No.	60	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-	
事業名 (補助金名)	市民参加推進事業					課名	市民参加推進課		
事業内容	市民参加推進条例に基づく市民参加手続などにより、市民の行政活動への積極的な参加を推進します。					事業開始年度	平成19年度		
						事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	市民参加手続による市政への参画率					現状値 (平成29年度)	83.3%		
現状と課題	市政への市民参加については、市民意見提出手続や審議会委員等の公募、市民政策提案手続など多様な方法を定めています。市民と行政がお互いの知識や経験を出し合いながら暮らしやすいまちをつくるためには、なお一層の市民のまちづくりへの参加が必要となります。								

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
成果指標の実績値	82.9%	90.6%	88.6%	88.9%	90.2%
達成率	82.9%	90.6%	88.6%	88.9%	90.2%
決算額(千円)	76	83	78	77	27

1 市民参加手続による市政への参画率



2 市民登録制度の登録者数の推移



令和4年度の評価	本年度は、市民意見提出手続、審議会委員等の公募、市民対話説明会、市民意見交換会など計41件で市政への参加を呼びかけました。昨年度と比較し件数、参画率及び達成率共に改善しました。	
今後の方向性	現状維持	市民参加手続による市政への参画は概ね図られていますが、より一層の参画を推進するためには、市民参加手続の募集時の周知方法を工夫する必要があります。

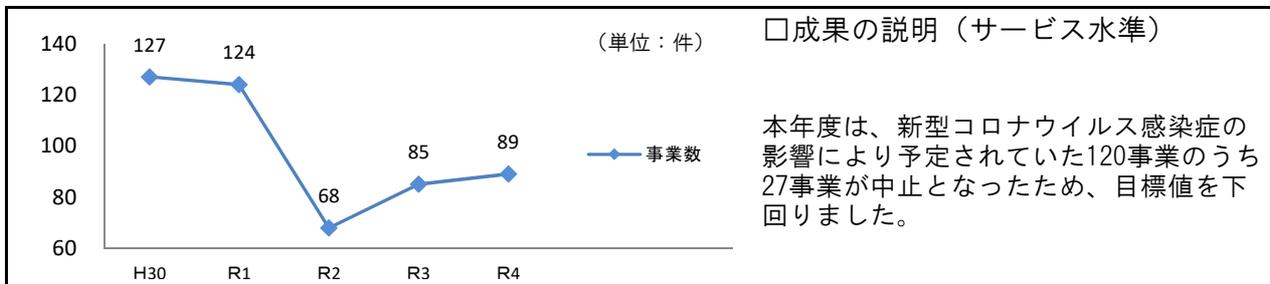
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

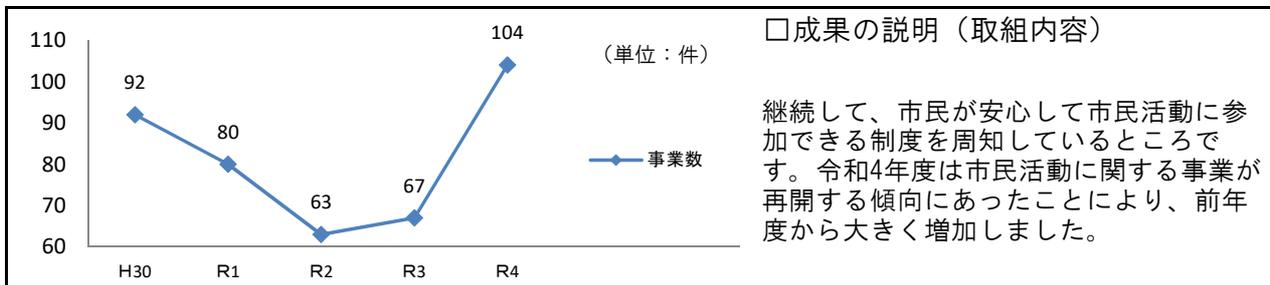
施策番号	3-1-1	実施計画No.	61	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	市民協働推進事業					課名	市民参加推進課	
事業内容	地域の担い手を目指す市民団体と協働で市民活動の啓発や促進を行うための事業を行います。また、より多くの市民が安心して市民活動に参加できるように「市民活動総合補償制度」の運用をします。					事業開始年度	平成18年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	NPOと協働で行われた事業数				現状値 (平成29年度)	113件		
現状と課題	生活様式の変化など社会情勢は大きく変化しており、市内においても地域ごとの特性などが異なる実情があります。その地域が持つ特性を尊重し、地域の実情に合ったまちづくりを市民が主体的に行うことで、地域の活力向上につなげる必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	115件	118件	121件	124件	127件
成果指標の実績値	127件	124件	68件	85件	89件
達成率	110.4%	105.1%	56.2%	68.5%	70.1%
決算額(千円)	2,428	2,224	2,271	2,023	1,917

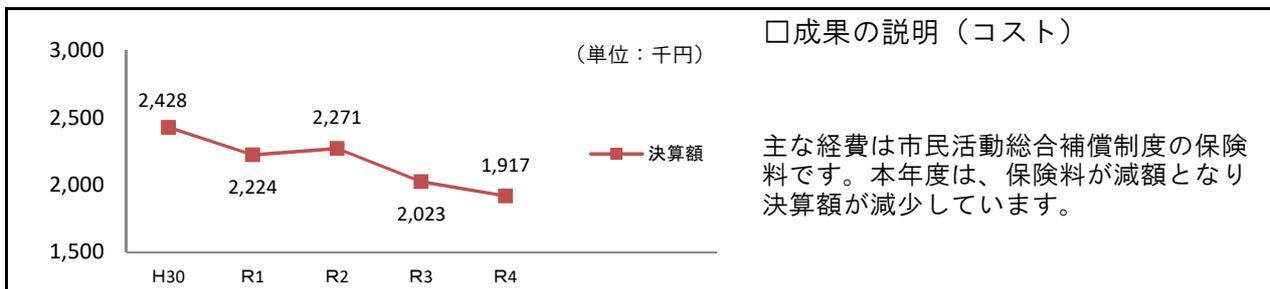
1 NPOと協働で行われた事業数



2 市民活動総合補償制度対象事業の推移



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	本年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの事業が中止となっていました。今後においては継続的に市の事業にNPOが関われるよう、市民団体の活動支援を進めていきます。	
今後の 方向性	現状維持	多くの市民が主体的にまちづくりに関わるために、より多くの市民団体が安心して活動を行うことや、団体間の交流の活発化を支援しつつ、市民団体の数を増やす取組や団体自身が成長できるような取組を進めていきます。

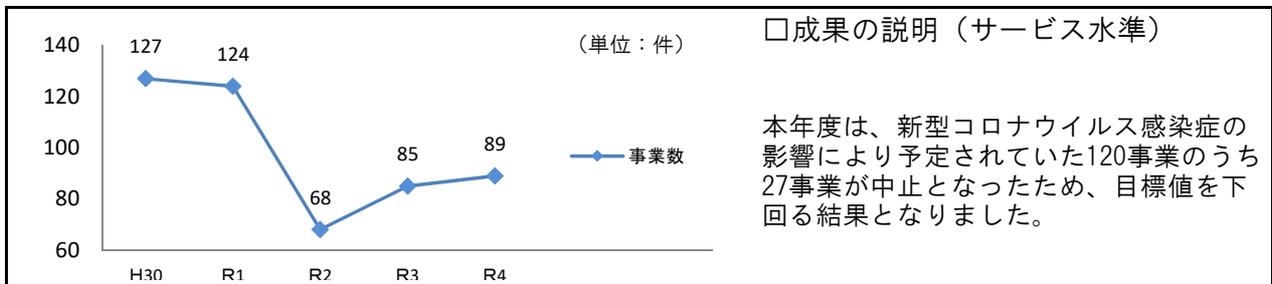
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

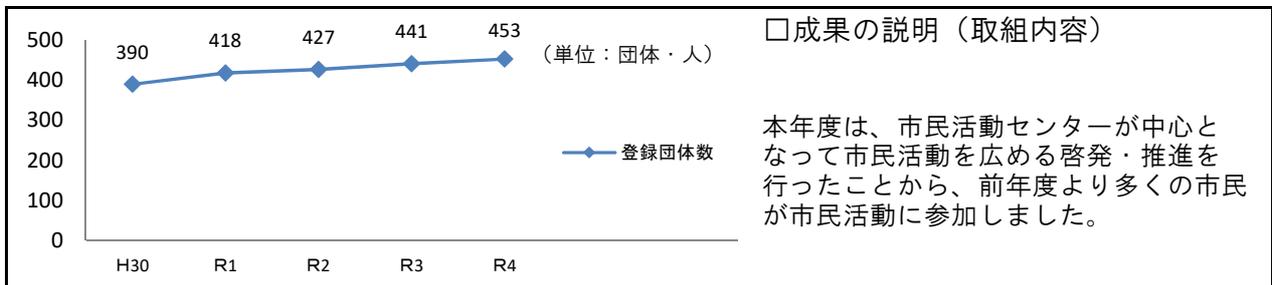
施策番号	3-1-1	実施計画No.	62	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	市民活動センター運営事業					課名	市民参加推進課	
事業内容	市民団体の支援及び団体同士の交流の場である市民活動センターについて、市民活動に関する情報収集・発信や相談機能の充実や事業を行うことで、市民団体への支援の充実並びにネットワーク化を図ります。					事業開始年度	平成23年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	NPOと協働で行われた事業数				現状値 (平成29年度)	113件		
現状と課題	市民との協働のまちづくりの拠点である市民活動センターには、より専門的な支援が求められています。また、会員の高齢化等により、活動の継続が困難になっている市民活動団体が増加している中、団体と行政、それぞれが情報共有や連携を綿密に図っていくことが求められています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	115件	118件	121件	124件	127件
成果指標の実績値	127件	124件	68件	85件	89件
達成率	110.4%	105.1%	56.2%	68.5%	70.1%
決算額(千円)	59,338	61,749	62,911	60,175	62,004

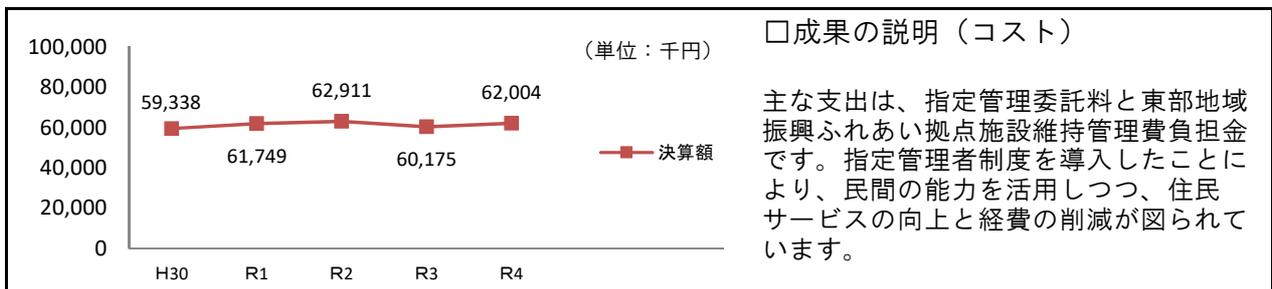
1 NPOと協働で行われた事業数



2 市民活動センターの登録団体数（個人含む）の推移



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	市民活動センターが中心となって市民活動を支援することで、市民活動・ボランティア活動の専門的な支援が行われていますが、本年度は新型コロナウイルス感染症の影響により市とNPOが協働で行われる事業の多くが中止となりました。	
今後の 方向性	現状維持	今後、より多くの市民活動団体と協働して市の事業が進められるよう、市民活動センターを中心に市民活動団体への支援や連携の働きかけを進めていきます。

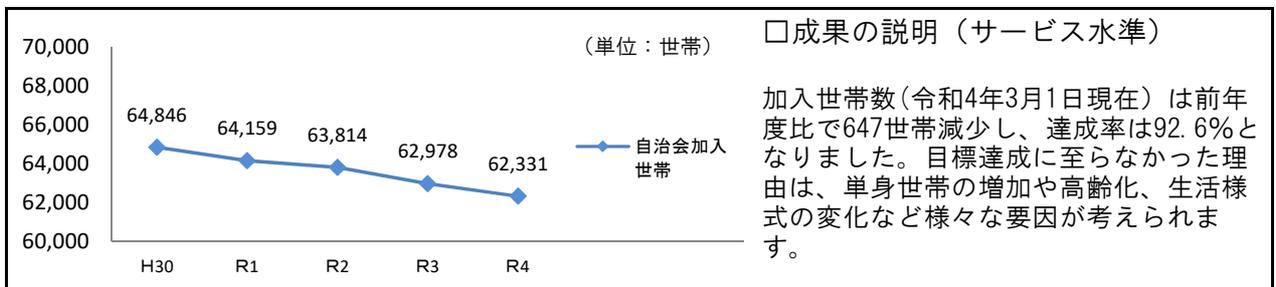
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

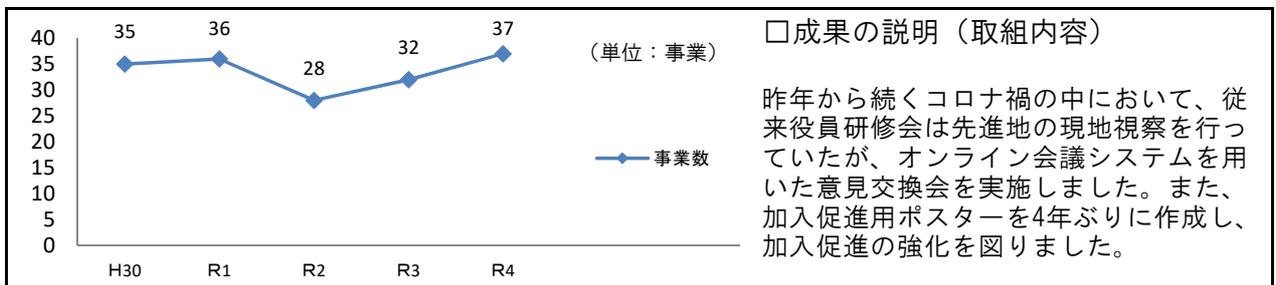
施策番号	3-1-2	実施計画No.	63	重点プロジェクトNo.	③-87	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	自治会加入促進活動					課名	市民参加推進課	
事業内容	自治会加入促進を図るため、自治会加入促進月間を定め、市と自治会連合会が共同で加入促進に努めます。リーフレットや自治会連合会報などあらゆる媒体を通じて自治会加入の目的などをPRするとともに、自治会に加入することにより得られる意義の創出に努めます。					事業開始年度	平成25年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	自治会加入世帯数					現状値 (平成29年度)	65,196世帯	
現状と課題	自治会の加入世帯は横ばい傾向ですが、それ以上に未加入世帯が増えているため、加入率は低下傾向です。住みよい地域社会の構築と地域の活力向上のためにも、地域コミュニティの活性化が求められています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	65,900世帯	66,250世帯	66,600世帯	66,950世帯	67,300世帯
成果指標の実績値	64,846世帯	64,159世帯	63,814世帯	62,978世帯	62,331世帯
達成率	98.4%	96.8%	95.8%	94.1%	92.6%
決算額(千円)	52,075	53,633	51,395	50,836	50,416

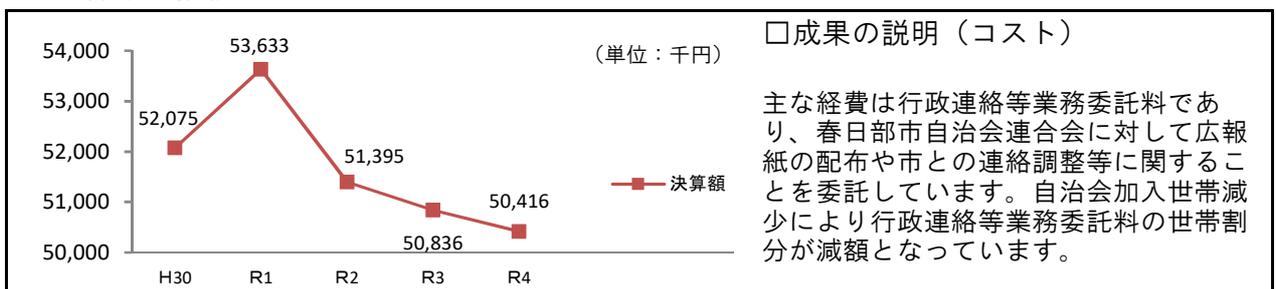
1 自治会加入世帯数



2 自治会連合会の活性化に向けた事業数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	加入世帯数(令和4年3月1日現在)は前年度比で647世帯減少し、達成率は92.6%となりました。目標達成に至らなかった理由は、単身世帯の増加や高齢化、生活様式の変化など様々な要因が考えられます。そのような中、役員研修会では、会費の口座引落としや電子決済の導入など先進的な取組を行っている他県の自治会とオンライン会議システムを用いた意見交換を行い、加入促進の強化に努めました。	
今後の方向性	現状維持	自治会活動は地域の魅力向上や、いざという時の支え合い助け合いに欠かせない活動です。新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、自治会においても再開できる事業は再開し、地域経済も含めたコミュニティ全体の活性化を図っていきます。

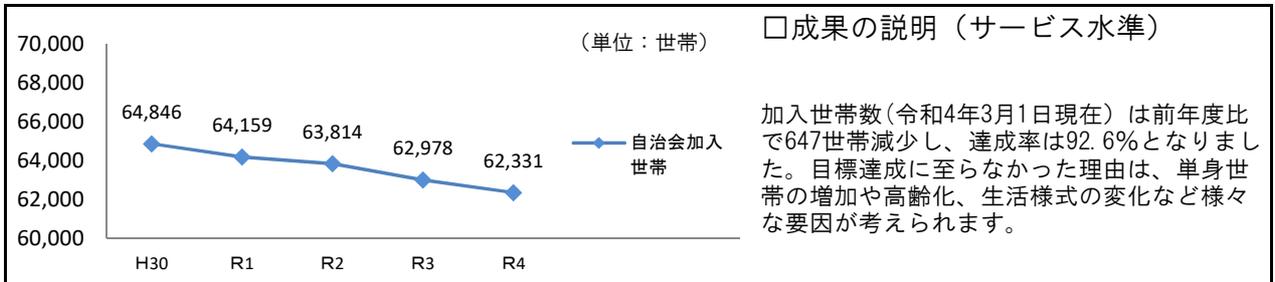
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

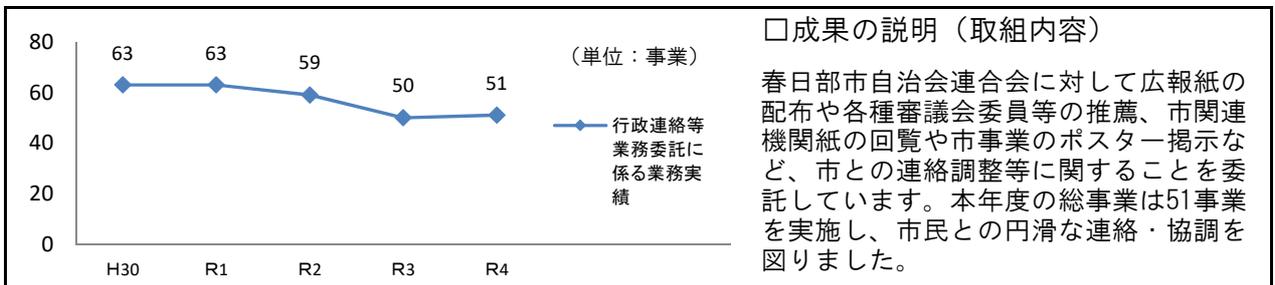
施策番号	3-1-2	実施計画No.	64	重点プロジェクトNo.	③-88	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	自治振興事業					課名	市民参加推進課	
事業内容	市業務の委託により、市民への円滑な情報伝達（広報紙・議会だよりなど配布）と、市の政策形成への市民参加を推進します。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	自治会加入世帯数				現状値 (平成29年度)	65,196世帯		
現状と課題	核家族化や少子高齢化が進行する中、個人や家庭で対応しきれない問題を解決する場として、コミュニティの重要性が高まっています。自治会加入世帯数は、減少傾向にあるため、市内各地区の状況を把握し、より効果的な対策を図っていく必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	65,900世帯	66,250世帯	66,600世帯	66,950世帯	67,300世帯
成果指標の実績値	64,846世帯	64,159世帯	63,814世帯	62,978世帯	62,331世帯
達成率	98.4%	96.8%	95.8%	94.1%	92.6%
決算額(千円)	52,075	53,633	51,395	50,836	50,416

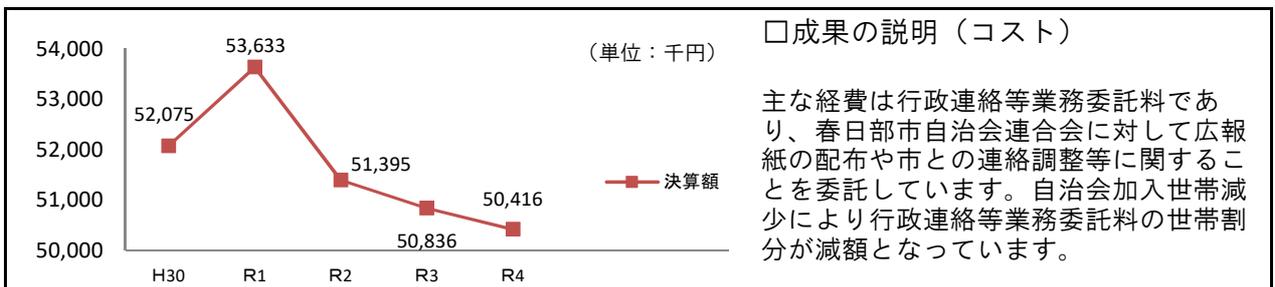
1 自治会加入世帯数



2 行政連絡等業務委託に係る業務実績



3 決算額の推移



令和4年度の評価	加入世帯数（令和4年3月1日現在）は前年度比で647世帯減少し、達成率は92.6%となりました。目標達成に至らなかった理由は、単身世帯の増加や高齢化、生活様式の変化など様々な要因が考えられます。そのような中、役員研修会では、会費の口座引落しや電子決済の導入など先進的な取組を行っている他県の自治会とオンライン会議システムを用いた意見交換を行い、加入促進の強化に努めました。	
今後の方向性	現状維持	自治会活動は地域の魅力向上や、いざという時の支え合い助け合いに欠かせない活動です。今後の新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら、感染防止対策を徹底の上、自治会において再開できる事業は再開し、地域経済も含めたコミュニティ全体の活性化を図っていきます。

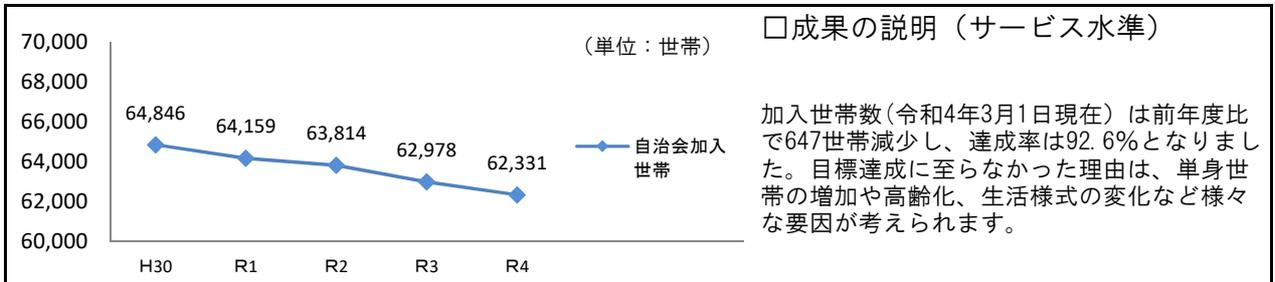
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

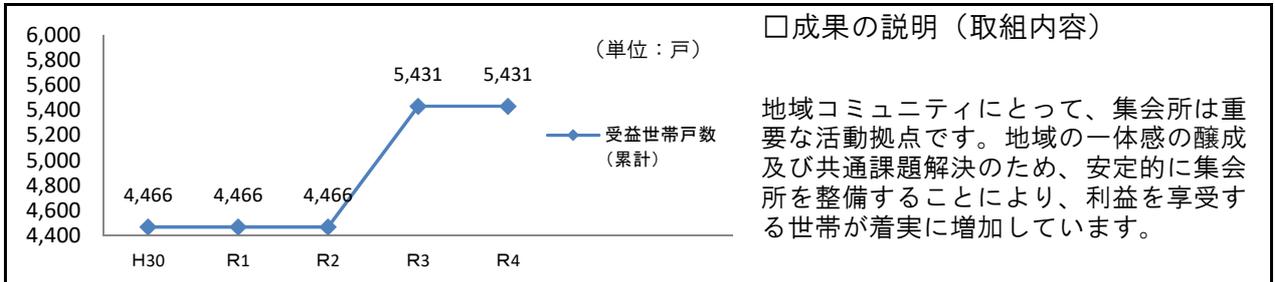
施策番号	3-1-2	実施計画No.	65	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	12・15
事業名 (補助金名)	集会所建設コミュニティ助成事業費補助金					課名	市民参加推進課	
事業内容	集会所建設や備品整備事業の希望団体に対し、県・自治総合センターの事業採択を活用し、補助・助成することで、地域コミュニティの活性化を図ります。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	自治会加入世帯数				現状値 (平成29年度)	65,196世帯		
現状と課題	コミュニティ活動には拠点となる場所の整備が不可欠なため、補助事業により自治会集会所等の整備に努めていますが、毎年、補助・助成を受けられる団体数に限りがあることから、希望する団体が補助・助成を受けるまで相当の年数を要しています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	65,900世帯	66,250世帯	66,600世帯	66,950世帯	67,300世帯
成果指標の実績値	64,846世帯	64,159世帯	63,814世帯	62,978世帯	62,331世帯
達成率	98.4%	96.8%	95.8%	94.1%	92.6%
決算額(千円)	2,500	5,000	2,500	20,000	7,500

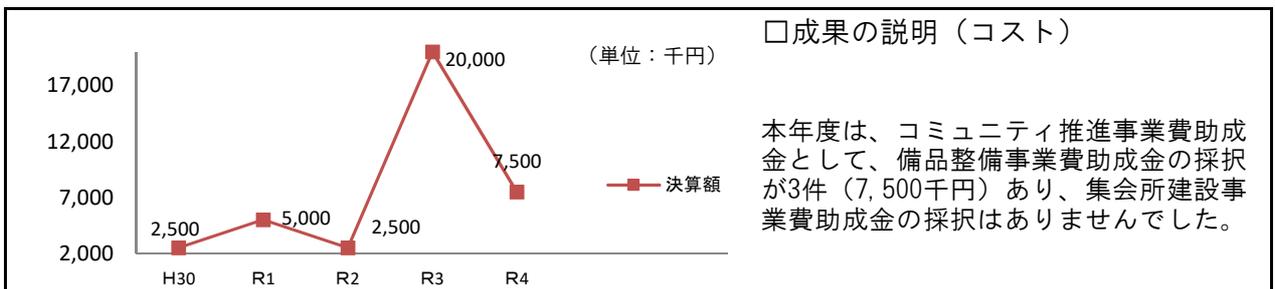
1 自治会加入世帯数



2 集会所整備による受益世帯戸数（平成17年度～）



3 決算額の推移



令和4年度の評価	集会所施設整備事業費補助金は団体にとって大きな事業であり準備に数年を要すことから、希望団体の状況を把握しながら計画的に支援していく必要があります。本年度は自治総合センターのコミュニティ助成事業により備品整備事業費助成金が3件採択されました。3件の助成金支出について、交付団体に対する支援を円滑に実施することができました。	
今後の方向性	現状維持	今後も、地域の一体感の醸成及び共通課題の解決を推進するとともに、コミュニティ活動の活性化につながるような拠点整備を積極的に支援するため、希望団体への補助金交付を継続していきます。

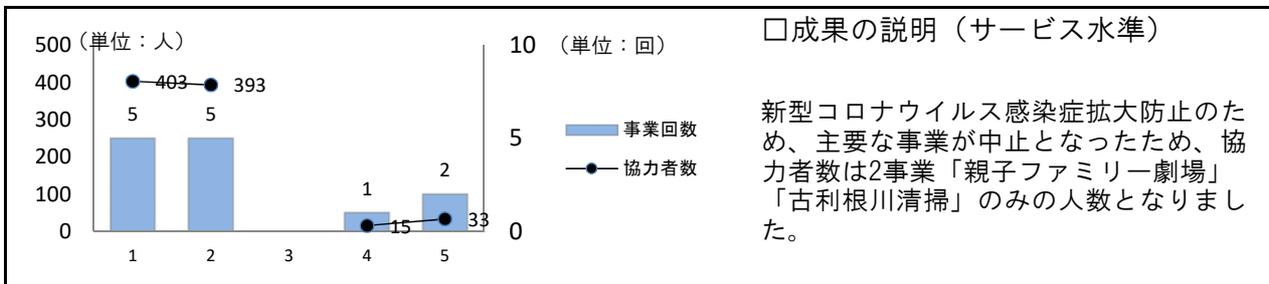
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

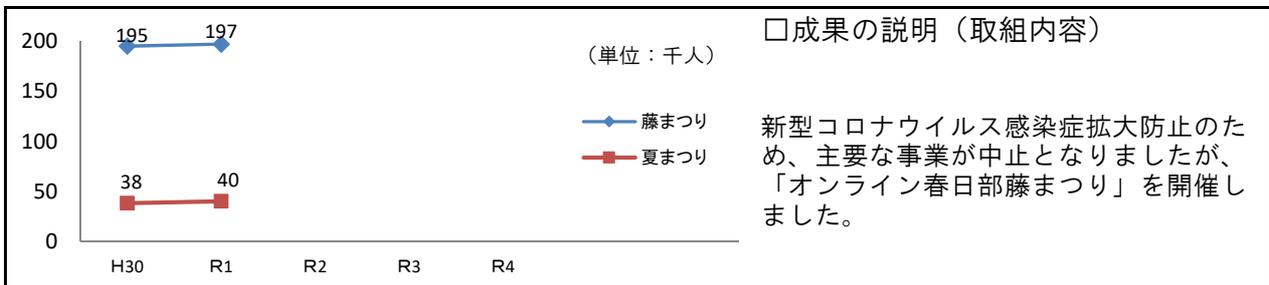
施策番号	3-1-2	実施計画No.	66	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	13
事業名 (補助金名)	コミュニティ推進協議会運営事業					課名	市民参加推進課	
事業内容	市民主体のまちづくりやコミュニティづくりの意義など、コミュニティ意識の啓発を行うと同時に活動団体間のネットワークづくりを支援します。					事業開始年度	平成23年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	コミュニティ推進協議会の活動に参加・協力している人数				現状値 (平成29年度)	412人		
現状と課題	テーマコミュニティは、寄せられる期待やニーズが多様化・高度化しており、効果的な団体運営に係るノウハウやより専門的かつ細やかな支援が必要です。また、活動員の高齢化などにより、運営が厳しくなっていることから、新たな担い手の確保が求められています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	402人	414人	427人	440人	453人
成果指標の実績値	403人	393人	-	15人	33人
達成率	100.2%	94.9%	-	3.4%	7.3%
決算額(千円)	2,893	2,893	837	1,381	2,013

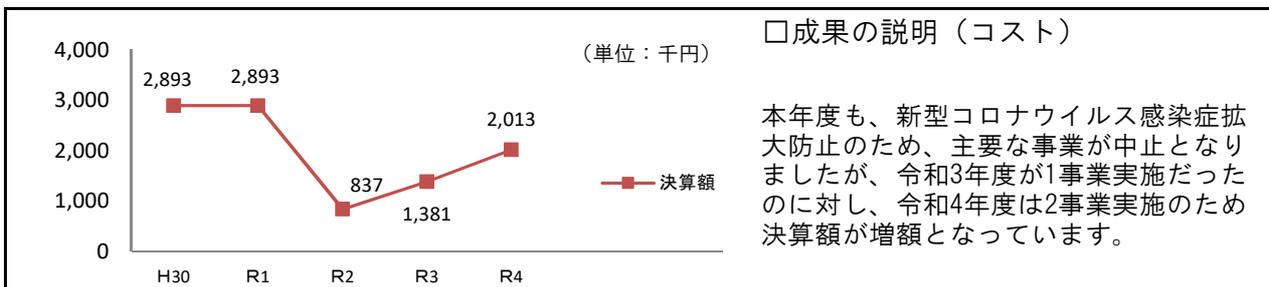
1 コミュニティ推進協議会の活動に参加・協力している人数



2 主なイベントの来場者数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	主要な事業が中止となりましたが、「オンライン春日部藤まつり2022」や「古利根川清掃」を開催するなど、コロナ禍においても市民と参加団体がオンラインから繋がる機会をつくり、新たなコミュニティづくりの推進につながりました。また、コロナ禍の影響で実施できたのは2事業のみでしたが、企画・準備を通じ、コミュニティ活動の活性化を図りました。	
今後の方向性	現状維持	団体運営事業の支援を行い、コミュニティ意識の啓発、活動団体間のネットワークづくりを進めていくことで、コロナ禍においても可能な限り、団体間の協働の機会を増やしていきます。

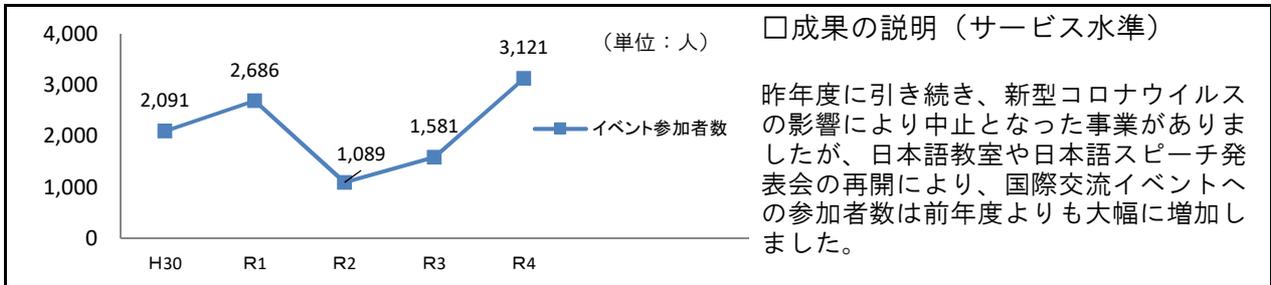
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

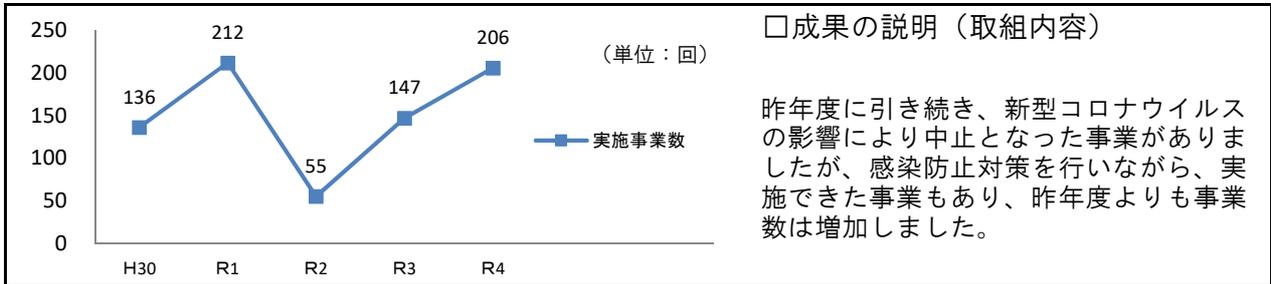
施策番号	3-1-3	実施計画No.	67	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	国際化推進事業					課名	市民参加推進課	
事業内容	春日部市国際交流協会等への支援を通じ、姉妹都市、友好都市交流の活性化に努めるとともに、英会話教室など市民が外国語および異文化を学習する機会を提供します。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	国際交流イベントの参加者数				現状値 (平成29年度)	1,893人		
現状と課題	姉妹都市、友好都市との学生によるホームステイ事業等の継続を通じて、国際化推進事業への注目は高まってきています。市民の国際交流・多文化共生への理解を深めるために、教育・文化・産業などの分野における交流を支援し、新たな交流の創出に努め、国際交流活動の活性化を図る必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	1,960人	2,020人	2,080人	2,140人	2,200人
成果指標の実績値	2,091人	2,686人	1,089人	1,581人	3,121人
達成率	106.7%	133.0%	52.4%	73.9%	141.9%
決算額(千円)	2,462	5,059	2,606	1,400	1,654

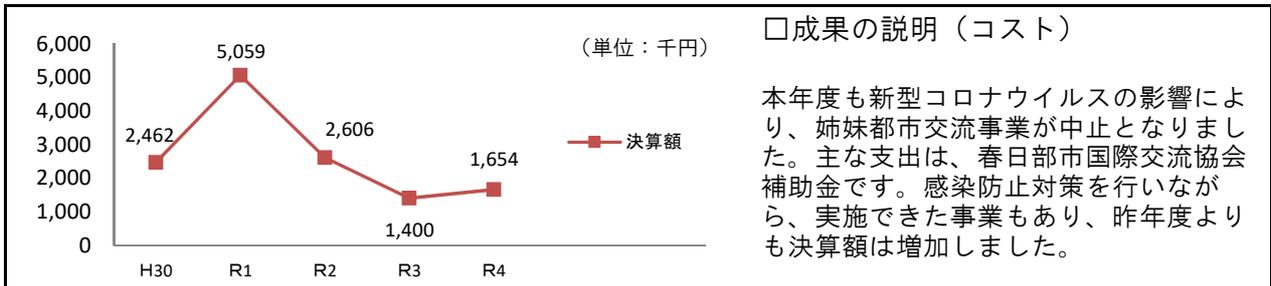
1 国際交流イベントの参加者数



2 春日部市国際交流協会の実施事業数



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響により中止となった事業がありましたが、感染防止対策を行いながら、実施できた事業もあったことから、昨年度よりも参加者数、事業数ともに増加しました。	
今後の 方向性	現状維持	姉妹友好都市との交流は市民の力で継続して実施されている事業であり、幅広い世代の市民が国際理解を深め、様々な分野で交流をより活発化していくことが期待されます。市民の国際交流への参加を促進していくため、春日部市国際交流協会と連携して事業を実施し、国際交流活動を担う人材の育成も図っていきます。

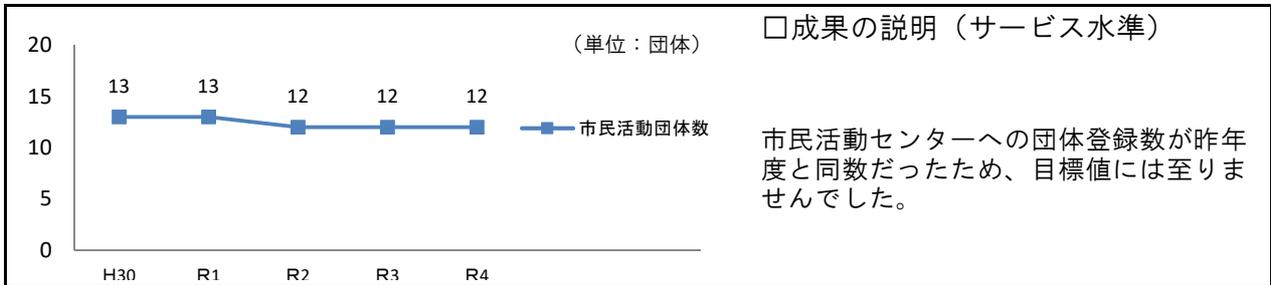
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

施策番号	3-1-3	実施計画No.	68	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	国際交流ボランティア育成派遣事業					課名	市民参加推進課	
事業内容	増加する外国人住民やインバウンドに対応するため、春日部市国際交流協会等と連携し、各種ボランティア養成講座等を実施し、行政機関等からの派遣要請に応じ、ボランティアを派遣します。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	国際交流を行っている市民活動団体数					現状値 (平成29年度)	12団体	
現状と課題	増加する外国人住民が日常生活で通訳などを必要とする場合に対応できるよう、ボランティアの確保が求められています。様々な言語に対応できる体制を整えるため、市民が特に言語面におけるボランティアへの関心を持ち、学ぶ機会を得ることができるよう、市民団体と連携して人材育成を図る必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	13団体	13団体	13団体	13団体	14団体
成果指標の実績値	13団体	13団体	12団体	12団体	12団体
達成率	100.0%	100.0%	92.3%	92.3%	85.7%
決算額(千円)	1,620	1,620	1,411	1,390	1,620

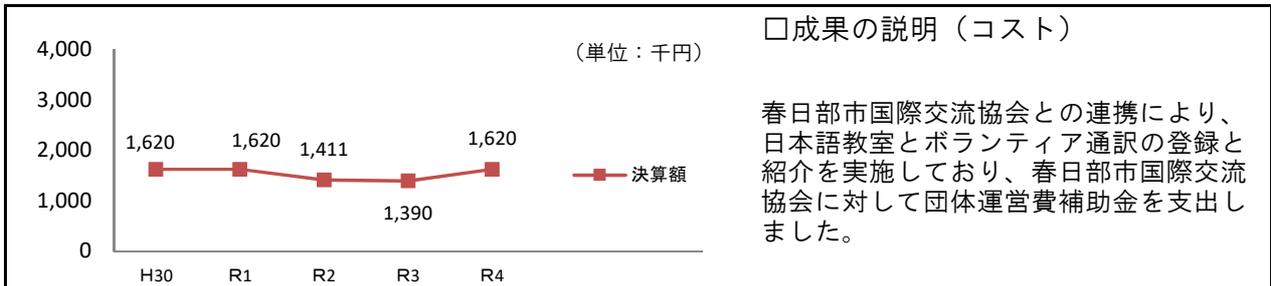
1 国際交流を行っている市民活動団体数



2 外国人支援に協力した市民の人数



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、日本語教室を休回とする日もありましたが、昨年度よりも実施回数が増加したことに伴い、外国人支援に協力した市民の人数も増加しました。	
今後の 方向性	現状維持	増加する外国人住民が身近で日本語を学べる場所として日本語教室のニーズは高まっており、ボランティアスタッフとして活動していただく人材の確保が必要であることから、引き続きスタッフの育成を進めていきます。

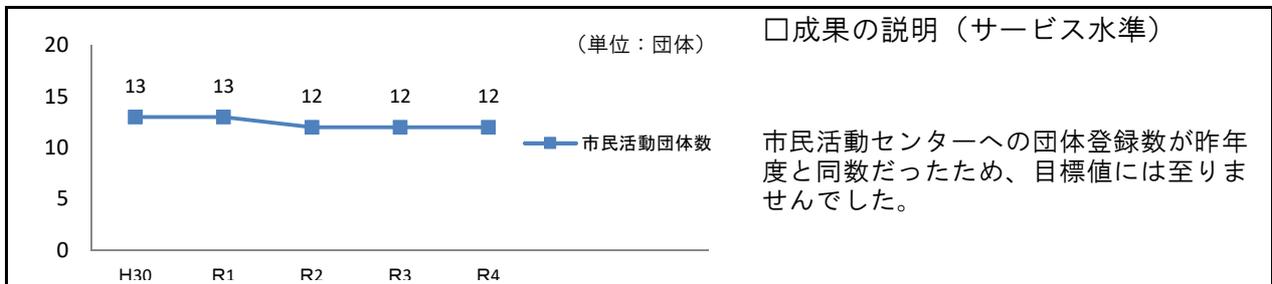
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

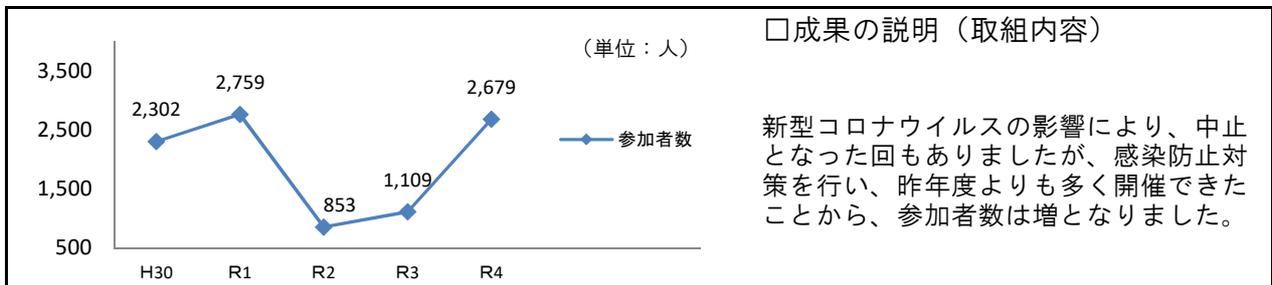
施策番号	3-1-3	実施計画No.	69	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	多文化共生促進事業					課名	市民参加推進課	
事業内容	市内の各地区において外国人住民が日本語学習のできる場を提供するとともに各種団体へ相談・支援を行います。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	国際交流を行っている市民活動団体数				現状値 (平成29年度)	12団体		
現状と課題	市内の外国人住民は年々増加しています。地域社会で共に暮らしていくために日本語を学習できる機会の提供は必要のため、市民団体が実施する日本語教室などの事業を支援し、多文化共生の意識の醸成と地域参加の促進を図ることが求められています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	13団体	13団体	13団体	13団体	14団体
成果指標の実績値	13団体	13団体	12団体	12団体	12団体
達成率	100.0%	100.0%	92.3%	92.3%	85.7%
決算額(千円)	1,620	1,620	1,411	1,390	1,620

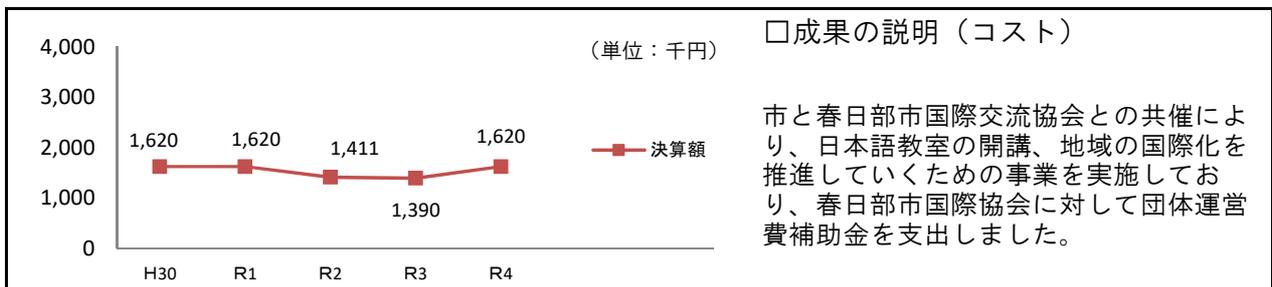
1 国際交流を行っている市民活動団体数



2 日本語教室の参加者数



3 決算額の推移



令和4年度の評価
昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響により、日本語教室が中止となった回もありましたが、感染防止対策を行いながら、昨年度よりも多く開催することができました。その結果、昨年度よりも参加者数は増加しました。

今後の方向性
現状維持
増加する外国人住民が身近で日本語を学べる場所として、日本語教室のニーズはより高まっています。春日部市国際交流協会や市民団体等との協力のもと、利用しやすい教室運営を図りながら、学習機会の拡充を検討していきます。

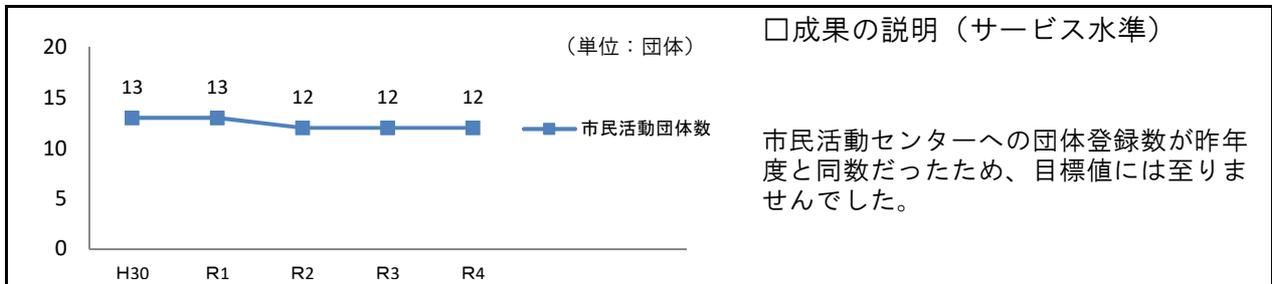
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

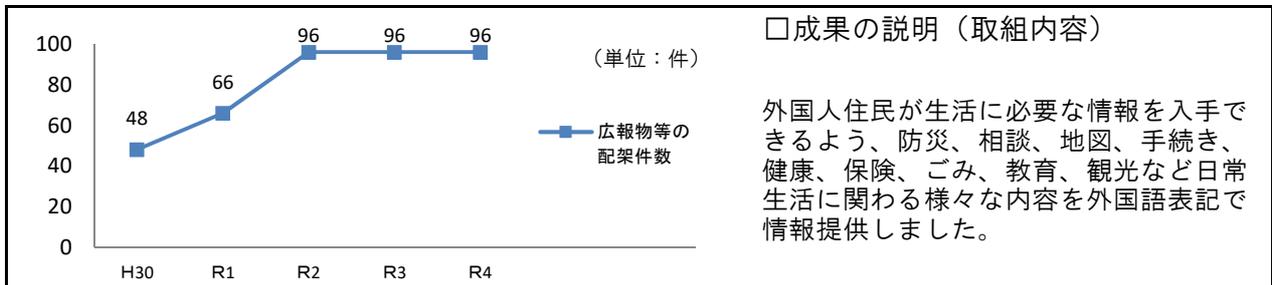
施策番号	3-1-3	実施計画No.	70	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	国際交流拠点の設置					課名	市民参加推進課	
事業内容	国際交流、多文化共生の地域の活動拠点としての役割を持つ国際交流ラウンジを設置し、多言語での生活情報の提供や、相談員による生活相談等に対応するとともに国際交流に関心のある市民が集える場所を提供します。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	国際交流を行っている市民活動団体数					現状値 (平成29年度)	12団体	
現状と課題	市内の外国人住民数は年々増加しており、生活に必要な情報を入手できるよう支援を行う必要があります。市が発行する広報物において外国語の表記がなされるよう、また、市民が国際交流への理解を深められるよう、行政や各種団体が情報提供する多文化共生事業の広報活動の強化を図ることが求められています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	13団体	13団体	13団体	13団体	14団体
成果指標の実績値	13団体	13団体	12団体	12団体	12団体
達成率	100.0%	100.0%	92.3%	92.3%	85.7%
決算額(千円)	2,089	1,620	1,411	1,390	1,620

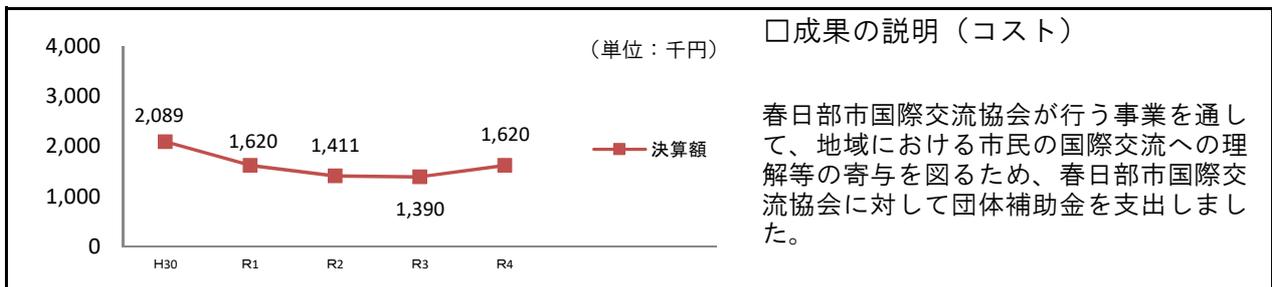
1 国際交流を行っている市民活動団体数



2 外国語表記のある広報物等の配架件数



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	各課窓口では、外国人住民が必要とする情報を外国語表記で作成された資料を活用するなどして対応しております。また、春日部市国際交流協会との共催による日本語教室では、日本語を学ぶだけでなく、生活に関わる身近な相談や情報提供が出来る場所として、市民の協力により外国人住民を支援する場となりました。	
今後の 方向性	現状維持	外国人住民が地域社会で生活していくうえで必要な情報を多言語で入手しやすいように情報発信を充実させるとともに、相談しやすい環境の整備が必要性を増しています。春日部市国際交流協会や市民団体との連携を図り、市民の協力のもと、地域における多文化共生を推進していきます。

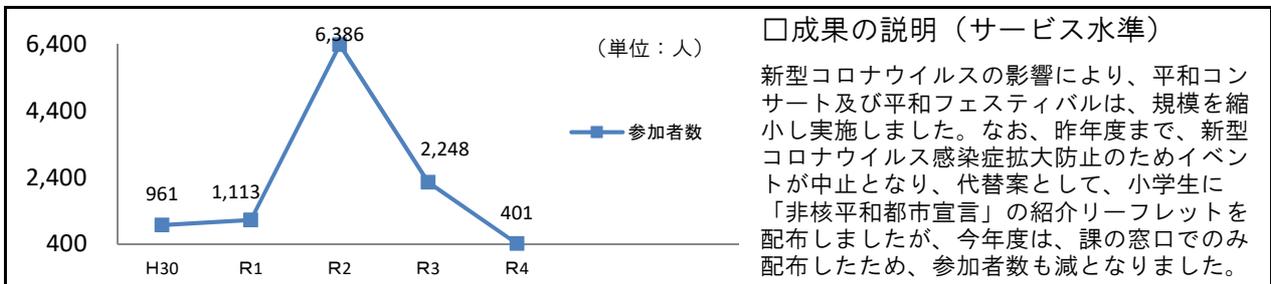
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

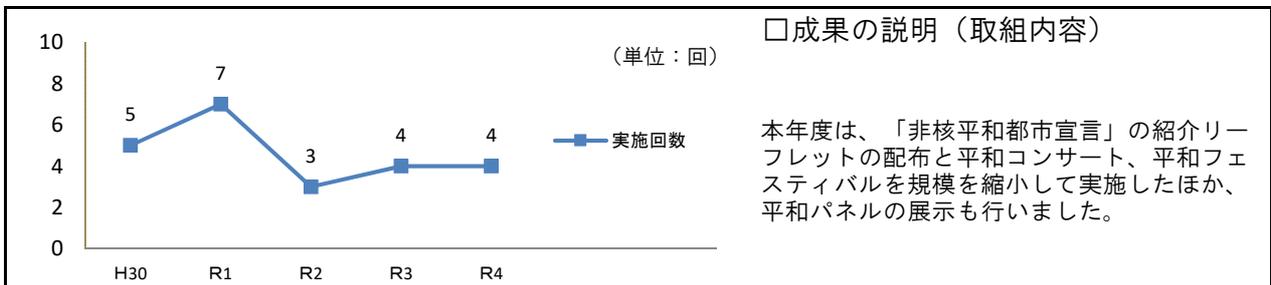
施策番号	3-1-3	実施計画No.	71	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	非核平和事業					課名	市民参加推進課	
事業内容	多くの市民が参加できる事業や、パネル展示を通じて市民への平和意識の啓発を行います。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	平和イベントの参加者数				現状値 (平成29年度)	720人		
現状と課題	平成21年に制定した「非核平和都市宣言」に基づき、市民が国際社会の一員として世界の恒久平和の実現に貢献するべく、平和意識の啓発を図るため、平和の尊さを考える機会を提供し続けることが求められています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	760人	810人	860人	910人	950人
成果指標の実績値	961人	1,113人	6,386人	2,248人	401人
達成率	126.4%	137.4%	742.6%	247.0%	42.2%
決算額(千円)	568	842	540	297	579

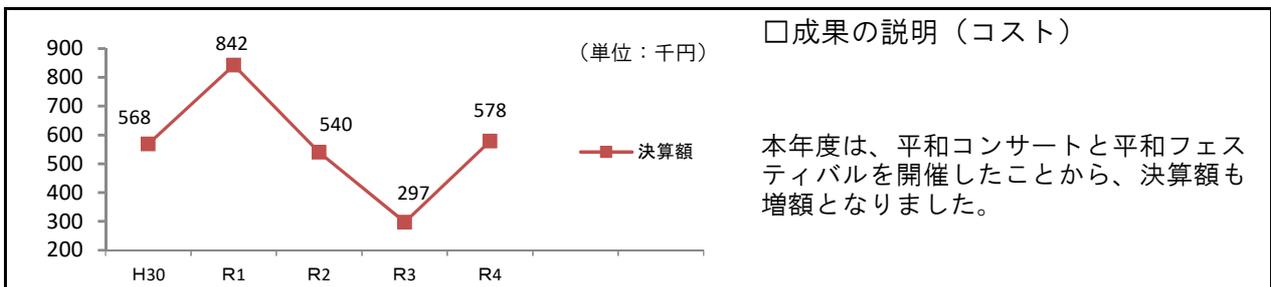
1 平和イベントの参加者数



2 平和イベントの実施回数



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	本年度は、平和コンサートと平和フェスティバルを、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、規模を縮小して実施することができ、市民の平和に対する理解と認識を深めるための啓発を図りました。	
今後の 方向性	現状維持	平和事業は計画的に推進されていますが、引き続き市民と協働で幅広い世代に向けた事業を継続して開催し、平和意識の啓発に取り組んでいく必要があります。

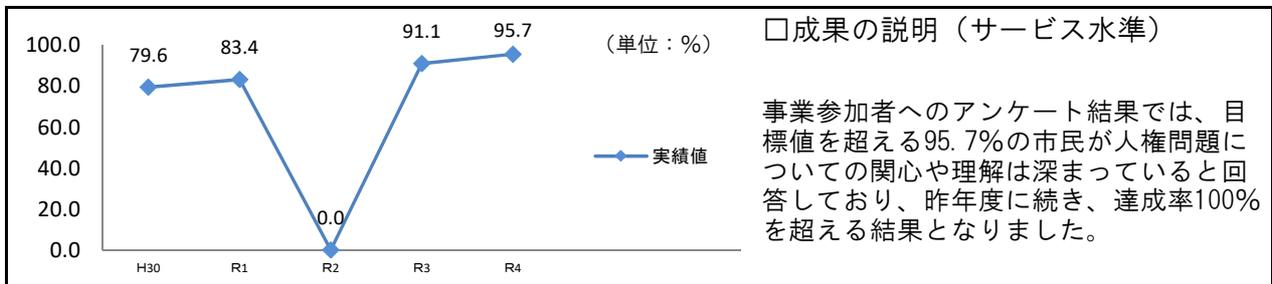
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

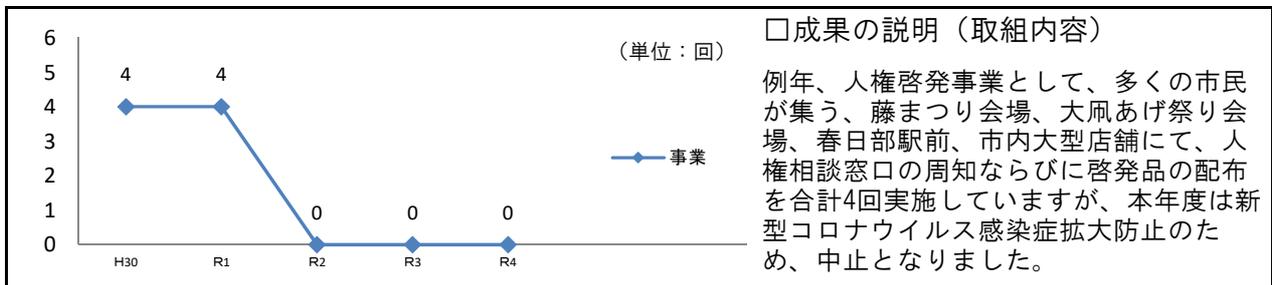
施策番号	3-2-1	実施計画No.	72	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-	
事業名 (補助金名)	庶務事務（人権啓発等）					課名	総務課		
事業内容	人権相談窓口を開設し、必要に応じて電話による相談を実施します。また、街頭における啓発活動を実施することにより、人権尊重の意識の高揚を図ります。					事業開始年度	平成17年度		
						事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	人権啓発事業に参加して、人権問題についての関心や理解が深まった市民の割合					現状値 (平成29年度)	87.0%		
現状と課題	部落差別をはじめとした、あらゆる人権問題（法務省が掲げる17項目の「啓発活動強調事項」）の関心や理解を深め、人権尊重意識の高揚を図る必要があります。また、人権問題について相談できる環境整備が求められています。								

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	86.1%	87.5%	88.9%	90.3%	91.7%
成果指標の実績値	79.6%	83.4%	—	91.1%	95.7%
達成率	92.5%	95.3%	—	100.9%	104.4%
決算額(千円)	8,207	3,398	2,293	7,873	1,274

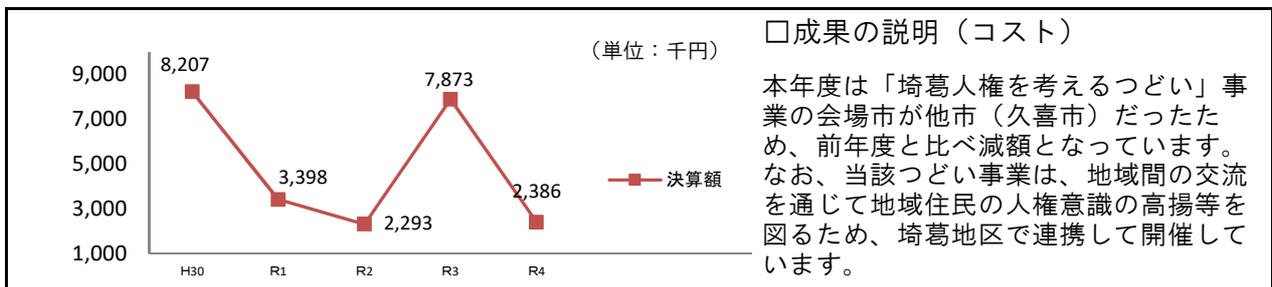
1 人権問題についての関心や理解が深まった市民の割合



2 人権啓発事業実施数



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	人権問題の解決のためには、市民一人ひとりの意識高揚が不可欠であり、継続的な啓発事業の実施が必要です。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため多くの事業が中止となる中、埼葛地区で連携して「埼葛人権を考えるつどい」を開催しました。	
今後の 方向性	現状維持	本市には、法務大臣から委嘱された8人の人権擁護委員がおり、人権相談に対応しています。これら委員の十分な活用に向け、引き続き、あらゆる機会をとらえて人権相談の周知ならびに啓発品の配布活動を実施しながら、人権問題について相談できる環境の整備を進めます。また、近隣自治体との連携を図りながら、人権啓発事業を実施していきます。

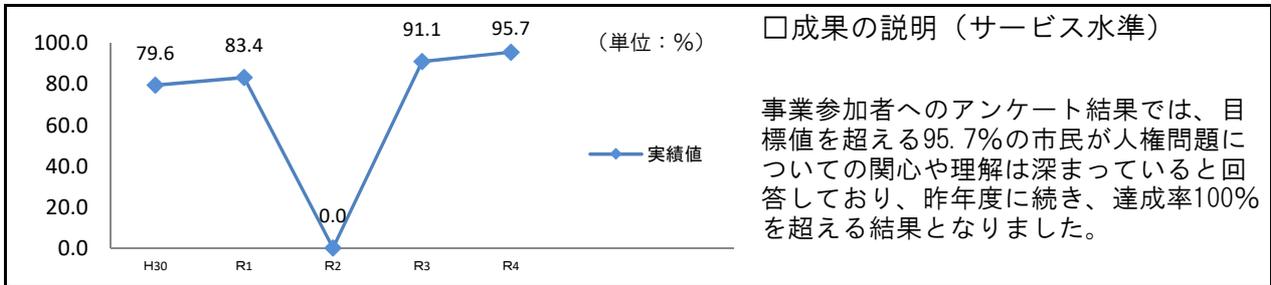
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

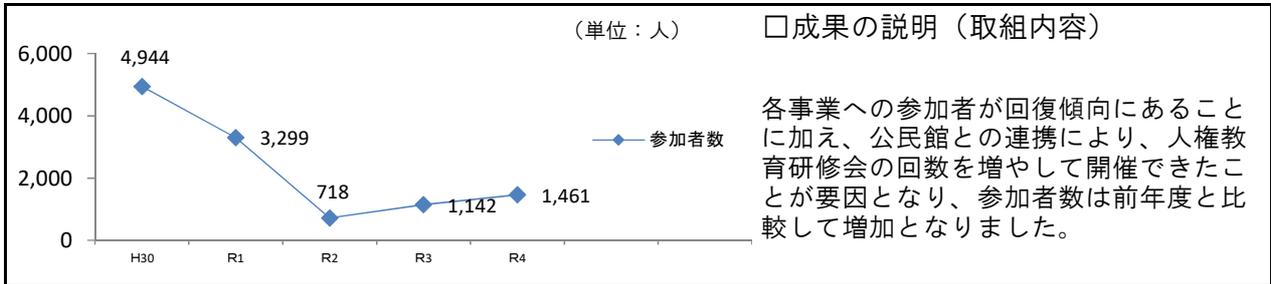
施策番号	3-2-1	実施計画No.	73	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	社会教育総務事務（人権教育等）					課名	社会教育課	
事業内容	市民等を対象とした各種人権研修を開催し、人権教育を推進します。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	人権啓発事業に参加して、人権問題についての関心や理解が深まった市民の割合					現状値 (平成29年度)	87.0%	
現状と課題	部落差別や女性、子ども、高齢者、障がい者、外国人、アイヌの人々、HIV（エイズウイルス）感染者等、犯罪被害者、北朝鮮拉致被害者、刑を終え出所した人、性的指向や性同一性障がい者、ホームレスなど、さまざまな人権問題について関心や理解を深め、人権尊重意識の高揚を図る必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	86.1%	87.5%	88.9%	90.3%	91.7%
成果指標の実績値	79.6%	83.4%	-	91.1%	95.7%
達成率	92.5%	95.3%	-	100.9%	104.4%
決算額(千円)	2,098	1,872	600	1,322	1,274

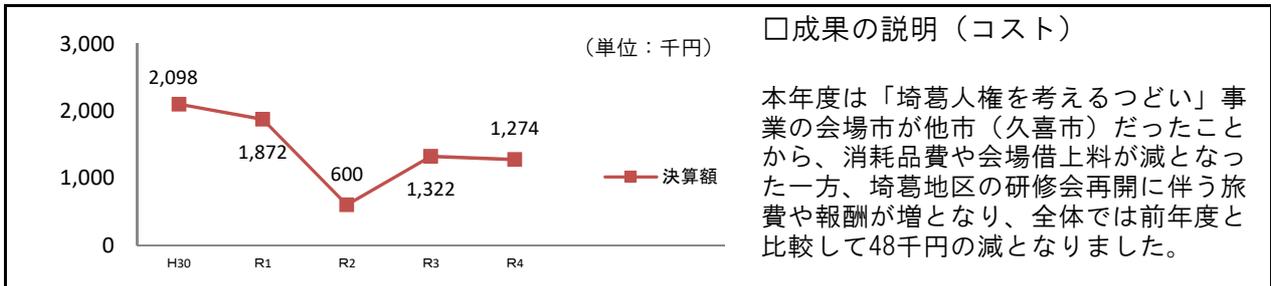
1 人権啓発事業に参加して、人権問題についての関心や理解が深まった市民の割合



2 人権教育事業の参加者数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	市民アカデミーでは、人権作文の発表、児童生徒による人権ポスターの展示を行ったほか、教育講演会「ヤングケアラー」をテーマにした教育講演会は関心が高く、成果指標の達成率が100%を超える結果となりました。また、その後のポスター巡回展示では、これまで開催していた教育センター、市役所本庁舎、庄和総合支所に加え、新たに武里出張所も会場とするなど、人権尊重意識の高揚を図るための取り組みを着実に進めることができました。	
今後の方向性	現状維持	引き続き市人権教育推進協議会など関係機関との連携を図るとともに、あらゆる機会をとらえて人権に関する教育や啓発を行い、人権尊重意識の高揚を図っていきます。

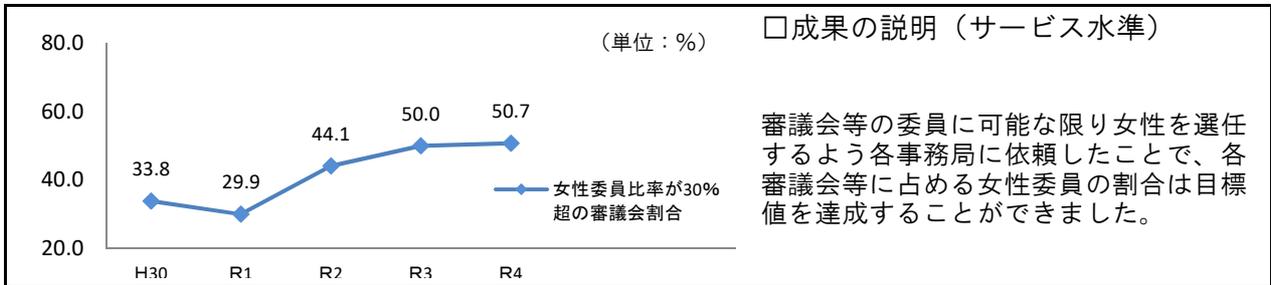
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

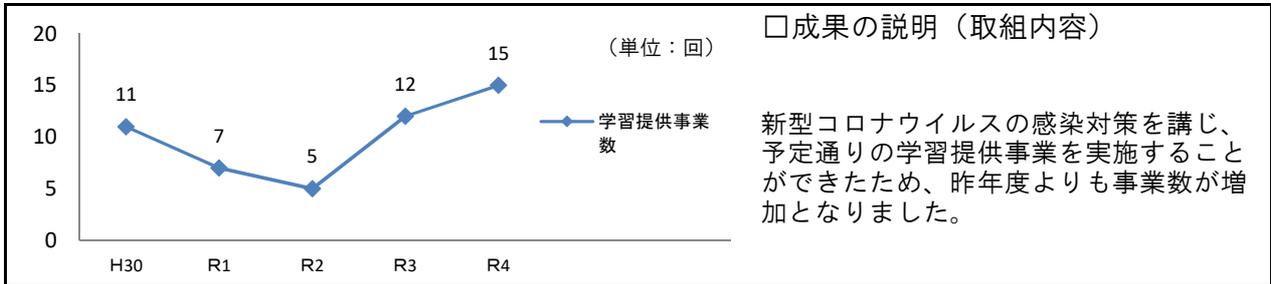
施策番号	3-2-2	実施計画No.	74	重点プロジェクトNo.	①-43	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	男女共同参画推進センター運営事業					課名	市民参加推進課	
事業内容	春日部市男女共同参画推進センターを管理運営するとともに、男女共同参画を推進するための情報・学習機会の提供及び相談業務の充実を図り、市民参加による交流事業を行います。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	各種委員会・審議会に占める女性委員比率が30%を超える審議会の割合				現状値 (平成29年度)	35.4%		
現状と課題	女性の社会進出の機会の増大及び男女平等に向けた法整備が進んでいますが、男女の固定的な役割分担意識による女性の登用機会の損失があるため、これらを解消するための意識啓発を行っていく必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	38.5%	41.5%	44.5%	47.5%	50.0%
成果指標の実績値	33.8%	29.9%	44.1%	50.0%	50.7%
達成率	87.8%	72.0%	99.1%	105.3%	101.4%
決算額(千円)	45,270	47,462	76,040	46,995	48,637

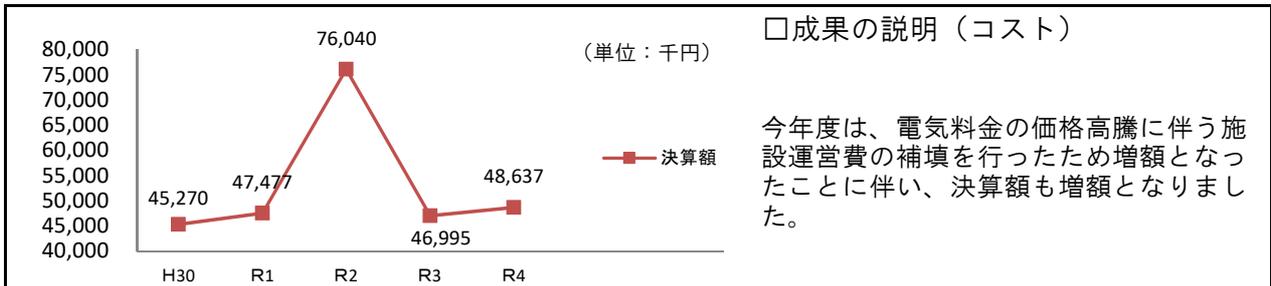
1 各種委員会・審議会に占める女性委員比率が30%を超える審議会の割合



2 男女共同参画の推進に資する学習提供事業数



3 決算額の推移



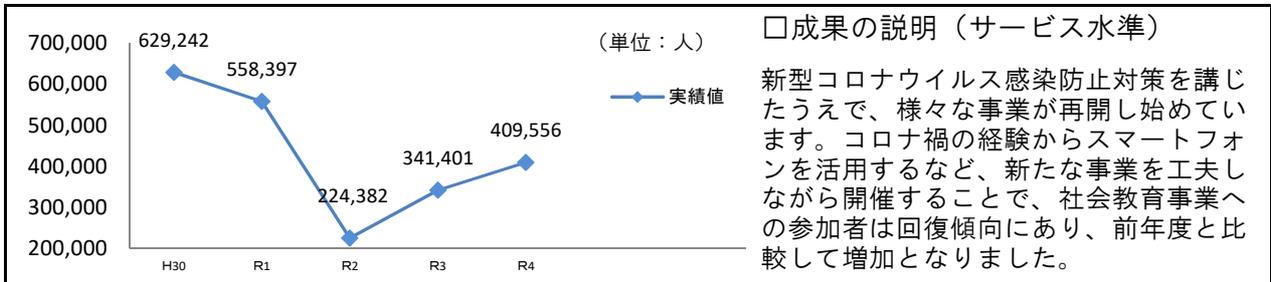
令和4年度の 評価	審議会等の委員に可能な限り女性を選任するよう各事務局に依頼したことで、各審議会等に占める女性委員の割合は、目標値を達成することができました。より多くの市民がまちづくりに参加できる機会の拡充の実現に近づいたものと考えています。	
今後の 方向性	現状維持	審議会等の委員選出の際に、女性委員が占める割合は目標の30%を超えていますが、更に男女共同参画の推進が求められており、引き続き意識啓発を続けていく必要があります。

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

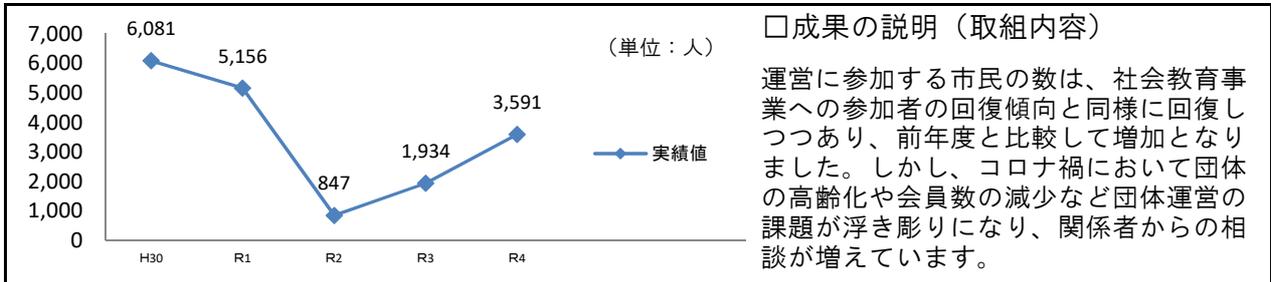
施策番号	3-3-1	実施計画No.	75	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	社会教育総務事務				課名	社会教育課		
事業内容	地域における教育活動を奨励するとともに、市民の個性や能力、学習意欲の向上を支援するため、さまざまな学習機会の提供および社会教育に関する相談、学社連携事業などを行います。				事業開始年度	平成17年度		
					事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	社会教育事業への参加者数				現状値 (平成29年度)	634,531人		
現状と課題	人口減少や少子高齢化などに伴い、地域コミュニティの衰退が懸念されています。また、新型コロナウイルス感染防止対策を講じた上で、だれもが興味・関心に応じて個性や能力を伸ばし、地域で活躍できるように、学習機会やプログラムの充実が求められています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	635,000人	636,000人	638,000人	639,000人	640,000人
成果指標の実績値	629,242人	558,397人	224,382人	341,401人	409,556人
達成率	99.1%	87.8%	35.2%	53.4%	64.0%
決算額(千円)	2,098	1,872	600	1,322	1,274

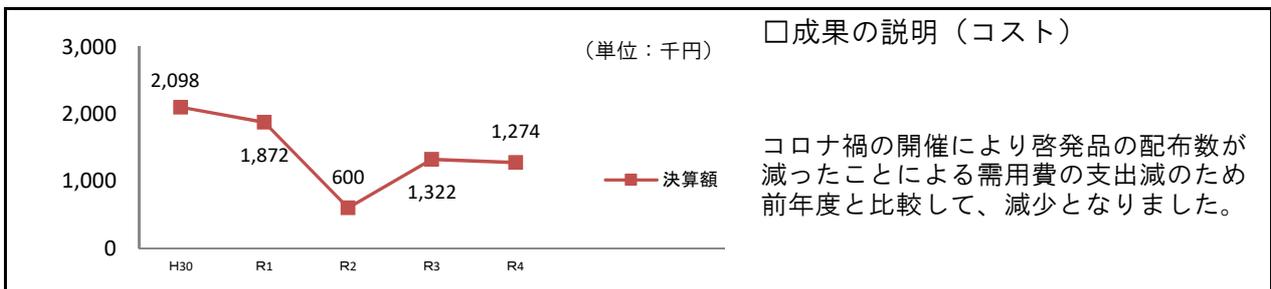
1 社会教育事業への参加者数



2 社会教育事業の運営に参加する市民（実行委員、ボランティアなど）の推移



3 決算額の推移



令和4年度の評価	新型コロナウイルス感染防止対策を講じたうえで、様々な事業が再開し始めています。コロナ禍の経験からスマートフォンを活用するなど、新たな事業を工夫しながら開催することで、社会教育事業への参加者及び事業運営への参加者のニーズを踏まえた社会教育の振興に努めました。	
今後の方向性	現状維持	機構改革により青少年健全育成事業がこども未来部に事務移管されるなど、事業の整理が行われているが、学校教育や市内の大学、商業施設など多方面との連携により、市民の学習ニーズに応える事業を実施するなど、さらなる社会教育の充実に努めていきます。

【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

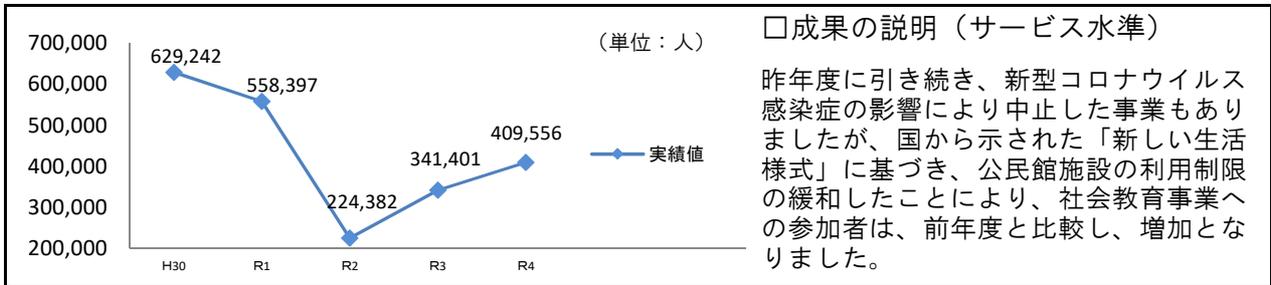
◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

施策番号	3-3-1	実施計画No.	76	重点プロジェクトNo.	①-44	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	公民館運営事業				課名	中央公民館		
事業内容	中央公民館および各地区公民館において、市民の多様な学習ニーズに応えるため、地域にねざした事業を展開し、公民館の事業効果の向上を図るとともに、各種講座の実施や学習情報の提供を行います。				事業開始年度	平成17年度		
					事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	社会教育事業への参加者数				現状値 (平成29年度)	634,531人		
現状と課題	社会構造の変化に伴い、地域コミュニティの希薄化が懸念されています。学びを通して人々の交流を活発にし、結びつきを強化するために、学習成果を発表する機会や場の提供など、学習活動を支援する取組が求められています。							

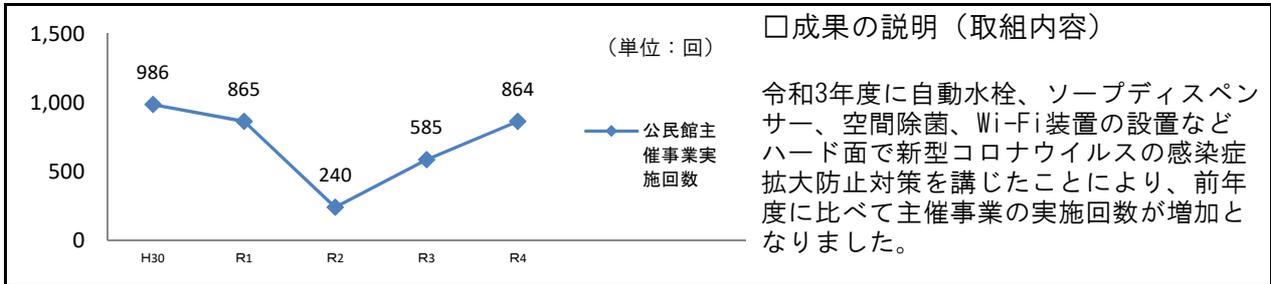
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	635,000人	636,000人	638,000人	639,000人	640,000人
成果指標の実績値	629,242人	558,397人	224,382人	341,401人	409,556人
達成率	99.1%	87.8%	35.2%	53.4%	64.0%
決算額(千円)	162,373	188,900	250,044	292,791	287,554

※令和3年度の「決算額」については、292,636円(千円)から292,791(千円)へ錯誤のため修正しました。

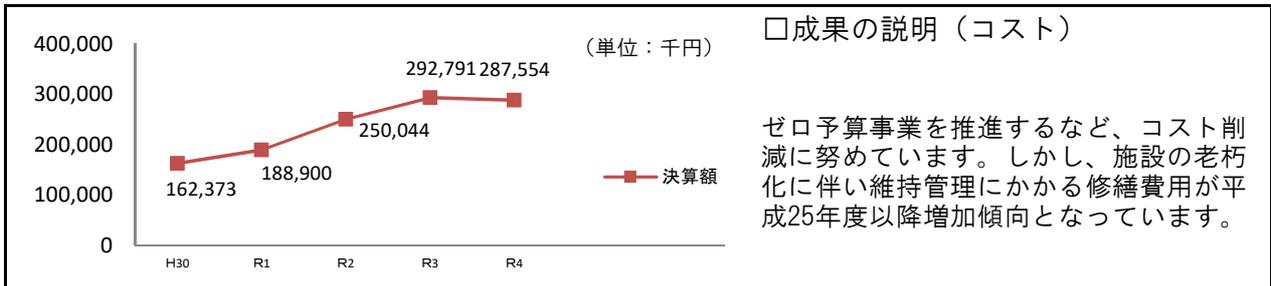
1 社会教育事業への参加者数



2 公民館主催事業実施回数の推移



3 決算額の推移



令和4年度の評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部の主催事業を中止とせざるを得なかったが、感染防止策を講じながら、参加者のスマートフォンを利用した事業（スマホ講座）を増やしたこと、主催事業を再開したこと等により、前年度に比べて増加となりました。	
今後の方向性	見直し	ウィズコロナ・ポストコロナ時代における新たな社会に柔軟に対応した各種事業（青少年リーダー育成等）の展開を図りながら、利用者数の増加を図っていきます。

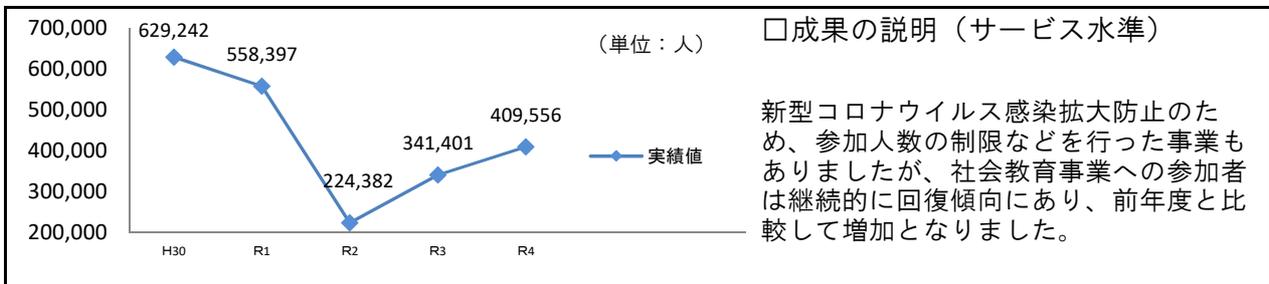
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

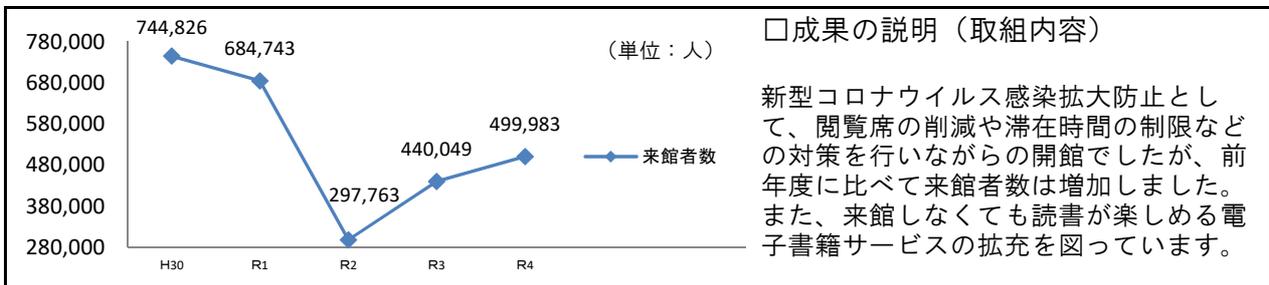
施策番号	3-3-1	実施計画No.	77	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	図書館運営事業					課名	社会教育課	
事業内容	中央図書館および分館において、図書館サービスの維持発展を図るとともに、司書職員による学校図書館支援を拡充します。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	社会教育事業への参加者数				現状値 (平成29年度)	634,531人		
現状と課題	生涯学習の定着により市民の図書館への要望が増大しており、市民の自主的学習要求も多様化しているのが現状です。こうした市民のニーズに対応するべく、資料の充実や施設・設備の老朽化への対応など、図書館のさらなる利便性を図ることが今後の課題となっています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	635,000人	636,000人	638,000人	639,000人	640,000人
成果指標の実績値	629,242人	558,397人	224,382人	341,401人	409,556人
達成率	99.1%	87.8%	35.2%	53.4%	64.0%
決算額(千円)	302,290	292,545	362,510	333,152	344,322

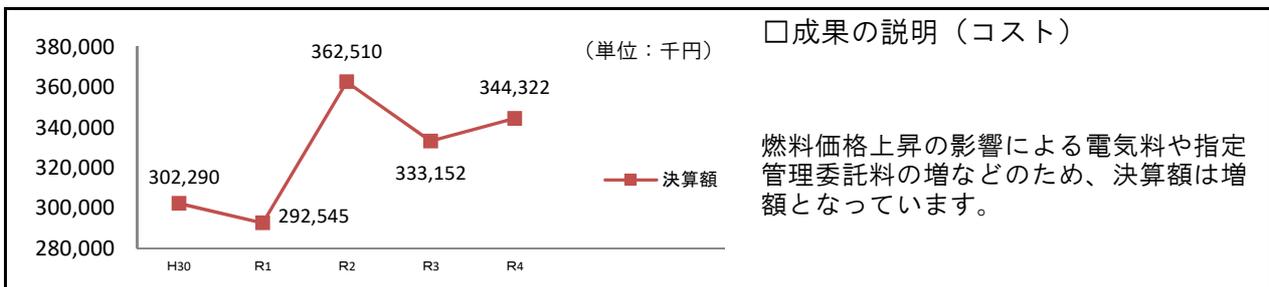
1 社会教育事業への参加者数



2 市立図書館の来館者数



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	本年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業参加者の人数制限などを実施しましたが、三つの密の回避、人と人との距離の確保、手指衛生、換気などの基本的な対策を行ったことで、市民の安心安全を確保し、社会教育事業への参加者増につながりました。	
今後の 方向性	現状維持	図書館で実際に行う事業の拡充に努めるとともに、オンライン講座など場所に捉われず参加できる事業の充実に取り組み、社会教育事業への参加者増加を図ります。また、アフターコロナ社会の市民ニーズの変化を踏まえながら、いつでもどこでも気軽に読書が楽しめる電子書籍の継続的な充実にも努めます。

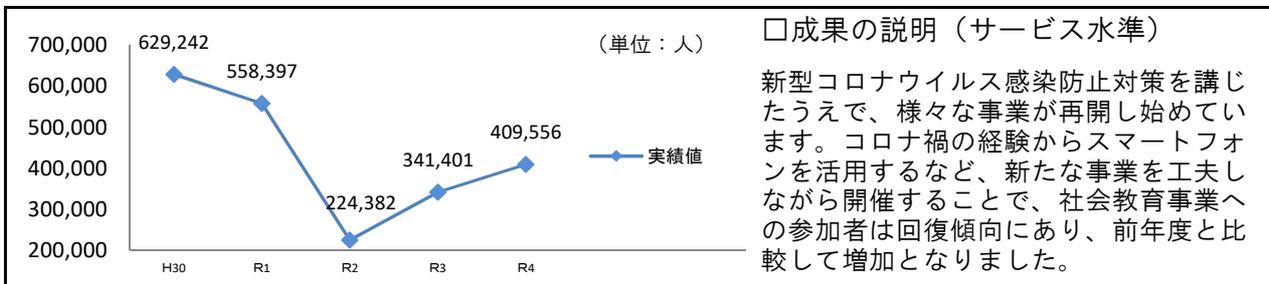
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

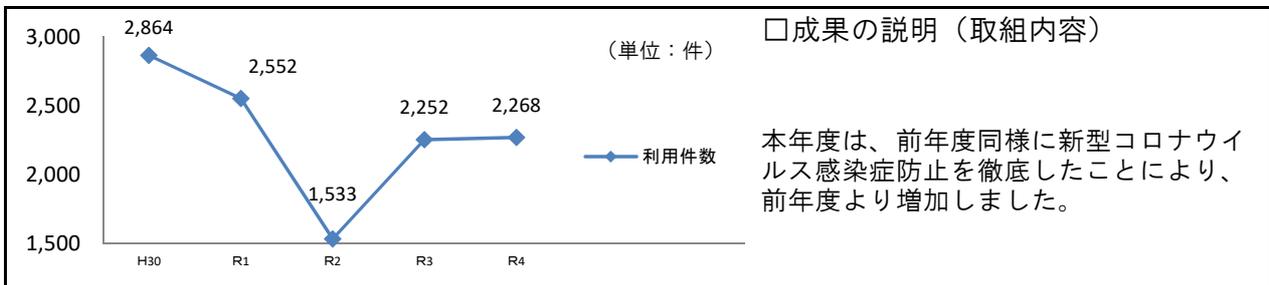
施策番号	3-3-1	実施計画No.	78	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	視聴覚センター運営事業					課名	社会教育課	
事業内容	視聴覚教育を通じ、市民の生活文化と知識の向上、あわせて学校教育と社会教育の振興を図るため、各種事業を実施するとともに、視聴覚ライブラリーを運営します。					事業開始年度	平成2年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	社会教育事業への参加者数					現状値 (平成29年度)	634,531人	
現状と課題	情報機器の著しい進歩により、市民のニーズの変化に対応する講座の内容・実施時期等を検討し、安心して参加できるようにする必要があります。また、視聴覚ライブラリーの老朽化にともない、教材や視聴覚機器を計画的に更新する必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	635,000人	636,000人	638,000人	639,000人	640,000人
成果指標の実績値	629,242人	558,397人	224,382人	341,401人	409,556人
達成率	99.1%	87.8%	35.2%	53.4%	64.0%
決算額(千円)	14,624	14,614	13,609	15,613	13,324

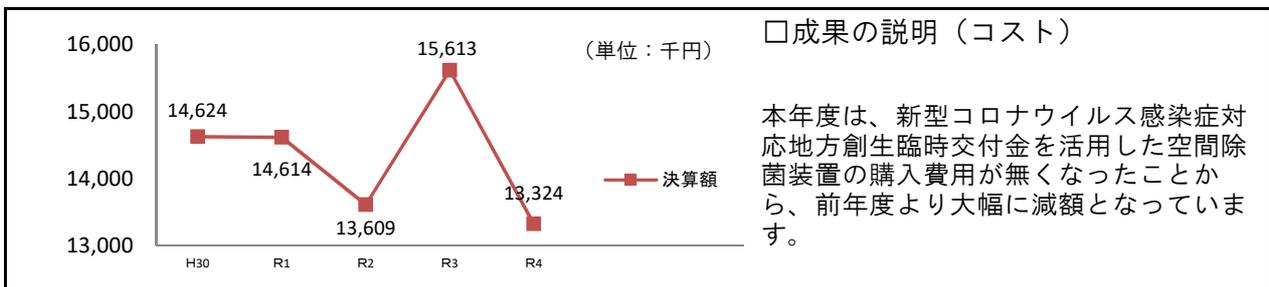
1 社会教育事業への参加者数



2 視聴覚センター施設利用件数



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	本年度は、安心して利用できるよう新型コロナウイルス感染防止対策を継続して講じたことから、前年度との比較では施設利用などが増加しました。また、講座受講の希望が多かったスマホ入門講座の開催を増加するなど、市民ニーズを捉えた運営に努めました。
今後の 方向性	現状維持 市民が安心して施設を利用した活動が行えるよう、また市民ニーズを踏まえた様々な講座を安心して受講ができるよう各事業の実施に努めていきます。

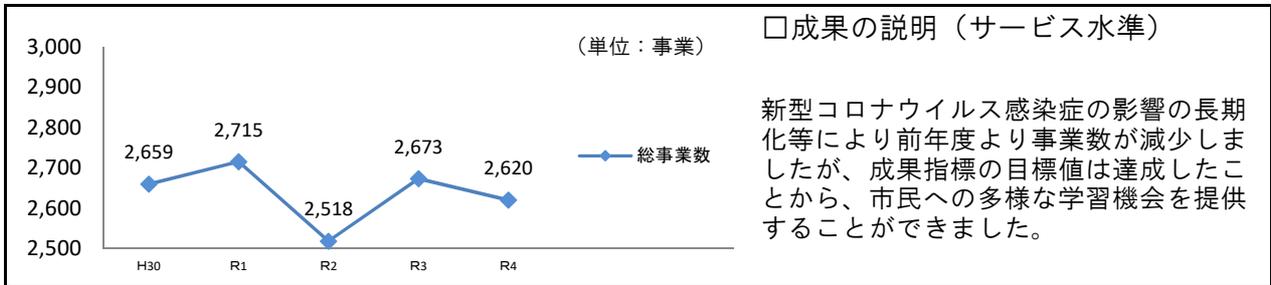
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

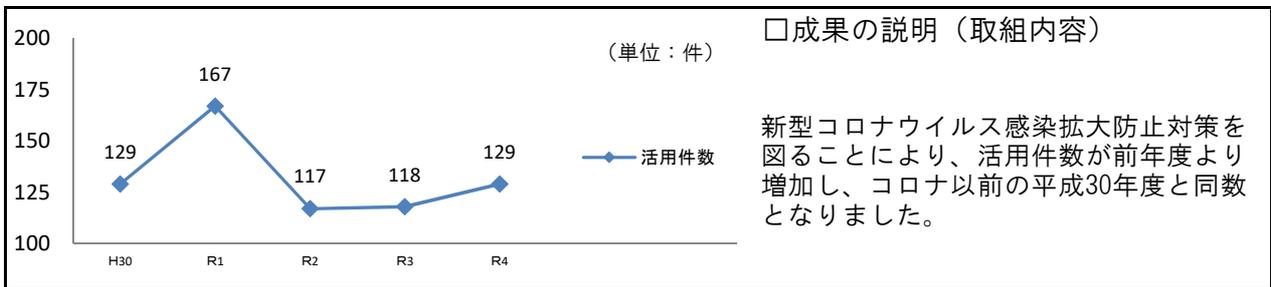
施策番号	3-3-2	実施計画No.	79	重点プロジェクトNo.	①-45	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	生涯学習推進事業					課名	社会教育課	
事業内容	生涯学習関連施策の総合的な推進を図るため、生涯学習推進本部を設置し、さまざまな学習の機会および学習成果の発表の場を提供するものです。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	生涯学習関連事業数				現状値 (平成29年度)	2,464 事業		
現状と課題	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、生涯学習関連事業がは前年度を下回りましたが、人材情報登録者の活用件数はコロナ前の平成30年の水準に戻すことができました。今後も市民が安心して事業に参加できるよう対策を図り、より多くの学習機会を市民へ提供していく必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	2,170 事業	2,190 事業	2,210 事業	2,230 事業	2,250 事業
成果指標の実績値	2,659 事業	2,715 事業	2,518 事業	2,673 事業	2,620 事業
達成率	122.5%	124.0%	113.9%	119.9%	116.4%
決算額(千円)	1,018	620	471	641	598

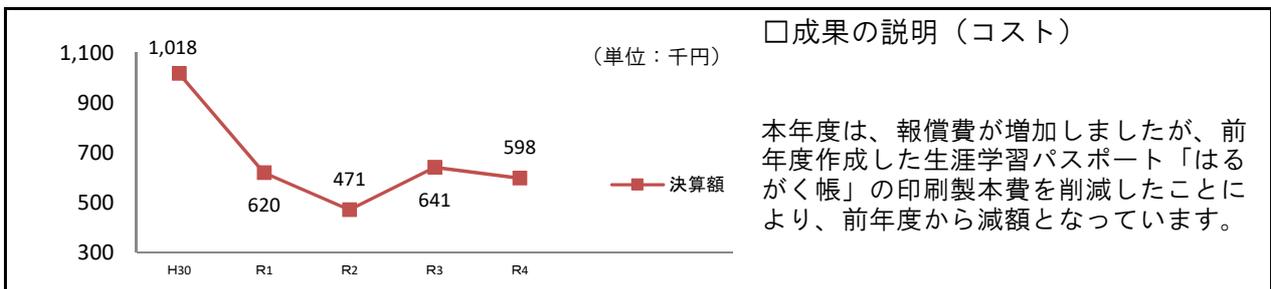
1 生涯学習関連事業数



2 生涯学習人材情報登録者の活用件数



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	本年度は、生涯学習関連事業数が前年度から減少しましたが、生涯学習人材情報登録者の活用がコロナ前の平成30年度の水準に回復した状況から、学習機会の充実に努めることができたと考えています。	
今後の 方向性	現状維持	今後も市民が安心して様々な講座を受講でき、市民の新しいニーズを踏まえた学習の提供と機会の充実に努めていきます。

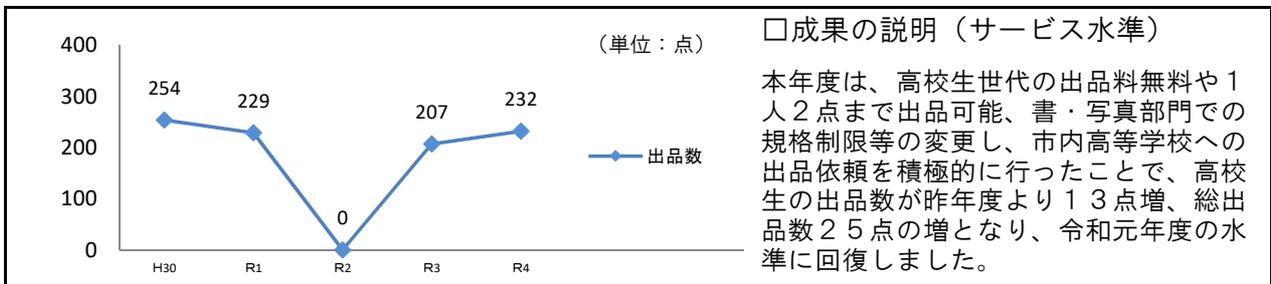
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

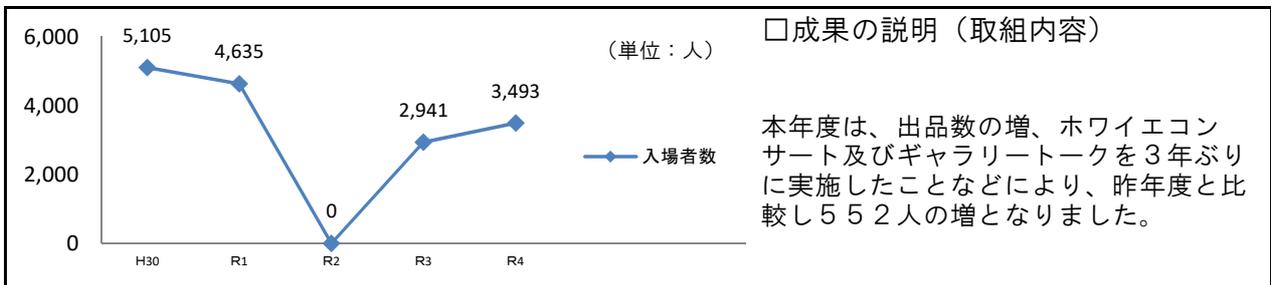
施策番号	3-4-1	実施計画No.	80	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	芸術文化振興事業					課名	社会教育課	
事業内容	市展の開催や、文化・芸術団体の自主事業に対する支援により、芸術文化の振興を図ります。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	市展への出品数				現状値 (平成29年度)	263点		
現状と課題	市展の開催により、身近に芸術作品に親しむ機会や日頃の活動の成果を発表する場を提供し、芸術文化の振興を図っています。近年、出品数が伸び悩み傾向にあることから、出品数を増やすための方策が課題となっています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	300点	320点	340点	370点	400点
成果指標の実績値	254点	229点	-	207点	232点
達成率	84.7%	71.6%	-	55.9%	58.0%
決算額(千円)	7,198	7,486	1,434	6,881	7,146

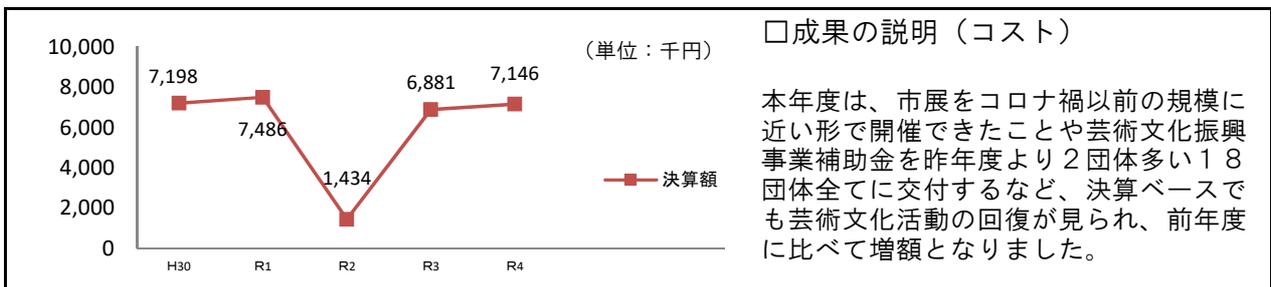
1 市展への出品数



2 市展の入場者数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	市展は、春日部市最大の公募型美術展覧会として、芸術の秋の恒例行事として定着しています。本年度は、高校生世代の出品料を無料としたことで、過去最大となる16点の出品があったことをはじめ、3年ぶりにホワイエコンサート・ギャラリートークを実施したことで出品数・入場者数とも昨年度に比べて増加しました。運営においても、高校生のボランティアが過去最大の25人になるなど、若い世代が本市の芸術文化の振興において活躍しています。	
今後の方向性	現状維持	今後も芸術文化の振興を図るため、より多くの市民に親しんでいただけるよう市展をはじめとした芸術文化に関する事業の内容充実を図っていきます。市内高等学校へ事業への参加呼びかけを積極的に行うほか、商業施設との協働により市展に関連したパネル展示や講演会等を実施するなど、出品者、出品数及び入場者数の増を図っていきます。

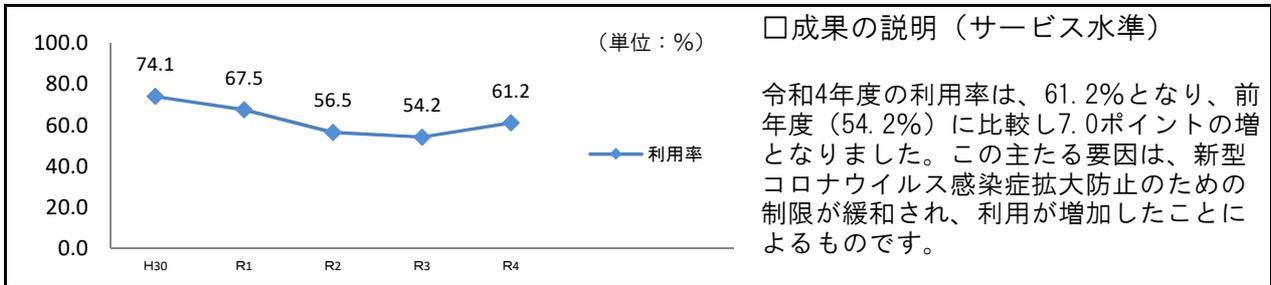
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

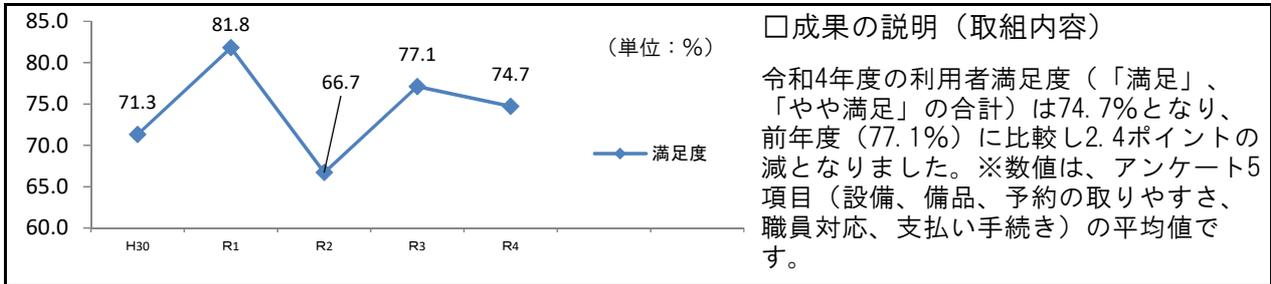
施策番号	3-4-1	実施計画No.	81	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	市民文化会館運営事業					課名	学校総務課	
事業内容	文化芸術の鑑賞と発表の場である市民文化会館の機能を維持し、市民文化の向上を図るため、市民文化会館を管理運営します。					事業開始年度	昭和58年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	市民文化会館利用率				現状値 (平成29年度)	75.8%		
現状と課題	市民文化会館は、施設・設備の老朽化に対応するとともに、文化・芸術活動の推進の拠点として、一層の利用者の満足度、利便性の向上を図っていく必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	64.2%	64.7%	65.2%	65.7%	66.2%
成果指標の実績値	74.1%	67.5%	56.5%	54.2%	61.2%
達成率	115.4%	104.3%	86.7%	82.5%	92.4%
決算額(千円)	135,444	145,155	146,226	152,238	184,826

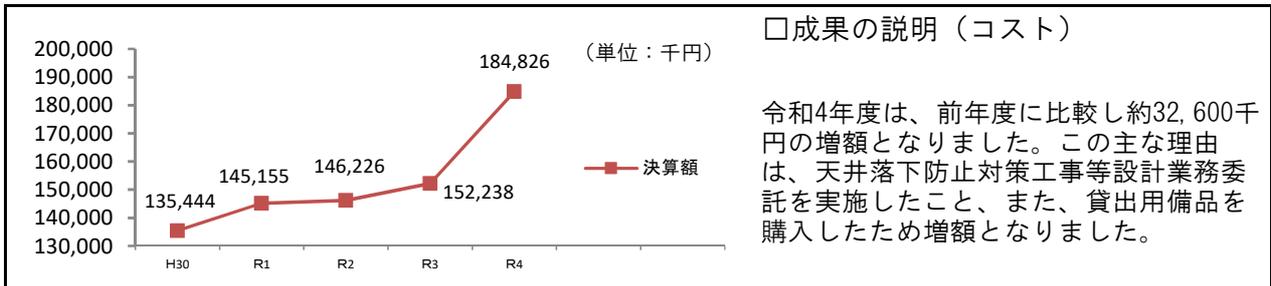
1 市民文化会館利用率



2 市民文化会館利用者満足度



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	施設は、昭和58年4月に開館し40年が経過、経年による施設や設備の劣化が進行し、大規模改修等抜本的な対策が必要となっています。このような中、本年度は天井落下防止対策工事等設計業務委託やトイレ洋式化修繕を実施しました。そして、貸館の際に使用される各備品を購入しました。 また、利用率は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための制限が緩和されたことにより、前年度に比較して7.0ポイント増加しましたが、目標値には達しませんでした。
今後の 方向性	現状維持 施設の老朽化への対応は、施設の運営に支障を来さないよう施設修繕等に取り組んでいくとともに、天井落下防止対策工事及びインボイス制度に向けた精算機の借上げなどへの対応を進めていきます。 また、引き続きアンケート調査等により利用者意見・要望を把握し、利用者の満足度・利便性の向上に努めていきます。

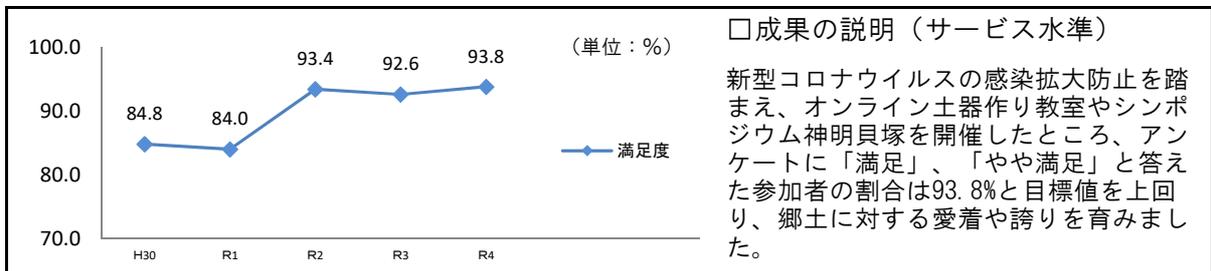
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

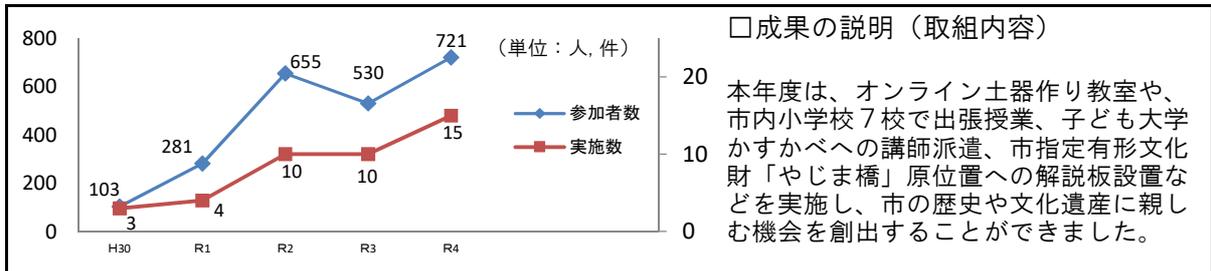
施策番号	3-4-2	実施計画No.	82	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-	
事業名 (補助金名)	文化財保護事業					課名	文化財保護課		
事業内容	各種の文化遺産を調査し、重要なものは指定を冠して保護を図ります。また、市民共有の財産としてその価値を周知、公開し、市に対する愛着や誇りを育みます。					事業開始年度	平成17年度		
						事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	普及啓発事業の満足度					現状値 (平成29年度)	78.4%		
現状と課題	国、県、市指定の文化財のほか、市内には多様な文化遺産がありますが、社会構造の変化により、それらを保存することが難しい状況になっています。地域社会総がかりで文化遺産を保存・活用し、郷土に対する愛着や誇りを育むことが求められています。								

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	80.0%	82.0%	84.0%	85.0%	86.0%
成果指標の実績値	84.8%	84.0%	93.4%	92.6%	93.8%
達成率	106.0%	102.4%	111.2%	108.9%	109.1%
決算額(千円)	8,635	10,398	22,395	14,590	13,865

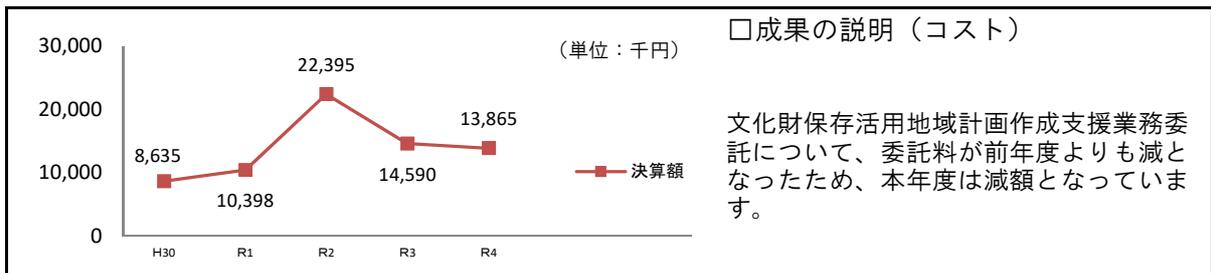
1 普及啓発事業の満足度



2 普及啓発事業の実施数、参加者数（神明貝塚を除く）



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	本年度は、地域社会総がかりでの文化遺産を保存・活用するためのマスタープランである文化財保存活用地域計画について、計画案を作成しました。また、「やじま橋」原位置への解説板設置や、文化遺産4件の解説板修繕、オンライン土器作り教室や出張授業、子ども大学かすかべなどへの講師派遣をとおして、市民が郷土の歴史や文化遺産に親しむための機会を拡大し、郷土春日部に対する愛着や誇りを育みました。	
今後の 方向性	現状維持	本年度は、文化財保存活用地域計画の案を作成したほか、新型コロナウイルスの感染拡大防止を踏まえた普及啓発や、解説板の修繕、新規設置などを行い、市民が自ら文化遺産を訪れ、学習する環境を整備しました。引き続き、地域社会総がかりで文化遺産を継承し、市民が文化遺産を自らの宝や資源として認識し、共有するための普及啓発を推進します。

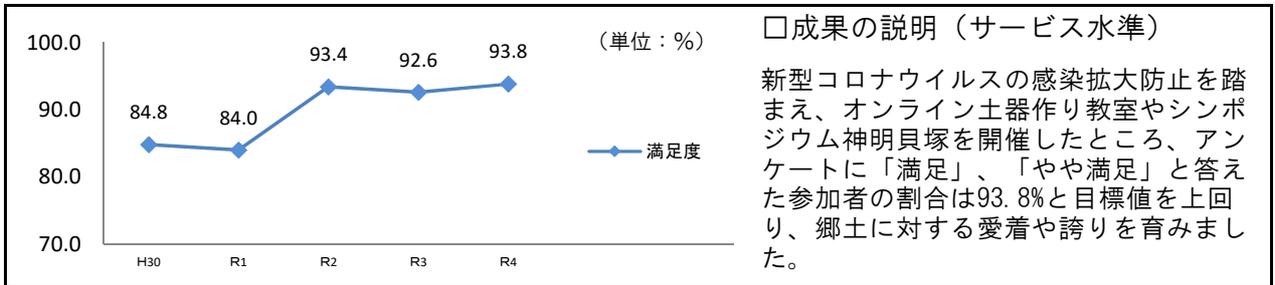
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

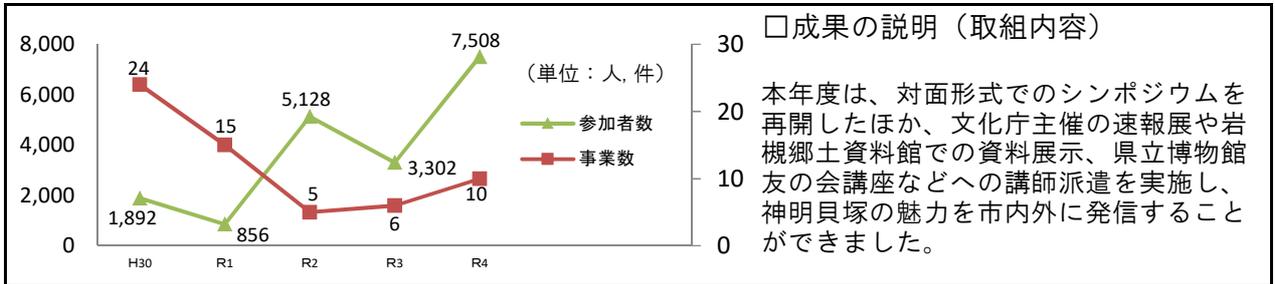
施策番号	3-4-2	実施計画No.	83	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-	
事業名 (補助金名)	神明貝塚保存公開事業					課名	文化財保護課		
事業内容	日本列島において重要な遺跡である神明貝塚の国史跡化と健全な保護を進め、その魅力を市内外へ発信します。					事業開始年度	平成17年度		
						事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	普及啓発事業の満足度					現状値 (平成29年度)	-		
現状と課題	西親野井地区にある神明貝塚は、令和2年3月に国史跡に指定され、管理団体である市は、令和3年11月に国の認定を受けた史跡神明貝塚保存活用計画に基づき、国民共有の財産として市内外へその魅力を発信するとともに、公有地化等による健全な保存を進める責務があります。								

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	80.0%	82.0%	84.0%	85.0%	86.0%
成果指標の実績値	84.8%	84.0%	93.4%	92.6%	93.8%
達成率	106.0%	102.4%	111.2%	108.9%	109.1%
決算額(千円)	5,928	3,913	8,478	1,770	2,162

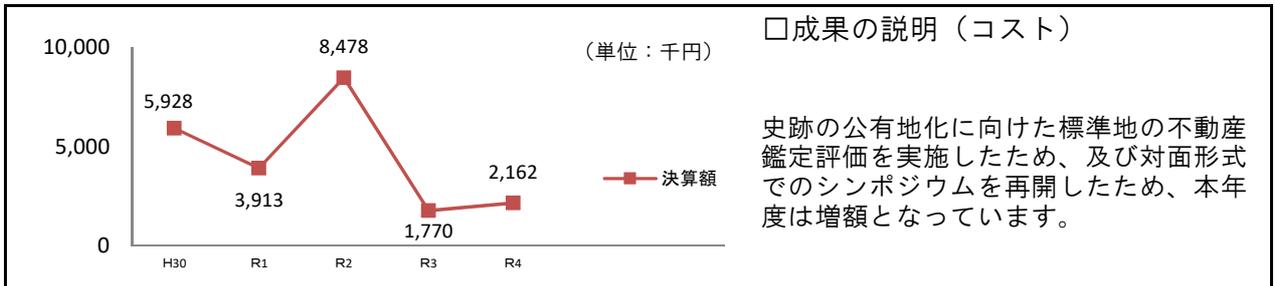
1 普及啓発事業の満足度



2 神明貝塚普及啓発事業の実施数、参加者数



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	本年度は、史跡神明貝塚保存活用計画に基づき、史跡の公有地化に向けた農用地区域からの除外の検討や、標準地の不動産鑑定評価を実施しました。また、文化庁主催の速報展や岩槻郷土資料館での資料展示、シンポジウム、子ども大学かすかべへの講師派遣など多様な機会を通して、神明貝塚の魅力を市内外に発信し、史跡の健全な保存と効果的な活用を推進することができました。	
今後の 方向性	拡充	本年度は、史跡の公有地化に先立つ関係法令手続を実施し、農用地区域からの除外が認められました。また、シンポジウムや子ども大学かすかべなどへの講師派遣や他機関での展示を通して、市内外に神明貝塚の魅力を発信したほか、シンポジウムにより計画の理念を市民と共有することができました。今後は、土地購入に着手して史跡の保存をより一層、推進するとともに、活用の担い手の確保のため、引き続きシンポジウムや出前講座などの普及啓発事業に取り組みます。

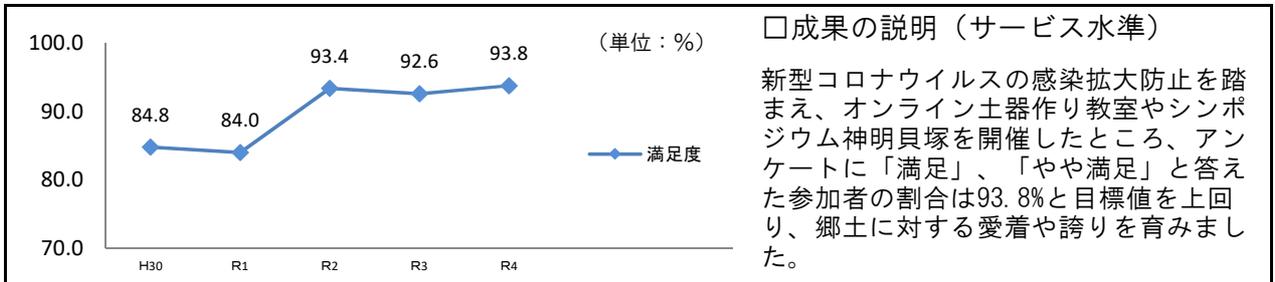
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

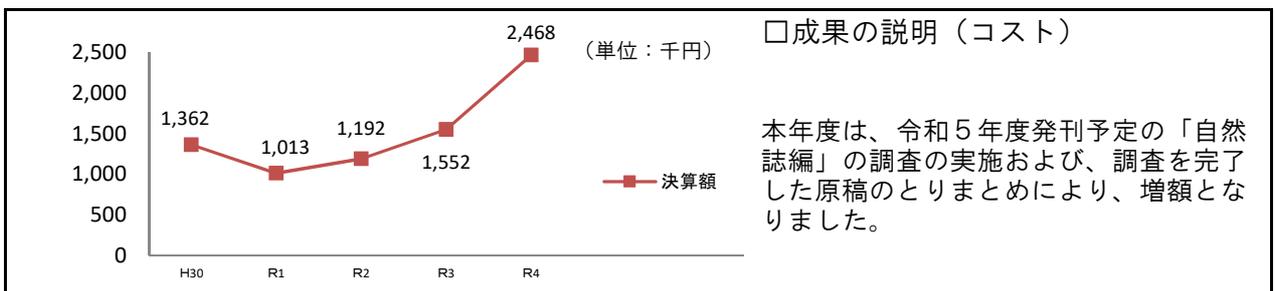
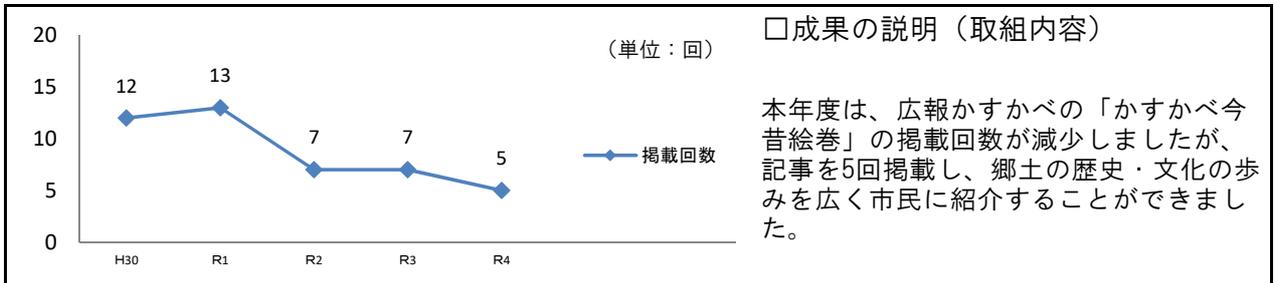
施策番号	3-4-2	実施計画No.	84	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	市史編さん事業					課名	文化財保護課	
事業内容	地域資料の継続的な調査に取り組み、市史の編さんをとおして、後世に伝えていきます。また、調査に伴い収集した地域資料を健全に保存、管理し、市民への公開や活用を図ります。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	普及啓発事業の満足度					現状値 (平成29年度)	—	
現状と課題	市の発展とともに市の歴史が続くという基本理念のもと、市史刊行物の発刊をとおして市の歴史や文化を継承していく必要があります。また、市史編さんの過程で収集した地域資料を一元的に整理・保存し、活用を図ることが急務です。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	80.0%	82.0%	84.0%	85.0%	86.0%
成果指標の実績値	84.8%	84.0%	93.4%	92.6%	93.8%
達成率	106.0%	102.4%	111.2%	108.9%	109.1%
決算額(千円)	1,362	1,013	1,192	1,552	2,468

1 普及啓発事業の満足度



2 普及啓発事業の掲載回数



令和4年度の評価	本年度は、第2次春日部市史編さん事業計画に基づき令和5年度発刊予定の「自然誌編」の調査、研究および原稿の執筆を進めました。また、第2次春日部市史編さん事業計画について検証・見直しを図り、令和5年度から令和9年度までの5か年を計画期間とする、第2次春日部市市史編さん事業計画（第2期）の案の策定を進めました。	
今後の方向性	現状維持	本年度は、第2次春日部市総合振興計画後期基本計画や春日部市文化財保存活用地域計画を勘案し、令和5年度から令和9年度までの5か年を計画期間とする第2次春日部市市史編さん事業計画（第2期）を策定するとともに、刊行物の発行をとおして市の歴史や文化を継承し、継続性のある市史編さん事業を推進していきます。

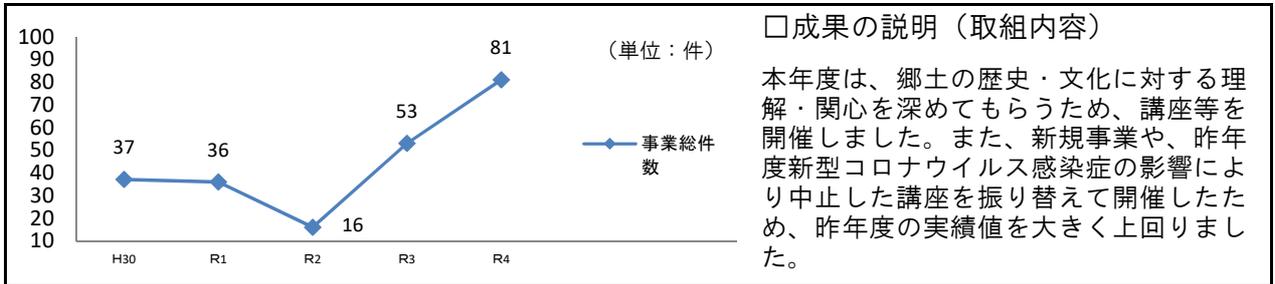
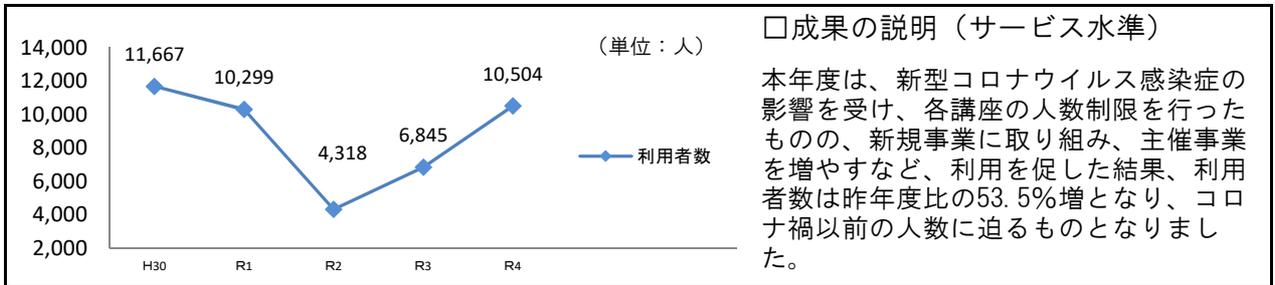
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

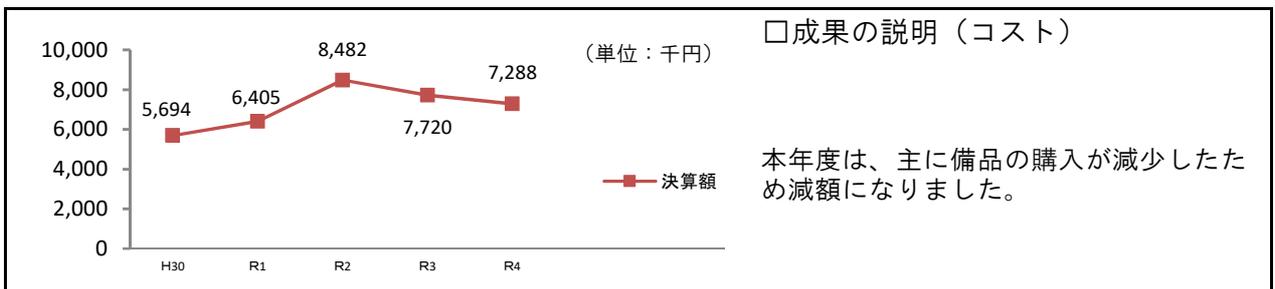
施策番号	3-4-2	実施計画No.	85	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	郷土資料館運営事業					課名	文化財保護課	
事業内容	常設展示の更新、企画展示の開催、ワークショップ、講座、講演会などの学習支援活動を実施するとともに、郷土資料の収集、保存と調査、研究を行い、市の歴史、文化を市民に伝えていきます。					事業開始年度	平成2年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	郷土資料館の利用者数					現状値 (平成29年度)	10,624人	
現状と課題	文化財や郷土資料の調査・研究成果を市民に周知するため、常に郷土資料館の展示内容の更新と充実を図る必要があります。また、市民文化の向上と郷土愛の醸成のため、生涯学習や学校教育への学習支援活動の充実が求められています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	12,000人	12,375人	12,750人	13,125人	13,500人
成果指標の実績値	11,667人	10,299人	4,318人	6,845人	10,504人
達成率	97.2%	83.2%	33.9%	52.2%	77.8%
決算額(千円)	5,694	6,405	8,482	7,720	7,288

1 郷土資料館の利用者数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの、成果指標の達成率は77.8%となりました。事業実施回数は新規事業や、昨年度新型コロナウイルス感染症の影響により中止した講座を振り替えて開催したため、昨年度比の1.5倍、利用者数も昨年度比1.5倍となり、市民文化の向上と郷土愛の醸成に寄与したと考えています。	
今後の方向性	現状維持	本年度は、感染症拡大防止を徹底し、事業や講座を実施したことにより、利用者数は昨年度比の1.5倍となりました。今後は、感染症に十分注意したうえで、ICTを活用した事業を展開し、利用者層の拡大に努めます。また、資料の調査、整理を進め、地域資源を発掘し、地域の魅力を継続的に創造していくことで、市の歴史文化、観光の拠点である郷土資料館の使命を果たしていきます。

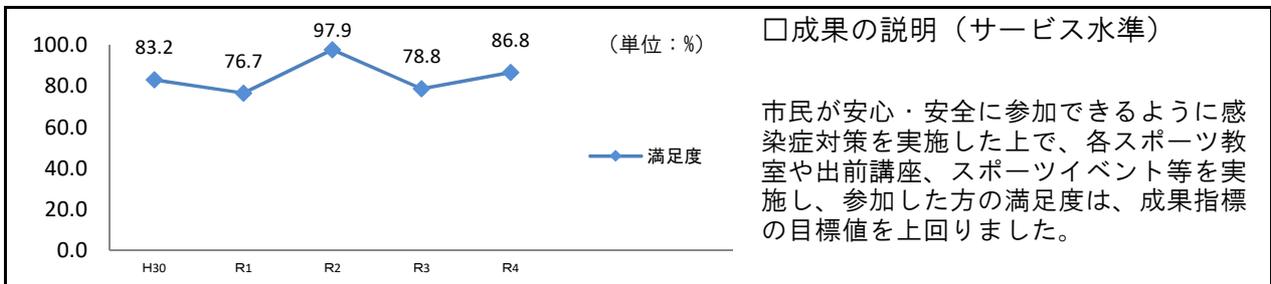
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

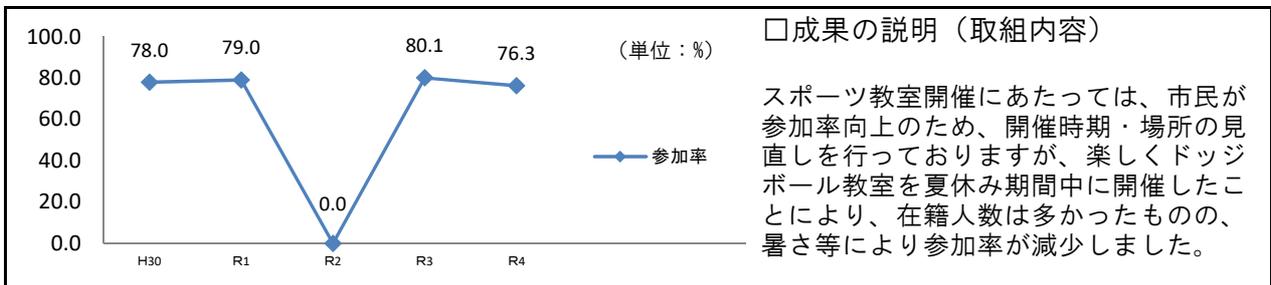
施策番号	3-5-1	実施計画No.	86	重点プロジェクトNo.	①-46	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	体育総務事務					課名	スポーツ推進課	
事業内容	スポーツ推進審議会の運営、創意工夫による各種スポーツ教室や地域の協力によるイベントの実施、指導者の育成、市民へのスポーツ・レクリエーション活動における機会や指導者の提供などにより、本市の生涯スポーツの普及推進を図ります。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	スポーツ教室やイベントの満足度					現状値 (平成29年度)	86.5%	
現状と課題	新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の中止、延期、縮小を余儀なくされている状況となっています。感染防止対策を実施し、国等の通知、各種ガイドラインに即した内容で、安心・安全な事業の開催が求められます。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	67.8%	69.8%	71.8%	73.8%	75.8%
成果指標の実績値	83.2%	76.7%	97.9%	78.8%	86.8%
達成率	122.7%	109.9%	136.4%	106.8%	114.5%
決算額(千円)	376	371	72	306	544

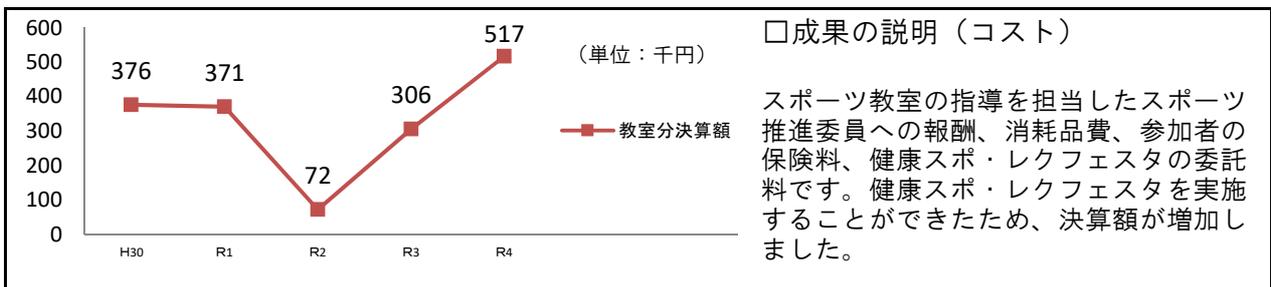
1 スポーツ教室やイベントの満足度



2 スポーツ教室の参加率の推移



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は、「スポーツ教室やイベントの満足度」については、毎年活動内容の見直しを図っていること及び感染防止対策を実施して開催したことにより、目標値を上回りました。今後も、開催内容の見直しを図るとともに、感染防止対策を実施し、国等の通知、各種ガイドラインに即した事業の開催に取り組めます。	
今後の方向性	現状維持	新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえつつ、参加者や講師など、すべての人が安心・安全に参加できるスポーツ教室及びイベントの運営方法を検討しながら、事業を実施していきます。

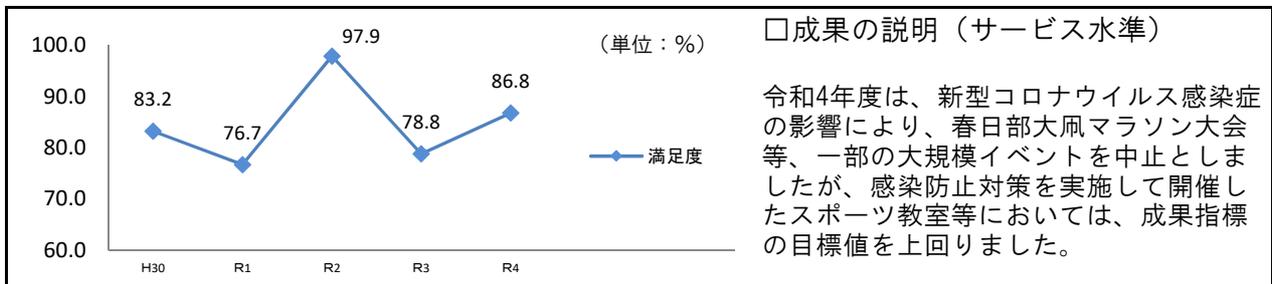
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

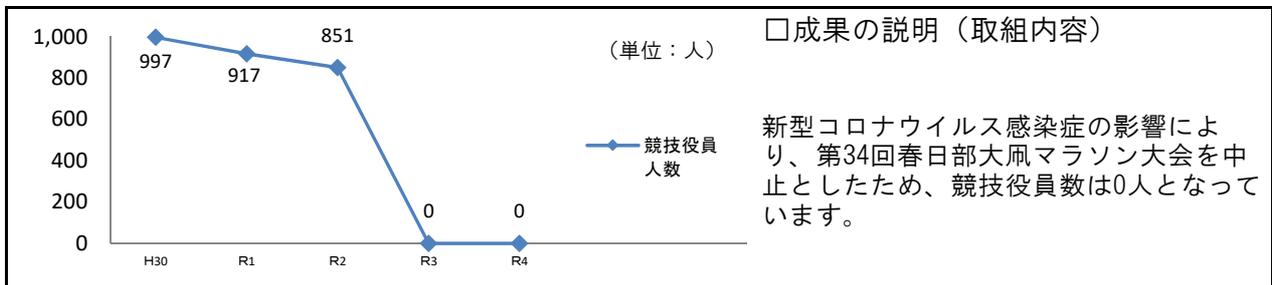
施策番号	3-5-1	実施計画No.	87	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-	
事業名 (補助金名)	大凧マラソン大会実施事業					課名	スポーツ推進課		
事業内容	春日部大凧マラソン大会において「大凧あげ」や「春日部市」を広く周知し、全国規模で参加者を募る中で、多くの市民に選手や競技役員として大会に参加してもらい、本市のスポーツ推進とボランティア意識の醸成、さらなるイメージアップを図ります。					事業開始年度	平成17年度		
						事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	スポーツ教室やイベントの満足度					現状値 (平成29年度)	86.5%		
現状と課題	第34回大会については、新型コロナウイルス感染症の影響により、春日部大凧マラソン大会を中止としました。第35回大会開催に向け感染防止対策を実施し、国等の通知、各種ガイドラインに則した内容で、安心・安全な春日部大凧マラソン大会を開催することが求められます。								

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	67.8%	69.8%	71.8%	73.8%	75.8%
成果指標の実績値	83.2%	76.7%	97.9%	78.8%	86.8%
達成率	122.7%	109.9%	136.4%	106.8%	114.5%
決算額(千円)	372	72	0	0	0

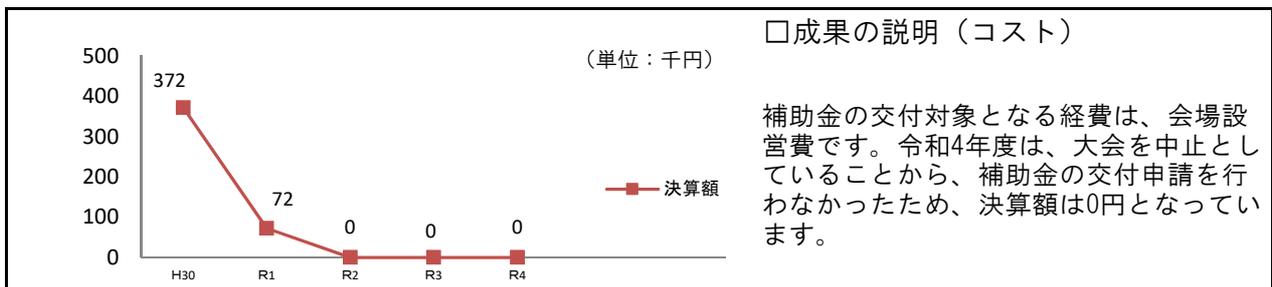
1 スポーツ教室やイベントの満足度



2 競技役員人数



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況下において、参加者やボランティアなどの大会関係者、市民の健康と安全を最優先に考え、やむを得ず中止としました。	
今後の 方向性	現状維持	新型コロナウイルス感染症の状況を見極めながら、ランナーや競技役員など、すべての人が安心・安全に参加できる大会の運営方法を検討し、事業を実施していきます。

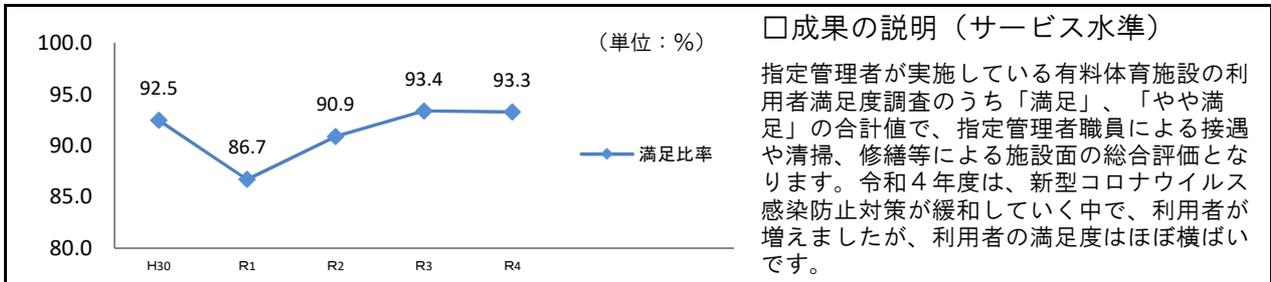
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

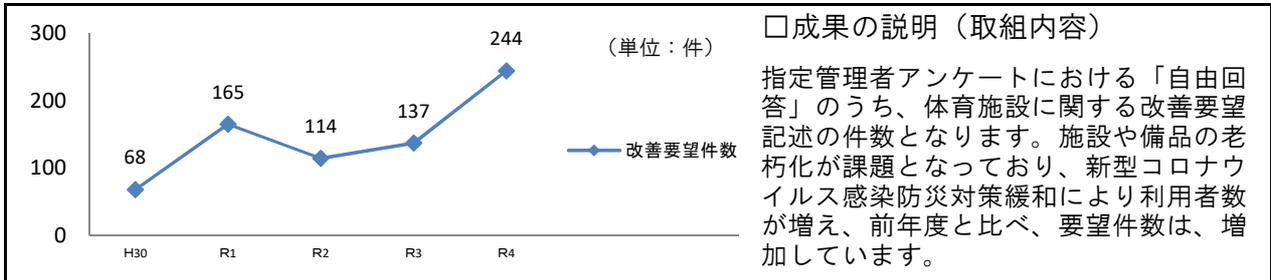
施策番号	3-5-1	実施計画No.	88	重点プロジェクトNo.	①-47	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	体育施設運営事業					課名	スポーツ推進課	
事業内容	体育施設の適切な管理運営を行うことで、安全かつ快適なスポーツ・レクリエーション活動の場を提供し、本市の生涯スポーツの普及推進を図ります。					事業開始年度	平成30年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	市の有料体育施設の満足度					現状値 (平成29年度)	87.5%	
現状と課題	有料体育施設については、民間企業のノウハウを活用した市民サービスの向上を図るため、指定管理者制度を導入し、一定の評価を得ていますが、有料体育施設の多くは老朽化が進んでおり、必要な修繕や改修を計画的に行い、今後もさらなる適正な管理運営を行う必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	97.7%	97.8%	97.9%	98.0%	98.1%
成果指標の実績値	92.5%	86.7%	90.9%	93.4%	93.3%
達成率	94.7%	88.7%	92.8%	95.3%	95.1%
決算額(千円)	247,205	274,463	265,136	308,825	307,207

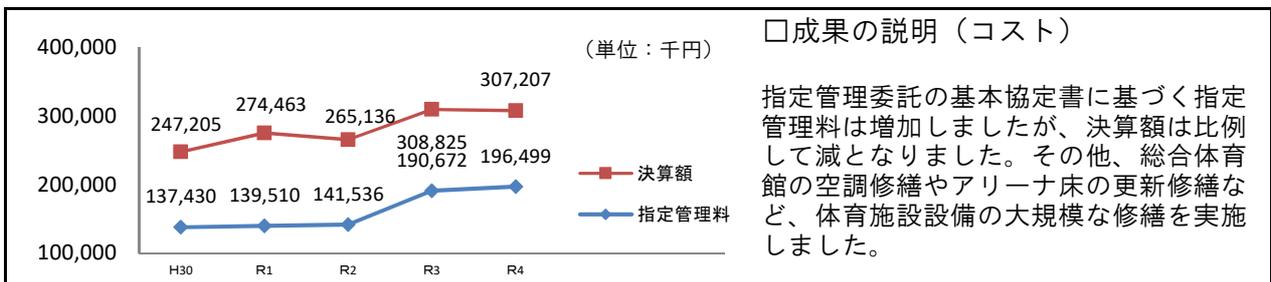
1 市の有料体育施設の満足度の推移



2 指定管理者による利用者アンケートにおける改善要望件数の推移



3 決算額の推移



令和4年度の評価	利用者が安全かつ有効な利用ができるよう維持管理及び総合体育施設の段階的な整備の推進、さらに、有料体育施設の指定管理者による管理・運営については、管理の適正を期するために継続監視を実施し、必要に応じて、指定管理者との協議及び改善指導に取り組みました。また、新型コロナウイルス感染症の影響による施設利用の制限がある中で、徹底した感染防止対策を実施したことから、利用者の満足度は前年度に比べて向上し、改善要望件数は増加しております。	
今後の方向性	現状維持	今後は、引き続き計画どおり事業を継続していきますが、体育施設の修繕について、指定管理者と連携を密にしながら計画的に行います。また、体育施設を有効かつ効果的に利用できるよう指定管理者と連携し、新型コロナウイルス感染症の第5類への引き下げを踏まえつつ、一般利用と広域的な大会などとの利用調整を含め、施設利用を促進していきます。

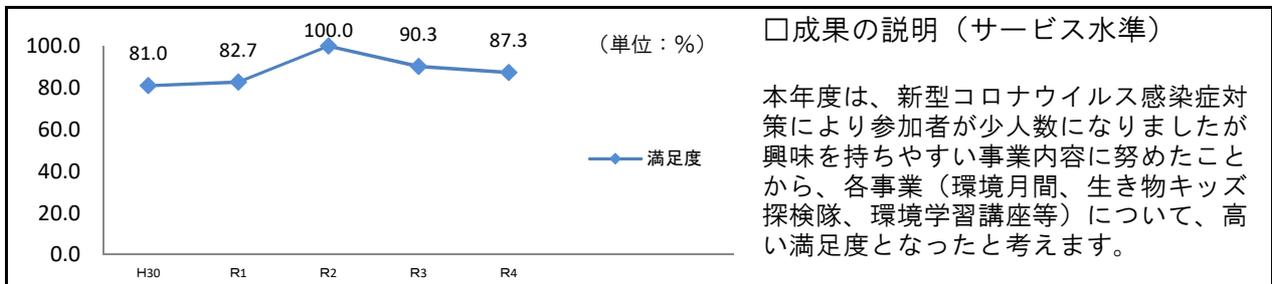
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

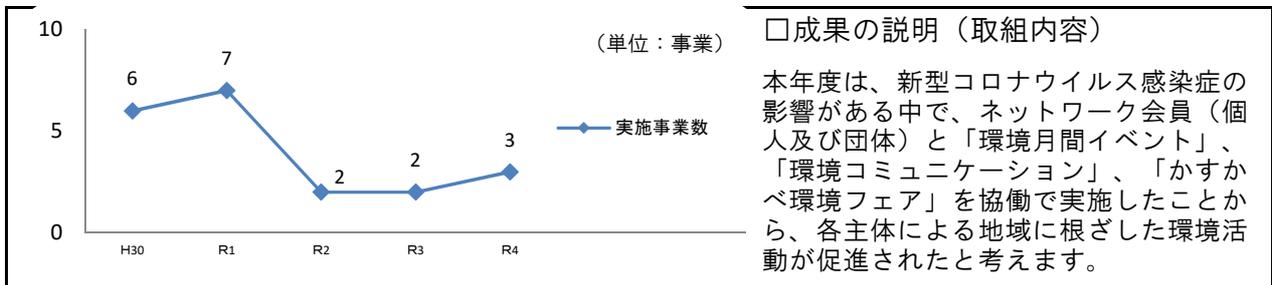
施策番号	4-1-1	実施計画No.	89	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	環境推進事業（かすかべ環境ネットワーク）					課名	環境政策課	
事業内容	環境基本計画における環境像を実現するため、市民・事業者・行政による協働組織を運営し、各主体の行動を促進します。					事業開始年度	平成29年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	環境推進事業への参加者の満足度					現状値 (平成29年度)	-	
現状と課題	未来の春日部の子ども達によりよい環境を引き継ぐためには、地球規模の環境対策を考え、各主体による地域に根差した環境活動が求められています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	70.0%	75.0%	80.0%	85.0%	90.0%
成果指標の実績値	81.0%	82.7%	100.0%	90.3%	87.3%
達成率	115.7%	110.3%	125.0%	106.2%	97.0%
決算額(千円)	152	197	65	60	89

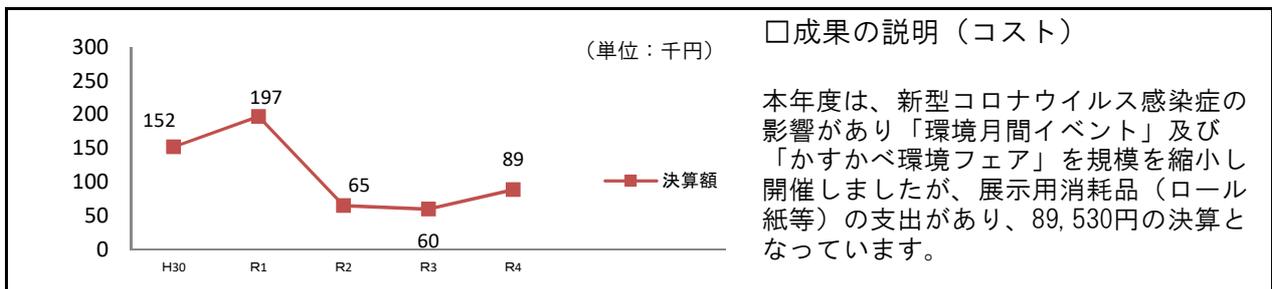
1 環境推進事業への参加者の満足度



2 かすかべ環境ネットワーク会員との協働事業実施数



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、6月の「環境月間イベント」を規模を縮小し開催しました。また、会員と共催し、「環境コミュニケーション」を実施しました。「かすかべ環境フェア」では昨年度と同様に会員による展示内容の創意工夫等があり、広く「市民・事業者・行政による協働」を図ることができ、各主体による地域に根ざした環境活動が促進されたと考えます。	
今後の 方向性	現状維持	かすかべ環境ネットワークは、平成30年2月8日に「春日部市の環境の未来を共に考え、活動する、市民・事業者・行政による協働組織」として設立されました。その事業内容及び運営方法について、関係機関と連携を取りつつ、より充実させる必要があると考えます。

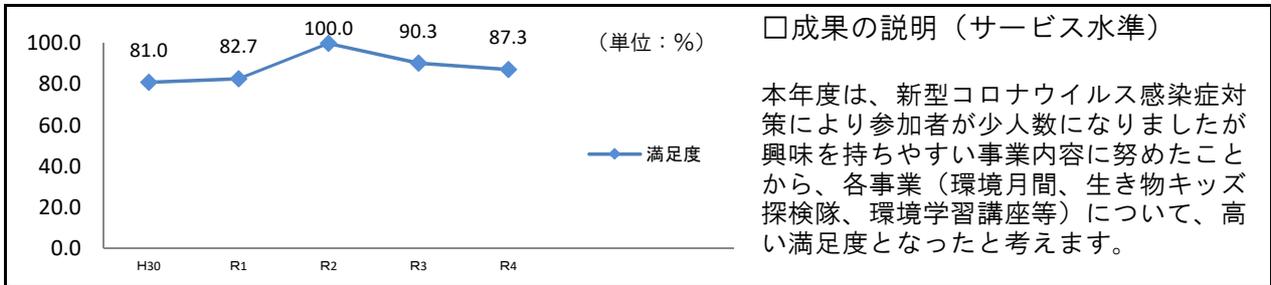
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

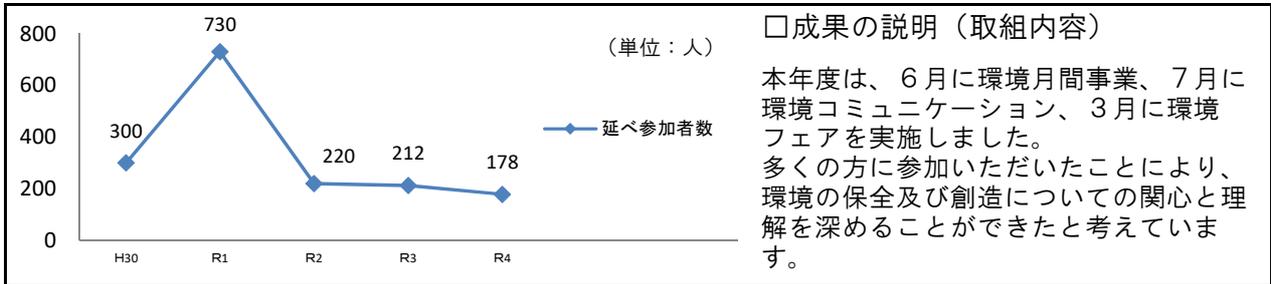
施策番号	4-1-1	実施計画No.	90	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	環境推進事業（環境月間事業）（環境啓発事業）					課名	環境政策課	
事業内容	毎年6月の環境月間では、市民・事業者が積極的に環境の保全および創造に関する活動を行う意欲を高めるため、展示や発表の場をかすかべ環境ネットワークと協働で開催します。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	環境推進事業への参加者の満足度					現状値 (平成29年度)	-	
現状と課題	本市では、環境の保全及び創造についての関心と理解を深めるため、環境月間において様々なイベントを実施してきましたが、本市の目指す環境像を実現するためには、市民・事業者・行政が協働して取り組む事が重要となります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	70.0%	75.0%	80.0%	85.0%	90.0%
成果指標の実績値	81.0%	82.7%	100.0%	90.3%	87.3%
達成率	115.7%	110.3%	125.0%	106.2%	97.0%
決算額(千円)	500	844	174	248	140

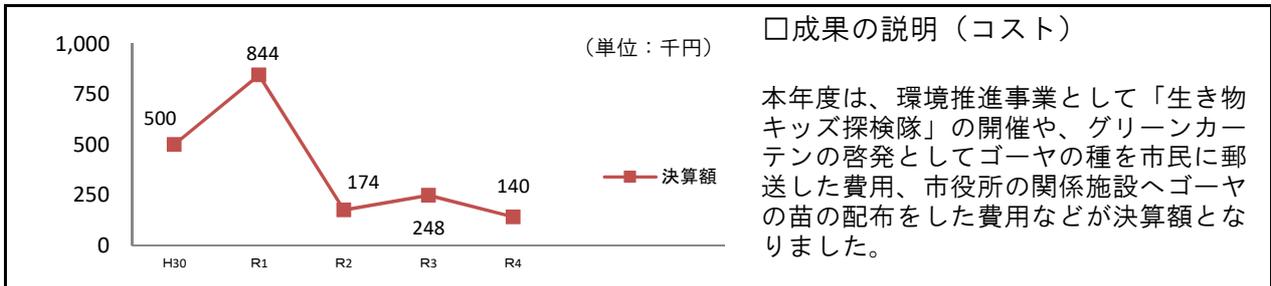
1 環境推進事業への参加者の満足度



2 環境月間事業の参加者数



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	新型コロナウイルス感染拡大に留意しつつ、「環境月間事業」や「生き物キッズ探検隊」等の環境教育に関する事業を開催することができました。また、年度末に展示イベントとして開催した「かすかべ環境フェア」では、会員による展示内容の創意工夫や、自然素材で作成したパルーンアートで会場内を飾り付け、非常に好評をいただきました。目標値には届きませんでした。環境の保全及び創造についての関心と理解を深めることができたと考えています。	
今後の 方向性	現状維持	環境問題の解決のためには、あらゆる世代において地域環境や地球温暖化等に関して理解を深めてもらうことが必要であり、それらに向けより一層、事業の推進を行います。

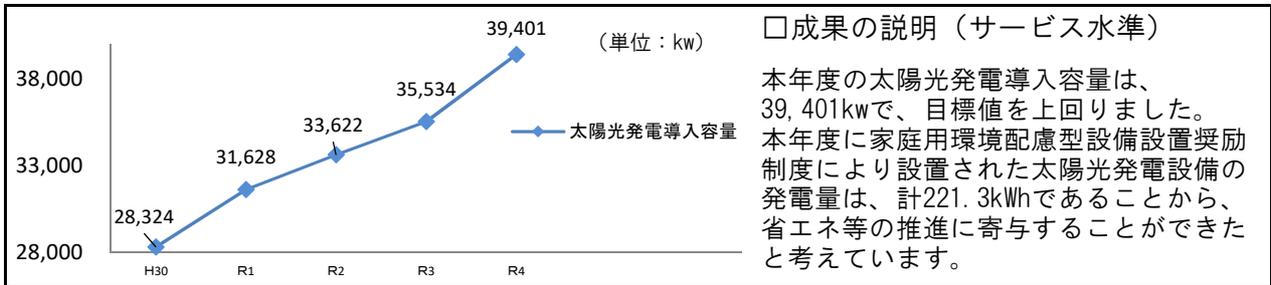
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

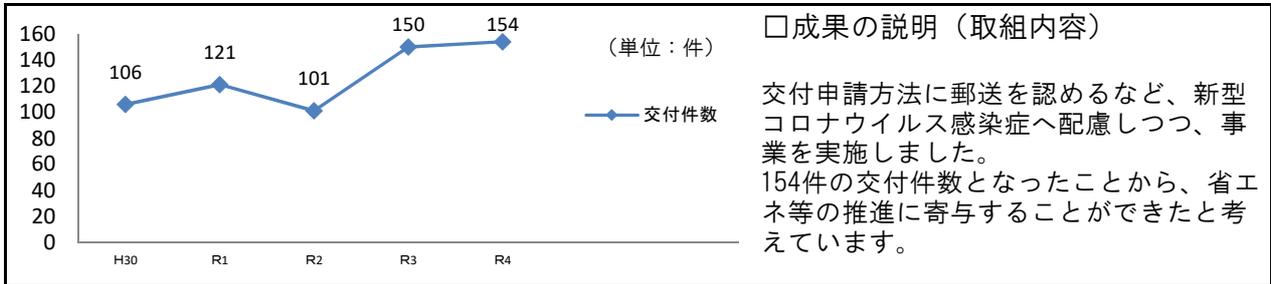
施策番号	4-1-1	実施計画No.	91	重点プロジェクトNo.	③-89	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	再生可能エネルギー推進事業					課名	環境政策課	
事業内容	家庭部門での創エネ、省エネ、蓄エネを推進するため、家庭用環境配慮型設備を設置する市民に対し市内共通商品券の交付を行います。					事業開始年度	平成24年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	市域全体の太陽光発電導入容量				現状値 (平成29年度)	26,072kW		
現状と課題	家庭部門における二酸化炭素排出量は減少傾向にあるものの、2050年の脱炭素構築のためには、太陽光発電設備を始めとする再生可能エネルギー活用、高効率な設備の導入による省エネ等を推進することが急務です。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	27,400 kW	28,800 kW	30,200 kW	31,600 kW	33,000 kW
成果指標の実績値	28,324 kW	31,628 kW	33,622 kW	35,534 kW	39,401 kW
達成率	103.4%	109.8%	111.3%	112.4%	119.4%
決算額(千円)	7,526	7,953	5,858	7,700	7,594

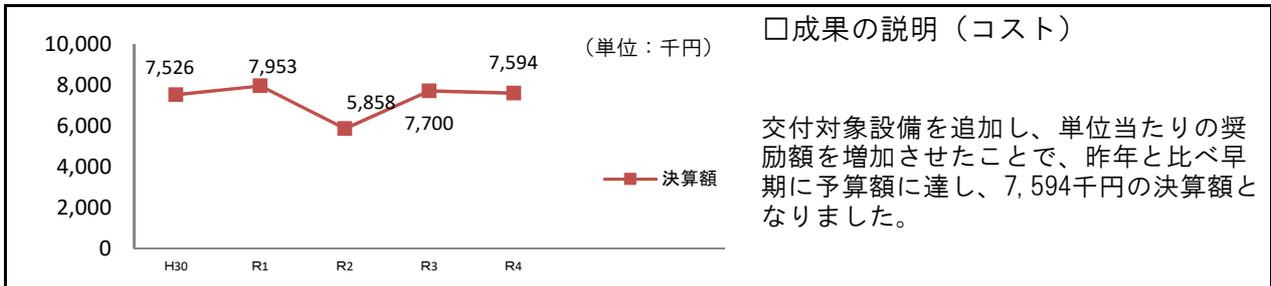
1 市域全体の太陽光発電導入容量



2 奨励事業による交付件数の推移



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は新型コロナウイルス感染症による経済活動の停滞がありましたが、当初の想定を超える交付申請があり、受付期間終了前に申請受付を締め切ることとなりました。2050年の脱炭素社会に向け、国・県・本市において太陽光発電設備の設置を支援・推奨等していることもあり、市域全体の太陽光発電導入容量は目標値を上回る結果となりました。	
今後の方向性	現状維持	地球温暖化の原因となる二酸化炭素をほとんど排出しない再生可能エネルギーの普及拡大を図ることは、喫緊の課題であるため、今後も推進に努めます。

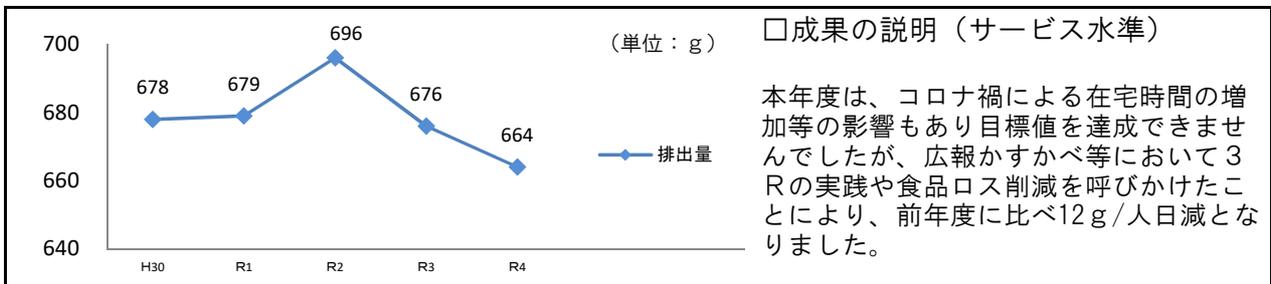
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

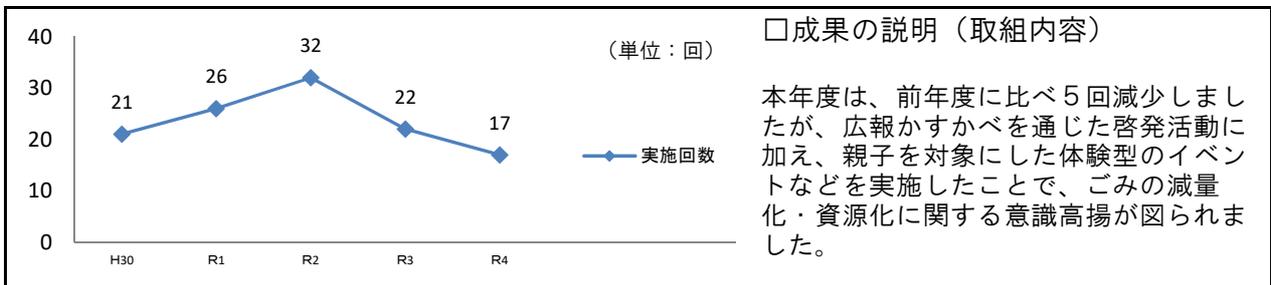
施策番号	4-1-2	実施計画No.	92	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-	
事業名 (補助金名)	ごみ減量化・資源化推進事業					課名	リサイクル推進課		
事業内容	ごみ減量化・資源化等推進審議会の運営をするとともにクリーンかすかべ推進員の活動を支援することによりごみの減量化・資源化を推進します。					事業開始年度	平成17年度		
						事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	家庭系のごみ一人一日当たり排出量					現状値 (平成29年度)	676 g/人日		
現状と課題	令和4年4月1日からプラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律が施行され、プラスチック使用製品の過剰な使用の抑制や廃棄物の排出の抑制に努めることとされました。今後も、ごみの3Rや食品ロスの削減を啓発し、環境に配慮したライフスタイルを推進していく必要があります。								

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	669 g/人日	665 g/人日	661 g/人日	657 g/人日	653 g/人日
成果指標の実績値	678 g/人日	679 g/人日	696 g/人日	676 g/人日	664 g/人日
達成率	98.7%	97.9%	95.0%	97.2%	98.3%
決算額(千円)	7,656	8,271	7,670	6,788	6,964

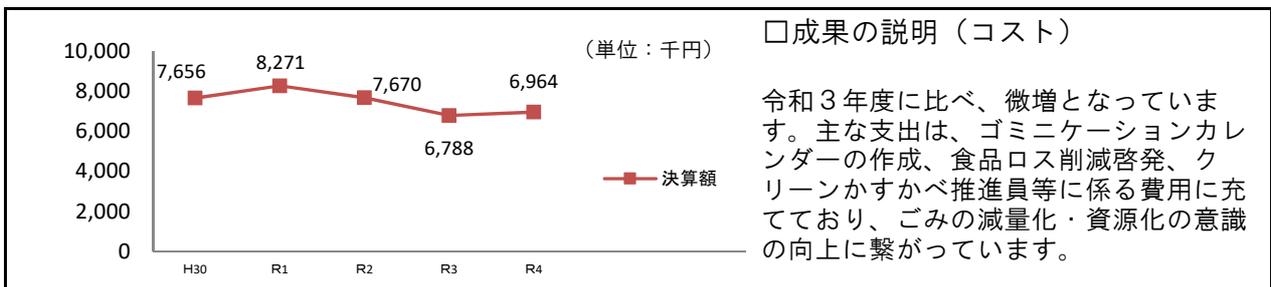
1 家庭系ごみ一人一日当たり排出量



2 広報啓発活動実施回数



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	本年度は、生ごみ堆肥作り講習会や親子で参加できるエコクッキング教室を開催するなど、子どもから大人までがごみ問題について考え、学び、行動する機会の提供をすることができました。		
今後の 方向性	現状維持	今後も、広報かすかべや環境フェア等のイベントにおいて、3Rの実践や食品ロス削減を継続的に周知することにより、家庭系ごみの減量化・資源化を図っていきます。	

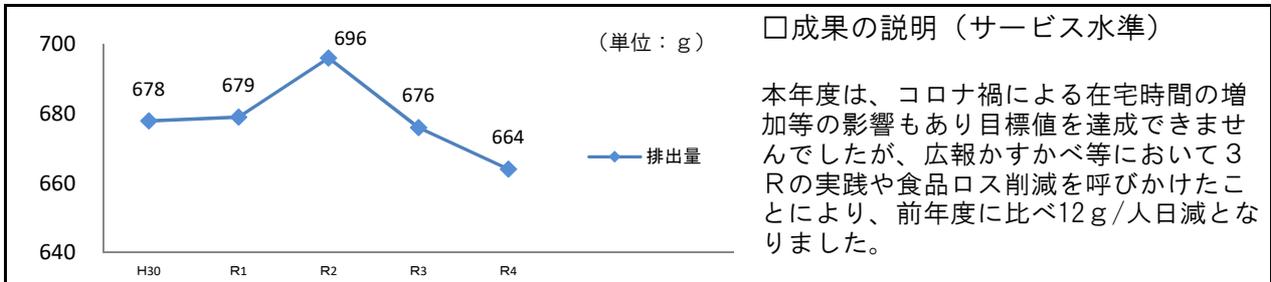
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

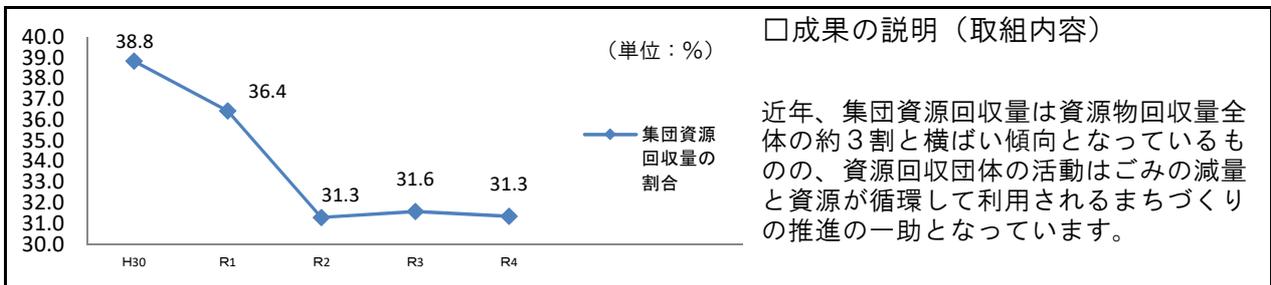
施策番号	4-1-2	実施計画No.	93	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-	
事業名 (補助金名)	資源回収推進事業					課名	リサイクル推進課		
事業内容	廃棄物の資源化およびコミュニティ活動の活性化を図るため、資源物を集団回収した団体を支援し、ごみの減量化・資源化を推進します。					事業開始年度	平成17年度		
						事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	家庭系のごみ一人一日当たり排出量					現状値 (平成29年度)	676 g/人日		
現状と課題	集団資源回収団体数は近年横ばいの状況にあるものの、回収量は減少傾向となっています。市民のごみ分別、減量化への意識の向上や地域コミュニティの活性化のため、団体の活動の活性化を図る必要があります。								

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	669g/人日	665g/人日	661g/人日	657g/人日	653g/人日
成果指標の実績値	678g/人日	679g/人日	696g/人日	676g/人日	664g/人日
達成率	98.7%	97.9%	95.0%	97.2%	98.3%
決算額(千円)	8,715	8,068	6,956	6,735	6,516

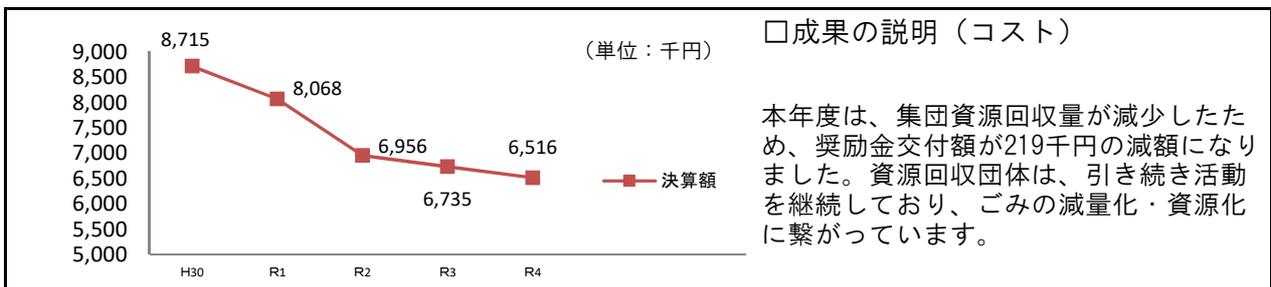
1 家庭系ごみ一人一日当たり排出量



2 全資源物回収量における集団資源回収量の割合



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	ごみの資源化を図るため、資源回収団体の活動の活性化を図る必要がありますが、団体構成員の高齢化に伴い活動の維持が難しくなっている団体があります。また、コロナ禍により積極的な活動ができない状況もあり、回収量が減少したものと考えられます。	
今後の 方向性	現状維持	集団資源回収は、地域住民が協力して分別を行うため、資源回収活動を通じて、ごみ分別や資源化・減量化への意識の向上や、地域コミュニティの活性化を図ることが期待できます。このため、奨励金交付制度による支援を継続して行うとともに、資源回収団体の活動の活性化を図っていきます。

【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

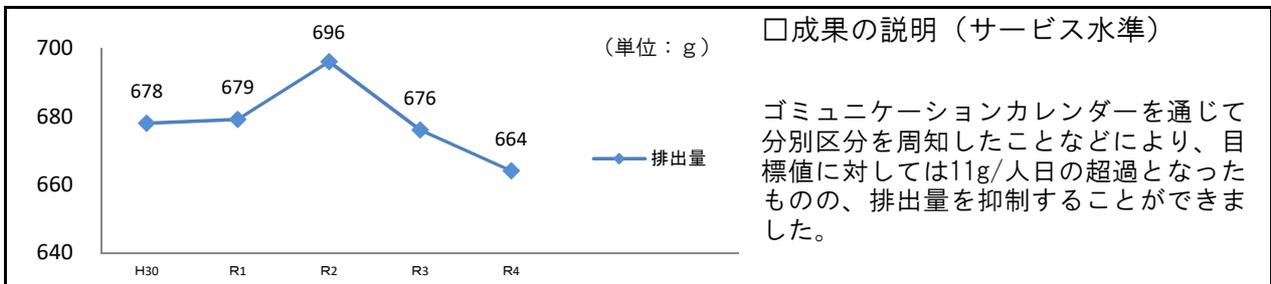
◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

施策番号	4-1-2	実施計画No.	94	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	ごみ収集運営事業				課名	リサイクル推進課		
事業内容	家庭から排出された廃棄物を適正に分別収集することによりごみの資源化を図ります。				事業開始年度	平成17年度		
					事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	家庭系のごみ一人一日当たり排出量				現状値 (平成29年度)	676 g/人日		
現状と課題	資源化できるものがごみとして排出されている状況にあることから、コミュニケーションカレンダーの配布やごみの不適正排出があった際に行う指導を通じて、ごみの分別区分を周知し、廃棄物の排出量を抑制していく必要があります。							

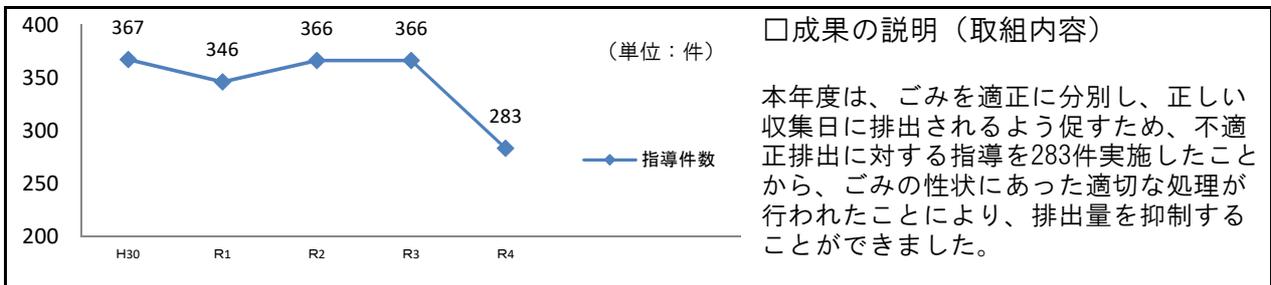
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	669 g/人日	665 g/人日	661 g/人日	657 g/人日	653 g/人日
成果指標の実績値	678 g/人日	679 g/人日	696 g/人日	676 g/人日	664 g/人日
達成率	98.7%	97.9%	95.0%	97.2%	98.3%
決算額(千円)	991,313	1,000,489	1,011,408	1,010,563	1,010,262

1 家庭系ごみ一人一日当たり排出量

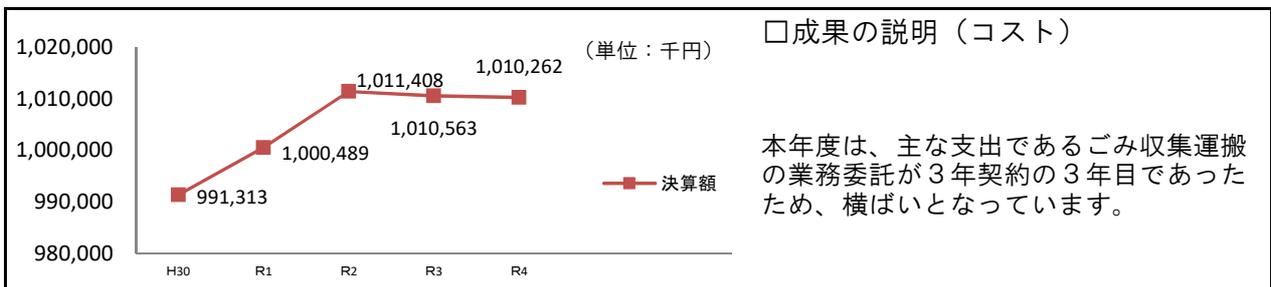
【数値は暫定値。5月末確定予定】



2 集積所における不適正排出指導件数



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	本年度は、引き続きコミュニケーションカレンダーを通じた分別区分の周知やごみの不適正排出に対する指導を実施したことで、家庭系ごみ一人一日当たり排出量が減少し、ごみの資源化が図られたものと考えています。	
今後の 方向性	現状維持	分別区分の周知や不適正排出への指導の取組により家庭系ごみ一人一日当たり排出量の減少がみられるなど、ごみの減量化は計画的に推進されており、引き続き、関係機関と連携を図りながら、ごみの適正排出の促進に取り組むなど効率的な収集運搬を実施していきます。

【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

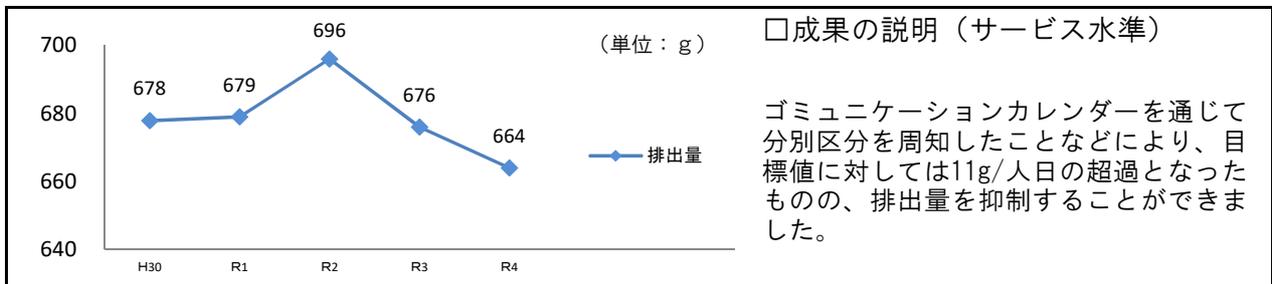
◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

施策番号	4-1-2	実施計画No.	95	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	ごみ処理施設運営事業				課名	リサイクル推進課		
事業内容	生活環境の保全および良好な公衆衛生を確保するため、ごみ処理施設を効果的かつ適正に運転・管理します。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	家庭系のごみ一人一日当たり排出量				現状値 (平成29年度)	676 g/人日		
現状と課題	ごみ焼却施設及びし尿処理施設は、衛生的な生活環境に不可欠な施設です。ベテランの市職員や修繕を行う技術者が減少する状況下において、安定した廃棄物処理を行うためには、長期包括運営委託（修繕を含む全面委託）が適切に遂行されるよう管理していく必要があります。							

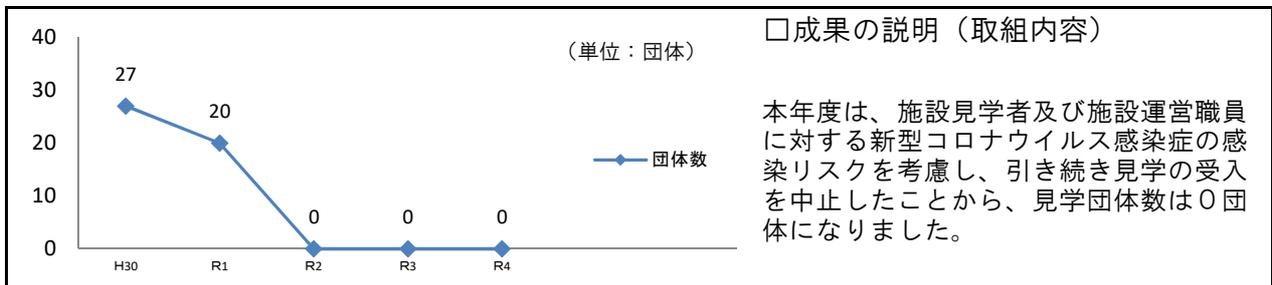
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	669 g/人日	665 g/人日	661 g/人日	657 g/人日	653 g/人日
成果指標の実績値	678 g/人日	679 g/人日	676 g/人日	676 g/人日	664 g/人日
達成率	98.7%	97.9%	95.0%	97.2%	98.3%
決算額(千円)	790,344	1,032,763	1,073,852	1,083,714	1,057,765

1 家庭系ごみ一人一日当たり排出量

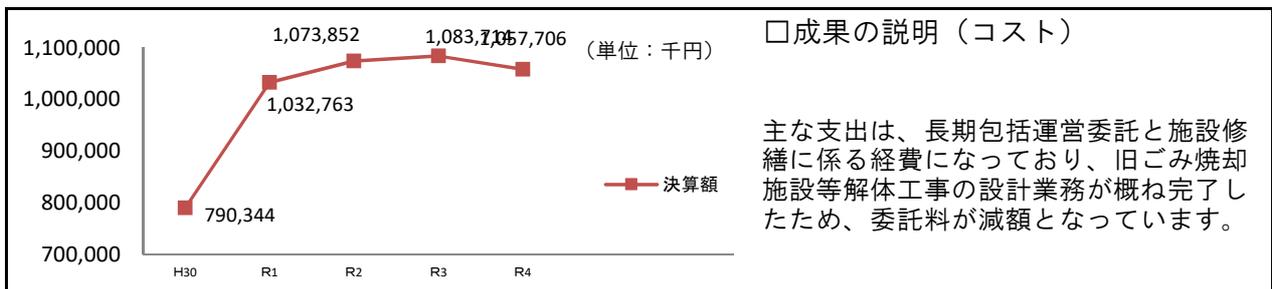
【数値は暫定値。5月末確定予定】



2 ごみ処理施設見学事業参加の団体数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は、ごみ焼却施設と汚泥再生処理センター（し尿処理施設）の両施設を対象にした、長期包括運営委託が4年目を迎えました。長期包括運営委託は、令和元年度から10年間であり、施設運営の安定化が図られました。また、旧ごみ焼却施設解体撤去及び新設ストックヤード整備工事の契約を締結し、今後のごみ処理施設の適正管理と安定した廃棄物処理に向けた取組を進めることができたものと考えております。	
今後の方向性	現状維持	市民の衛生的な生活環境を維持するためには、ごみ処理施設及びし尿処理施設の安定運営が不可欠です。施設の安定運営には、各設備の修繕状況や稼働状況を把握する必要があることから、今後も各設備の状況把握に努めていきます。また、旧ごみ焼却施設解体撤去および新設ストックヤード整備工事を着実に進めるほか、所管する他の施設も老朽化が進んでいることから、次期施設の整備に向けて検討を進めていきます。

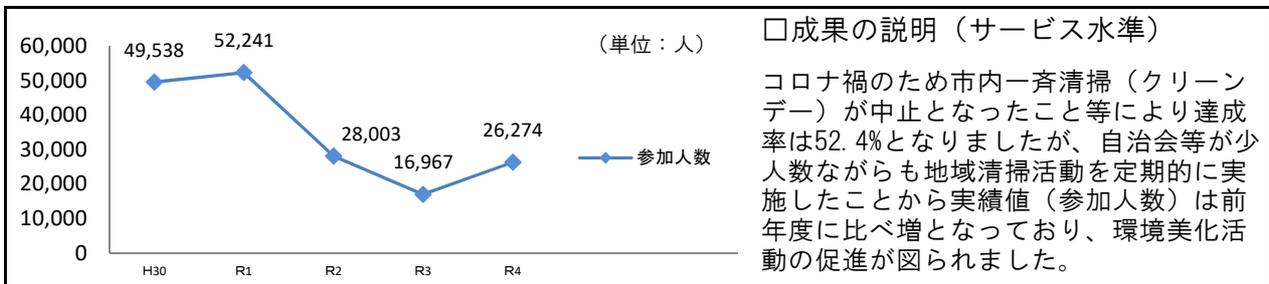
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

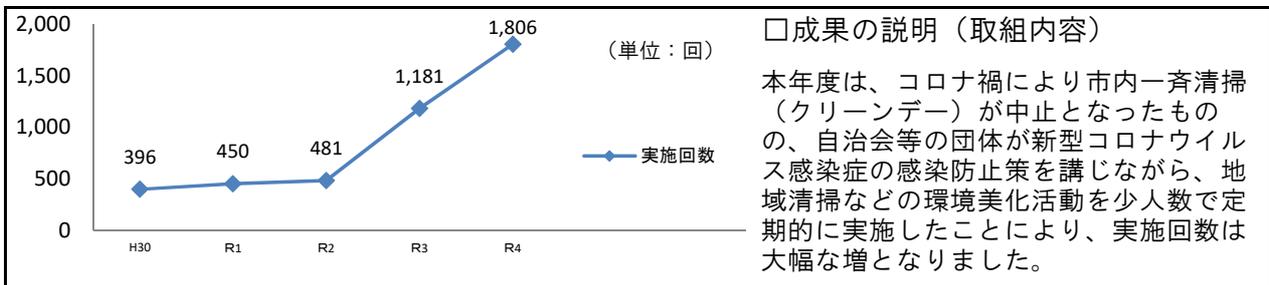
施策番号	4-1-3	実施計画No.	96	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	環境美化推進事業					課名	リサイクル推進課	
事業内容	市内一斉清掃の実施や自主的な清掃活動の後方支援を行い、地域を中心とした環境美化活動を促進します。					事業開始年度	平成5年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	環境美化活動の参加人数				現状値 (平成29年度)	49,277人		
現状と課題	日常の暮らしにおいて、快適で衛生的な生活環境が求められるなかでは、市民一人ひとりが「まちのかんきょうをよくする」という高い意識とモラルを持ち行動することが必要となります。地域を中心とした自主的な環境美化に関する意識の向上を図る必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	49,442人	49,607人	49,772人	49,937人	50,100人
成果指標の実績値	49,538人	52,241人	28,003人	16,967人	26,274人
達成率	100.2%	105.3%	56.3%	34.0%	52.4%
決算額(千円)	2,630	7,291	4,151	8,136	6,516

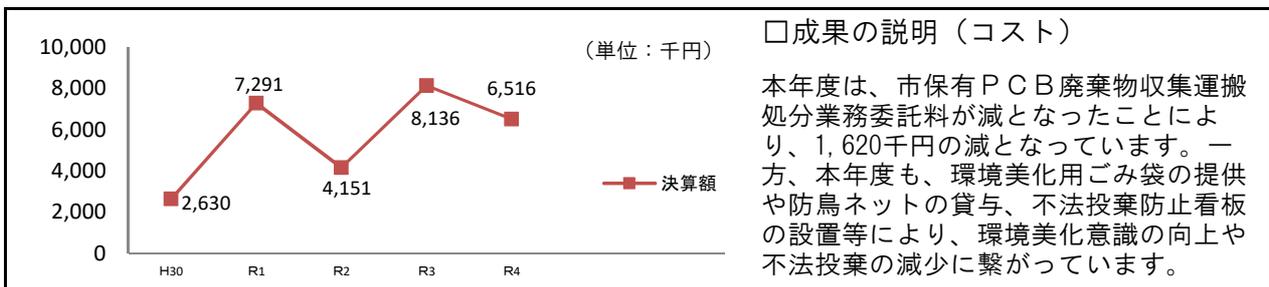
1 環境美化活動の参加人数



2 美化活動実施回数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度も、コロナ禍により市内一斉清掃（クリーンデー）が中止となったため、環境美化活動参加人数は目標値を下回ったものの、実施回数は大幅に増加しました。これは、市民一人ひとりに「まちの環境を良くする」意識が定着し、自主的に美化活動を実施する市民が増加し、環境美化意識の向上が図られたものと考えています。	
今後の方向性	現状維持	新型コロナウイルス感染症の収束を見極め、市内一斉清掃（クリーンデー）の実施や、自治会等による地域清掃活動を促進するとともに、市民一人ひとりの環境美化意識の向上を図ります。

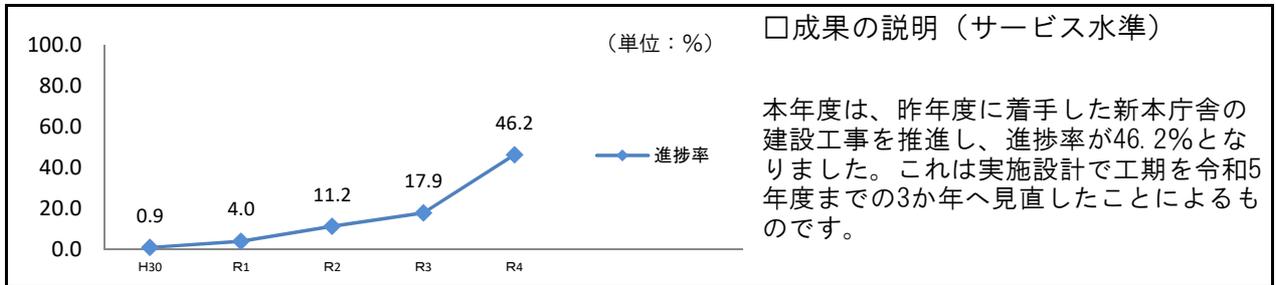
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

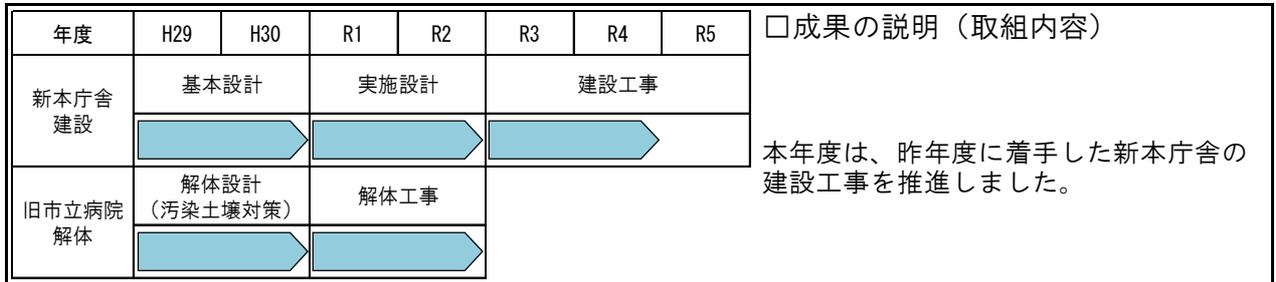
施策番号	4-2-1	実施計画No.	97	重点プロジェクトNo.	③-90	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	本庁舎整備事業					課名	公共施設事業調整課	
事業内容	「春日部市本庁舎整備基本計画」に基づき、市役所本庁舎の移転建替えを推進します。					事業開始年度	平成26年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	新本庁舎整備の進捗率				現状値 (平成29年度)	0.4%		
現状と課題	現本庁舎は昭和45年に建てられた旧耐震基準の建物です。市役所本庁舎は災害時には市民の生命を守る拠点となり、高い耐震性と併せて災害時の業務継続が求められることから、早急に耐震化をはかる必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	0.9%	5.1%	11.2%	55.6%	100.0%
成果指標の実績値	0.9%	4.0%	11.2%	17.9%	46.2%
達成率	100.0%	78.4%	100.0%	32.2%	46.2%
決算額(千円)	78,883	408,088	948,899	910,076	3,612,447

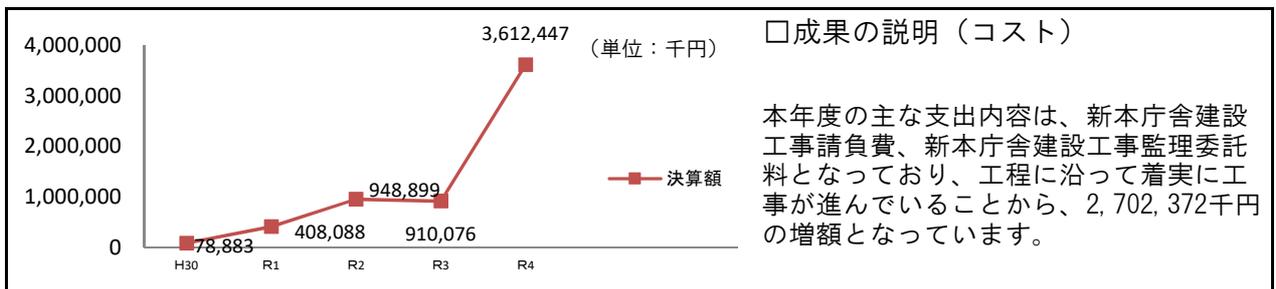
1 新本庁舎整備の進捗率



2 新本庁舎整備の進捗状況



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は、昨年度に着手した新本庁舎の建設工事を推進し、本庁舎（新築棟）は躯体工事、免震工事、内・外装工事を、第二庁舎（既存棟）は内部解体工事、躯体補修工事、内・外装工事を実施しました。併せて、執務室レイアウトや施設名称、サイン計画を確定し、来年度工事に向けた準備を進めました。なお、達成率は46.2%となっていますが、これは実施設計で工期を令和5年度までの3か年へ見直したことによるものであり、本年度も計画どおり工事を進めることができました。	
今後の方向性	現状維持	令和5年度の竣工に向けて、引き続き新本庁舎の建設工事を進めていきます。

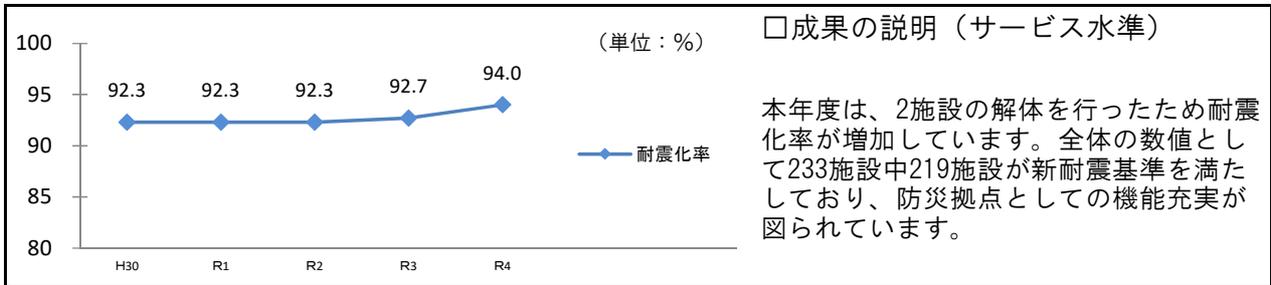
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

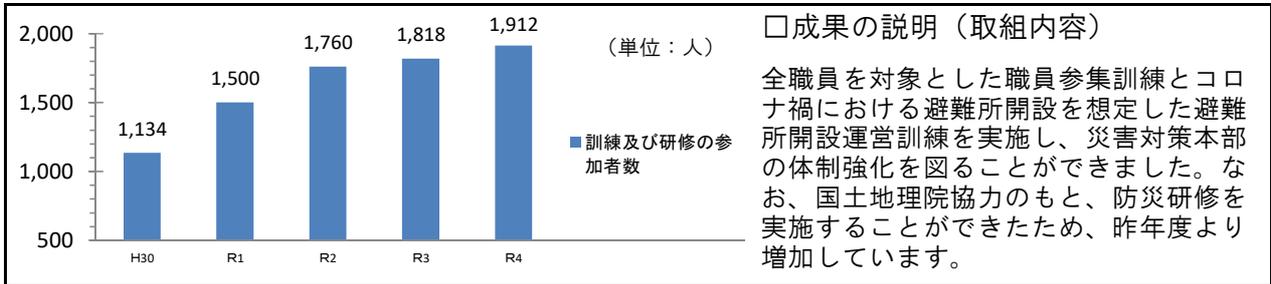
施策番号	4-2-1	実施計画No.	98	重点プロジェクトNo.	③-91	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	災害対策本部強化事業					課名	防災対策課	
事業内容	災害対策本部の機能向上のため、資機材の整備・職員訓練の実施・対応マニュアルの充実を進めるとともに、災害協定の強化を図ります。					事業開始年度	平成24年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	防災拠点となる公共施設の耐震化率					現状値 (平成29年度)	92.3%	
現状と課題	災害対策本部の迅速かつ機動的な災害対応能力の強化を図るため、災害に関する各種マニュアルの整備や訓練が重要となっています。また、災害時の物資や人員等の確保については、民間事業者等との協定により、応急活動及び復旧活動の体制を継続して充実させていく必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	92.4%	92.6%	92.8%	93.0%	100.0%
成果指標の実績値	92.3%	92.3%	92.3%	92.7%	94.0%
達成率	99.9%	99.7%	99.5%	99.7%	94.0%
決算額(千円)	5,602	411	5,289	1,337	1,526

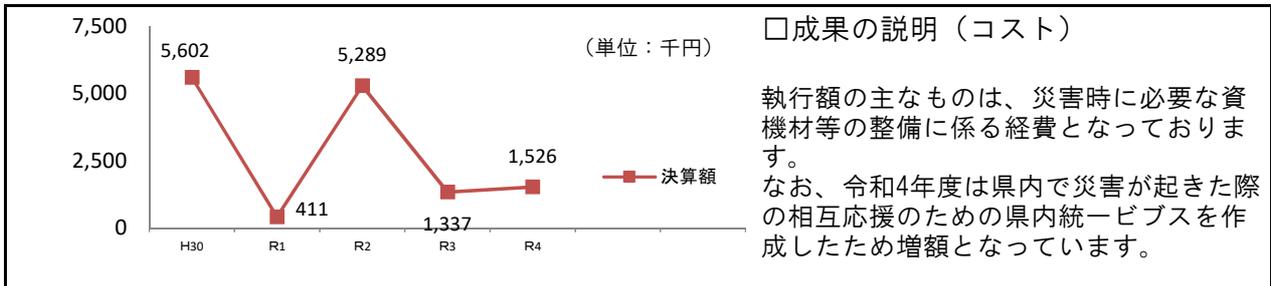
1 防災拠点となる公共施設の耐震化率



2 災害時を想定した職員対象の訓練及び研修の参加者数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	地域における自助・共助の取組を進めるため、自主防災組織と連携したコロナ禍における避難所開設訓練を実施しました。また、避難所施設管理者及び避難所担当者と現地打合せを行い、鍵や物資の保管場所の確認、施設レイアウトの打ち合わせを行いました。災害時応援協定については、新たに6者と締結し、うち3者は地域の自主防災組織と避難所運営に関する協定を締結することができ、更なる協力体制の充実が図られました。	
今後の方向性	現状維持	職員向け研修や各種マニュアルの充実、分散備蓄物資の適切な管理、更新等、災害対策本部の体制の更なる体制強化を図ります。また、災害時応援協定の実効性を高めるため、担当者連絡先の定期的な確認や、協定締結先との災害時を想定した実働体制の確認も実施していきます。

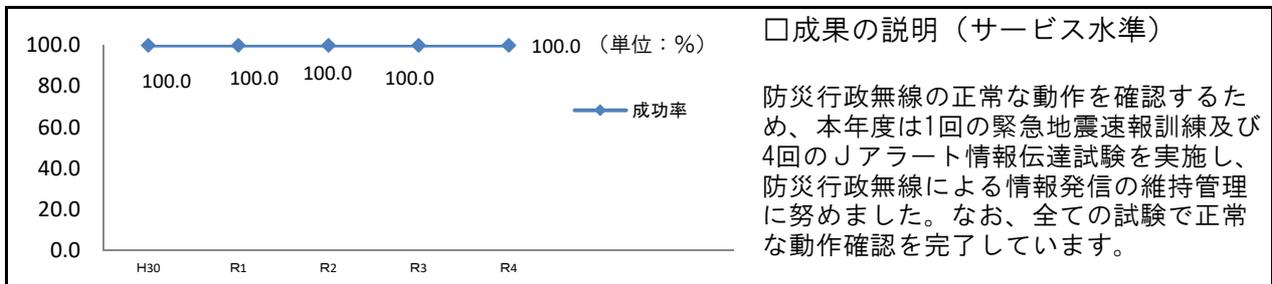
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

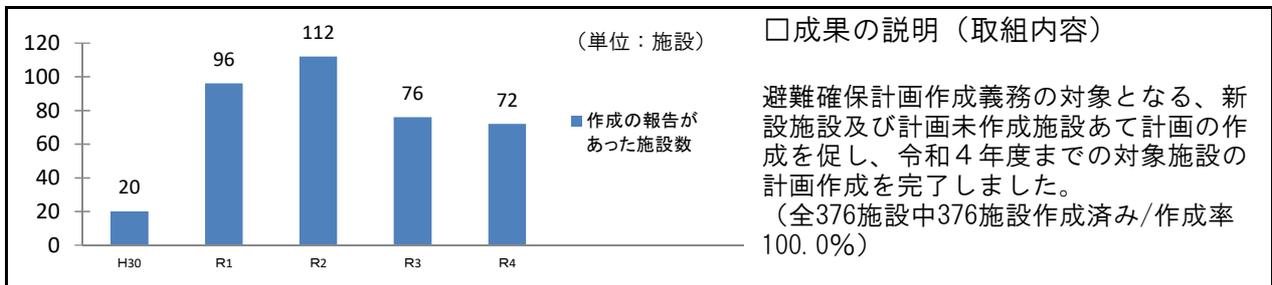
施策番号	4-2-1	実施計画No.	99	重点プロジェクトNo.	③-92	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	防災事務					課名	防災対策課	
事業内容	市防災会議、国民保護協議会の開催や、防災機器等の整備・管理により、防災対策を実施します。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	緊急地震速報訓練及びJアラート情報伝達試験の成功率					現状値 (平成29年度)	100%	
現状と課題	災害時には、迅速かつ正確な防災情報の収集及び伝達が重要であるため、防災行政無線から常時確実に情報発信を実施するための維持管理が必要です。 また、事業所を利用する要配慮者が円滑に避難できるよう、要配慮者利用施設における避難確保計画作成を促進する必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
成果指標の実績値	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
決算額(千円)	15,916	17,096	18,610	24,192	31,082

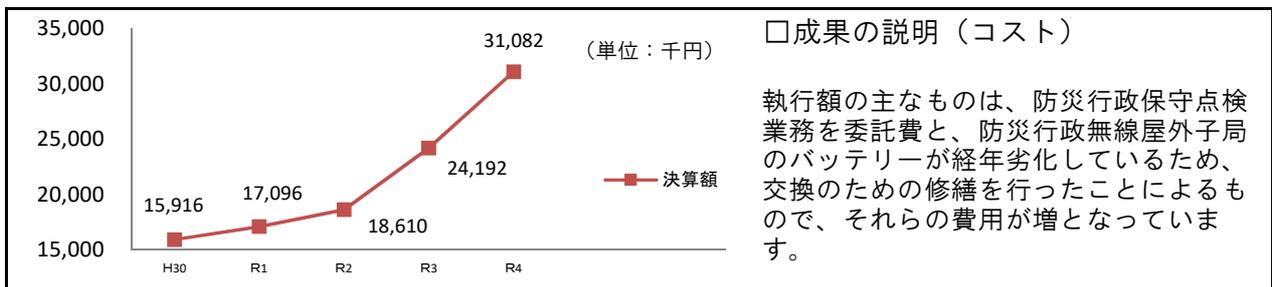
1 緊急地震速報訓練及びJアラート情報伝達試験の成功率



2 避難確保計画作成の報告があった要配慮者利用施設数



3 決算額の推移



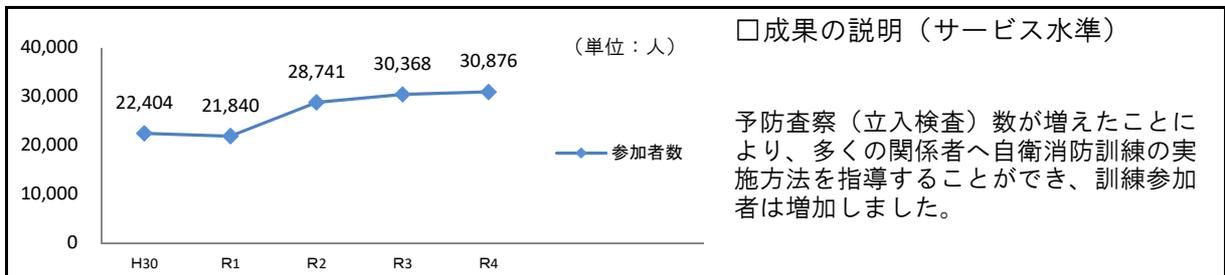
令和4年度の評価	防災行政無線については、定期的に放送訓練や保守点検を実施しており、不具合等にも迅速に対応し、より確実な情報伝達や適正な運用を行うことができました。また、避難確保計画未作成の全ての施設に、計画作成の依頼について通知、電話による作成支援をしたことで、対象となっていた施設全ての計画作成が完了し、避難対策を充実させることができました。	
今後の方向性	現状維持	いつ来るかわからない災害に備えて、正確かつ確実な情報伝達や情報収集・連絡体制を確保するため、防災行政無線などのツールについて、適正な管理により良好な状態を保持するとともに、令和5年度以降に新たに避難確保計画作成が必要となる施設に対しても作成を促すなど、避難対策の充実を図っていきます。

【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

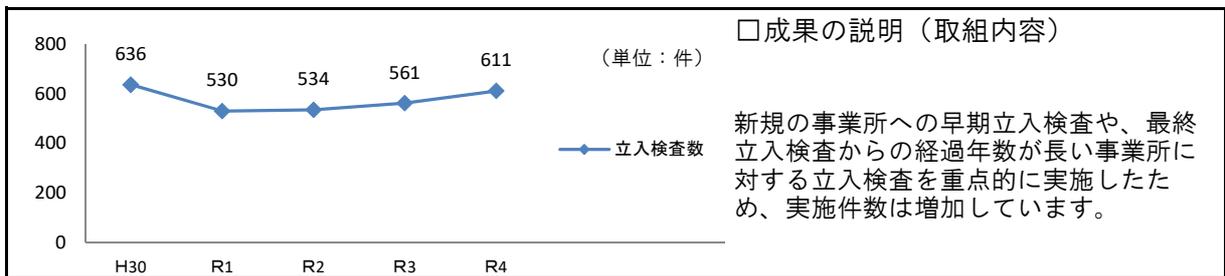
◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

施策番号	4-2-2	実施計画No.	100	重点プロジェクトNo.	③-93	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	予防活動事業					課名	予防課	
事業 内容	事業所などに対する予防査察を実施し、必要な防火指導を行います。					事業開始 年度	平成17年度	
						事業見直し 年度	令和2年度	
成果 指標	自衛消防訓練参加者数				現状値 (平成29年度)	28,325人		
現状と 課題	市民が安心して安全に暮らすには、火災予防の充実が不可欠です。そのためには事業所や危険物施設に対する予防査察（立入検査）を定期的実施し、積極的な防火対策の促進が必要です。							
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
成果指標の目標値	29,200人	29,900人	30,600人	31,300人	32,000人			
成果指標の実績値	22,404人	21,840人	28,741人	30,368人	30,876人			
達成率	76.7%	73.0%	93.9%	97.0%	96.5%			
決算額(千円)	303	365	403	420	499			

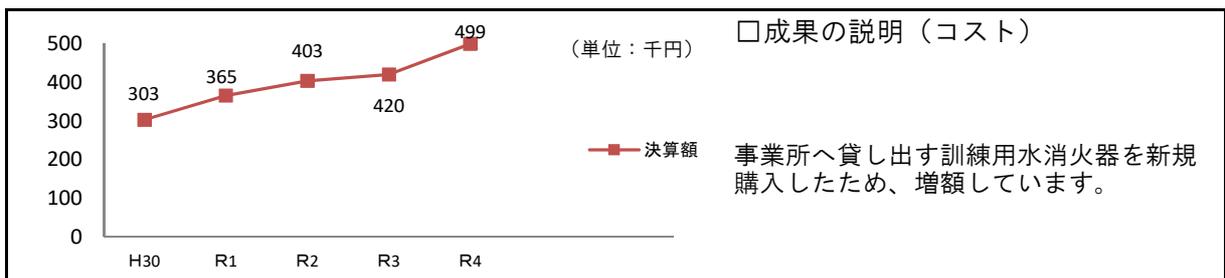
1 自衛消防訓練参加者数の推移



2 予防査察（立入検査）数の推移



3 決算額の推移



令和4 年度の 評価	新型コロナウイルス感染拡大が収まった時期に、予防査察（立入検査）を積極的に実施することで、多くの事業所の理解を得ることができ、前年度より実施件数を増やすことができました。重大違反のある事業所についても、指導を継続することで是正させることができ、市民が安心して安全に暮らせるための効果はあったものと考えます。	
今後の 方向性	現状維持	最終立入検査からの経過年数が長い事業所を減らしていき、各事業所へ定期的な指導を行うことで、防火対策を促進していきます。法令違反防火対象物に対しては、是正に向けた指導として定期的な連絡や現地確認などを行い是正強化に取り組んでまいります。

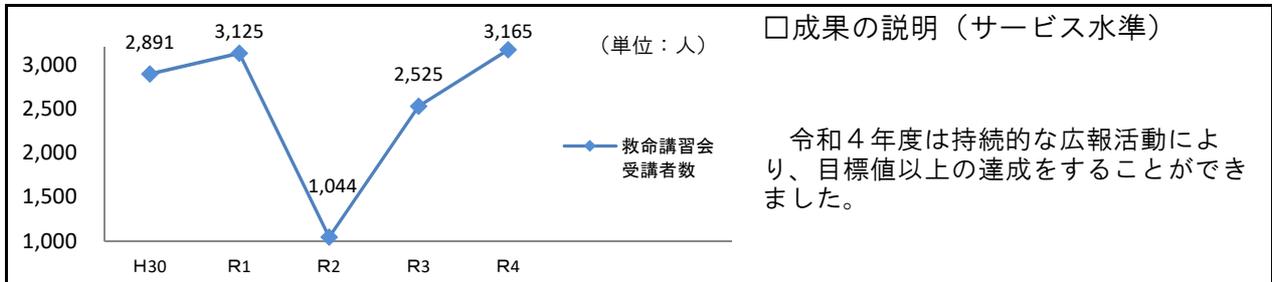
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

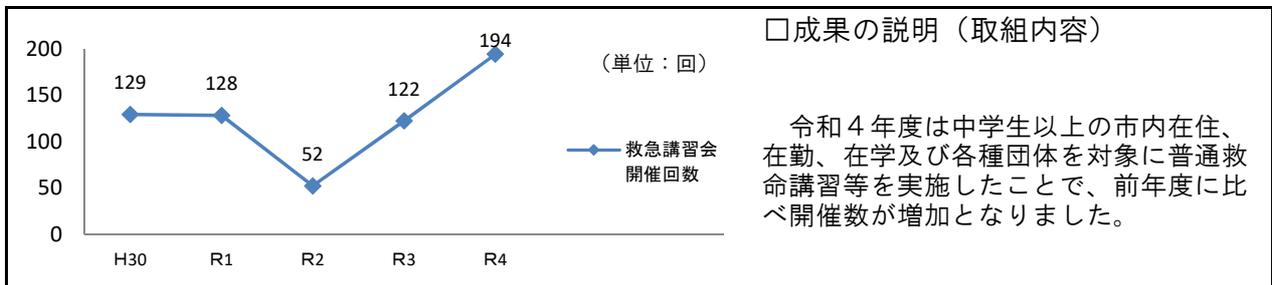
施策番号	4-2-2	実施計画No.	101	重点プロジェクトNo.	③-94	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	救急活動事業					課名	警防課	
事業内容	各種救命講習会を開催し、救命処置に必要な知識と技術の理解を図ります。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	救命講習会受講者数				現状値 (平成29年度)	2,665人		
現状と課題	令和3年度まで新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言中は開催を自粛していましたが、令和4年度は持続的な広報活動、WEB講習を活用し時間を短縮するなどの工夫をして実施した結果、受講者数、講習会開催回数とも目標値を達成できました。今後も感染予防に留意しながら事業を継続することが課題と考えます。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	2,965人	3,000人	3,035人	3,070人	3,100人
成果指標の実績値	2,891人	3,125人	1,044人	2,525人	3,165人
達成率	97.5%	104.2%	34.4%	82.2%	102.1%
決算額(千円)	742	798	481	517	684

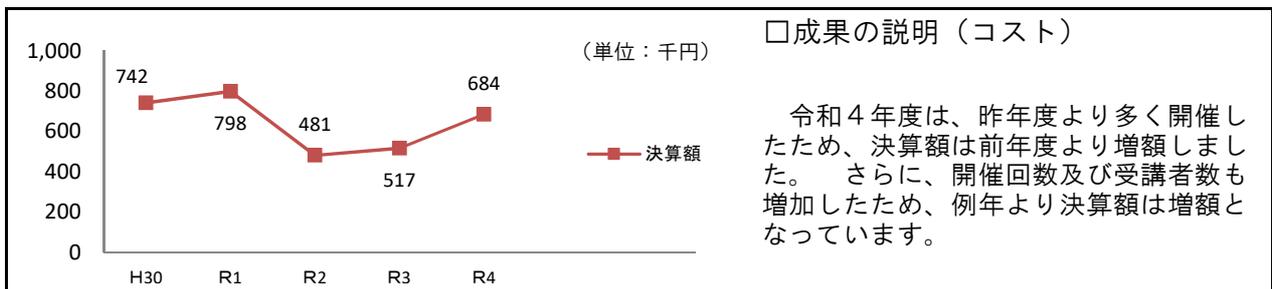
1 救命講習会受講者数



2 救急講習会開催回数の推移



3 決算額の推移



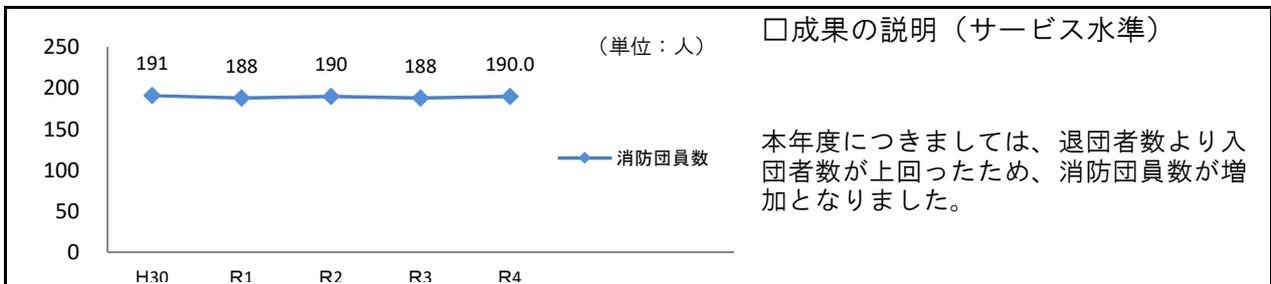
令和4年度の評価	令和4年度は、感染症拡大防止のためWEB講習等を積極的に活用し、受講者の接触機会を減らしながら安心して受講できるように努めました。年間を通して広報活動を積極的に行い、多くの方に受講していただき応急手当の普及に努めました。	
今後の方向性	現状維持	今後もWEB講習等を活用して救命講習会を開催し、応急処置ができる市民を増やしていくことを目指します。また、継続的に広報活動を実施し、受講者増加や救急車の適正利用といった応急処置に対する市民理解へと繋げていきます。

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

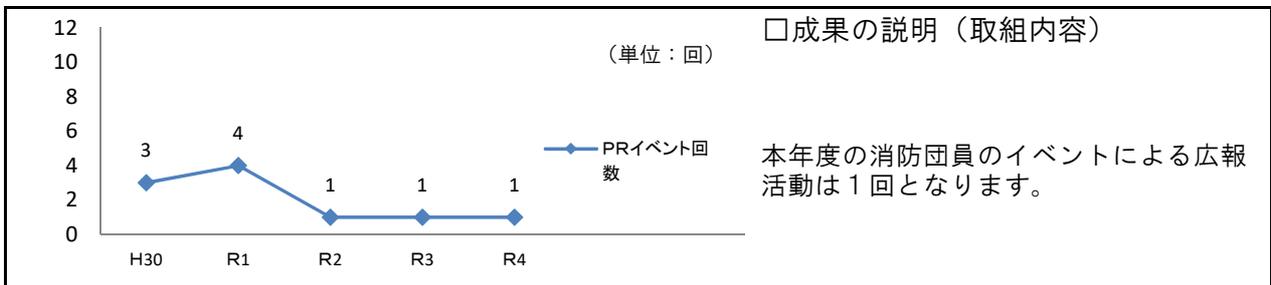
施策番号	4-2-2	実施計画No.	102	重点プロジェクトNo.	③-95	-	補助金No.	-	
事業名 (補助金名)	消防団活動事業					課名	消防本部総務課		
事業内容	地域に密着した消防団活動強化のため、消防団員を安定的に確保し、消防活動上の安全管理に必要な装備、被服等を整備します。					事業開始年度	平成30年度		
						事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	消防団員数				現状値 (平成29年度)	199人			
現状と課題	地域の実情をきめ細かく把握している消防団は、地域防災の要となっていますが、全国的に減少傾向にあります。消防団員を確保するため、市民や事業所と連携を図りながら、地域防災体制の充実強化などを一層推進することが求められています。								

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	199人	200人	200人	201人	201人
成果指標の実績値	191人	188人	190人	188人	190人
達成率	96.0%	94.0%	95.0%	93.5%	94.5%
決算額(千円)	1,745	2,031	3,796	3,862	4,061

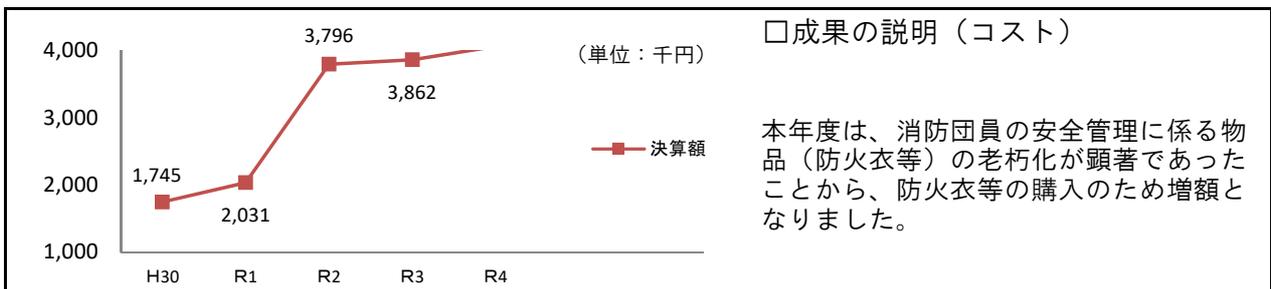
1 消防団員数の推移



2 広報活動の実施回数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は、消防団員数が増加となりました。今後につきましても、消防団員の安定した確保に向けて、効果的な消防団員募集の広報活動の実施が必要となります。	
今後の方向性	現状維持	地域の密着した消防活動を実施するため、広報活動をはじめとした消防団に関する普及啓発を行い、消防団員を安定的に確保し、地域防災体制の充実を推進いたします。

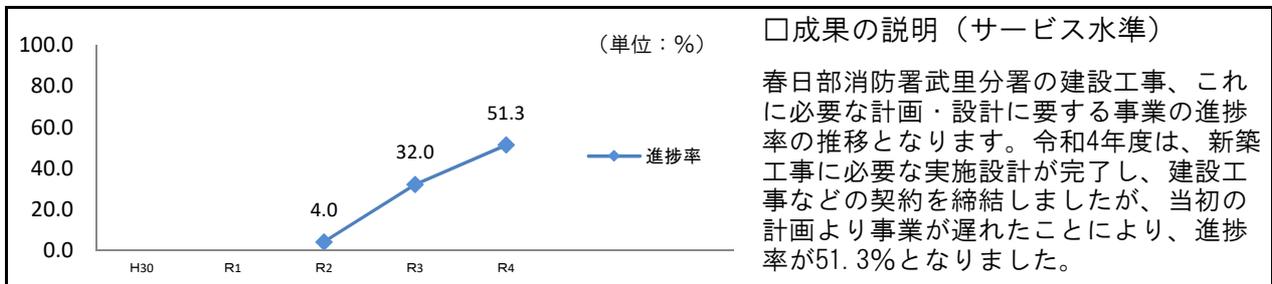
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

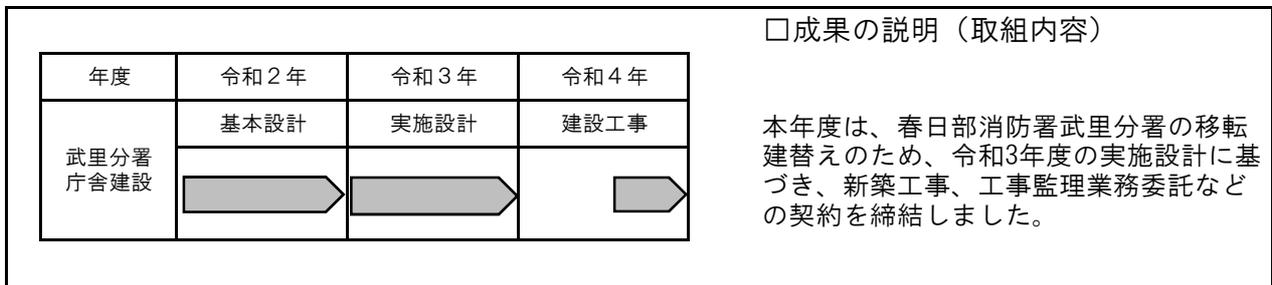
施策番号	4-2-2	実施計画No.	103	重点プロジェクトNo.	③-96	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	消防施設耐震対策事業					課名	消防本部総務課	
事業内容	消防施設が防災拠点としての機能を発揮できるよう、庁舎の耐震対策を推進します。					事業開始年度	令和2年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	春日部消防署武里分署新庁舎の進捗率				現状値 (令和元年度)	-		
現状と課題	目標耐震性能を下回っている施設への対応が必要であり、武里分署については早期の移転建替えに向け新築工事を計画しているが、世界的な原油高騰等の影響により建設資材の取引価格が急激に変動している。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	-	-	4.0%	32.0%	66.0%
成果指標の実績値	-	-	4.0%	32.0%	51.3%
達成率	-	-	100.0%	100.0%	77.7%
決算額(千円)	-	-	7,508	112,146	41,181

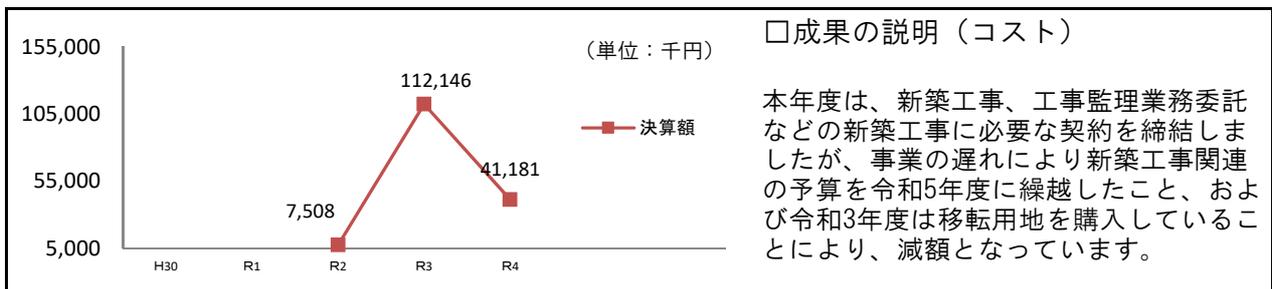
1 春日部消防署武里分署新庁舎の進捗率



2 春日部消防署武里分署新庁舎の進捗状況



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	本年度は、移転建替えに必要な新築工事、工事監理業務委託などの契約を締結しましたが、世界的な原油高騰等の影響により建設資材の取引価格が急激に変動している影響を受け、当初の計画より事業が遅れが生じてしまいました。しかしながら、武里地区の住民を対象に事業計画の変更および、新築工事の説明会を行ったことにより、移転建替えの実現に近づいたものと考えています。	
今後の 方向性	現状維持	春日部消防署武里分署については、令和6年度の新庁舎完成を目指し建設工事を進めていきます。また、目標耐震性能を下回っている他施設の耐震対策を取り組んでいきます。

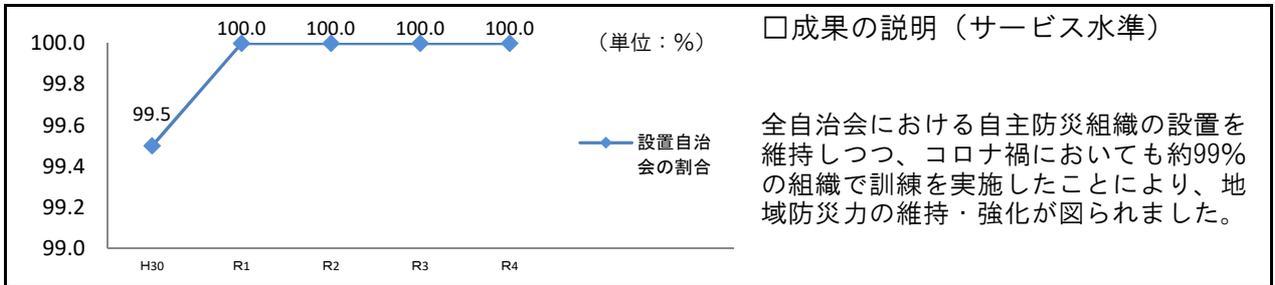
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

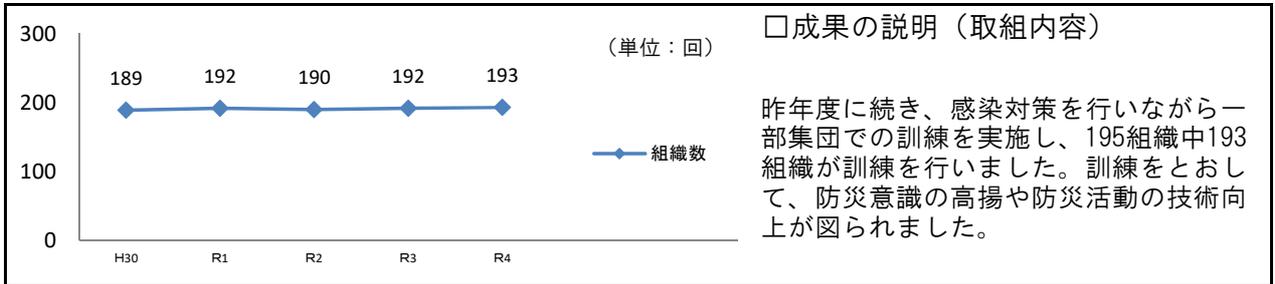
施策番号	4-2-3	実施計画No.	104	重点プロジェクトNo.	③-97	-	補助金No.	1
事業名 (補助金名)	自主防災組織育成事業助成補助金					課名	防災対策課	
事業内容	地域における防災活動に必要な自主防災組織の防災資機材等の整備について、助成します。また、未組織の自治会においては、組織化を促進します。					事業開始年度	昭和54年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	自主防災組織を設置している自治会の割合					現状値 (平成29年度)	98.5%	
現状と課題	過去の災害対応の教訓から、地域での助け合いが被害を最小限にすることが明らかとなり、自助・共助の取り組みが重要であることが再認識されています。その地域の防災力を高めるため、市民の防災意識の高揚、自主防災組織の育成や地域が連携した防災活動を推進する必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	99.0%	99.5%	99.5%	100.0%	100.0%
成果指標の実績値	99.5%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
達成率	100.5%	100.5%	100.5%	100.0%	100.0%
決算額(千円)	14,289	13,254	11,946	12,805	13,010

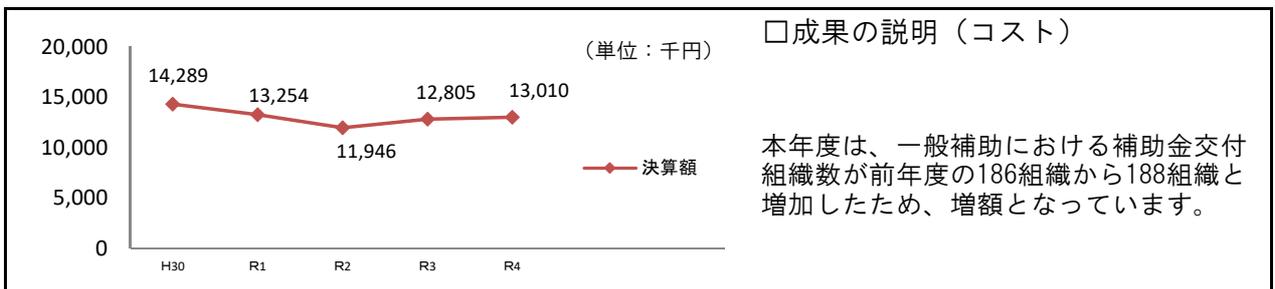
1 自主防災組織を設置している自治会の割合



2 訓練を実施した自主防災組織数



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	機会を捉えて、組織化のメリットや地域が連携した自主防災活動による自助・共助の必要性について、継続して啓発を行ったことにより、すべての自治会において自主防災組織が維持されました。 また、コロナ禍において昨年、一昨年と実施することが難しかった集団訓練について、感染対策を行いながら多数の組織で実施することができ、組織の防災力の充実・強化を図りました。	
今後の 方向性	現状維持	今後も市民の防災意識の高揚と防災活動の技術向上を目的に、地域で行う自主防災訓練への支援や自助・共助の取り組みを啓発するリーフレットの充実など、自主防災組織に対する様々な支援を継続して行っていきます。また、補助交付を継続し、地域における災害に備えた取り組みの充実・強化を図っていきます。

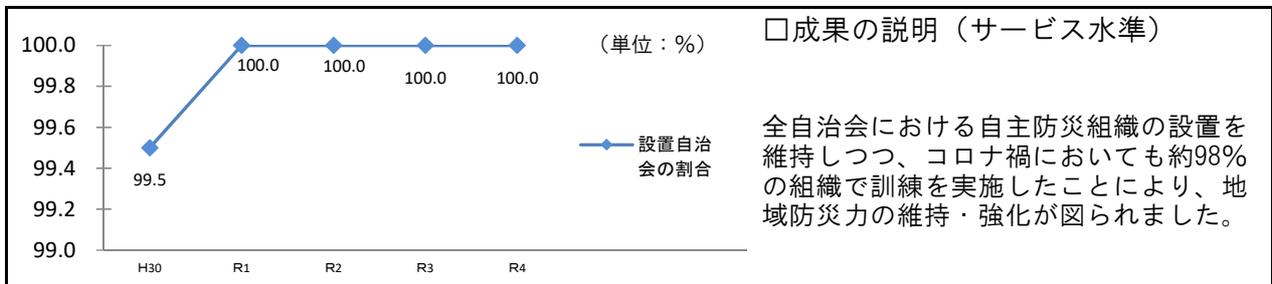
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

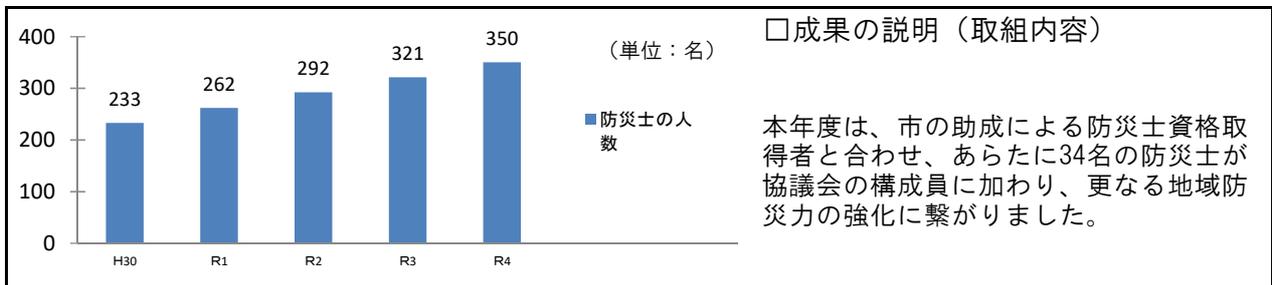
施策番号	4-2-3	実施計画No.	105	重点プロジェクトNo.	③-98	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	防災体制強化事業					課名	防災対策課	
事業内容	防災活動を行う上で、リーダーとして役割を担う防災士を養成する研修講座の開催や、防災知識・技術の向上を図るための図上訓練の実施など、自助・共助の取組を強化する事業を行います。					事業開始年度	平成18年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	自主防災組織を設置している自治会の割合					現状値 (平成29年度)	98.5%	
現状と課題	過去の災害対応の教訓から、地域での助け合いが被害を最小限にすることが明らかとなり、自助・共助の取り組みが重要であることが再認識されています。そのため、より多くの自主防災組織において防災士がリーダーとして活躍し、地域防災活動の拡大と防災力の向上を推進していく必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	99.0%	99.5%	99.5%	100.0%	100.0%
成果指標の実績値	99.5%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
達成率	100.5%	100.5%	100.5%	100.0%	100.0%
決算額(千円)	1,827	1,857	2,162	2,167	2,110

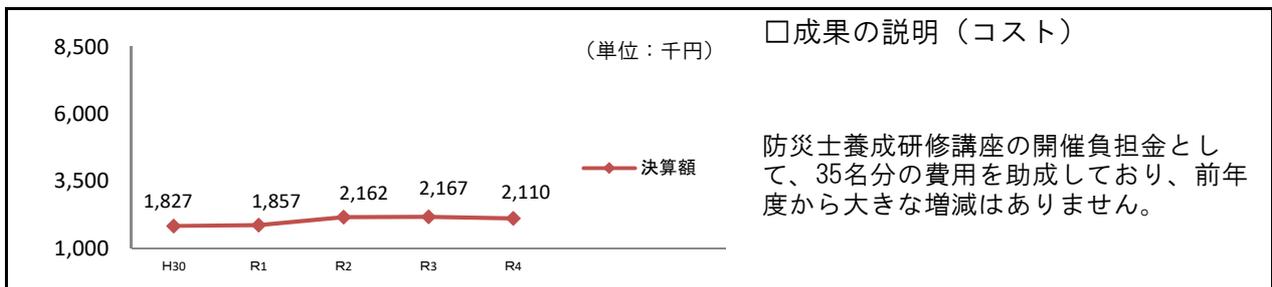
1 自主防災組織を設置している自治会の割合



2 自主防災組織連絡協議会の構成員として活動する防災士の人数



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	防災士養成講座を開催し、自主防災組織で活動する新たな防災士が増加したことにより、地域の防災力強化が図られました。 また、近年重要視されている女性の視点を取り入れた避難所運営や防災意識の普及を実現するため、募集時に積極的な女性受講者の申込みを呼びかけたことから、今年度は11名の女性防災士を養成することができました。	
今後の 方向性	現状維持	防災士は地域などでの防災意識の普及や啓発活動、自主防災訓練の企画・立案といった、防災活動における指導的な役割を担っており、今後も防災士資格取得の助成を継続し、防災士の養成を推進することで、地域の防災力向上に取り組んでいきます。 また、次年度は自主防災組織連絡協議会と連携を図りながら、コロナ禍においても資格取得後のレベルアップの機会が確保されるよう検討していきます。

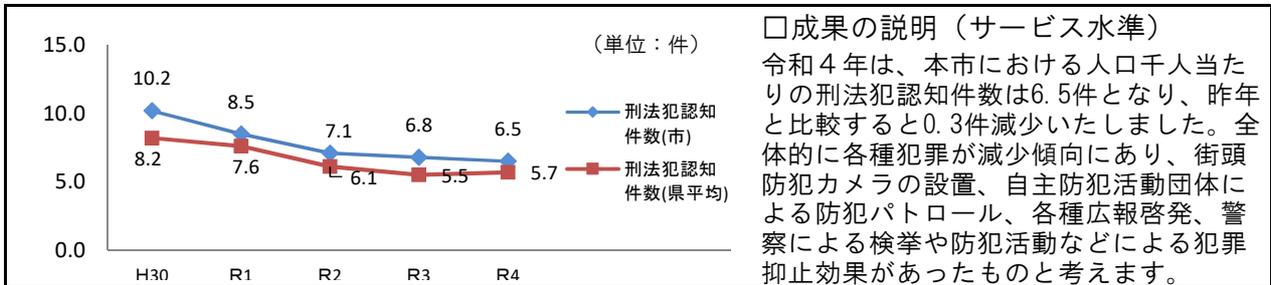
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

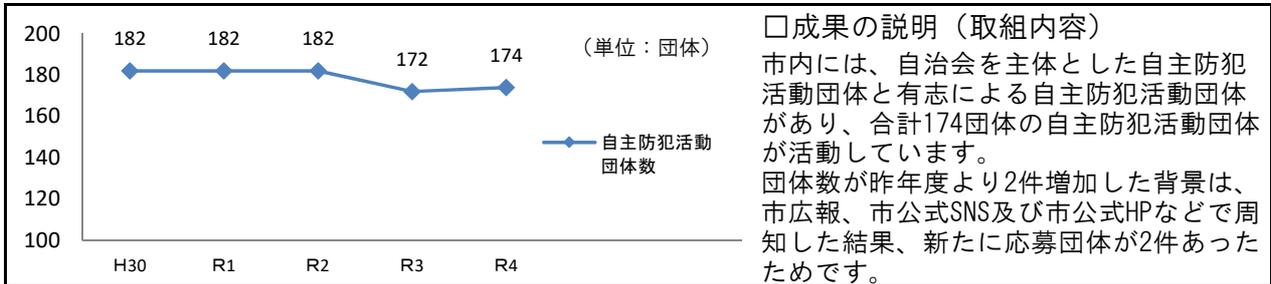
施策番号	4-3-1	実施計画No.	106	重点プロジェクトNo.	③-99	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	防犯・暴力対策事業					課名	くらしの安全課	
事業内容	犯罪情報・防犯情報の提供、自主防犯活動団体への支援、防犯講話、防犯・暴力排除意識の啓発活動、街頭防犯カメラの適正な維持・管理とともに、真に必要な箇所への設置などを実施します。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	人口千人当たりの刑法犯認知件数				現状値 (平成29年)	9.7件		
現状と課題	本市における人口千人当たりの刑法犯認知件数（犯罪率）は、令和4年が6.5件で、前年より0.3件減少していますが、自転車盗や特殊詐欺被害など一部の犯罪が増加傾向にあり、加えて、県東部地域においては、県内全体と比較すると未だ高い水準にあることから、各種施策の推進により市民一人ひとりの防犯意識を向上させ、犯罪の発生件数の減少を目指します。							

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
成果指標の目標値	9.6件	9.5件	9.4件	9.4件	9.3件
成果指標の実績値	10.2件	8.5件	7.1件	6.8件	6.5件
達成率	94.1%	111.8%	132.4%	138.2%	143.1%
決算額(千円)	12,404	12,982	27,925	23,695	21,823

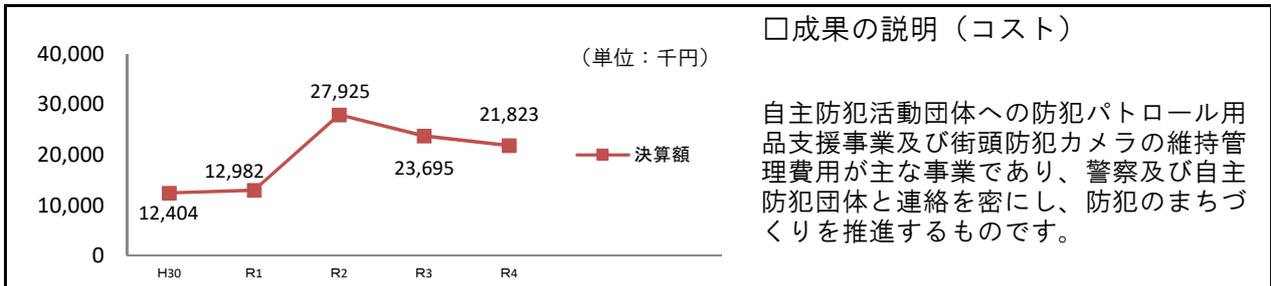
1 人口千人当たりの刑法犯認知件数



2 自主防犯活動団体数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度も、春日部警察をはじめとする関係機関・団体と連携した犯罪・防犯情報の発信や防犯意識の啓発、自主防犯活動団体へのパトロールグッズの支援などを実施しました。	
今後の方向性	現状維持	令和5年度も、引き続き、関係機関・団体及び自主防犯活動団体の皆様と連携し、地域防犯活動を推進していきます。

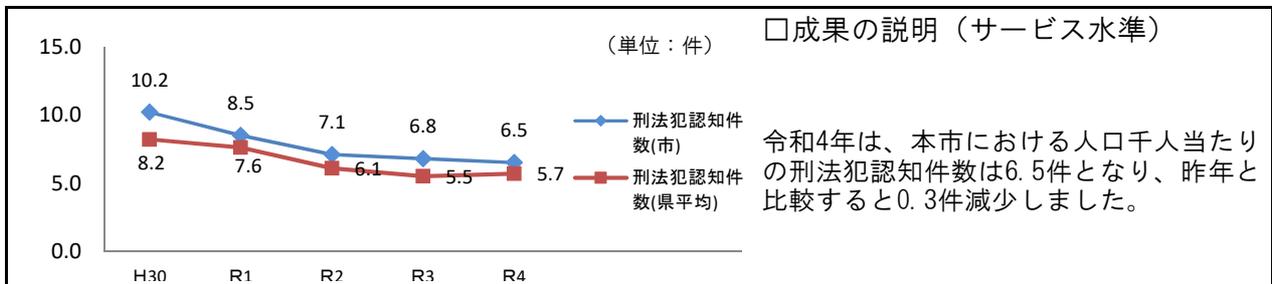
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

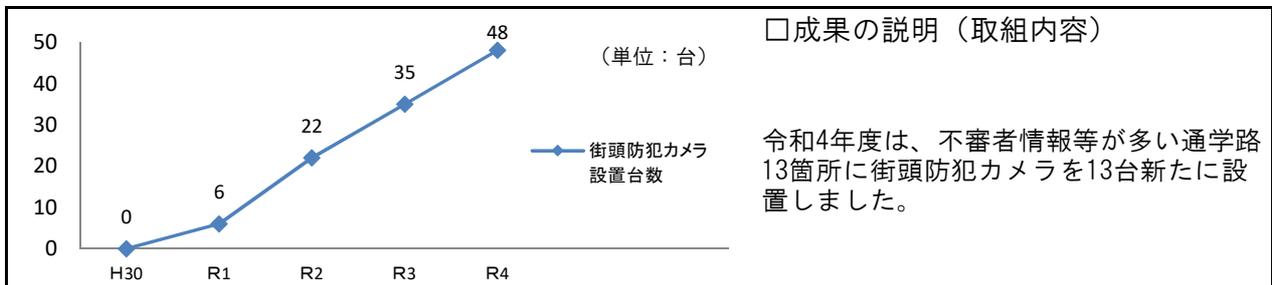
施策番号	4-3-1	実施計画No.	107	重点プロジェクトNo.	①-48	③-100	補助金No.	-	
事業名 (補助金名)	通学路における街頭防犯カメラ設置事業					課名	交通防犯課		
事業内容	犯罪の未然防止を図り、登下校時のさらなる安全に寄与するため、市内小学校の通学路に街頭防犯カメラを設置します。					事業開始年度	平成30年度		
						事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	人口千人当たりの刑法犯認知件数				現状値 (平成29年)	9.7件			
現状と課題	本市における人口千人当たりの刑法犯認知件数（犯罪率）は、令和4年が6.5件で、前年より0.3件減少していますが、県平均の5.7件を上回っています。各種施策の推進により市民一人ひとりの防犯意識を向上させ、犯罪の発生件数の減少を目指します。								

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
成果指標の目標値	9.6件	9.5件	9.4件	9.4件	9.3件
成果指標の実績値	10.2件	8.5件	7.1件	6.8件	6.5件
達成率	94.1%	111.8%	132.4%	138.2%	143.1%
決算額(千円)	0	3,058	13,124	11,715	10,916

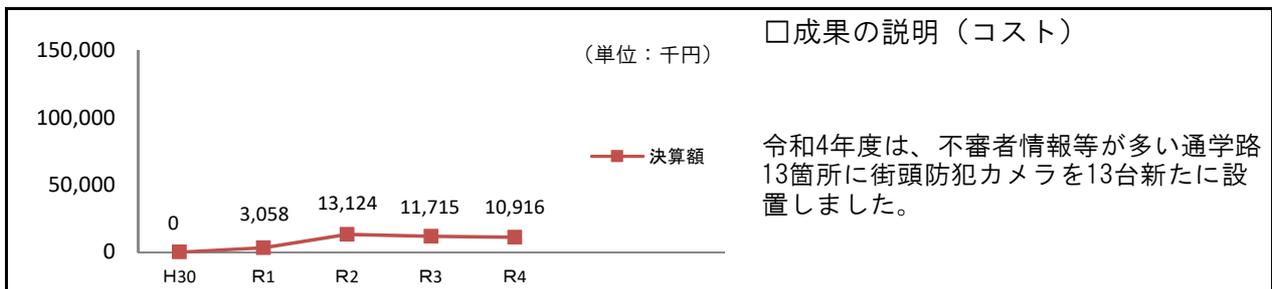
1 人口千人当たりの刑法犯認知件数の推移



2 通学路における街頭防犯カメラ設置台数（累計）



3 決算額の推移



令和4年度の評価	市、警察及び教育委員会による通学路合同点検で抽出した危険箇所や不審者情報等が多い通学路13箇所にて13台の街頭防犯カメラを設置しました。	
今後の方向性	見直し	令和4年度に13箇所にて13台の街頭防犯カメラを設置したことによって、令和元年度から令和4年度の4年間で、市内22小学校及び義務教育学校1校の通学路（学校区）に、概ね2台ずつ、合計46箇所にて48台の街頭防犯カメラを設置する計画が完了した。今後は、令和9年度までに通学路における街頭防犯カメラを概ね1台ずつ増設する。

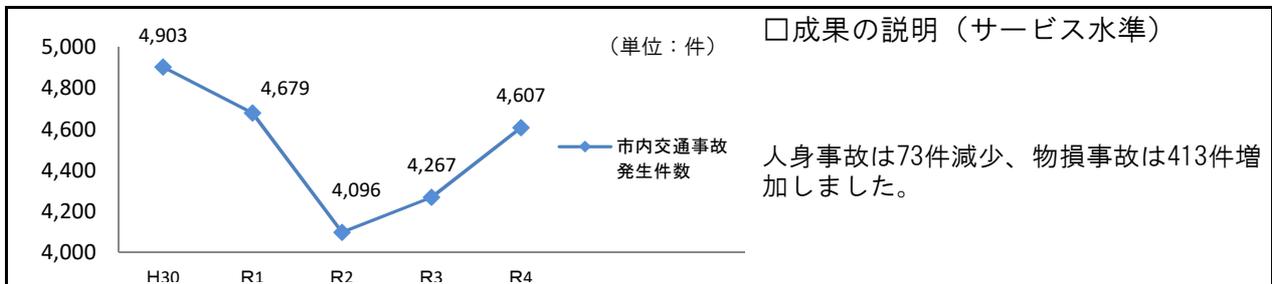
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

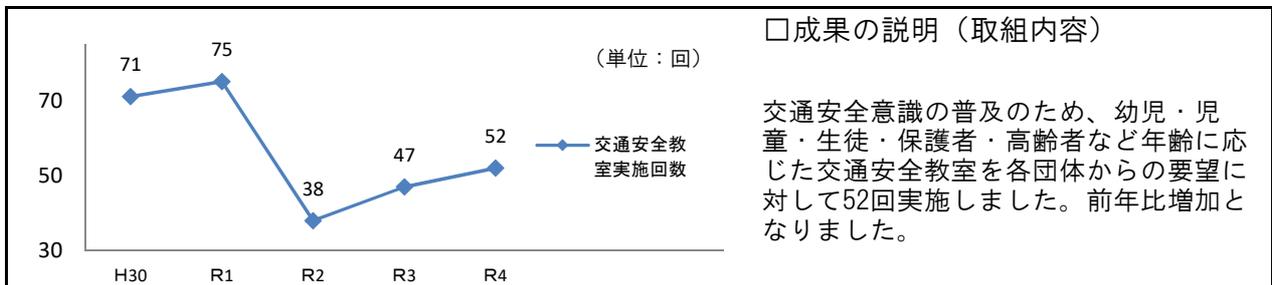
施策番号	4-3-2	実施計画No.	108	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-	
事業名 (補助金名)	交通安全対策事業					課名	交通防犯課		
事業内容	交通事故防止のため、交通指導員による交通指導、交通安全運動および交通事故防止運動等を実施し、市民の交通安全意識の高揚を図ります。					事業開始年度	平成17年度		
						事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	市内交通事故発生件数				現状値 (平成29年)	4,769件			
現状と課題	交通事故原因の多くが、安全運転義務違反に起因することから、交通ルールの遵守とマナー向上のため、交通安全意識の普及、啓発活動等を通じ、1件でも交通事故を減らしていくことが課題となっています。								

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
成果指標の目標値	4,735件	4,701件	4,667件	4,633件	4,600件
成果指標の実績値	4,903件	4,679件	4,096件	4,267件	4,607件
達成率	96.6%	100.5%	113.9%	108.5%	99.8%
決算額(千円)	21,721	19,896	19,087	19,354	19,480

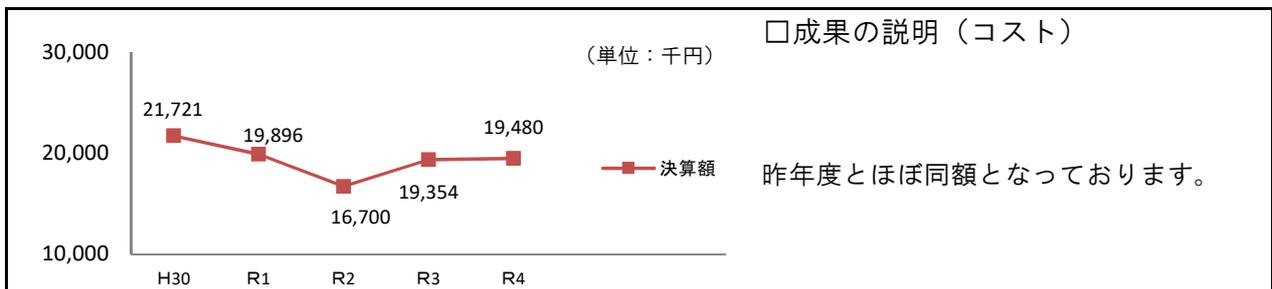
1 市内交通事故発生件数



2 交通安全教室実施回数



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	人身事故は73件減少、物損事故は413件増加となりました。目標値より7件上回る結果となりました。継続的に実施している交通安全教室等により、市民の交通安全意識の高揚を図ってまいります。	
今後の 方向性	現状維持	交通事故の多くは安全運転義務違反に起因することから、市民一人ひとりの交通ルールの遵守とマナー向上が必要であり、交通安全意識の普及、啓発活動等を引き続き実施し、交通事故の減少を目指していきます。

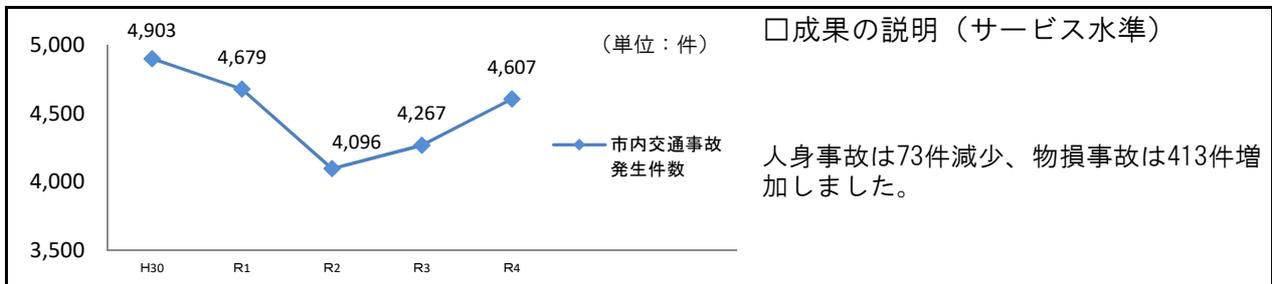
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

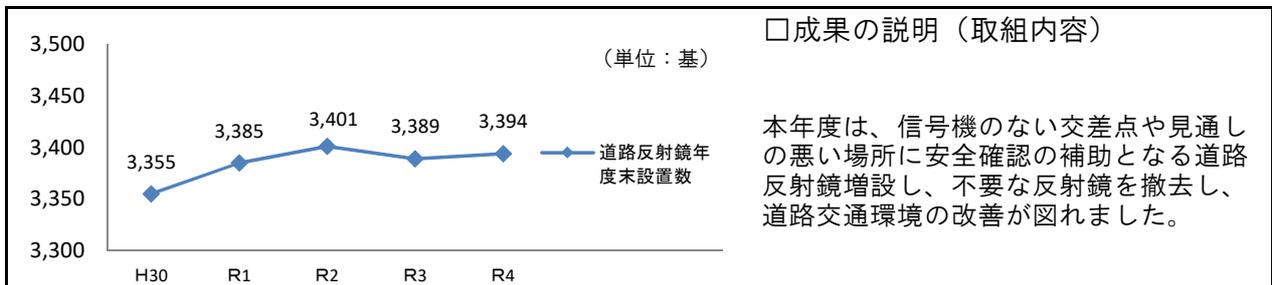
施策番号	4-3-2	実施計画No.	109	重点プロジェクトNo.	③-101	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	交通安全施設設置・管理事業					課名	交通防犯課	
事業内容	交通の安全を確保するため、道路反射鏡の設置及び維持管理を行うとともに、道路区画線等については、交通安全上必要な箇所への設置及び経年劣化した箇所の再塗布を行います。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	市内交通事故発生件数				現状値 (平成29年)	4,769件		
現状と課題	信号機のない交差点や見通しの悪い場所に道路反射鏡を、道路区画線等については警察署と連携し、現場診断等により必要な場所に設置しています。今後も道路環境の変化に対応した整備が求められています。							

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
成果指標の目標値	4,735件	4,701件	4,667件	4,633件	4,600件
成果指標の実績値	4,903件	4,679件	4,096件	4,267件	4,607件
達成率	96.6%	100.5%	113.9%	108.5%	99.8%
決算額(千円)	20,457	33,333	40,132	36,693	21,664

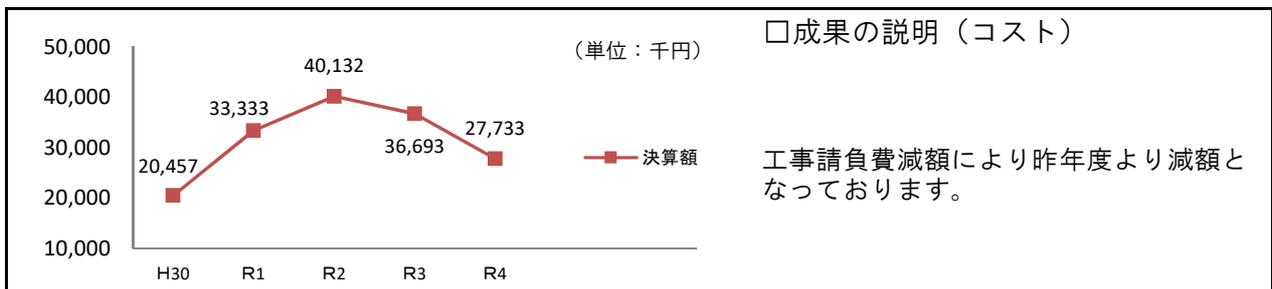
1 市内交通事故発生件数



2 道路反射鏡設置数 (累計)



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	前年と比較すると人身事故は73件の減、物損事故は413件の増となりました。成果指標の実績値は、目標値よりを7件上回る結果となりました。継続的に交通安全施設の設置や道路区画線の塗布を行い、交通安全の確保に努めてまいります。
今後の 方向性	現状維持 信号機のない交差点や見通しの悪い場所への道路反射鏡の設置、交通安全上必要な箇所への道路区画線等の設置及び摩耗箇所への再塗布により、交通事故件数を減少させることは実現可能であると考えます。引き続き交通安全施設の整備や適正な維持管理に取り組んでいきます。

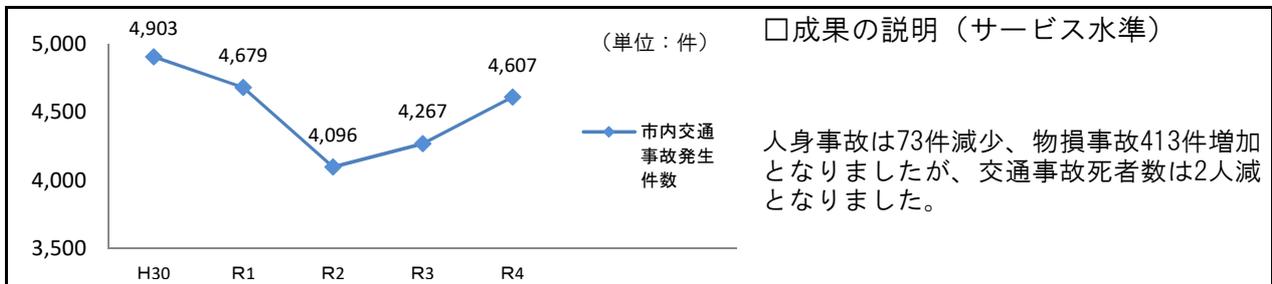
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

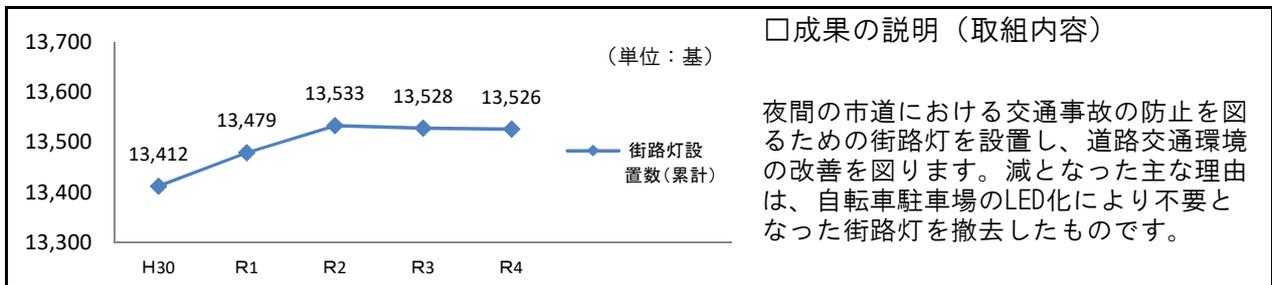
施策番号	4-3-2	実施計画No.	110	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	街路灯設置・管理事業					課名	交通防犯課	
事業内容	市道における夜間の交通事故防止を図るため、街路灯の設置および維持管理を行います。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	市内交通事故発生件数				現状値 (平成29年)	4,769件		
現状と課題	市民生活の多様化や経済活動の変化に伴う夜間交通量が多いことを踏まえ、夜間の交通安全を図るため、実情に応じて街路灯の整備を実施していますが、宅地開発により新たな住宅地内に整備される市道への対応が求められています。							

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
成果指標の目標値	4,735件	4,701件	4,667件	4,633件	4,600件
成果指標の実績値	4,903件	4,679件	4,096件	4,267件	4,607件
達成率	96.6%	100.5%	113.9%	108.5%	99.8%
決算額(千円)	83,783	84,635	80,450	83,502	83,997

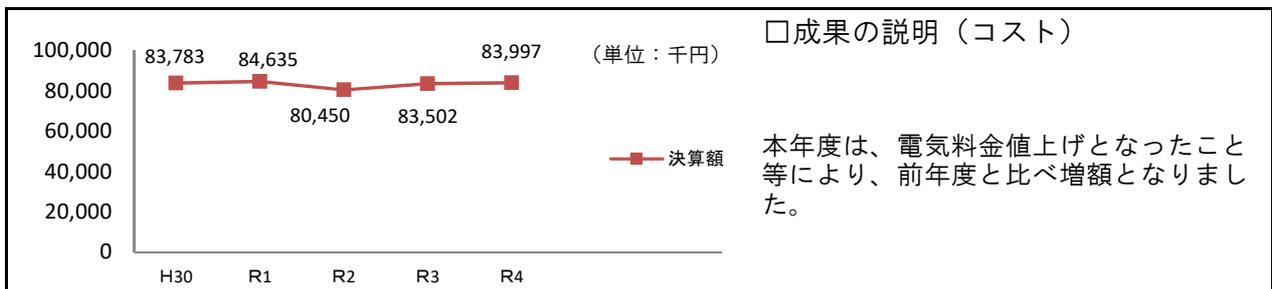
1 市内交通事故発生件数



2 街路灯設置数（累計）



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	前年と比較すると人身事故は73件の減、物損事故は413件の増となりました、成果指標の実績値は、目標値よりを7件上回る結果となりました。継続的に街路灯の設置を実施していることで、夜間の交通安全確保に努めてまいります。	
今後の 方向性	現状維持	街路灯の整備を実施することによって、夜間の交通事故防止につなげ交通事故件数を減少させることが可能であると考えます。このため、引き続き市道における街路灯の整備や維持管理に取り組んでいきます。

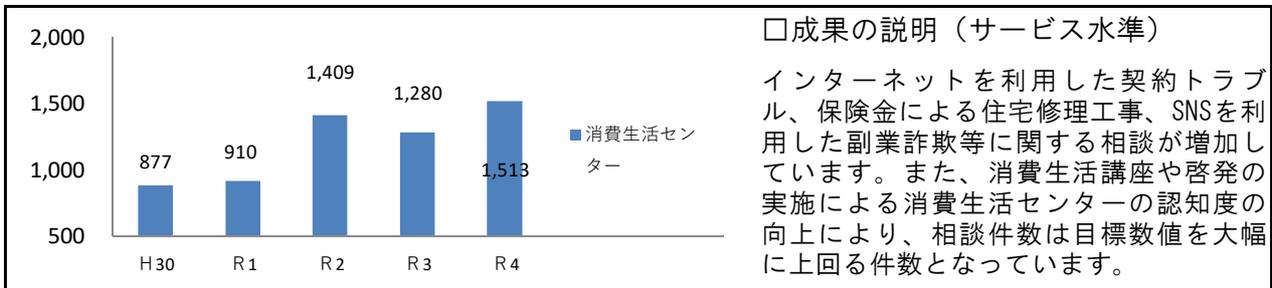
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

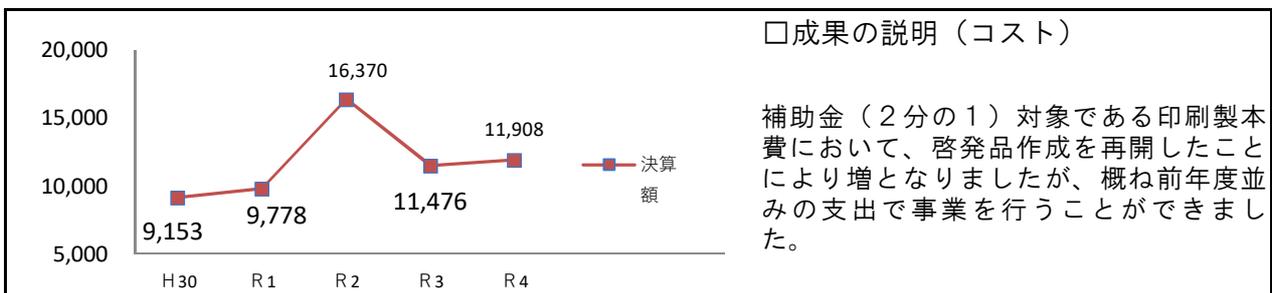
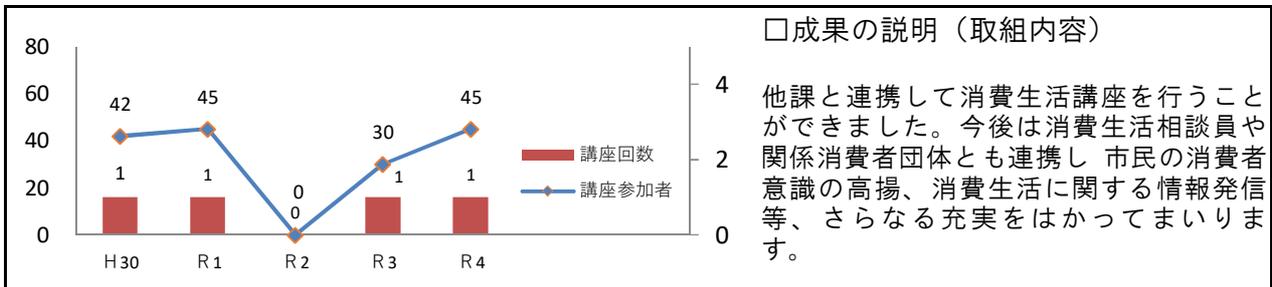
施策番号	4-3-3	実施計画No.	111	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	消費者生活対策事業					課名	交通防犯課	
事業内容	消費生活センターにおいて消費生活相談を行います。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	消費生活相談件数				現状値 (平成29年度)	630件		
現状と課題	年々多様化・複雑化する悪質商法や契約トラブル等により相談件数が増えておりますが、適切な対応ができるよう消費生活相談員の継続的なスキルアップを図るとともに、市民に対しても消費者として責任ある行動をとるよう啓発を行ってまいります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	620件	620件	620件	620件	620件
成果指標の実績値	877件	910件	1,409件	1,280件	1,513件
達成率	141.5%	146.8%	227.3%	206.5%	244.0%
決算額(千円)	9,153	9,778	16,370	11,476	11,908

1 消費生活相談件数の推移



2 消費に関する講座の参加者数の推移



令和4年度の評価	インターネットを利用した契約トラブル、保険金による住宅修理工事、SNSを利用した副業詐欺等に関する相談が増加しています。また、消費生活講座や啓発の実施による消費生活センターの認知度の向上により、相談件数は目標数値を大幅に上回る件数となっています。	
今後の方向性	現状維持	啓発活動等の周知により消費生活センター業務が充実してきております。年々多様化・複雑化する悪質商法や契約トラブル等により相談件数が増えておりますが、適切な対応ができるよう消費生活相談員の継続的なスキルアップを図るとともに、市民に対しても消費者として責任ある行動をとるよう啓発を行ってまいります。

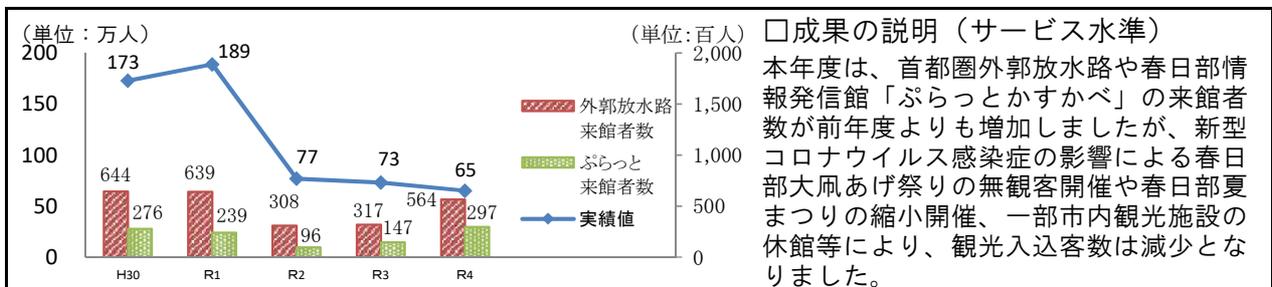
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

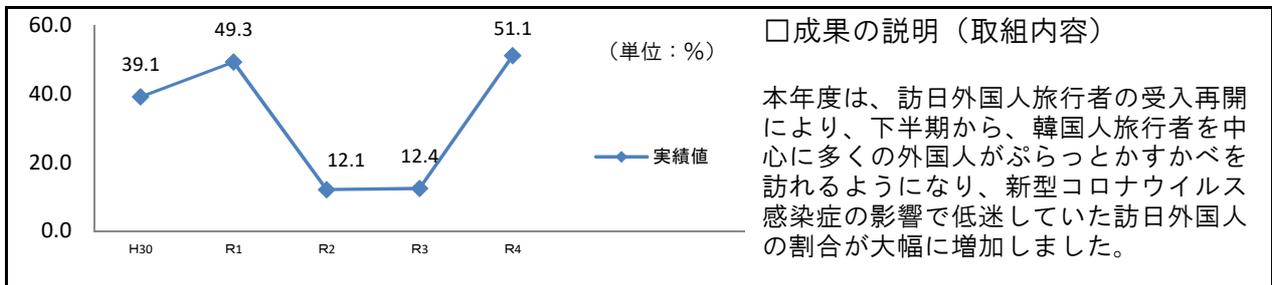
施策番号	5-1-1	実施計画No.	112	重点プロジェクトNo.	②-54	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	観光振興事業				課名	観光振興課		
事業内容	既存観光資源の魅力を向上させるとともに、新たな観光資源を創出し、これらの連続性を持たせた観光の推進と魅力の発信をします。				事業開始年度	平成30年度		
					事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	観光入込客数				現状値 (平成29年度)	1,782,653人		
現状と課題	本市には、「春日部藤まつり」、「春日部夏まつり」、「春日部大風あげ祭り」等の祭りや「首都圏外郭放水路」、「藤花園」、「道の駅「庄和）」、春日部情報発信館「ぷらっとかすかべ」等の施設があります。例年、多くの観光客が訪れ賑わいますが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しながら事業を進めていくことが必要です。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	1,906,000人	1,937,000人	1,968,000人	1,999,000人	2,030,000人
成果指標の実績値	1,726,984人	1,888,816人	766,691人	729,789人	650,494人
達成率	90.6%	97.5%	39.0%	36.5%	32.0%
決算額(千円)	10,162	8,722	42,042	15,096	40,347

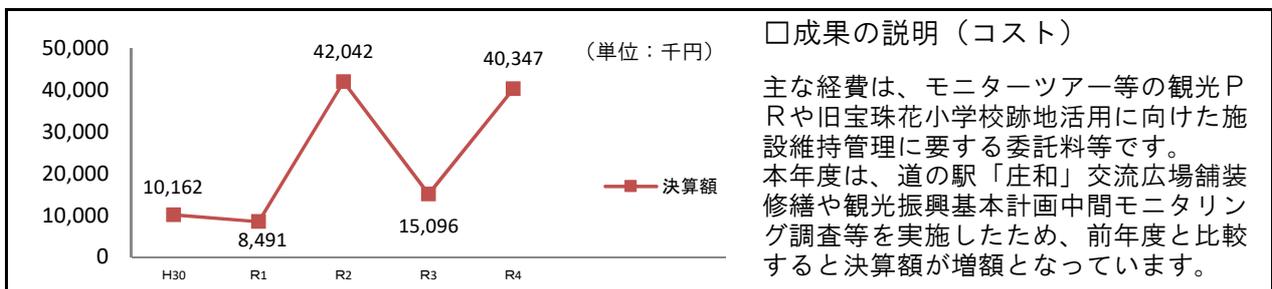
1 観光入込客数



2 ぷらっとかすかべ来館者数に占める訪日外国人の割合



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による市内イベントの縮小等により観光入込客数が減少していますが、コロナ禍で継続してきたモニターツアーや観光情報の発信等の成果もあり、首都圏外郭放水路や春日部情報発信館「ぷらっとかすかべ」の来館者数と、訪日外国人の割合は増加しました。	
今後の 方向性	現状維持	(一社)春日部市観光協会とともに、観光関連事業者・団体、市民等と連携しながら各種の観光事業に取り組むことで、引き続き、観光推進体制の強化を図ります。また、そのような連携を活用しながら、観光資源の磨き上げや観光客受入体制の整備等を行い、魅力を発信していくことで、新型コロナウイルス感染症の収束後における市内観光の早期回復と地域経済の活性化を図ります。

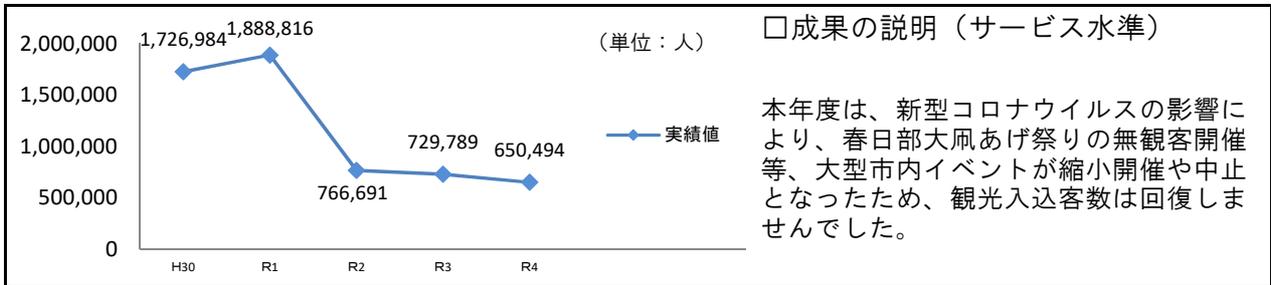
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

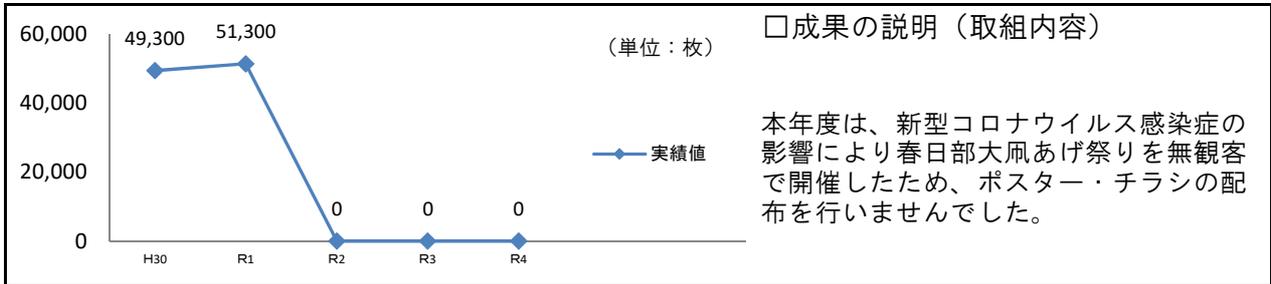
施策番号	5-1-1	実施計画No.	113	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	大凧あげ祭り実施事業					課名	観光振興課	
事業内容	大凧あげ祭りの企画・運営、各種式典の開催、飛揚会場設営・運営を実施します。					事業開始年度	平成30年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	観光入込客数				現状値 (平成29年度)	1,782,653人		
現状と課題	大凧あげ祭りは、国選択無形民俗文化財の伝統行事であり、例年10万人を超える来場者が訪れます。この祭りの伝統文化を保存伝承していくとともに、本市を代表する観光資源として知名度の向上と集客を図り、より魅力的なまちづくりと賑わいの創出を進めていくことが必要です。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	1,906,000人	1,937,000人	1,968,000人	1,999,000人	2,030,000人
成果指標の実績値	1,726,984人	1,888,816人	766,691人	729,789人	650,494人
達成率	90.6%	97.5%	39.0%	36.5%	32.0%
決算額(千円)	11,178	13,726	6,746	6,416	12,881

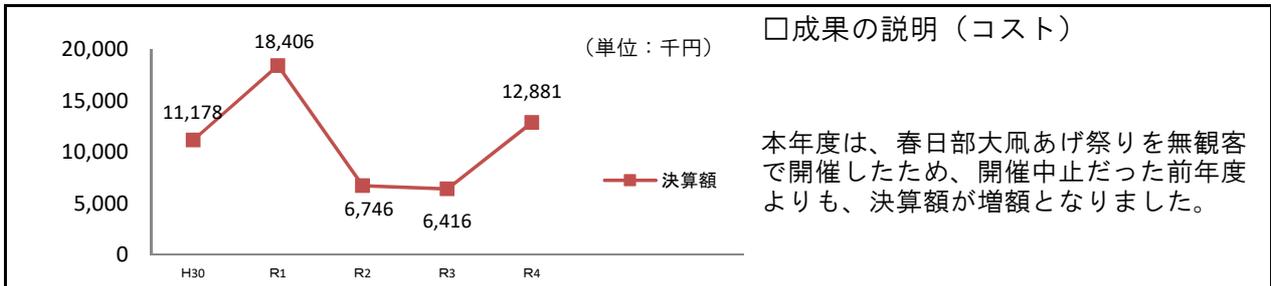
1 観光入込客数



2 ポスター・チラシの配布数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は、前年度に続き、イオンモール春日部での飾り凧の掲出や東京ソラマチでの小凧の掲出を行い、大凧文化の魅力の発信を継続しました。また、新型コロナウイルスの感染防止対策を行いながら春日部大凧あげ祭りを無観客で開催し、3年ぶりに大凧文化の伝統技術について継承を図ることができました。	
今後の方向性	現状維持	大凧あげの風習は、江戸時代後期が起源とされる約180年の歴史と伝統があり、引き続き、この伝統行事を保存伝承していきます。また、百畳敷きの日本一の大凧として全国的にも知られる大凧あげ祭りを、本市の代表的な観光資源として更なる知名度の向上を図り、より魅力的なまちづくりと賑わいの創出に繋げていきます。

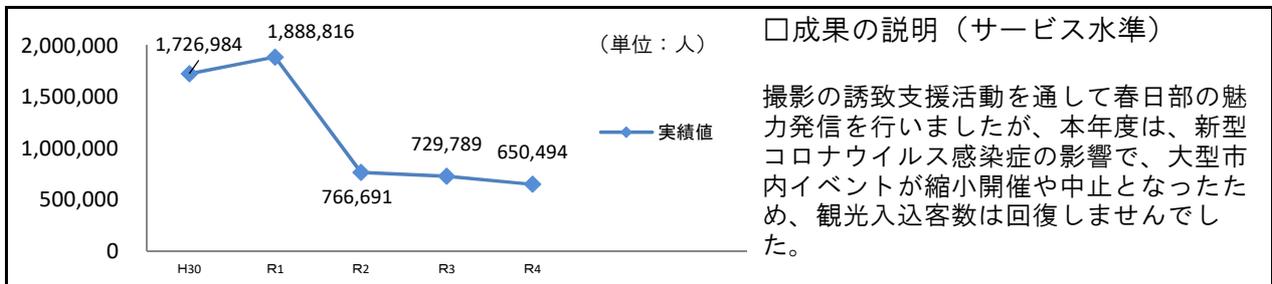
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

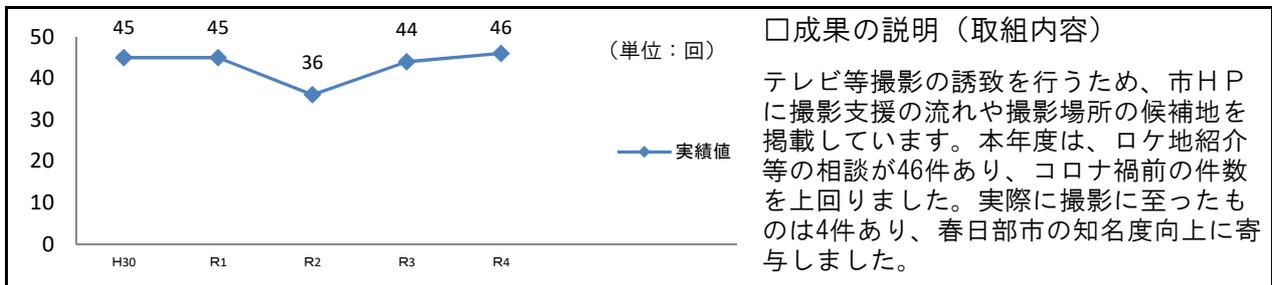
施策番号	5-1-1	実施計画No.	114	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	春日部フィルムコミッション事業					課名	観光振興課	
事業内容	テレビ・映画・CMなど撮影の誘致支援活動を行い春日部の魅力を発信します。					事業開始年度	平成30年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	観光入込客数				現状値 (平成29年度)	1,782,653人		
現状と課題	市の観光資源は、各種イベント、河川環境、歴史文化、伝統工芸など様々あり、こうした魅力ある資源をPRし、知名度の向上を図っています。映像作品を通して多彩な情報や魅力を発信し、広くPRすることで観光振興の促進、地域経済の活性化に繋げることが必要です。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	1,906,000人	1,937,000人	1,968,000人	1,999,000人	2,030,000人
成果指標の実績値	1,726,984人	1,888,816人	766,691人	729,789人	650,494人
達成率	90.6%	97.5%	39.0%	36.5%	32.0%
決算額(千円)	0	0	0	0	0

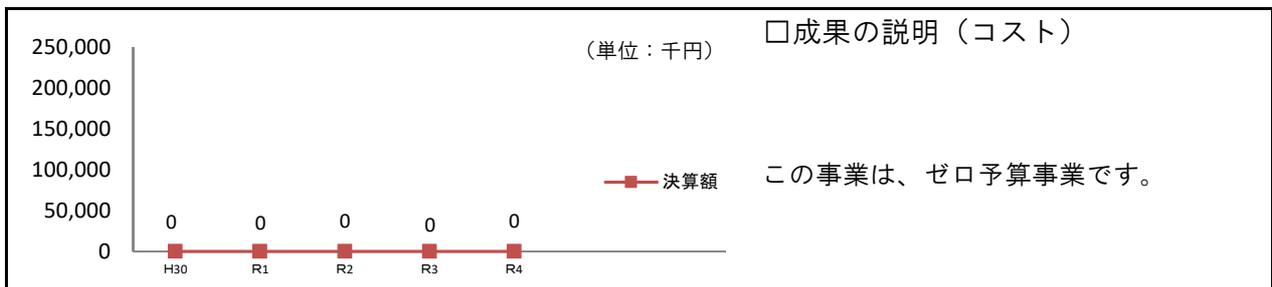
1 観光入込客数



2 撮影支援（相談・撮影）実績



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	様々な観光資源を映像作品を通して発信することで、魅力ある資源の知名度の向上を図りました。また、ロケ地候補地については、戦略的な紹介・PRを図り、市独自のロケーションサービスを展開しました。撮影相談件数はコロナ禍前の水準を上回り、撮影実施件数についても一定の水準を保っています。	
今後の 方向性	現状維持	効果としては、映像作品の認知度にも左右される部分はありますが、市の魅力ある観光資源等について、テレビ・映画等の映像作品を活用して、知名度の向上を図ることができることから、PR効果の高い映像作品のロケ地候補地となるよう、継続的に、テレビ・映画等の撮影の誘致支援活動を行い春日部の魅力を発信します。

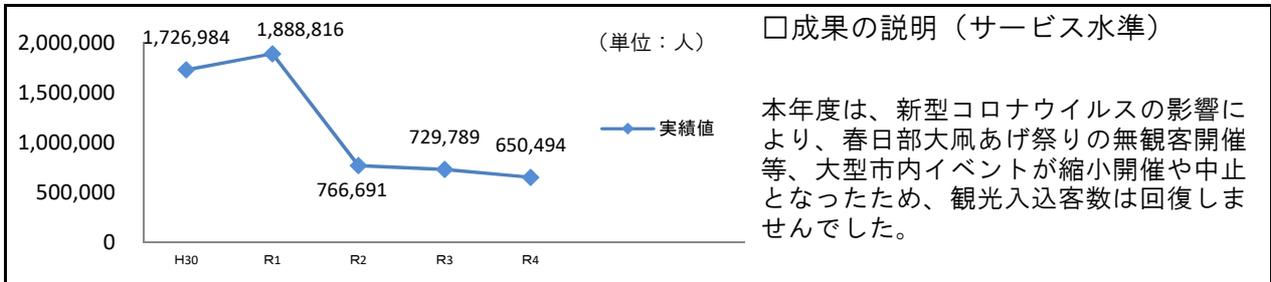
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

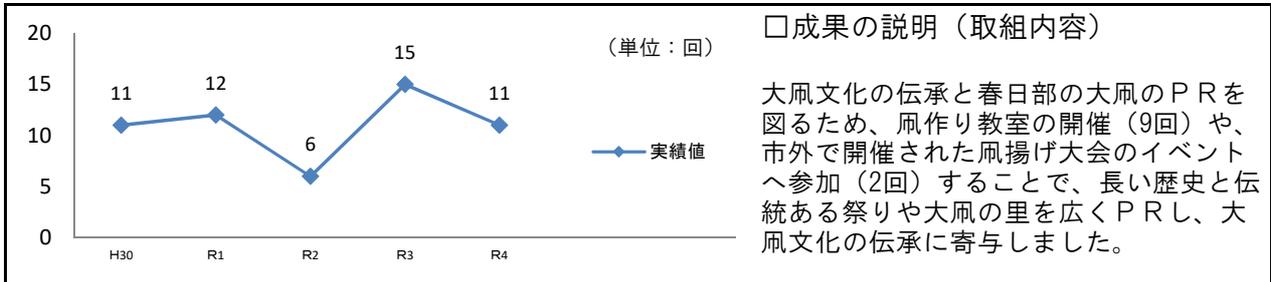
施策番号	5-1-1	実施計画No.	115	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	大風啓発推進事業					課名	観光振興課	
事業内容	市のPRを図るために大風あげ祭りの啓発活動を行います。					事業開始年度	平成30年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	観光入込客数				現状値 (平成29年度)	1,782,653人		
現状と課題	大風あげ祭りは、国選択無形民俗文化財の伝統行事であり、例年10万人を超える来場者が訪れています。祭りの開催は、市の賑わいの創出と大きく繋がっているため、歴史ある貴重な伝統行事を保存伝承していくとともに、祭りを広く紹介し、大風の里をPRしていくことが必要です。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	1,906,000人	1,937,000人	1,968,000人	1,999,000人	2,030,000人
成果指標の実績値	1,726,984人	1,888,816人	766,691人	729,789人	650,494人
達成率	90.6%	97.5%	39.0%	36.5%	32.0%
決算額(千円)	1,834	2,241	1,802	9,702	31,073

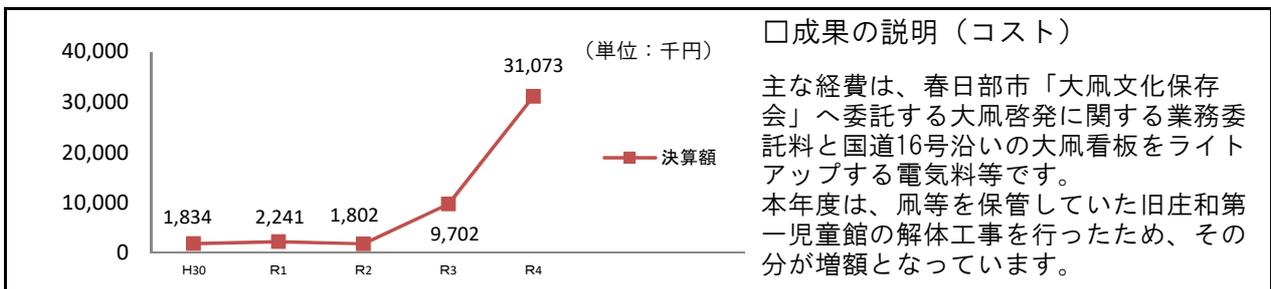
1 観光入込客数



2 啓発活動（凧揚げ大会等イベント参加、凧作り教室開催）数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は、新型コロナウイルスの感染対策を徹底することで、無観客という形で3年ぶりに春日部大風あげ祭りを開催することができました。また、凧作り教室と市外凧揚げ大会への参加を継続的に実施することで、伝統ある大風文化の継承を図りました。	
今後の方向性	現状維持	春日部大風あげ祭りは、国の選択無形民俗文化財でもある貴重な伝統行事であり、本市の大きな観光資源の一つであることから、長い歴史と伝統ある祭りを広く紹介し、大風の里をPRするとともに、大風文化を伝承するため、イベントへの参加や凧作り教室の開催を継続していきます。

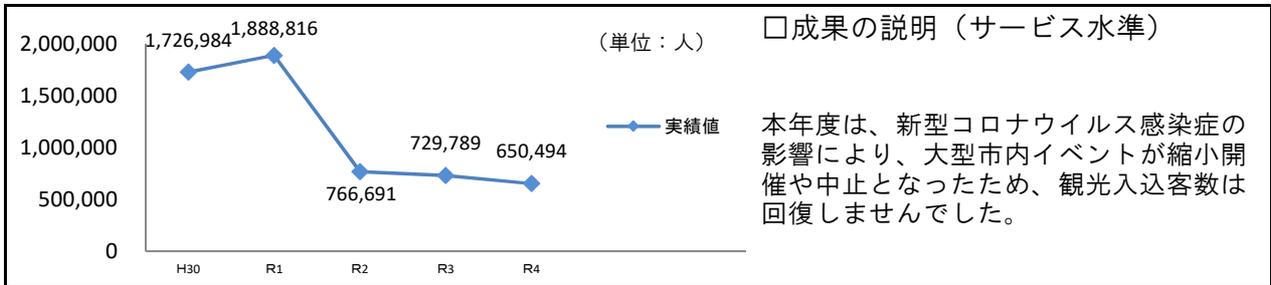
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

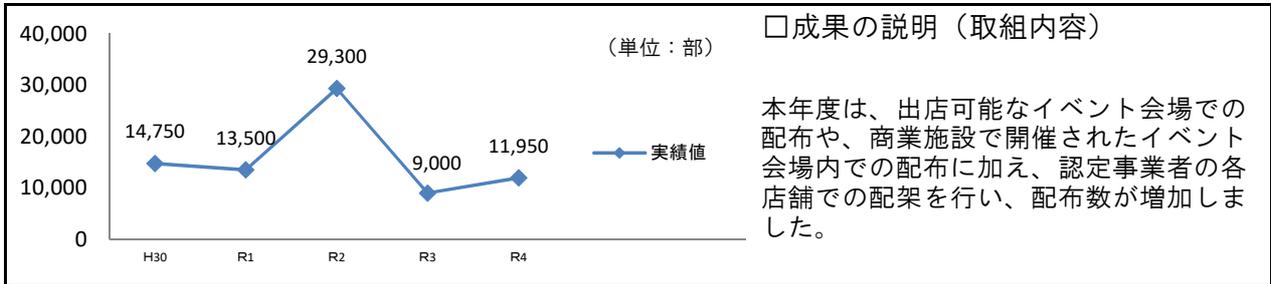
施策番号	5-1-1	実施計画No.	116	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	かすかべフードセレクション推進事業				課名	観光振興課		
事業内容	市の優れた食品を「かすかべフードセレクション」として認定し、認定した商品を市内外に広くPRすることで地域ブランドの構築を図ります。				事業開始年度	平成30年度		
					事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	観光入込客数				現状値 (平成29年度)	1,782,653人		
現状と課題	平成25年10月の事業開始以降、事業のコンセプト観点から逸れることなく、一定レベル以上の商品を認定しています。更なる春日部の食に関するイメージ向上、観光資源としての知名度向上を視野に入れ、第4期の認定準備を進める必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	1,906,000人	1,937,000人	1,968,000人	1,999,000人	2,030,000人
成果指標の実績値	1,726,984人	1,888,816人	766,691人	729,789人	650,494人
達成率	90.6%	97.5%	39.0%	36.5%	32.0%
決算額(千円)	4,087	5,052	2,205	475	7,377

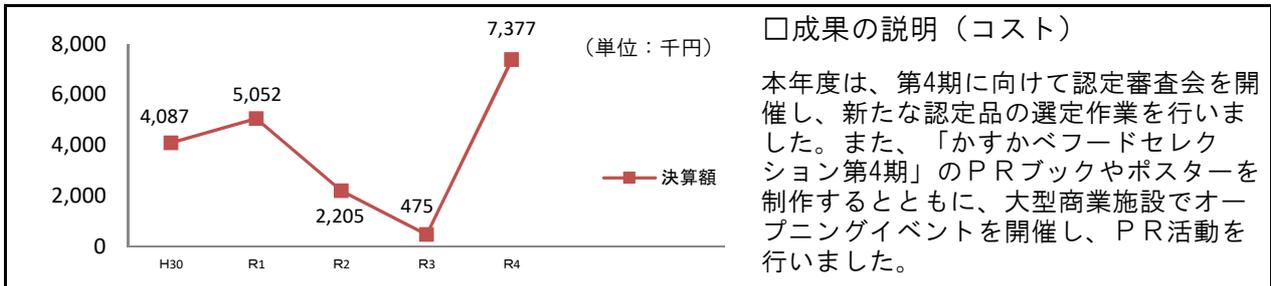
1 観光入込客数



2 カタログの配布数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は、コロナ禍において出店可能なイベントに参加するとともに、市内商業施設でのPRイベントを実施することで、地域経済の活性化、春日部の食に関するイメージ向上に寄与したと考えられます。また、「第4期」に向けて、認定審査会を実施し、第4期認定品として25品を決定したことにより、新しいPRツールとして、「第4期PRブック」を制作し、積極的に発信しました。	
今後の方向性	現状維持	春日部市観光振興基本計画中間モニタリング調査の結果、市内来訪者の「食」に関する興味・関心が高い傾向がみられることから、「第4期」として更なるイメージアップにつなげるため、認定事業者や（一社）春日部市観光協会等との連携を図りながら、効果的なPRを推進していきます。

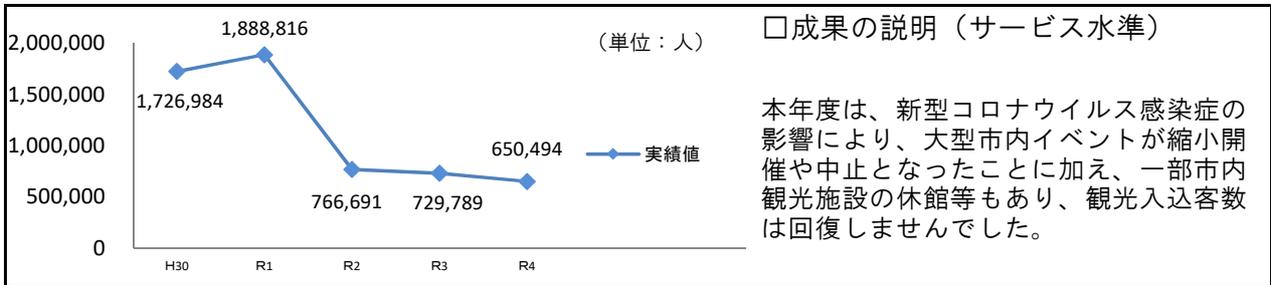
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

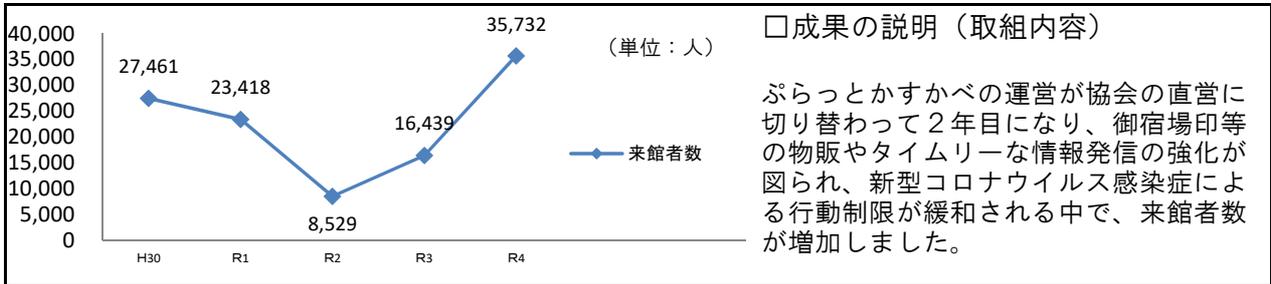
施策番号	5-1-1	実施計画No.	117	重点プロジェクトNo.	②-55	-	補助金No.	60
事業名 (補助金名)	観光協会補助金					課名	観光振興課	
事業内容	観光客とともに地域の魅力や豊かさを実感できる観光地の実現のため、一般社団法人春日部市観光協会に補助金を交付し、協会の組織及び機能のより一層の充実・強化を図ります。					事業開始年度	令和3年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	観光入込客数					現状値 (平成29年度)	1,782,653人	
現状と課題	新型コロナウイルス感染症の影響による訪日外国人の入国制限が緩和され、海外からの観光入込客数が増加し続けています。国内の規制も緩和されたので、一般社団法人春日部市観光協会と協力し、観光資源の磨き上げや観光客受入体制の整備等を進めていくことが必要です。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	—	—	—	1,999,000人	2,030,000人
成果指標の実績値	1,726,984人	1,888,816人	766,691人	729,789人	650,494人
達成率	—	—	—	36.5%	32.0%
決算額(千円)	—	—	—	38,131	40,750

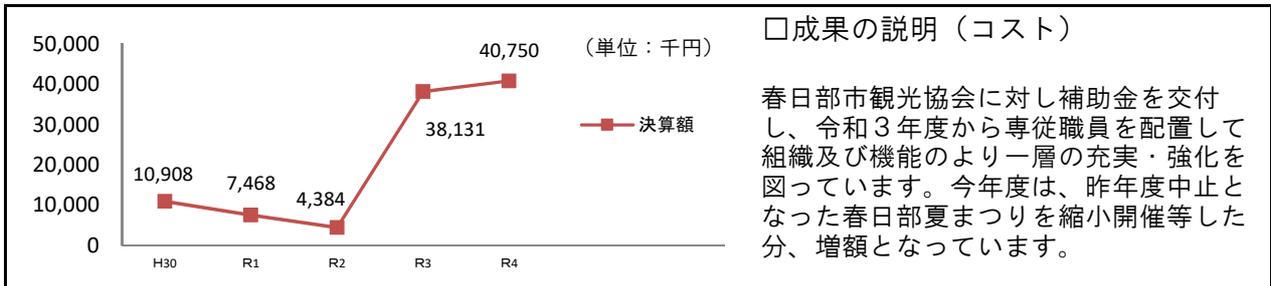
1 観光入込客数



2 「ぶらっとかすかべ」来館者数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	3年ぶりに春日部夏まつりを縮小開催して御輿の展示を行い、地域の活性化を図ることができました。また、市内事業者や関連団体等との連携を図りながら、春日部駅周辺のグルメマップの発行やスタンプラリーなどを行い、観光客が市内の様々なスポットに立ち寄る仕組みの構築を進めることで、「観光まちづくり」への機運醸成が図られました。	
今後の方向性	現状維持	状況の変化に柔軟に対応しやすい一般社団法人春日部市観光協会との連携強化を図りながら、引き続き、観光資源の磨き上げや、観光客受入体制の整備を進め、魅力を発信していくことで、市内観光の早期回復と地域経済の活性化を図ります。

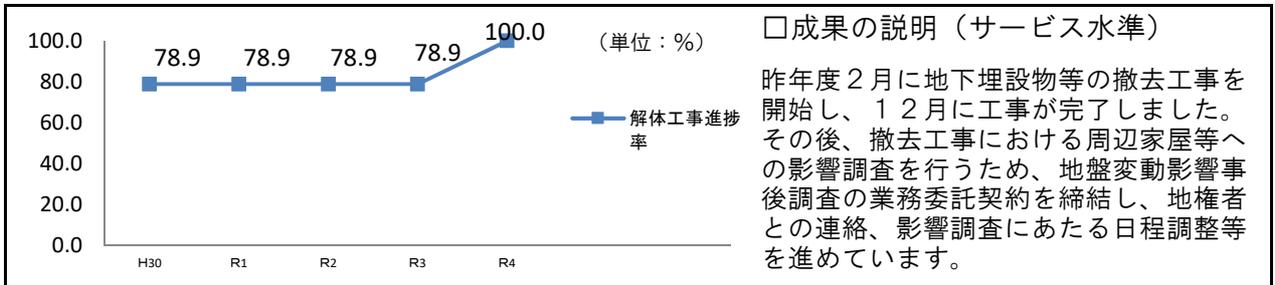
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

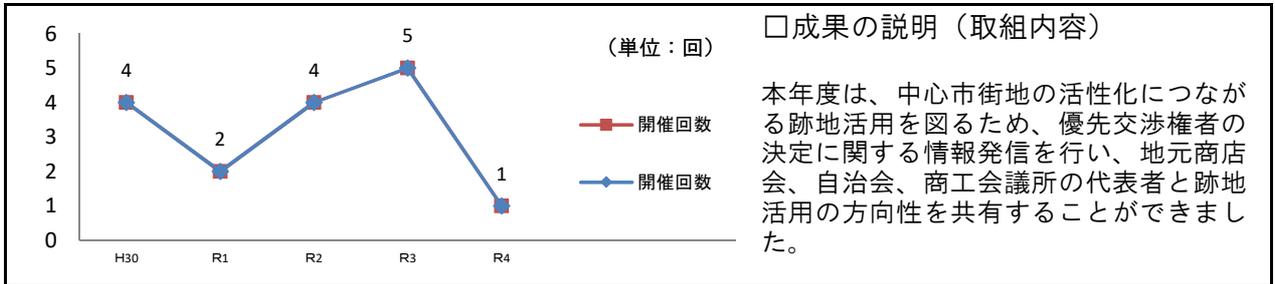
施策番号	5-1-2	実施計画No.	118	重点プロジェクトNo.	②-56	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	商工振興センター運営事業					課名	商工振興課	
事業内容	平成29年3月31日をもって閉館した春日部市商工振興センターの解体工事を滞りなく進め、中心市街地の活性化につながる跡地の活用を図ります。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	解体工事進捗率				現状値 (平成29年度)	0.0%		
現状と課題	本市中心市街地の将来を展望し、春日部駅東口地域をはじめとする市全体のにぎわいの創出、中心市街地の活性化を図るため、市民ニーズを勘案しながら、将来の行政需要を見極め、貴重な財源を効果的に活用した跡地活用を図っていく必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
成果指標の実績値	78.9%	78.9%	78.9%	78.9%	100.0%
達成率	78.9%	78.9%	78.9%	78.9%	100.0%
決算額(千円)	168,772	20,213	10,699	3,055	132,888

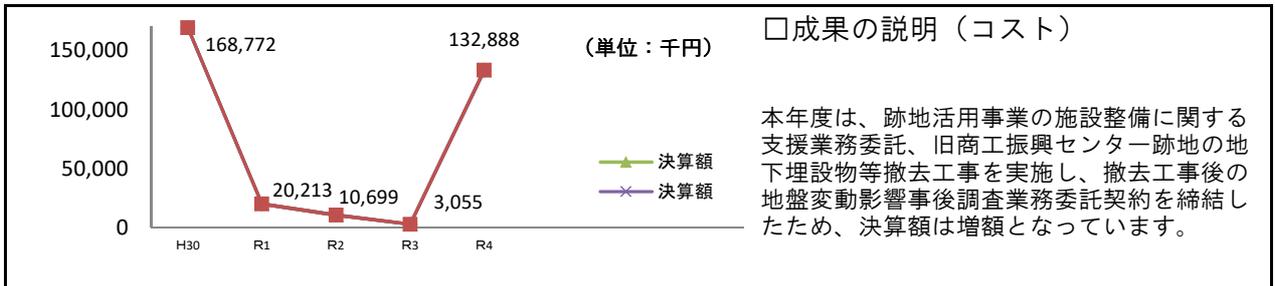
1 解体工事進捗率



2 跡地活用懇談会の開催回数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は、地下埋設物等の撤去工事が完了し、地盤変動影響事後調査業務委託契約の締結まで進めることができました。工事や調査については、案内文等で適宜周辺住民への周知を行い、また、優先交渉権者を招き、地元商店会、自治会、商工会議所代表者に向けて、跡地活用に関する情報の共有を行いました。	
今後の方向性	現状維持	地盤変動影響事後調査終了後、調査結果をもとに、復旧費積算及び費用負担説明業務、補償金の支払い等を進めていきます。跡地活用事業については、事業者へ土地の引渡し、建設工事等に向け、引き続き事業者との協議を進めていきます。

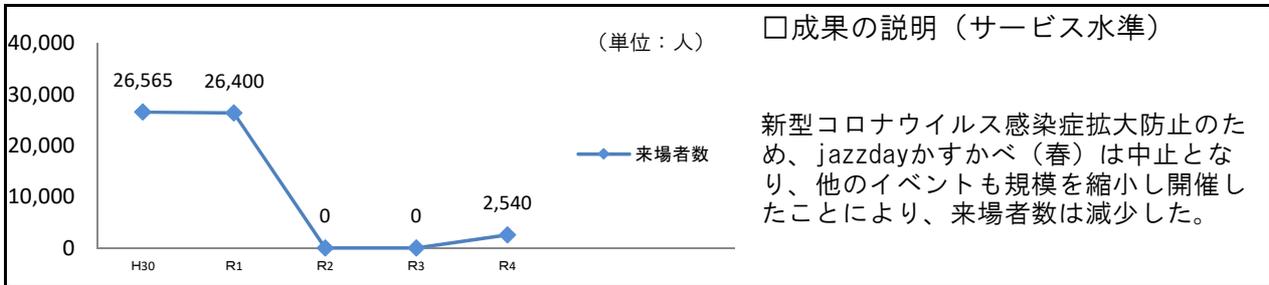
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

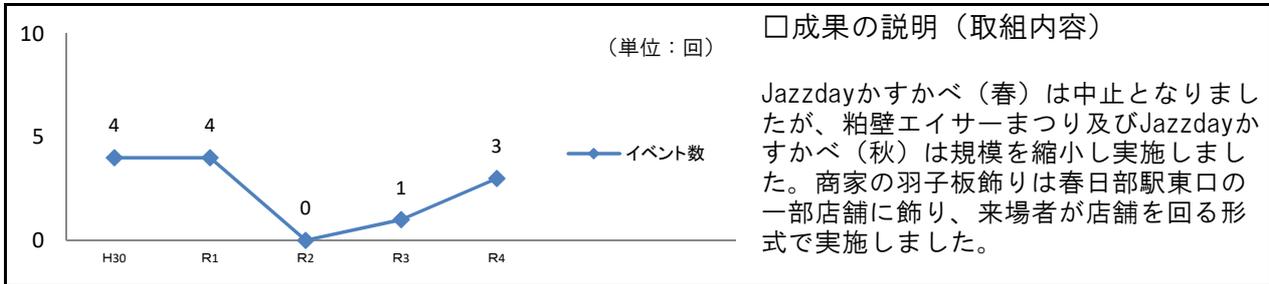
施策番号	5-1-2	実施計画No.	119	重点プロジェクトNo.	②-57	-	補助金No.	56
事業名 (補助金名)	商工会議所補助金					課名	商工振興課	
事業内容	地域商工業の総合的な改善・発達及び地域振興を図るため、春日部商工会議所が実施する、TMO事業、小規模事業推進事業、商工まつり等の各種事業に対し、補助するものです。					事業開始年度	令和3年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	イベントの来場者数（ジャズデイかすかべ、粕壁エイサーまつり、かすかべ音楽祭「まちかどコンサート」）					現状値 (令和元年度)	26,750人	
現状と課題	令和2年度から新型コロナウイルス感染症でイベントが中止となっていました。感染対策を講じながら一部のイベント等を2年ぶりに開催しました。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	—	—	—	28,000人	28,500人
成果指標の実績値	—	—	—	—	2,540人
達成率	—	—	—	—	8.9%
決算額(千円)	—	—	—	25,701	26,494

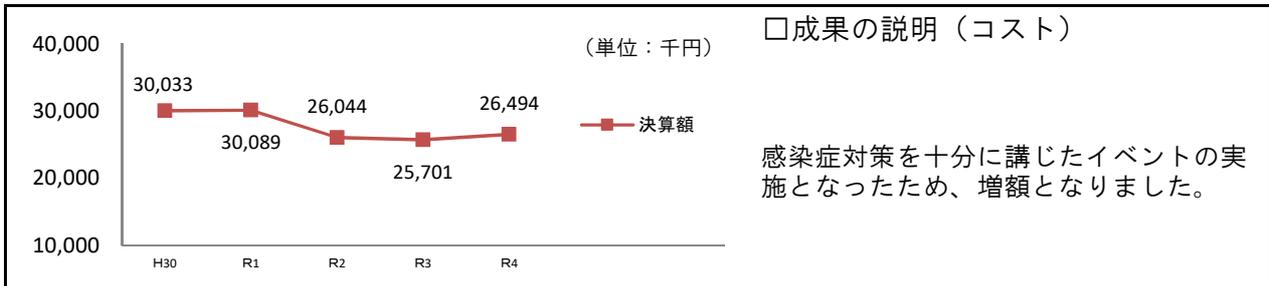
1 イベント来場者数の推移



2 イベント数の推移



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	新型コロナウイルス感染症の影響で各イベントが中止、規模を縮小しての実施となりました。感染症対策を講じながら中心市街地への回遊性を高め、継続した賑わいにつなげていく必要があります。	
今後の 方向性	現状維持	各イベントの賑わいを中心市街地の活性化につなげられるよう、共催する春日部商工会議所や春日部TMOとアフターコロナにおけるイベントの開催方法や周知方法について協議するなど、連携を強化します。

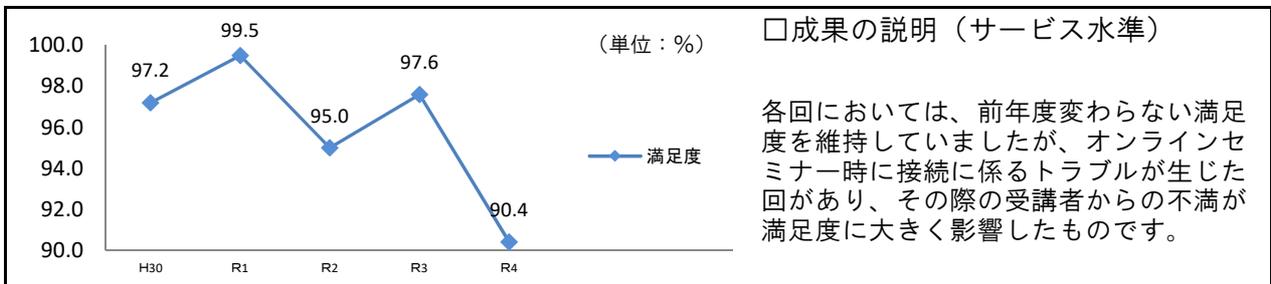
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

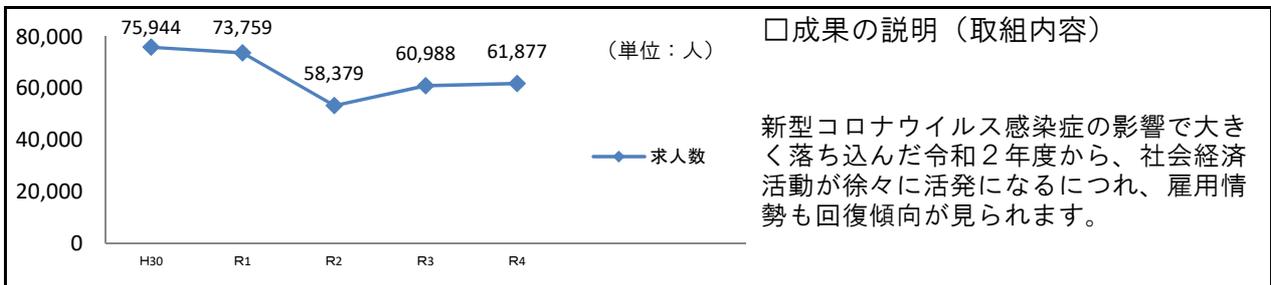
施策番号	5-2-1	実施計画No.	120	重点プロジェクトNo.	②-58	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	地域連携就労支援事業					課名	商工振興課	
事業内容	地域産業の理解を深め、市内中小企業の人材確保のため、就職活動中の若者や中高年、女性など、対象者の特色を踏まえたセミナー等を行うとともに、働く現場や働く人の声を聞く機会を提供します。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	就職支援セミナー参加者の満足度					現状値 (平成29年度)	99.0%	
現状と課題	コロナ禍により実施したオンラインセミナーも軌道に乗り、安定した開催と受講者数を維持していますが、若年層の受講者が少ないことから、あらゆる年代のニーズの把握に努めるとともにテーマ設定に重点を置く必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	95.9%	96.1%	96.3%	96.5%	96.7%
成果指標の実績値	97.2%	99.5%	95.0%	97.6%	90.4%
達成率	101.4%	103.5%	98.7%	101.1%	93.5%
決算額(千円)	1,013	772	19	246	451

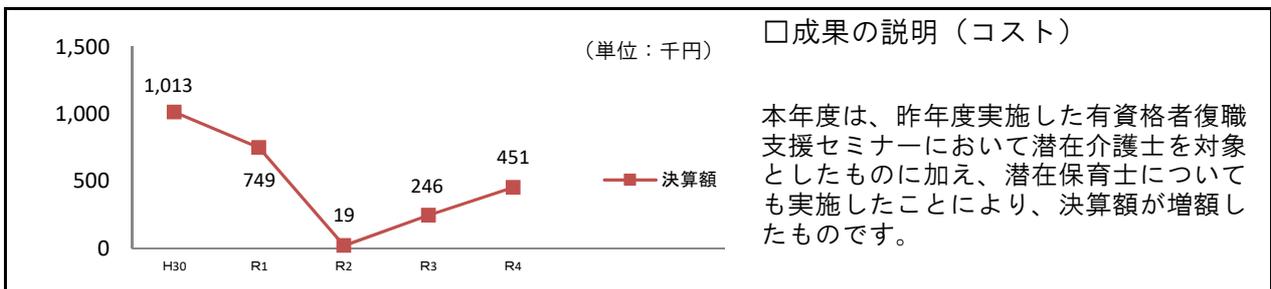
1 就職支援セミナー参加者の満足度



2 求人数（総数）（春日部公共職業安定所）



3 決算額の推移



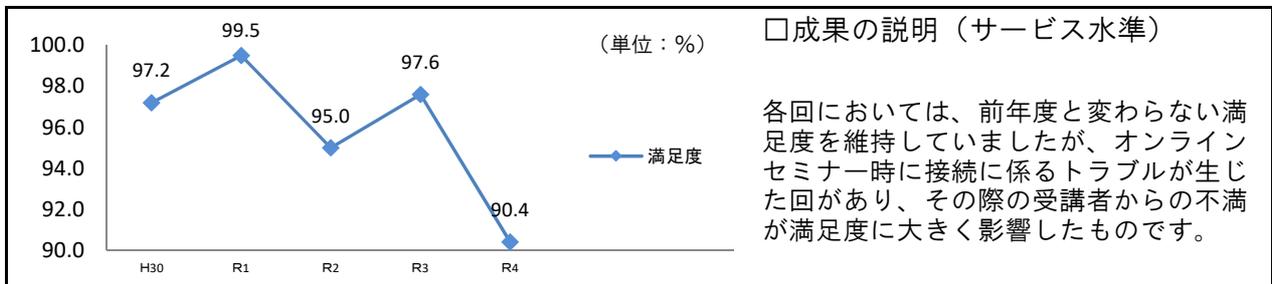
令和4年度の 評価	新型コロナウイルス感染症感染拡大から2年が経ち、経済活動も回復の兆しを見せ始めています。有効求人倍率も上昇傾向に転じています。セミナー満足度に関しましては、目標値に達しなかったものの今後の課題が明確になってきたので、次年度は改善に向け調整を図ります。
今後の 方向性	現状維持 引き続き国や県、その他関係機関と連携して各種セミナーを実施し、誰もが個々の事情に応じて働きがいを感じながら能力を発揮できる、また働き続けられる環境づくりへの取組を進めていきます。今後は、アフターコロナの時代において、それぞれのライフステージに応じた多様な働き方に対する支援を行います。

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

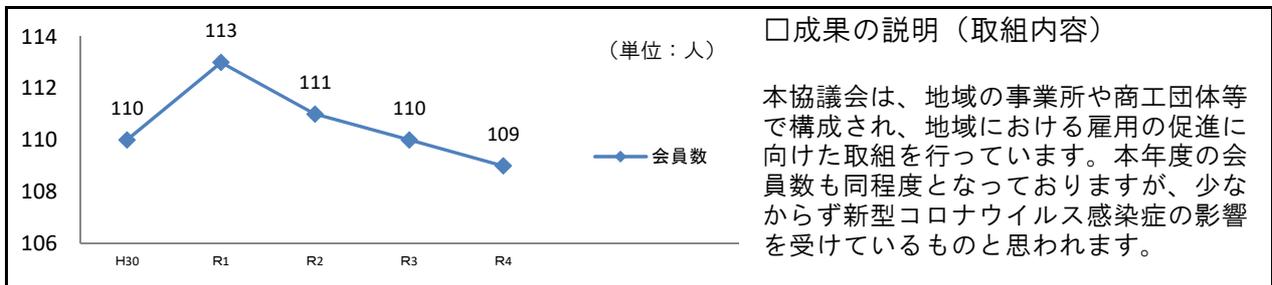
施策番号	5-2-1	実施計画No.	121	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	労政事務					課名	商工振興課	
事業内容	社会変化に適応できる勤労者を育成する講座を開催するとともに、雇用促進を図るために関係機関との連携を深め、雇用関係全般の安定を実現します。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	就職支援セミナー参加者の満足度					現状値 (平成29年度)	99.0%	
現状と課題	コロナ禍によって社会・経済情勢が大きく変化したことで、雇用形態の多様化や働き方が急速に変化しています。引き続き、非正規雇用対策、有効求人倍率の上昇に向け、今後も公共職業安定所や県などと連携し、地域雇用の安定化を図る必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	95.9%	96.1%	96.3%	96.5%	96.7%
成果指標の実績値	97.2%	99.5%	95.0%	97.6%	90.4%
達成率	101.4%	103.5%	98.7%	101.1%	93.5%
決算額(千円)	278	380	259	260	258

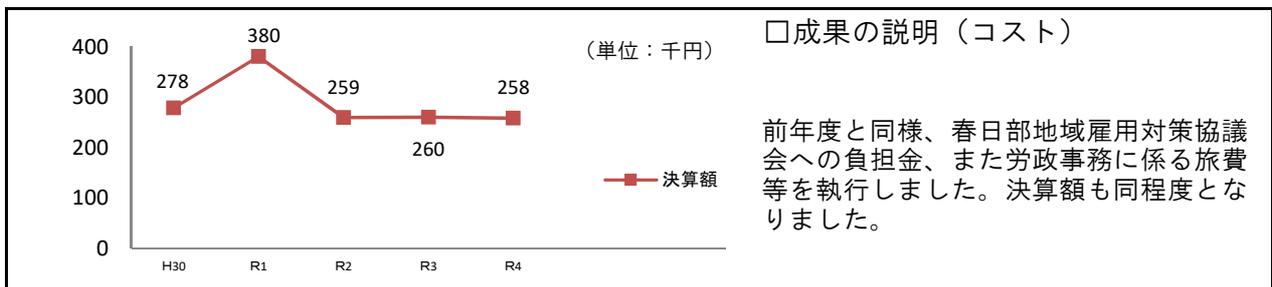
1 就職支援セミナー参加者の満足度



2 春日部地域雇用対策協議会会員数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	前年度と同様、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、春日部地域雇用対策協議会の学校訪問等の事業は中止となりましたが、県と共催している、事業者・勤労者を対象とした労働セミナーは、動画配信方式にすることで中止・縮小することなく開催できました。	
今後の方向性	現状維持	引き続き関係機関と連携して、健全な労使関係、地域における雇用の促進、労働力の確保に取り組みます。

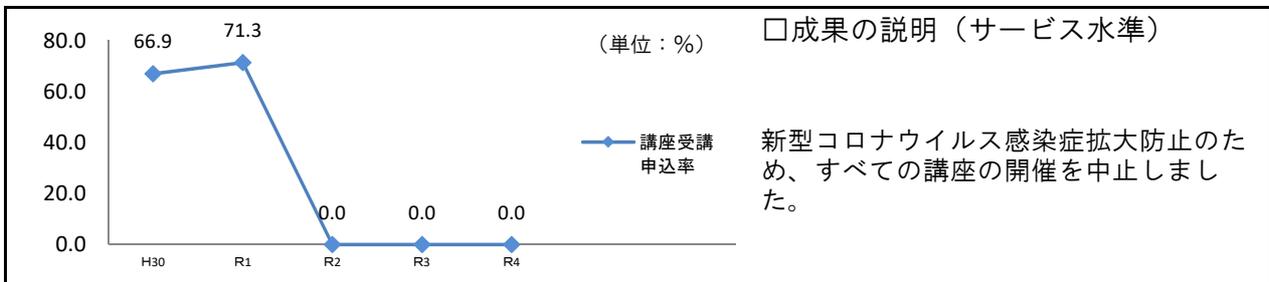
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

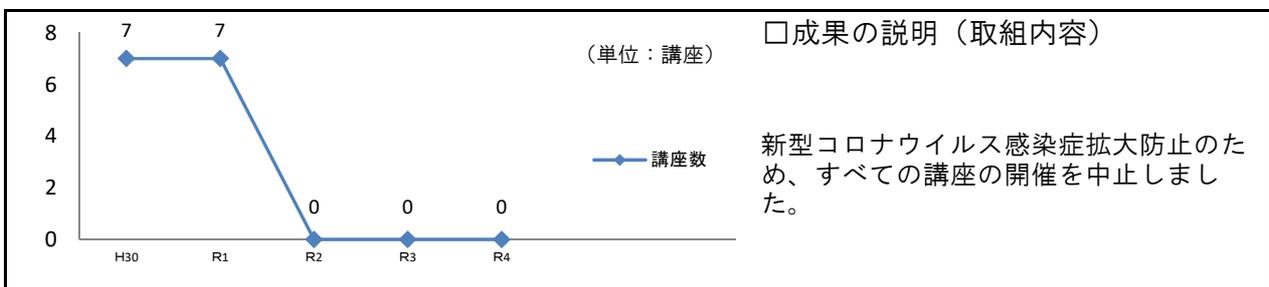
施策番号	5-2-1	実施計画No.	122	重点プロジェクトNo.	②-59	-	補助金No.	-	
事業名 (補助金名)	勤労者会館運営事業					課名	商工振興課		
事業内容	勤労者及びその家族の教養を高め、勤労者の地位向上及び福祉の増進を図り豊かな人間性を培うため、また就労を支援する講座を実施します。					事業開始年度	平成17年度		
						事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	講座受講申込率					現状値 (平成29年度)	61.3%		
現状と課題	今年度末に迎える勤労者会館の廃館を視野に入れた対応をしつつ、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全ての講座の開催を中止しました。								

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	63.0%	65.0%	66.0%	68.0%	70.0%
成果指標の実績値	66.9%	71.3%	-	-	-
達成率	106.2%	109.7%	-	-	-
決算額(千円)	770	770	-	-	-

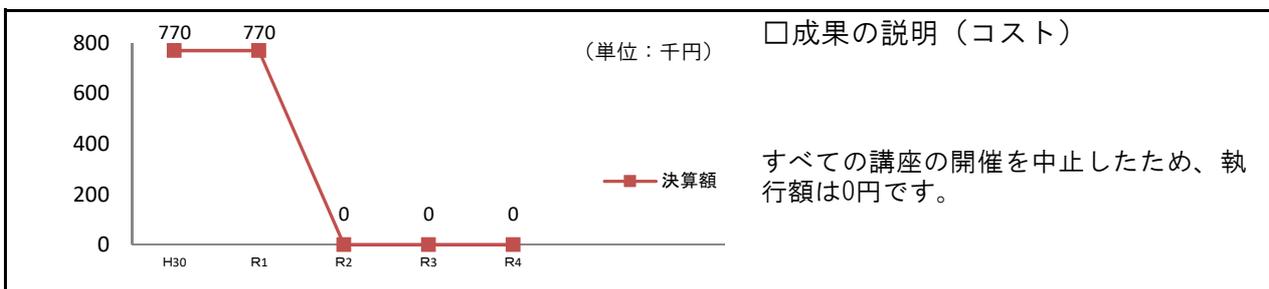
1 講座受講申込率



2 講座数の推移



3 決算額の推移



令和4年度の評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため貸館を中止したことにより、すべての講座の開催を中止したため、今年度の評価実績はありません。	
今後の方向性	見直し	令和4年度末で勤労者会館が廃館となることから、今後は勤労者向けの講座等に関しては、県との共催や他の関係機関との共催事業により実施していきます。

【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

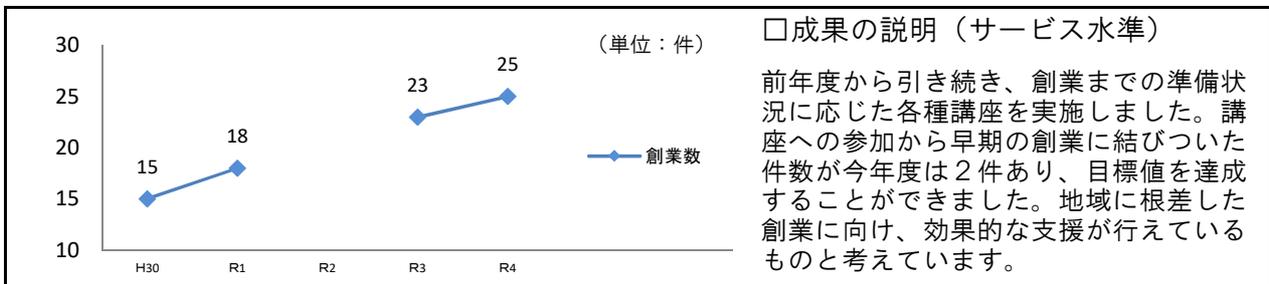
◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

施策番号	5-2-2	実施計画No.	123	重点プロジェクトNo.	②-60	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	新産業創出支援事業					課名	商工振興課	
事業内容	中小企業者の事業拡大や創業を考えている人材の育成を促進するため、創業に関するセミナーや地域に新しい価値を創造するビジネスプランのコンテストを実施します。					事業開始年度	平成27年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	市の特定創業支援事業「創業塾」を受けて起業した件数					現状値 (平成29年度)	11件	
現状と課題	既存産業の構造変化が進む中で新しい産業が期待されています。地域における新しい価値の創造や雇用の創出を促進するため、地域に根差した創業に対する継続した支援が必要です。							

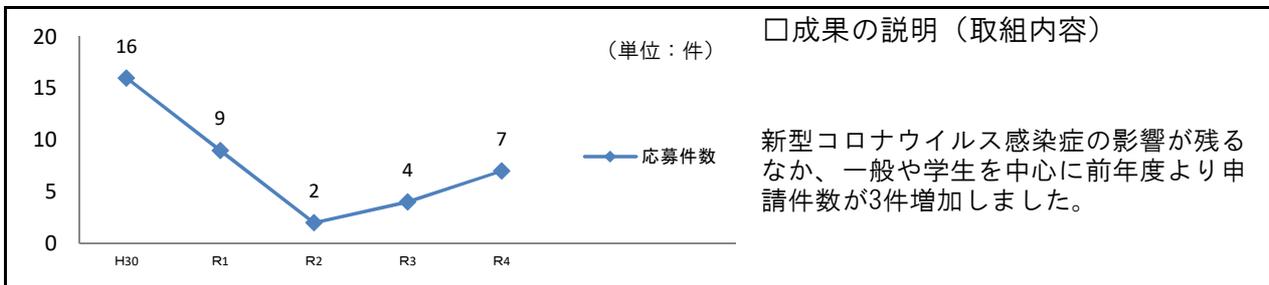
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	10件	12件	14件	16件	18件
成果指標の実績値	15件	18件	-	23件	25件
達成率	150.0%	150.0%	-	143.8%	138.9%
決算額(千円)	253	253	127	287	340

※ 令和3年度の「成果指標の実績値」については、錯誤のため20件から23件へ修正しました。

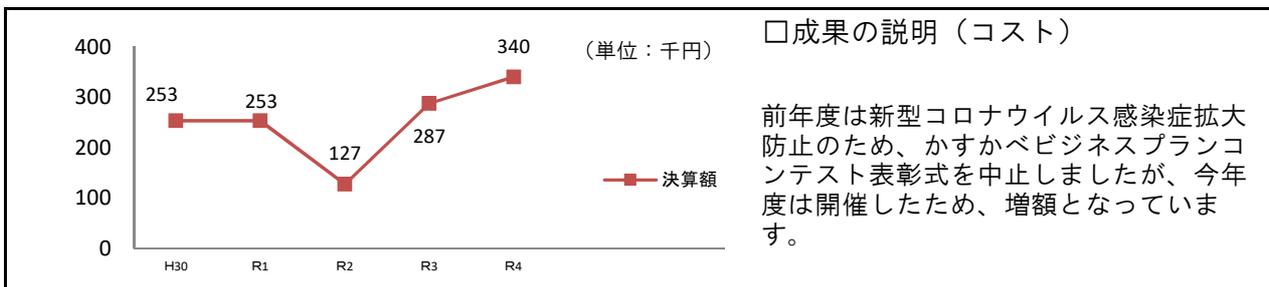
1 市の特定創業支援事業「創業塾」を受けて起業した件数 ※R3の数値について修正あり



2 かすかべビジネスプランコンテスト応募件数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から前年度開催を中止していたかすかべビジネスプランコンテスト表彰式について、感染対策を行いながら再開しました。また、昨年度に引き続き、かすかべベンチャー応援補助金の活用対象となる創業者を募集し、新たな地域産業と雇用の創出による地域活性化を図りました。	
今後の方向性	現状維持	引き続き、地域における新しい価値の創造や雇用の創出を促進するため、地域に根差した創業に対する支援のさらなる充実を図ります。また、セミナーなどについても、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じながら実施していきます。

【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

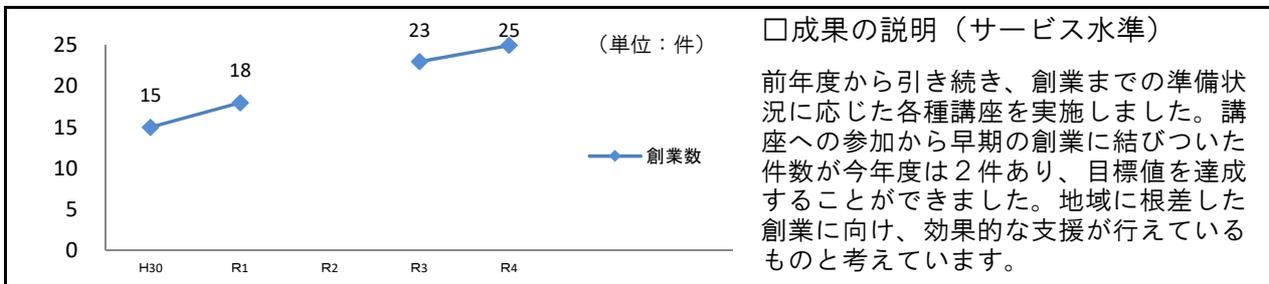
◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

施策番号	5-2-2	実施計画No.	124	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	58
事業名 (補助金名)	法人設立応援補助金					課名	商工振興課	
事業内容	市内への定着性、継続性の高い会社法人の設立を促進させ、地域経済の活性化や雇用の創出を図るため、市の「特定創業支援事業」による支援を受けた創業者を対象に登録免許税を補助します。					事業開始年度	平成29年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	市の特定創業支援事業「創業塾」を受けて起業した件数				現状値 (平成29年度)	11件		
現状と課題	わが国の新規開業率は欧米の半分程度にとどまり、中小企業数や従業員数は減少傾向にあります。地域における新しい価値の創造や雇用の創出を促進するため、地域に根差した創業に対し継続した支援を行う必要があります。							

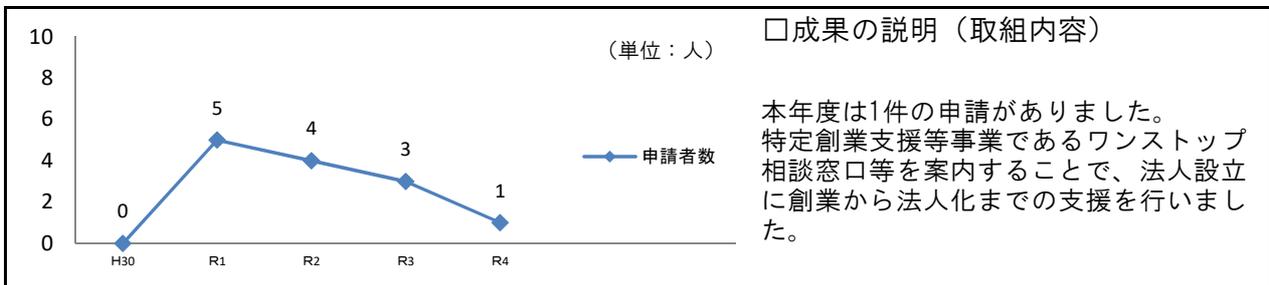
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	10件	12件	14件	16件	18件
成果指標の実績値	15件	18件	-	23件	25件
達成率	150.0%	150.0%	-	143.8%	138.9%
決算額(千円)	0	185	149	111	37

※ 令和3年度の「成果指標の実績値」については、錯誤のため20件から23件へ修正しました。

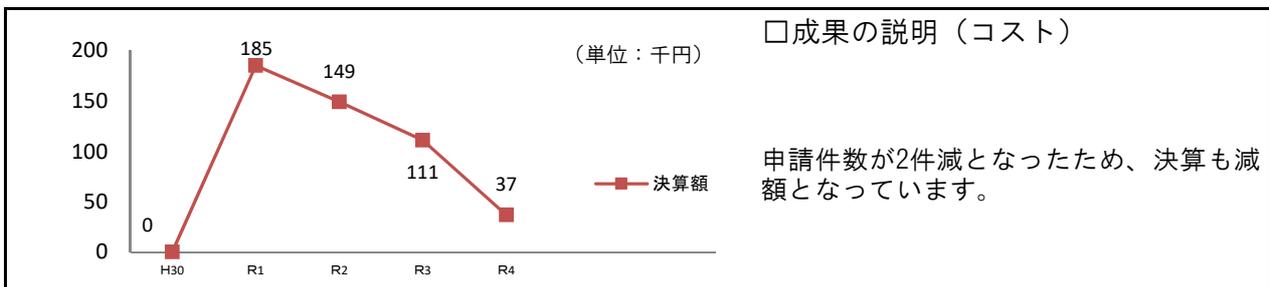
1 市の特定創業支援事業「創業塾」を受けて起業した件数 ※R3の数値について修正あり



2 補助金申請者数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	これまで、創業者を法人化につなげる支援が課題となっていました。昨年度に引き続き、本補助金の周知を行い、申請が1件ありました。また、本補助金について多く相談をいただきました。本補助金の周知により、創業希望者の発掘から創業、法人化までの一連の支援体制が確立されつつあります。	
今後の方向性	現状維持	本年度は、本補助金の周知に加え、特定創業支援等事業を案内したことにより、創業希望者の発掘から創業、法人化までの一連の支援体制が確立されつつあります。引き続き、地域での創業への機運の醸成、創業者の育成から法人化までの支援体制のブラッシュアップを図っていきます。

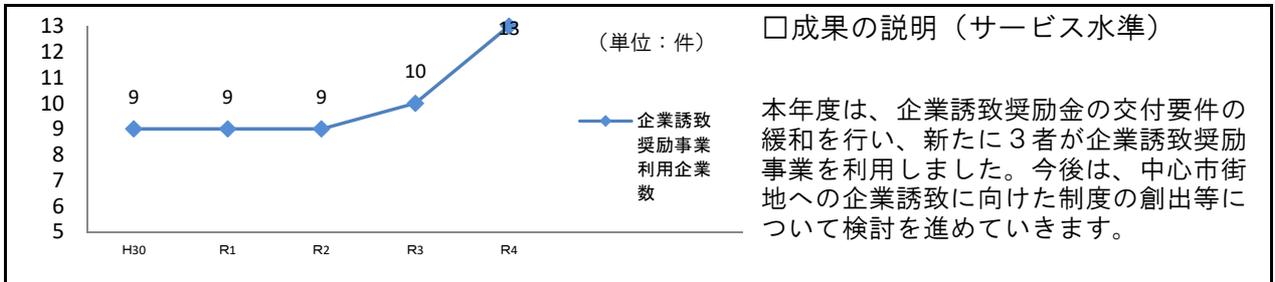
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

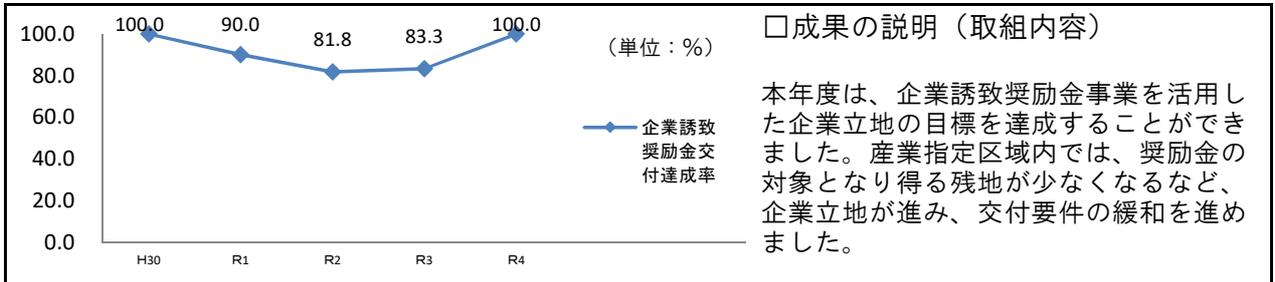
施策番号	5-2-2	実施計画No.	125	重点プロジェクトNo.	②-61	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	企業誘致推進事業					課名	商工振興課	
事業内容	庄和I.C.周辺部を中心とした産業指定区域に工場等を新設する企業に対して奨励措置を講じることにより、企業誘致を推進し、産業の振興および雇用機会の拡大を図ります。					事業開始年度	平成15年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	企業誘致奨励事業を活用して立地した企業の件数				現状値 (平成29年度)	9件		
現状と課題	産業指定区域内への企業誘致については、奨励金の対象となり得る残地が少なくなり、企業進出が鈍化しているほか、中心市街地では、事業者の減少傾向が続いています。これらに対応するため、奨励金の交付要件の見直しを行いました。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	9件	10件	11件	12件	13件
成果指標の実績値	9件	9件	9件	10件	13件
達成率	100.0%	90.0%	81.8%	83.3%	100.0%
決算額(千円)	17,538	14,747	327	2,317	32,827

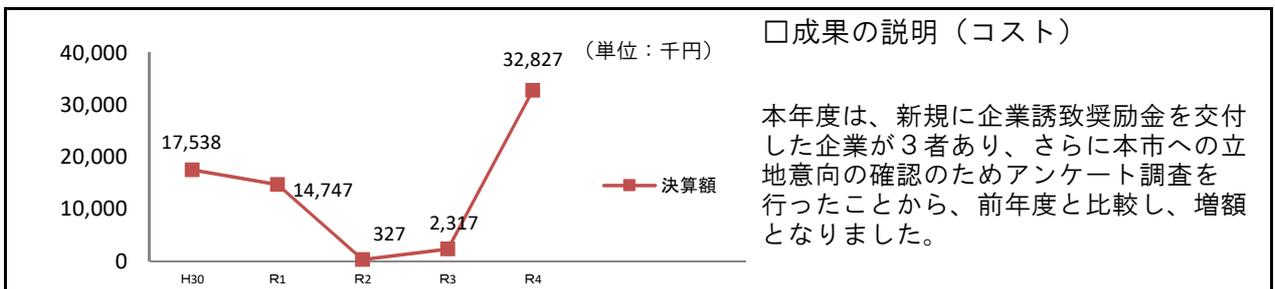
1 企業誘致奨励事業を活用して立地した企業の件数



2 企業誘致奨励金交付達成率の推移



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度も、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により、企業訪問等は実施できませんでしたが、企業誘致奨励金の交付要件緩和を進め、さらなる、産業の振興および雇用機会の拡大を図ることができました。また、さらなる企業立地に向け、昨今の企業活動の変化を捉えるためのアンケート調査を実施するなど、企業誘致事務の推進を図ることができました。	
今後の方向性	拡充	企業誘致奨励金の交付要件緩和を進めることができ、新型コロナウイルス感染症の影響も落ち着きつつあることから、次年度は企業訪問を行うことも検討し、企業誘致の推進、産業の振興および雇用機会の拡大を図っていきます。

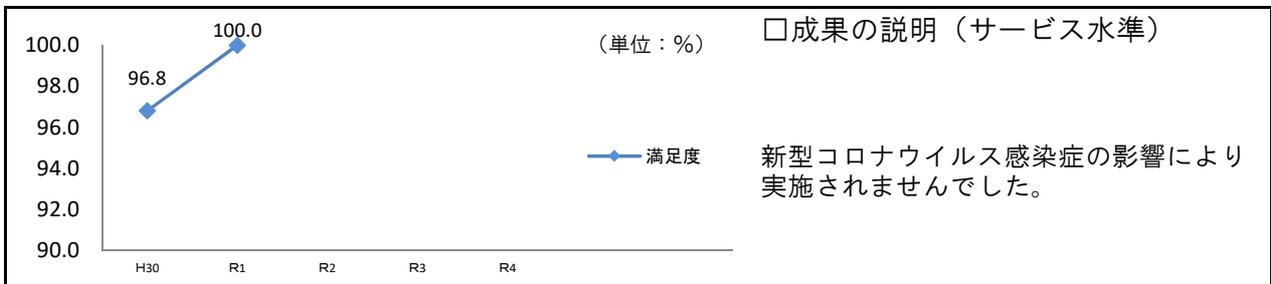
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

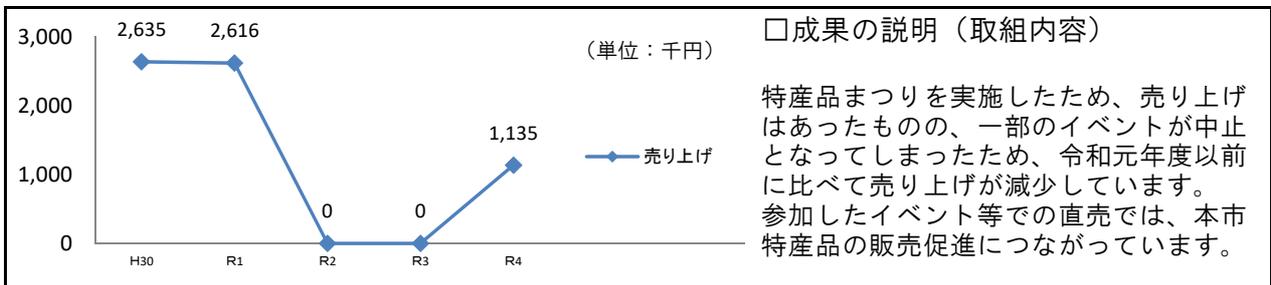
施策番号	5-3-1	実施計画No.	126	重点プロジェクトNo.	②-62	-	補助金No.	51
事業名 (補助金名)	特産品協議会補助金					課名	商工振興課	
事業内容	市内の特産品の普及育成および販路拡大を図るため、春日部市特産品協議会が実施する事業に対し補助を行います。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	かすかべ企業シェア研修参加者の満足度				現状値 (平成29年度)	100.0%		
現状と課題	外国人来訪者の増加により、市内特産品への関心が高まっており、外国人をターゲットにしたPRを展開する必要があります。これをターゲットにしたPRにより、特産品の振興・販売促進、経営基盤の強化が必要です。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	88.5%	88.9%	89.3%	89.7%	90.0%
成果指標の実績値	96.8%	100.0%	-	-	-
達成率	109.4%	112.5%	-	-	-
決算額(千円)	1,071	1,071	804	95	931

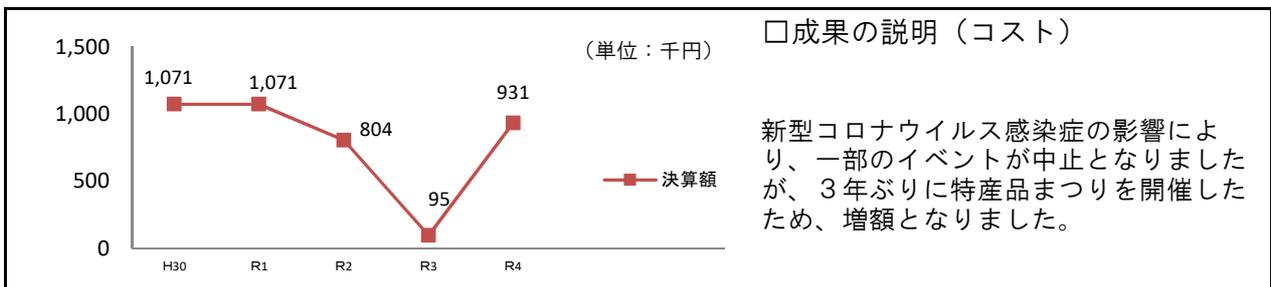
1 かすかべ企業シェア研修参加者の満足度



2 展示会・催事等売り上げ



3 決算額の推移



令和4年度の評価	イベントの中止により、特産品の売り上げやPRの場が減っていることから、販売促進や新たなPR方法についての検討、支援が必要と考えます。	
今後の方向性	現状維持	引き続き、イベントでの実演販売や物産展示場によるPRに取り組むとともに、同協議会とともに、新たな販路拡大の方法やPR方法について検討します。

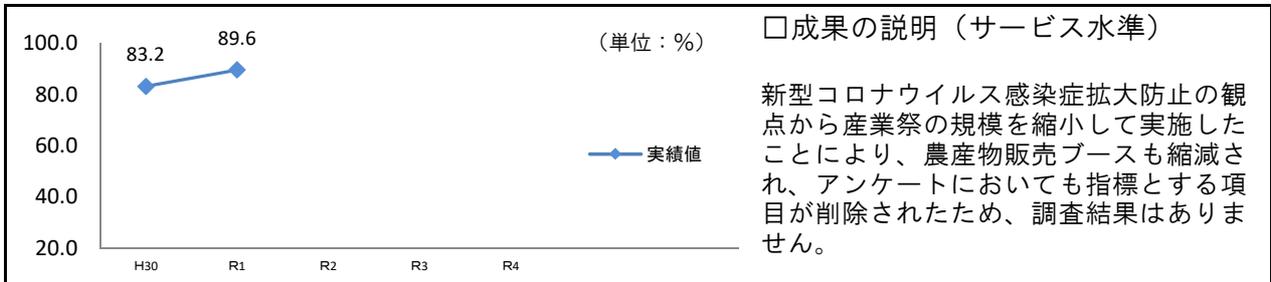
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

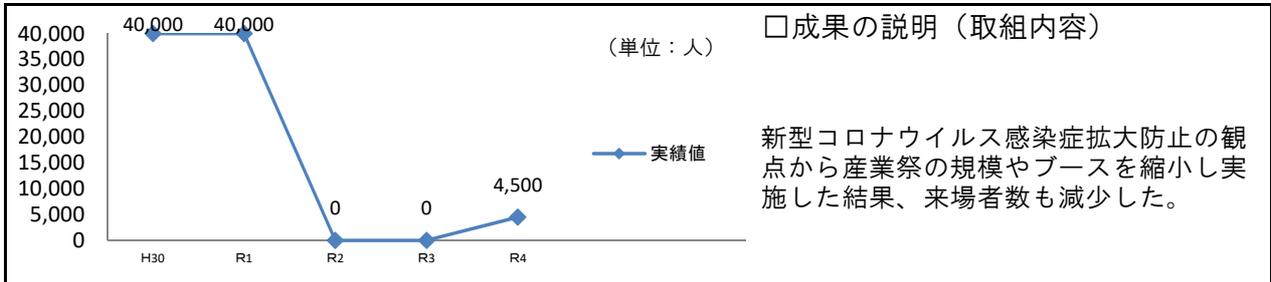
施策番号	5-3-1	実施計画No.	127	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	71	
事業名 (補助金名)	産業祭実施事業補助金					課名	商工振興課		
事業内容	農業・商業の関心を高め地産地消を推進するため、産業祭の開催に伴う事業に対し補助を行います。					事業開始年度	平成17年度		
						事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	地元農産物を購入している市民の割合					現状値 (平成28年度)	62.8%		
現状と課題	春日部市庄和地域産業祭は、市、商工会、農協並びに協力団体で実行委員会を設けイベントを行っています。地域の産業活性化に寄与するようイベントのあり方や効果を検討していく必要があります。								

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	63.0%	66.0%	70.0%	73.0%	75.0%
成果指標の実績値	83.2%	89.6%	-	-	-
達成率	132.1%	135.8%	-	-	-
決算額(千円)	1,260	1,260	-	-	1,384

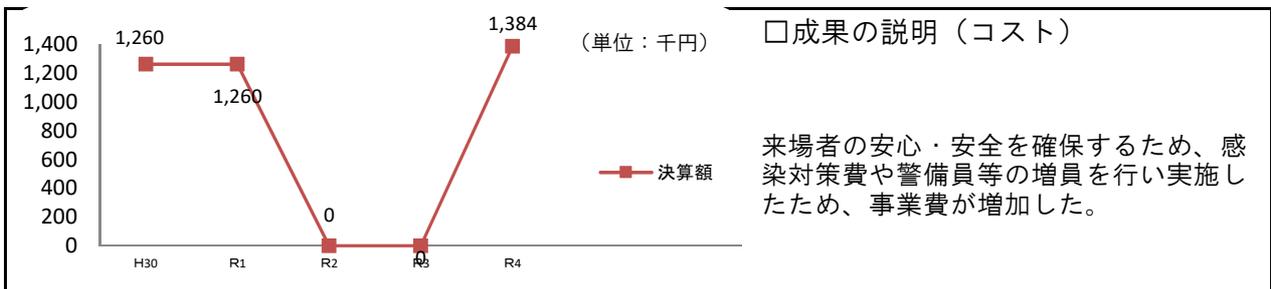
1 地元農産物を購入している市民の割合



2 産業祭来場者数



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	本年度の産業祭は、感染症拡大防止の観点から規模やブース数などを縮小して実施したが、4,500名の老若男女が来場している。特に地元の農産物販売ブースには新鮮な朝採り野菜を求め、多くの方が購入している姿が見られたため、一定の成果があったと考えます。	
今後の 方向性	現状維持	産業祭の実施により、地域の産業活性化及び地産地消が推進されていることから、引き続き関係団体と連携を図りながら実施していきます。

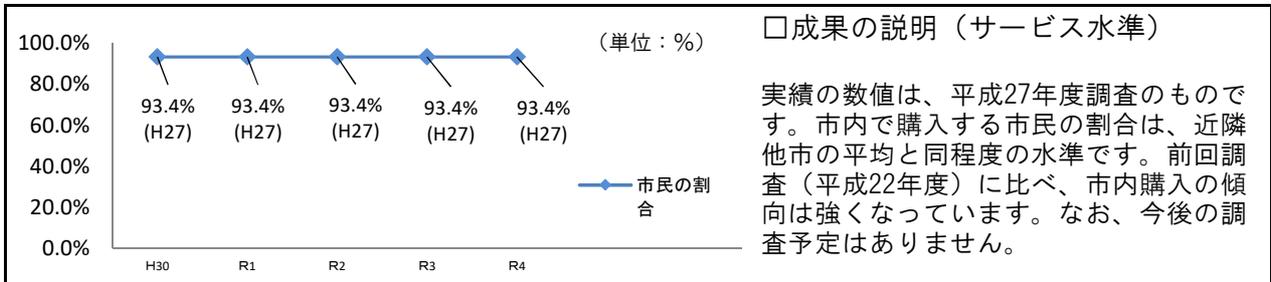
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

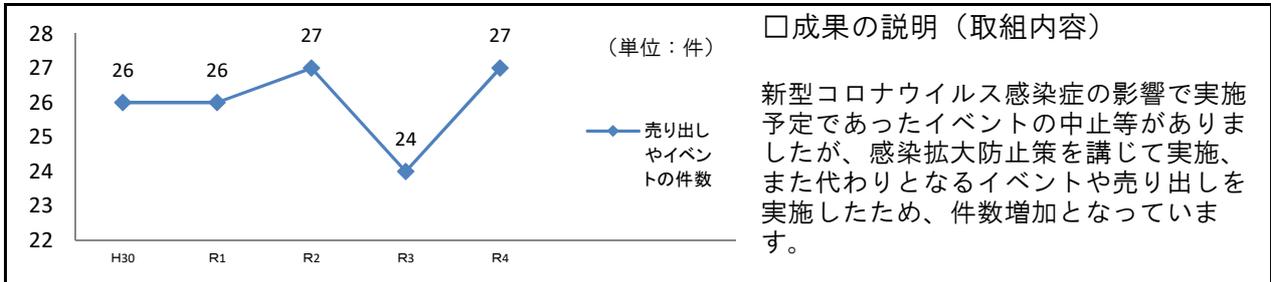
施策番号	5-3-2	実施計画No.	128	重点プロジェクトNo.	②-63	-	補助金No.	52
事業名 (補助金名)	商店街活性化推進事業費補助金					課名	商工振興課	
事業内容	商店街の環境整備および活性化を図るため、各商店街等が実施する共同事業に対し補助を行います。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	食品・飲料や日用・家庭雑貨を主に市内で購入する市民の割合 (埼玉県広域消費動向調査)				現状値 (平成29年度)	93.4% (平成27年度)		
現状と課題	地元商店街では、駐車場の整備やバリアフリー化など、安心して買い物を楽しんでいただけるための環境づくりが求められています。また、イベント等の開催により、その魅力を発信し、集客を図っていくことも必要です。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	93.4%	93.4%	94.0%	94.0%	94.0%
成果指標の実績値	-	-	-	-	-
達成率	-	-	-	-	-
決算額(千円)	10,162	17,143	7,420	7,531	8,090

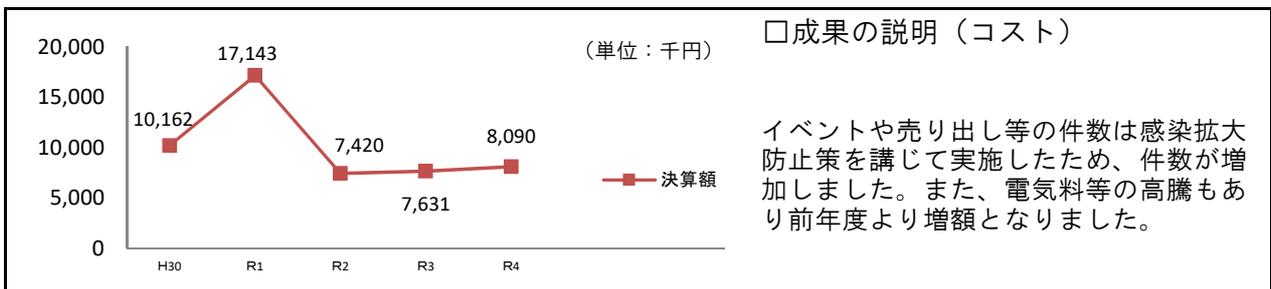
1 食品・飲料や日用・家庭雑貨を主に市内で購入する市民の割合（埼玉県広域消費動向調査）



2 商店街が実施するイベントや売り出しの件数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	各商店会では、新型コロナウイルス感染症の影響で、実施予定であったイベントの中止等がありましたが、感染拡大防止策を講じて実施、また代替りとなるイベントや売り出し等の事業を充実してきました。しかし大幅な集客には至っていない現状です。	
今後の方向性	現状維持	昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した事業等、消費者が安心して利用できるよう支援するなど、これからの商店街のあり方を模索し、支援していきます

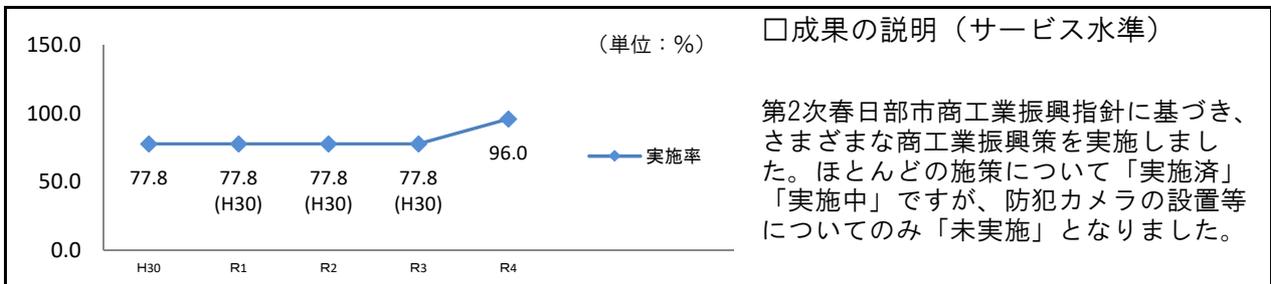
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

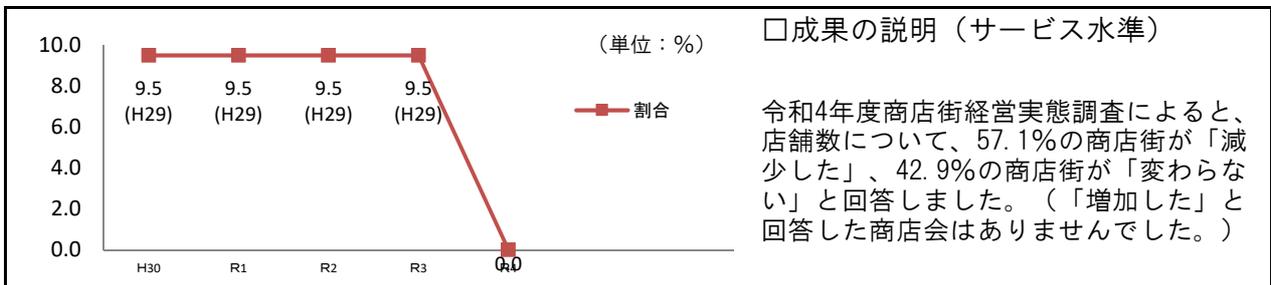
施策番号	5-3-2	実施計画No.	129	重点プロジェクトNo.	②-64	-	補助金No.	-	
事業名 (補助金名)	商工振興事業					課名	商工振興課		
事業内容	市内商工業の育成と振興を図るため、関係者及び有識者による商工振興委員会において調査・研究を行い、施策に反映させます。					事業開始年度	平成17年度		
						事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	第2次春日部市商工業振興指針施策実施率					現状値 (平成29年度)	—		
現状と課題	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、市内事業者を取り巻く環境は変化してきています。市内の商工業を支える中小企業・小規模事業者、個人事業者に対する緊急的かつ効果的な支援が必要です。								

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	70.0%	77.5%	85.0%	92.5%	100.0%
成果指標の実績値	77.8%	—	—	—	96.0%
達成率	111.1%	—	—	—	96.0%
決算額(千円)	2,427	780	3,770	283	612

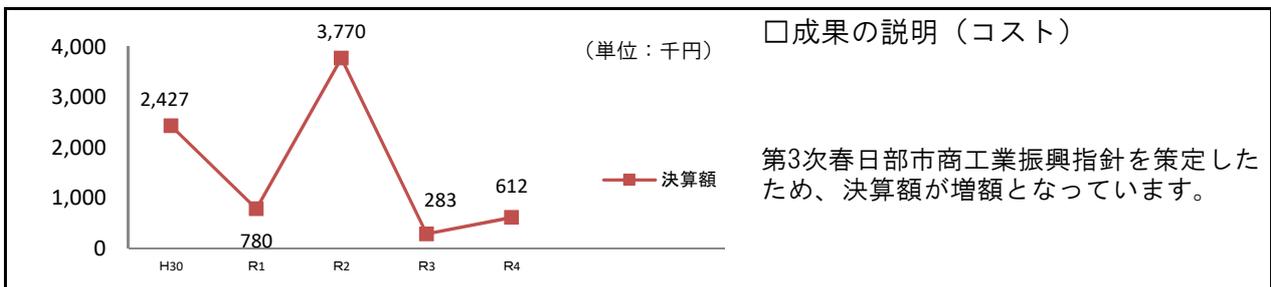
1 第2次春日部市商工業振興指針施策実施率



2 店舗数が増加傾向にある商店街の割合（商店街経営実態調査）



3 決算額の推移



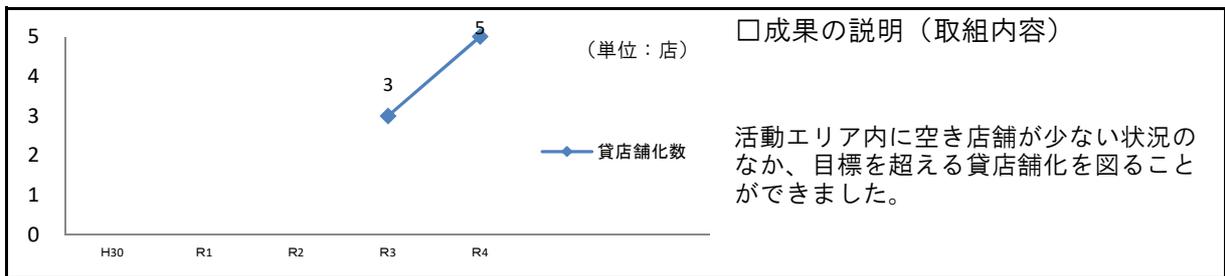
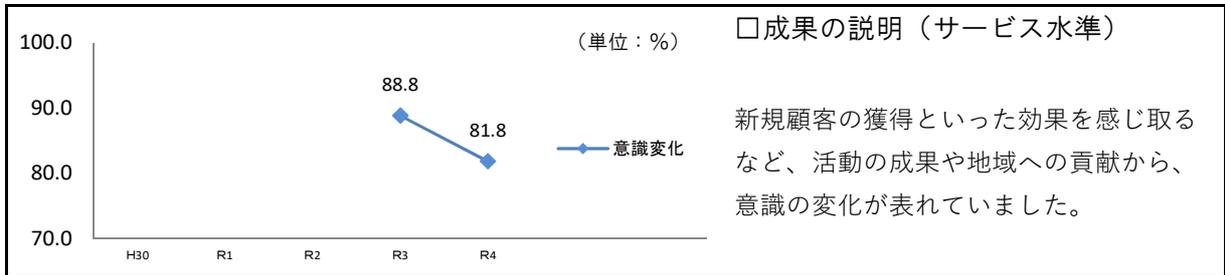
令和4年度の 評価	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、市内の経済活動が著しく停滞する事態に陥り、様々な支援策を実施しましたが、依然として市内の事業者は厳しい状況が続いています。また、その状況を踏まえて第3次春日部市商工業振興指針を策定しました。	
今後の 方向性	現状維持	第3次春日部市商工業振興指針がスタートするため、引き続き、市内商工業の振興に向けた調査・研究を行い、有効な商工業振興施策を実施していきます。

【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

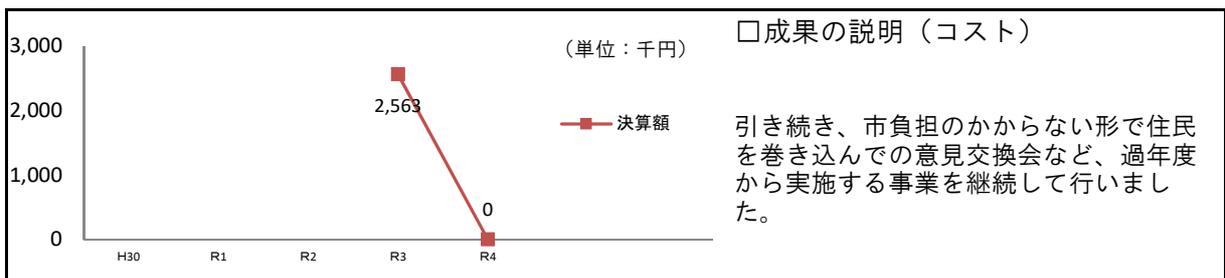
◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

施策番号	5-3-2	実施計画No.	130	重点プロジェクトNo.	②-65	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	春日部市NEXT商店街プロジェクト事業					課名	商工振興課	
事業内容	次世代が誇りを持てる持続可能な商店街を形成することを目的に、危機感が強く意欲の高い商店街に外部専門家を派遣し、商店街の魅力を高めるための取組を支援します。					事業開始年度	令和3年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	プロジェクト事業に参加する商業者の意識変化					現状値 (令和2年度)	79.0%	
現状と課題	新型コロナウイルス感染症の影響から、イベント等が中止となるなど、計画が一部変更となりましたが、新たな事業の準備を行うなど、積極的な展開が行われました。他の商店街に対し広域的に波及効果がある支援を継続することが必要です。							
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
成果指標の目標値	-	-	-	80.0%	81.0%			
成果指標の実績値	-	-	-	88.8%	81.8%			
達成率	-	-	-	111.0%	101.0%			
決算額(千円)	-	-	-	2,563	-			

1 プロジェクト事業に参加する商業者の意識変化



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	住民との意見交換会や個店のスキルアップにつながる事業を実施し、商店街の事業を展開し波及効果を得るための支援を継続的に行うため、計画立案などの準備を行いました。	
今後の 方向性	現状維持	事業に参加する商店街を募り、専門家の指導・助言を受けながら、人材育成と商店街の魅力を高めていく方法を検討します。

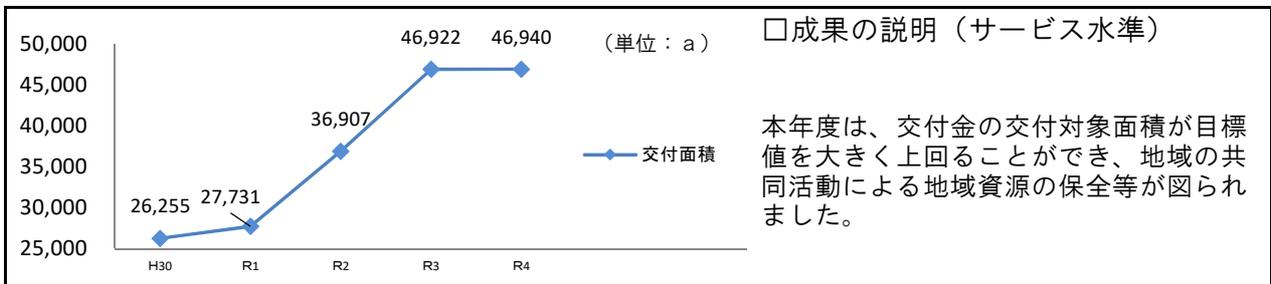
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

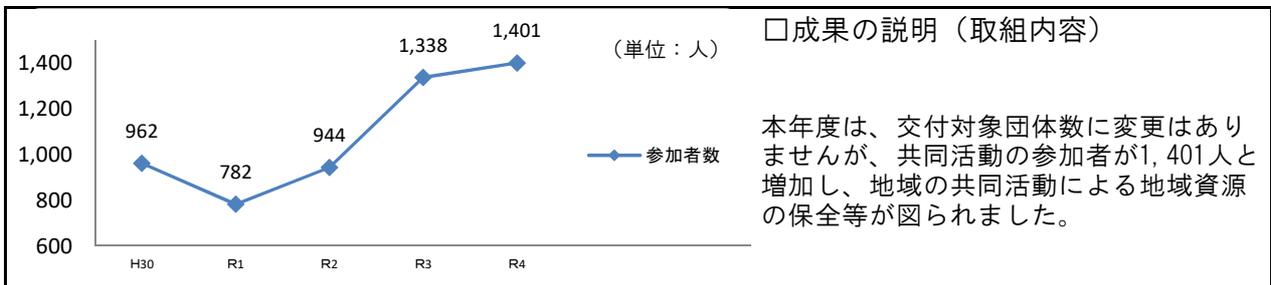
施策番号	5-4-1	実施計画No.	131	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	多面的機能支払交付金					課名	農業振興課	
事業内容	農業や農地の持つ多面的機能の発揮を推進するため、農地法面の草刈り、水路の泥上げ、農道の路面維持など基礎的な地域の共同活動に対して支援します。					事業開始年度	平成26年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	多面的機能支払交付金の交付対象面積				現状値 (平成29年度)	23,392a		
現状と課題	農村地域の過疎化、高齢化、混住化等の進行に伴う集落機能の低下により、地域の共同活動による多面的機能の発揮に支障が生じつつあります。また、地域の共同活動の困難化に伴い、農地、水路、農道等の地域資源の保安全管理に対する担い手農家の負担の増加も問題となっています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	24,000a	25,000a	26,000a	27,000a	28,000a
成果指標の実績値	26,255a	27,731a	36,907a	46,922a	46,940a
達成率	109.4%	110.9%	142.0%	173.8%	167.6%
決算額(千円)	18,655	22,001	24,099	31,236	30,532

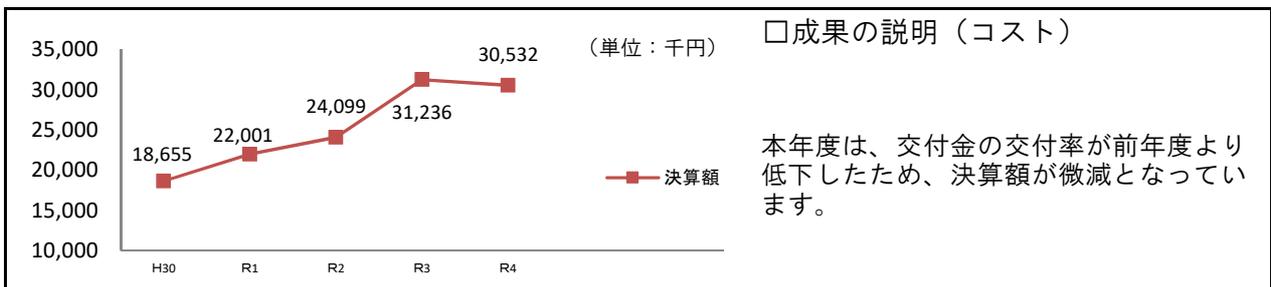
1 多面的機能支払交付金の交付対象面積



2 多面的機能支払交付金の共同活動参加者数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は、交付対象面積、共同活動参加者が増加していることから、農用地、水路、農道等の地域資源の保全と向上が図られていると考えられます。	
今後の方向性	現状維持	農村地域の高齢化により、農地や水路の維持管理の低下などを心配する地域において、多面的機能支払交付金の活用を検討している団体があるため、引き続き、県や土地改良区と連携を図りながら、事業の推進に取り組んでいきます。

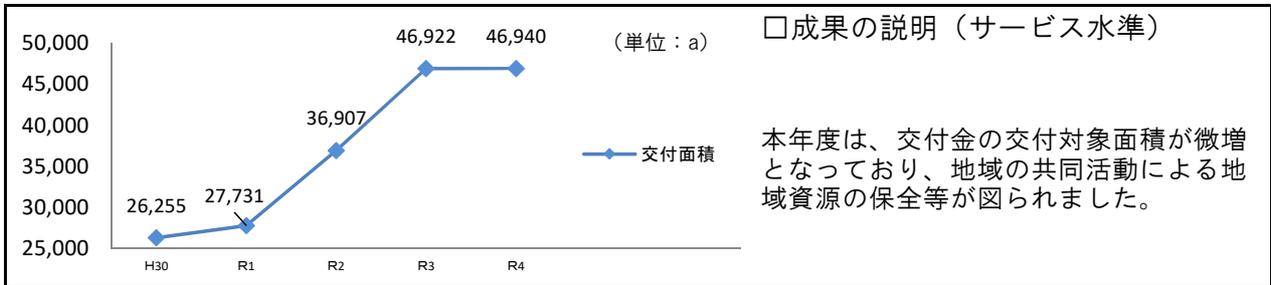
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

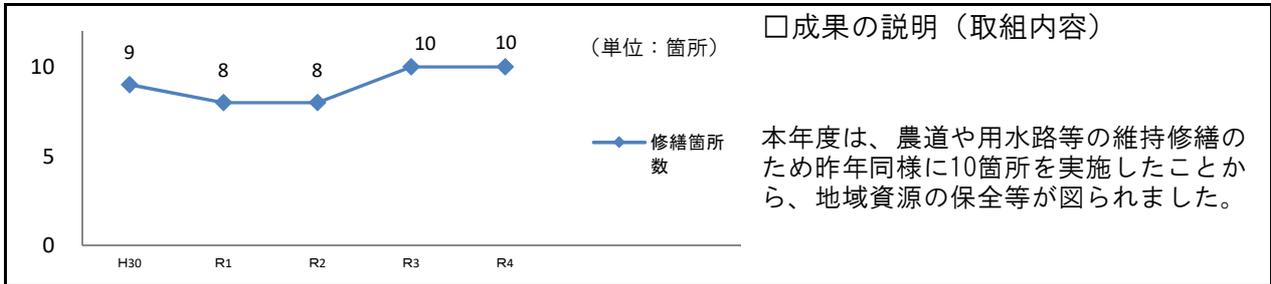
施策番号	5-4-1	実施計画No.	132	重点プロジェクトNo.	③-102	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	農地事務					課名	農業振興課	
事業内容	農業用地及び農道や用排水路等の管理、維持管理補修を行うとともに、県や改良区が管理する土地改良施設に対し経費を負担し、健全な農地の保全を図ります。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	多面的機能支払交付金の交付対象面積					現状値 (平成29年度)	23,392a	
現状と課題	農業施設の老朽化や農業従事者の高齢化に伴い農業施設等の維持管理や農地保全を図るための保全管理が増加しています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	24,000a	25,000a	26,000a	27,000a	28,000a
成果指標の実績値	26,255a	27,731a	36,907a	46,922a	46,940a
達成率	109.4%	110.9%	142.0%	173.8%	167.6%
決算額(千円)	35,091	40,762	39,891	47,662	47,000

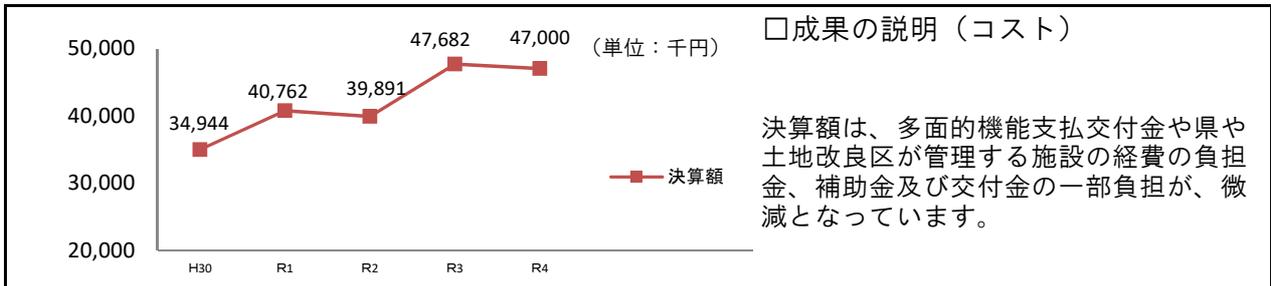
1 多面的機能支払交付金の交付対象面積



2 施設維持修繕箇所数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	多面的機能支払交付金の活用や県や土地改良区が管理する施設の経費の一部負担及び農業施設の維持修繕を実施したことにより、農業用地及び用排水路等の保全が図られたものと考えています。	
今後の方向性	現状維持	農業施設の老朽化が進み、施設の修繕、県や土地改良区への経費の負担等は増加傾向となっており、引き続き、地域住民や県、土地改良等と連携を図りながら、農業用地及び用排水路等の保全に取り組んでいきます。

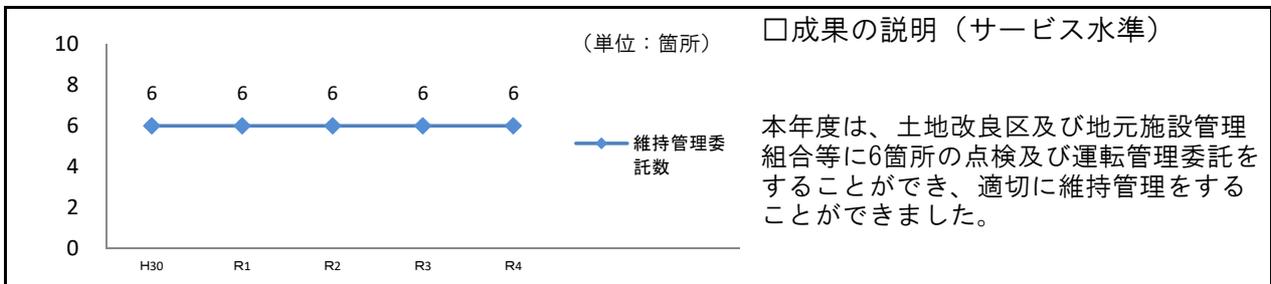
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

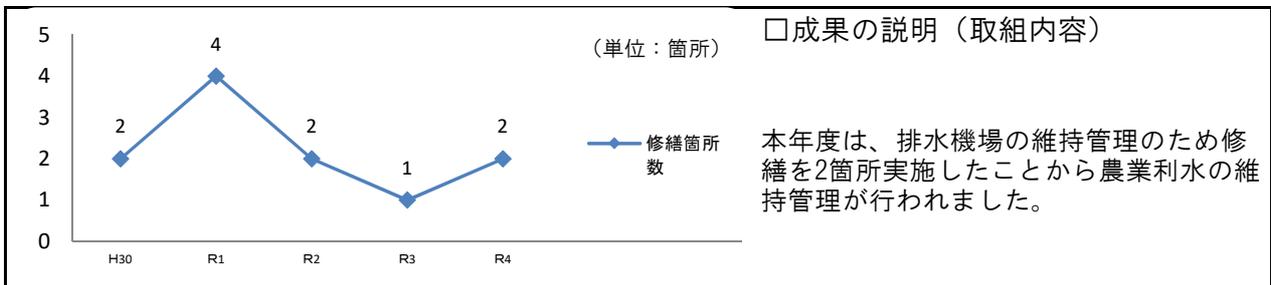
施策番号	5-4-1	実施計画No.	133	重点プロジェクトNo.	③-103	-	補助金No.	-	
事業名 (補助金名)	農業用揚・排水機場維持管理事業					課名	農業振興課		
事業内容	農業用揚・排水場を維持管理するとともに協定書に基づき土地改良区及び地元施設管理組合に点検および運転管理を実施することにより、農業利水施設の維持管理をするものです。					事業開始年度	平成17年度		
						事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	揚・排水機場の維持管理委託数					現状値 (平成29年度)	6箇所		
現状と課題	農業用揚・排水場施設などの老朽化が進み、農業生産基盤の整備や維持管理が必要不可欠であり、施設の更新が求められています。								

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	6箇所	6箇所	6箇所	6箇所	6箇所
成果指標の実績値	6箇所	6箇所	6箇所	6箇所	6箇所
達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
決算額(千円)	13,048	11,612	19,572	19,050	33,058

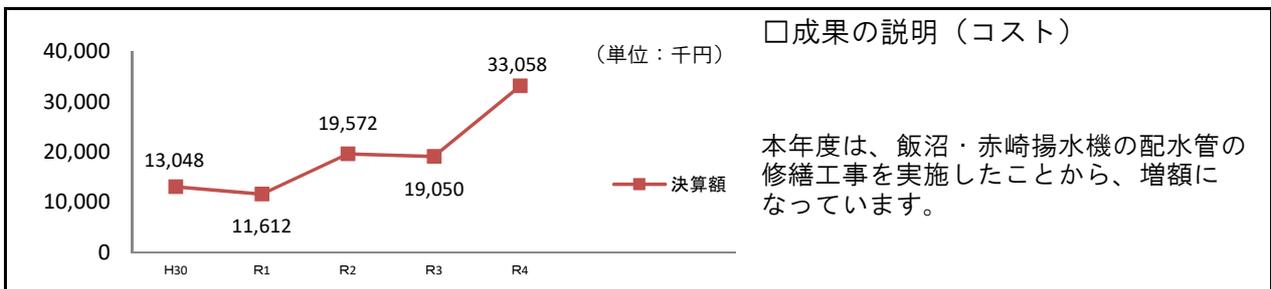
1 揚・排水機場の維持管理委託数



2 施設修繕箇所



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は、農業用揚、排水機場の維持管理を土地改良区、地元施設管理組合に委託することや施設修繕工事などの実施により、農業利水施設が適切に維持管理されたものと考えています。	
今後の方向性	現状維持	農業生産基盤の整備や維持管理が必要不可欠であるため、引き続き、土地改良区や地元施設管理組合と連携を図りながら、農業用揚・排水機場の維持管理に取り組み、農業生産性の向上を図っていきます。

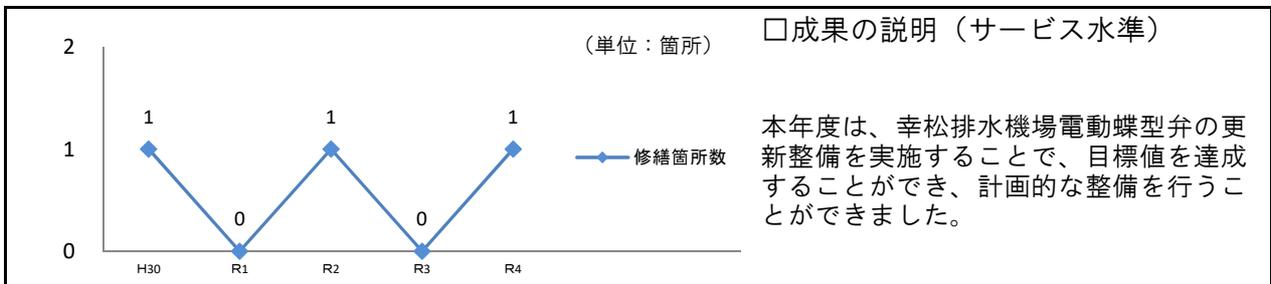
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

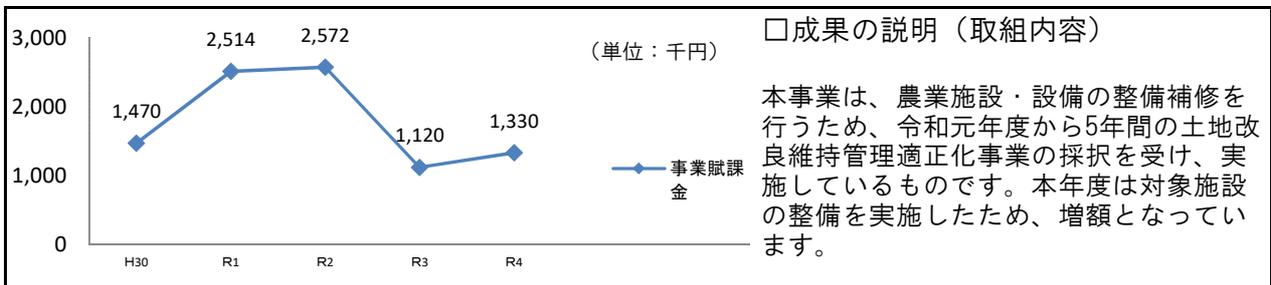
施策番号	5-4-1	実施計画No.	134	重点プロジェクトNo.	③-104	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	農業用施設適正化事業					課名	農業振興課	
事業内容	土地改良事業で整備された施設、設備の整備補修を土地改良施設維持管理適正化事業の採択を受け、施設の機能保持と耐用年数の確保を目的とする計画的な整備及び維持管理費の平準化を図るものです。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	農業用施設の補修箇所数				現状値 (平成29年度)	1箇所		
現状と課題	土地改良施設は、老朽化に伴い施設の整備補修が必要不可欠となっています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所
成果指標の実績値	1箇所	0箇所	1箇所	0箇所	1箇所
達成率	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%
決算額(千円)	14,268	2,514	7,247	1,120	17,522

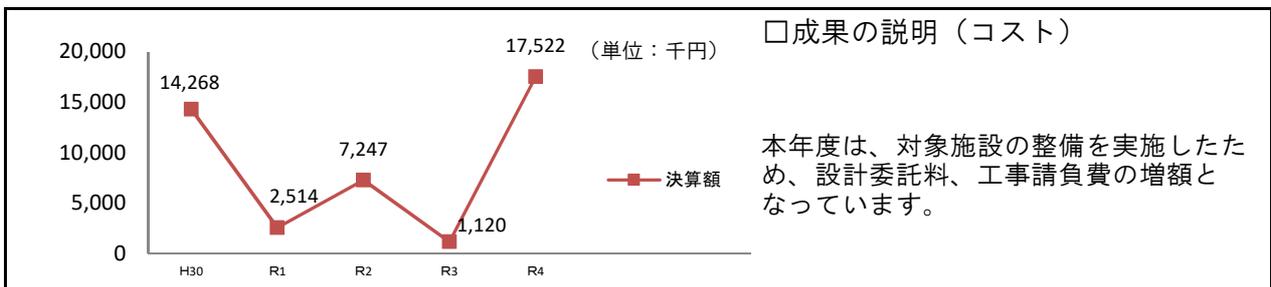
1 農業用施設の補修箇所数



2 事業賦課金



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は、電動蝶型弁の整備を実施しており、計画的な整備及び維持管理費の平準化が図られていると考えています。	
今後の方向性	現状維持	令和元年度から令和5年度までの整備補修実施計画による整備補修が的確に実施できるように関係機関と連携を図り、引き続き本事業による農業施設の計画的な整備及び維持管理費の平準化を図っていきます。

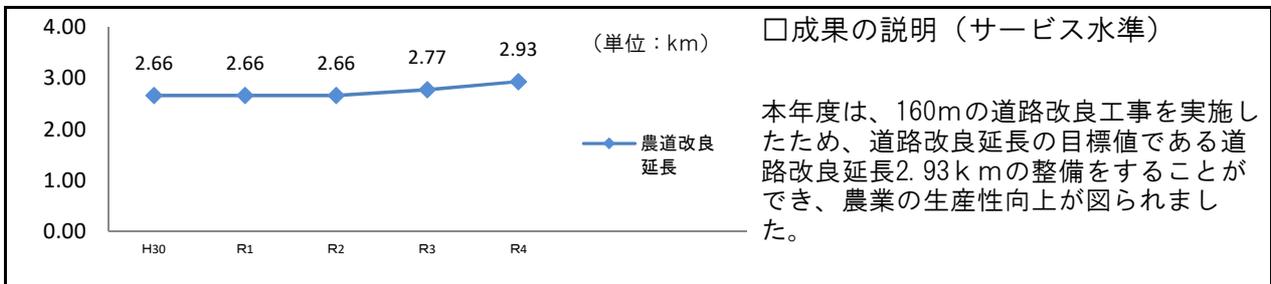
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

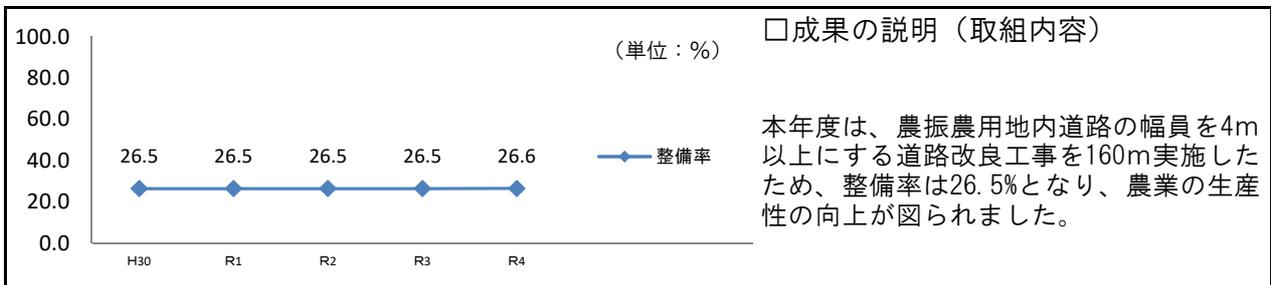
施策番号	5-4-1	実施計画No.	135	重点プロジェクトNo.	③-105	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	農道整備事業					課名	農業振興課	
事業内容	大型機械の搬入や運行を良好にして農業の生産性の向上を図るため、農道を整備をするものです。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	農振農用地内の道路改良延長					現状値 (平成29年度)	2.39 km	
現状と課題	農業機械の搬入・運行を良好にし、農地利用の集積化、作付形態の改善及び生産性の向上を図るにあたり、農道が狭あいであることが阻害要件の1つとなっています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	2.66km	2.78km	3.20km	3.47km	3.89km
成果指標の実績値	2.66km	2.66km	2.66km	2.77km	2.93km
達成率	100.0%	95.7%	83.1%	79.8%	75.3%
決算額(千円)	18,284	5,986	7,150	13,421	14,135

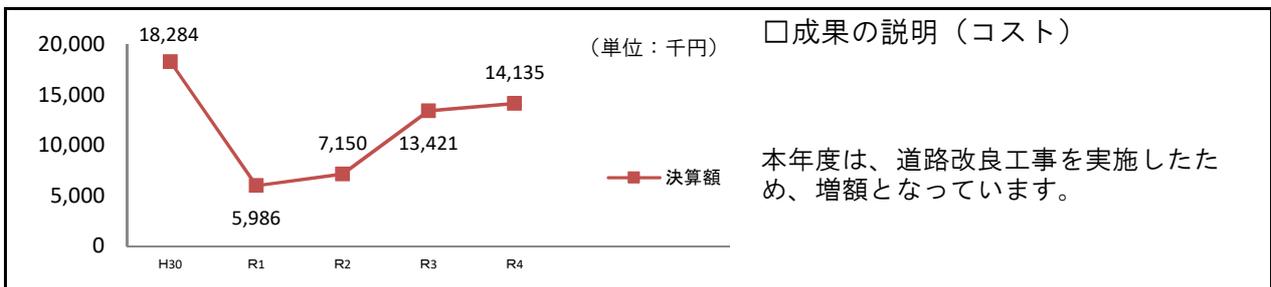
1 農振農用地内の道路改良延長



2 農振農用地内道路（幹線を除く）の幅員4m以上整備率



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は、道路改良工事を実施したことで、実施路線地区においては、大型機械の搬入や運行が可能となり、農業の生産性の向上が図られたものと考えています。	
今後の方向性	現状維持	道路改良工事を実施することにより、農業基盤が整備され、農業の生産性の向上など、農業の振興が図られるため、引き続き計画的に事業を実施していきます。

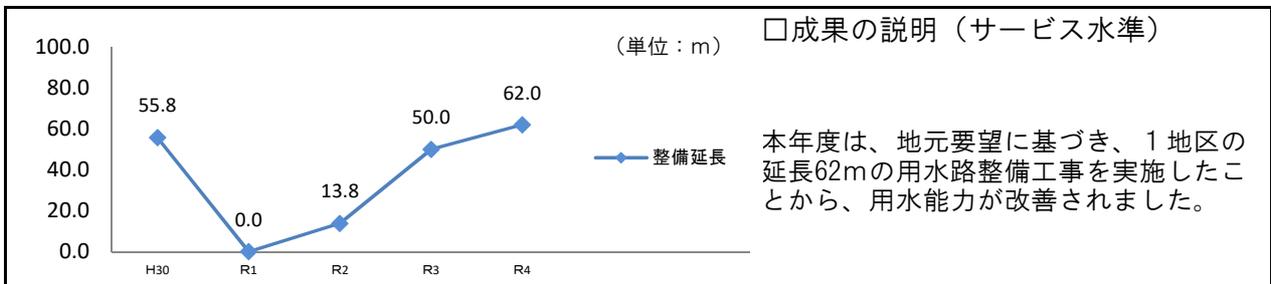
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

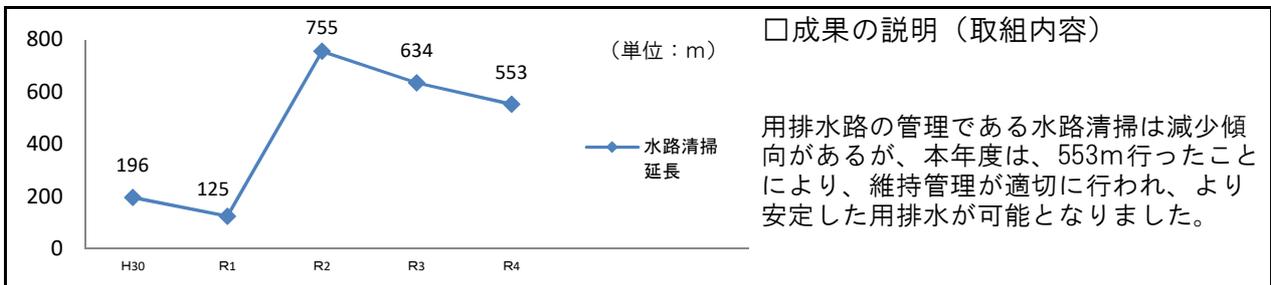
施策番号	5-4-1	実施計画No.	136	重点プロジェクトNo.	③-106	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	用排水路整備事業					課名	農業振興課	
事業内容	農業用用水路を管理するとともに、乾田化及び用水の供給のために用排水路を整備するものです。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	排水路整備延長				現状値 (平成29年度)	1地区		
現状と課題	用排水路の整備により、農業生産基盤と農業の振興が図られるため、計画的な整備や維持管理を実施する必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	1地区	1地区	1地区	1地区	1地区
成果指標の実績値	1地区	1地区	1地区	1地区	1地区
達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
決算額(千円)	6,942	11,434	6,266	10,077	7,576

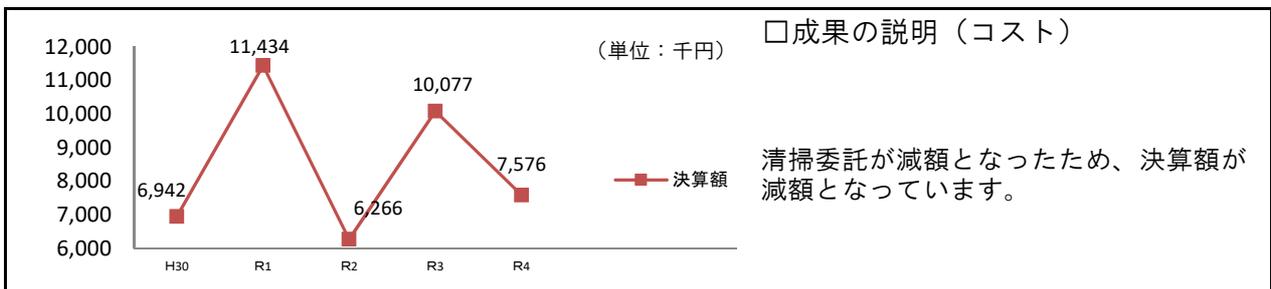
1 排水路整備延長



2 水路清掃延長



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は、用水路整備や水路清掃による維持管理が実施されたことにより、農業生産基盤の整備が図られ、用排水路の安定供給に繋がったものと考えています。	
今後の方向性	現状維持	用排水路の整備により、農業基盤が整備され、農業の生産性の向上など、農業の振興が図られるため、引き続き計画的に事業を実施していきます。

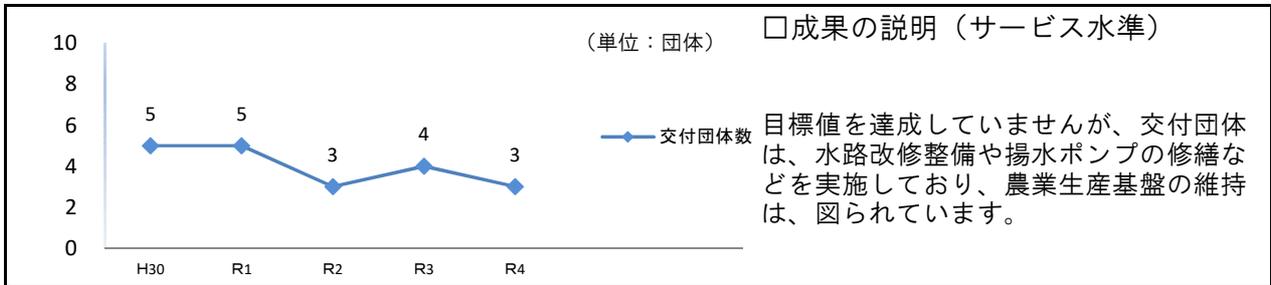
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

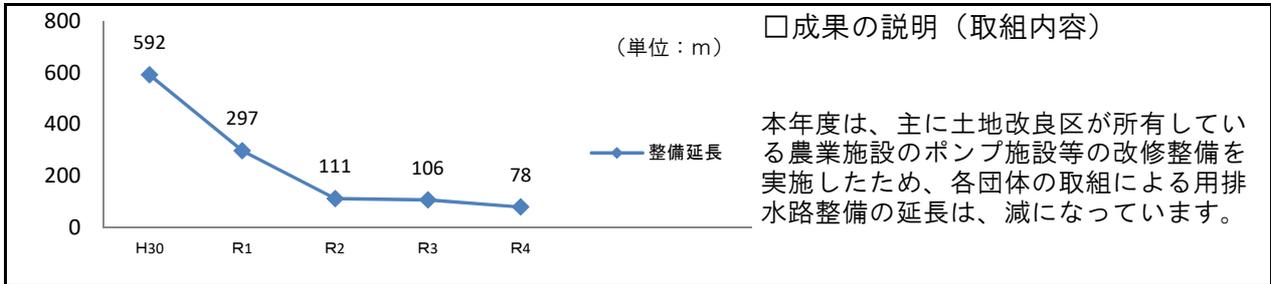
施策番号	5-4-1	実施計画No.	137	重点プロジェクトNo.	③-107	-	補助金No.	61
事業名 (補助金名)	土地改良事業補助金					課名	農業振興課	
事業内容	農家の負担軽減や生産基盤の維持と農業振興の啓発を図るため、用排水路やポンプ施設等の農業生産基盤を改修整備する土地改良区や農家組合等に対し、補助金を交付するものです。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	農業基盤整備等の改修整備を実施し、交付金を交付した団体数				現状値 (平成29年度)	5団体		
現状と課題	農業経営のためには、農業用揚・排水施設や道路などの農業生産基盤の整備や維持管理が必要不可欠であり、これらの施設の老朽化が顕著で、更新が求められています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	6団体	6団体	6団体	6団体	6団体
成果指標の実績値	5団体	5団体	3団体	4団体	3団体
達成率	83.3%	83.3%	50.0%	66.7%	50.0%
決算額(千円)	4,946	5,330	3,245	4,600	3,603

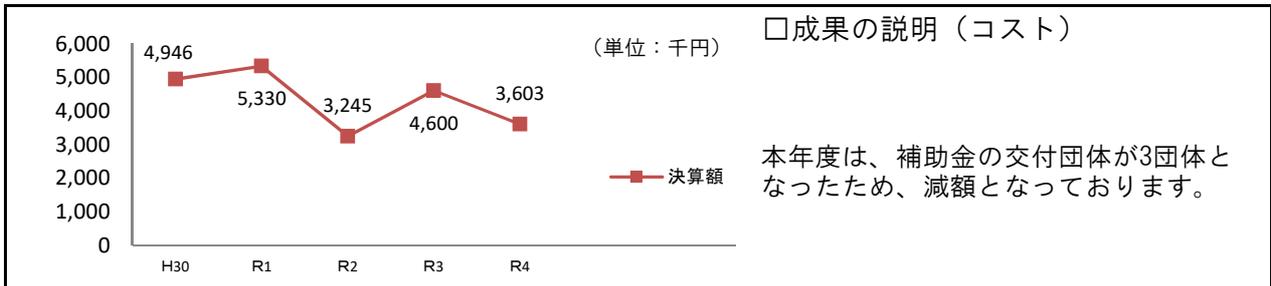
1 農業基盤整備等の改修整備を実施し、交付金を交付した団体数



2 用排水路の整備延長



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	本年度は、施設の老朽化による、水路改修整備やポンプ施設の更新整備を実施することにより、整備された施設の事業量は一定水準を維持していることから、補助金を交付することにより土地改良区や農家組合の負担軽減や農業生産基盤の維持が図られたものと考えています。	
今後の 方向性	現状維持	本補助金により、農業生産基盤の整備や維持が促進されることから、今後においても土地改良区、農家組合等が行う改修、整備に対して補助金を交付することで、農業生産基盤の改修整備を推進していきます。

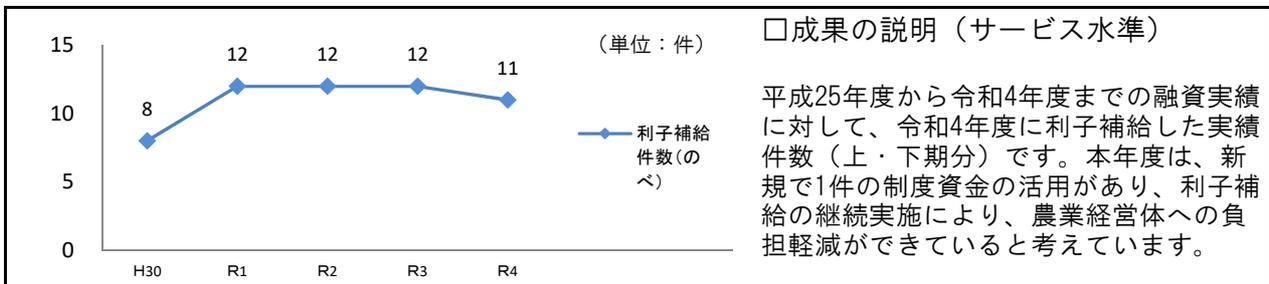
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

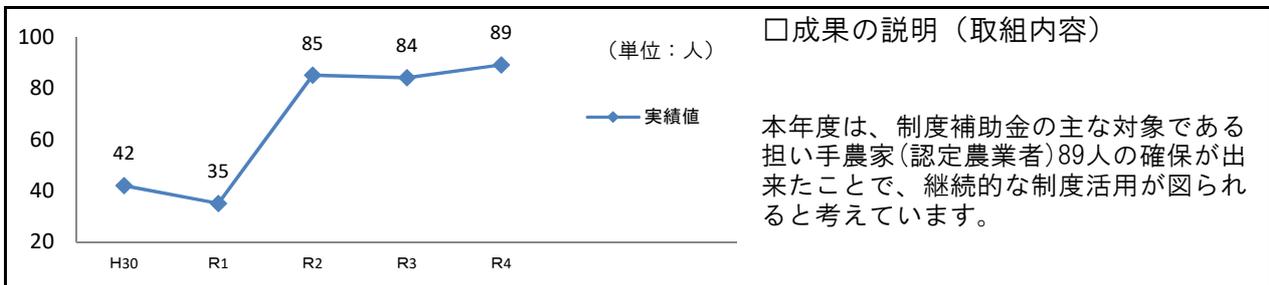
施策番号	5-4-1	実施計画No.	138	重点プロジェクトNo.	③-108	-	補助金No.	62
事業名 (補助金名)	農業近代化資金利子補助金					課名	農業振興課	
事業内容	施設や機械等を購入した際の負担を軽減するため、近代化資金の貸付を行った金融機関に対し利子補給を行い、農業経営の近代化を図るものです。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	利子補給件数					現状値 (平成29年度)	12件	
現状と課題	農業経営者の高齢化や後継者不足の中で、意欲ある農業経営者が効率的で安定した農業経営が行えるよう、施設や機械の近代化を促進していく必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	12件	12件	12件	13件	13件
成果指標の実績値	8件	12件	12件	12件	11件
達成率	66.7%	100.0%	100.0%	92.3%	84.6%
決算額(千円)	176	175	150	116	105

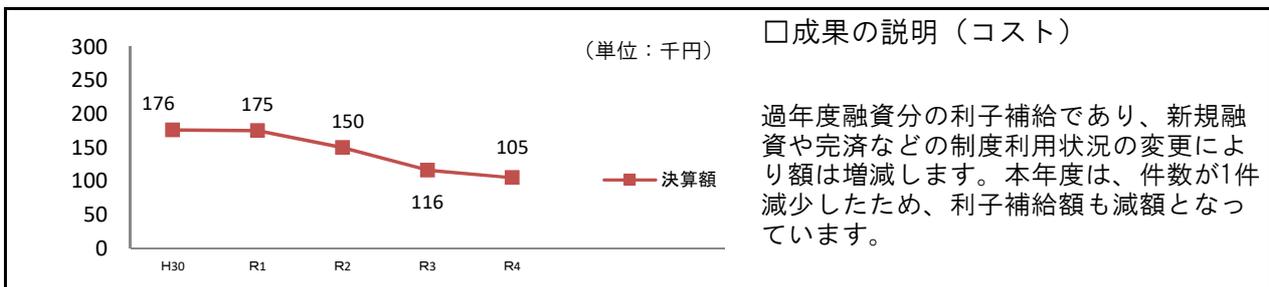
1 利子補給件数（のべ）



2 補助対象担い手農家数



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	本年度は、新規で1件の制度資金の活用がありました。本制度は、制度融資活用者に対して、適性に利子補給を行うことで、施設や機械等を購入した負担が軽減されることから、継続した推進を図り、農業経営の近代化を促進していきたいと考えています。	
今後の 方向性	現状維持	制度融資活用者に対して、適正に利子補給を行うことで、施設や機械等を購入した際の負担が軽減され、農業経営の近代化が促進されることから、今後も適正な利子補給を行い、農業経営の近代化を図っていきます。

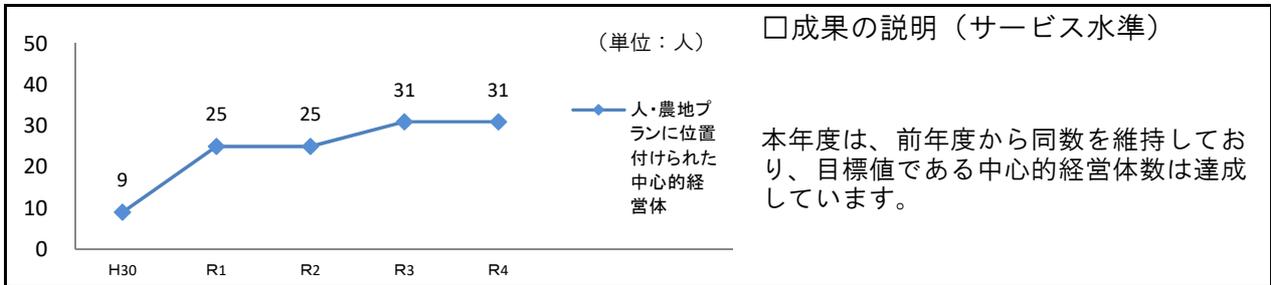
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

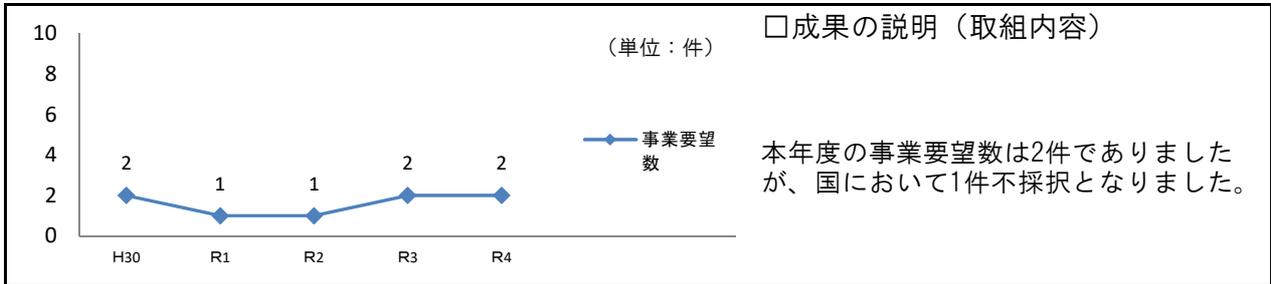
施策番号	5-4-1	実施計画No.	139	重点プロジェクトNo.	③-109	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	経営体育成条件整備事業					課名	農業振興課	
事業内容	地域の中心的な担い手となる農業者を育成するため融資を活用し農業用機械等を導入する取組みに対し、補助金を交付するものです。					事業開始年度	平成27年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	人・農地プランに位置付けられた中心的経営体					現状値 (平成29年度)	7人	
現状と課題	機械や施設を整え、経営規模の拡大を図る農業者に対し、地域の中心的な担い手として育成していく必要があります。また、年々、採択要件が厳しくなっているため、要件を見極めながら、慎重に推進していく必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	9人	10人	11人	12人	12人
成果指標の実績値	9人	25人	25人	31人	31人
達成率	100.0%	250.0%	227.3%	258.3%	258.3%
決算額(千円)	1,576	0	518	0	2,658

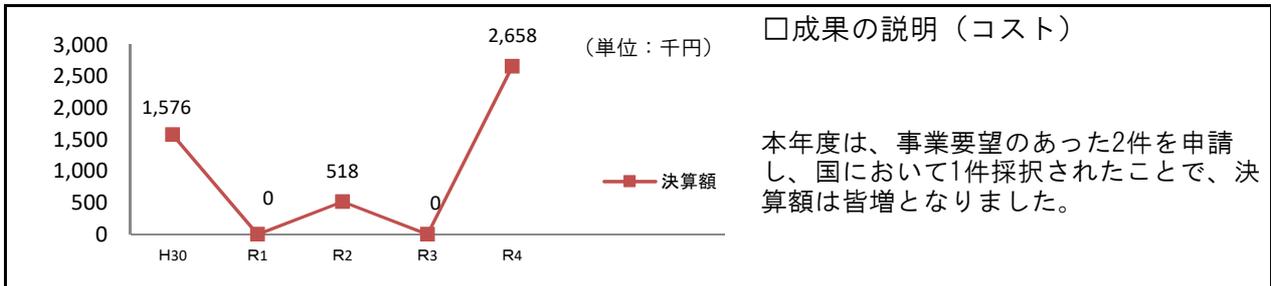
1 人・農地プランに位置付けられた中心的経営体



2 事業要望数



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	本年度は、内牧地区、および飯沼地区の中心的経営体で本事業を活用し、農業用機械等の要望申請したところ、内牧地区は採択されず飯沼地区のみ採択されました。飯沼地区は機械を導入することとなり、作業の効率化と安定的な農業収入の確保に繋がることができました。引き続き、必要とする農業経営体の要望を取りまとめ行くとともに、申請等に係る支援をしていきます。導入できませんでした。	
今後の 方向性	現状維持	中心的経営体数が十分でない地域もあるため、掘り起し等を進めながら増加に繋がっていきます。また、機械等の導入は、作業の効率化と安定的な農業収入の確保に繋がることがありますので、引き続き、他の要望と併せて継続要望していきます。

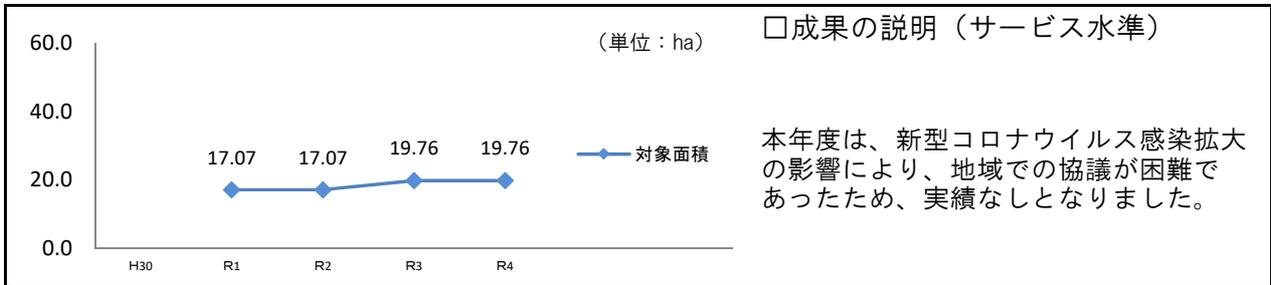
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

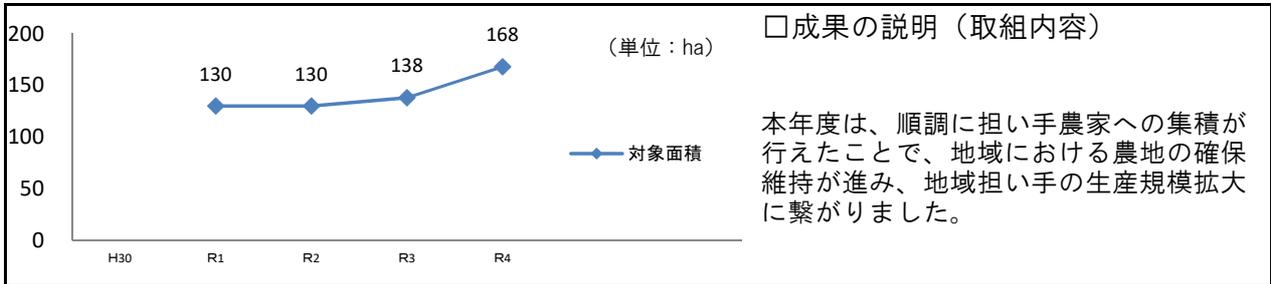
施策番号	5-4-1	実施計画No.	140	重点プロジェクトNo.	③-110	-	補助金No.	63
事業名 (補助金名)	農地集積事業					課名	農業振興課	
事業内容	農地流動化奨励補助金による担い手への農地集積、及び農地中間管理事業による担い手への農地の集積・集約化を推進していきます。					事業開始年度	令和元年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	農地中間管理事業に係る地域集積協力金対象面積					現状値 (平成30年度)	-	
現状と課題	農業従事者の高齢化や後継者不足のため、農地の維持が困難になってきており、担い手となる農家へ農地の集積を進める必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	—	17.07ha	40.00ha	60.00ha	80.00ha
成果指標の実績値	—	17.07ha	17.07ha	19.76ha	19.76ha
達成率	—	100.0%	—	32.9%	24.7%
決算額(千円)	—	7,343	4,580	5,504	6,187

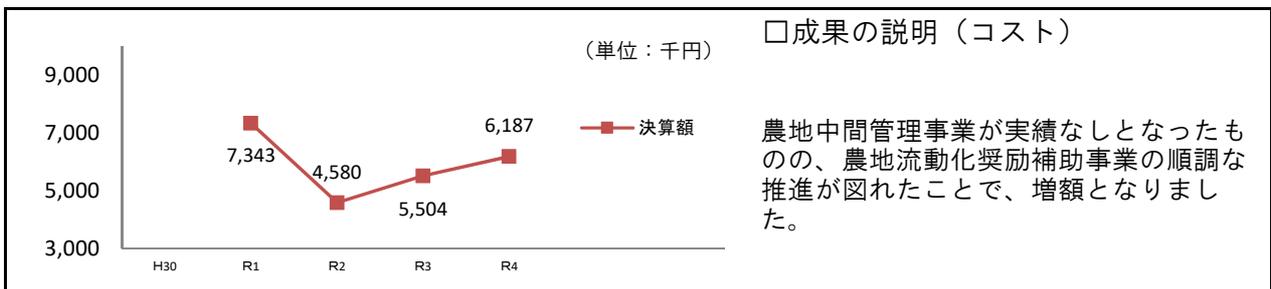
1 農地中間管理事業に係る地域集積協力金対象面積



2 農地流動化奨励補助金の対象面積



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	新型コロナウイルス感染症の影響により、農地中間管理事業の推進が困難であったため、農地中間管理事業は実績なしとなりましたが、農地流動化奨励補助事業の順調な推進が図れたことで、農地集積事業全体の推進向上が達成されたものと考えています。	
今後の 方向性	現状維持	農地中間管理事業については、新型コロナウイルス感染症の5類移行により、協議が円滑化されることが見込まれるため、農地の集積・集約化の拡大を図り、集積面積と担い手農家の確保に繋げていきます。

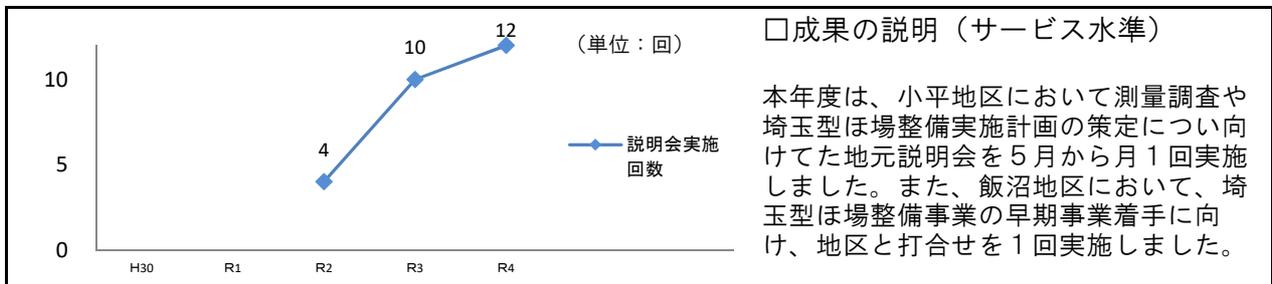
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

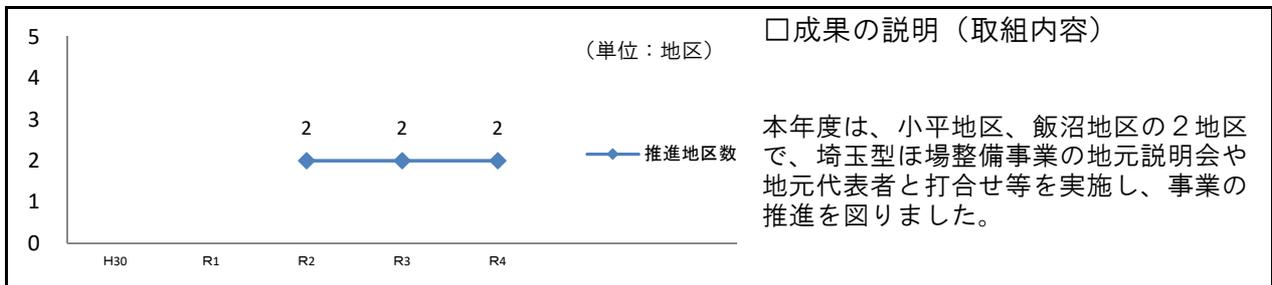
施策番号	5-4-1	実施計画No.	141	重点プロジェクトNo.	③-111	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	埼玉型ほ場整備事業					課名	農業振興課	
事業内容	埼玉県が事業主体となり、ほ場の大区画化、用排水路、農道拡幅整備を行う簡易なほ場整備事業の整備と合わせ、農地の貸借りを支援し、農地集約、農作業の効率化、農業生産性の向上を図る事業です。					事業開始年度	令和2年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	埼玉型ほ場整備説明会実施回数					現状値 (令和元年度)	-	
現状と課題	農業従事者の高齢化、後継者不足等が進み、農業用排水路の老朽化による維持管理労力の増大、農業機械の大型化に対応しない区画、農道状況から農地の貸借などが行われていない状況にあります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	-	-	2回	2回	2回
成果指標の実績値	-	-	4回	10回	11回
達成率	-	-	200.0%	500.0%	550.0%
決算額(千円)	-	-	2,692	2,488	19,950

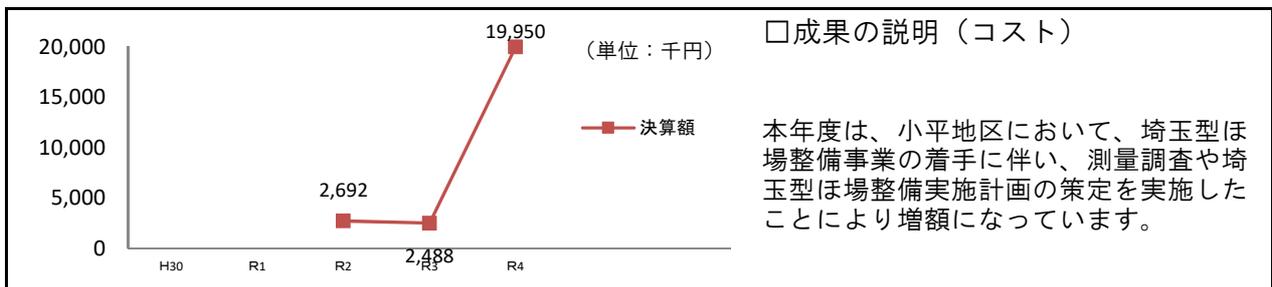
1 埼玉型ほ場整備事業説明会実施回数



2 埼玉型ほ場整備事業推進地区数



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	本年度は、埼玉県と協働して小平地区の地元説明会や測量調査、埼玉型ほ場整備実施計画の策定などを実施しており、整備の実現に向けて着実に推進することができたものと考えています。	
今後の 方向性	現状維持	持続可能な力強い農業の実現に向けては、農地の集約、ほ場の大区画化、農道の拡幅が整備が必要なため、埼玉県と連携を図りながら、地元説明会などに取り組み、埼玉型ほ場整備事業の推進を行っていきます。

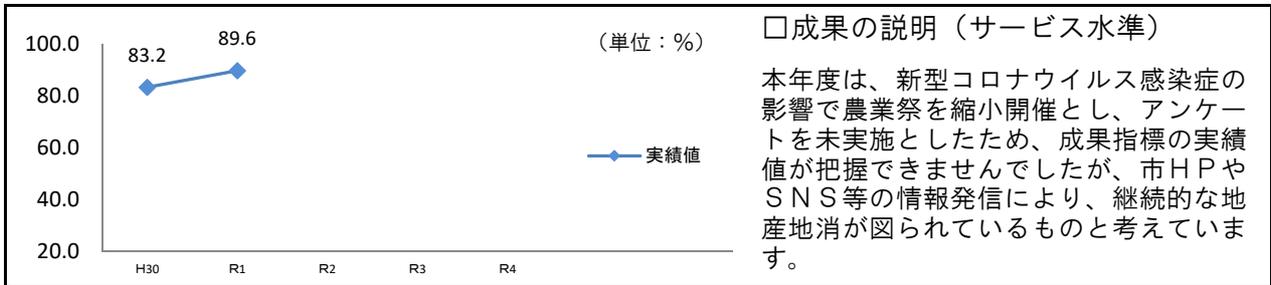
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

施策番号	5-4-2	実施計画No.	142	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	農業振興事業					課名	農業振興課	
事業内容	農業に関心を持ってもらい、地元農産物の消費拡大と生産技術の向上を図るため、農業祭開催などを行います。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	地元農産物を購入している市民の割合				現状値 (平成28年度)	62.8%		
現状と課題	消費地と生産地が近くにある本市の農業環境を生かし、農産物の特性に応じた多様な販売ルートを実施させ、魅力ある農産物の生産と消費拡大を図って行く必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	63.0%	66.0%	70.0%	73.0%	75.0%
成果指標の実績値	83.2%	89.6%	-	-	-
達成率	132.1%	135.8%	-	-	-
決算額(千円)	6,120	6,067	1,756	1,712	5,785

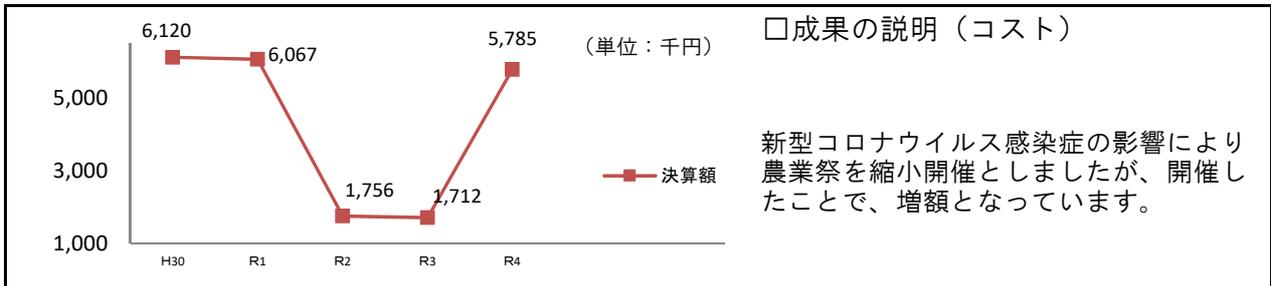
1 地元農産物を購入している市民の割合



2 農業祭における品評会出品数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度の農業祭は、新型コロナウイルス感染症の影響により縮小開催としましたが、参加者1,800人、農産物品評会出品数262品、展示即売会売り上げ184,020円となっており、継続的な地域の農業振興と消費拡大に寄与したと考えています。	
今後の方向性	現状維持	本市の特色を活かした魅力ある農産物の生産と消費拡大を図っていくため、消費者購買ニーズの把握をしていくとともに、消費者への地元農産物の情報提供を図ります。また、生産者の支援ニーズを把握し、必要とする支援を推進していくことで、農業の振興・拡大を図ります。

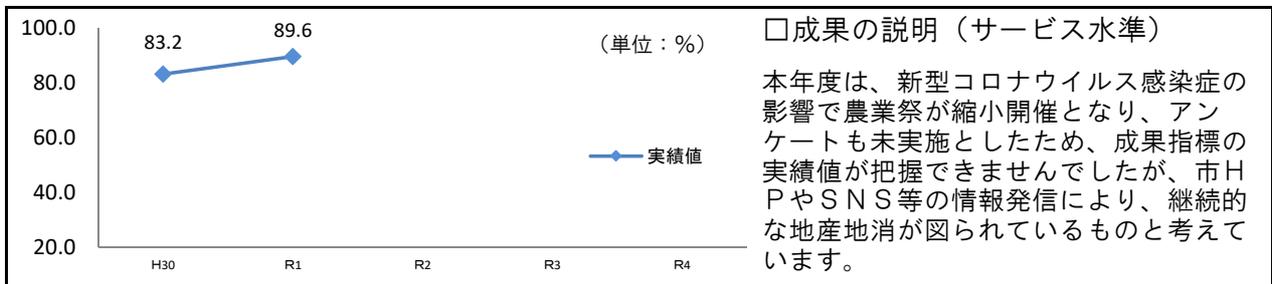
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

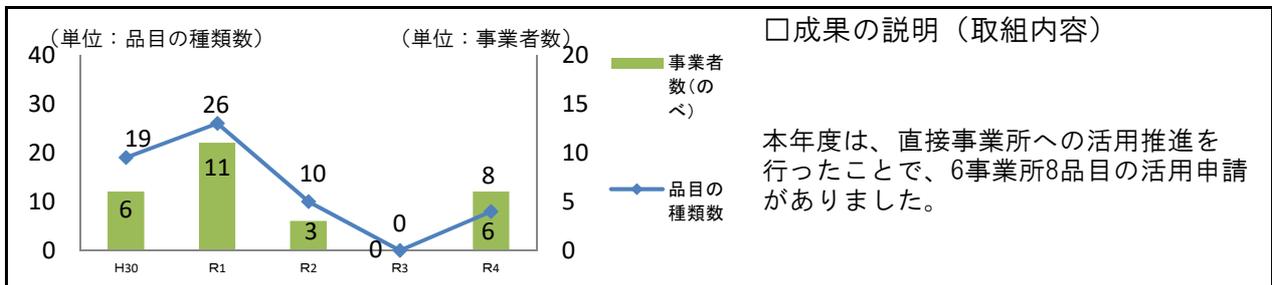
施策番号	5-4-2	実施計画No.	143	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-	
事業名 (補助金名)	農産物紹介事業					課名	農業振興課		
事業内容	地元農産物の価値を高めるため、認定農業者などから市が直接購入した農産物を事業所に食材などとしてサンプル提供を行い、新たな商品開発、消費拡大に繋がります。					事業開始年度	平成22年度		
						事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	地元農産物を購入している市民の割合					現状値 (平成28年度)	62.8%		
現状と課題	市内の農産物直売所（スーパーでの販売などを含む）を利用し地元農産物を購入している市民の割合は、66.9%（令和4年度市民意識調査）となっています。地元農産物を知っていただき、消費拡大に繋がられるよう、販売方法やPR活動を工夫していくことが求められています。								

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	63.0%	66.0%	70.0%	73.0%	75.0%
成果指標の実績値	83.2%	89.6%	-	-	-
達成率	132.1%	135.8%	-	-	-
決算額(千円)	145	139	22	0	56

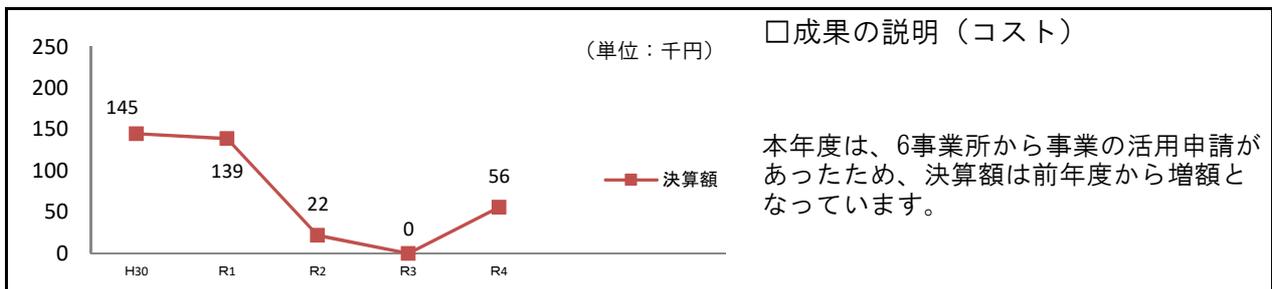
1 地元農産物を購入している市民の割合



2 農産物を提供した事業者数及びサンプル提供した農産物品目の種類数



3 決算額の推移



令和4年度の
評価

本年度は、直接事業所への活用推進を行ったことで、6事業所から8品目の活用申請がありましたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、活用実績はコロナ禍前に比べ少ない状況でした。

今後の
方向性

現状維持

新型コロナウイルス感染症の5類移行による飲食店等の営業状況の好転が見込まれることから、引き続き直接事業所への活用推進や事業PRを行うとともに、より広く購買動向を捉え、農産物紹介事業を通じて、地元農産物の消費拡大を図っていきます。

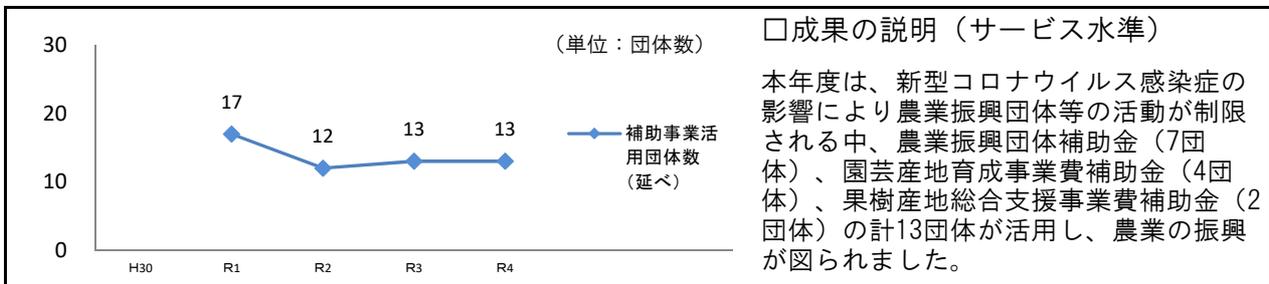
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

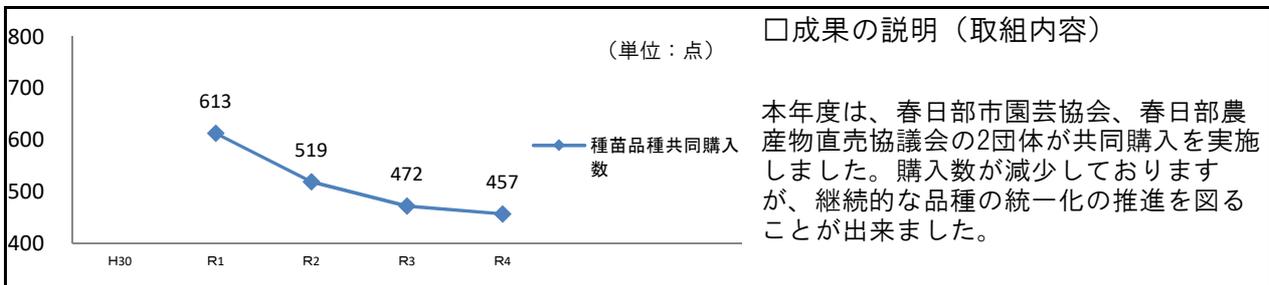
施策番号	5-4-2	実施計画No.	144	重点プロジェクトNo.	②-66	-	補助金No.	64	65	69
事業名 (補助金名)	農業振興団体補助事業					課名	農業振興課			
事業内容	市の農業振興を図るため、市内の農業振興団体が実施する事業に対し、補助金を交付するものです。					事業開始年度	令和元年度			
						事業見直し年度	令和2年度			
成果指標	補助事業活用団体数（延べ）					現状値 (平成30年度)	—			
現状と課題	農業従事者の高齢化や後継者不足などの課題解消や園芸産地育成、果樹産地の振興を図るため、事業への効果的な取り組みを推進していく必要があります。									

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	—	17団体	18団体	19団体	20団体
成果指標の実績値	—	17団体	12団体	13団体	13団体
達成率	—	100.0%	66.7%	68.4%	65.0%
決算額(千円)	—	4,900	4,716	4,424	5,278

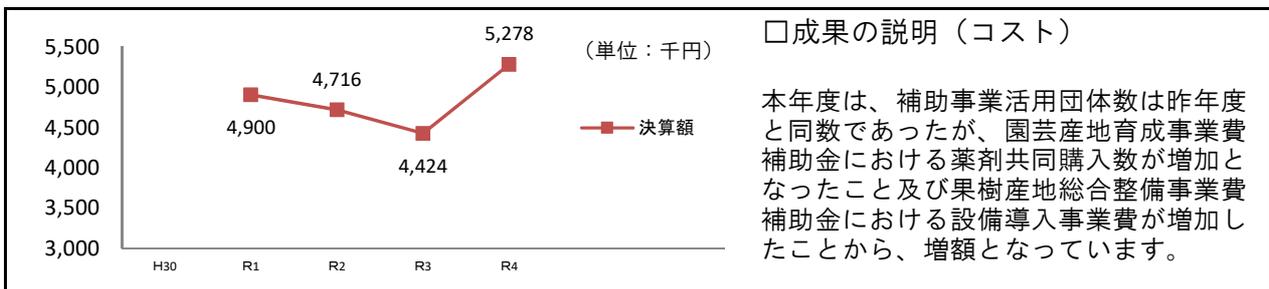
1 補助事業活用団体数（延べ）



2 種苗品種共同購入数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、各農業振興団体とも活動が制限されましたが、前年度と同程度の事業数を維持でき、可能な範囲での活動が行われたことで、補助事業の活用につながったものと考えています。	
今後の方向性	現状維持	新型コロナウイルス感染症の5類移行により、団体活動の活発化が見込まれることから、今後更に農業振興団体と連携を図りながら、継続的に支援し、農業振興を推進していきます。

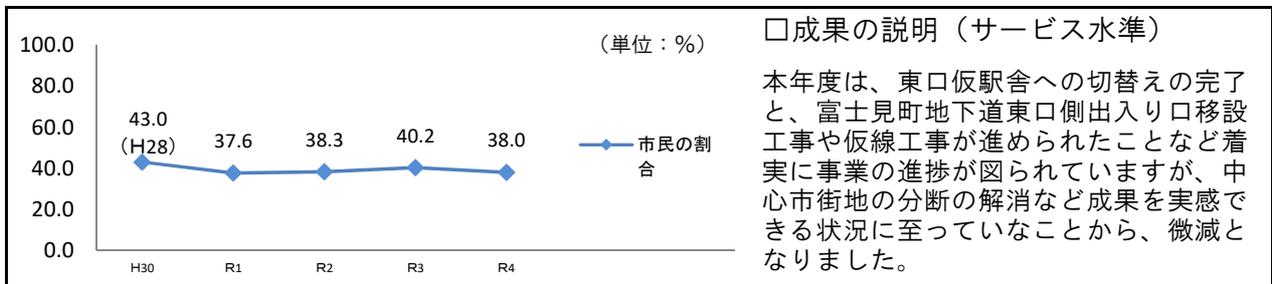
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

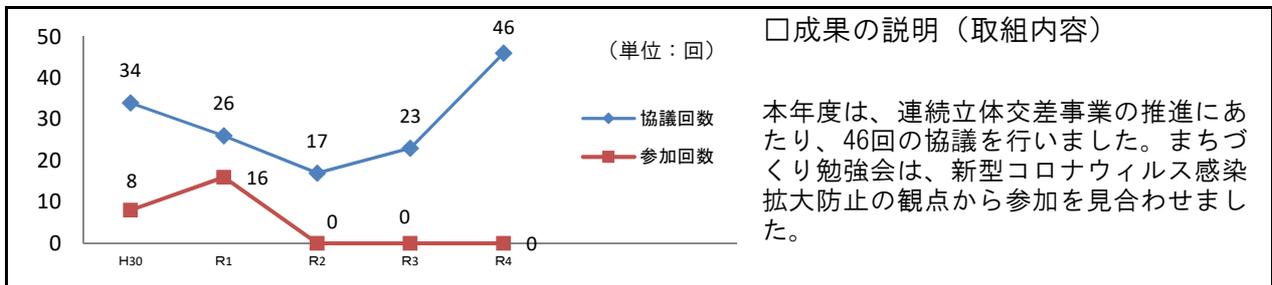
施策番号	6-1-1	実施計画No.	145	重点プロジェクトNo.	②-67	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	連続立体交差推進事業					課名	鉄道高架推進課	
事業内容	春日部駅周辺にある多数の踏切を除却し、交通渋滞、踏切事故などを解消し分断されている市街地を一体化して、住民や来街者の利便性を高め、中心市街地の活性化を図ります。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	春日部駅周辺は、快適で便利だと思う市民の割合（市民意識調査）					現状値 (平成29年度)	43.0% (平成28年度)	
現状と課題	中心市街地が鉄道で東西に分断されているという街の構造を解消するため、現在、事業主体の埼玉県が進めている連続立体交差事業の早期完成と、連続立体交差事業と一体となったまちづくりに取り組み、中心市街地が抱える様々な問題を抜本的に解決する必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	43.0%	45.0%	47.0%	49.0%	51.0%
成果指標の実績値	-	37.6%	38.3%	40.2%	38.0%
達成率	-	83.6%	81.5%	82.0%	74.5%
決算額(千円)	6,291	177,550	803,870	579,463	660,761

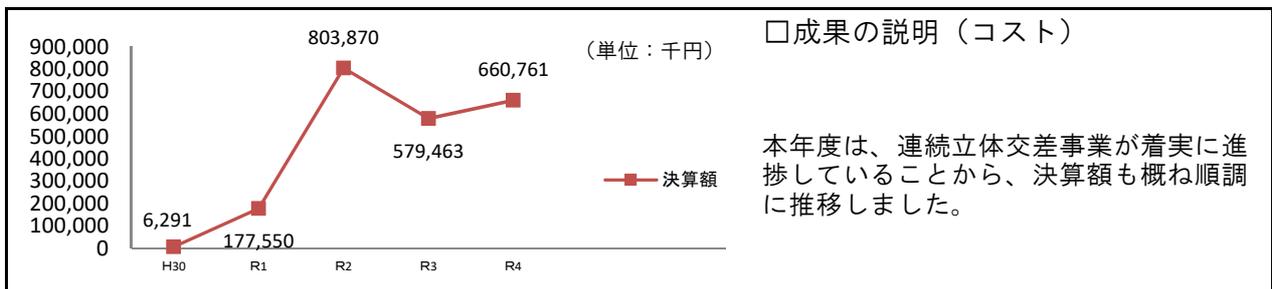
1 春日部駅周辺は、快適で便利だと思う市民の割合（市民意識調査）



2 関係機関（国、県、鉄道事業者）との協議回数とまちづくり勉強会への参加回数



3 決算額の推移



令和4年度の評価
本年度は用地取得が進むとともに、県、東武鉄道と連携し、東口仮駅舎への切替えの完了と、富士見町地下道東口側出入り口移設工事や仮線工事が進められたことで、事業の進捗が着実に図られているものと考えています。

今後の方向性
現状維持
連続立体交差事業の早期完成に向けて、引き続き関係機関と連携を図りながら、事業用地の取得と、仮ホームや線路の設置に向けた工事に取り組んでいきます。

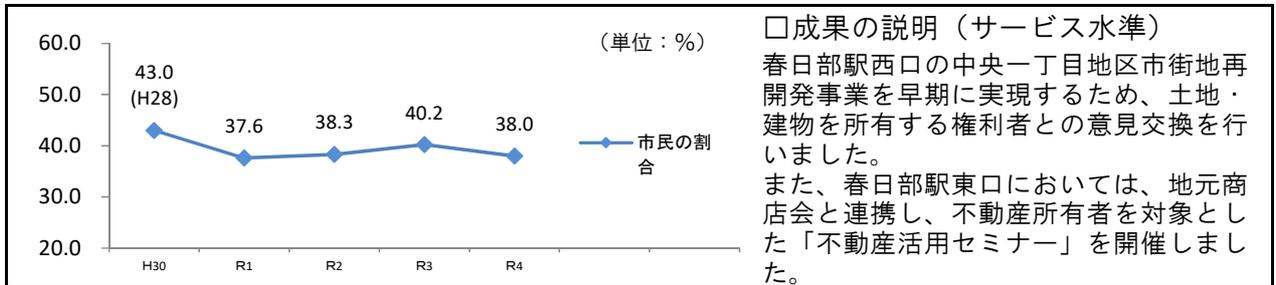
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

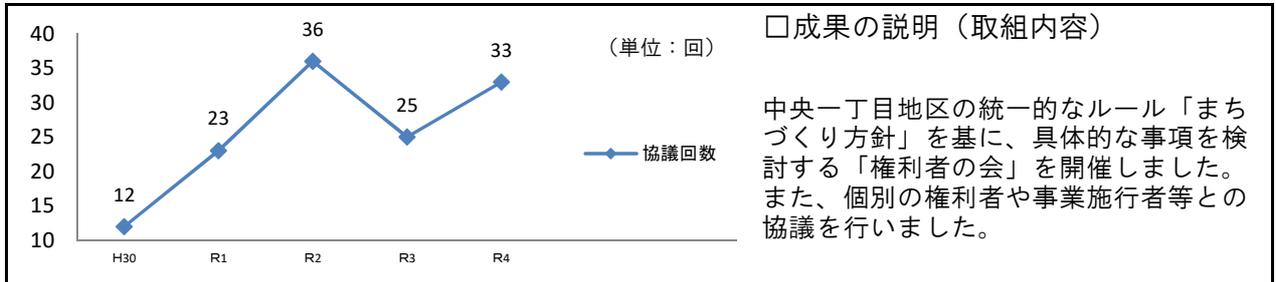
施策番号	6-1-1	実施計画No.	146	重点プロジェクトNo.	②-68	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	地域整備推進事務					課名	都市計画課	
事業内容	土地の高度利用と都市機能の更新を図るため、都市基盤施設の整備を行い、中心市街地のにぎわいを創出します。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	春日部駅周辺は、快適で便利だと思う市民の割合（市民意識調査）				現状値 (平成29年度)	43.0% (平成28年度)		
現状と課題	春日部駅周辺地区には、老朽化した建物や小規模な店舗が密集した区域があります。連続立体交差事業などの都市基盤整備との連携を図り、地区の特性やニーズに応じた市街地の更新を進め、にぎわいのあるまちづくりに向けた取り組みが必要です。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	43.0%	45.0%	47.0%	49.0%	51.0%
成果指標の実績値	-	37.6%	38.3%	40.2%	38.0%
達成率	-	83.6%	81.5%	82.0%	74.5%
決算額(千円)	150	1,913	126	14,841	3,658

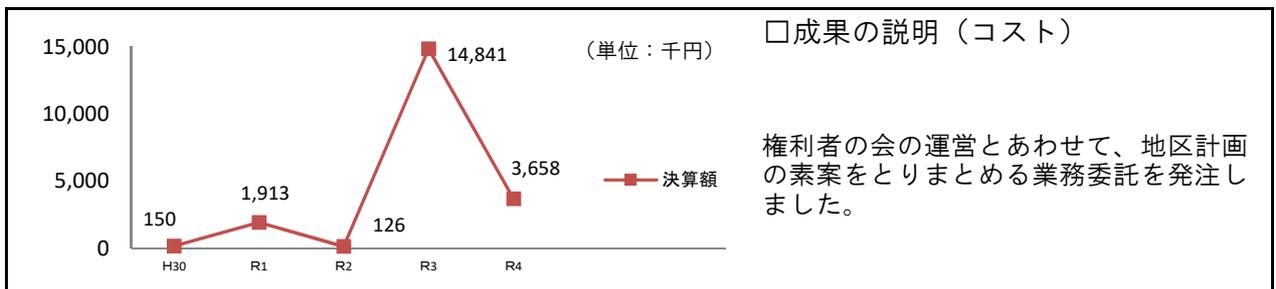
1 春日部駅周辺は、快適で便利だと思う市民の割合（市民意識調査）



2 再開発準備組合（事業施行者）との協議回数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	市街地再開発事業を早期に実現するため、「合意が形成されたブロックから段階的に事業を開始する」という方針に沿って、権利者の合意形成に取り組みました。「権利者の会」では、回を重ねるごとに参加者が増え、再開発事業に関する理解が深まるとともに、様々な意見が交わされました。	
今後の方向性	現状維持	「権利者の会」などでの権利者意見を踏まえて、都市計画の地区計画を定めます。また、引き続き、権利者の合意形成に取り組みます。

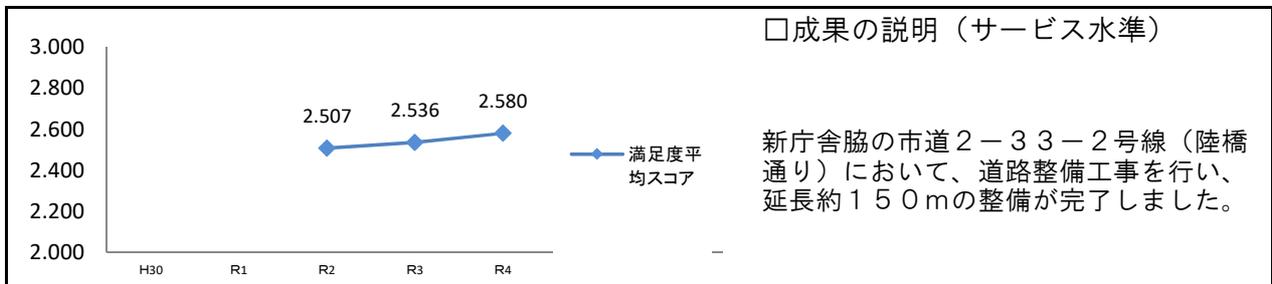
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

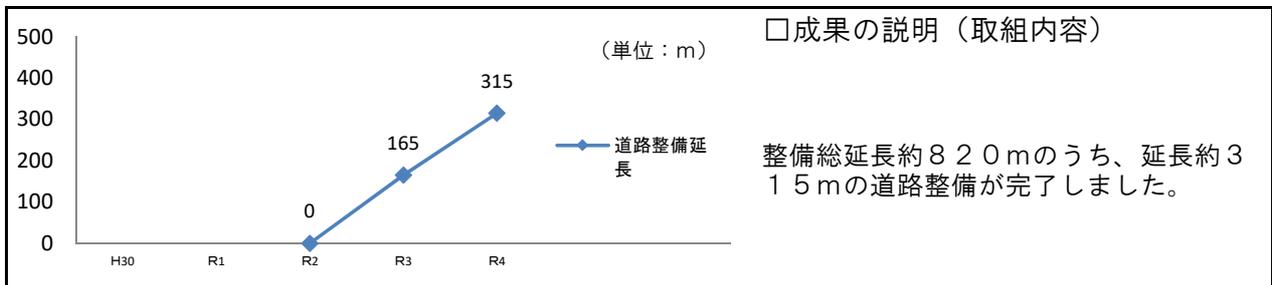
施策番号	6-1-1	実施計画No.	147	重点プロジェクトNo.	②-69	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	春日部駅西口環境整備事業					課名	道路建設課	
事業内容	都市計画道路武里内牧線（市役所通り）において、環境に配慮した自動車に頼らない回遊ネットワークの再整備を行うことで、春日部駅周辺地域の都市機能の再構築と持続可能な都市構造を推進します。					事業開始年度	令和2年度	
						事業見直し年度	-	
成果指標	「魅力とにぎわいのある中心市街地の創出」の満足度平均スコア（市民意識調査）					現状値	2.387 (令和元年度)	
現状と課題	春日部駅周辺地域は、近年、大型商業施設の撤退や郊外型商業施設の進出などの影響を受けて、にぎわいや活気が低下しているため、都市機能の再構築を図る必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	-	-	2.387以上	2.387以上	2.387以上
成果指標の実績値	-	-	2.507	2.536	2.580
達成率	-	-	105.0%	106.2%	108.1%
決算額(千円)	-	-	21,580	134,213	59,874

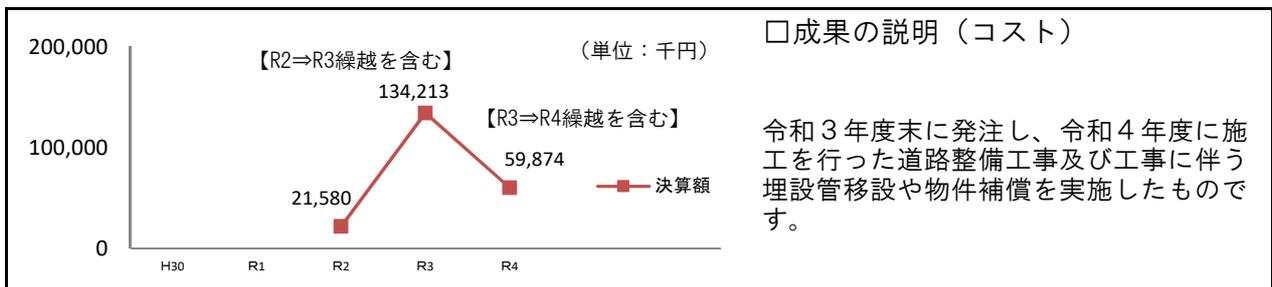
1 「魅力とにぎわいのある中心市街地の創出」の満足度平均スコア（市民意識調査）



2 道路整備延長



3 決算額の推移



令和4年度の評価	令和3年度から本格的に道路整備工事が開始され、都市計画道路武里内牧線（市役所通り）と市道2-33-2号線（陸橋通り）を合わせた整備総延長約820mのうち、延長約315m、進捗率で約38%の道路整備が計画通り完了しました。	
今後の方向性	現状維持	魅力とにぎわいのある中心市街地の創出に向けて、計画的に道路整備工事を実施していきます。

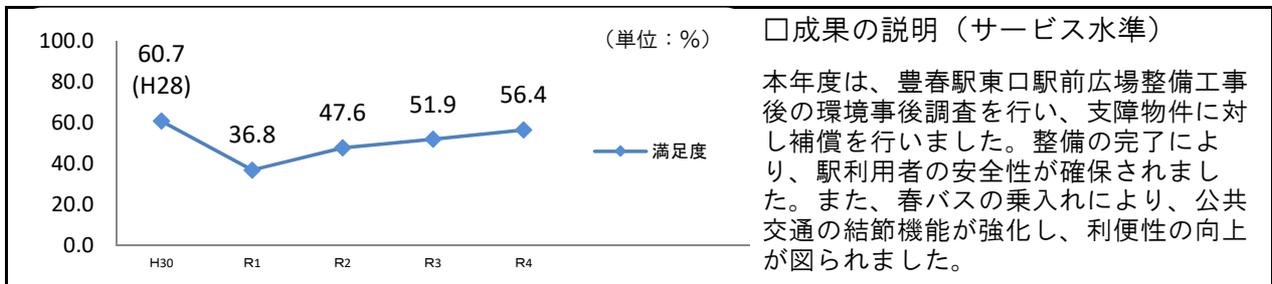
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

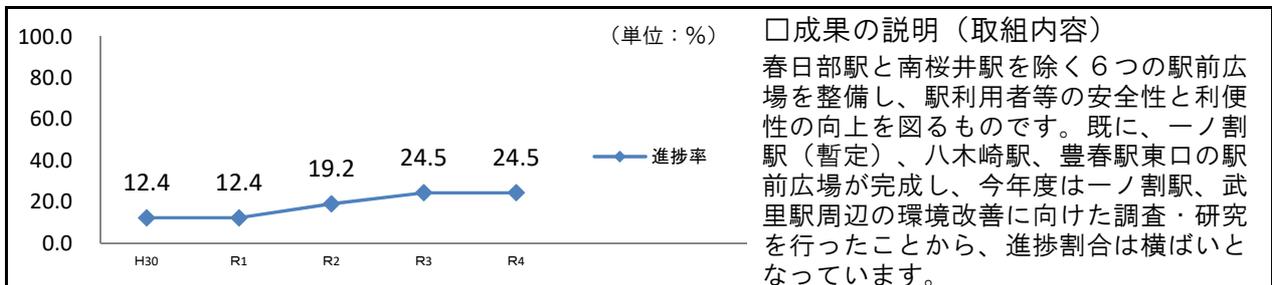
施策番号	6-1-2	実施計画No.	148	重点プロジェクトNo.	②-70	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	地域拠点駅まちづくり事業					課名	まちづくり推進課	
事業内容	鉄道駅周辺の都市基盤整備を実施します。					事業開始年度	平成26年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	「安全で良好な市街地の形成」に満足している市民の割合（市民意識調査）				現状値 (平成29年度)	60.7% (平成28年度)		
現状と課題	今後の社会情勢の変化に対応した持続可能な都市経営を図るため、安全で利便性の高い駅を中心とした新たなまちづくりが必要です。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	62.4%	64.1%	65.8%	67.5%	69.2%
成果指標の実績値	-	36.8%	47.6%	51.9%	56.4%
達成率	-	57.4%	72.3%	76.9%	81.5%
決算額(千円)	28,537	47,936	138,123	91,753	8,436

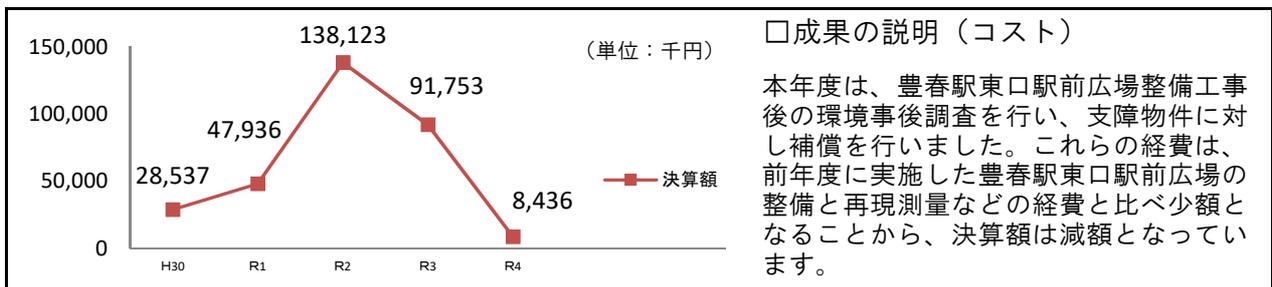
1 「安全で良好な市街地の形成」に満足している市民の割合（市民意識調査）



2 駅前広場（6駅）整備の進捗割合



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は、豊春駅東口駅前広場整備工事後の環境事後調査を行い、支障物件に対し補償を行いました。また、一ノ割駅、武里駅周辺の環境改善に向けた調査・研究を行いました。この取り組みにより、駅利用者の安全性と地域拠点としての駅周辺の利便性を向上させ、鉄道駅を中心とした市街地の形成と公共交通によりネットワーク化されたコンパクトなまちづくりが推進できたと考えています。	
今後の方向性	現状維持	今後の少子高齢化やアフターコロナといった社会情勢の変化を見据え、誰もが歩いて暮らせる持続可能なまちを目指し、鉄道駅を中心とした市街地の形成と、これらを公共交通で結ぶネットワークによる連携したまちづくりを目指します。令和5年度は交通拠点整備事業を立上げ、鉄道駅周辺における各種交通機関との乗り継ぎや交通動線の円滑化を図るとともに、一ノ割駅周辺の道路路上にある電柱を移設し、道路幅員を確保するといった環境改善に取り組めます。

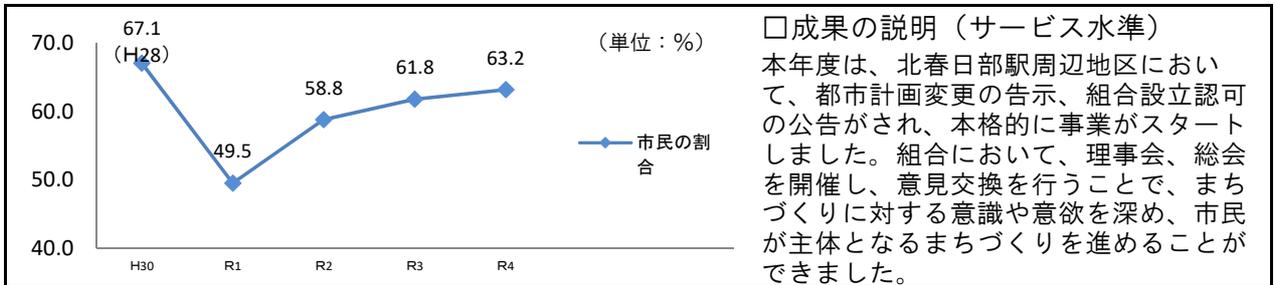
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

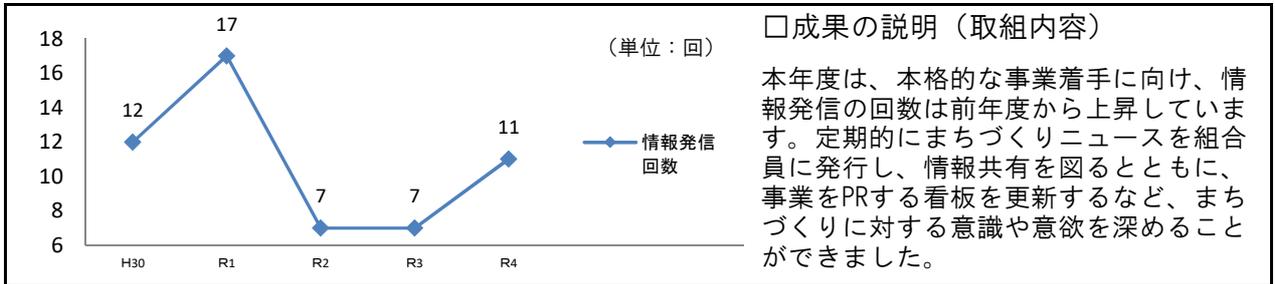
施策番号	6-1-3	実施計画No.	149	重点プロジェクトNo.	②-71	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	北春日部駅周辺地区のまちづくり事業					課名	まちづくり推進課	
事業内容	地元組織とともに選ばれる魅力的なにぎわいのあるまちを目指して、計画的な土地利用や環境整備に協働して取り組みます。					事業開始年度	平成27年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	「市民が主体となったまちづくりの推進」に満足している市民の割合（市民意識調査）					現状値 (平成29年度)	67.1% (平成28年度)	
現状と課題	全国的に住宅や店舗などの郊外立地が進み、市街地が拡散し、市街化区域の低密度化による市民サービス、都市インフラの維持に支障がでることが懸念されます。このため、駅を中心とした集約された公共性と効率性のバランスのとれたまちづくりが必要となります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	67.8%	68.5%	69.2%	69.9%	70.6%
成果指標の実績値	-	49.5%	58.8%	61.8%	63.2%
達成率	-	72.3%	85.0%	88.4%	89.5%
決算額(千円)	117,327	26,350	62,097	2,597	557

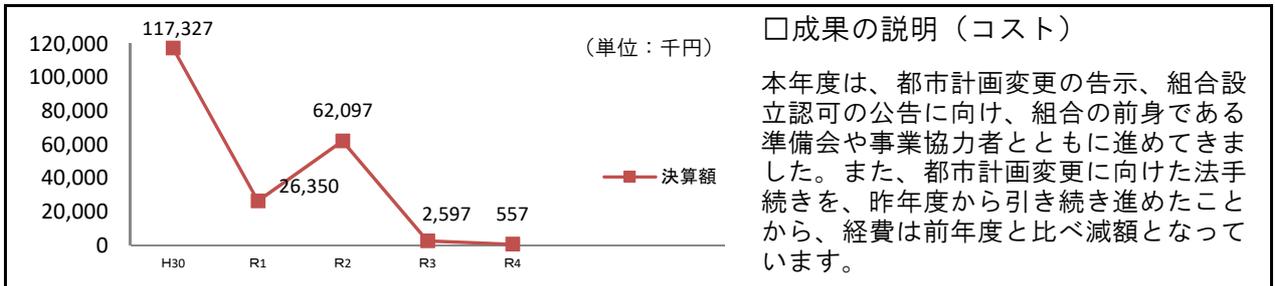
1 「市民が主体となったまちづくりの推進」に満足している市民の割合（市民意識調査）



2 北春日部駅周辺地区土地区画整理に関する情報発信回数



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	本年度は、北春日部駅周辺土地区画整理事業において、役員会10回及び総会3回の実施と、まちづくりニュース・意見集の発行やPR看板の更新など情報発信を行い、まちづくりに対する意識・意欲を深めることで、市民が主体となるまちづくりを進めることができました。また、都市計画変更の告示、組合設立認可の公告や、組合設立総会が盛大に執り行われ、組合と業務・事務代行契約が締結され、北春日部駅周辺地区土地区画整理事業が本格的にスタートしました。	
今後の 方向性	現状維持	北春日部駅周辺地区土地区画整理事業が着手されたことから、事業を計画的に推進できるよう、組合を支援していきます。今後は、市から組合に対し助成金を交付するとともに、用途地域の変更や、スマートシティ・スーパーシティといった新たな付加価値を持った『まち』を目指し、組合とともにまちづくり計画を進めてまいります。

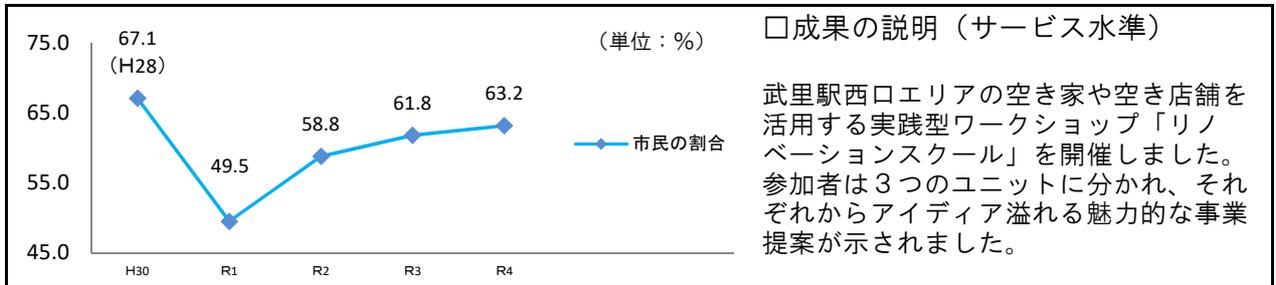
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

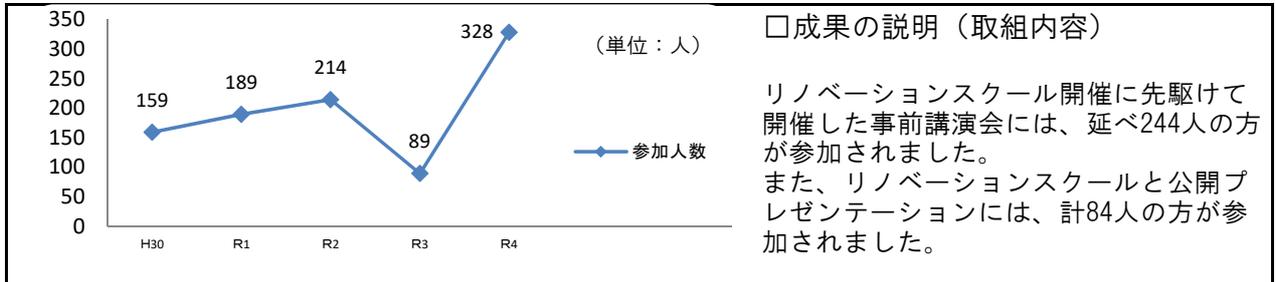
施策番号	6-1-3	実施計画No.	150	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	77
事業名 (補助金名)	地域まちづくり支援事業					課名	都市計画課	
事業内容	地域住民が主体となって、その地域の特性を生かした魅力あるまちづくり（地区まちづくりおよび景観まちづくり）を推進します。					事業開始年度	平成28年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	「市民が主体となったまちづくりの推進」に満足している市民の割合（市民意識調査）					現状値 (平成29年度)	67.1% (平成28年度)	
現状と課題	持続可能なまちづくりにおいて、地域に根付き活動する「まちづくりの担い手」の発掘・育成が重要です。地域住民などの市民が主体となったまちづくりへの支援が求められています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	67.8%	68.5%	69.2%	69.9%	70.6%
成果指標の実績値	-	49.5%	58.8%	61.8%	63.2%
達成率	-	72.3%	85.0%	88.4%	89.5%
決算額(千円)	0	0	58	116	9,942

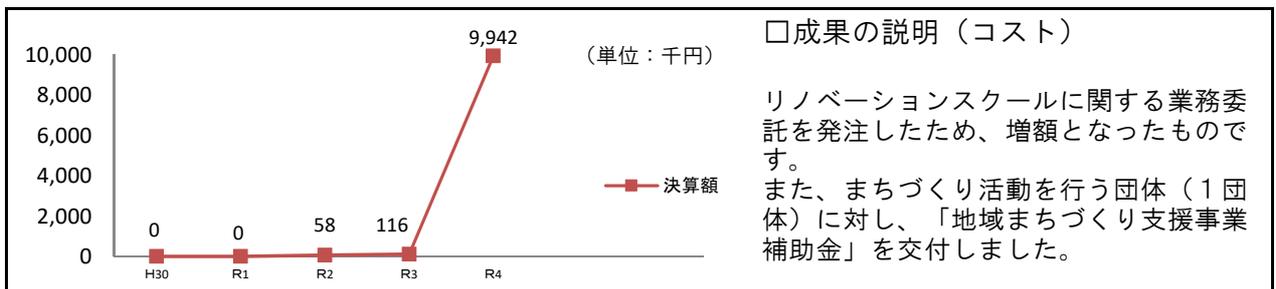
1 「市民が主体となったまちづくりの推進」に満足している市民の割合（市民意識調査）



2 地域まちづくり支援事業の活動参加者数（成果指標の推移）



3 決算額の推移



令和4年度の評価
 武里駅西口エリアにおいて、リノベーションスクールを開催し、新たなまちづくりの担い手の発掘・育成に取り組みました。多くの方に参加いただき、市民が主体となったまちづくりへの理解が深まりました。

今後の方向性
現状維持 令和5年度も武里駅西口エリアでリノベーションスクールを開催し、まちづくりの担い手の発掘・育成を継続します。また、地元自治会や商店会との事業連携を図ります。

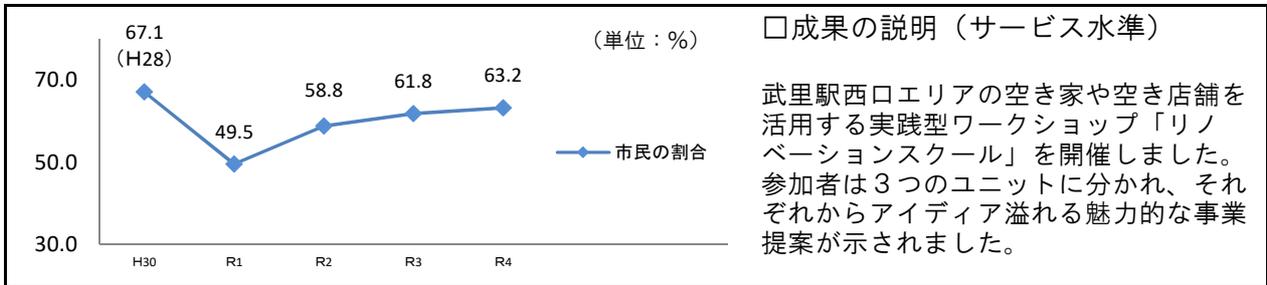
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

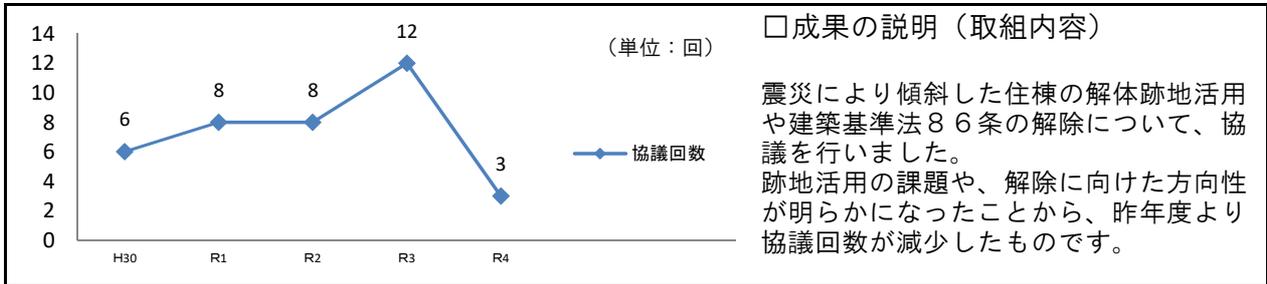
施策番号	6-1-3	実施計画No.	151	重点プロジェクトNo.	②-72	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	都市計画調査等事務					課名	都市計画課	
事業内容	駅を中心としたコンパクトで賑わいのあるまちづくりを実現するため、UR都市機構と連携し、武里団地のリノベーションを推進します。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	「市民が主体となったまちづくりの推進」に満足している市民の割合（市民意識調査）					現状値 (平成29年度)	67.1% (平成28年度)	
現状と課題	武里駅周辺及び武里団地においては、人口減少や高齢者率の増加により、地域の賑わい低下が課題となっています。UR都市機構や地域住民と連携し、地区の魅力を高める取組が必要です。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	67.8%	68.5%	69.2%	69.9%	70.6%
成果指標の実績値	-	49.5%	58.8%	61.8%	63.2%
達成率	-	72.3%	85.0%	88.4%	89.5%
決算額(千円)	1,242	770	2,618	11,926	8,709

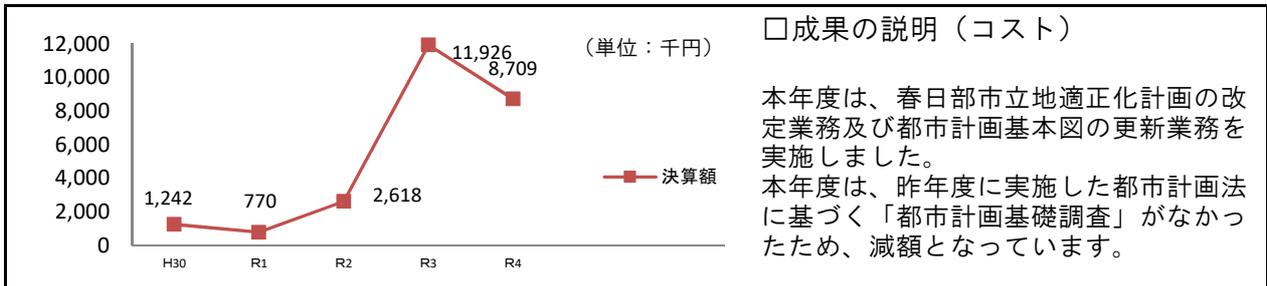
1 「市民が主体となったまちづくりの推進」に満足している市民の割合（市民意識調査）



2. UR都市機構との協議回数



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	武里団地内の土地利用を円滑に進めるため、UR都市機構や5街区管理組合と連携し、建築基準法86条の解除について検討を進め、方向性が明らかになりました。また、武里駅西口エリアにおいては、リノベーションスクールを開催し、駅周辺の魅力向上に取り組みました。	
今後の 方向性	現状維持	令和5年度についても、武里駅西口エリアでリノベーションスクールを開催します。武里団地をはじめ、市内外から多くの方が訪れる、武里駅周辺の魅力づくりを推進します。

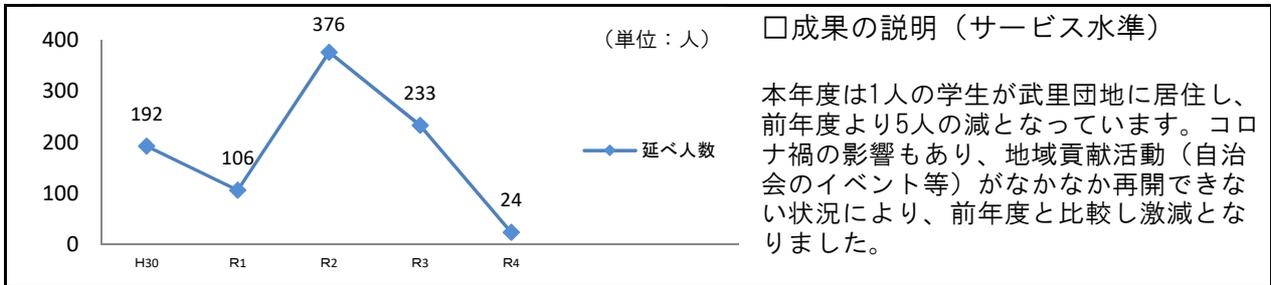
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

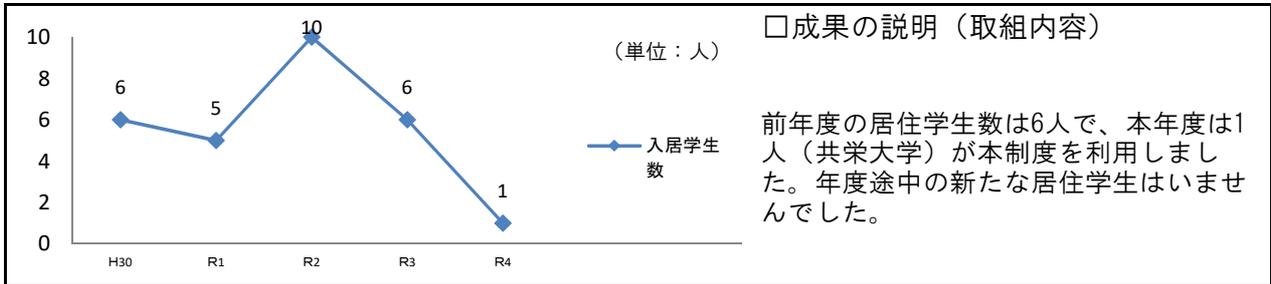
施策番号	6-1-3	実施計画No.	152	重点プロジェクトNo.	②-73	-	補助金No.	3	
事業名 (補助金名)	官学連携団地活性化推進事業助成補助金					課名	政策課		
事業内容	武里団地居住者を対象に地域貢献をする学生の在籍する大学等に対し、武里団地に居住するための家賃および大学等までの交通費の一部を助成します。					事業開始年度	平成23年度		
						事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	地域貢献活動を行った学生の延べ人数					現状値 (平成29年度)	173人		
現状と課題	武里団地は、市内の他の地域と比較し、人口減少、高齢化が進んでいることもあり、地域で新たなにぎわいを創出し、入居者の促進を図ることが求められています。								

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	198人	224人	249人	275人	300人
成果指標の実績値	192人	106人	376人	233人	24人
達成率	97.0%	47.3%	151.0%	84.7%	8.0%
決算額(千円)	620	436	1,082	769	128

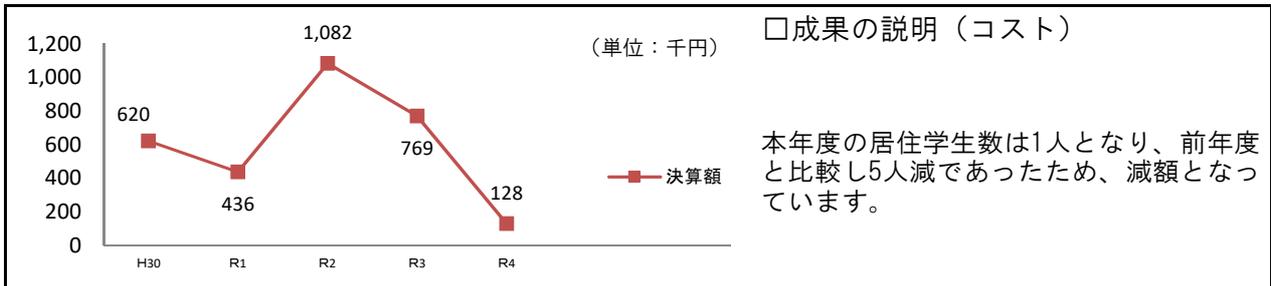
1 地域貢献活動を行った学生の延べ人数



2 武里団地入居学生数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は前年度比5人減の1人が居住しました。コロナ禍の影響もあり、地域貢献活動（自治会のイベント等）がなかなか再開できない状況で、徐々に居住する学生も減少しています。そのような状況の中でも、公民館事業でのスタッフとして協力するなどの地域貢献活動を行いました。	
今後の方向性	縮小	平成23年度からスタートし10年以上が経過しましたが、徐々に居住する学生が減少し、新型コロナウイルスの影響で地域貢献活動（自治会のイベント等）がなかなか再開できない状況です。こうした要因が重なり、令和4年度の居住学生数は1人となり、その1人も3月で卒業となり、居住学生がいなくなりました。以上のことから、令和4年度をもって本事業を廃止しました。

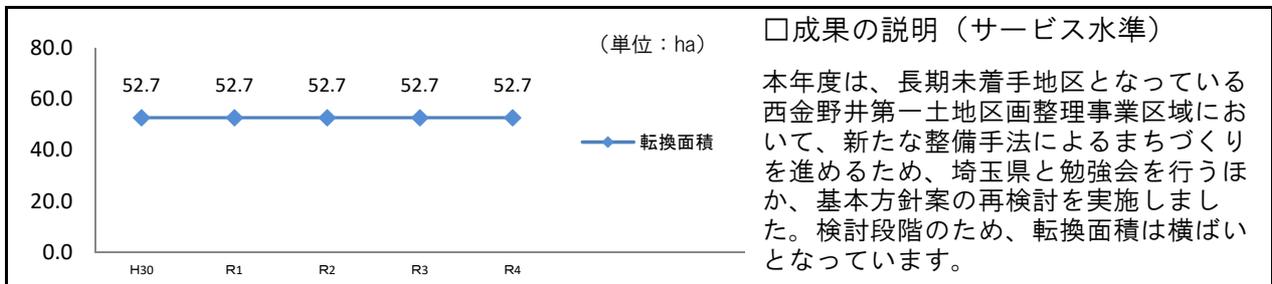
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

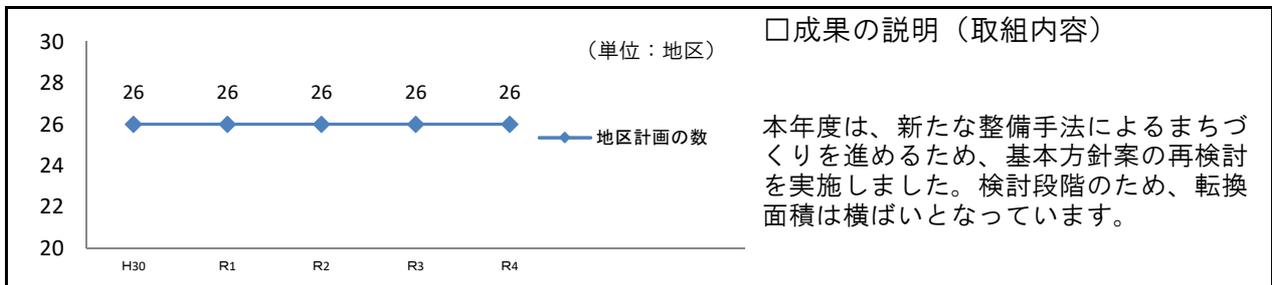
施策番号	6-2-1	実施計画No.	153	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	土地区画整理事務					課名	まちづくり推進課	
事業内容	長期未着手地区の整備手法の検討を行い、地区内住民への建築制限などの負担軽減を図り、災害に強く安心・安全な住環境の整備を推進します。					事業開始年度	平成22年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	区画整理事業から地区計画など新たな整備手法への転換面積					現状値 (平成29年度)	52.7ha	
現状と課題	既存市街地においては、長期未着手の土地区画整理事業があり、都市基盤の整備などが立ち遅れていることから、地区計画などの新たな整備手法によるまちづくりを進め、これらの地区の基盤整備を推進する必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	52.7ha	52.7ha	63.2ha	73.7ha	84.1ha
成果指標の実績値	52.7ha	52.7ha	52.7ha	52.7ha	52.7ha
達成率	100.0%	100.0%	83.4%	71.5%	62.7%
決算額(千円)	11,046	190	256	243	244

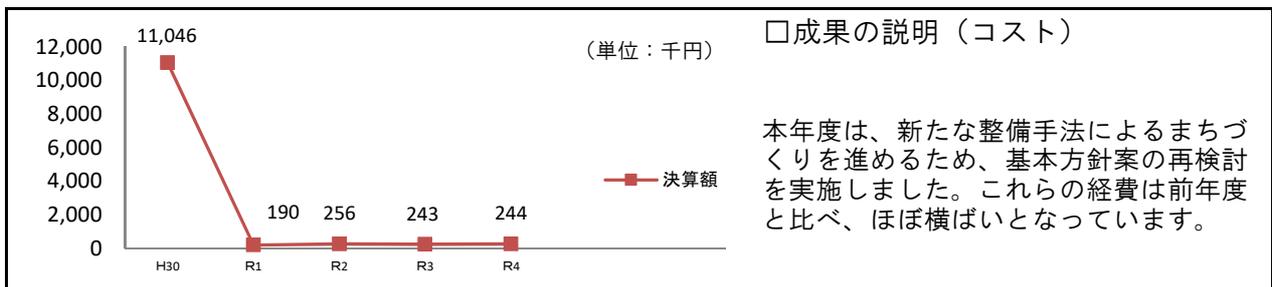
1 区画整理事業から地区計画など新たな整備手法への転換面積



2 地区計画の数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は、長期未着手地区となっている西金野井第一土地区画整理事業区域において、新たな整備手法によるまちづくりを進めるため、埼玉県との勉強会を通じ他地区の事例など情報収集や、基本方針案の再検討を実施したことで、地区計画などによるまちづくりへ転換する手法の実施計画案の再検討をするための準備ができました。	
今後の方向性	現状維持	長期未着手となっている土地区画整理事業区域において、地区計画などによるまちづくりへの転換を推進するため、埼玉県を含めた関係機関と調整してまいります。

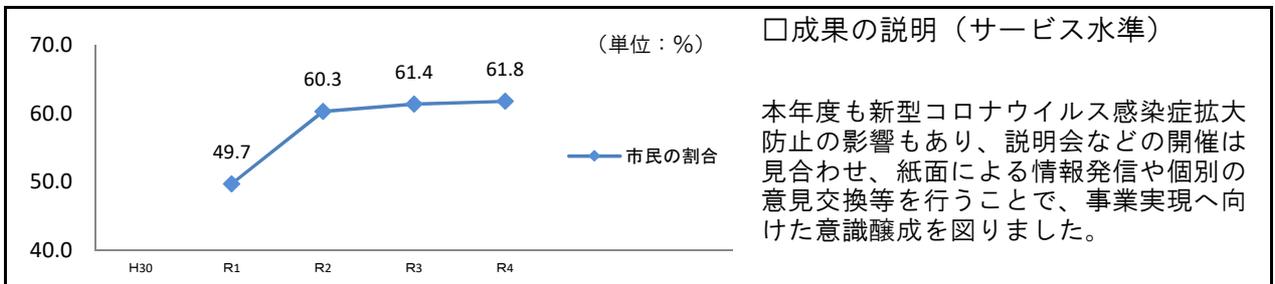
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

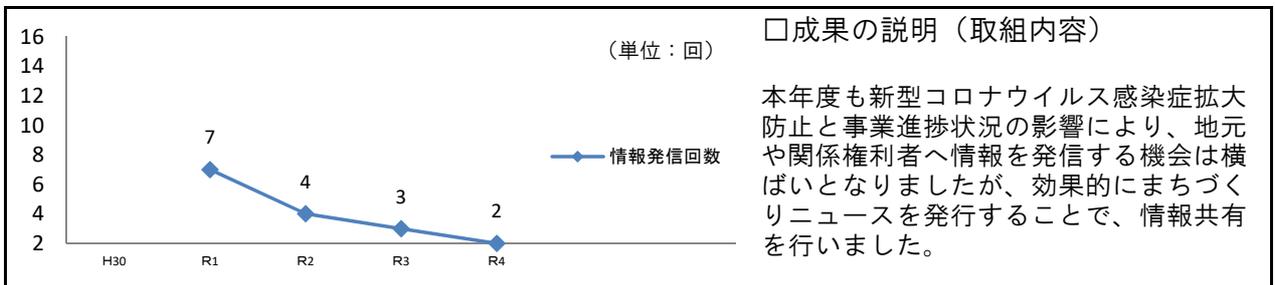
施策番号	6-2-1	実施計画No.	154	重点プロジェクトNo.	②-74	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	産業基盤整備事業					課名	まちづくり推進課	
事業内容	新たな産業集積を図り、計画的な土地利用を推進するため、赤沼・銚子口地区において豊野工業団地の拡張による産業団地整備を推進します。					事業開始年度	令和元年度	
						事業見直し年度	-	
成果指標	「計画的な土地利用の推進」に満足している市民の割合（市民意識調査）				現状値 (平成28年度)	61.2%		
現状と課題	人口が減少傾向にある中、持続・発展・躍進し続けるまちを促進するため、職と住居が近接した利便性の高いまちづくりが求められています。このため、交通利便性を生かした新たな産業拠点の形成を図ることが必要となります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	-	67.6%	70.7%	73.9%	77.1%
成果指標の実績値	-	49.7%	60.3%	61.4%	61.8%
達成率	-	73.5%	85.3%	83.1%	80.2%
決算額(千円)	-	7,893	14,633	17,270	9,471

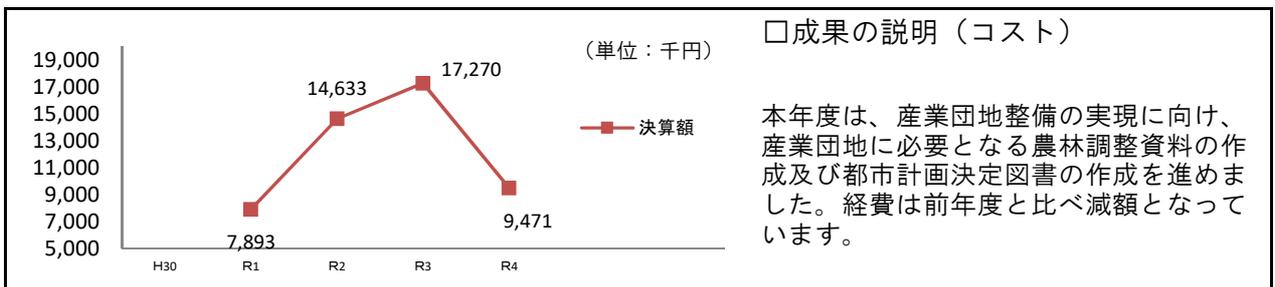
1 「計画的な土地利用の推進」に満足している市民の割合（市民意識調査）



2 赤沼・銚子口地区産業基盤整備に関する情報発信回数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は、地権者や権利関係者に対し、紙面での情報発信や個別意見交換等を効果的に行うことで、事業実現へ向けた更なる意識醸成を図りました。また、産業団地に必要となる農林調整資料の作成や都市計画決定図書の作成を進めたことから、産業団地整備の実現に近づいたものと考えています。	
今後の方向性	現状維持	引き続き、事業の実現に必要な調整等を進めていくとともに、地権者の皆様から土地及び物件移転等に同意することを明記した合意書取得に向けた準備を進めていきます。

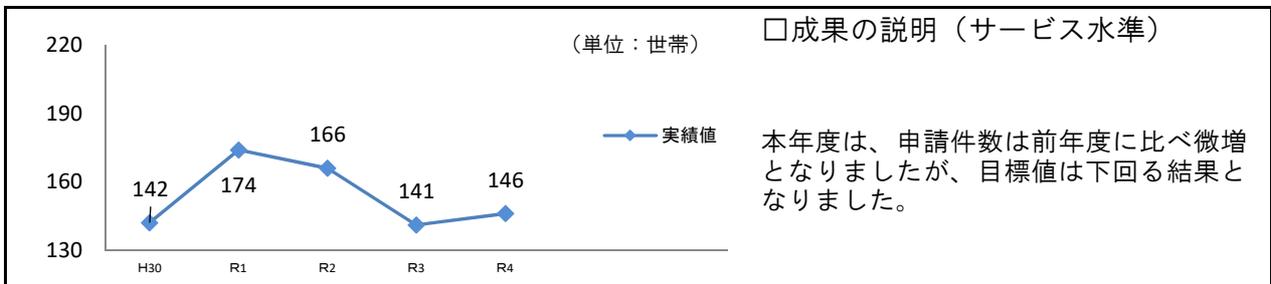
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

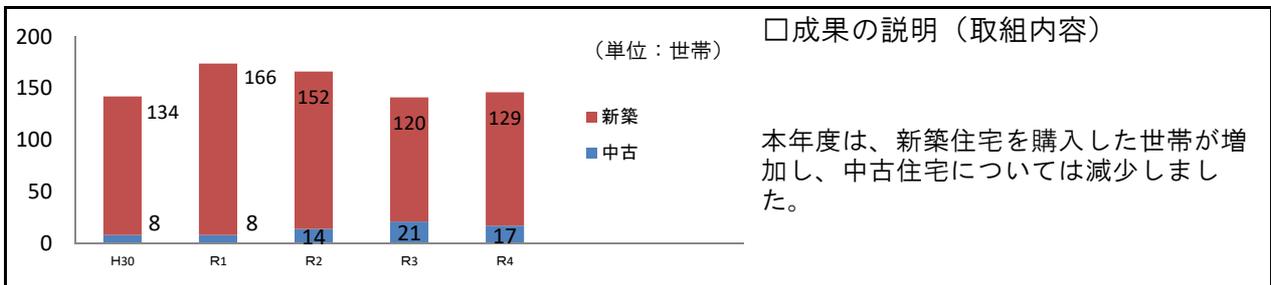
施策番号	6-2-2	実施計画No.	155	重点プロジェクトNo.	①-49	②-75	補助金No.	-	
事業名 (補助金名)	ふれあい家族住宅購入奨励事業					課名	住宅政策課		
事業内容	親世帯と近くに居住するために初めて住宅を取得した子世帯に対し、諸要件を満たした場合に登記費用の一部を支援することで、地域の活性化・定住の促進を図ります。					事業開始年度	平成23年度		
						事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	三世代近居をはじめた世帯／年度					現状値 (平成29年度)	195世帯		
現状と課題	申請者の市外からの転入を、いかに増加させるかが課題となっています。また、申請者のうち中古住宅購入者の割合が全体から見て低いため、中古住宅の一層の利用促進を図ることが課題となっています。								

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	196世帯	197世帯	198世帯	199世帯	200世帯
成果指標の実績値	142世帯	174世帯	166世帯	141世帯	146世帯
達成率	72.4%	88.3%	83.8%	70.9%	73.0%
決算額(千円)	23,894	32,130	32,671	25,945	29,366

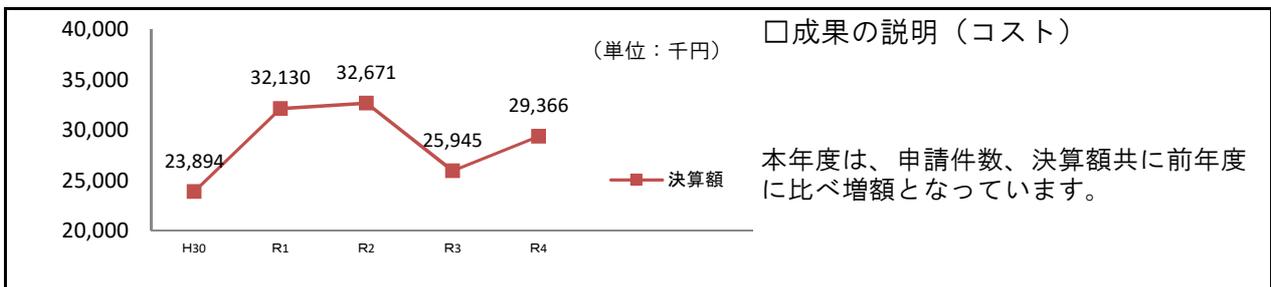
1 三世代近居をはじめた世帯／年度



2 新築住宅・中古住宅を購入した世帯／年度



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	本年度は、交付件数は146件と前年度より増加しましたが、目標値（200件）を下回る結果となりました。中古住宅の購入については減少となったことから、より一層、定住の促進及び地域の活性化を図るため、効果的かつ幅広い周知を展開していきます。	
今後の 方向性	現状維持	市外からの転入割合や中古住宅を購入した世帯の増加を図るため、制度の利用を促進し、市公式SNS等の活用により効果的なPRを実施することで、更なる定住の促進・地域の活性化を図っていきます。

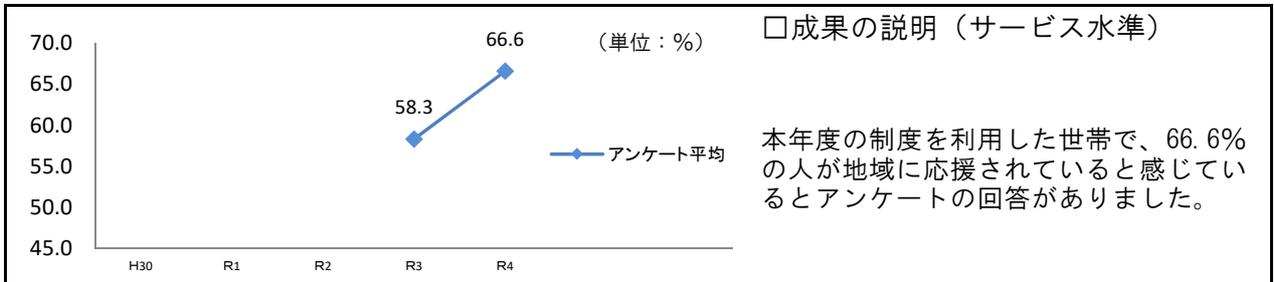
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

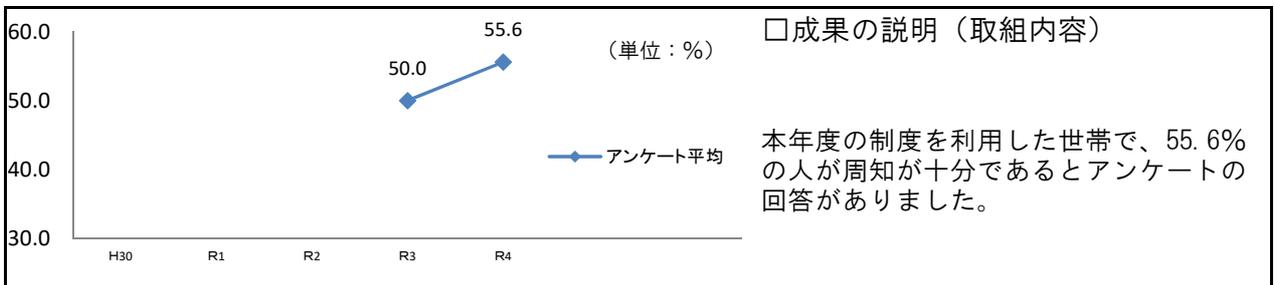
施策番号	6-2-2	実施計画No.	156	重点プロジェクトNo.	②-76	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	結婚新生活支援事業					課名	住宅政策課	
事業内容	婚姻に伴う新生活を経済的に支援することにより、結婚や子育てについての希望をかなえることができる環境をつくり、少子化対策の強化、移住の促進をはかります。					事業開始年度	令和3年度	
						事業見直し年度	-	
成果指標	地域に応援されていると感じた世帯の割合					現状値 (令和2年度)	-	
現状と課題	春日部市の人口動態は出生数が年々減少しているのに対し、死亡者数は高齢化とともに年々増加し、総人口をみると2003年以降減少傾向となっています。そのため、従来の施策をさらに充実させ、一人ひとりの多様なニーズに応えるための妊娠・出産・子育て切れ目ない支援を実施し、少子化対策の強化、移住の促進を図る必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	-	-	-	70.0%	80.0%
成果指標の実績値	-	-	-	58.3%	66.6%
達成率	-	-	-	83.3%	83.3%
決算額(千円)	-	-	-	3,148	1,762

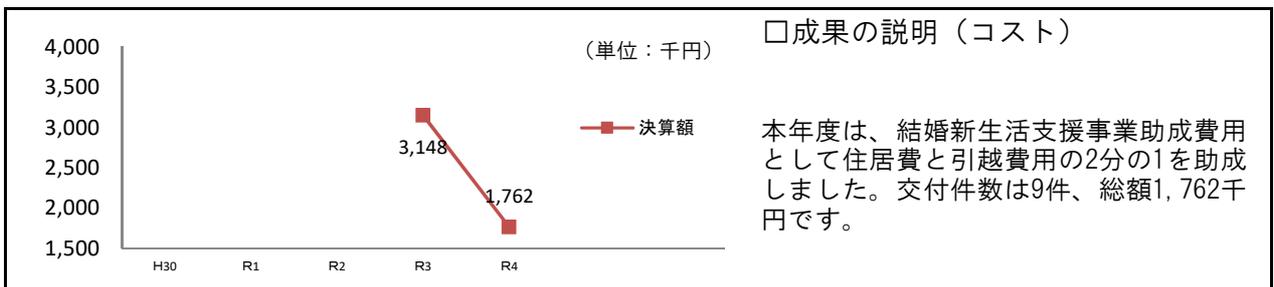
1 地域に応援されていると感じた世帯の割合



2 結婚新生活支援事業の認知度



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	本市の結婚新生活支援事業は、令和3年4月からスタートしました。婚姻に伴う新生活を経済的に支援することにより、結婚や子育てについての希望をかなえることができる環境をつくり、本市における少子化対策の強化及び市への移住促進するため、効果的で幅広い周知を展開し、事業の推進を図っていきます。	
今後の 方向性	現状維持	本市における結婚や子育てについての環境づくりのため、制度の利用を促進し、市公式SNS等の活用により効果的なPRを実施することで、更なる少子化対策の強化及び市への移住促進を図っていきます。

【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

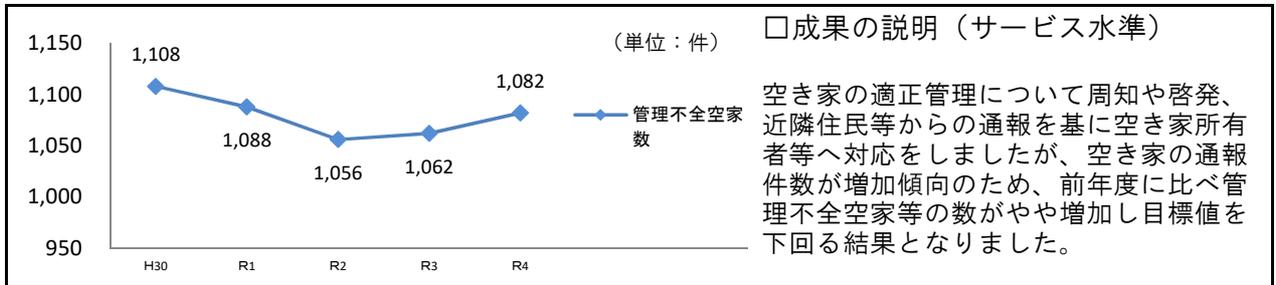
◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

施策番号	6-2-2	実施計画No.	157	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	R1-2	
事業名 (補助金名)	空家等対策推進事業					課名	住宅政策課		
事業内容	空家等対策の推進に関する特別措置法の施行に伴い、空家等に関する施策を総合的かつ計画的に推進します。					事業開始年度	平成29年度		
						事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	管理不全空家等の改善数※					現状値 (平成29年度)	1,108件		
現状と課題	人口減少等の社会情勢の変化により、適切な管理がされていない空き家等が増加しており、近隣の生活環境に深刻な影響を及ぼす恐れがあります。これら空き家等の中には、まだ十分に使える住宅もあることから、効果的に活用し良好な住環境を守るため適切な対応を図る必要があります。								

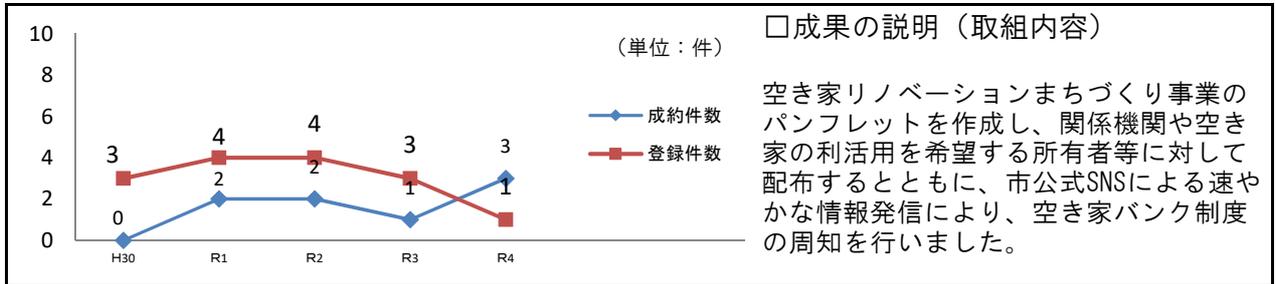
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値※	1,085件	1,063件	1,041件	1,019件	997件
成果指標の実績値※	1,108件	1,088件	1,056件	1,062件	1,082件
達成率	97.9%	97.7%	98.6%	96.0%	92.1%
決算額(千円)	901	3,415	11,367	10,945	9,042

※ 目標値及び実績値は、管理不全空家等の件数を表記しています。

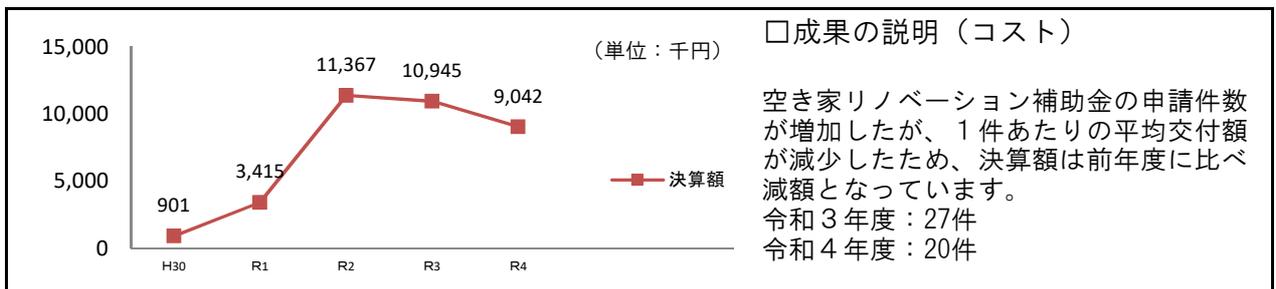
1 管理不全空家等の改善数※



2 空家バンク登録件数・成約件数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	空き家の適正管理について、市公式ホームページへの掲載や、固定資産税納税通知書に予防や管理に関する啓発チラシの同封を継続的に実施したことによる所有者等への意識啓発に加え、近隣住民等からの通報を基に空き家所有者等への郵送による通知や直接の訪問を繰り返すことにより一定の改善が図られました。	
今後の方向性	現状維持	市民ニーズを的確に捉え、市公式ホームページ等により事業の周知や啓発を行い、効果的な住宅施策に推進し、「春日部2世、3世へと住みつなぐ世代が循環するまち」を目指し、計画的に事業を展開していきます。

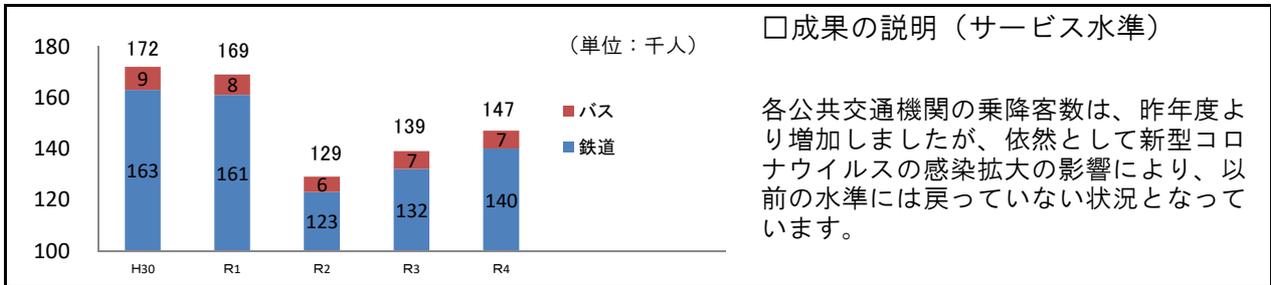
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

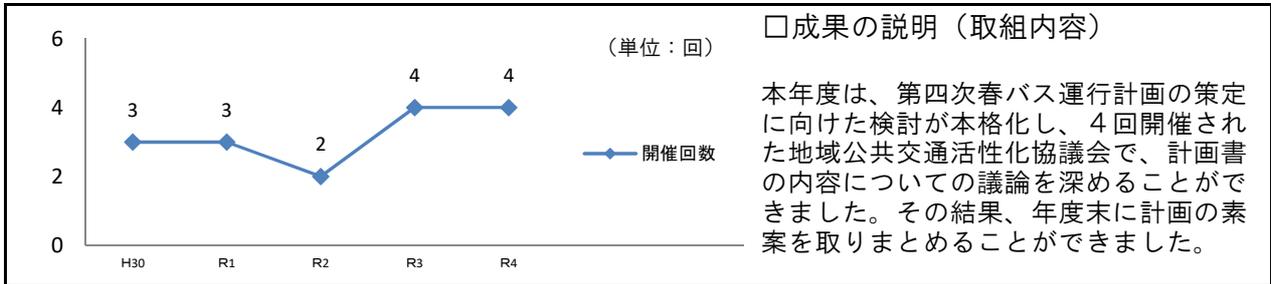
施策番号	6-3-1	実施計画No.	158	重点プロジェクトNo.	②-77	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	コミュニティバス運行事業					課名	都市計画課	
事業内容	市民の交流を促進するとともに、主要公共施設等への交通手段の確保および中心市街地へのアクセスを向上させるため、コミュニティバスを運行します。					事業開始年度	平成19年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	鉄道・バスの1日平均乗降客数					現状値 (平成29年度)	172,000人	
現状と課題	近年の社会情勢の変化等に対応した地域の移動手段の確保が求められているとともに、新型コロナウイルス感染拡大による公共交通への影響に対する対策や、アフターコロナにおける持続可能な公共交通ネットワークの形成が求められています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	172,000人	172,000人	172,000人	172,000人	172,000人
成果指標の実績値	172,000人	169,000人	129,000人	139,000人	147,000人
達成率	100.0%	98.3%	75.0%	80.8%	85.5%
決算額(千円)	61,519	61,296	70,952	60,819	56,818

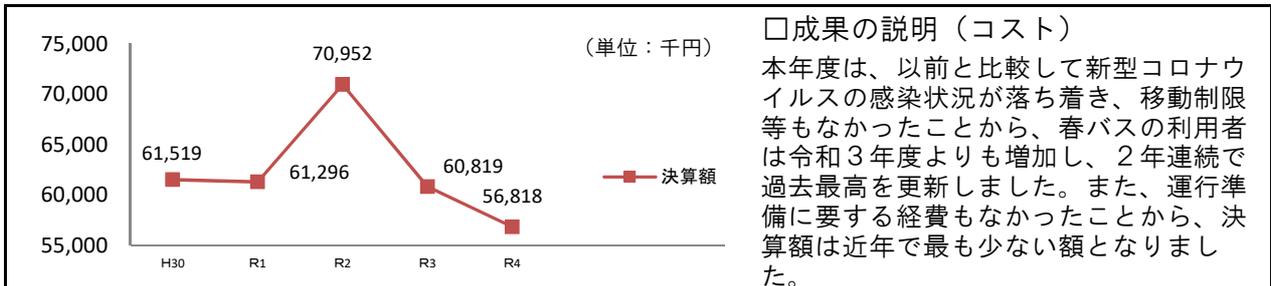
1 鉄道・バスの1日平均乗降客数



2 春日部市地域公共交通活性化協議会開催回数



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	本年度は、新型コロナウイルスによる移動制限等がなかったことから、各公共交通機関の乗降客数は持ち直しの動きが見られました。春バスの利用者数も第三次運行の中では、2年連続で過去最高を記録することになりました。そのような中、第四次春バス運行計画の策定に向け、地域公共交通活性化協議会における協議を通じて、計画の素案を取りまとめることができ、令和5年度中の計画策定及び新ルートでの運行開始に向けた道筋をつけることができたと考えています。	
今後の 方向性	見直し	「地域公共交通計画」に定めた施策を着実に進めるとともに、春バスのより効率的で利便性の高いルート・ダイヤの設定だけでなく、公共交通事業者と連携したタクシーを活用した新たな制度の導入や、路線バスとの乗り継ぎ割引の対象路線拡大による、公共交通ネットワークの強化と合わせた第四次春バス運行計画の策定を行ってまいります。

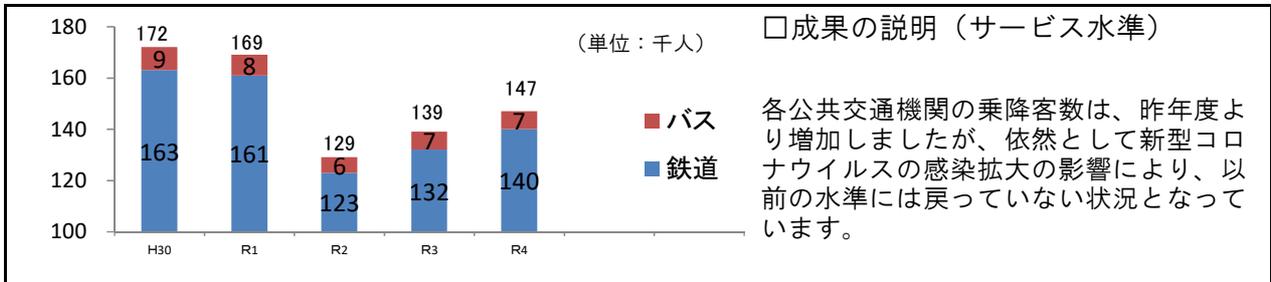
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

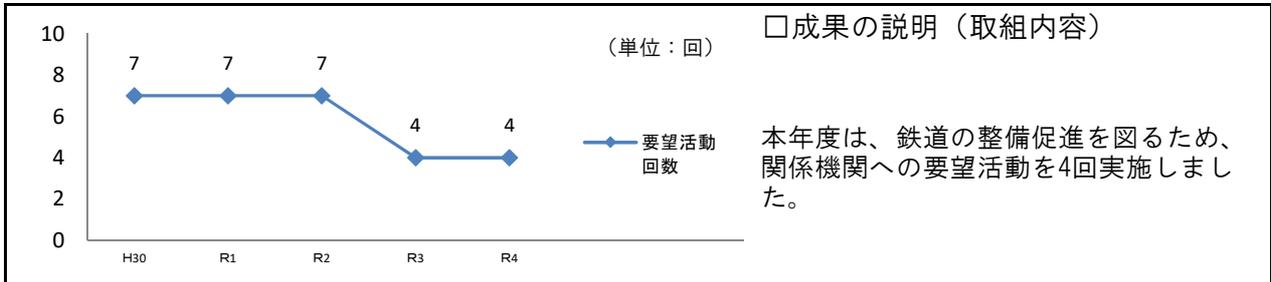
施策番号	6-3-1	実施計画No.	159	重点プロジェクトNo.	②-78	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	鉄道整備促進事業					課名	鉄道高架推進課	
事業内容	沿線地域市町、国、県および鉄道事業者の協力体制により、既設線を利用した相互直通運転など、広域的な鉄道ネットワークの充実や、鉄道の高架化や複線化などの輸送力増強について整備促進に努めます。					事業開始年度	平成24年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	鉄道・バスの1日平均乗降客数				現状値 (平成29年度)	172,000人		
現状と課題	東武スカイツリーライン及びアーバンパークラインは春日部駅で結束し、駅は市内に8駅あります。鉄道路線は交通手段として重要な役割を担っており、公共交通機関の利用を促進するとともに、関係機関に対し、利便性の向上および輸送力の増強を働きかけていく必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	172,000人	172,000人	172,000人	172,000人	172,000人
成果指標の実績値	172,000人	169,000人	129,000人	139,000人	147,000人
達成率	100.0%	98.3%	75.0%	80.8%	85.5%
決算額(千円)	46	44	38	49	46

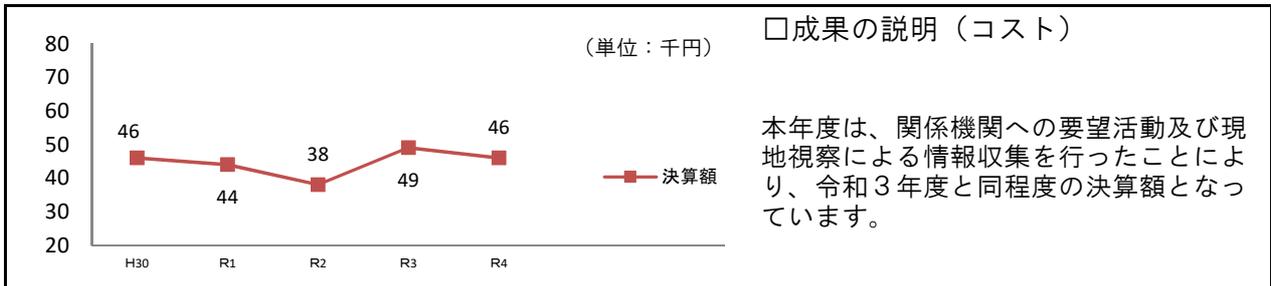
1 鉄道・バスの1日平均乗降客数



2 関係機関（県、鉄道事業者）への要望活動回数



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	本年度は、春日部駅東口仮駅舎の供用開始等、利便性の向上や輸送力の増強を含む春日部付近連続立体交差事業が順調に進んだほか、駅施設の改善や広域的な鉄道ネットワークの充実に向け、気運醸成を図ることができました。	
今後の 方向性	現状維持	要望活動の取組などにより、春日部駅付近連続立体交差事業が目に見える形で進行し続けており、駅施設の改善に向け着実に進んでいます。引き続き、関係機関と連携を図りながら、要望活動を実施していきます。

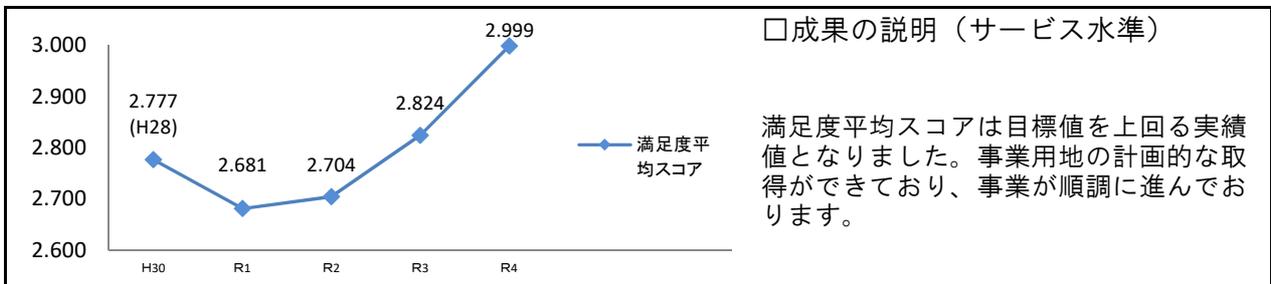
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

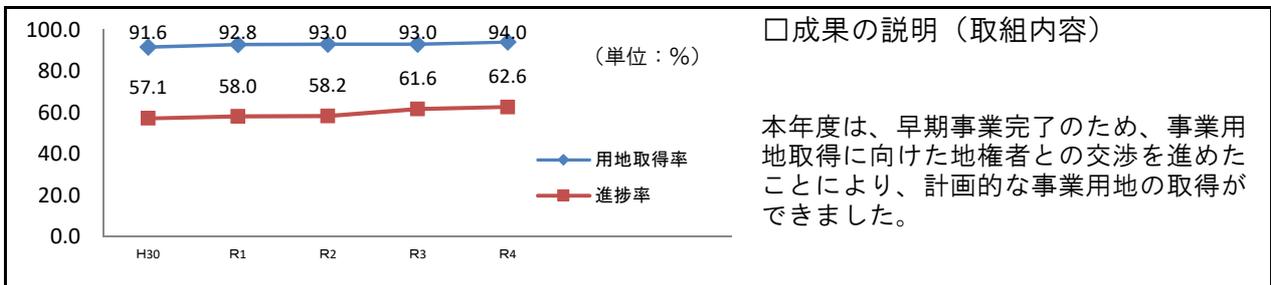
施策番号	6-4-1	実施計画No.	160	重点プロジェクトNo.	②-79	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	武里内牧線整備事業					課名	道路建設課	
事業内容	武里内牧線の未整備区間について整備を行います。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	「円滑に移動できる幹線道路の整備」の満足度平均スコア（市民意識調査）				現状値 (平成29年度)	2.777 (平成28年度)		
現状と課題	武里地区と内牧地区を結ぶ交通の円滑化を図るため、武里内牧線の早期完成が求められています。また、当該路線は、国の社会資本整備総合交付金を受けて整備を行っており、事業推進のためにも安定した財源の確保が必要となっております。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	2.777以上	2.777以上	2.777以上	2.777以上	2.777以上
成果指標の実績値	-	2.681	2.704	2.824	2.999
達成率	-	96.5%	97.4%	101.7%	108.0%
決算額(千円)	64,214	39,417	24,802	141,117	39,103

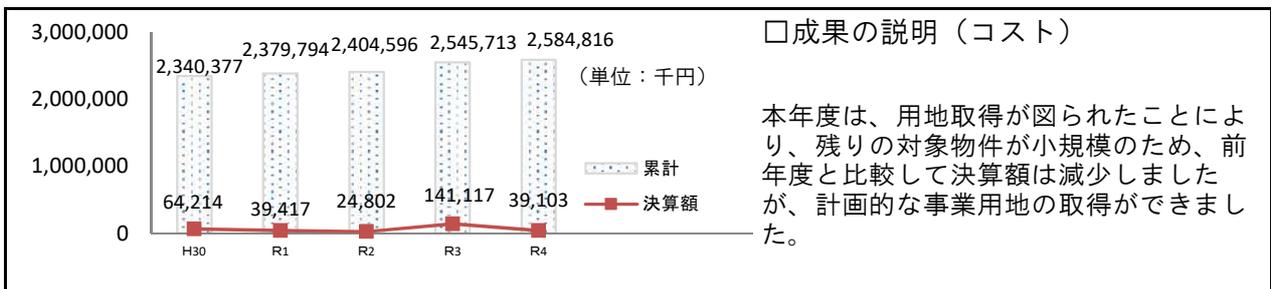
1 「円滑に移動できる幹線道路の整備」の満足度平均スコア（市民意識調査）



2 武里内牧線の事業用地の取得率と進捗率の推移



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は、計画的な事業用地の取得が出来たことにより、武里内牧線の事業が推進したものと考えています。引き続き、広域的な道路ネットワークの形成及び春日部市内の都市内交通の円滑化を図るため、計画的な事業用地の取得を行っていきます。	
今後の方向性	現状維持	今後も、引き続き効果的で効率的な都市計画道路の整備を計画的に進めるため、武里内牧線の早期完成に向けて取り組んでいきます。

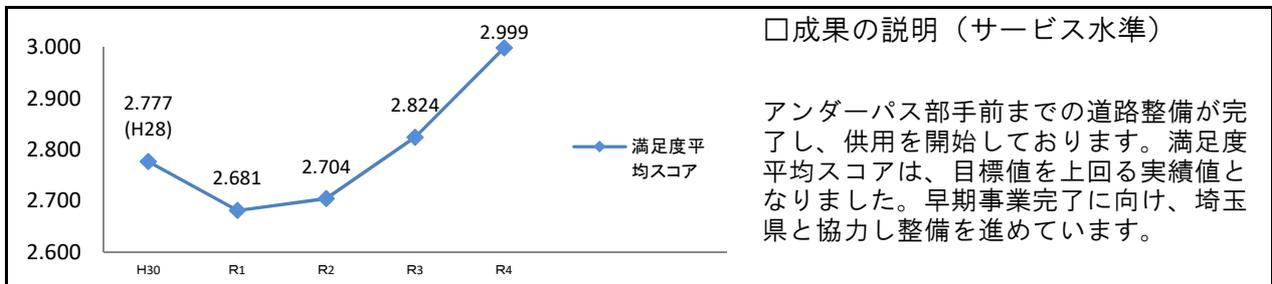
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

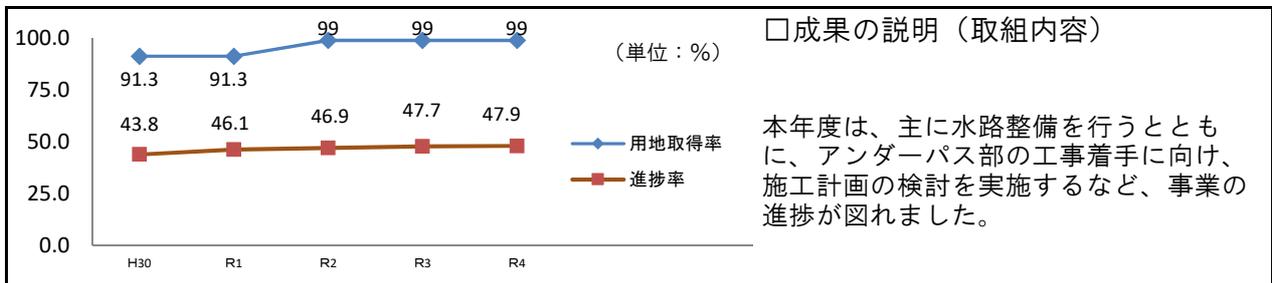
施策番号	6-4-1	実施計画No.	161	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	大場大枝線整備事業（県営事業負担金）					課名	道路建設課	
事業内容	県が実施する大場大枝線事業費の一部を負担します。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	「円滑に移動できる幹線道路の整備」の満足度平均スコア（市民意識調査）				現状値 (平成29年度)	2.777 (平成28年度)		
現状と課題	武里駅周辺の慢性的な交通渋滞の解消と武里駅周辺地域の活性化のため、大場大枝線の早期完成が求められています。そのため、当該路線の事業主体である埼玉県と協力し整備を進めています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	2.777以上	2.777以上	2.777以上	2.777以上	2.777以上
成果指標の実績値	-	2.681	2.704	2.824	2.999
達成率	-	96.5%	97.4%	101.7%	108.0%
決算額(千円)	3,786	44,980	15,056	16,279	2,911

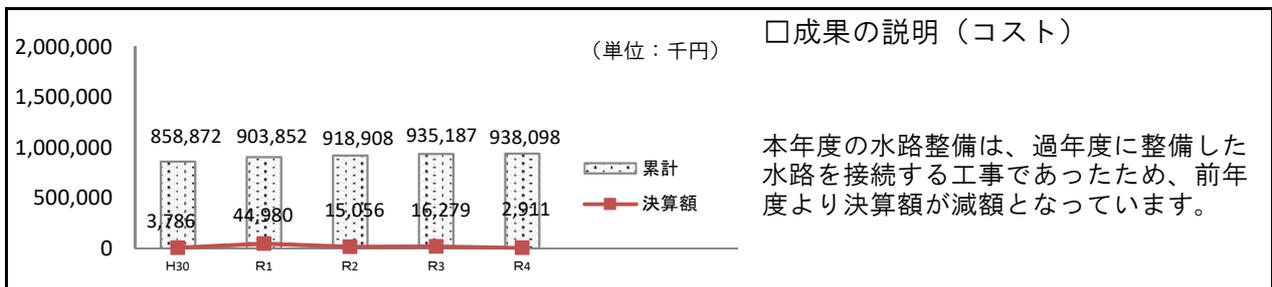
1 「円滑に移動できる幹線道路の整備」の満足度平均スコア（市民意識調査）



2 大場大枝線の事業用地の取得率と進捗率の推移



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	本年度は、アンダーパス部の施工時に支障となる東武鉄道東側の水路整備を実施するとともに、施工計画の検討を実施するなどアンダーパス部の着工に向けた準備が進められており、大場大枝線の事業の促進が図られたと考えています。	
今後の 方向性	現状維持	今後も、引き続き効果的で効率的な都市計画道路の整備を計画的に進めるため、事業主体の埼玉県と連携し、大場大枝線の早期完成に向けて取り組んでいきます。

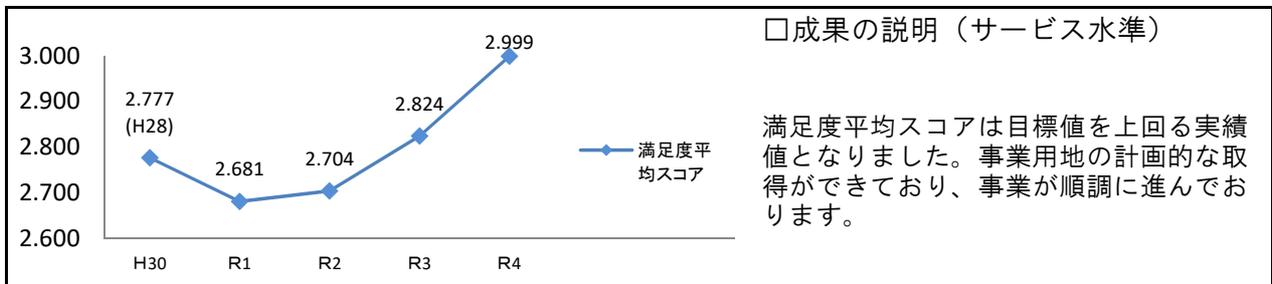
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

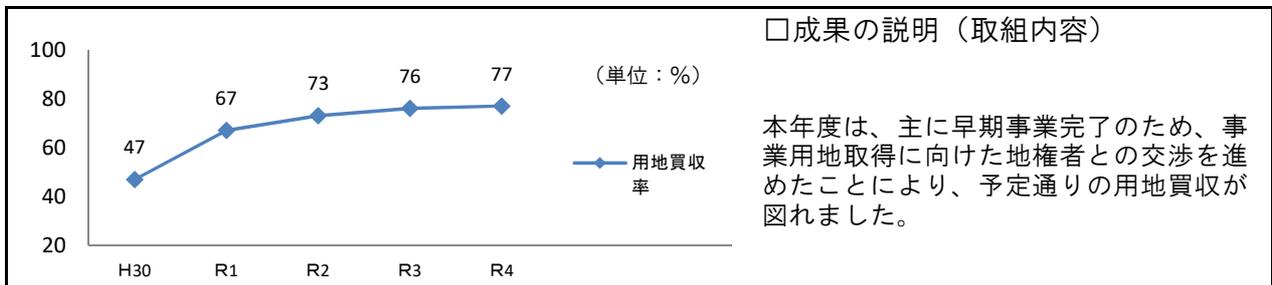
施策番号	6-4-1	実施計画No.	162	重点プロジェクトNo.	②-80	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	中央通り線整備事業					課名	道路建設課	
事業内容	中央通り線の未整備区間について整備を行います。					事業開始年度	平成28年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	「円滑に移動できる幹線道路の整備」の満足度平均スコア（市民意識調査）				現状値 (平成29年度)	2.777 (平成28年度)		
現状と課題	春日部駅東口へのアクセス向上と中心市街地の活性化及びにぎわいの創出を図るため、中央通り線の早期完成が求められています。市民の活動範囲の広域化と車社会の進展に伴い、道路の役割は重要であり、都市機能向上のために必要な幹線道路（中央通り線）の整備を推進します。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	2.777以上	2.777以上	2.777以上	2.777以上	2.777以上
成果指標の実績値	-	2.681	2.704	2.824	2.999
達成率	-	96.5%	97.4%	101.7%	108.0%
決算額(千円)	170,039	357,009	108,363	579,914	91,947

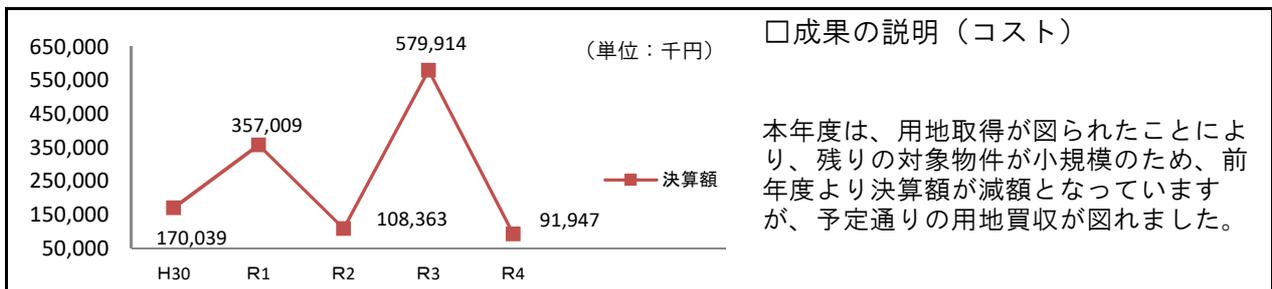
1 「円滑に移動できる幹線道路の整備」の満足度平均スコア（市民意識調査）



2 中央通り線の整備の用地買収率



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は、予定通りの用地買収が図られたこと、電線共同溝予備設計を実施したことで、中央通り線の事業が推進したものと考えています。引き続き、春日部駅東口へのアクセス向上と中心市街地の活性化及びにぎわいの創出を図るため、計画的な事業用地の取得を行っていきます。	
今後の方向性	現状維持	用地買収が予定どおり進んでいることなど、早期完成に向け、都市計画道路中央通り線の整備が推進されており、引き続き、地元地権者等のご協力や関係機関と連携を図りながら、早期完成に向けて取り組んでいきます。

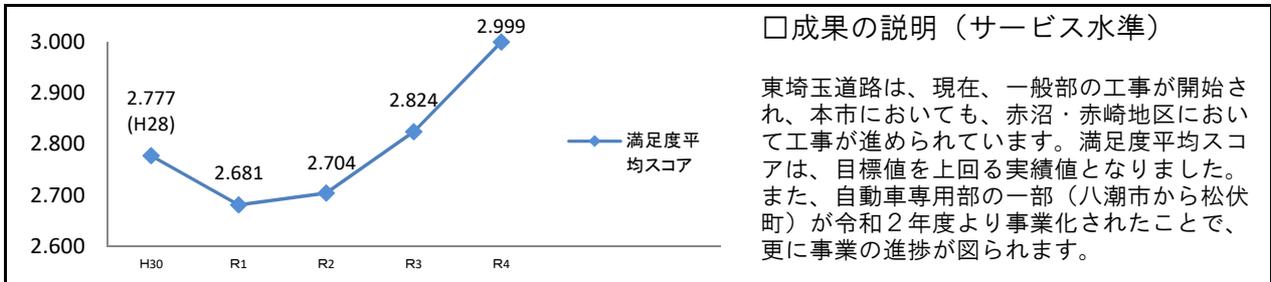
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

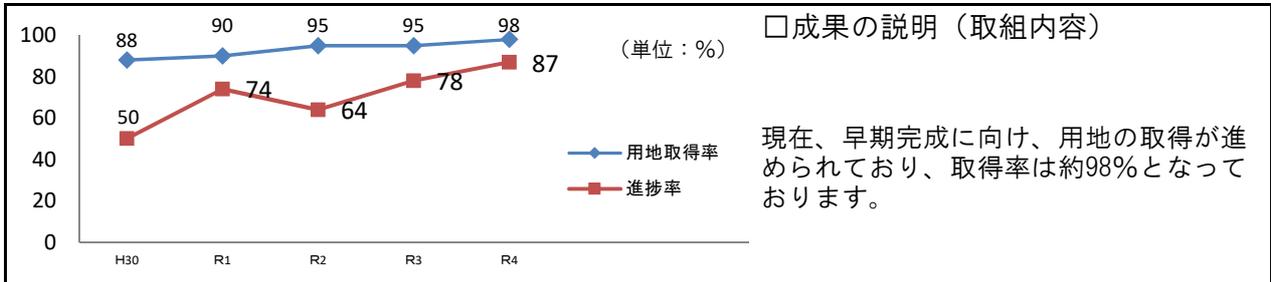
施策番号	6-4-1	実施計画No.	163	重点プロジェクトNo.	②-81	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	街路整備事務					課名	道路建設課	
事業内容	東埼玉道路について、事業主体である国土交通省に対して引き続き要望します。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	「円滑に移動できる幹線道路の整備」の満足度平均スコア（市民意識調査）				現状値 (平成29年度)	2.777 (平成28年度)		
現状と課題	国道4号の渋滞緩和と周辺地域の開発に寄与する東埼玉道路の早期完成が求められています。そのため、事業主体である国土交通省及び関係機関に対し、東埼玉道路早期完成に向け要望を行っております。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	2.777以上	2.777以上	2.777以上	2.777以上	2.777以上
成果指標の実績値	-	2.681	2.704	2.824	2.999
達成率	-	96.5%	97.4%	101.7%	108.0%
決算額(千円)	9,160	15,142	25,562	14,576	14,676

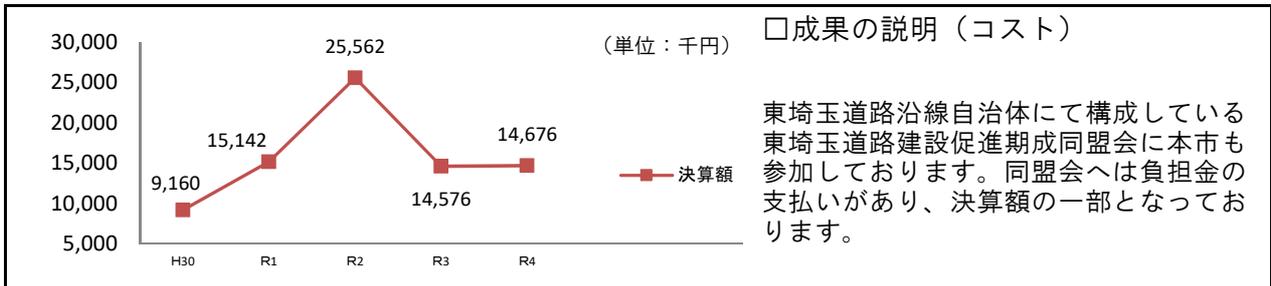
1 「円滑に移動できる幹線道路の整備」の満足度平均スコア（市民意識調査）



2 東埼玉道路の事業用地の取得率と進捗率の推移



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は、昨年同様に事業主体である国土交通省や関係機関に対し、建設促進の要望活動を行い、一般部の用地取得や工事が順調に進められました。また、自動車専用部の一部区間（八潮市から松伏町）が令和2年度に事業化され、工事や用地取得に着手したことから、東埼玉道路の整備促進が図られたと考えています。	
今後の方向性	現状維持	今後も、引き続き効果的で効率的な都市計画道路の整備を計画的に進めるため、東埼玉道路の早期完成に向けて取り組んでいきます。

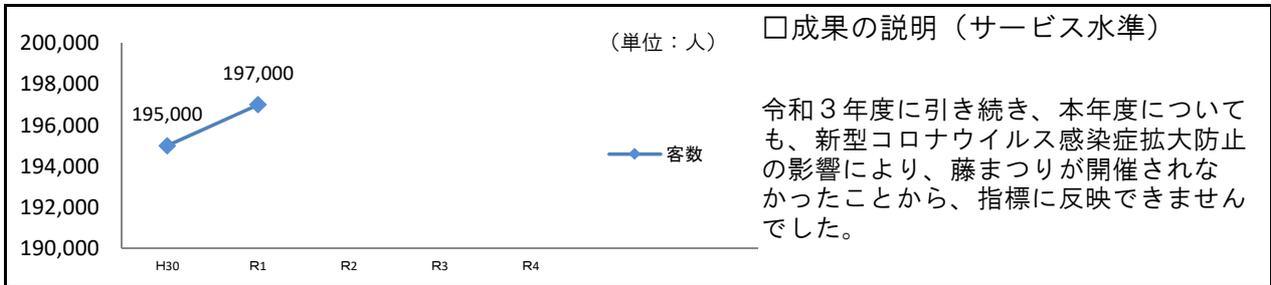
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

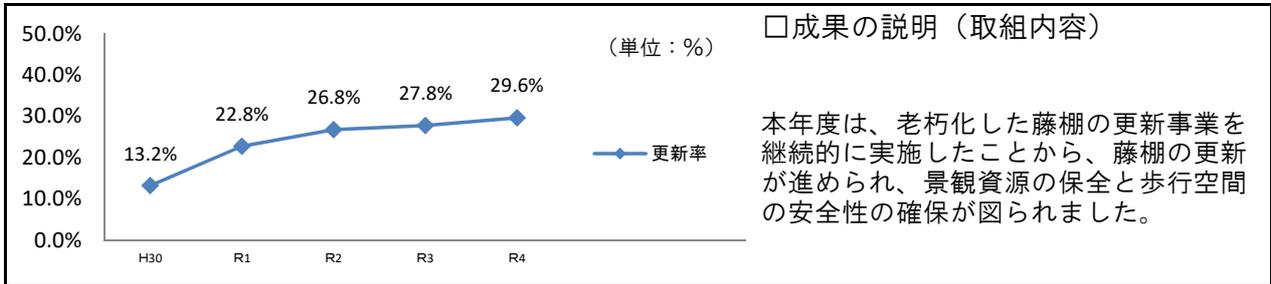
施策番号	6-4-1	実施計画No.	164	重点プロジェクトNo.	②-82	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	ふじ通り藤棚修景事業					課名	道路建設課	
事業内容	老朽化した藤棚の改修を実施し、景観資源の保全と歩行空間の安全性を図るとともに、藤の窓口の設置、ふるさとかすかべ応援寄付金のお礼品として、ふじ通りに銘板を設置するなど、市独自の取り組みを行っています。					事業開始年度	平成28年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	藤まつり観光入り込み客数					現状値 (平成29年度)	190,000人	
現状と課題	本市特有の景観資源であるふじ通りの藤棚は、設置後30年以上が経過し、劣化が進行していることから、藤棚の修景を行い、景観資源の保全、歩行空間の安全性確保が求められています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	190,000人以上	190,000人以上	190,000人以上	190,000人以上	190,000人以上
成果指標の実績値	195,000人	197,000人	—	—	—
達成率	102.6%	103.7%	—	—	—
決算額(千円)	37,336	72,375	29,835	9,438	20,812

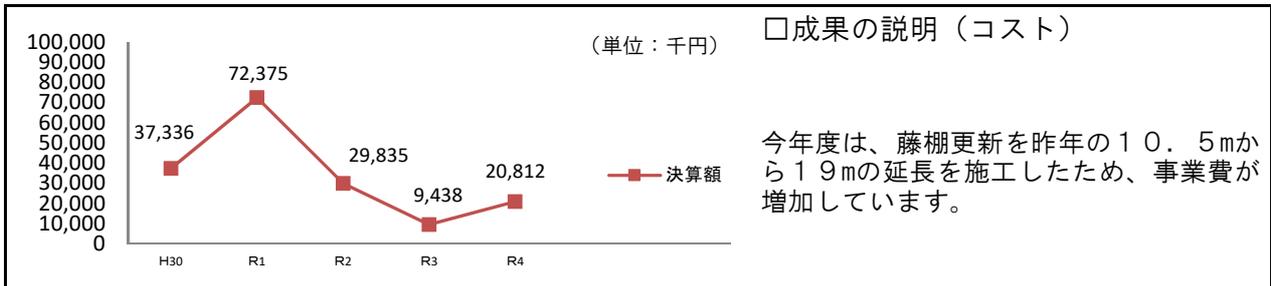
1 藤祭り観光入り込み客数推移



2 藤棚の更新率



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度も、老朽化した藤棚の改修を実施し、景観資源の保全と歩行空間の安全性を図るとともに、藤の窓口の設置、ふるさとかすかべ応援寄付金のお礼品として、ふじ通りに銘板を設置することで、景観資源の保全と歩行空間の安全性の確保及び地域活性化の向上に繋がったものと考えています。	
今後の方向性	現状維持	本事業は、平成31年度から国庫補助事業の対象外となったことから、今後については、国の動向に注視しつつ補助財源の確保や、より一層の経費縮減策についても検討を行いながら、引き続き事業を推進していきます。

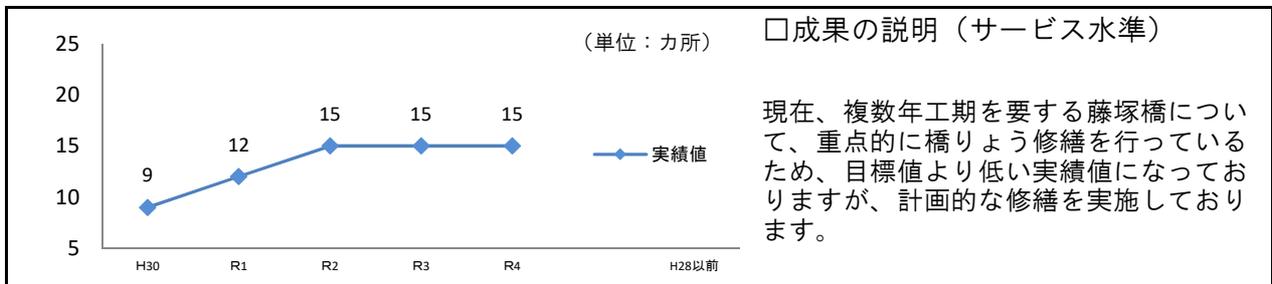
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

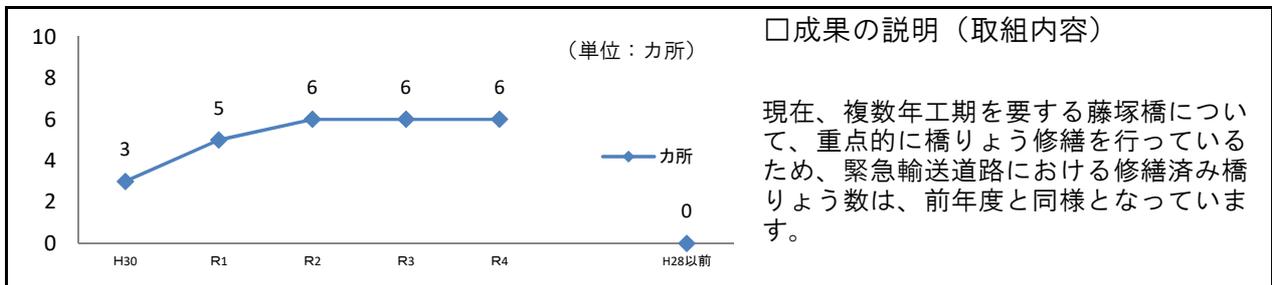
施策番号	6-4-1	実施計画No.	165	重点プロジェクトNo.	③-112	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	橋りょう長寿命化修繕事業					課名	道路建設課	
事業内容	橋りょうのライフサイクルコストの最小化と構造の長寿命化を図るため、適切な管理と計画的な修繕を実施し、人々が安全安心に移動できるようにします。					事業開始年度	平成25年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	修繕済み橋りょう数				現状値 (平成29年度)	5カ所		
現状と課題	市が管理する道路橋は、1970年代に建設された橋りょうが多く、約20年後には建設後約50年を経過する橋りょうが約70%を占める状況です。このため、一斉に大規模修繕が必要となり、短期的に大きな財政負担が生じることが予測されます。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	9カ所	13カ所	17カ所	21カ所	25カ所
成果指標の実績値	9カ所	12カ所	15カ所	15カ所	15カ所
達成率	100.0%	92.3%	88.2%	71.4%	60.0%
決算額(千円)	329,731	262,995	81,428	89,165	106,169

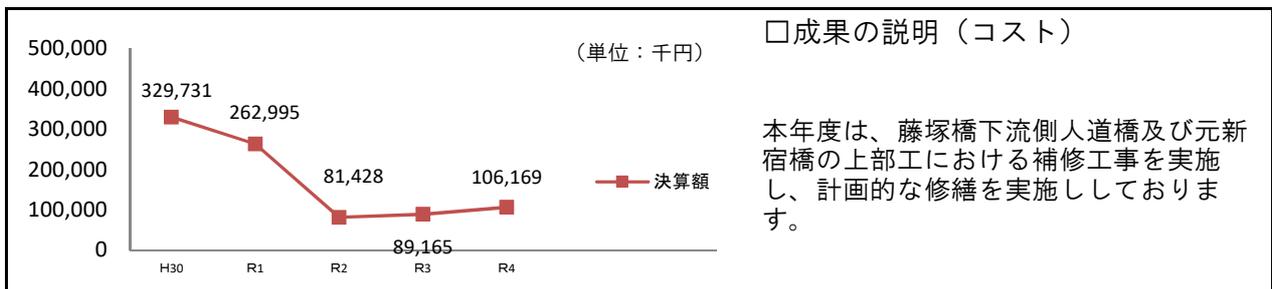
1 修繕済み橋りょう数の推移



2 修繕済み橋りょう（市指定緊急輸送道路）数の推移



3 決算額の推移



令和4年度の
評価

本年度は、橋りょう長寿命化修繕計画の対象となる重要な橋りょうの修繕を優先的、且つ継続的に実施し、災害時にも安全で安心な市民生活に繋がれたものと考えています。

今後の
方向性

現状維持

現在、藤塚橋（車道橋、上下流の人道橋）の修繕工事を最優先に進めております。今後も引き続き、災害時にも市民生活に支障が出ないよう、安全で安心できる橋りょうを目指し、計画的に橋りょう長寿命化修繕事業を進めてまいります。

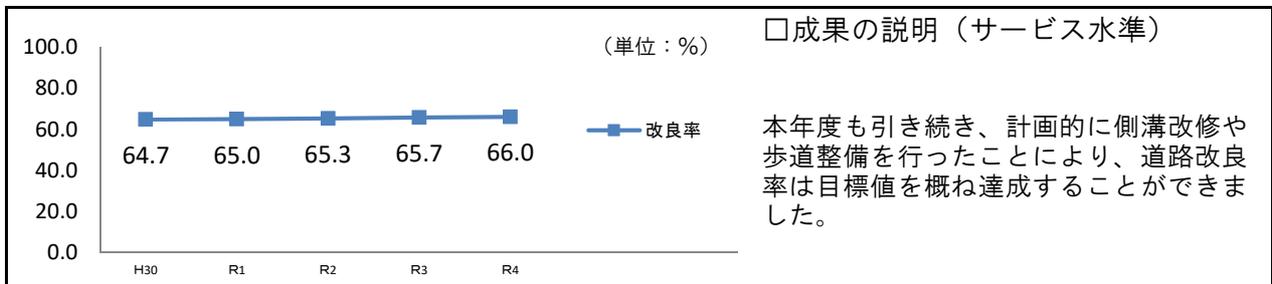
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

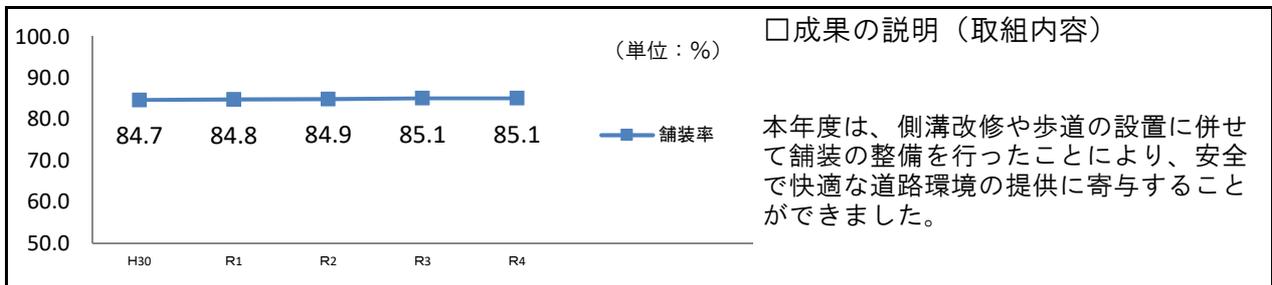
施策番号	6-4-2	実施計画No.	166	重点プロジェクトNo.	③-113	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	道路整備事業				課名	道路建設課		
事業内容	生活道路や歩道および交通安全施設の整備を行い、交通安全の充実および利便性向上を図ります。				事業開始年度	平成17年度		
					事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	道路改良率				現状値 (平成29年度)	64.1%		
現状と課題	近年、高齢者ドライバーによる交通事故の増加や、通学路での人身事故が多発していることから、市内全域において安心・安全な道路の整備が求められています。このため、優先順位をつけて計画的に道路の拡幅整備や歩道の整備を進めていく必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	64.6%	65.1%	65.5%	66.0%	66.5%
成果指標の実績値	64.7%	65.0%	65.3%	65.7%	66.0%
達成率	100.2%	99.8%	99.7%	99.5%	99.2%
決算額(千円)	173,487	89,547	89,067	93,962	181,710

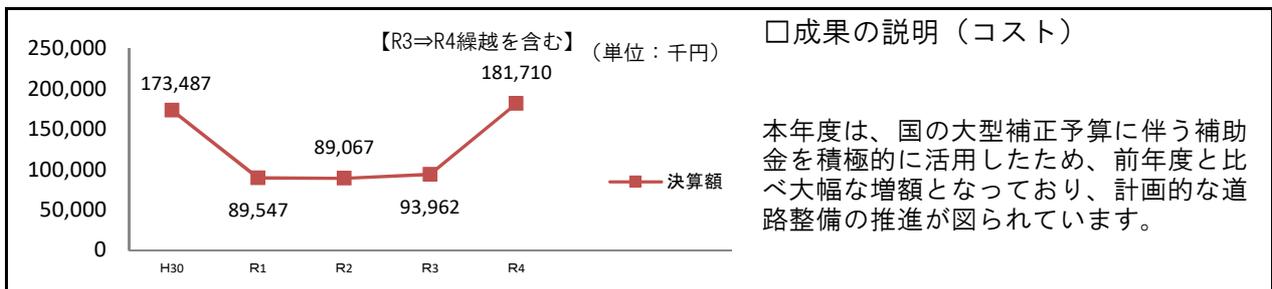
1 道路改良率



2 舗装率



3 決算額の推移



令和4年度の
評価

本年度は、計画的な側溝改修や歩道整備による道路拡幅、併せて舗装の整備を行ったことにより、安心・安全な生活道路の充実と利便性の向上に寄与することができました。

今後の
方向性

現状維持

引き続き、地域の主要な生活道路を中心として計画的に道路整備に取り組むことで、安心・安全で快適な道路環境の推進を図ります。また、全国的に求められている通学路の安全対策や、本市における駅周辺のバリアフリー化対策についても重点的に実施してまいります。

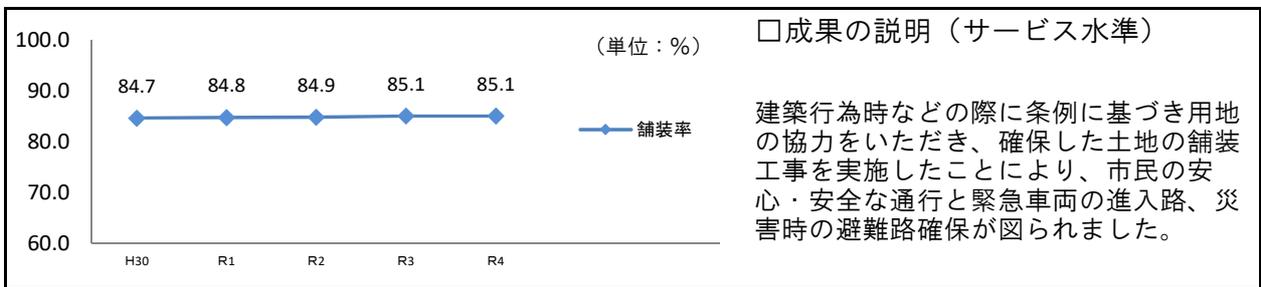
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

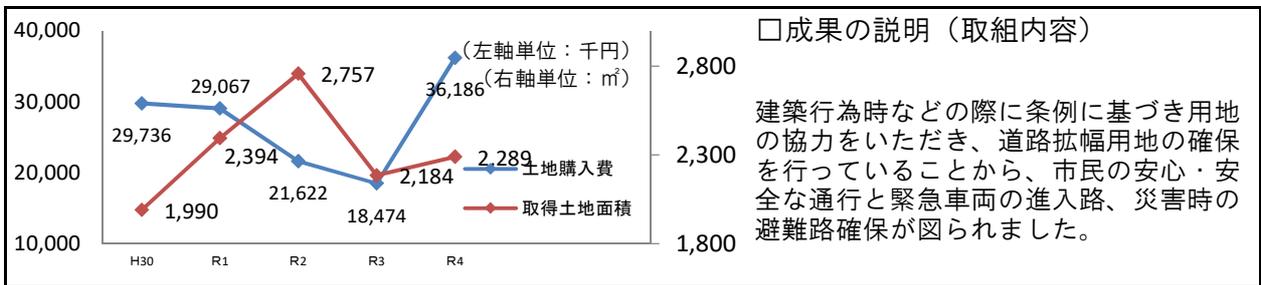
施策番号	6-4-2	実施計画No.	167	重点プロジェクトNo.	③-114	-	補助金No.	-	
事業名 (補助金名)	生活道路拡幅整備事業					課名	道路管理課		
事業内容	市民の安心・安全な通行と緊急車両の進入路、災害時の安全な避難路確保のため、市民の協力のもと、開発行為・建築行為を行う場合は、生活道路6メートルでの整備を進めます。					事業開始年度	平成17年度		
						事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	舗装率					現状値 (平成29年度)	84.6%		
現状と課題	生活道路は、住宅地へのアクセス機能だけではなく、災害時の避難路や緊急車両の進入路としての役割を担っています。このため、特に狭い道路においては、沿道住民の理解と協力を得ながら、早期に拡幅整備する必要があります。								

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	84.7%	84.9%	85.1%	85.3%	85.5%
成果指標の実績値	84.7%	84.8%	84.9%	85.1%	85.1%
達成率	100.0%	99.9%	99.8%	99.8%	99.5%
決算額(千円)	116,666	107,481	104,268	97,193	137,040

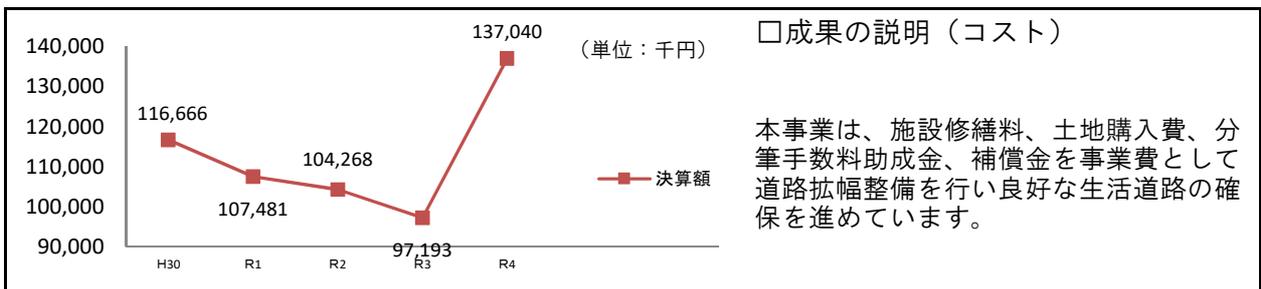
1 舗装率の推移



2 土地購入費及び取得土地面積の推移



3 決算額の推移



令和4年度の評価	令和4年度は、開発事業に関する条例等に基づき、計画的に道路用地の確保を行い、生活道路の利便性や安全性の向上が図られたものと考えています。身近な生活道路は、市民生活の安全性、利便性、災害時の避難路を確保するうえでも重要な施設であり安全性を第一とした整備が求められています。	
今後の方向性	現状維持	今後も引き続き、地域の主要な生活道路を中心に6メートル未満の道路の拡幅や舗装等を行い安全で快適に移動できる道路の整備を進めていきます。

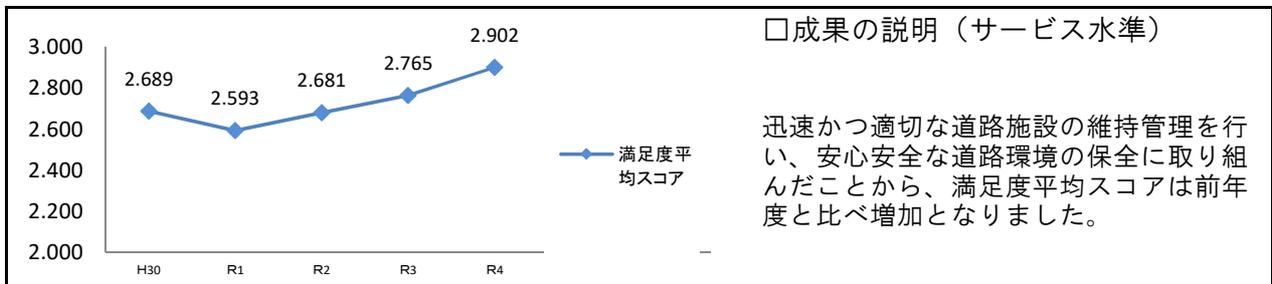
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

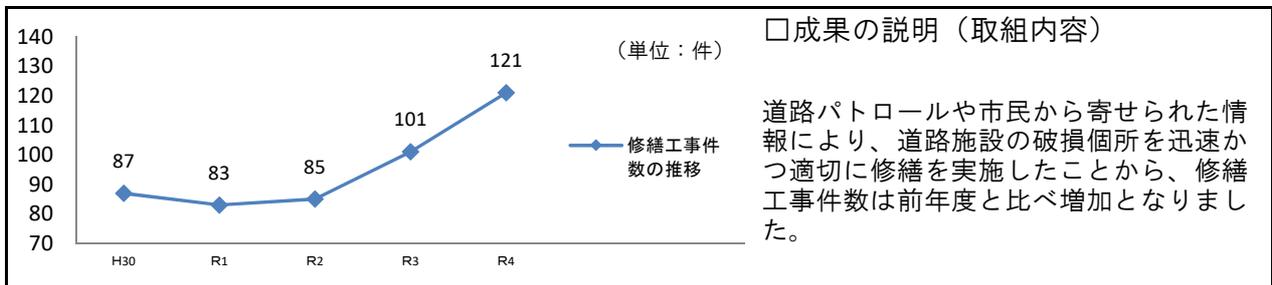
施策番号	6-4-2	実施計画No.	168	重点プロジェクトNo.	③-115	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	道路施設維持管理事業					課名	道路管理課	
事業内容	緊急を要する道路の維持管理および道路パトロールによる危険箇所の早期発見、さらに効率的で計画的に維持管理を実施することにより、交通安全の向上を図ります。					事業開始年度	平成30年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	「安全安心に通行できる生活道路」への満足度平均スコア（市民意識調査）				現状値 (平成29年度)	2.689 (平成28年度)		
現状と課題	道路施設の老朽化に伴い、維持管理に要する費用が増加しています。そのため効率的で持続可能な維持管理を行う必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	2.689以上	2.689以上	2.689以上	2.689以上	2.689以上
成果指標の実績値	-	2.593	2.681	2.765	2.902
達成率	-	96.4%	99.7%	102.8%	107.9%
決算額(千円)	347,385	356,407	381,688	413,128	444,835

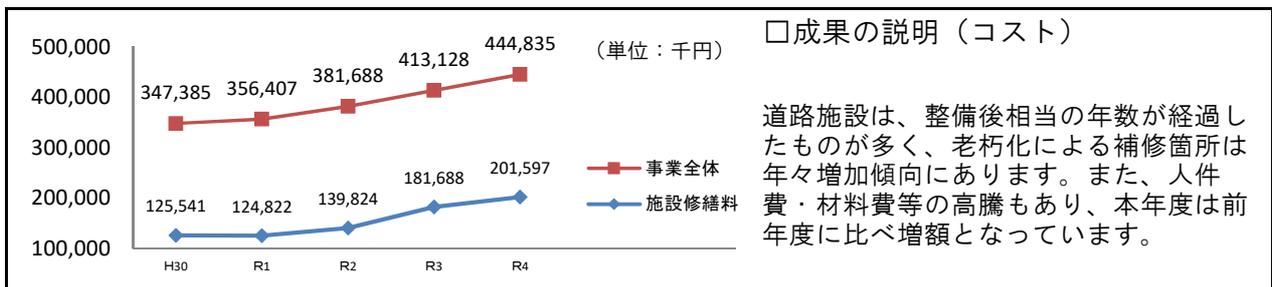
1 「安全安心に通行できる生活道路」への満足度平均スコア（市民意識調査）



2 修繕工事件数の推移



3 決算額の推移



令和4年度の評価
本年度は、道路陥没や防護柵破損等の危険箇所について、迅速かつ適切に修繕を実施し、道路を安全で快適な状態に維持できたことにより、市民意識調査の道路の満足度アップに寄与したものと考えています。

今後の方向性
現状維持
市が管理する道路施設は、高度経済成長期に整備されたものが多く、老朽化に伴う維持管理費用の増加が急速に進んでいます。道路施設を将来にわたり持続的に維持管理するため、適切なコスト管理と予防保全に取り組むなど長寿命化を図っていきます。

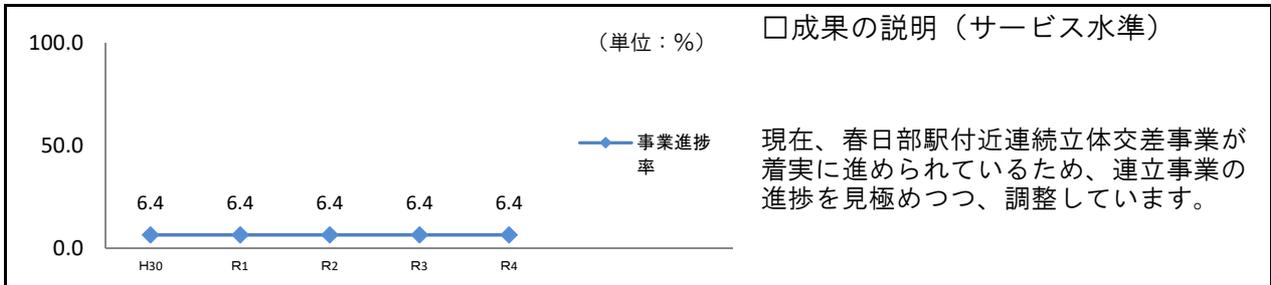
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

施策番号	6-4-2	実施計画No.	169	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-	
事業名 (補助金名)	富士見町地下道バリアフリー化整備事業					課名	道路建設課		
事業内容	富士見町地下道にエレベーターを設置し、バリアフリー化することで車椅子やベビーカーを利用される方々の利用増進を図るとともに、東西交通の利便性および回遊性の向上による中心市街地の活性化を図るものです。					事業開始年度	平成29年度		
						事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	事業進捗率（実施事業費／計画事業費）					現状値 (平成29年度)	0.9%		
現状と課題	春日部駅周辺は、東西連絡機能が不十分であるため、車椅子やベビーカーを利用する方々は移動に支障をきたしているなど、回遊性を妨げる要因の一つとなっています。このため、既存ストックを活用した連絡手段を創出することにより、利便性や回遊性を高める必要があります。								

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	6.4%	53.2%	100.0%	100.0%	100.0%
成果指標の実績値	6.4%	6.4%	6.4%	6.4%	6.4%
達成率	100.0%	12.0%	6.4%	6.4%	6.4%
決算額(千円)	38,178	0	0	0	0

1 事業進捗率（実施事業費／計画事業費）

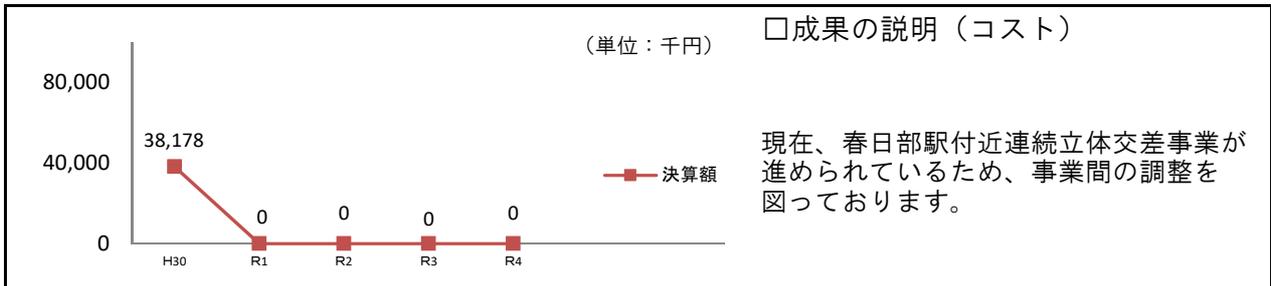


2 進捗状況

年度	平成30年度			令和元年度～
時期	7～9	10～12	1～3	
詳細設計 (春日部市)	エレベーター設置工・仮設工の設計			連続立体交差事業の計画等を見極めながら調整
詳細設計 (東武鉄道)	施工計画・工事費の積算			
エレベーター 設置工事				

□成果の説明（取組内容）
現在、春日部駅付近連続立体交差事業が着実に進められているため、連立事業の進捗を見極めつつ、調整しています。

3 決算額の推移



令和4年度の 評価	春日部駅付近連続立体交差事業は、事業認可以降、事業主体の埼玉県と東武鉄道により、具体的な工事の施工計画を検討するなど着実に進んでいるため、事業間の調整を図っております。	
今後の 方向性	縮小	現在、春日部駅付近連続立体交差事業が着実に進められており、駅周辺の東西の往来が可能となることから、連立事業の早期完成を目指してまいります。

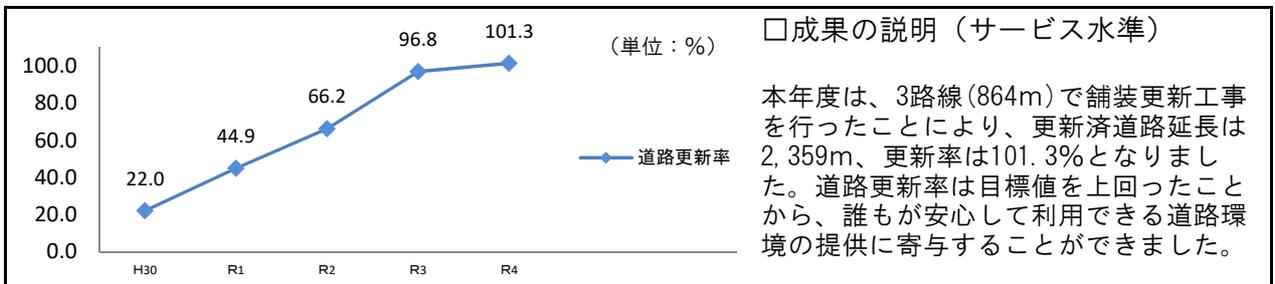
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

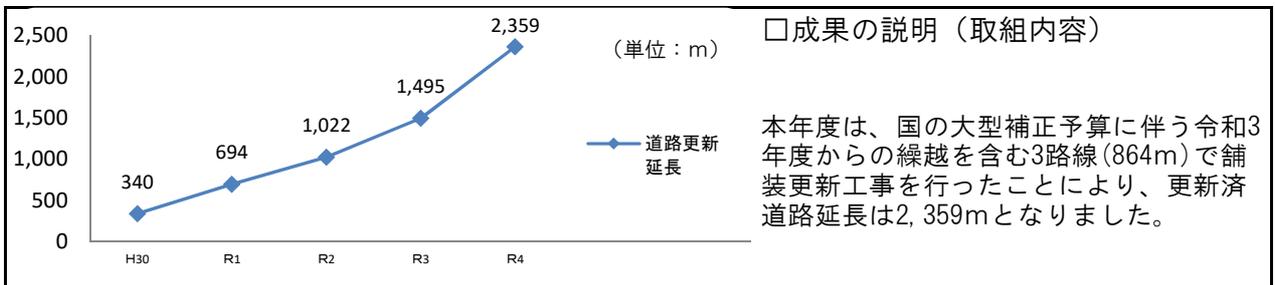
施策番号	6-4-2	実施計画No.	170	重点プロジェクトNo.	③-116	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	道路施設更新事業					課名	道路建設課	
事業内容	道路施設の老朽化が顕在化しているなか、計画的な道路施設の更新を行うことにより、誰もが安心して利用できる道路環境を提供します。					事業開始年度	平成30年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	道路更新率（更新済道路延長／更新計画道路延長）				現状値 (平成29年度)	0.0%		
現状と課題	施設の老朽化に伴う維持管理費用が増加しているため、適切なコスト管理による効率的で持続可能な維持管理を行うことが求められています。このため、将来にわたり持続的に維持管理を行っていくため、従来の事後保全型管理から予防保全型の管理手法へ転換していく必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	18.0%	38.5%	59.0%	79.5%	100.0%
成果指標の実績値	22.0%	44.9%	66.2%	96.8%	101.3%
達成率	122.2%	116.6%	112.2%	121.8%	101.3%
決算額(千円)	31,954	70,065	37,025	58,565	86,501

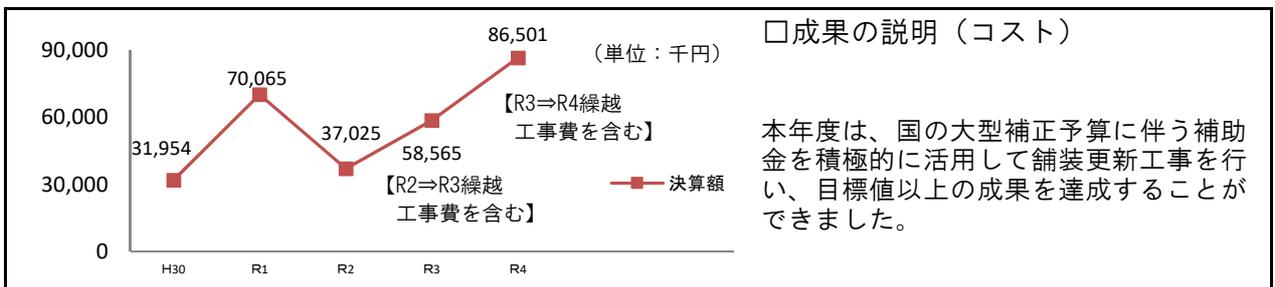
1 道路更新率（更新済道路延長／更新計画道路延長）



2 道路更新延長



3 決算額の推移



令和4年度の評価	昨年度に計画路線延長を1,544mから2,300mに見直しましたが、本年度も国の大型補正予算に伴う補助金を活用し、3路線(864m)で舗装更新工事を行ったことにより、更新済道路延長は2,359m、更新率は101.3%となり、誰もが安心して利用できる道路環境の提供に寄与することができたと考えています。	
今後の方向性	現状維持	修繕時期を適切に管理していくことにより、誰もが安心して利用できる道路環境の向上が図られており、引き続き、国の有利な補助金を活用しつつ、維持管理費用の縮減と平準化を踏まえた道路修繕を計画的に実施していきます。

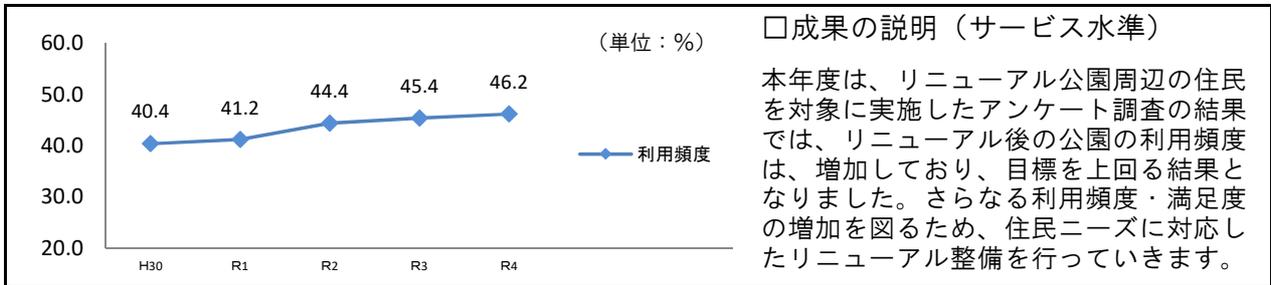
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

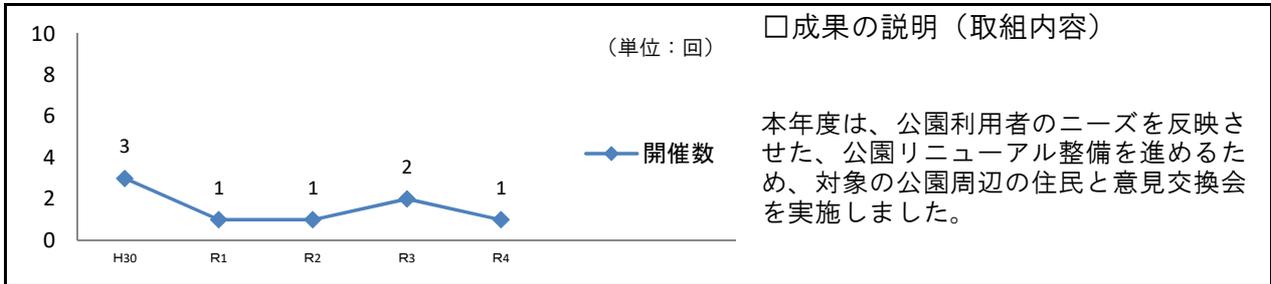
施策番号	6-4-3	実施計画No.	171	重点プロジェクトNo.	①-50	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	子育てふれあい公園リニューアル事業					課名	公園緑地課	
事業内容	子どもから高齢者までが一緒にふれあえる公園として、公園のリニューアルを行います。地域のニーズにあわせた公園の再整備のため、市民参加による公園づくりを行います。					事業開始年度	平成24年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	リニューアル公園の利用頻度増加					現状値 (平成29年度)	42.4%	
現状と課題	公園は住民の多様な余暇活動を支える役割を担っていますが、古くなった公園は、施設の老朽化や十分利用されていない等の課題を抱えております。本市の「子育てしやすいまちの実現」や「高齢社会に対応したまちの実現」のため、住民ニーズに対応した公園の整備が求められています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	43.4%	44.1%	44.8%	45.5%	46.1%
成果指標の実績値	40.4%	41.2%	44.4%	45.4%	46.2%
達成率	93.1%	93.4%	99.1%	99.8%	100.2%
決算額(千円)	19,224	21,120	21,120	19,358	19,620

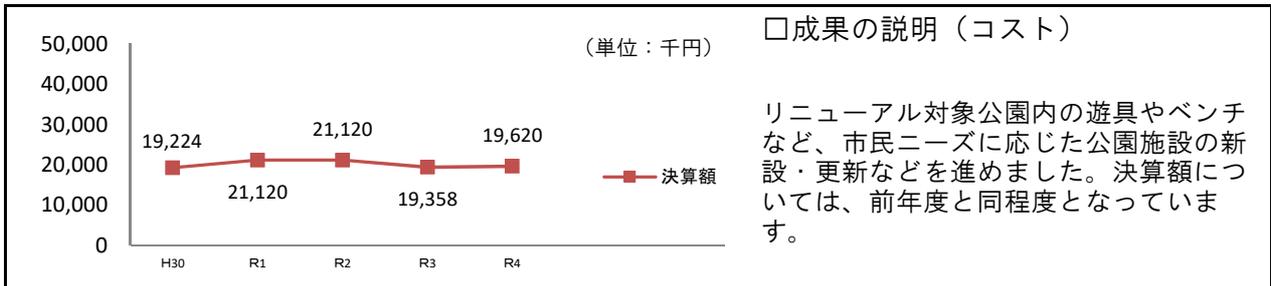
1 リニューアル公園の利用頻度増加



2 再整備実施に伴う意見交換会開催数



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	令和4年度は、千間1丁目地内の武里第6公園について、周辺住民へのアンケート調査の実施、意見交換の開催などを行い、住民ニーズに応じた、公園施設の新設・更新などのリニューアルを実施しました。公園施設の更新に加え、市民ニーズに応じた公園リニューアルを進めたことから、公園の魅力が向上するなど、公園の利用頻度も増加したものと考えています。	
今後の 方向性	現状維持	住民にとって「身近な公園」は、年少の子供を抱える子育て家庭や高齢者にとって重要な空間であることから、古くなった公園を、誰もが安心・安全に利用でき、また、利用者ニーズを踏まえるには、大規模な改修が必要となっています。今後も引き続き地区住民の意見を取り入れながら、公園のリニューアルを実施してまいります。

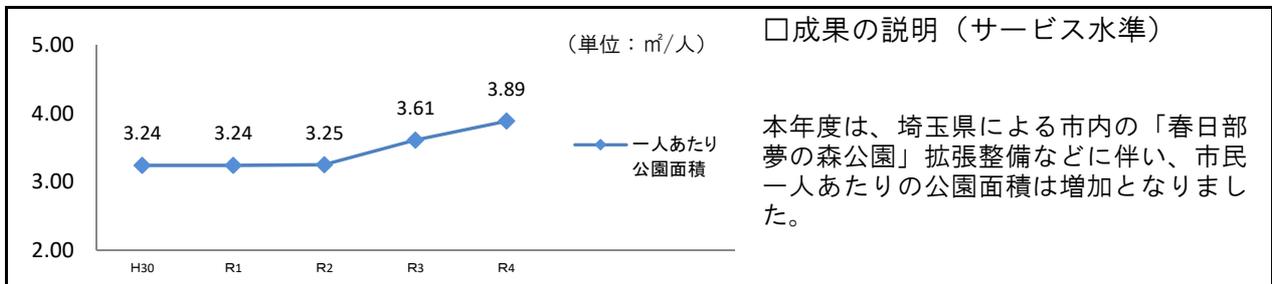
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

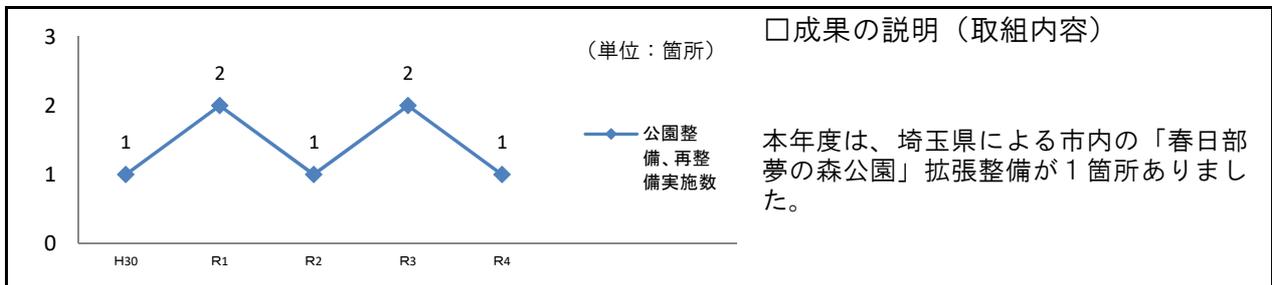
施策番号	6-4-3	実施計画No.	172	重点プロジェクトNo.	③-117	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	都市公園等整備事業					課名	公園緑地課	
事業内容	良好で充実した公園緑地環境を創出又は保全し、市民に安全で快適な憩いの場を提供するものです。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	一人あたり公園面積				現状値 (平成29年度)	3.21㎡/人		
現状と課題	公園緑地は生活環境の向上やレクリエーション・地域コミュニティ形成の場など多様な役割を担っています。人口減少や少子高齢化の進行などの社会情勢の変化や、公園へのニーズに対応した、公園の整備や、配置の見直しなどによる再編を図っていく必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	3.22㎡/人	3.22㎡/人	3.22㎡/人	3.22㎡/人	3.90㎡/人
成果指標の実績値	3.24㎡/人	3.24㎡/人	3.25㎡/人	3.61㎡/人	3.89㎡/人
達成率	100.6%	100.6%	100.9%	112.1%	99.7%
決算額(千円)	19,634	39,228	0	0	821

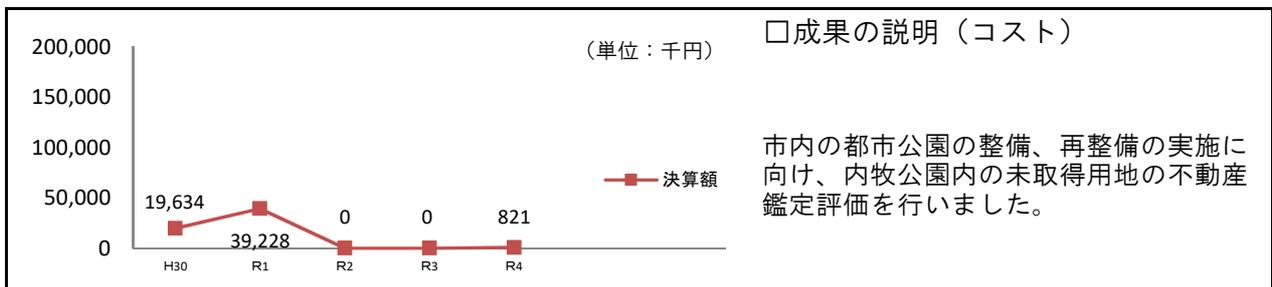
1 一人あたり公園面積



2 公園整備、再整備実施数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	令和4年度は、埼玉県による公園拡張整備（春日部夢の森公園 60,900㎡）に伴い、市民一人あたりの公園面積は増加したことから、目標はほぼ達成となりました。今後においても公園整備や再整備などを、計画的に実施してまいります。	
今後の方向性	現状維持	人口減少や少子高齢化の進行などの社会情勢の変化や、公園へのニーズに対応し、生活環境の向上やレクリエーション・地域コミュニティの向上を図るため、新規公園の整備や再整備、既存公園の再編などを実施してまいります。

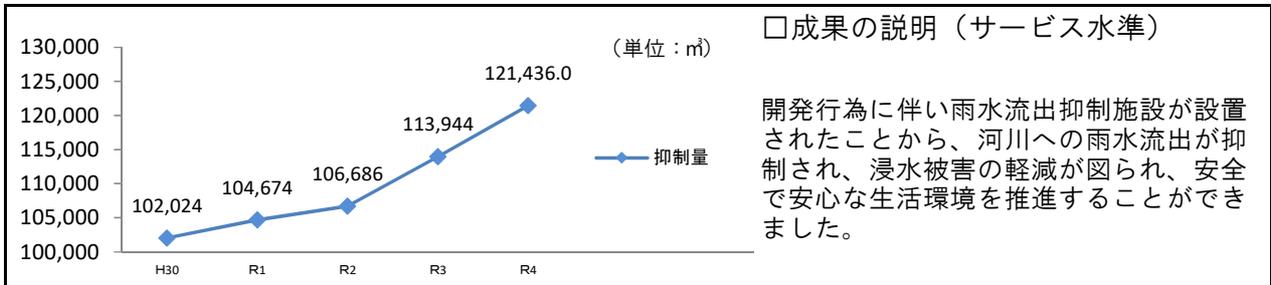
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

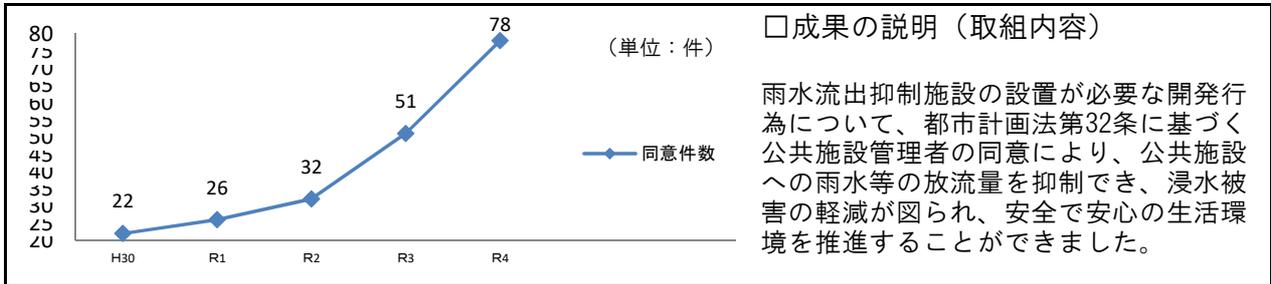
施策番号	6-4-4	実施計画No.	173	重点プロジェクトNo.	③-118	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	治水対策事業				課名	河川課		
事業内容	準用河川を改修整備することにより、浸水被害の軽減を図り、安全で安心の生活環境を確保します。				事業開始年度	平成15年度		
					事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	雨水流出抑制施設の抑制量				現状値 (平成29年度)	101,219m ³		
現状と課題	一定の面積以上の土地の開発行為では、面積に応じ雨水流出抑制施設の設置を条例に基づき設置して頂いているが、開発事業者の負担にもなることから、雨水の流出について理解を深めていただく説明等が必要となります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	102,535m ³	103,851m ³	105,167m ³	106,483m ³	107,800m ³
成果指標の実績値	102,024m ³	104,674m ³	106,686m ³	113,944m ³	121,436m ³
達成率	99.5%	100.8%	101.4%	107.0%	112.6%
決算額(千円)	100,066	106,163	417,555	294,638	243,735

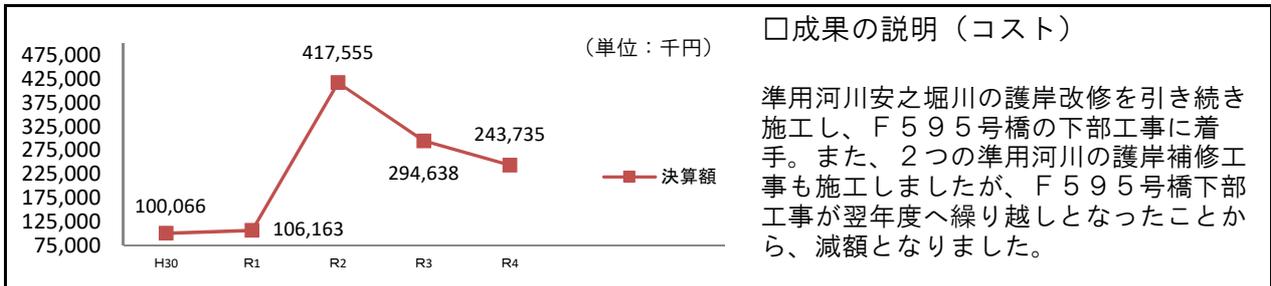
1 雨水流出抑制施設の抑制量



2 都市計画法第32条の同意件数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	開発事業者の協力のもと、継続して、条例に基づく雨水流出抑制施設が設置され、また、準用河川の護岸補修工事の実施したことから、浸水被害の軽減を図り、安全で安心の生活環境を確保が推進されたと考えています。なお、F595号橋の下部工事においては翌年度へ繰り越しとなりました。	
今後の方向性	現状維持	今後も開発行為等に伴う公共施設への雨水等の放流量の確認、雨水流出抑制施設の整備を求めるなど、雨水放流による公共施設への影響を抑制し、また、準用河川の改修により雨水排水能力の向上と、浸水被害の軽減を図り、安全で安心の生活環境を推進します。

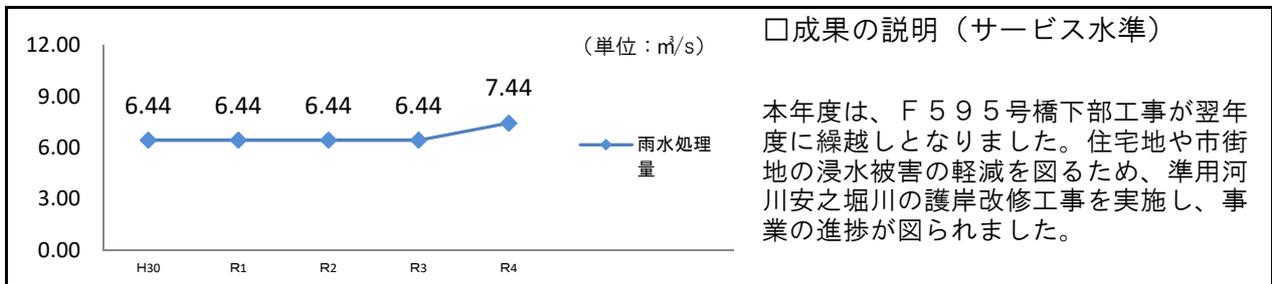
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

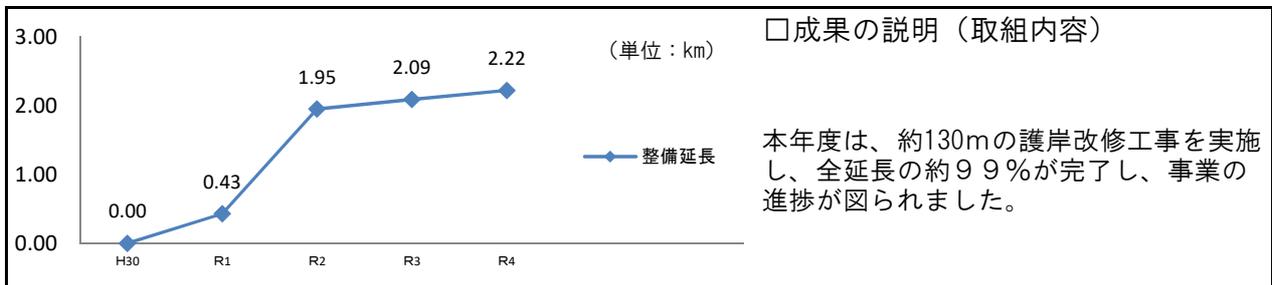
施策番号	6-4-4	実施計画No.	174	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	下水道事業（雨水）				課名	河川課		
事業内容	公共下水道（雨水）に位置づけられたポンプ場の機能維持を図り、安定的な内水排除を行うため、機械電気設備などの整備や雨水幹線の築造を進めます。				事業開始年度	平成28年度		
					事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	100mm/h 安心プランで実施する事業における雨水処理量				現状値 (平成29年度)	6.44m ³ /s		
現状と課題	本市では、浸水被害の軽減を目的に計画降雨（約50mm/h）にて準用河川安之堀川の整備を進めてきましたが、近年頻発するゲリラ豪雨等局所的な大雨に対処するため、計画降雨を超える大雨（本市では89mm/h）に対応した河川整備が求められています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	6.44m ³ /s	6.44m ³ /s	6.44m ³ /s	6.44m ³ /s	11.44m ³ /s
成果指標の実績値	6.44m ³ /s	6.44m ³ /s	6.44m ³ /s	6.44m ³ /s	7.44m ³ /s
達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	65.0%
決算額(千円)	59,860	95,713	373,179	223,131	172,822

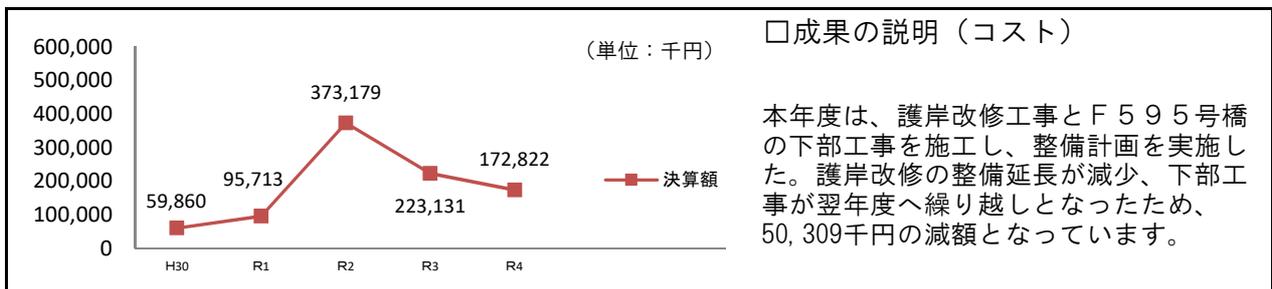
1 100mm/h 安心プランで実施する事業における雨水処理量



2 準用河川安之堀川の護岸整備延長



3 決算額の推移



令和4年度の評価
本年度は、準用河川安之堀川の護岸改修工事を昨年度に引き続き施工し、F595号橋の下部工事にも着手しました。護岸改修の進捗率は99%を達成し、浸水被害軽減を目的とした100ミリ安心プランの進捗が図られたものと考えております。

今後の方向性
現状維持
準用河川安之堀川の護岸改修工事は99%を達成、新方川との合流部分のF595号橋の下部工事は翌年度へ繰り越しとなりましたが、令和5年度に工事は完了する見込みであり、100ミリ安心プランは計画的に推進されております。引き続き、一級河川を管理する埼玉県等、関係機関と連携を図りながら、浸水被害の軽減に努めてまいります。

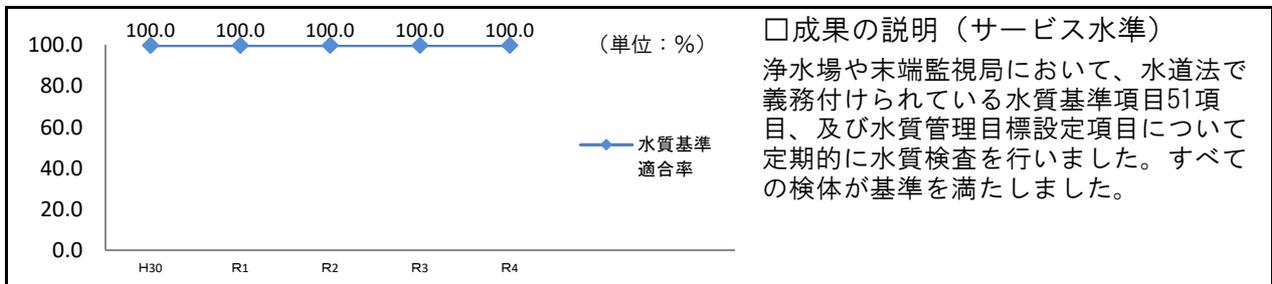
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

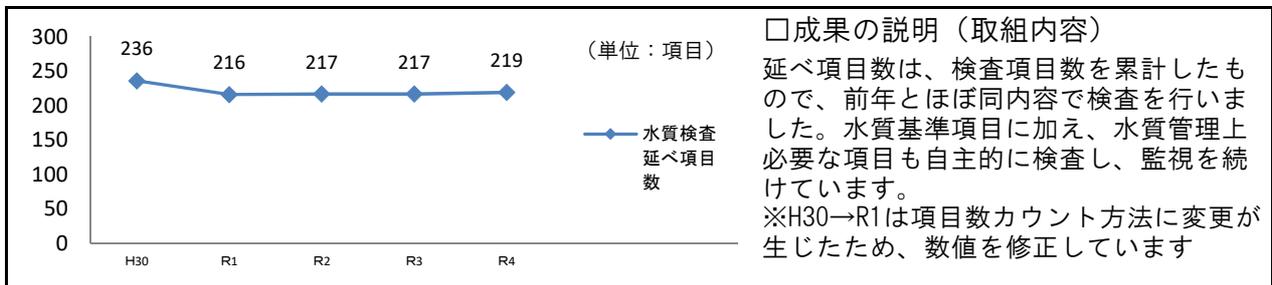
施策番号	6-5-1	実施計画No.	175	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	水質管理				課名	工務課		
事業内容	水道法、省令、規則などに基づく水質検査を実施し、安全な水道水を供給します。				事業開始年度	平成17年度		
					事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	水質基準適合率				現状値 (平成29年度)	100.0%		
現状と課題	時代や環境の変化に的確に対応し、将来にわたって安全で安定した水道水を市民に供給していくことが求められています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
成果指標の実績値	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
決算額(千円)	9,808	9,856	10,209	11,705	11,743

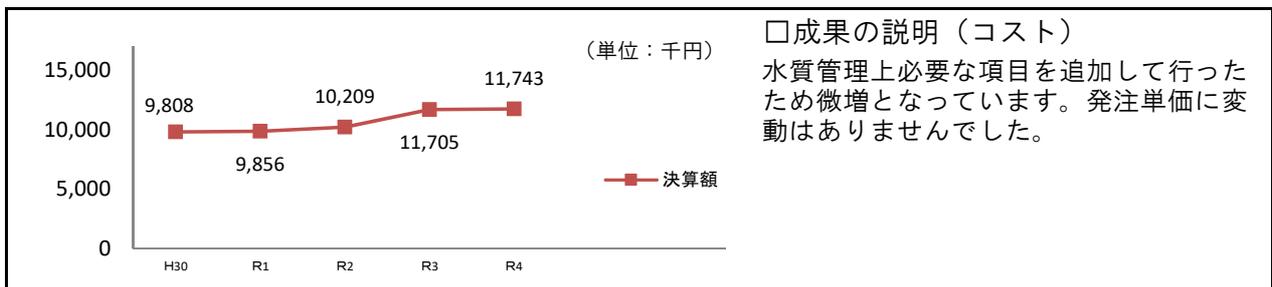
1 水質基準適合率



2 水質検査延べ項目数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	水質基準項目適合率は100%を維持しており、市民に安全な水道水の提供ができました。	
今後の方向性	現状維持	本市独自の水源である地下水、その浄水処理状況を監視していきます。また、県庄和浄水場とも連携し、安定供給を行っていきます。

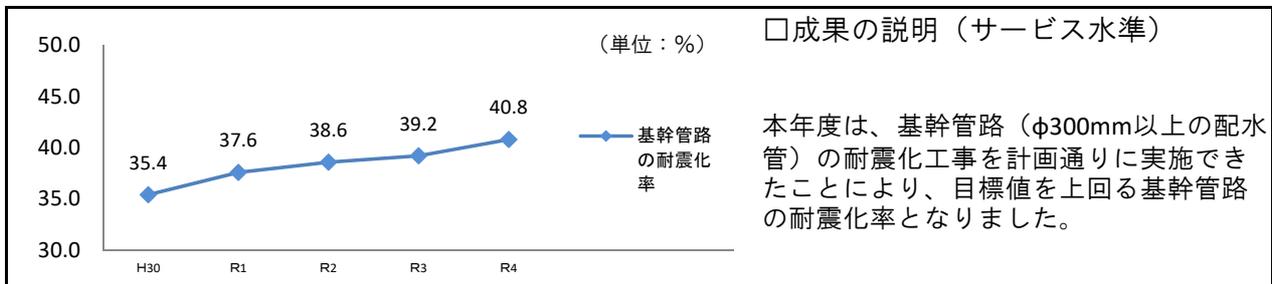
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

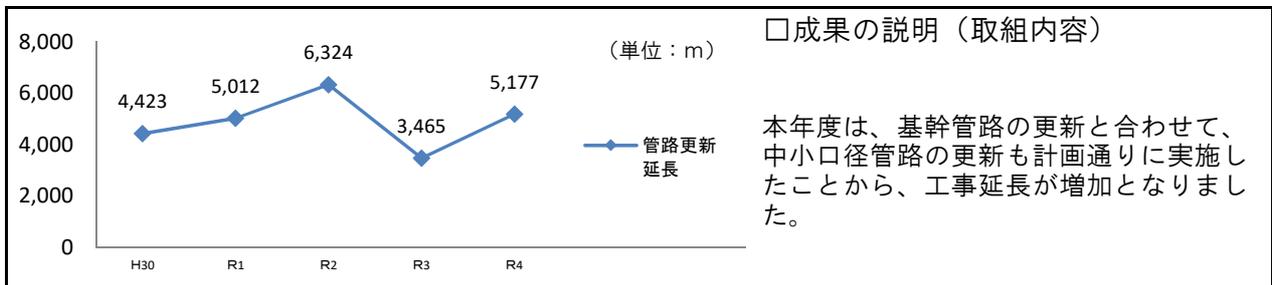
施策番号	6-5-1	実施計画No.	176	重点プロジェクトNo.	③-119	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	配水管更新事業					課名	工務課	
事業内容	耐震性に優れた強靱な水道管を布設します。					事業開始年度	平成26年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	基幹管路の耐震化率				現状値 (平成29年度)	33.2%		
現状と課題	本市は、高度経済成長時代の急激な人口増加に合わせ水道管の拡張を進めました。今、それらの管路が一斉に老朽化による更新時期を迎えています。耐用年数を超過した水道管の更新に合わせて耐震性に優れた管種へ更新することにより、安定した水道水の供給を図ることが求められています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	34.7%	36.2%	37.7%	39.2%	40.7%
成果指標の実績値	35.4%	37.6%	38.6%	39.2%	40.8%
達成率	102.0%	103.9%	102.4%	100.0%	100.2%
決算額(千円)	925,697	693,533	874,771	551,644	787,149

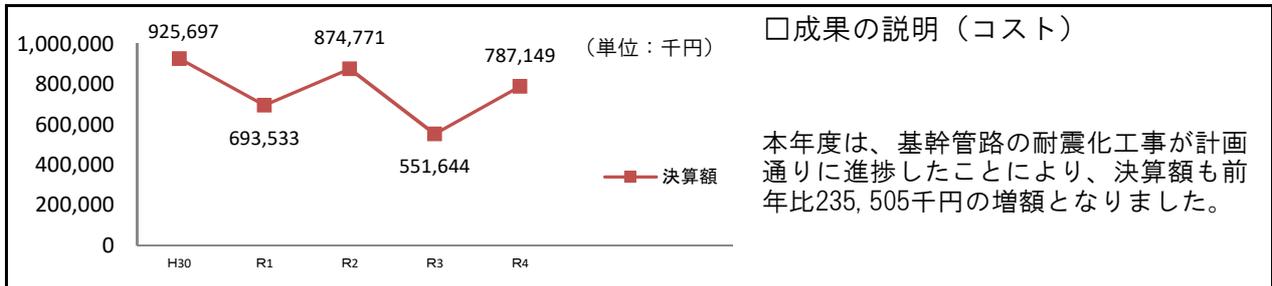
1 基幹管路の耐震化率



2 管路更新延長



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は、基幹管路の耐震化工事が、目標値を上回る基幹管路耐震化率となり、「市民が安全で安定した水を利用できるようにすること」の実現に近づいたものと考えています。	
今後の方向性	現状維持	春日部市新水道ビジョンや耐震化計画に基づき、管路の耐震化を推進しており、引き続き、耐震化工事のスピードアップに取り組むなど「安全」「強靱」「持続」を柱とした水供給の実現を推進していきます。

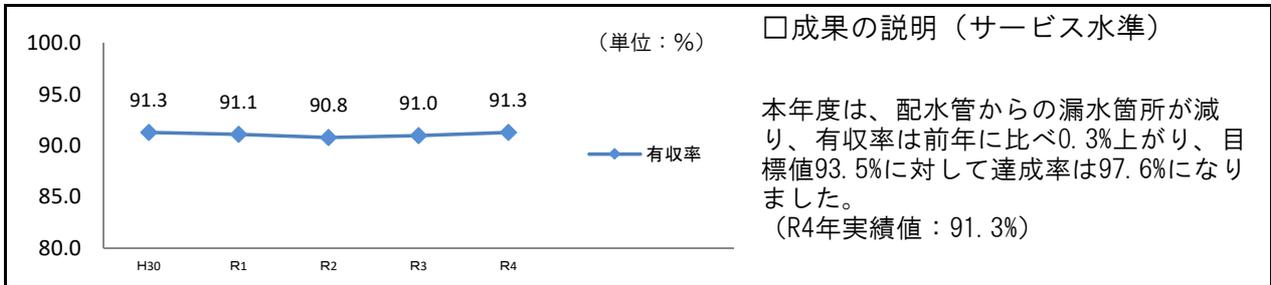
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

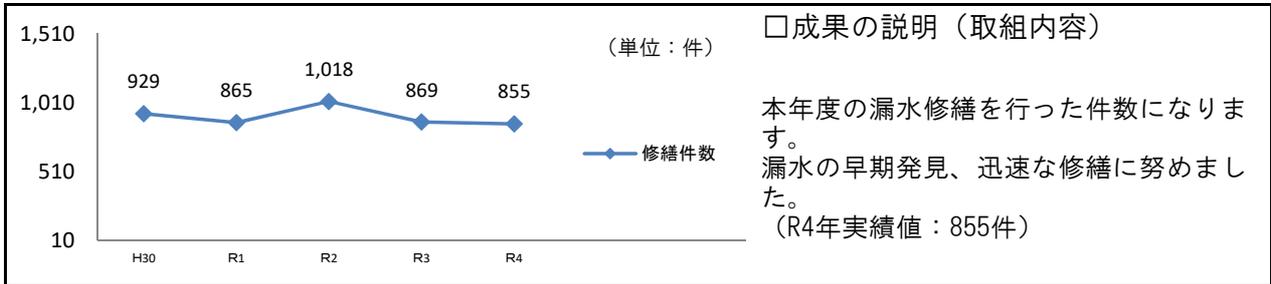
施策番号	6-5-1	実施計画No.	177	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	水道施設維持管理事業					課名	施設管理課	
事業内容	漏水箇所の早期発見と修繕の迅速な対応					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	有収率 93.5%				現状値 (平成29年度)	92.6%		
現状と課題	市内の給水管や配水管は老朽化が進んでいるため、毎年、漏水調査を実施し、地表に表れない漏水の発見と迅速な修繕に努めていますが、老朽化を原因とした給水管や配水管の漏水が後を絶たない状況が課題となっています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	93.5%	93.5%	93.5%	93.5%	93.5%
成果指標の実績値	91.3%	91.1%	90.8%	91.0%	91.3%
達成率	97.6%	97.4%	97.1%	97.3%	97.6%
決算額(千円)	167,032	170,156	187,189	175,544	166,145

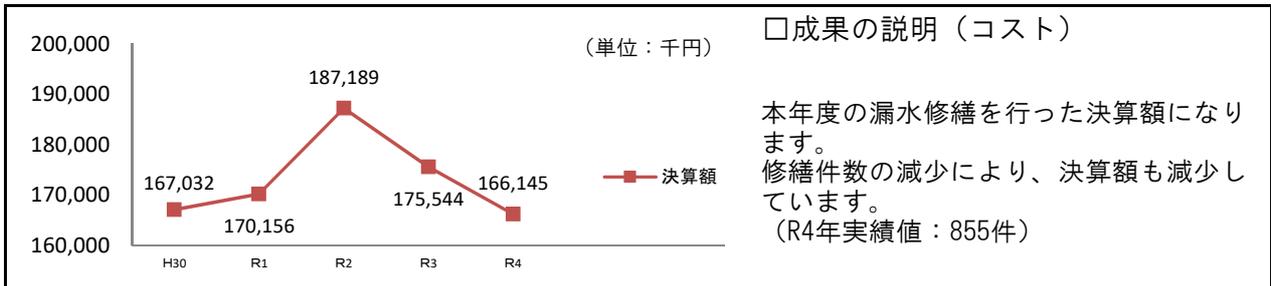
1 有収率



2 漏水修繕件数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	迅速な漏水修繕に努めた結果、漏水量が減少し有収率が0.3%上がり、有収率の目標達成率は97.6%となりました。	
今後の方向性	現状維持	効果的な漏水調査を行い、迅速な漏水修繕を実施してまいります。

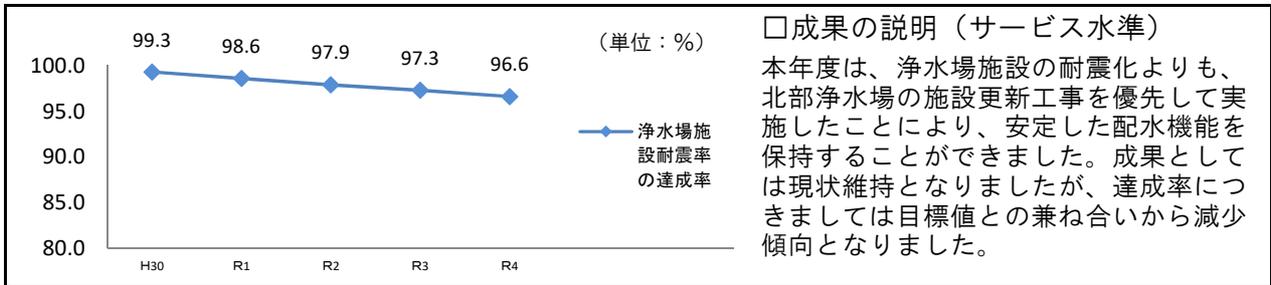
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

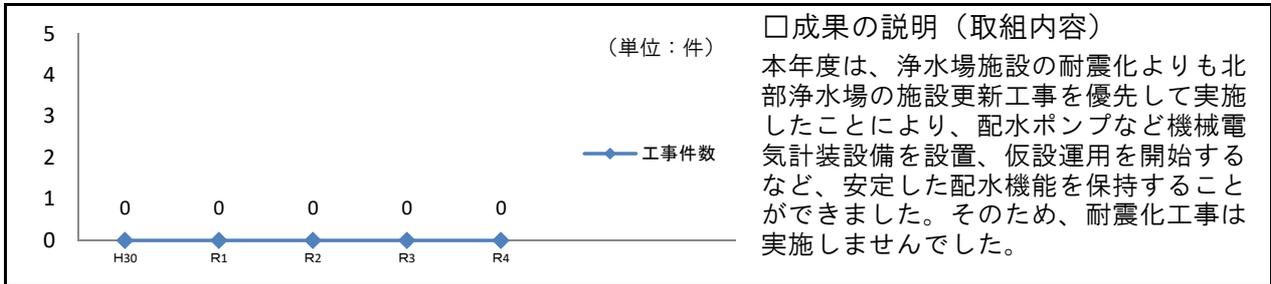
施策番号	6-5-1	実施計画No.	178	重点プロジェクトNo.	③-120	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	浄水場施設耐震化事業					課名	工務課	
事業内容	地震等の災害時における水道水を確保するため、浄水場施設や配水池などの耐震化を図ります。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	浄水場施設耐震率				現状値 (平成29年度)	85.3%		
現状と課題	浄水場施設は地震等の災害時においても安全で安定した水道水の供給が求められており、これまでの耐震化工事により、耐震化率85.3%となっています。一方、各浄水場の施設には、耐用年数を迎える機械電気計装設備が多く、安定した配水機能を保持するために、機械電気計装設備の更新が急務となっています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	85.9%	86.5%	87.1%	87.7%	88.3%
成果指標の実績値	85.3%	85.3%	85.3%	85.3%	85.3%
達成率	99.3%	98.6%	97.9%	97.3%	96.6%
決算額(千円)	0	0	0	0	0

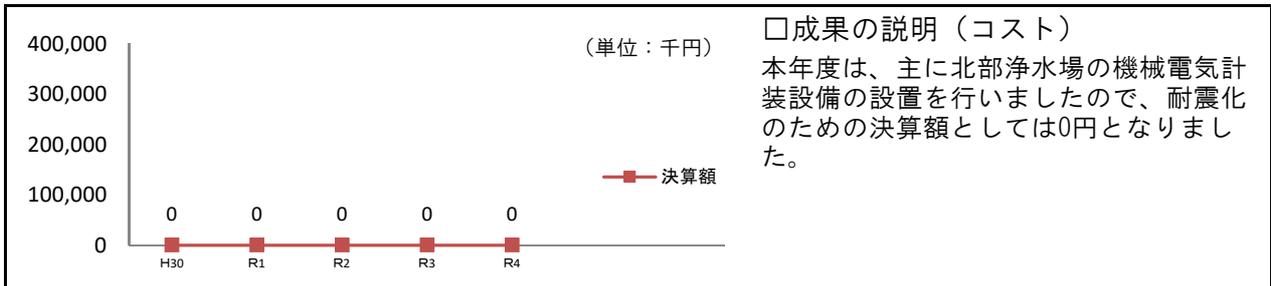
1 浄水場施設耐震率



2 工事件数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は、浄水場施設の耐震化よりも、北部浄水場の施設更新工事を優先して実施したことにより、安全で安定した水道水の供給を実施することができたと考えております。	
今後の方向性	現状維持	春日部市新水道ビジョンに基づき、東部浄水場No.1配水池の更新工事に向けた検討を進め、浄水場施設の耐震化率の向上を図っていきます。また、機械電気計装設備をはじめ、各浄水場の施設には耐用年数を迎えるものが数多くあることから、安定した配水機能を保持するため、適切な時期に更新工事を実施してまいります。

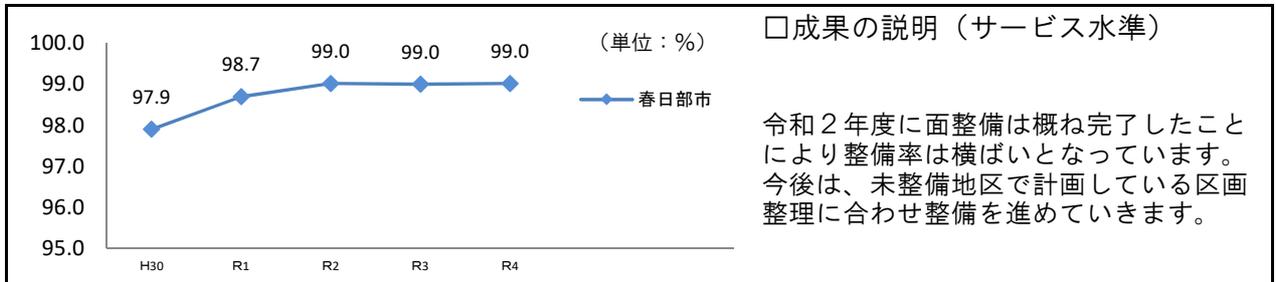
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

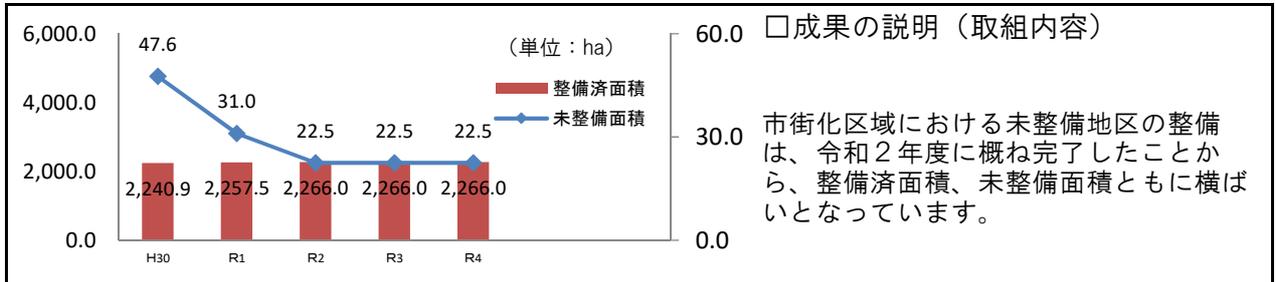
施策番号	6-5-2	実施計画No.	179	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-	
事業名 (補助金名)	下水道築造事業					課名	下水道課		
事業内容	公共下水道の整備を促進し、河川への生活排水および工場排水の流出を減少させ、公衆衛生の向上に努めるとともに水質保全を図ります。					事業開始年度	平成17年度		
						事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	下水道整備率					現状値 (平成29年度)	97.2%		
現状と課題	公衆衛生の向上を図るため、市街化区域における未整備地区の公共下水道の整備を進めて行く必要があります。								

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	98.2%	99.0%	99.6%	99.8%	100.0%
成果指標の実績値	97.9%	98.7%	99.0%	99.0%	99.0%
達成率	99.7%	99.7%	99.4%	99.2%	99.0%
決算額(千円)	663,630	462,899	423,353	83,398	3,703

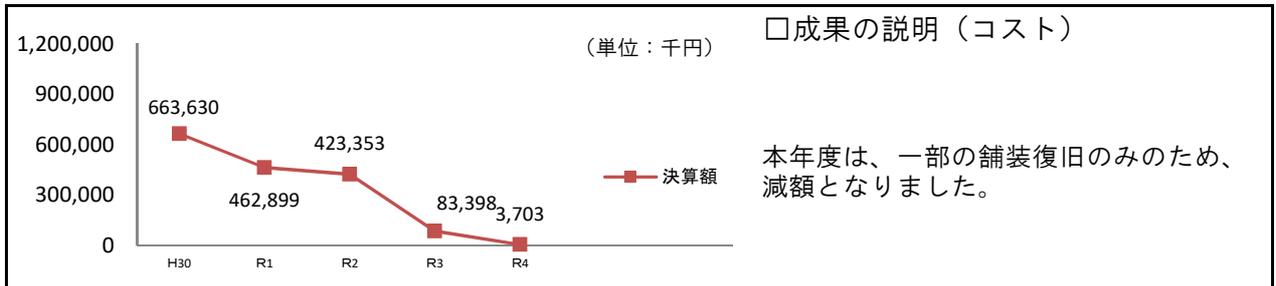
1 下水道整備率の推移



2 整備済面積及び未整備面積の推移



3 決算額の推移



令和4年度の評価	下水道整備が概ね完了しており、今後は区画整理事業に合わせて整備を進めることにより、公衆衛生の向上と、適切な水質保全が図られるものと考えています。	
今後の方向性	現状維持	未整備地区で計画している区画整理事業に合わせて、整備を進めていきたいと考えています。

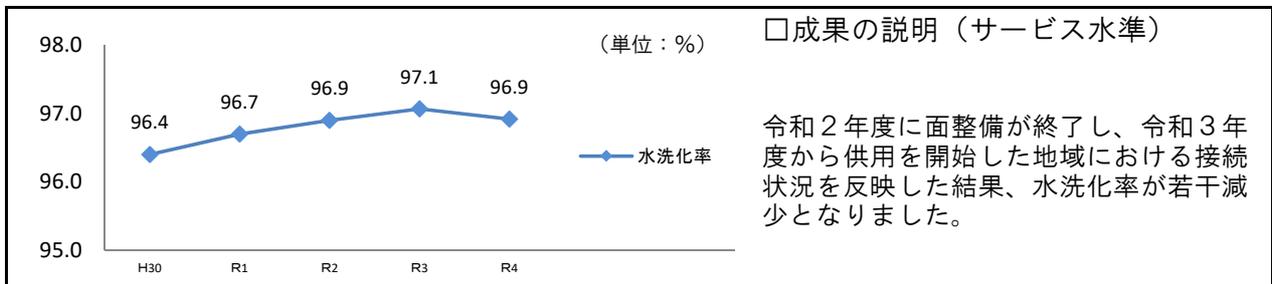
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

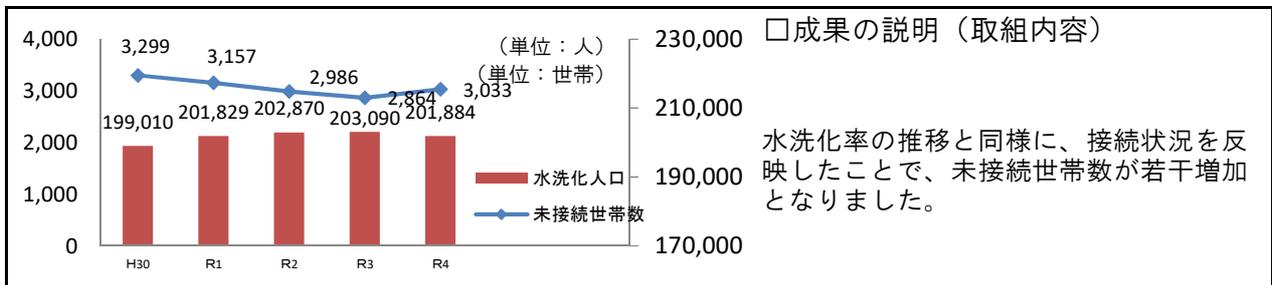
施策番号	6-5-2	実施計画No.	180	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-	
事業名 (補助金名)	公共下水道普及推進事業					課名	下水道課		
事業内容	公共下水道未接続世帯などに対し、水洗化を推進し下水道普及率の向上を図ります。					事業開始年度	平成24年度		
						事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	水洗化率					現状値 (平成29年度)	96.3%		
現状と課題	「公共用水域の水質保全」や「公衆衛生の向上」といった公共下水道の整備目的を達成するため、公共下水道への接続を推進することによって水洗化率の向上を図っていく必要があります。								

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	94.9%	95.1%	95.3%	95.5%	95.7%
成果指標の実績値	96.4%	96.7%	96.9%	97.1%	96.9%
達成率	101.6%	101.7%	101.7%	101.7%	101.3%
決算額(千円)	4,676	3,047	2,915	2,915	3,014

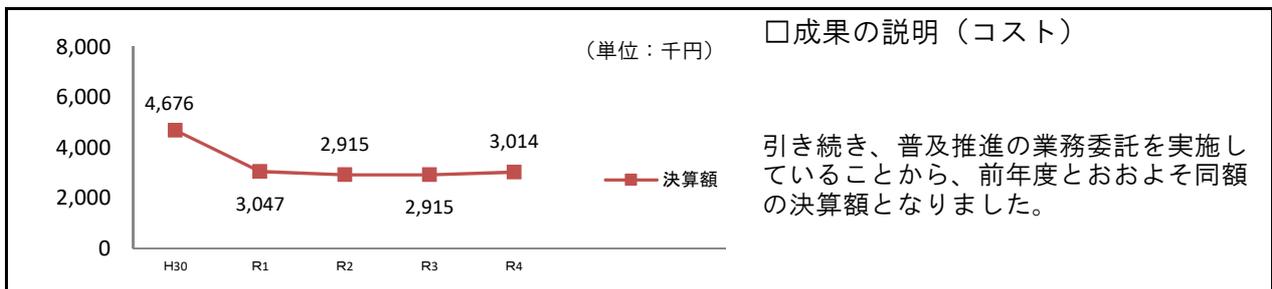
1 水洗化率の推移



2 水洗化人口及び未接続世帯数の推移



3 決算額の推移



令和4年度の評価
令和4年度の集計では、令和3年度に供用を開始した地域の下水道への切り替えが、初期段階での実施状況が反映されたことから、指標値のポイントが若干下がったと認識しているところです。今後については、地域の接続世帯の増加が進んでいくと考えています。

今後の方向性
現状維持
未接続世帯に対して、普及推進を継続的に行うことが、「水洗化率の向上」及び「公共用水域の水質保全」という、公共下水道整備の目的に繋がっていくため、引き続き、事業を実施していきます。

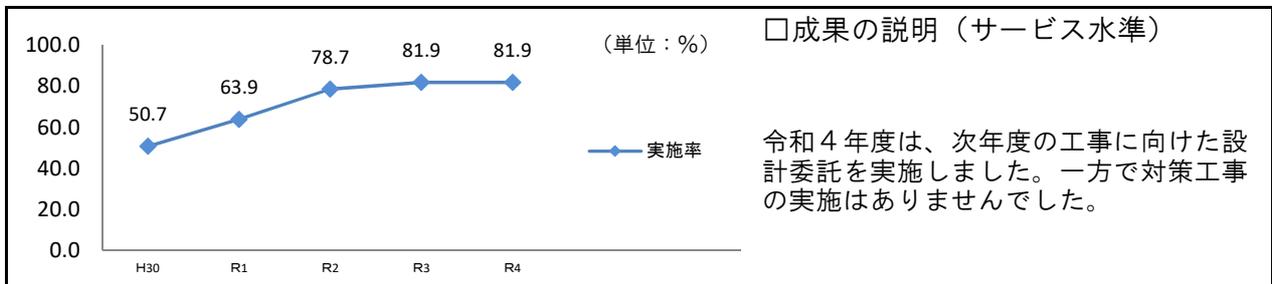
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

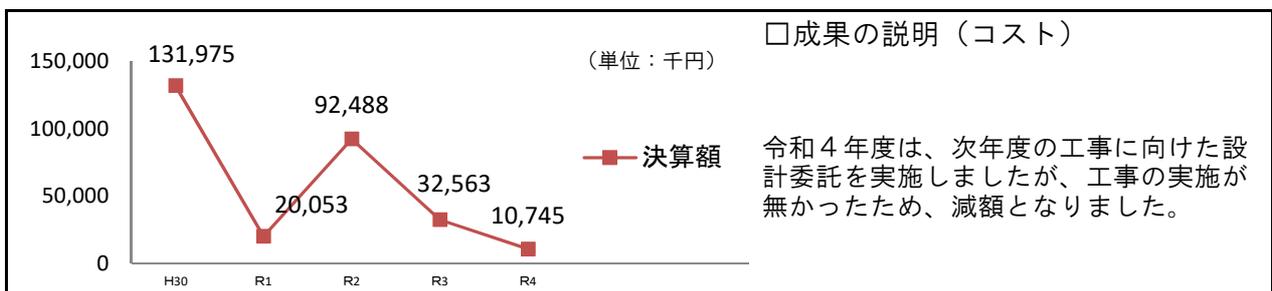
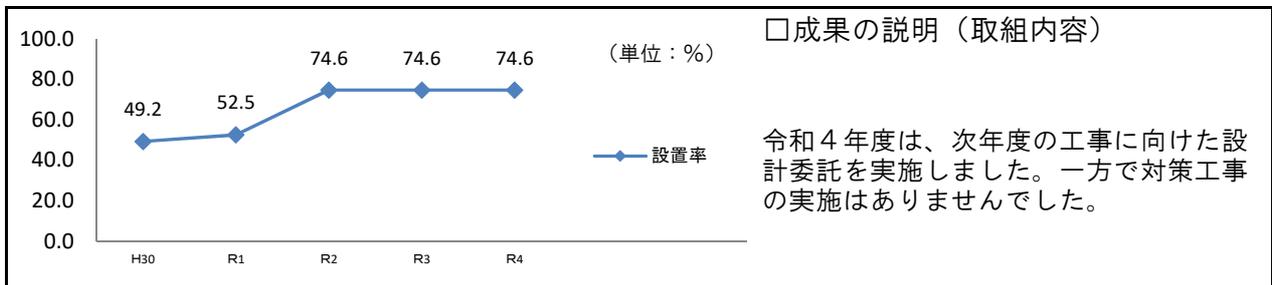
施策番号	6-5-2	実施計画No.	181	重点プロジェクトNo.	③-121	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	下水道施設地震対策事業					課名	下水道課	
事業内容	緊急輸送路における大規模地震時の被害を最小限にするため、液状化対策及び可とう性継手を設置していきます。					事業開始年度	平成29年度	
						事業見直し 予定年度	令和2年度	
成果指標	液状化対策工事の実施率				現状値 (平成29年度)	24.4%		
現状と課題	大規模地震時の下水道施設の被害を最小限にするために、液状化対策と可とう性継手の設置を進めていく必要があります。令和4年度より市指定の緊急輸送道路下にある施設の地震対策を進めていきます。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	43.4%	62.4%	81.4%	100.0%	100.0%
成果指標の実績値	50.7%	63.9%	78.7%	81.9%	81.9%
達成率	116.8%	102.4%	96.7%	81.9%	81.9%
決算額(千円)	131,975	20,053	92,488	32,563	10,745

1 液状化対策工事の実施率の推移



2 可とう性継手の設置率の推移



令和4年度の評価	令和3年度に策定した春日部市総合地震対策計画に基づき、令和4年度は設計委託を実施したことで、地震対策を進めていく準備を整えることができました。	
今後の方向性	現状維持	今後も計画に基づき、地震対策を進めていく必要があると考えています。令和4年度より市指定の緊急輸送道路の地震対策を進めていきます。

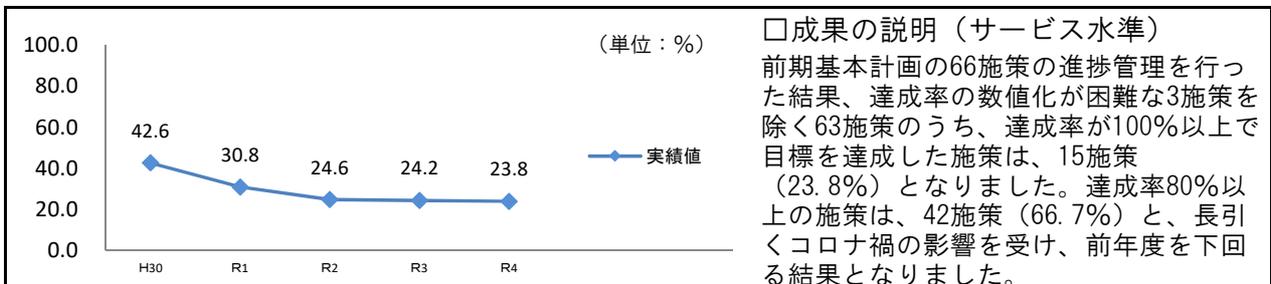
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

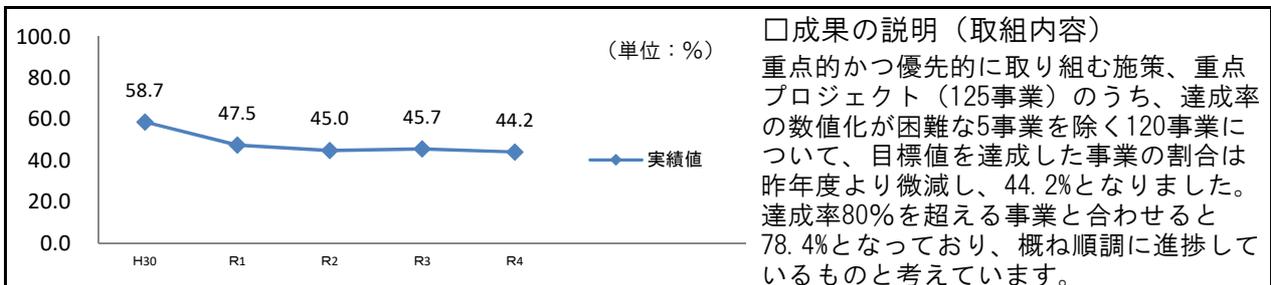
施策番号	7-1-1	実施計画No.	182	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-	
事業名 (補助金名)	企画事務					課名	政策課		
事業内容	本計画の進行管理等を行います。					事業開始年度	平成30年度		
						事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	本計画前期基本計画の各施策の成果指標において目標値を達成した施策の割合					現状値 (平成29年度)	-		
現状と課題	少子高齢化の進展や、生産年齢人口の減少が見込まれる状況の中、総合振興計画審議会において施策および重点プロジェクトの市民評価を実施することで、各施策を推進し、持続可能な市政運営を効果的に実施することが求められています。								

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
成果指標の実績値	42.6%	30.8%	24.6%	24.2%	23.8%
達成率	42.6%	30.8%	24.6%	24.2%	23.8%
決算額(千円)	130	260	338	302	307

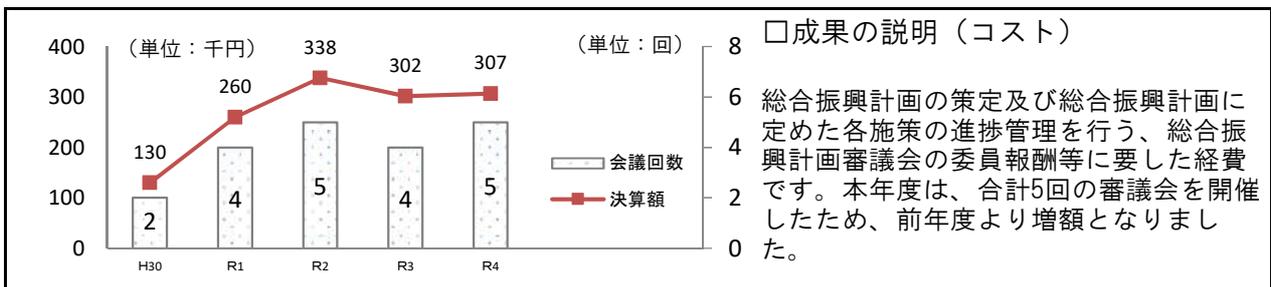
1 本計画前期基本計画の各施策の成果指標において目標値を達成した施策の割合



2 本計画前期基本計画の重点プロジェクトの成果指標において目標値を達成した事業の割合



3 決算額の推移



令和4年度の評価	令和4年度は第2次総合振興計画前期基本計画の最終年となります。本年度は、長引くコロナ禍の影響もあり、分野別計画及び重点プロジェクトの達成率は前年度とほぼ同等の水準となりました。進捗状況としては、およそ7割の施策、8割の事業で目標値に対し達成率が80%以上となっており、概ね順調と考えています。	
今後の方向性	現状維持	まちの将来像「つながる にぎわう すまいるシティ 春日部」の実現のため、総合振興計画の各施策・事業は、庁内会議による内部評価や総合振興計画審議会による市民評価を実施し、計画的な進捗管理を行うとともに、施策の調査、総合調整などを継続していきます。

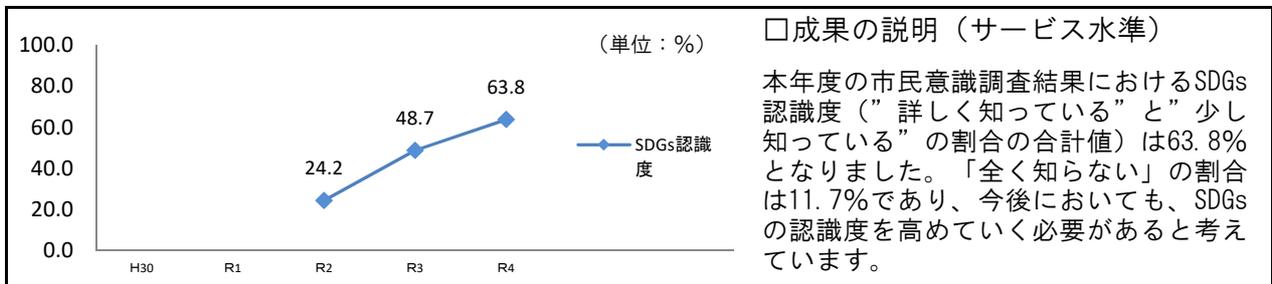
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

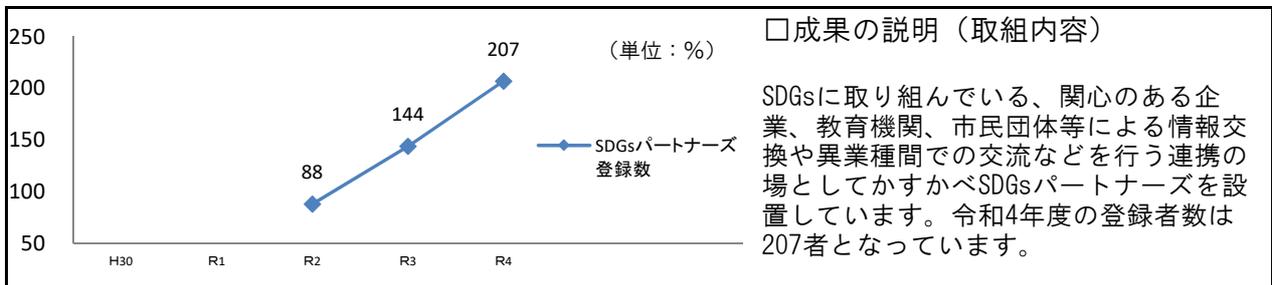
施策番号	7-1-1	実施計画No.	183	重点プロジェクトNo.	①-51 ②-83 ③-122	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	SDGs推進事業				課名	政策課	
事業内容	SDGsの理念を盛り込んだ持続可能なまちづくりを推進するために、SDGsの理念の共有、理解に向けた情報発信・普及啓発に取り組みます。				事業開始年度	令和2年度	
					事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	SDGsの市民認識度				現状値 (令和元年度)	-	
現状と課題	SDGsを推進していくためには、市民をはじめとするすべてのステークホルダーのSDGs認知度を高める必要があります、SDGsの機運醸成を図ることが課題となっています。						

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	-	-	25.0%	40.0%	50.0%
成果指標の実績値	-	-	24.2%	48.7%	63.8%
達成率	-	-	96.8%	121.8%	127.6%
決算額(千円)	-	-	1,510	4,233	1,570

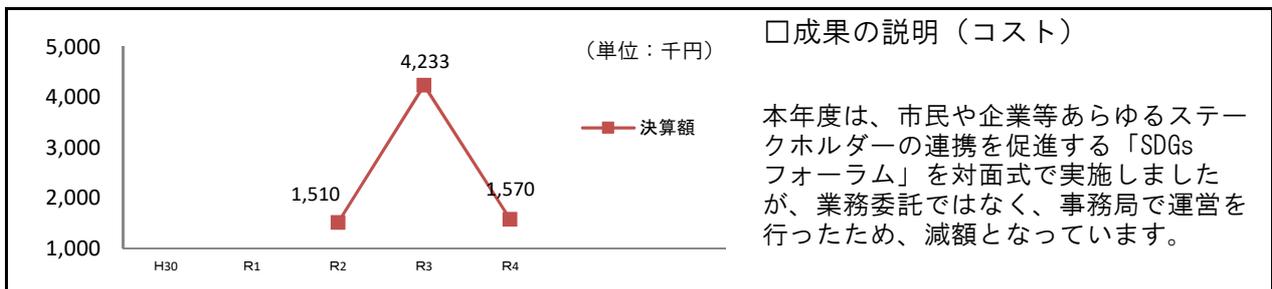
1 SDGs認知度



2 SDGsパートナーズ登録数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は、SDGs理解促進に向けた職員研修の実施やステークホルダー（企業等）の連携に向けた「SDGsパートナーズミーティング」の実施、また、市民一人ひとりのSDGs理解を目的とした講座「SDGsカフェ」の実施、さらに、市民や企業等あらゆるステークホルダーの連携を促進する機会とする「SDGsフォーラム」の実施などを通じ、SDGs理解促進に努めてきました。今後もSDGsの認知度の向上や機運醸成を図る必要があると考えます。	
今後の方向性	現状維持	今後も市民をはじめとするすべてのステークホルダーのSDGs機運醸成を図り、SDGsの理念を盛り込んだ持続可能なまちづくりを推進してまいります。

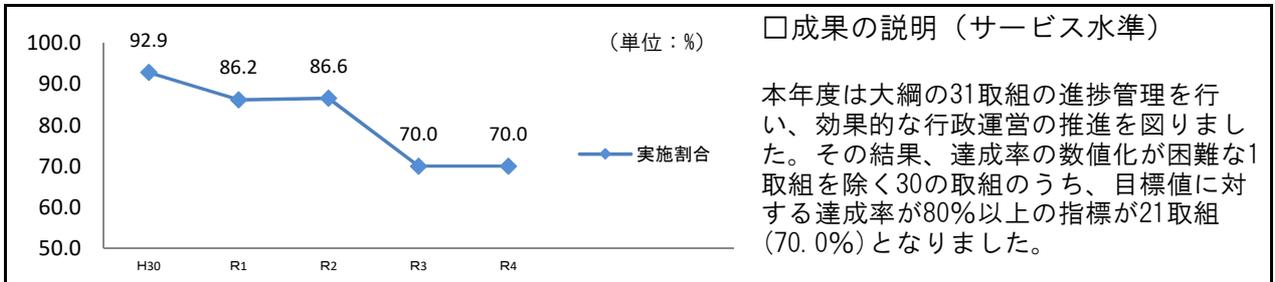
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

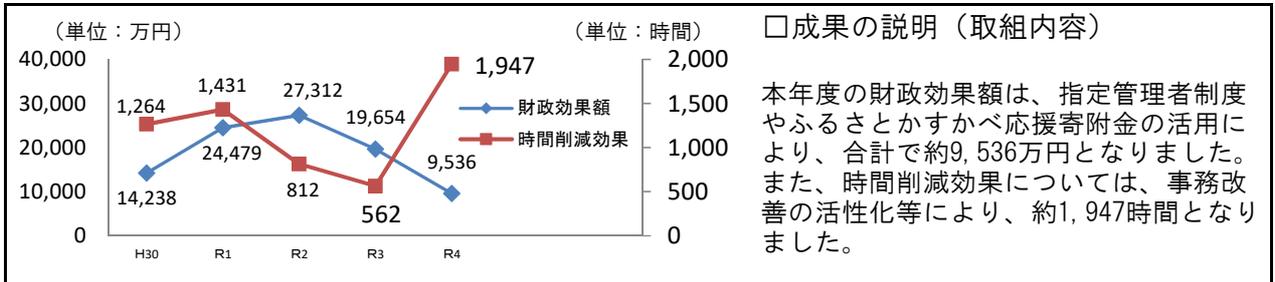
施策番号	7-1-1	実施計画No.	184	重点プロジェクトNo.	②-84	-	補助金No.	-	
事業名 (補助金名)	行政改革推進事業					課名	行政デジタル改革課		
事業内容	行政改革大綱の進行管理を行い、効果的な行政運営の推進を図ります。					事業開始年度	平成17年度		
						事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	行政改革大綱に基づく取組項目の実施割合					現状値 (平成29年度)	-		
現状と課題	第1次大綱、第2次大綱に基づく様々な行政改革の取組により、これまでも一定の成果を重ねてきましたが、今後、地方公共団体における経営資源の制約が強まる一方で、少子高齢化を背景とした行政需要は確実に増加することが見込まれることから、一層の取組の推進が求められています。								

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
成果指標の実績値	92.9%	86.2%	86.6%	70.0%	70.0%
達成率	92.9%	86.2%	86.6%	70.0%	70.0%
決算額(千円)	214	277	725	173	335

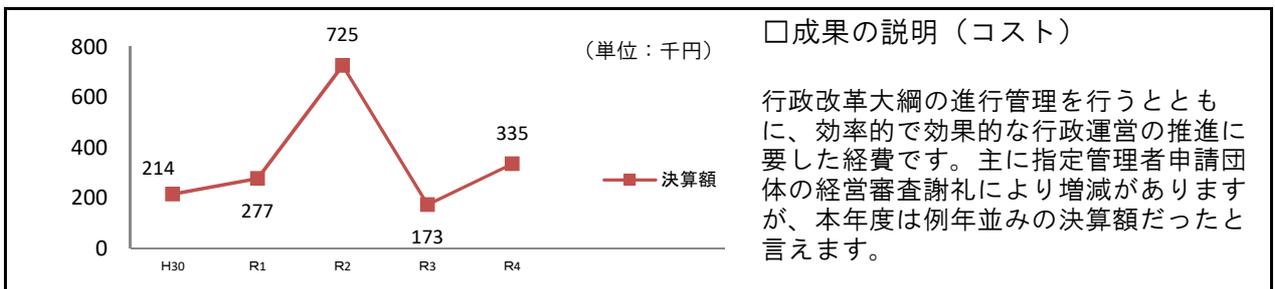
1 行政改革大綱に基づく取組項目の実施割合



2 行政改革大綱に基づく取組による財政効果等



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	本年度は31の取組を推進し、財政効果や時間削減効果だけでなく、多様な活動主体との連携・協働など質の高い行政サービスが行われたことから、効果的な行政運営の推進が図られたものと考えています。	
今後の 方向性	現状維持	第3次行政改革大綱の最終年となる本年度は、31の取組により、財政効果や時間削減効果だけでなく、質の高い行政サービスを行うことができました。今後は、第4次行政改革大綱に基づき、時代の変化に対応しながら、行政改革に関する取組をより一層推進していきます。

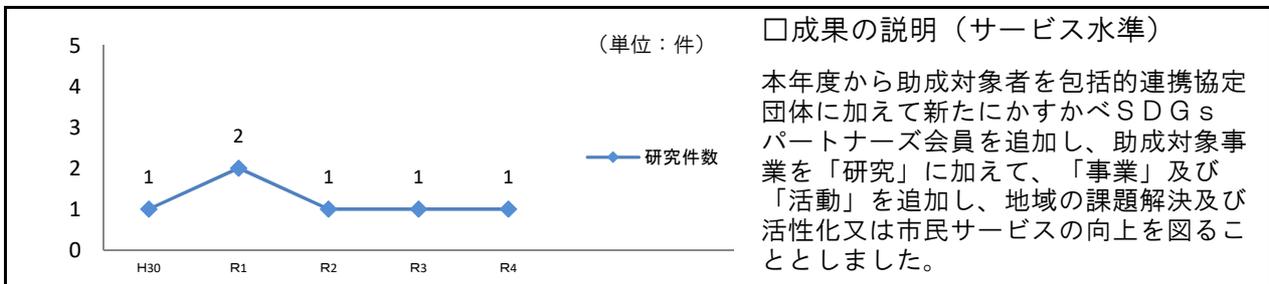
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

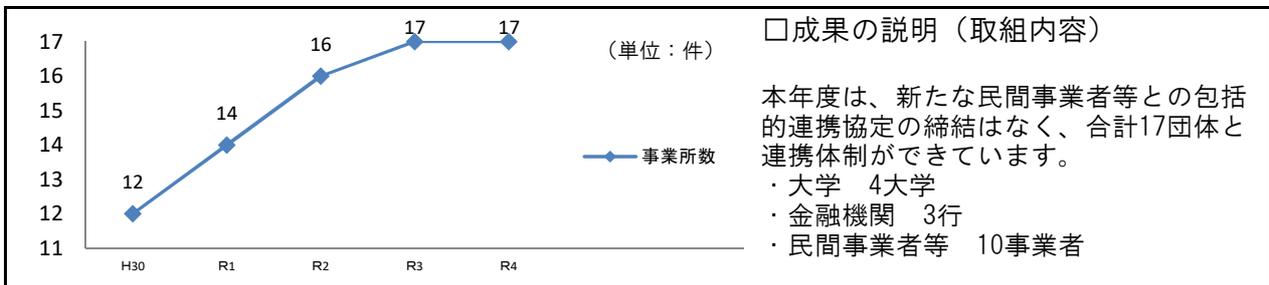
施策番号	7-1-1	実施計画No.	185	重点プロジェクトNo.	①-52	-	補助金No.	2	
事業名 (補助金名)	包括的連携推進事業助成補助金					課名	政策課		
事業内容	市と包括的連携協定を締結している大学等が行う市のまちづくりに関する 創意工夫あふれる研究に対し、研究費を助成します。					事業開始 年度	平成20年度		
						事業見直し 年度	令和4年度		
成果 指標	助成対象研究件数					現状値 (平成29年度)	2件		
現状と 課題	近年、大学や民間事業者等において社会貢献活動が重視されており、活動の受け皿となる市の 体制を整え、大学や民間事業者等の持つ知的資産、人的資産等を効果的に活用し、地域の発展 に繋げることが求められています。								

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	3件	3件	3件	3件	3件
成果指標の実績値	1件	2件	1件	1件	1件
達成率	33.3%	66.7%	33.3%	33.3%	33.3%
決算額(千円)	300	531	283	108	6

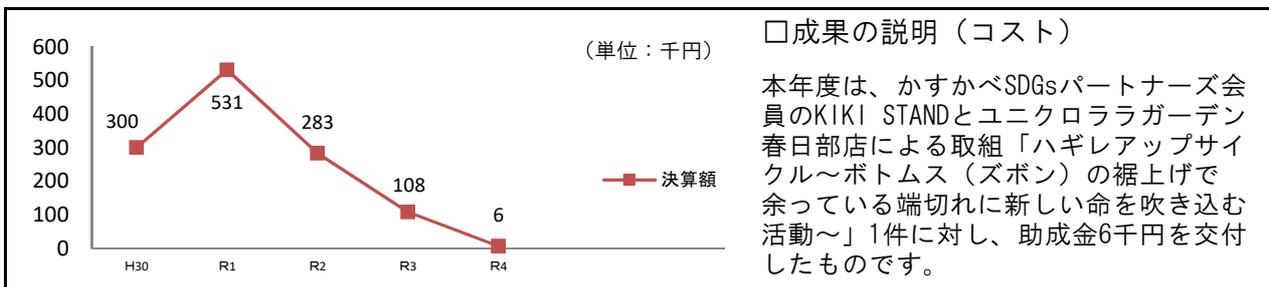
1 助成対象研究件数



2 包括的連携協定締結事業所数



3 決算額の推移



令和4 年度の 評価	本年度は、かすかべSDGsパートナーズ会員のKIKI STANDとユニクロラガーデン春日部店による取組「ハギレアップサイクル～ボトムス（ズボン）の裾上げで余っている端切れに新しい命を吹き込む活動～」の1本が申請され、余っている端切れを通して、アップサイクルの普及啓発とSDGsへの意識を醸成することができたと報告を受けたものです。今後も、本市のまちづくりに対する課題を的確に把握し、連携を強化する必要があると考えています。	
今後の 方向性	現状維持	今後も、包括的連携協定団体やかすかべSDGsパートナーズ会員の様々な視点から、本市のまちづくりに対する研究・事業・活動を行っていただくとともに、それぞれが持つ知的資産、人的資産等を効果的に活用し、地域の発展に繋げてまいります。

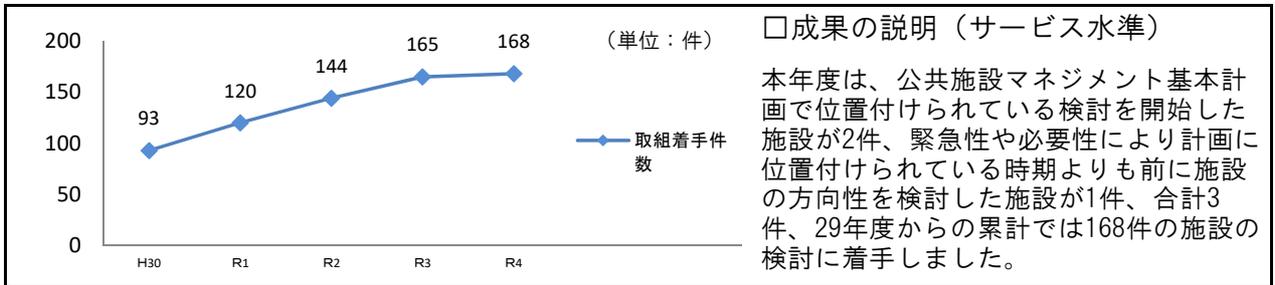
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

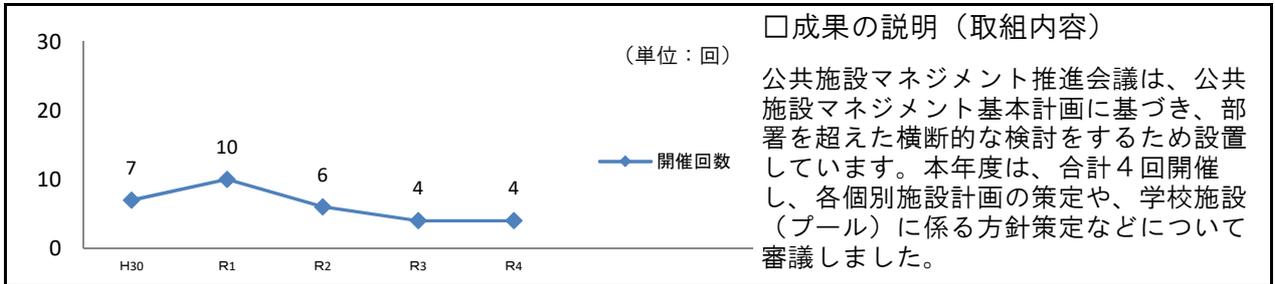
施策番号	7-1-1	実施計画No.	186	重点プロジェクトNo.	①-53	③-123	補助金No.	-	
事業名 (補助金名)	公共施設マネジメント推進事業					課名	公共施設事業調整課		
事業内容	2016年度（平成28年度）に策定した「公共施設マネジメント基本計画」に基づき、計画的・戦略的な公共施設の再編・管理に取り組み、施設総量の適正化や公共施設に要する経費の縮減を図ります。					事業開始年度	平成29年度		
						事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	公共施設マネジメント基本計画における工程表の取組着手件数（インフラ除く）					現状値 (平成29年度)	74件		
現状と課題	人口減少、少子高齢化の進行などにより財政状況が厳しさを増していくことが予想される一方で、公共施設の老朽化が進んでおり、今後、集中的に改修や更新時期を迎えます。そのため、今後の公共施設のあり方を検討し、施設再編などに取り組んでいく必要があります。								

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	90件	101件	118件	140件	165件
成果指標の実績値	93件	120件	144件	165件	168件
達成率	103.3%	118.8%	122.0%	117.9%	101.8%
決算額(千円)	84	10,899	320	935	43

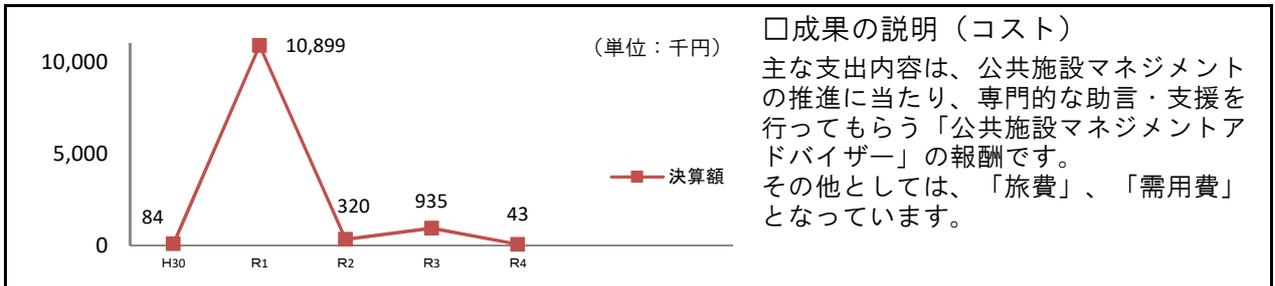
1 公共施設マネジメント基本計画における工程表の取組着手件数（インフラ除く）



2 公共施設マネジメント推進会議の開催回数の推移



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は、「春日部市消防本部消防施設整備計画」、「春日部市学校プールの効率的利用に関する方針（案）」、「春日部市庄和市民センター正風館及び庄和高齢者憩いの家 個別施設計画」、「庄和保健センター事業の実施場所の変更及び庄和総合支所の執務室利活用」の各計画について審議しました。これにより方針が確定したことから、本市にとって有意義となる取り組みの推進が図れたものと考えます。		
今後の方向性	現状維持	「公共施設マネジメント基本計画」に基づき、関係機関と連携を図りながら、施設所管部署と共に個別具体的な施設の方向性を検討し、施設再編などに取り組んでまいります。	

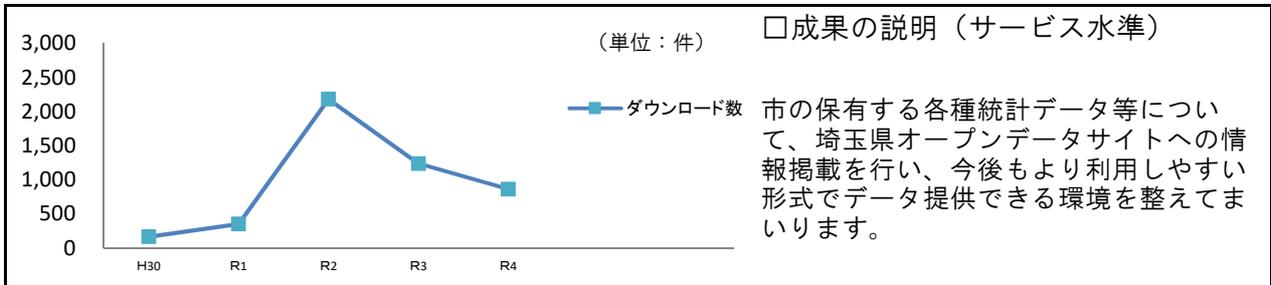
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

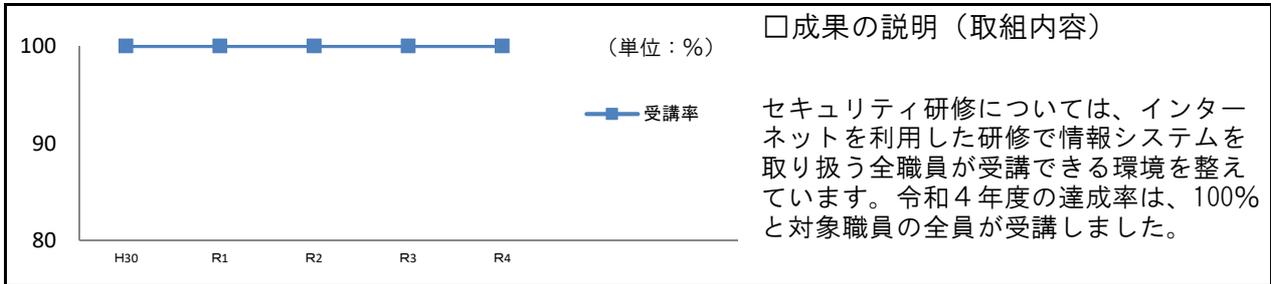
施策番号	7-1-2	実施計画No.	187	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	行政情報化推進事務				課名	情報政策課		
事業内容	文書管理や財務会計などの情報系システムおよびパソコン機器等の安定稼働を図るため、システム機器等の維持管理を行うとともに、情報セキュリティの向上を図り、行政情報化の推進を行います。					事業開始年度	平成29年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	オープンデータのダウンロード数				現状値 (平成29年度)	0件		
現状と課題	地方公共団体のデータの利活用に関する市民の意識や期待が高まっており、市が保有する各種統計データなど利用しやすい形式で提供するオープンデータの公開が求められています。また、市民が安心して行政サービスを利用できるよう、情報セキュリティ対策を進める必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	200件	400件	600件	800件	1,000件
成果指標の実績値	164件	354件	2,182件	1,237件	860件
達成率	82.0%	88.5%	363.7%	154.6%	86.0%
決算額(千円)	184,645	184,528	197,485	180,144	190,472

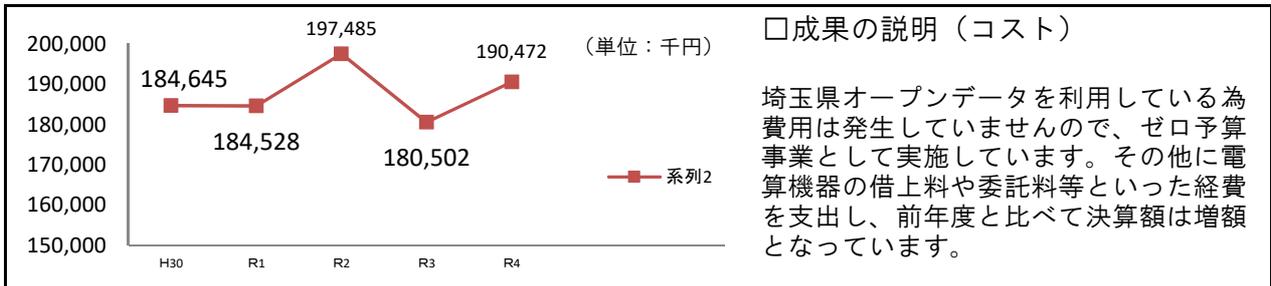
1 オープンデータのダウンロード数の推移



2 職員の情報セキュリティ研修の受講率の推移



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	市の保有する各種統計データ等について、埼玉県オープンデータサイトへの情報掲載を行い、また、情報セキュリティに関する情報発信や研修により、職員の意識・知識レベルの向上を図ることができました。	
今後の 方向性	現状維持	市の保有する各種統計データや各種情報等のデータ提供を検討し、より多くのデータの公開を促進するとともに、利用促進のためオープンデータについて広報していきます。また、情報セキュリティの向上やシステム機器等の適正な維持管理を行うことで、システムの安定稼働を図っていきます。

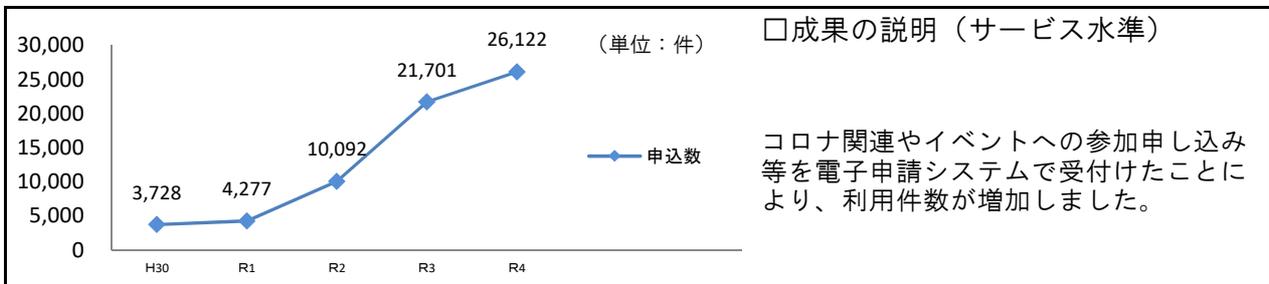
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

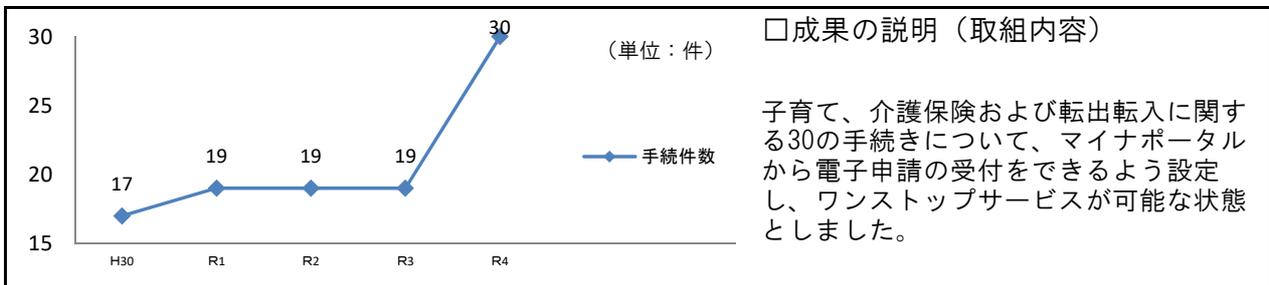
施策番号	7-1-2	実施計画No.	188	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	電子計算運営事務					課名	情報システム課	
事業内容	基幹系システムの適正な管理、各課設置の端末機器等の安定稼働を図り、業務の効率化と各システムの円滑な運営を行います。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	電子申請サービスの利用件数				現状値 (平成29年度)	1,827件		
現状と課題	本市では、インターネットやスマートフォン等のICTを活用した電子申請を行ってまいりましたが、より一層、市民の利便性の向上を図るため、イベント申込みやマイナポータルを活用した申請の拡充などが求められています。（なお、電子申請に係る予算は行政情報化推進事務で計上しています）							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	2,000件	2,500件	3,000件	3,500件	4,000件
成果指標の実績値	3,728件	4,277件	10,092件	21,701件	26,122件
達成率	186.4%	171.1%	336.4%	620.0%	653.1%
決算額(千円)	551,888	579,392	573,336	595,662	422,980

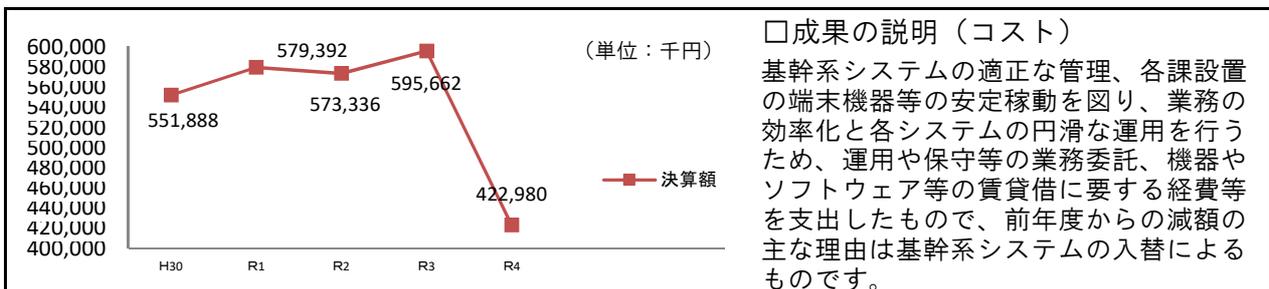
1 電子申請サービスの利用件数



2 マイナポータルにおけるワンストップサービスの手続可能件数の推移



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	基幹系システムの適正な管理、各課設置の端末機器等の安定稼働により、電子申請の対象となる証明書等の効率的かつ的確な発行が可能となっています。 また、マイナンバー制度への適切な対応により、正確な情報連携が可能となり、添付書類が省略されることから、電子申請における市民の負担も軽減され、ICTの活用による情報化施策の推進につながりました。	
今後の 方向性	現状維持	引き続き、基幹系システムの適正な管理、各課設置の端末機器等の安定稼働を図るとともに、ICTの活用による情報化施策の推進を実現する基幹系システムの維持管理を実施していきます。

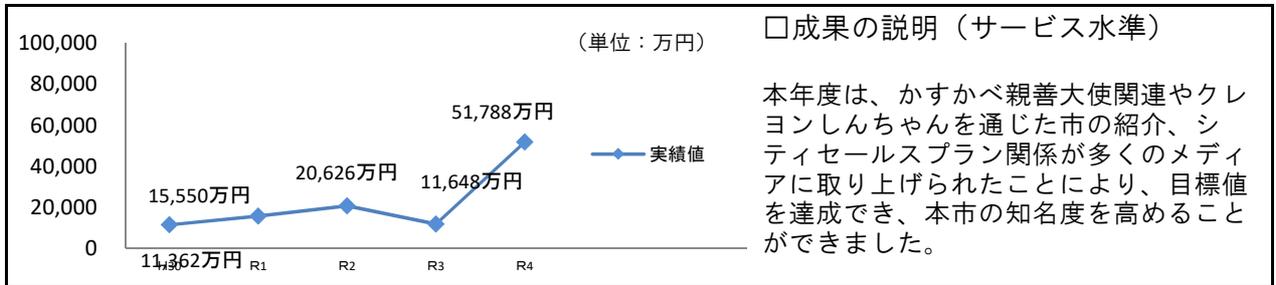
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

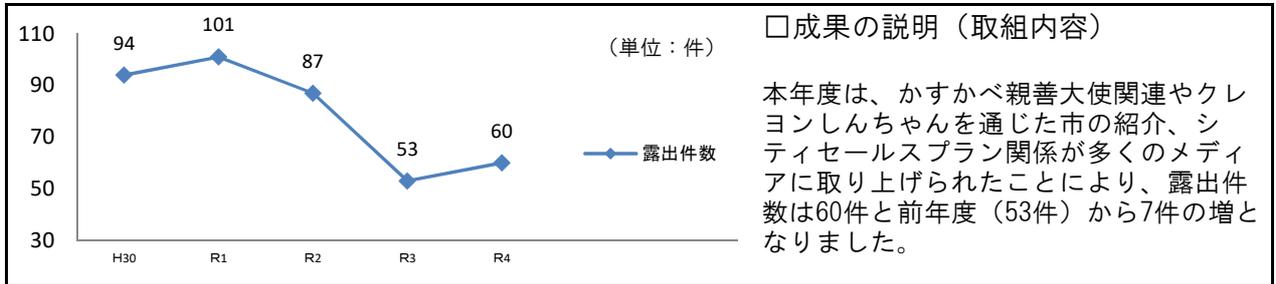
施策番号	7-1-3	実施計画No.	189	重点プロジェクトNo.	②-85	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	シティセールス推進事業				課名	シティセールス広報課		
事業内容	本市の将来像や地域資源等を戦略的に情報発信することにより、本市の知名度を全国的に高めるとともに市のイメージアップを図ります。					事業開始年度	平成25年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	広告費換算金額				現状値 (平成29年度)	37,084万円		
現状と課題	本市には、世界的に有名なアニメキャラクターをはじめ、様々な地域ブランドとなる可能性を秘めた地域資源が存在していますが、それらを効果的・戦略的にシティセールスを展開し、まちの認知度向上及びイメージアップを図っていく必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	9,400万円	10,800万円	12,200万円	13,600万円	15,000万円
成果指標の実績値	11,362万円	15,550万円	20,626万円	11,648万円	51,788万円
達成率	120.9%	144.0%	169.1%	85.6%	345.3%
決算額(千円)	13,882	24,870	22,987	18,608	17,023

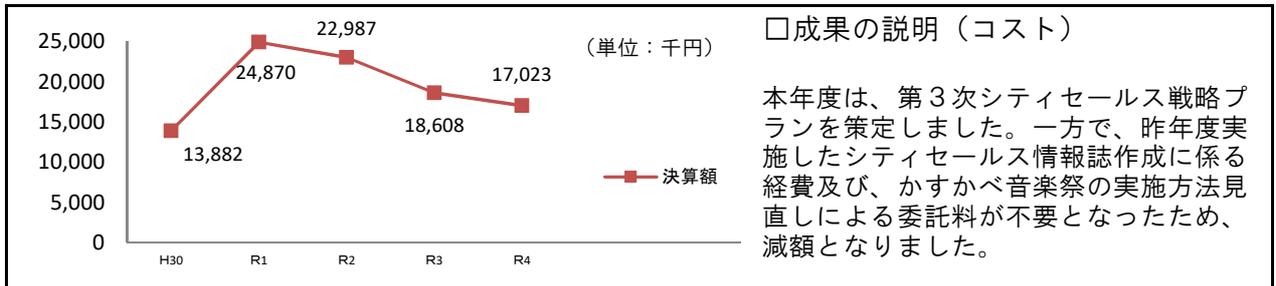
1 広告費換算金額の推移



2 メディアへの露出件数の推移



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は、かすかべ親善大使による市の紹介や、クレヨンしんちゃんを通じた市の紹介がテレビや新聞等で多く取り上げられた他、伝統工芸である麦わら帽子がテレビ番組で取り上げられたことにより広告換算費の増加につながり、効果的に市のPRができたものと考えております。	
今後の方向性	現状維持	本年度は、目標値を上回る結果となりましたが、今後も市のPRを多くのメディアに取り上げてもらい、次年度以降に設定している目標値を達成するために、前年に引き続き民間のリリース配信サービスの活用や情報提供のタイミング、リリースの文面や写真の配置等を意識して実施していきます。

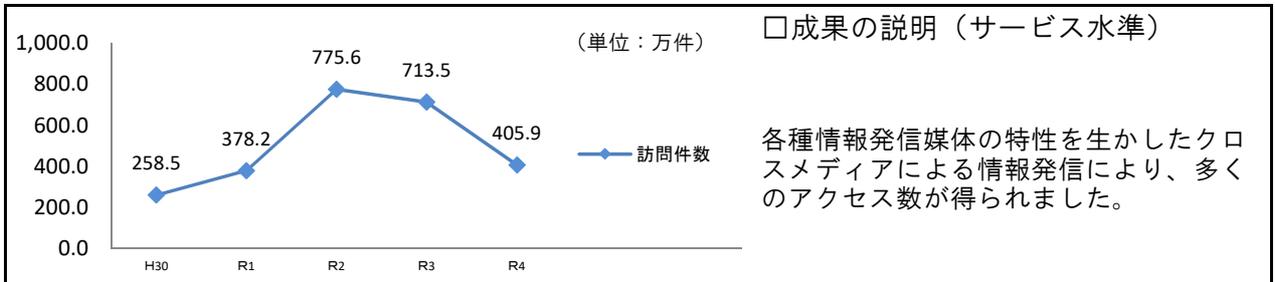
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

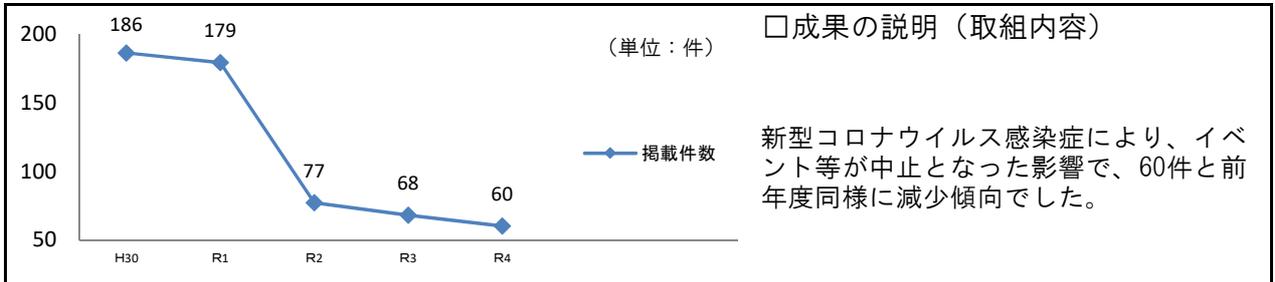
施策番号	7-1-3	実施計画No.	190	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	広報推進事業				課名	シティセールス広報課		
事業内容	行政情報を市民に正確かつ迅速に伝えるための各種刊行物の発行等による広報活動を行います。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	市公式ホームページへの訪問件数				現状値 (平成29年度)	2,176,000件		
現状と課題	市政情報が、多くの人々に対して、多様な発信媒体を通じて効果的に発信されることが求められています。情報の格差が生じないように、各種情報発信媒体の特性を生かしたクロスメディアによる横断的な情報発信を積極的に取り組みます。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	2,191,000件	2,206,000件	2,221,000件	2,236,000件	2,251,000件
成果指標の実績値	2,585,000件	3,782,000件	7,756,000件	7,135,000件	4,059,000件
達成率	118.0%	171.4%	349.2%	319.1%	180.3%
決算額(千円)	52,913	58,379	65,927	66,415	58,709

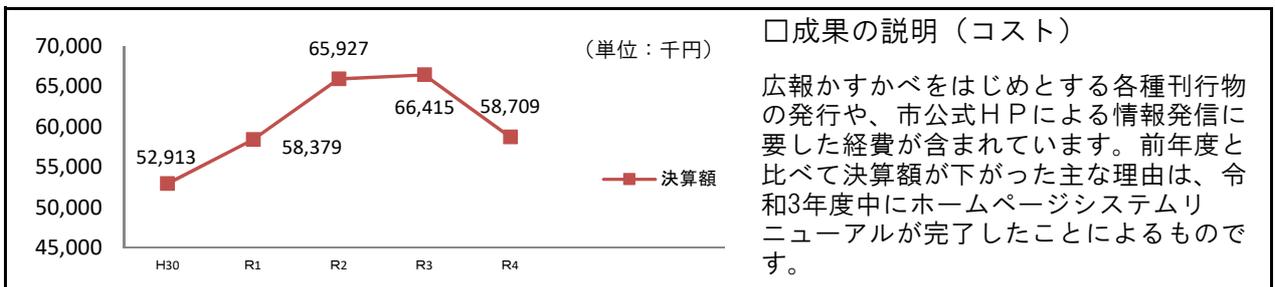
1 市公式ホームページへの訪問件数



2 ピックアップニュースの掲載件数



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	情報掲載の見やすさ等の工夫や迅速な情報発信により、ホームページ訪問件数では、目標を上回る成果を得ました。また、各種情報発信媒体の積極的な活用により、市内外に広く情報発信できたものと考えています。	
今後の 方向性	現状維持	今後も引き続き、多くの人々に効果的な情報の伝達が行えるよう、職員による迅速かつ正確な情報発信に取り組みます。

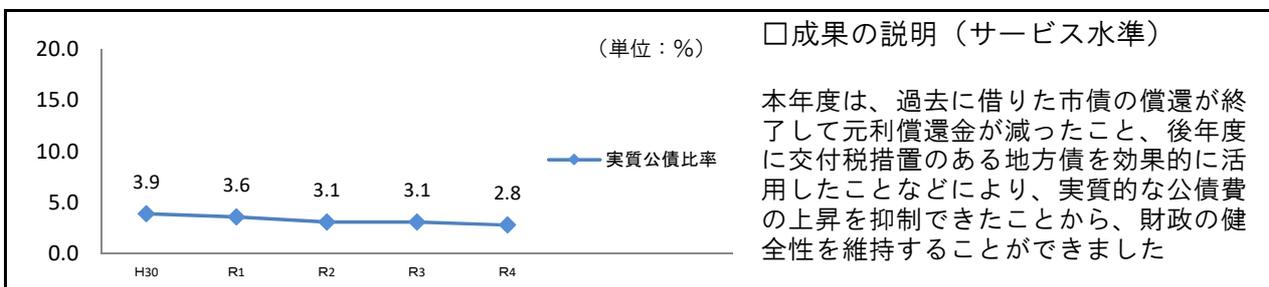
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

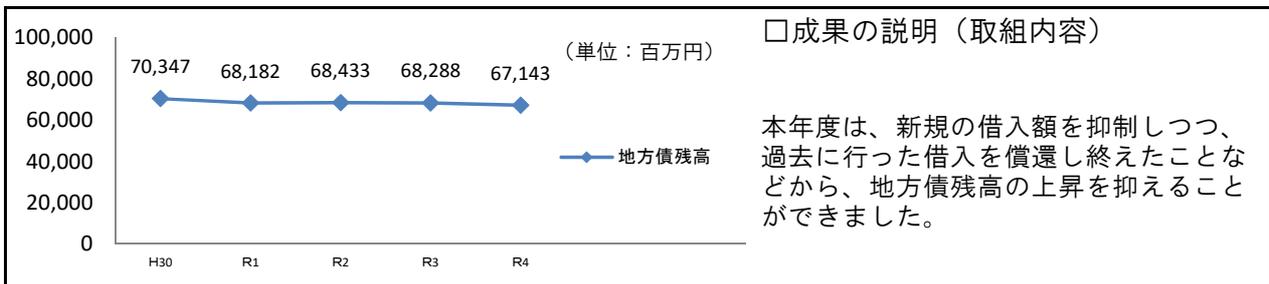
施策番号	7-2-1	実施計画No.	191	重点プロジェクトNo.	③-124	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	財政事務					課名	財政課	
事業内容	持続可能な財政運営への転換を一層推し進めるため、行財政改革と財政の健全化に取り組みます。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	実質公債費比率（市の財政規模に対して市が1年間で支払った借入金返済額などの割合）				現状値 (平成29年度)	5.0%		
現状と課題	平成29年度の実質公債比率は5.0%と、目標値である10.5%未満となっており、健全な状態と言えます。今後は、過去3年以内に発行した市債の据え置き期間が満了していくことなどに伴い、償還金の増加が見込まれるため、引き続き計画的な財政運営が課題となっています							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	10.5%	10.5%	10.5%	10.5%	10.5%
成果指標の実績値	3.9%	3.6%	3.1%	3.1%	2.8%
達成率	269.2%	291.7%	338.7%	338.7%	375.0%
決算額(千円)	926	909	367	166	156

1 実質公債費比率の推移

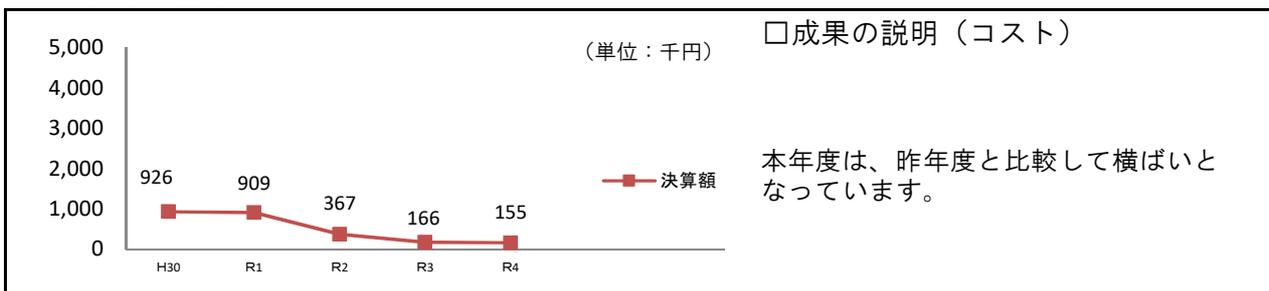


2 地方債残高の推移



※ 令和元年度から令和3年度の「地方債残高」については、錯誤のため修正しました。

3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は、研修への参加や情報収集により効率的な財政運営に努めたことで、各種基金への積立と組み合わせながら新規借入額の抑制を行うことができ、今後予定されている大規模事業に備え、健全な財政を高い水準で維持できたものと考えています。	
今後の方向性	現状維持	近年の社会保障関連経費の増大に加え、本庁舎移転建替え、春日部駅付近連続立体交差事業など、大きな財源を要する事業等が開始されました。引き続き、市税の公平・公正な賦課徴収による歳入確保、行政需要を的確に把握した歳出管理による、持続可能な財政基盤の確立に取り組んでまいります。

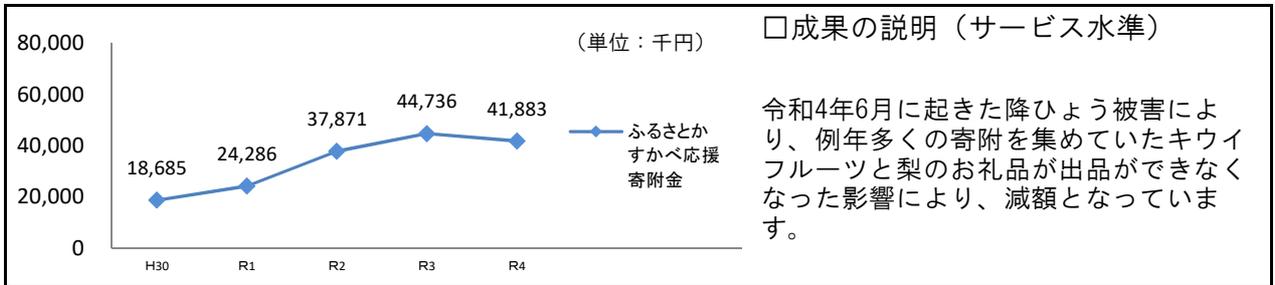
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

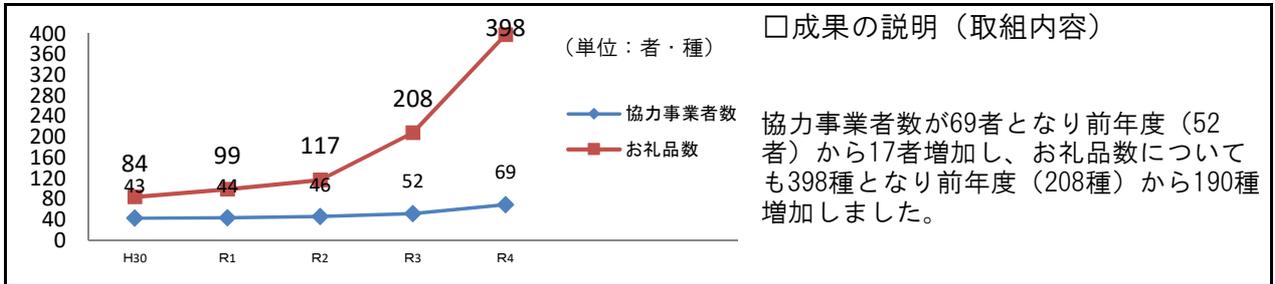
施策番号	7-2-1	実施計画No.	192	重点プロジェクトNo.	③-125	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	ふるさとかすかべ応援寄附金推進事業					課名	シティセールス広報課	
事業内容	ふるさとかすかべ応援寄附金の寄附者に対し、寄附金額に応じた「お礼品」を贈呈します。					事業開始年度	平成27年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	ふるさとかすかべ応援寄附金額					現状値 (平成30年度)	18,685 千円	
現状と課題	寄附金額は増額傾向にあり、今後においても事業者と協力しお礼品数の増加に努めることで、税外収入による財源確保の環境充実を図っていく必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	70,026 千円	20,000 千円	21,000 千円	22,000 千円	23,000 千円
成果指標の実績値	18,685 千円	24,286 千円	37,871 千円	44,736 千円	41,883 千円
達成率	26.7%	121.4%	180.3%	203.3%	182.1%
決算額(千円)	8,923	10,637	16,860	19,757	17,889

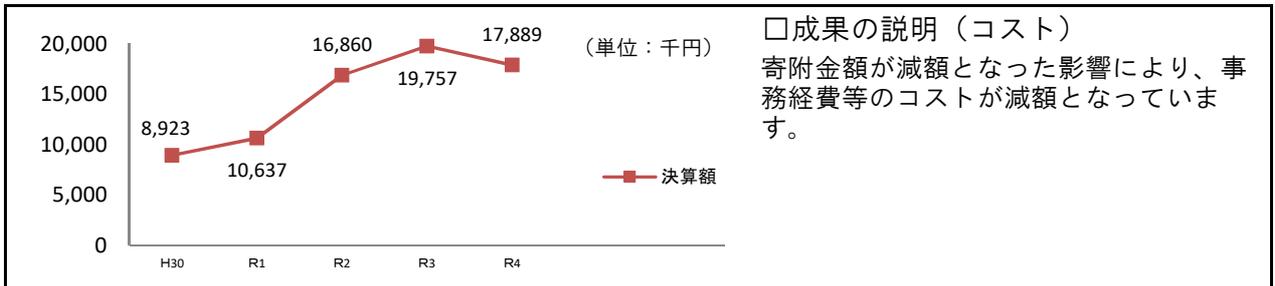
1 ふるさとかすかべ応援寄附金の推移



2 協力事業者数及びお礼品数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	ふるさと納税ポータルサイトの拡充やお礼品協力事業者の増加に伴うお礼品数の増加により、寄附受付環境の充実を図りました。しかし、例年寄附額の多いキウイフルーツや梨のお礼品が、降ひょう被害により出品できなくなった影響により、寄附金額が昨年度よりも減少となりました。降ひょう被害クラウドファンディングの実施により目標寄附額を上回る寄附をいただき、農家の支援を図ることができました。	
今後の方向性	拡充	今後、更なる寄附金額の増額を見込み、財源確保の環境充実を図るため、市内事業者を対象とした説明会の開催などにより、新規の協力事業者やお礼品の新規開拓を行うとともに、広告の効果的な運用により寄附金額の増加を図ります。

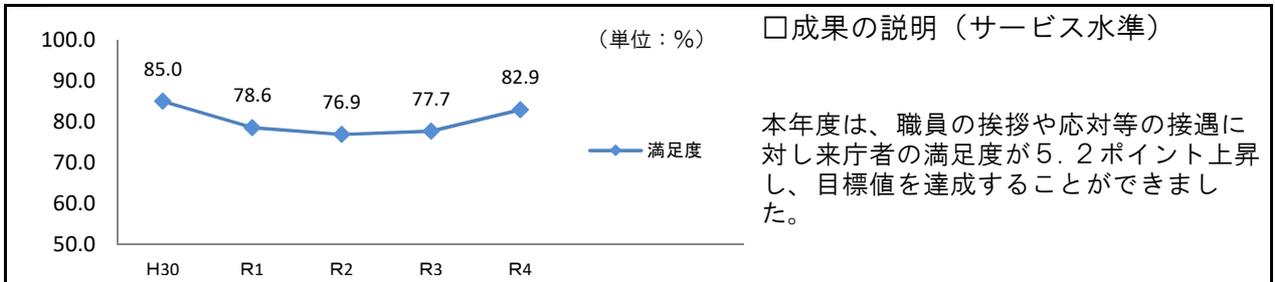
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

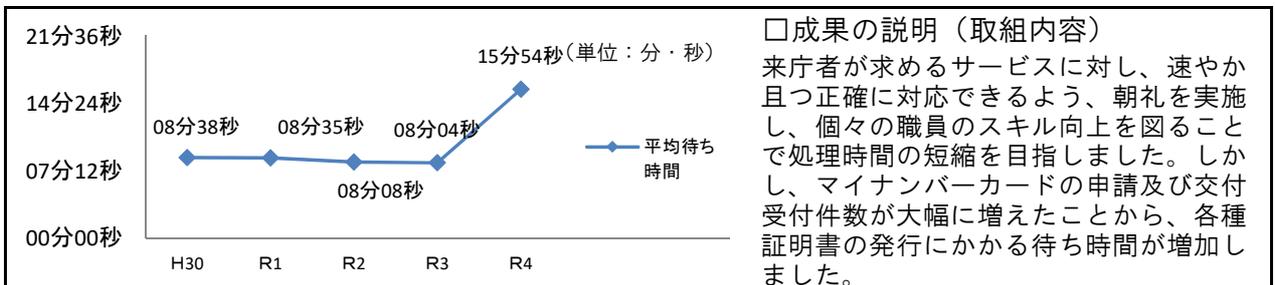
施策番号	7-3-1	実施計画No.	193	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	戸籍住民基本台帳事務				課名	市民課		
事業内容	住民基本台帳法に基づく住民記録の適正管理および戸籍法に基づく親族的身分関係記録の適正管理を行い、住民票の写し等各種証明書の発行を行います。				事業開始年度	平成17年度		
					事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	窓口サービス利用者の満足度				現状値 (平成29年度)	76.4%		
現状と課題	令和4年度の市民課窓口サービスに関するアンケート結果では「良い」と思った人は82.9%となっています。窓口の混雑は時期によって大きく変化しますが、市民や来庁者の立場に立って改善を進め、より丁寧な対応を行っていくことが求められます。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	77.1%	77.8%	78.5%	79.2%	80.0%
成果指標の実績値	85.0%	78.6%	76.9%	77.7%	82.9%
達成率	110.2%	101.0%	98.0%	98.1%	103.6%
決算額(千円)	38,491	32,128	44,373	45,787	46,755

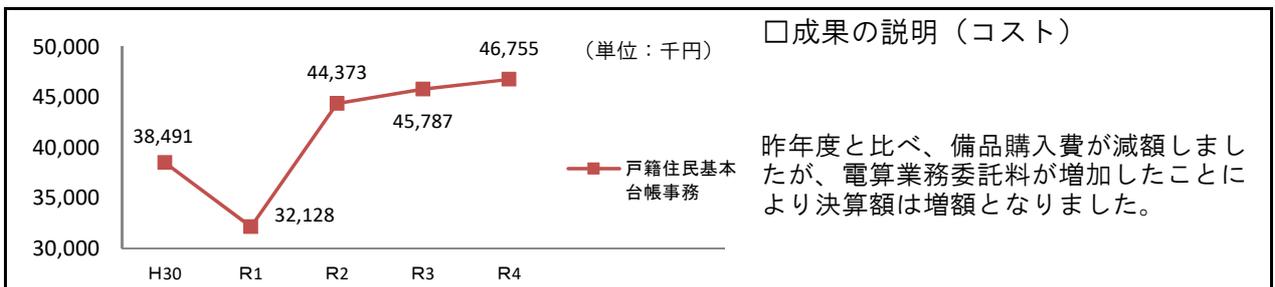
1 窓口サービス利用者の満足度の推移



2 窓口の待ち時間の推移



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	本年度は、マイナンバーカードの手続きに関する来庁者が増加したことから、窓口での待ち時間が大幅に増加しましたが、窓口サービス利用者の満足度は目標を達成することができました。市民の立場に立った、わかりやすい説明等を心掛けたためと考えられます。	
今後の 方向性	現状維持	本年度は、昨年度と比べ窓口サービスに関する満足度の数値は向上しましたが、待ち時間が大幅に増加していることから、職員の業務に必要な知識の向上と共に待ち時間の短縮や混雑緩和等にも努め、来庁者に対して最適なサービスを提供していきます。

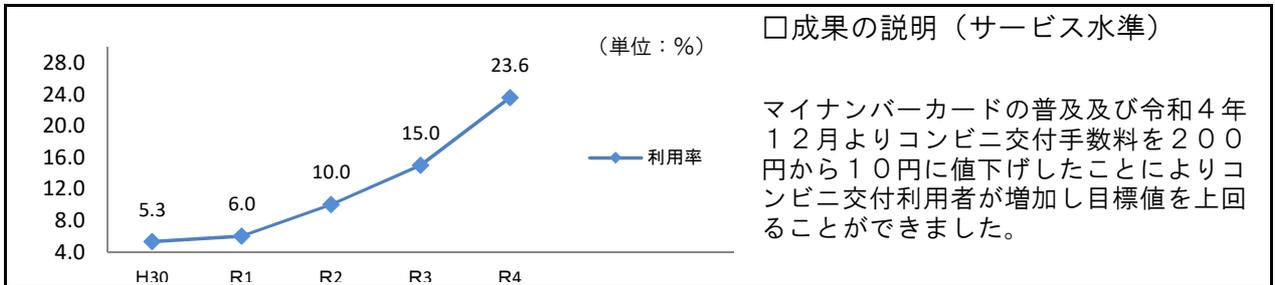
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

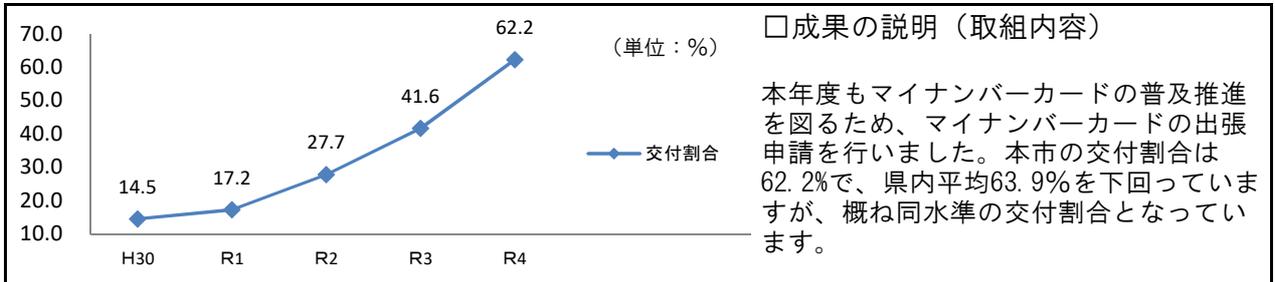
施策番号	7-3-1	実施計画No.	194	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-	
事業名 (補助金名)	個人番号通知書・個人番号カード交付事業					課名	市民課		
事業内容	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく通知カード、マイナンバーカードの交付関連業務を行います。					事業開始年度	平成27年度		
						事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	コンビニ交付利用率				現状値 (平成29年度)	4.5%			
現状と課題	令和4年12月からマイナンバーカード所持者がコンビニエンスストアで住民票等を取得する場合、手数料を10円としています。この取組を周知することで、市民に利便性の向上を実感いただき、マイナンバーカードの普及、交付促進を図ります。								

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	5.2%	5.9%	6.6%	7.3%	8.0%
成果指標の実績値	5.3%	6.0%	10.0%	15.0%	23.6%
達成率	101.9%	101.7%	151.5%	205.5%	295.0%
決算額(千円)	20,844	40,301	124,854	108,295	40,925

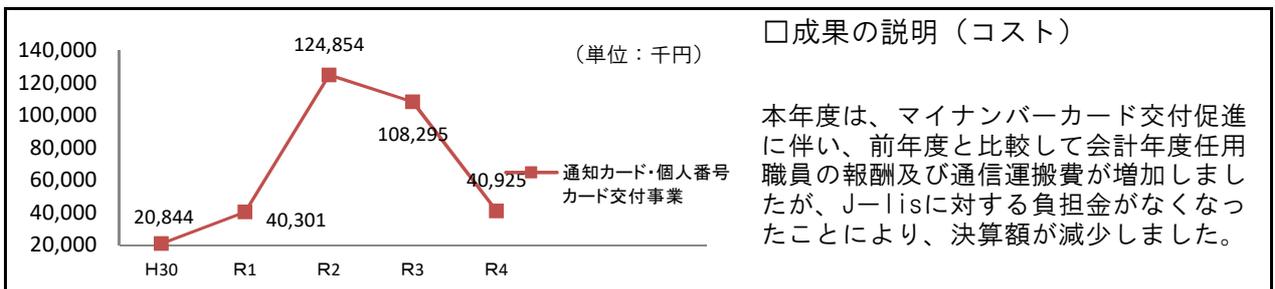
1 コンビニ交付利用率



2 人口に対するマイナンバーカード交付実施割合



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度も、利便性の周知やマイナンバーカードの普及、交付促進を行うことにより、県内平均と同水準の交付割合を維持しました。また、令和5年12月から、コンビニ交付を10円にすることで、マイナンバーカードの更なる交付促進や市民の利便性向上を図りました。	
今後の方向性	現状維持	今後も交付円滑化計画に基づき、コンビニ交付等、マイナンバーカードの利便性の周知を行うことで、普及率・交付率の向上に努めます。

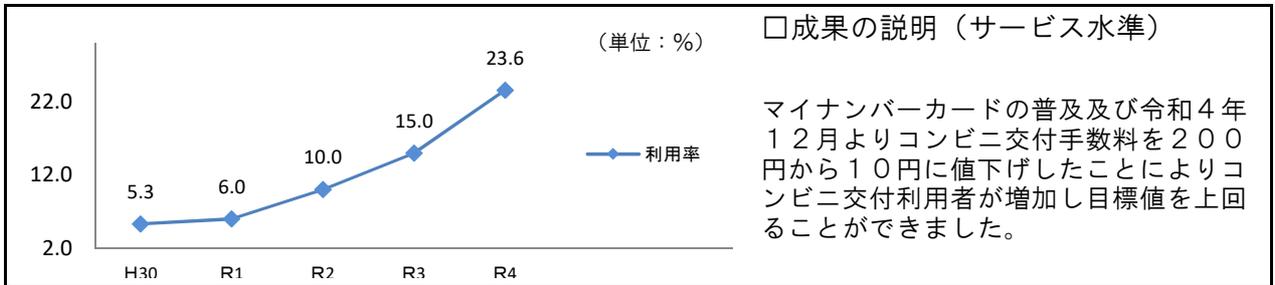
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

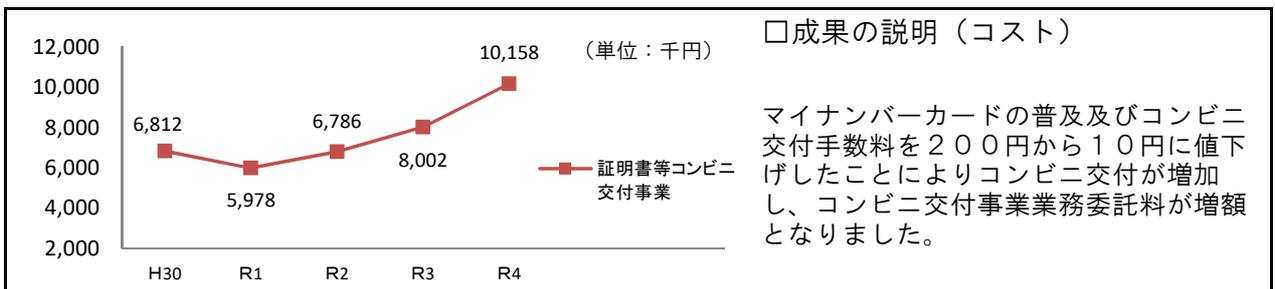
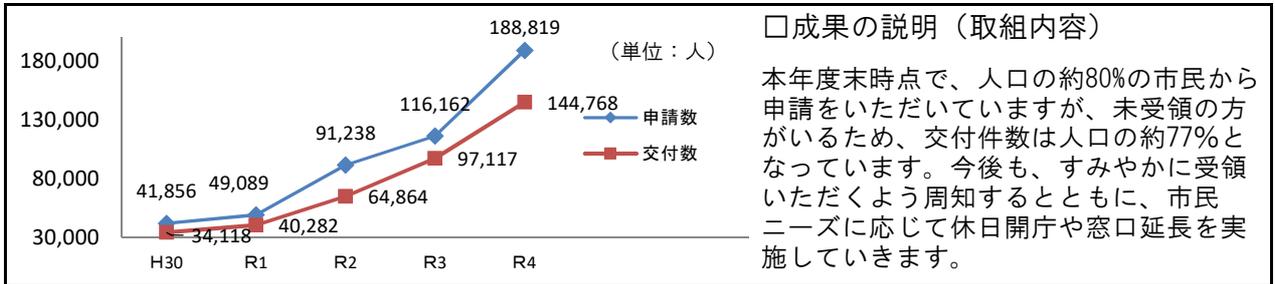
施策番号	7-3-1	実施計画No.	195	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	証明書等コンビニ交付事業					課名	市民課	
事業内容	コンビニにおける住民票の写しおよび印鑑登録証明書の交付を実施します。					事業開始年度	平成25年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	コンビニ交付利用率				現状値 (平成29年度)	4.5%		
現状と課題	マイナンバーカード所持者がコンビニエンスストアで住民票等の証明を取得できるものです。マイナンバーカード取得率の向上に伴い、令和3年度は証明発行全体の約15%となり順調に利用率は上がっています。今後の利用率向上のためにはマイナンバーカードの更なる普及が必要です。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	5.2%	5.9%	6.6%	7.3%	8.0%
成果指標の実績値	5.3%	6.0%	10.0%	15.0%	23.6%
達成率	101.9%	101.7%	151.5%	205.5%	295.0%
決算額(千円)	6,812	5,978	6,786	8,002	10,158

1 コンビニ交付利用率



2 マイナンバーカード申請数及び交付数



令和4年度の 評価	マイナンバーカードの普及により着実に目標値を達成することができました。全国のコンビニエンスストアで証明書類が受け取れるなど、市民生活の利便性向上が図られています。	
今後の 方向性	現状維持	マイナンバーカード取得率の向上に伴い、目標値を上回る利用率になっています。今後もコンビニ交付の利用促進のために、マイナンバーカードの取得促進を図り利用促進を図っていきます。

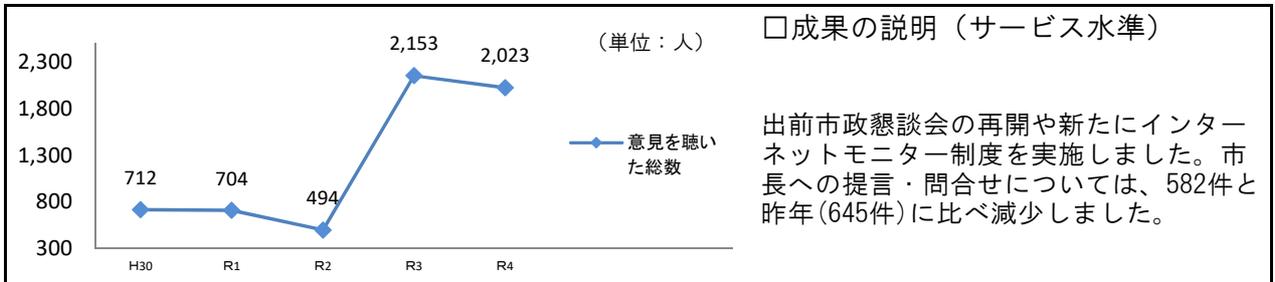
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

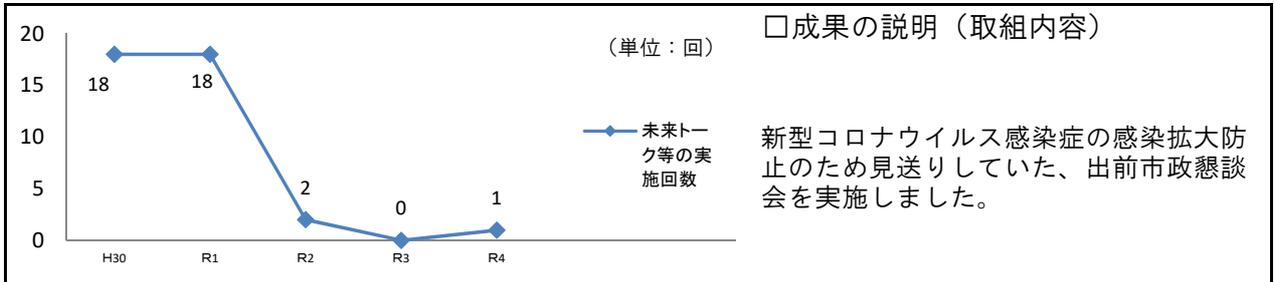
施策番号	7-3-2	実施計画No.	196	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	広聴事業				課名	シティセールス広報課		
事業内容	市民の声を広く聴くため、市長への提言、市長とわがまち未来トーク、市長の出前市政懇談会および施設めぐりを実施します。				事業開始年度	平成17年度		
					事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	広聴活動において市政に対する意見を聴いた人の総数				現状値 (平成29年度)	747人		
現状と課題	市政に対し、意見、要望等、さまざまな形で市民ニーズが寄せられています。これらの市民ニーズを広く受け止め、的確に把握し、市政に反映していくことが求められています。市政への信頼を高めるためにも、市民ニーズに対する市の考え方や取組の結果を、わかりやすく丁寧に市民へ説明する必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	720人	740人	760人	780人	800人
成果指標の実績値	712人	704人	494人	2,153人	2,023人
達成率	98.9%	95.1%	65.0%	276.0%	252.9%
決算額(千円)	66	12	70	2,749	2,884

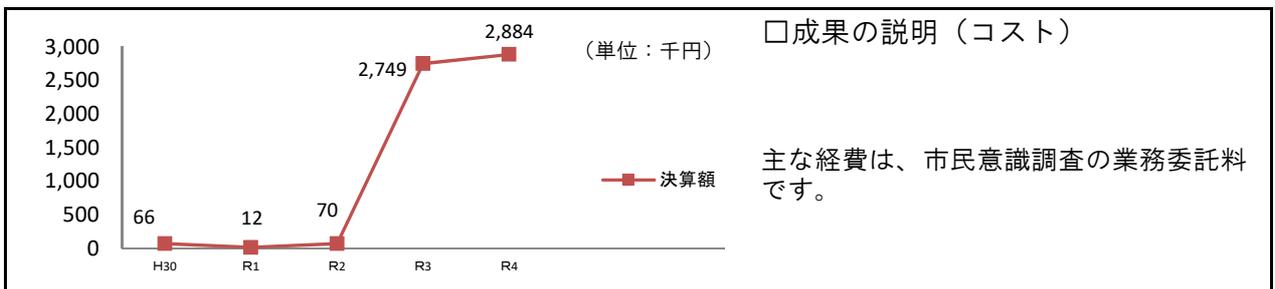
1 広聴活動において市政に対する意見を聴いた人の総数の推移



2 市長とわがまち未来トーク、市長の出前市政懇談会、施設めぐりの実施回数の推移



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	広聴活動を通じて、市に対するさまざまな意見や要望等を伺い、市政に反映するための橋渡しをしています。市政の効果的な運営に役立てることができたものと考えています。	
今後の 方向性	現状維持	令和4年度より、インターネットモニター制度を新設しました。令和5年度においては、この制度を全庁的に活用していくこととし、広聴の特性を生かして、市民の皆様が普段感じていることを視覚化していきます。引き続き市民の皆様が日頃、市政に対して感じていることや意見を傾聴していきます。これらを総合し、市民に寄り添った市政としていく取り組みを進めていきます。

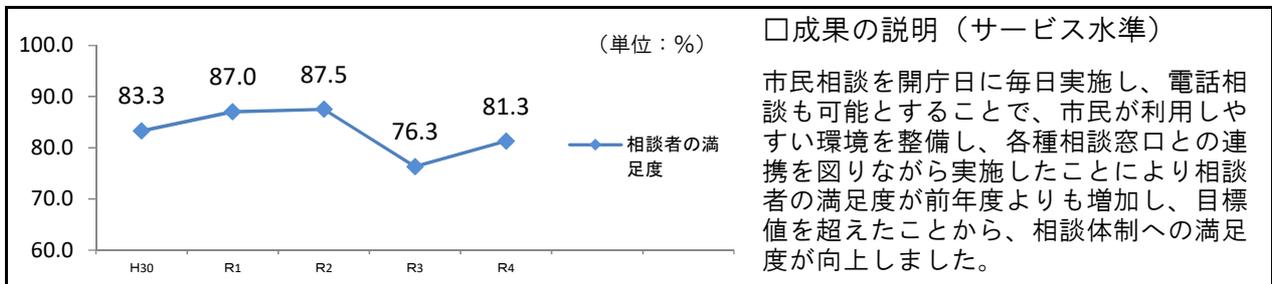
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

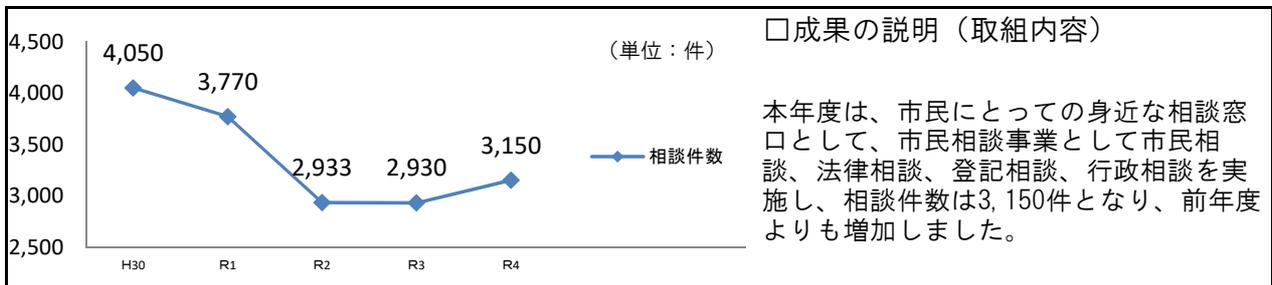
施策番号	7-3-2	実施計画No.	197	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	市民相談事業				課名	市政情報課		
事業内容	市民の日常生活における悩み事や困り事を解決するため、市民相談などの各種相談を実施します。また、相談に関する情報を広く市民に提供します。				事業開始年度	平成17年度		
					事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	相談者の満足度				現状値 (平成29年度)	-		
現状と課題	市民の自主的な問題解決を促進するため、市民相談室において市民相談などを実施しています。各種相談窓口との連携による相談体制の充実が課題となります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	72.0%	74.0%	76.0%	78.0%	80.0%
成果指標の実績値	83.3%	87.0%	87.5%	76.3%	81.3%
達成率	115.7%	117.6%	115.1%	97.8%	101.6%
決算額(千円)	10,328	9,924	9,489	9,980	10,139

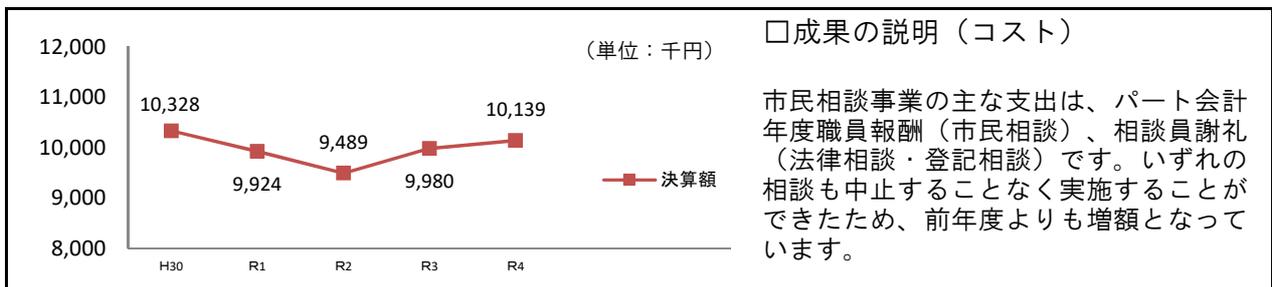
1 相談者の満足度



2 相談件数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	市民にとって身近で気軽に相談できる窓口として、相談の機会を確保し、安心して利用しやすい環境で様々な相談に応じました。相談に関する助言や情報提供、各種相談窓口との連携により相談体制を充実させ、市民が抱える不安の解消や問題解決に向けて支援しました。相談の利用も増え、満足度も向上しました。	
今後の方向性	現状維持	引き続き、市民が気軽に相談できる体制を整備するとともに、相談に関する情報を広く情報提供し、相談体制のさらなる充実を図っていきます。

【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

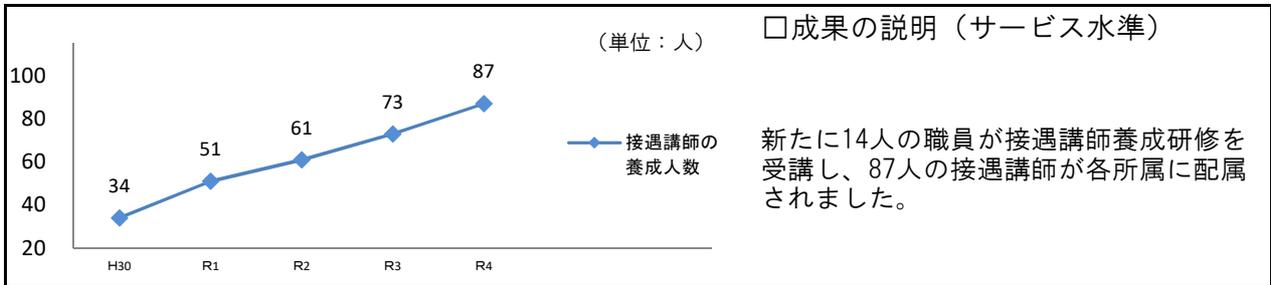
◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

施策番号	7-3-3	実施計画No.	198	重点プロジェクトNo.	-	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	職員研修事務				課名	人事課		
事業内容	職員の能力開発と意識改革を推進するため、職員研修を行います。				事業開始年度	平成17年度		
					事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	接遇講師の養成				現状値 (平成29年度)	15人		
現状と課題	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、研修規模を縮小しての実施となり達成目標には至りませんでした。一定数の接遇講師を養成することができました。今後は、職員研修講師として接遇講師を活用するとともに、各所属における接遇講師による職場内研修等を通じて、職員のさらなる接遇力向上を図ってまいります。							

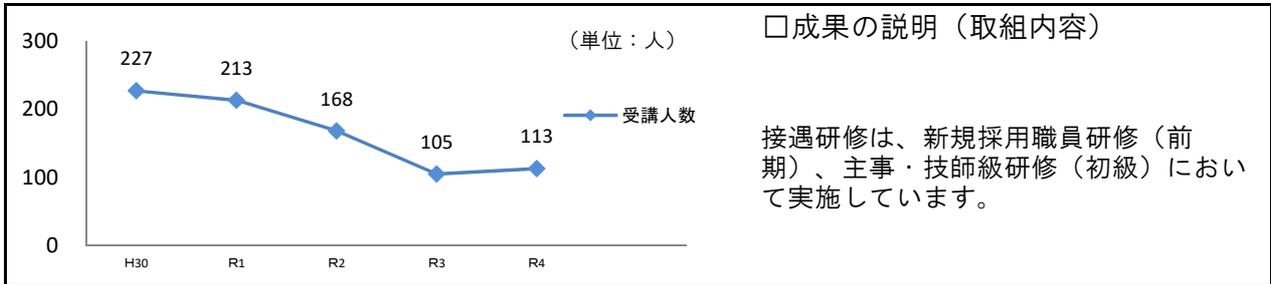
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	35人	55人	75人	95人	115人
成果指標の実績値	34人	51人	61人	73人	87人
達成率	97.1%	92.7%	81.3%	76.8%	75.7%
決算額(千円)	3,395	3,112	2,258	2,201	2,208

※ 令和3年度の「決算額」については、錯誤のため2,225千円から2,201千円へ修正しました。

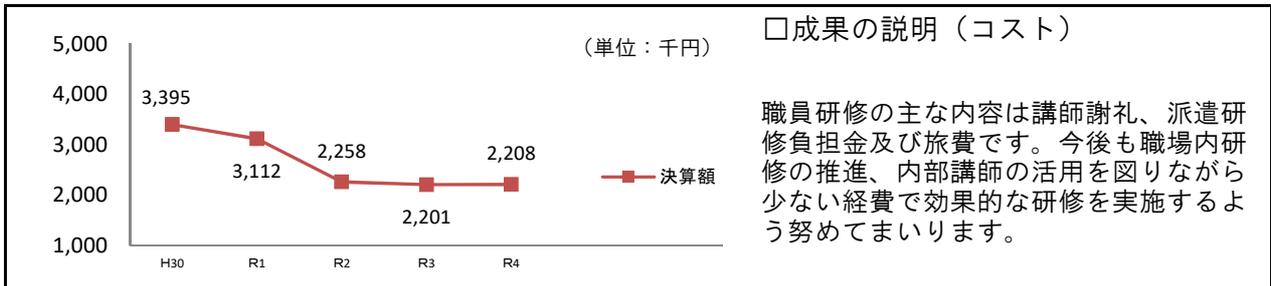
1 接遇講師の養成



2 接遇研修の受講者の推移



3 決算額の推移



令和4年度の評価	新たに14人の職員が接遇講師養成研修を受講し、87人の接遇講師が各職場に配属されました。	
今後の方向性	縮小	各職場の接遇力を向上させるための取り組みとして、平成30年度より継続して接遇講師養成研修を実施したことにより、一定数の講師を養成することができました。今後は、職員研修講師として接遇講師を活用するとともに、各所属における接遇講師による職場内研修等を通じて、職員のさらなる接遇力向上を図ってまいります。

【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討